8・27『PRIDE.10』間近！桜庭和志笑激インタビュー!!

2000 29

紙のプロレス RADICAL

世紀末！灼熱の地殻変動を追いまくる
マット界の総合誌

世紀末の船出接近！
ド注目のノア勢が、
なんと24名フル登場！
秋山準
三沢光晴

イノキ島から「元気ですかーッ!!」
アントニオ猪木inパラオ

8・23大阪で驚異のカード続出！
リングス「KOK」の意味を問う！
ボビー・ホフマン
ゲオルギー・ツベトフ

どこにも語られなかった
ジャンボ闘病秘話
故・ジャンボ鶴田夫人

長州戦へ最後のメッセージ邪！
大仁田厚

灼熱の乱入！真夏はこの男の出番！
村上一成

「俺は21世紀に輝く！」
山本喧一

あのビートたかしが、
全日本プロレスを
追い駆け回った！

激録！ 昭和プロレスの
凄み爆発！
仲野信市
ミスター高橋

大好評第2弾！
TKの赤裸々なる
過去をウルトラ告白！
髙阪"おかん"フミ

新プロレス⟷旧プロレス⟷純プロレス⟷不純プロレス

「格闘環境」は刻一刻と激化する！

紙のプロレス WANIMAGAZIN MOOK145 RADICAL 2000 NO.29 「格闘環境」は激化する！ ノア旗揚げ！『PRIDE.10』間近！

平成12年8月25日発行 編集発行人／山口日昇
発売元：(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話／03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話／03-3403-5188
ワニマガジン社 定価：本体800円＋税

混沌&解禁

ああああ、暑い。

真夏を迎え、マット界の「格闘環境」は刻一刻と激化している。

大量離脱された側の全日を巡る一連の騒動&新展開、新日のキナ臭い動き、期待されるノア旗揚げ、『PRIDE』の新たなるステージ、小川vsヒクソン戦の浮上など、まさにマット界は混沌とした状況だ。

しかし、この混沌（カオス）のエッジみたいなところを歩んでいくのが**プロレス・ファン**としての宿命のようなものなのだ。

ある人はこんなことを言った。

「知性とは何か？　いかに答えを早く出すかを知性とは言わない。〝答えのない問い〟を、一生涯かかっても、答えが出ないとわかっていながら、それでも問い続ける力が、知性なんだ」

この言葉の「知性」のところを「プロレス頭」と入れ替えて、もう一度読んでみてほしい。

どう？

暑苦しい？

考え続けることとは、〝知の格闘技〟を50年、80年とやり続けるようなものだ。

実は、この考え続けるエネルギーそのものが、「プロレス」だったりするのである。

もっとおもしろくなれ、「プロレス」。

いま、「プロレス」って書いたけど、どっからどこまでが「プロレス」？

「プロレスはプロレス」？　「プロレスは格闘技」？

格闘環境は刻一刻と激化している。混沌（カオス）、バンザイ！

あああああ、カキ氷が食いたい。

マット界の新エース本誌初登場インタビュー

マット界の大海原に漕ぎだす
方舟の舵を取るのはこの男だ!!

格闘CHAOS 2000

聞き手／坂井ノブ
interview by Sumo Nobu

試合写真／平工幸雄
photographs by Yukio Hiraku

撮影／森“モーリー”鷹博
photographs by Takahiro Mori

マット界の新エース本誌初登場インタビュー

秋山準

「見ている人が『どうなっちゃうんだろうな?』っていう試合の方が面白いですよ」

PRO-WRESTLING NOAH

旗揚げ直前!!

SWSの挫折、アルティメット大会の出現、グレイシー柔術の台頭、『PRIDE』の誕生、小川直也の暴走、そして全日本プロレスの分裂。ここ10年間というもの、〝純プロレス〟というジャンルは「時代」という名の荒波に揉まれまくってきた。そして、この10年間、〝純プロレス〟の屋台骨を支えてきたが全日本プロレスであったことは間違いない。

全日本プロレスで繰り広げられてきたのは、従来のプロレスを煮詰めて試合の純度を極限まで高めたものが、三沢を始めとする全日本の四天王が繰り広げた「カウント2・9プロレス」だった。

〝純プロレス〟がいきつくところまでいきついた90年代中頃に誕生したのが、いわゆる〝新プロレス〟と呼ばれる『PRIDE』などに代表されるようなプロレスから派生した新しい格闘技だった。

99年にジャイアント馬場という絶対的な主を失った〝純プロレス〟の本家・全日本プロレスは次第に時代という名の波に浸食され、いよいよ時代の中で取り残されていった。

そして、今年の6月。遂に三沢光晴率いる25名の選手たちは全日本プロレスという大陸を脱出、『プロレスリング・ノア』を旗揚げした。〝純プロレス〟の屋台骨を支えてきた選手たちが方舟に乗って、取り残された時間を取り戻すために世紀末マット界の大海原に出航したのである。

幸いにも、本誌は今号から『ノア』の取材許可が下りた。

〝純プロレス〟も新たな局面を迎えている。本誌も、いままで取り上げてきたいわゆる〝新プロレス〟だけでなく、これからは〝純プロレス〟についても考えていかなければならない局面となったのだ。

これからの時代の中で〝純プロレス〟はどうなっていくのか?

それを考えたときに、本誌が『ノア』の中でイチ押ししたいのが、今号の表紙&巻頭に登場してもらった秋山準である。

秋山は言う。

「2・9プロレスは否定しないが、それだけになったらつまらない!」

『ノア』という新団体の中に、新たな価値観を植え付けようと必死に何かを変えようとしている。今回のインタビューでは、方舟の舵を握る男・秋山準の考える新しい時代のプロレスを徹底的に語り尽くした。

——秋山さんは今回旗揚げするノアの全選手の中でも、特に異質な個性を感じるので、是非お話をうかがいたいと思ったんですよ。

秋山　みんな「オレは他人とは違うんだ

よ！」と思ってやってる世界ですから、プロの世界はそうじゃないといけませんからね。

——でも、「オレが！　オレが！」っていう感じじゃなくて、一歩引いて俯瞰できるのが秋山さんの特徴だと思うんですよ。

秋山　まあ、そういうふうに見るようにはしてますからね。

——それが、ノアはもちろん、マット界全体を面白くするカギなんじゃないかと思うんです。まず、再スタートした全日本で川田（利明）さんが「カウント2・9プロレス＝いい試合」というイメージを払拭していきたいと語っていたんですけれども、秋山さんはこの発言についてはどう思いますか？

秋山　それはそうだと思いますよ。別に川田さんだけが思ってるわけじゃなくて、みんな2・9プロレスだけがいいとは思ってはいないと思うんですよ。

——秋山さんが今年の3月11日に志賀（賢太郎）さんとやった、ものすごいシングルマッチがありましたけど、あれもまた2・9プロレスを新しい形で否定した、怖さとか凄みが伝わるプロレスでしたよね。

秋山　うん。だから、全日本のファンの人はずっとカウント2・9のプロレスを見てるから、そういう試合じゃないと満足してくれないと思うんだけど、ボクはいろんな試合があっていいと思うんですよ。2・9が悪いとは思わないですよ。

みんな「カウント2・9」のプロレスだけがいいと思ってるわけじゃない

ただ、全部が全部それだったらおもしろくないっていうことですよ。

——ひとつの大会のなかにいろんな要素があってもいいんじゃないかと。

秋山　そうです。でも、それに気付いているのは川田さんだけじゃないです。

——いままでは状況的に口に出せなかったという部分もありますよね。

秋山　こういう状況になって、やっと自分たちの理想が実現できるでしょ。ボクらもそういう理想を求めて外に出てきたわけだから。

——秋山さんの理想とするものって、いったいどういう世界なんだろうって考えると、非常に物騒というか、おっかないというかそういう世界に行き着きそうな気がするんですけど（笑）。

秋山　全然おっかなくなんかないですよ（笑）。僕はアメリカンプロレスみたいな、ああいうアピールだけのプロレスも悪いと思わないですよ。各自が自分の適性にあわせて、自分で選択するべきだと思いますけどね。やっぱりプロって自分のい

JUNAKIYAMA

ちばんいいところを伸ばすのがいいじゃないですか。だから、「こういう試合をしろ！」っていう強制もないし。

——僕らの雑誌は、比較的『PRIDE』に出場しているような格闘技系のプロレスラーを割と取り上げてるんですけど、そういった方向に秋山さんが踏み出すのかっていう深読みも出来るかなと思ったんですけど。

秋山　そんな深読みはしなくていい（キッパリ）。

——ち、違いましたか。

秋山　そういう感じで俺を捉えてるんだったら、あんまり期待しないほうがいい……まったく興味がないことはないですよ。でも、やるべきこと、僕に求められてることは違うと思う。ひとりで行ってひとりで成功っていうね、そういうもんじゃないと思うから。

——いまは、もっと『ノア』全体を見る時期だと。

秋山　そうそう。

——秋山さんにとって、あああいう大会っていうのは、やっぱりアマチュア競技の延長っていう感じになるんでしょうか。

秋山　それを言ってしまったら、やってる人に失礼だと思いますよ。でも、動き自体は必要なものだと思いますよ。ただ、そこからの技術っていうのは絶対あると思うし、俺らなんかが太刀打ちできないものもあると思いますよ。でも、根本的なベースはアマチュア・レスリングの動きですよね。試合以外の部分でも、いい部分を取り込むことは必要だと思いますよ。ファッションとか演出とか。見に来てる人の年齢層とかも考えられてるじゃないですか。格闘技を見ること自体がオシャレみたいになってたりするし。そういう部分は絶対に吸収した方がいいですよね。まあ、ファッションも難しいですけどね。

——ホントそうですね。

秋山　普通に着てて「それ、なんのTシャツ？」って聞かれたときに堂々とプロレスのヤツって答えられるぐらいじゃないと。まあファンは買うと思いますけど、それじゃあ広がりがないでしょう……それは僕だけじゃなくて、1000人いたら1000人思ってますよ。

——うわあ（笑）。秋山さんって、そういうところにも敏感そうですね。

秋山　いや、敏感なのは他にもいるんですよ。僕だって30代だからそういう購買層よりは上の年齢にいってるんですよ。だからこれからは丸藤（正道）とかが「こういういいのがありますよ」って会社に持っていかなきゃダメなんですよ。ハッキリ言って会社はオッサンばっかなんですから。いくらファッションに気をつかっても、ちょっとのズレってあるじゃないですか。だから、デザイナーとかスタイリストを連れて来るぐらいのことをしてほしいですね。できないのなら、社員や選手を削ってでも。

——そこまでしますか！

秋山　それは僕を含めてですけどね。

——すべてが実力主義なんですね。

秋山　もちろん、すぐに切るっていうんじゃないですよ。今のところはそういう人はいないとは思いますけど。

——三沢社長も会見で、「ハッキリ言って人数が多いので、できない人は切っていく方向だ」ということを言ってましたよね。

秋山　それはプロレスの世界じゃなくてもそうじゃないですか。

今年3月11日に行われた秋山準vs志賀賢太郎のシングルマッチは壮絶を極めた。「リンチみたいな試合」との予告通りに、開始早々のスリーパーホールドで秋山は志賀を締め落としたが、「起こせば出来る！」とそのまま試合を続行。小橋とのユニット「バーニング」を発展的に解消した秋山は、「バーニング」の若手を叩きのめした。もちろん、志賀の成長するためのものなのだろうが……凄絶！

―そういえば、秋山さんはコスチュームを変えるみたいですけど。どうなるんですか？　ヘビ皮を使うと聞いたんですけど。

秋山　全部が全部ヘビ柄を使うわけじゃないですよ。部分的にってことです。

―それは楽しみですね。新しいスタートということで、それ以外に秋山さんの中で変える部分はありますか？

秋山　それはもう全部！　なるべく全日本のイメージからは……まあ来てくれるファンの人は、僕をブルーっていうイメージで観ると思うんですけど、しばらくの間はいろんな色を使ってみようかなとは思ってます。まあ、そのへんはわからないですけど。

―では、リング内の話に移ります。今年に入ってからの秋山さんと小橋さんの関係は、ひとつの物語のように連続性がありましたよね。

■バーニング〈小橋、秋山、志賀、金丸〉は99年の全日本プロレスのリングを席巻。特に、小橋＆秋山組は人気、実力ともにズバ抜けており12月の最強タッグ決定リーグ戦では無類の強さを発揮して2連覇を達成した。全日本プロレスの中で、突出した実力を持つ小橋と秋山がタッグの発展的を示唆。今年2月、秋山が三沢から初の3カウントを奪った日、小橋がベイダーを破って三冠王座を獲得。リング上から小橋は「秋山準を指名します！」と宣言。この次のシリーズから、秋山はバーニングを抜けてターゲットを小橋＆志賀に絞り、「志賀を鍛え直す」と宣言。その試合が左ページの凄惨な写真である。そして臨んだ今年のチャンピオン・カーニバルでは秋山が大森隆男に7秒で敗れるという波乱の幕開け。その勢いで大森は初の決勝戦進出を決定。対戦相手は10年目の優勝を狙う小橋健太。小橋は成長著しい大森を受け止めて跳ね返した。だが、これを観戦していた秋山が「僕が小橋さんに望むのはもっと高いレベルです」と発言し、遺恨が勃発した。大森のパートナー・高山が、小橋の持つ三冠王座挑戦が決定すると「仲良しクラブじゃないんだから技術交流はやらない」と宣言。小橋は珍しくケンカファイトで顔面パンチを連発し激勝！　試合後、秋山とすれ違った小橋は、強烈に秋山の顔面を張り飛ばした。リング外で、ここまで様々な動きが起こる緊急事態はここ10年以上記憶にない。

―いままでの全日本プロレスには、ああいうストーリーと試合が絡んでいく展開は非常に少なかったと思うんです。ところが秋山さんが絡んできたら変わってきたなという印象を受けますね。

秋山　やっぱり、自分から動かないと面白くないと思うんですよ。

―やっぱり、どうやったら楽しめるかを考えて行動してる部分はありますよね。激しい発言もポンポン出るし。

秋山　ヒートアップさせようっていう意識だけで言ってますよ。やっぱり何か仕掛けていかないとね。ただ単に試合してるだけじゃなんにも面白くないですよ。自分の気持ちも昂らないし。相手にバシンとやられれば、こっちもカーッとなってくるし。でも、そういうのって全日本は少ないでしょ。

―リング外にまでプロレスを持ち込まないという方向でしたよね。

秋山　ほんとにスポーツライクというか。三沢さんは、どっちかっていうとそっちの考え方だと思いますけど。でも、ひと

つの会社にはいろんな意見がないとダメだと思うんですよ。みんな、それぞれの考えを持ってるわけだから。そういう中で、僕はそういう考えを持ってるってことです。いろんな考え方がある方が絶対に会社は良くなるから（キッパリ）。

――秋山さんがそういう考えを持つようになったのは、いつ頃からですか？

秋山 そういう考えはずっと以前から持ってましたけど、言いやすい環境になったのは段々と上のポジションにいくにつれてですよ。そのために頑張ってきたようなもんですから。何を言っても誰にも文句言われないようにって。

――いまはそれだけの力を持ったと。

秋山 たとえば、現在の志賀なんかも言いたいことはあると思うんですよ。でもまだ言えないだろうし、言えるだけの自信もまだないと思うんですよ。

――秋山さんがそういう過激な発言をどんどんしてくれるんだったら、やっぱりテレビ中継も毎週見ようかなっていう気持ちになりますよね。

秋山 いいところで「ハイ続きは来週」ってなったらやっぱりまた見たいなって思いますからね（笑）。

――秋山さんはWWFとか御覧になったことあります？

秋山 WCWは見てます。

――ちょっと極端かもしれないけど、あいったストーリーの連続性は重要ですよね。

秋山 あそこまで作られるとね。もっとバチバチした感じかな。

――火花散らすような感じですか？

秋山 そうそう、そっちのほうですよね。本来、格闘技ってそういうものですから。リングで闘うのに普通にしてたらつまらないじゃないですか？ いくら権威のある三冠戦だからって、普通に受けて普通に返したりするようではね。いい試合にはなると思うんだけど、それは自分もできると思うんだけど、やってておもしろくないから。もっとお互いテンションをどんどん高めていって、最後のところでバチバチっと火花が散るような感じになってれば、いちばんいいかなと思うんですよね。でも、僕が何かを言ったとしても黙ってる人が多いから、それ以上は積み上がっていかないんですよ。志賀なんかはシュンとしちゃってるし。

今年１月23日、横浜文化体育館でベイダーに挑んだ秋山は、厳しく追い込んだがベイダー超えはならず。２月22日、日本武道館大会で、秋山は初めて三沢から３カウントを奪った。危険な角度からたたきつけるエクスプロイダーなど、えげつなさが光る試合となった。今年の秋山は結果もだして発言するだけの環境も獲得していった。

――小橋さんは返してきましたよね。もの凄いビンタで。

秋山 そう。あれは僕ももちろんカッとなったけど、同時に「ようし！」ってなったからね。

――秋山さんもそれで火がつくわけですね。秋山さんがそういう闘いができる相手を探すとなると、小橋さんか三沢さんになるんですかね。

秋山 三沢さんは難しいかもなあ。何を言われても動じない感じだから。

――でも、ノアになったら変わってくるんじゃないですか？ たぶん秋山さんが言われてるような形に近いっていうのは、一連の小川vs橋本だと思うんですよ。闘いに至るまでに、お互いがマスコミを通じて言い合って、テンションを極限まで高めあって、試合でそれをぶつけるっていう。

秋山 うん、面白いと思いますよ。ああいう試合も必要だと思う。長い間にああいうのがまったくないっていうのも、それはまた面白くないし。

――どうなっちゃうんだ?っていう展開の方がハラハラしますからね。

秋山 単純にいい試合を求めるっていうのもいいと思うけど、見てる人が「どうなっちゃうんだろうな?」って読めない方が面白いですよ。だいたい四天王のプロレスは、凄い闘いなんですけど、「だいたいこんな感じだろうな」っていうのが読めるから。

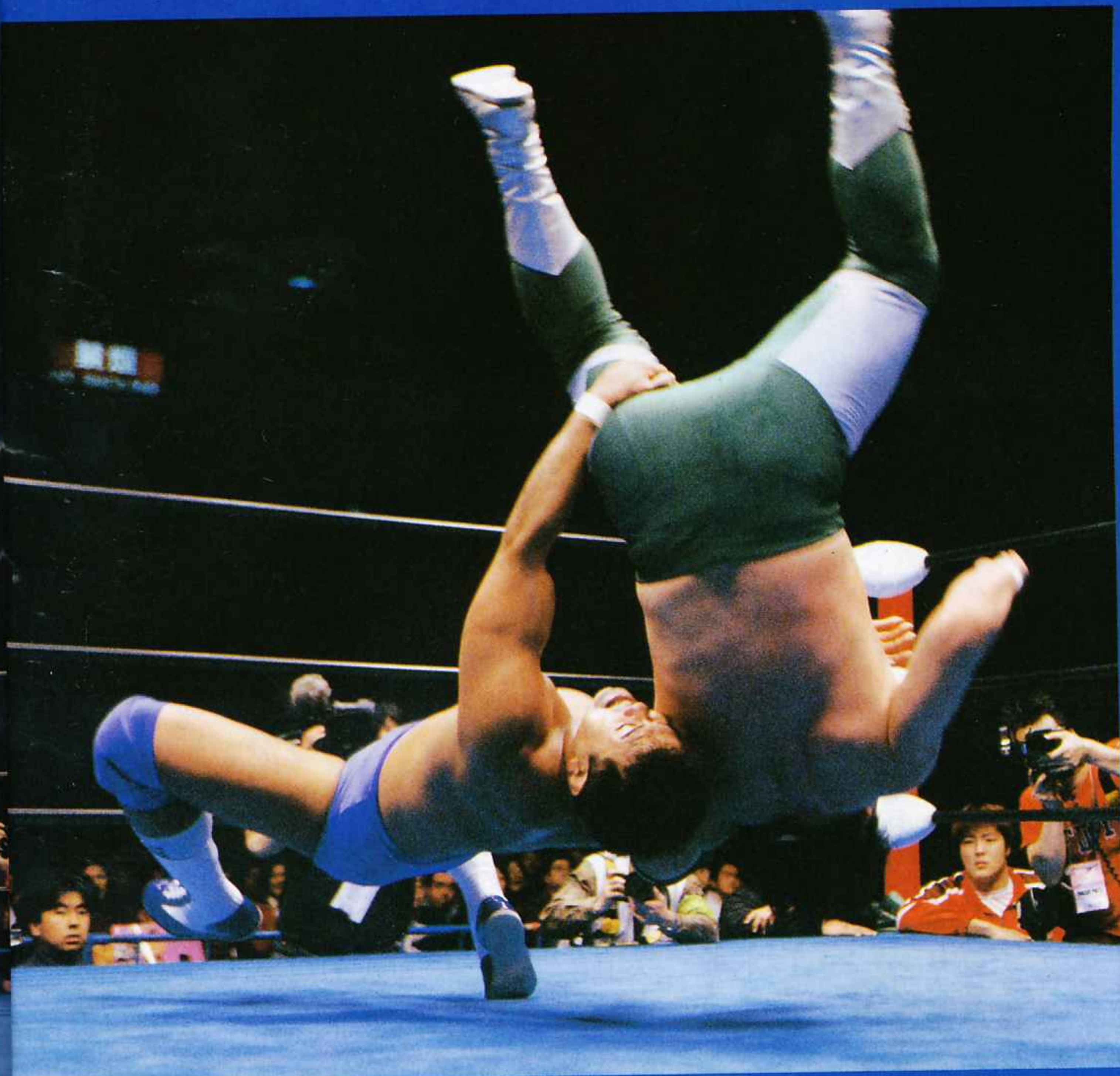
――なるほど。いや、秋山選手の考えてることってムチャクチャ面白いですね。まずは、観客の予想をブチ壊していきたいと。

秋山 それはあります。ファンに引っ張られるよりも、ファンを引っ張るほうが正しいと思うんで。

――そういう試合がノアで起こっても全然いいわけですよね。

秋山 そういう場面になって、そういう人間が来ればそういう闘いになるでしょう。それは僕に限らず。

――是非、そういう場面は見てみたいと

格闘 CHAOS 2000

は思いますよ。
秋山　でも、とりあえず今年いっぱいは、地固めですから。
——あの〜、以前、石川孝士さんにインタビューしたときに、「いくら嫌いでバチバチやりあっても、半年間やってたら、どうしてもモチベーションが低下してきてしまう」とおっしゃってたんですよ。
秋山　それはみんなそうでしょう。だから僕は、試合で対戦する選手とは仲良くコンタクトを取らないようにしてます。自分が試合する相手と仲良くしてたら、そういうバチバチと火花が散るような試合なんてできないですよ。
——普段から壁を作っていくっていうことも大事なんですね。
秋山　普通はできるものですよ。それができない方がおかしいんですよ。殴られ蹴られしてるんだから、当然ムカッとしますよ。それで、試合終わった後に「お疲れさん、ありがとな」みたいなことは、僕には絶対できない。仮に言ったとしても俺は腹の中では「この野郎ッ！　覚えとけよ」って思ってますよ。やっぱり同じ会社の人間だから、みんな仲良くやっていかなきゃいけないっていうのはわかるんですけど、カチンとくる部分は残しとかなきゃおもしろくないでしょ。
——それを試合に反映させていく、と。
秋山　ましてや、ほぼ同じ人たちと試合するわけだから。そういう気持ちがないとやってる本人が面白くない。そういう意味では高山（善廣）選手は感覚的に近い感じがしますよね。
——普段の精神面でもですか？
秋山　そう。なんか怖さがあるというか。だから、やっぱりそういう人とは話してみたいとは思いますよ。
——ああ、逆に話してみたい（笑）。
秋山　そう。お互いにこうなってるけど、僕みたいな考え方なのかなっていう興味がありますよ。
——でも、さすがに話せないですよね？
秋山　そうですね（笑）。やっぱり固いところがありますから。
——そういうふうにお互い壁を作ってる選手の方が面白い試合ができるわけですね。
秋山　そうだと思いますけどね。
——さすがに、若手の人たちにそういう感情はないんですよね。
秋山　そりゃそうですよ（笑）。僕にそう思わすぐらいに頑張ってほしいですけどね。僕が普通に話せるってことは、僕の眼中にない人間っていうことですからね。ある程度「来たな」っていう人間だったら、僕も距離を置くし。ライバル同士ってそうじゃないですか。僕も以前は小橋さんとはよく話してましたけど、こういう状態になると、やっぱり離れると話しづらいし、顔も合わせづらいですよ。自然とそうなりますから。

小川vs橋本戦？　面白いと思いますよ。ああいう試合も必要だと思う

J U N A K I Y A M A

——秋山選手は、この旗揚げまでの時間に「若手は自衛隊に行け」とアドバイスされたそうですけど。
秋山　いや、自衛隊に入れじゃなくて、ウチの若いのにひとり自衛隊のアマレス部出身者がいて、そいつが道場がないときに自衛隊体育学校で練習してたんですよ。だから、「みんなで1日2日でもいいし、合宿でもいいから、自衛隊に行って強い人たちと練習してこい」って言ったんですよ……。ただ、言われた本人たちは何でアマレスの動きが必要なのかわかってないと思うんですよ。「いままでのプロレスをやってればいい」っていう考えが絶対にある。でも僕はそうじゃないと思うから。
——どういうことですか？
秋山　アマレスの技術というのはプロレスをやるうえで、必要最低限だと思うから。その最低限がないヤツがいるから教えてもらってこいって言ったんですよ。そしたら、あるヤツは「負けるのが恥ずかしい」って言ったんですよ。だから「なんで恥ずかしいんだよ」って聞いたら「プロレスラーだから」って。そいつには「プロレスとアマレスって両方とも〝レスリング〟ってついてるから一直線に考えるんだろうけど、まったく違うものだから。サッカーの選手がバスケットを習いにいくようなもんなんだから」って言ったんですけど、それでも「恥ずかしい」って。
——プロの選手が、そういうところに行くのは勇気がいりますよね。
秋山　そこで恥ずかしいって言ってたら、進歩はないですよ。
——秋山さんはこれからのプロレスは格闘技の要素も取り入れていこうという考え方だから、アマレスを取り入れようと

ベイダー戦後、秋山は発作的に腕に震えが来ていた。頸椎から来るものだろうか。ひどいときには両腕にシビレがきていたという。ハードな闘いの代償はかくも大きい。

高阪（剛）と大学で同期なんですよ。よく代返を頼んだりしてましたよ（笑）

してるわけですか？

秋山　いや。仮に交流戦になったときに、最低限必要なのはそういう技術なんですよ。たとえばタックルに入られて、相手が上になってこっちが下になったら、お客さんの目には上になってるほうが実力が上だって映るんです。でも、ウチの若手にはタックルを切る技術もない。もちろん丸藤とかできるヤツはいますよ。でもそれは一部ですから。その切る技術とかバックステップとか、基本的な技術でいいから習いに行ってこいって僕は言ってるんですよ。それが僕の言う必要最低限のことですよ。いままでアマレスから来た人がそういうこと言わなかったからこうなったんだと思うけど、俺はそうじゃないと思うから。

──何でまたそう考えるようになったんですか？

秋山　若いヤツがどこでブレイクできるかっていうと、他団体と絡んだときだと思うんですよ。例えば外部から誰かが来たとして、「上の人がいく必要はない。俺がいってやる」って言えれば、ハッキリ言ってすぐブレイクしますよ。それを言った時点で誌面にも載るんですから。だから、志賀なんかはまだモゾモゾモゾモゾしてるけども、最高にブレイクできるのはそこですよ。でも、言ったなら言ったなりのことをやらなきゃいけないから、それで最低限のことは練習しろって言ってるんですよ。

──なるほど！　そこまで想定してるんですね。

秋山　だって絶対損な動きじゃないじゃないですか。これからのプロレスのことを考えても。

──秋山さんはこれからのプロレスはそういう格闘技のエッセンスを取り入れる方向に行くと考えているんですか？

秋山　いや、今のプロレスをやってたとしても、アマレスの動きっていうのは絶対必要なんですよ。だから、今のプロレスをやるにしても、これからスタイルを変えるにしても、絶対役に立つ技術なんだよって言ってるのに、若いヤツらは理解できないんですよ。だから僕は「専修大学に行きたかったら行ってもいいよ。付いていってやるから」って言ってるんですけどね。でもまだ必要ないと思ってるから……。

──でも、こんな後輩思いの先輩はいませんよね！　感動しましたよ。いい話じゃないですか。

秋山　でも、あとは個人の問題だから。得をするのも損するのはあいつらです。

──グランドでのスムーズな動きっていうのは、ノア勢では三沢さんと秋山さんが飛び抜けてると思うんですけど、それもやっぱり……。

秋山　アマレスをちゃんとやってるから綺麗なんですよ。アマレスを知ってると身体のキレが違うんですよ。アマレスをやっておかないと、いくら関節技をやりたいっていってもできないですよ。だって、関節を知ってても、そこに入るまでの技術を知らなかったらダメじゃないですか。

──順番が違うってことですね。

秋山　そう。

──プロレスのマニアックな見方のひとつにグランドでの主導権の取り合いって重要ですよね。

秋山　でも、『ノア』でやってる分には大丈夫ですよ。でも例えば他団体から技術がすごいヤツが来たら、最低限のものは持ってないとダメですよってことなんですよ。それは若い連中に限らずみんなそうですよ。でも、ある程度上にいってからだとプライドだなんだっていうのがあるだろうから難しいとは思うけど、若いうちだったらいくらでもできるじゃないですか。そのいくらでもできる連中がカッコ悪いとか恥ずかしいとか言ってたら終わりです。

──秋山さんは今でも大学にアマレスの練習に行ったりしてるんですか？

秋山　いや、ここ2年ぐらいは行ってないですね。

──あ、その前には行ってたんですか？

秋山　たまにですけどね。大学で同期だった高阪（剛）が専修大学アマレス部で練習をしたいからって言ってたんで、監督に頼んで僕も一緒に行ってたんですよ。彼は柔道部だったから。

──へぇ～、TKと秋山さんって夢の顔合わせじゃないですか！

秋山　家も近かったんですよ。

──あっ、そうなんですか。今号では高阪選手のお母さんにインタビューをしたんですけど（笑）。

秋山　なんでですか（笑）。

──毎回試合会場に来てる、名物お母さんっていう感じで。それで、高阪選手の学生時代の写真を見せてもらったんですけど、今よりもゴッツい顔してますよね。

秋山　あいつ太ってましたからね。１20キロぐらいあったから。男前だったんですよ（笑）。でも、彼がやってるああいうスタイルだと今みたいな体のほうがいいですよね。スピードが求められるから。

──高阪選手とは、学生時代は仲がよかったんですか？

秋山　そうですね。あいつは真面目に学校に通ってましたから、よく代返を頼んだりしてましたよ（笑）。

──アハハハ、秋山さんの代返をTKが（笑）。夢のようですね！　秋山さんはあんまり学校に行ってなかったんですか？

秋山　全然行ってなかったなあ。

──でも卒業はしてるんですよね。

秋山　まあ、要領はいいんで（笑）。

──たしかによさそうですねえ（笑）。

秋山　学校なんて年に何回かしか行ってないですよ。ほとんど部活とバイトですね。

──アハハハ！　バイトは何をやってたんですか？

秋山　建築の搬入のバイトですね。いろんなとこやりましたよ。いい運動になるんですよ。1枚15キロぐらいの荷物のを持って階段上がるわけだから。

――ジャンボ鶴田さんも学生時代は建築系のバイトをやってたらしいですね。まあ、大学でアマレスをやってたということも含めて、秋山さんにとって鶴田さんってどういう存在なんですか？

秋山　それは馬場さんもそうですけど、鶴田さんにはプロレスの師匠というよりも、一般人としてこうあるべきだっていうことを教えてもらったんで。プロレスは、直接教えてもらったのはジャンピングニーぐらいだから。

――一般人としてどうあるべきだって教えられたんですか？

秋山　「お前はプロレスラーとしてある程度上にいけると思うけど、そうなっても一般の人と話せるぐらいの頭は残しとけ」と。鶴田さんの豪邸に招待していただいたこともありましたし。も～う、すごいんですよ。夢ですよ（笑）。プロレスラーって、こんなとこに住めるのかあって。ま、ある一部の人だけですけどね（笑）。

――おふたりとも、いわゆるエリートとして入ってきたわけですからね。

秋山　そういうところに入った後のやりにくさとかは、鶴田さんもよくわかってるし。余計に気にしてくれたんじゃないかなっていうのは思いますけどね。僕の目標ですよね。こういう人になりたいっていう。家も含めて（笑）。

――アハハハ！　秋山さんは昔から鶴田さんのファンだったんですか？

秋山　好きでしたね。『日米レスリングサミット』（90年）ってありましたよね。東京ドームで。そこでリック・マーテルとやって、最後バックドロップで倒した試合があるんですけど、それがいちばん記憶に残ってます。ビデオ撮って、いまでも1年に1回ぐらい見ますよ。いまだに見るとゾクッとしますもん。あのとき三方向のカメラから、最後のバックドロップをリプレイしたんですけど、あれは凄かったですよ。今見ても鳥肌たちますもん。だから、自分のモチベーションが下がったときにそれを見てゾクッとして、「ようし！」みたいな（笑）。

JUNAKIYAMA

ジャンボ鶴田直伝のジャンピング・ニー（ハイ・ニー）は、秋山を代表する技となった。このまいけば、21世紀には怪物には鶴田のような怪物になっているはずだ。

――秋山さんの意外な一面ですね。鶴田さんの圧倒的な強さとか、ケタはずれのスケールは凄いですもんね。

秋山　うん。体力とかもすごかったしね。僕も鶴田さんが欠場する直前の1シリーズだけ試合をしたんだけど、その時に道場で関節の取り合いみたいなことを「来い」って言われてやったんですよ。たしかに鶴田さんもオリンピック出てるけど、だいぶ前の話じゃないですか。ハッキリ言ってもう歳だと思ってたんですよ。僕の方はデビュー直後の頃で体力もあるし、アマレスのブランクもそんなにないし「負けるわけがねえな」と思って向かっていったんですけど……潰されて、関節ガッチリ極められましたね。正直、僕もテングになってた部分があったんですけど、鶴田さんと肌を合わせたときに「こりゃダメだ」と思いましたよ。

――はぁ～、凄いですね！

秋山　いや、ほんと凄かったですよ。押さえ込まれてるときとか、関節極められてるときの圧力がすごかったですからね。で、笑いながらやってるし（笑）。「ほらほらほらほら、極まっちゃうよ」とか言いながら。ホントに余裕でしたよ。全然息が上がってなかったですからね。

――鶴田さんは当時40歳ぐらいでしたよね。

秋山　そう。それで、動かせばなんとかなるって思ってたけど、動かなかったですもん（笑）。

――かぁ～、いい話ですね。僕は個人的に、将来の秋山さんは鶴田さんみたいに、圧倒的な力で若手の高い壁になるのかなと思ってるんですけどね。

秋山　体格とかスタイルが違いますからね。だから、ああいう圧倒的な強さになるかどうかはわからないけど、壁にはなりたいなとは思いますよ。

――鶴田さんも試合中にほとんどキレなかった人ですけど、秋山さんもキレるところって見たことないですよね。

秋山　カーッとなってもどっか冷静ですからね。

――言葉は悪いかもしれないですけどバカになりきれないというか。

秋山　そうですね。だから、コメントとかでもガーッて言われるよりも、僕みたいに落ち着いて言われてる方が相手もキツいと思いますよ。

――そうですよね（笑）。プロレスを見る上での楽しみって、ああいうコメントを見る楽しみもあるじゃないですか。『ノア』になったらそういう部分もいままで以上に大切になってきますね。

秋山　まあ、僕がなんか言うとしても、こんな感じだと思いますよ。

――ところで、さっきもちょっと話が出たんですけど怒られると思って途中でやめた話をうかがいたいんです。秋山選手が『PRIDE』に出場するって、さまざまなマスコミで噂になってますよね。

秋山　周りの人が勝手に言ってるだけでしょう。僕は何も聞いてないし、出る気もないから。

――『ノア』になって、そういう場に出

ることになったら、いちばん対応できる選手だからということだと思うんですよね。
秋山　みんな僕を出したくてしょうがないんだろうなあ。
——でしょうねえ。でも確かにファンが見たいっていう声があるのは事実だと思いますからね。
秋山　まあ、前向きに検討しときます（笑）。
——いざとなったときに、プロレスラーとしての強さを見せてくれるのは秋山さんなんじゃないかと思われてると思うんですよ。そういう期待についてはどう思いますか？
秋山　別に悪い気はしないですよ。興味はないことないですよ。プロですから、ギャラさえもらえるならね（笑）。
——噂ではグレイシーのギャラが1億円とか言われてますけどね。
秋山　ホントにもらってるんですか⁉　船木（誠勝）さんも同じくらいもらったんですか？
——一説によればグレイシーの10分の1とか言われてます。
秋山　負けたのはそれが原因じゃないですか？　直前になってイヤになったとか（笑）。まあ、それは冗談ですけど。でも、それ聞くだけでイヤですね。そこまで違うかって。じゃあひとりの名前に払ってるようなもんですよね。
——インディーで実力があるけど名前がない選手はそっちに出たがる気持ちもわかりますよね。

JUNAKIYAMA

僕個人で言えば勝っても負けてもいいですよ　でも、周りについてくるものが大きいですから

あきやま・じゅん■本名・秋山潤（あきやま・じゅん）。昭和44年10月9日、大阪府和泉市出身。学生時代は専修大学レスリング部で活躍。同期にはリングスの高阪ＴＫ剛（柔道部）、先輩には中西学、遡れば馳浩、長州力らがいる。全日本プロレス入団後、平成４年９月17日、vs小橋健太戦でデビュー。早くからメインに起用され、四天王に続く存在となり、一時は秋山を加えた五強時代とも言われた。得意技エクスプロイダーは、急角度で相手の後頭部をマットにたたきつける危険な必殺技。今年６月、全日本を退団してプロレスリング・ノアに参加。１８８センチ、１１０キロ、ＡＢ型。

秋山　でも負けても問題ないわけでしょ。ある程度覚悟を決めていかないと。
——背負ってるものが違う、と。
秋山　僕個人で言えば勝っても負けてもいいですよ。でも、周りについてくるものが大きいじゃないですか。それが動きづらい部分ですね。もちろんここでプロレスをやってる僕がいきなりああいうものに出ても、勝てるとは思わないし、ある程度、その練習をしなきゃいけないと思います。
——周囲から「見てみたい」って言われたりしませんか？
秋山　結構、言われますよ。
——そのときは何て答えるんですか？
秋山　（冷静に）興味ない。
——そんな淡々と（笑）。
秋山　興味がなくはないですよ。でも、興味があるなんて言ったら、いろいろ突っ込まれるじゃないですか（笑）。実際そういう試合は見るし。ただ、あれを子供たちに見せようとは思わないです。プロレスの試合は見せてもいいとは思いますけど。ああいうので女の子とかが騒いでるのは理解できないですよ。ダウンした人をボッコボコに殴ってるのに。なんか世も末だぁって思いますね。こう手で顔を覆って隙間から見るのはかわいいと思うけど（笑）。
——アハハハハ！　いわゆる、ああいうプロレスにはなかった「えげつなさ」が今の時代の気分なのかなとは思います。だから、秋山さんはそれを敏感に察知して、プロレスにも格闘技的な厳しさを少しづつ取り入れてるのかなって思うんですよ。
秋山　どうかなあ、それは特別関係ないなあ。相手によってはそういう心構えは必要だとは思うけど。
——プロレス界全体を見渡して、そういう方向にシフト・チェンジしてるのかなと思ったんですけどね。
秋山　プロレス界全体を考えると、最初に言ったようにいろいろな方向性でやっていこうと思うんですよ。逆に。天の邪鬼だから（笑）。反対のことやろうと。だから、出ろって言われてるうちは絶対出てやんねえぞって思うしね。言われれば言われるほど思いっきりプロレスやってやろうって思うし、逆にプロレスだけやってりゃあいいって言われたら、フラッと出るかもしれないけどね。
——ノアもこれから旗揚げということで、可能性は広がってますからね。
秋山　でも、そういうのは、ウチからはいちばん遠いんじゃないですか？

色紙には「メッセージ？　ないですよ」ということで、新団体の名称を書いてもらった。

格闘CHAOS 2000

——ＵＦＯの小川（直也）さんも、分裂前に「全日本に出てみたい」とコメントしてましたけど、秋山さんと闘ったら面白いかもしれませんね。

秋山　小川さんが言ってのは川田さんとか小橋さんなんじゃないですか？

——でも、秋山さんが外部の人と闘う姿は見てみたいですね。

秋山　……気持ちが強いかどうかっていう問題ですからね。そういう状況って。

——秋山さんは絶対引かないだろうし、前に一歩出ると思うんですよ。

秋山　そりゃ、バコーンッてこられて一発でＫＯされなければ、勝てるとは思いますけど。変な話、反則ですけど目の中にガーッて指突っ込んででもやってやろうっていうのは思ってますけどね。

——秋山さんのそういう性格というのはどこから来てるんですか？

秋山　生まれ持ったものだと思いますよ。僕みたいな短気な性格は。

——ウチの雑誌は、いままではいわゆる『ＰＲＩＤＥ』だとか小川選手みたいな人を多く取り上げてきたんですけど、『ノア』はプロレスの新しい可能性を秘めているなと思ったので、一番変えてくれそうな秋山さんに登場していただいたんですよ。

秋山　まあ、言ったって一般レスラーですからね。「平（ひら）」レスラーですよ。全然力ないですから（笑）。

——いやいや。でも、話を聞いてると行きたくなりますよ。秋山さんの作る世界を見に。

秋山　あのー、ある程度僕が言わんとしてることをみんながわかってくれるといいんですけどね。このままじゃ全日本の名前が変わっただけっていうことになりかねないから。

——その中で例えば、秋山さんとしてはひとつに限定できないと思いますけど、怖さとか強さが見えてくるような純粋なスポーツでは収まりきらないようなものにしてもらいたいと思います。

秋山　そうですね。若い頃って「お前だけには絶対負けねえぞ」っていう気持ちがあるじゃないですか。僕もアマレス時代にはあったんですよ。もちろん殴ったりとかはできないけど、腹に噛み付いてでもぶっ倒すみたいな気持ちが。そういうものを、僕とかじゃなくて、若いヤツらに見てみたいんですよ。仲がいいのはかまわないけど、コイツには負けられねえっていうのがあっていいと思うんですよ。それが前面に出てればお客さんには絶対届くはずですから。

【7・10　東京・ディファ有明内『ＭＡＨＯＲＡ』にて収録】

小切手　1366 COX6-266
金額
＊¥10,000,000※

クールなようでいて、メチャクチャ喜怒哀楽が激しい秋山準。己のプロレスにプライドを持ちながら、それに続く若い世代のこともしっかりと考えている。三沢が、小橋が、そしてこの秋山がそれぞれの主張をぶつけ合いながら『ノア』は形作られていく。このままいけば、ムチャクチャ面白い団体になることは間違いなし。混沌とした時代を突き破るために、秋山の闘いは、いままさに始まったばかり。断言します！　本誌は、この新たなる方舟に乗ります！

プロレスリング・ノアの処女航海!!

早くもチケットがプレミア化！　旗揚げ戦は販売開始20分で完売！

7月15日午前10時、プロレスリング・ノアの旗揚げ戦『DEPARTURE』のチケットが発売となった。とはいうものの定員2000名に満たない会場なのでチケットを手に入れるのは至難の業。いちばん早い人は14日の午前8時から並んでいたという。徹夜組は約50名も出た。8・6、8・19の指定席も40分で完売。あとは当日15時から発売される100枚の立見席をゲットするしかないぞ！

［試合日程］
8. 5（土）東京・ディファ有明（18：00開始）
8. 6（日）東京・ディファ有明（17：00開始）
8.19（土）東京・ディファ有明（18：00開始）

7・10に新人事&団体ロゴを発表！　地上最強の営業部長・永源遥、誕生！

プロレスリング・ノアの新人事が発表された。代表取締役社長＝三澤光晴、取締役副社長＝百田光雄、取締役＝田上明、小橋健太、百田義浩、取締役営業部長＝永源遥（！）、取締役渉外部長＝仲田龍、監査役＝樋口寛治（ジョー樋口）という陣容だ。“千両役者”の永源が営業部長とは頼もしいことこの上なし。ジョー樋口が監査役となったのも、オールド・ファンには感涙ものだ。新団体の所在地はピンナップ裏のテレINDEX参照。

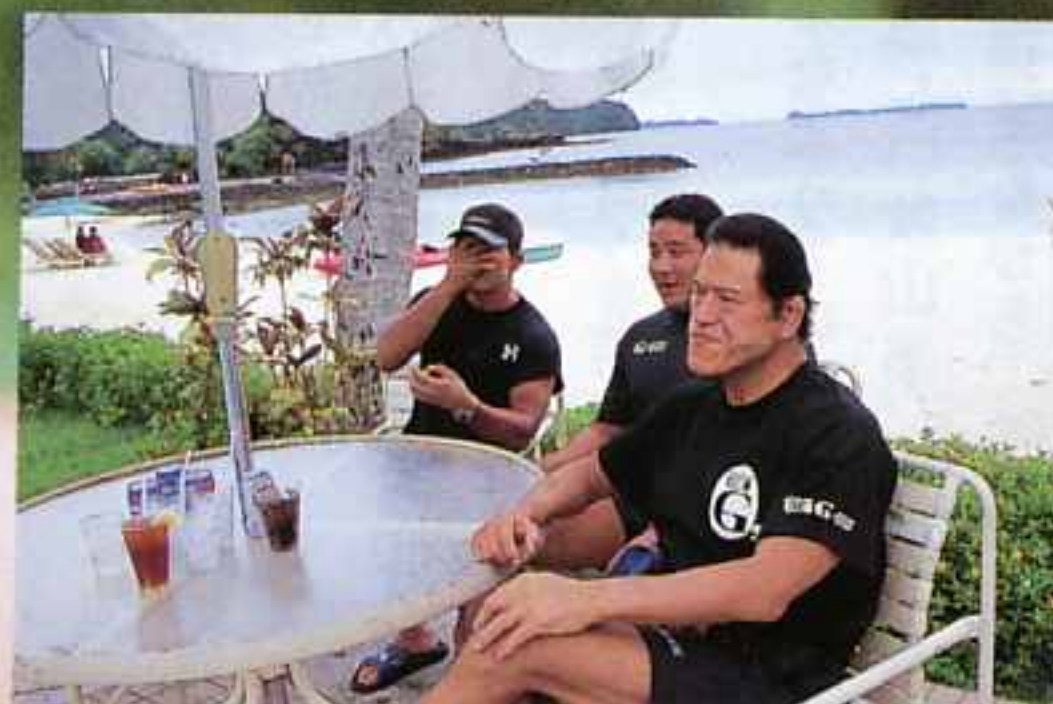
さっそくファンクラブも出航！『NOAH's ark』（仮称）に入ろう！

団体設立と同時に、さっそくオフィシャル・ファンクラブも発足した。その名もズバリ『NOAH's ark』（直訳：ノアの方舟。まだ仮称だけど）。主な活動内容は、ファンクラブ会報の発行、ファン参加イベントの開催だが、選手と行く国内外へのツアー、ファンの集い等、お楽しみ企画満載で発進する模様。それと、ここが凄い！　というか偉いのが、活動内容を十分理解した上で入会できるように、年内の活動は年会費を無料となっている点だ！　その上で正式に入会を希望する人は2001年1月から入会金&年会費を支払う形となっている。これぞ今風のサービス！　入会をご希望の方は往復ハガキで下記までお申し込み下さい。

〒135-0063　東京都江東区有明1-3-25
（株）プロレスリング・ノア
ファンクラブ入会希望係
お問い合せはTEL.03-3527-5311　担当：岡田

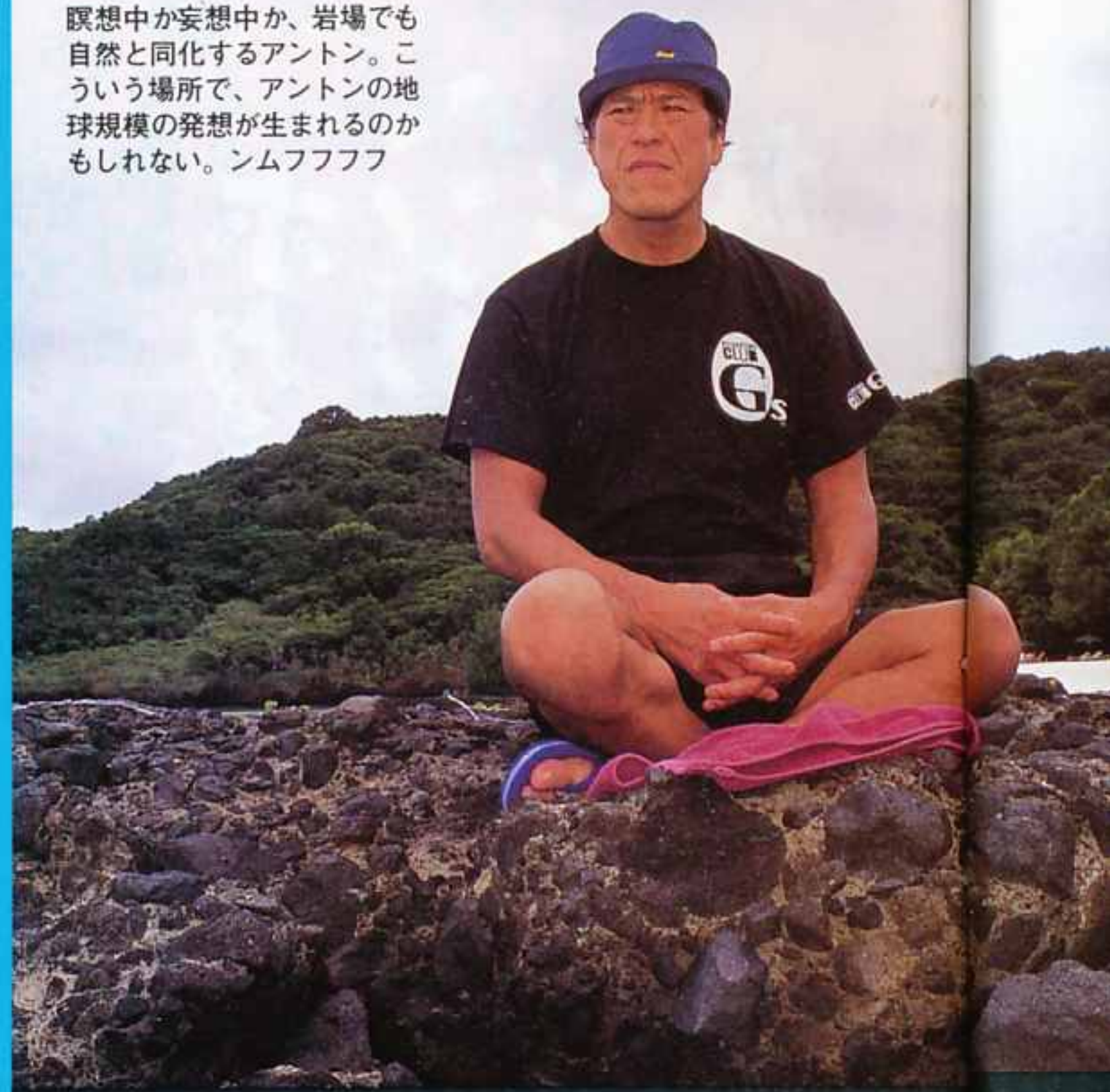
電撃和解！三沢とウィリアムスが握手成立！

「リメンバー・パールハーバー」と、三沢への報復を宣言していたウィリアムス。7月20日博多大会の三沢の試合直後にリング上に乱入したが、いきなりの握手を要求。「全日らしくない行為なので報復はしない」と語り三沢にもエールを送った。何のこっちゃ!?

トン。昔から
技の枠を遥か

【写真上】これが“イノキ・アイランド”と言われる、約5万坪の猪木島のパート1（ちなみにパート2は約4万坪とも言われる)。島の中には巨大な落とし穴があり、大蛇が住む。って、それは昔の東スポの巌流島だっつーの。【写真中】G－EGGSの永田裕志と浜辺にいる白覆面はいったい誰なんだ!?　この白覆面は『PRIDE.10』のリングに現れるのか？　【写真下】猪木、永田、石沢の3ショットはここならでは。VINA!　イノキ・アイランド

っぱりアントンは
ング・オブ・キングス”
だった!!

アントン総帥は、パラオの大自然の中で、「自然と『共生』するんじゃなく、『同化』することが大事というかね。ンムフフフ」と言った。プロレスも、“闘い”と共生するんじゃなく、闘いと『同化』するのが大事というかね。どうだい？　ダーーッ!

久々に本誌登場!!
人類史上最大の世迷い人・Showが
アントニオ猪木inパラオをリポート

ああ、パラオには星があった……

文・写真／大谷"Show"泰顕

『ああ、東京には星がない……。』

かつて、山口日昇編集長が言うところの「ちっちゃい頃の『紙プロ』」で、僕が書いていたコラムのタイトルである。

実際、東京には星が見えない。僕の実家のある埼玉（県北）には星があるのに、東京に来てからほとんど星を見たことがないのだ。

まあ、そんなおセンチなことを書いて、読者や周りの方々からお叱りを受けたこともあったが、あの頃の僕には本当に星が見えなかったのだから仕方がない。

●

6月下旬、僕はパラオ共和国に降り立った。今年は3月に一度パラオには行っているので、約3カ月ぶり、二度目のパラオの地である。もちろん目的は、今回もアントニオ猪木一行の取材。今回、猪木はPRIDE参戦を噂される石沢常光とG－EGGSの永田裕志を帯同させていた（謎の白覆面も登場）。

すでに僕はその時の模様を『週刊プレイボーイ』や『SRS・DX』に書いている。だが、ぜひともそれとは違ったかたちで誌面にして伝えたいと思ったことがあった。

パラオには伝説の猪木島がある。その広さは推定5万坪（！）とも言われ、約20年前に猪木が"熊殺し"ウイリー・ウイリアムスと闘う前に、ウイリーの打撃を見立てて火炎槍特訓を行った島としても知られている。

普段は無人島のため、当然だが電気もガスも水道もない。ただ底まで透き通った海と、生い茂った森林と、真っ青な空があるだけだ。つまり大自然のみに囲まれた、まさに非日常的空間なのだ。

そこで猪木をはじめ、石沢も永田も海に潜り、魚と戯れ、特に今回が初のパラオ体験になる永田は伝説の火炎槍特訓まで猪木から直々に課せられていた。

「いろんな選手にいろんな体験をさせたいと思っているんだけど、たまたま俺なんかは忙しいからね。まあ、ズバリ言って、残念なことに長州も藤波も、ここに来たことはねえんですよ。ただ、長州の場合はロシアのイベントの時にグルジアまで来ていたという部分があるし、藤波も最初の頃はケニアにも連れて行っているしね。だから、どっかで『ビジネス』っていう部分で守りに回ると、人間が小さくなるというか。だから自然と同化するという体験を彼らに呼び起こしてもらいたいなと思うよね。小さな枠にこだわっていると、その頃の体験を忘れちまうからさ」

なるほど……！

猪木の言葉に思わずうなった。

「ただ、ここに来ても、すぐみんなは『遊び』に来ているように思うんだよね、ンムフフフフ」

実際、永田も「こんな世界を見せられたのは北朝鮮以来。感動ですよ」と、大自然と、猪木のスケール感に圧倒されていた。

しかし、一見しただけでは「遊び」にしか見えないようなことが、実は非常に重要なのだということが、僕には今回よ～くわかった。えっ、読んでる人にはわからない？　いやいや、僕にはわかったのだ。

もし読者にわからなくても、それは「猪木と共にパラオを旅した者の特権」としか、ここでは説明ができない！

それでもあえて言えば、確かにニッポン国という島国の中であくせく働くのも大事なことだが、それとは違ったところで、自分を見つめ直すことも必要なのだ、と猪木は言いたかったのに違いない。自分を見つめ直すことも「仕事」のうちというか、「仕事」のなかには「遊び」も含まれるというか、うまくは言えないがそんな感じだろう。

そういえば、猪木は僕にこんなことも話してくれた。

「みんなさ、『格闘芸術』って一概に言われたってわかんねえよねえ？　俺もこうやって語りながら、自分自身を探してるんだよね。言葉にしないと、頭に描いてることとは違ったりするから。だから、たぶん『格闘芸術』っていうのは、こういう環境のなかでも学べるものなんだと思うんだよ」

「格闘芸術」をパラオの星の下でも考えているとは。う～ん、さすがは猪木！

失礼ながら、「団体」という枠に凝り固まった、もっと言えば、「プロレス」という枠に凝り固まった、多くの日本のプロレスラー（＝格闘家）の話とは段違いの迫力を感じてしまった。

といっても、そんな僕も、ほんの2～3年前までは猪木の話が少しも理解できてはいなかった。それが、パラオの大自然のなかにいると、そのスケールのデカさと"世界観"がダイレクトに伝わってくるのだ。

本当に猪木の言う"気づき"とはこのことである。そして、そんな猪木の発言を聞くうちに、辺りは真っ暗闇となった。空には満天の星が見えはじめる。しかもすぐ手の届く距離に、である。ふと気づけば、僕の目の前には北斗七星があった。北斗七星を"間近"に見るなかで、猪木がこんなことを言った。

「反対側には南十字星があるんだよ。見えるよ、今日はたぶん。でさ、偽者の南十字星もあるんだよ。そいつの方が大きいんだよ、柄が。大柄というかね（笑）。だから、みんな惑わされるんだよ」

猪木の言う通り、反対側には本物＆偽者の南十字星も見えた。

ああ、東京にはなくても、パラオに星はあったのだ。

要は、小さな枠にこだわって、惑わされっ放しの僕のような人間には、見える星すら見ることもできない。なんだかそれが、少しだけだがわかったような気がした。

ああ、パラオには星があった！

なんだか、よくわからない人もいるだろうが、最後に一つだけ言わせてほしい。

VIVA！　アントン（ヒャッ!?）

瞑想中か妄想中か、岩場でも自然と同化するアントン。こういう場所で、アントンの地球規模の発想が生まれるのかもしれない。ンムフフフフ

昔懐かしき、火炎ヤリ特訓を永田相手に行うアントン。昔からアントンのトレーニング方法は、プロレスや格闘技の枠を遥かに超えていた。ヤリますかーッ！

やっ

"素敵ン

まさに自然と同化するアントン。こんなときにも、アントンは自分自身にも"気づき"を与えているに違いない。ま、こんなところでいいですかーッ！

8・27灼熱の西武ドームで
「総合的な実力なら一族最強」の
呼び声の高い、あのヘンゾ・グレイシー戦決定!!

「『ボクが負けるとしたらヘンゾ』って、ボクが言ったんですか? じゃ、そうじゃないですか?(ニコニコ)」

『PRIDE.10』の主役はこの男

聞き手/山口日昇
interview by Noboru Yamaguchi
撮影/森"モーリー"鷹博
photographs by Takahiro Mori

最大のピンチ到来か?

桜庭和志

No.27のサクラバマスク・プレ
当選者発表付き P17へGO!!

8・27では、新日本プロレスのケンドー・カシンこと石沢常光と闘うと噂されていた〝もうひとつのグレイシー〟、ヘンゾ。去る6・4の『PRIDE.9』では、観戦に来ていた石沢とリングサイドで電撃的な握手を交わした。そのシーンばかりがクローズアップされていたわけだが、実はその場面のちょっと前にリング上から挨拶したヘンゾは、「ミスター・サクラバと闘いたい」と言っていたのだ。

そして締切直前（というか過ぎてる?）、急転直下、ヘンゾの第一希望通り、西武ドームで「桜庭和志vsヘンゾ・グレイシー戦」が組まれたというビッグ・ニュースが飛び込んできた。

サクにとっても、『PRIDE』にとっても大きな分岐点となる灼熱の西武ドームで、はたしてこの両者によってどんな闘いが繰り広げられるのか――。

〝vsグレイシー〟という見方もできれば、それを外して、〝総合系最高峰の技術戦〟という視点から見ても、楽しみなことこの上ない一戦となる。

テンションが上がるこちらを尻目に、「いつ何時、相手が誰になろうと呑気」なサクは、「呑気が一番!」とばかりに、サク節を展開してくれた。

この男、やっぱり、いつ何時でも面白いです（ニコニコ）。

格闘 CHAOS 2000

――今日は、桜庭さんが今後なにと闘っていくのかっていうのがテーマです。

桜庭 今後……。あ! 自転車のカゴにゴミを入れたヤツ!

――へ?

桜庭 チャンコ部屋と道場を往復する自転車があるんですよ。そのカゴに韓国エステのクシャクシャに丸めたチラシが入っててぇ。これですよ、これ!

――「肩こり解消」と書いてありますね（笑）。

桜庭 あと「欲求不満解消」とか（笑）。

――桜庭さんは、いま欲求不満じゃない?

桜庭 ないですね（ニコニコ）。

――またシレーッとした笑顔で（笑）。

桜庭 あ! そういえば「スモーカーがどうしても許せません」ってハガキが来たんですよ。それも頭にきました。「桜庭選手はタバコ吸ってるんですよね。別に恨みとかそういうのはないですけど、ボクはどうしてもスモーカーは許せません」って感じで。

――スモーカー撲滅運動の人かなんかですかね（笑）。

桜庭 お前に煙吹きかけたか! お前ん家の前に吸殻捨てたか! やってねえじゃねえか!

――あ、熱い（笑）。

桜庭 ボクはタバコ吸うときは、絶対一緒にいる人に「吸っていい?」って聞くし、携帯灰皿もちゃんと持ってますから!

――マナーは守ってるゾ、と。

桜庭 じ、じゃあバイクに乗ってたら、みんながみんな暴走族なのかよって感じでしょ? バイクとか乗ってると、イヤな顔されたりするじゃないですか。それと一緒で、国で許されてんだから、いいじゃねえかって。

――おっしゃる通りです（笑）。ところで、Y印の事件、どう思います?

桜庭 あ、ボクもアタりました。Y印じゃないけど。腹こわしました（ニコニコ）。

――あ～、記者会見!（桜庭和志は7・12の記者会見を「食あたり」で欠席した）。しかし、時事ネタうまく使いこなしますよね（笑）。

桜庭 でも、そう発表したら、記者の人から笑いが漏れたっていうんですけど、そこで笑いが出たっていうのは、どういうことなんでしょうねぇ?

――ズバリ言って、「また始まった」ということでしょうね（笑）。Y印の事件って、確かに食品の管理がズサン云々というのは当たり前の話としてあるんだけど、でも消費者とか新聞もやり過ぎのような気がしますけどね、ボクは。まあ、「私は寝てないんです」っていう、あの社長も大概ですけど（笑）。

桜庭 あれはヒッドイですよねぇ。そんなことになってんだから、当たり前だろって。

――それに噛みついてる記者もいましたね。「俺だって寝てないんだよ!」って。なにを争ってんだって（笑）。

桜庭 でも、そういうこと言ってる記者は、全部シッカリしてるんですかねぇ?

――そんなはずない（笑）。でも、大新聞の社説の「食品を扱う会社の管理責任がどうのこうの」とか、関係ない人までヒステリックに〝正義感〟を振りかざすのは、どうかと思うんですよねぇ。「文句のための文句」ばかりが大きくなっていくと、問題そのものとかけ離れていきますからねぇ。

桜庭 あ～、他人の失敗にツッコミ入れちゃって。他人の失敗にツッコむ前に自分の心を改めろ!ってこと、たくさんありますよねぇ。「悪いところばかり見てグチグチ言うんじゃなくて、これからどうすればいいのか、お前も一緒になって考えればいいじゃねえか」っていうことありますよね。

――そういうことです（笑）。日本人の体力の低下の根本的な原因はなあに? とか、いろいろ考える問題はあると思うんですよ。あと、牛乳にあたった人や周りの人が「フザけんな!」と怒るのは当然なんだけど、100円かそこらの牛乳で100%安全を買えると思ってるのも、なんか違う気がするんですよねぇ。

桜庭 そう言われりゃ、そうですけどね。外国に行ったらそうですよね。

――ボクら、小っちゃい頃は駄菓子屋に行って「そんなもの食べちゃダメよ」って言われるようなもん食べてましたから

Kazushi Sakuraba

ヘンゾってこんな奴

血縁関係ではヒクソンの甥にあたる、グレイシー柔術の代表的選手。早くから打撃を取り入れたグレイシーらしからぬ闘いぶりは、神秘性こそないが、総合的な実力ではヒクソン以上という声も多い。今年はアブダビでも優勝。KOKでは田村に敗れたものの高い評価を得た。日本でのVTではアレク、菊田を破り、いまだ無敗を誇る

これが道場とチャンコ部屋を往復するチャリのカゴに入れられていた韓国エステのチラシ。こーゆーことをすると、そのうち神様に〝まんぐり返し〟をされます

ね（笑）。でも自分で判断して食うわけだから。「買ったものは、なにがなんでも安全だ」っていう幻想も通用しないですよね。
桜庭　うん、幻想ですね。自分の身は自分で守る。
——そういう時代の状況もマット界と被ってますよね。ごく一部のファンもインターネットとかで、言いたい放題だったりするじゃないですか。「ファンだったらなにを言っても許される」という空気もありますからね。
桜庭　ああ〜、ボク、インターネットって、あんまり好きじゃないですね。全部が全部じゃなくて、いい意見や考えさせられる意見もありますけどね。責任持たないで、名前も住所も書かずに文句をつけてきたりしますからね。
——「文句のための文句」ですね。
桜庭　そういう人は嫌いです（きっぱり）。ボクがホイス（・グレイシー）戦でタップしてたとかいう書き込みもあったじゃないですか。前にも言ったけど、ルールもわからないでウダウダ言わないでほしい。タップは3回以上ですから。ボクは2回しか叩いてないです（ニコニコ）。
——そういえば桜庭さん、ホイスよりも、お兄さんのヒクソンですよ。船木戦で、船木さんが落ちた直後に蹴りを入れたことを怒ってましたね。
桜庭　あれは、やっちゃいけないことですよ。家でテレビで見てたんですけど、蹴飛ばした瞬間にカチーンときましたね。「なんだコイツは！」って。他の雑誌とかでも言ったけど、死んだ人間を何回も刺してるのと一緒ですから。ヒクソンは「重かったからどかした」って言ってたけども、どかすにもどかし方があるだろ！　足でどかすって、あんまりよくないじゃないですか。
——〝足蹴（あしげ）にされる〟っていうのは、日本人にとっては屈辱ですからね。
桜庭　あ〜。きっと、そういう意味でカチンときたんですよ。あれが手で押してどかすなりしてたらそうでもなかったんでしょうけど。じゃあ、あれは日本人しかカチンとこないんですかね？
——そうかもしれないですね。
桜庭　逆に言えば、「侍の国」的にはカチンとくることですよね。ボクん家は農家だけど（ニコニコ）。
——桜庭さんって、ホント、日本人って感じがしますよね。いい意味で（笑）。
桜庭　ウヒャヒャヒャ。ボク、顔が日本人ですから。

向こうが（ヒクソン）が背中向けてるのに追っかけたって……足早そうですからね

——さっきヒクソンの名前が出ましたけど、ヒクソンが小川直也の名前を出して、小川さんも「前からやるって言ってるだろ」と言って、実現に向けて動いてる雰囲気もありますよね。横取りされたっていう意識はないですか？
桜庭　全然ないですよ。ボクがやりたかったのは去年ですから（ニコニコ）。気持ちが変わりました。もうどうでもいい。悪い意味じゃなくて、「やるんだったらどうぞ」っていう。
——でも、「桜庭vsヒクソンは絶対にやってくれ」という声は、実に大きいですよね。
桜庭　でも小川さんがやって、ギャラの高騰がストップになるならいいんじゃないですか。
——ボクは、ぶっちゃけた話、「小川vsヒクソン」も「桜庭vsヒクソン」もどっちも見たいんですよ。でも、なんでヒクソンは桜庭さんの名前出さないんでしょうね？
桜庭　どうなんでしょうね？　嫌いなんじゃないですか。向こう的にはボクの顔がムカついて、ボク的には向こうの顔がムカつく（笑）。
——わかった。桜庭さんはヒクソンの足クセが悪いと思ってて、ヒクソンは桜庭さんの足クセが悪いと思ってるんですよ。ホイラー戦、ホイス戦を見て（笑）。軋轢のキーワードは〝足クセ〟ですね（笑）。
桜庭　ヒャハハハ。ボク的には落ちた人間を蹴飛ばすのはいけないことだと思って、向こう的には寝てる相手を蹴るのがいけないことだと思ってると。同じことなのかもしれないですね。生活してる環境が違うから。でもね、そういう意見とかを始めとして、グジュグジュ言ってるじゃないですか。それ、こないだ（ビル・）ロビンソンさんと『ゴン格』で対談したんですけど、ロビンソンさん的には「英語で聞く分にはバカにしてないよ。普通に言ってるし、逆に誉めてる部分もある」って言ってましたね。「マスコミの訳し方がいけないんだ」って『ゴン格』の人が怒られてました（笑）。
——ガハハハ！　訳の問題だったら、グレイシーもそんなに悪意はないかもしれないですね。
桜庭　だから、ヒクソンとはやりたい人がやればいいと思うんですよ。ボクはやったことがないから、やってみたいという気持ちもあるけど、向こうが「やりたくない」って言うんだったら、こっちも別に。お互いにやりたい人同士がやったほうがいいと思うんですよ。
——でも、あとボスキャラ一人だけだから、桜庭さん的にはメチャメチャおいしいじゃないですか。
桜庭　おいしいけど、向こうが背中向けてるのに追っかけたって……向こうのほうが足が早そうですからね。鬼ごっこやって、どうせ逃げられるヤツを追っかけるんだったら、他のヤツを捕まえたほうがいいじゃないですか。
——8・27では、〝もうひとつのグレイシー〟というか、ヘンゾ戦も話に出てますね（この時点では未発表）。
桜庭　やっぱり、ヘンゾは立ち技もでき

格闘 CHAOS 2000

るし、寝技もできるから。総合的には彼が一番強いと思いますよ。

――「ボクが負けるとしたら、フランク(・シャムロック)とかヘンゾのほうが可能性が高い」って言ってましたよね?

桜庭　あ? 言ってましたっけ? じゃ、そうじゃないですか?

――ズコッ! 健忘症か!

桜庭　いや〜、最近、殴られ過ぎて、忘れ物がヒドインですよ。

――「忘れ物がヒドイ」(笑)。

桜庭　家を出るときも、出て、車のエンジンかけて、「あ、忘れた」って必ず一回戻りますから。

――そういえば、今日は日曜日なのに、さっき「今日は水曜日だから、明日は始球式だ」って言ってましたからね(笑)。

桜庭　ヒャハハハ。木曜日が始球式っていうのは覚えてるんですよ。

――ヘンゾには"グレイシー一族"という感覚あります?

桜庭　あんまりないですね。彼はUインターとかに来ても面白かったんじゃないですか。他の人はちょっと厳しいけど。

――なるほど。ヒクソン、ホイス、ホイラーは、バーリ・トゥードしかできないっていう考え方もできますね。

桜庭　ヘンゾはいろんなことできますからね。

――KOKルールで田村(潔司)さんともやってますからね。

桜庭　面白かったですか?

――はい。ボク的には面白かったです。

桜庭　じゃあ、できるんですね、やっぱり。

――起き上がるときに、ヘッドスプリングやってましたからね。技術のせめぎ合いの中で"魅せる"っていうことができますよね。

桜庭　話を聞いたら、同じぐらいの体重みたいですね、83〜84kgぐらいだって。もしやったら、面白い試合をしたいですね。

――で、仮に"vsグレイシー"が、桜庭さん的に一段落してるとしたら、桜庭さんが今後なにと闘っていくのかっていうのが実に興味あるところなんですよ。

桜庭　まずは………。

――チャンリンコのカゴにゴミ入れた奴?(笑)。

桜庭　ぶぁ〜。あれは腹立つなぁ。自分のチャリンコじゃなくても、カゴにゴミが入ってるのを見ると腹立ちますからね。持ち主が自分で入れてるんならいいんだけど、たぶん違いますからね、空き缶とか(笑)。どうしてそんなことするんですかね?

――さあ(笑)。桜庭さん、ゴミを入れたことないんですか?

桜庭　ないです! 盗んだことはあるけど(笑)。

――ガハハハ! 常識ってもんは難しいですねぇ。

桜庭　でも盗んだっていっても、ホントに錆びだらけの、何年もそこに放置されてたようなやつですよ。盗むとき、自分でも考えましたから。だけど、それで警察に捕まった(笑)。盗難届けも出てなかったからヘーキでしたけど。

――詳しいことは『ぼく。』(東邦出版刊)参照ってことで(笑)。ところで『ぼく。』は爆発的に売れてるらしいですね。

桜庭　はぁ。よかったです。

――おまけのステッカーも模様替えしたし。

Kazushi Sakuraba

桜庭　二番目のステッカーのほうがいいですね、ボク的には。

――と、『ぼく。』の著者が言ってます(笑)。その『ぼく。』が売れたり、CMのイメージキャラクターになったりだとか、メチャメチャ忙しいんじゃないですか?

桜庭　たま〜に怒るときあるんですよ。一人で事務所の中で「俺は芸能人でもなんでもねえゾ! 俺の仕事はいい試合をすることだゾ! めんどくせえよぉぉ!」ってブツブツ言ってます。

――ガハハハ! めんどくさいだけじゃないですか。

桜庭　でも、それで練習できないこともあるんですよ。

――取材もひっきりなしらしいですからね。取材に来てて言うのもなんですけど(笑)。

桜庭　まあ、専門誌は、受けるの当たり前だからしょうがないんですけど。

――いま、桜庭和志はホントに"旬"ですからね。

桜庭　顔を売れる時期にバッと売っとかないと。そういう商売だから、それはそれでいいと思うんですけど、いまだけですからね。

――また淡々と(笑)。

桜庭　そういうのはいまだけで、あとは結果残せば、それを保てるじゃないですか。で、結果を残すためには、普段の練習が必要だから。取材も1日1〜2本だったらいいんだけど、それ以上だとキツイですよね。

――でも桜庭さんは、売れっ子になっても全然変わんないですね。

桜庭　試合も変わってないですよ(ニコニコ)。

――当然グレードアップはしてるけど、ズバリ言って、キングダム時代とまったく闘い方は変わってないというか(笑)。あ、武田鉄矢さんとCMで闘ってましたね。強かったですか?

桜庭　強かったですよ!

――ガハハハ! ウソだ!

桜庭　いや、体が柔らかかったんですよ。本人も「柔らかい」って言ってましたよ。あれ見たかったんですけど、さすがに頼めなかったですね。あの、ハンガーをヌンチャクみたいに回すやつ。

――あ、『刑事物語』ですね(笑)。「だいぶ名前が売れてきたな」っていう実感はあるんですか?

桜庭　小川さんもいっぱい出てるじゃないですか。あの人は元から(柔道の)世界チャンピオンだったから、この世界に入ったときからバーンとなりますけど、ボクはなにもないから。でも、なんとなくわかりますよ、デビューしたての頃といまが少し違うっていうのは。

――だいぶ違いますよ! デビューしたての頃といまじゃ(笑)。

桜庭　前よりは知られてきたっていうのはありますけど、そのへんとか歩いてても、そんなにワイワイ言われないですよ。

サクマスク当選者発表を喰らえ!!(5・1使用バージョン)

『紙プロ』史上最大の応募者が殺到したサクマスク。その当選者は!(ドラムロールの音)狛江市の山口陽一クン(20)に決定! 泊を付けるために、もいっちょサクに被ってもらったゾ。羨ましすぎますよォォ!

――でも、これをピークにしてほしくないんですよね。

桜庭　で〜も、年齢的にもキツくなってきましたよ〜。

――ガハハハ！　縁側で茶飲み話してるんじゃないんですから。

桜庭　でも、ホント厳しくなってきますからね。

――いや、それはわかりますよ（笑）。じゃあ選手として、いまがピークっていう感じ？

桜庭　それはないですけど。体力が落ちるだけで、体力以外のものが身に付いてきてますから。

――頼もしい。そういったことも含めて、まだまだ上に昇っていってほしいなあっていうのはありますよね、意識のレベルとして。

桜庭　上がればいいですけどね。どうなるかわからないです。ここを出た時点で車にひかれるかもしれないし（ニコニコ）。

――ガハハハ。そういえば、去年は「スーパーサイヤ人になりたい」って言ってましたよね。

桜庭　……それはないッスねぇ。やっぱりなれないッスよ（笑）。スーパーサイヤ人って言っても、わかんない人もいるだろうし。

――それ言ってたのは『PRIDE．5』（99・4・29名古屋）のビクトー（・ベウフォート）戦の前だったかな？　いまやもう尻尾がグングン伸びまくってる状態ですからね。

桜庭　いや〜、なってないですよ〜。あ！　今度は……デスラーになりたい。

――は？『宇宙戦艦ヤマト』の？

桜庭　はい（笑）。

――なぜ時代を遡る（笑）。

桜庭　ヒャハハハ。それこそ、もっとわかんない人いますよね。ただポッと思いついただけです。デスラーみたいに顔真っ青にして、「胃が痛てぇ」って感じ。そういうのもいいかなぁって（笑）。

――よくわかりません（笑）。桜庭さんは、UFC―J（97・12・21横浜）で優勝した直後の頃は「進化するプロレス」って言葉を使ってるんですよ。「進化した」っていう部分で言うと、だいぶ進化してますよね。で、これからバーリ・トゥードの裾野を広げていくのか、「プロレス」をより進化させていくのか、方向性としてはどっちですか。

プロレスラーでも格闘家でも、スーパーサイヤ人でもデスラーでも、どっちでもいいです（ニコニコ）

桜庭　いまとなっては、どっちでもいいですよ。格闘家かプロレスラーかっていうのも、いまとなってはどっちでもいいです。

――スーパーサイヤ人でもデスラーでも、どっちでもいい（笑）。

桜庭　あ！　デスラー、死んだと思ったら生きてたんですよね。なんか宇宙にシューッて流されてって。

――（無視して）でも今後、リングに上がるときに、大きなテーマもあったほうがモチベーション上げやすくないですか？

桜庭　そうですね。でも、なんにも考えてないです（ニコニコ）。

――ズコッ！　もはやその作戦にはひっかかりません！（笑）。

桜庭　ただホントに、次にまたいい試合ができればいいと思ってるんで。

――でも〝いい試合観〟っていうのも年々変わってきたりしない？

桜庭　それは、見てるお客さんが変わってきてるんじゃないですか？　ボク自身はガラッと変わったりはしてないんで。

――ウチでは『PRIDE』とかを中心としたものを暫定的に〝新プロレス〟と呼んでるんですけど、いわゆる〝純プロレス〟というのは、もうWWFのようにアメリカ化していくしかないんですかね。

桜庭　そうじゃないですか？

――真ん中のプロレスが、ちょうどいま宙ぶらりんというか、ポッカリ浮かんだ雲みたいになってますよね（笑）。

桜庭　あぁ〜、たしかに。どっちなのかっていうのがわからないのが一番いけないと思いますね。前に『YESとかNOとかハッキリ言えない日本人がどうの』とかいう本が流行ったじゃないですか。

――それは『NOと言えない日本人』のことですか？（笑）。

桜庭　それです（笑）。ハッキリ言えないから宙ぶらりんでいるんじゃないですか？

――全日本分裂とかに関しては、どう思いますか？

桜庭　向こうの人にしてみれば大変だとは思いますね。ボクも何度もそれを経験してるんで。

――分裂・倒産は経験済みですからね（笑）。

桜庭　でも、ボクはそのときは危機感ってなかったんで。

――桜庭さんは、浅い部分での危機感は全然持たないもんなぁ。

桜庭　「どうにかなるだろう」と思いま

すから（ニコニコ）。

―スーダラ節（笑）。でも、深い部分での危機感は、感覚的にキャッチするでしょ。そこが恐ろしいですよね、桜庭さんは。

桜庭　いや、ボケてるんですよ（ニコニコ）。

―だから、縁側の爺さんじゃないんですから（笑）。「全日に出てもいい」みたいな発言が『東スポ』に載ってましたね。

桜庭　例えば「出てくれ」って言われたら断る理由はないから。ただ、「大きい人ばっかりだから、ボクは合わないんじゃないですか」って言いましたけどね。

―正式な話としては全日本や新日本からは来てないんですか？

桜庭　来てないと思いますよ。ボクまでは回ってきてないです。やっぱり、高田さんぐらいのサイズだったら合うと思うけど、ボクは小さすぎるから無理じゃないですかね。

―『PRIDE』のような〝場〟が大きくなっていくことでマット界は活性化してるけど、でもいわゆる純プロレスのほうになかなかフィードバックしていかない。というか、純プロレスはこじんまりしてきてますよね。

桜庭　だから、みんな出ればいいんですよ。幻想だけじゃなくて、実際の実力をみんなで試してみればいいじゃないかっていう。試してみて、それからまた、それぞれのスタイルのプロレスに戻って、その実力のランキングでやれば、そっちのほうが面白いんじゃないですかね。外でいい結果残したら、上のほうに行けば。

―そうしないと、埋もれる選手がたくさんいますからね。

桜庭　はい。見てるほうもそう思うんじゃないですか？「俺は一番強ぇんだよ、コノヤロー！」とか言ったりするじゃないですか。どこまでホントなのか、信じられないので。

―ガハハハ！　飄々と、そしてハッキリと。それが桜庭スタイル（笑）。

桜庭　それは正直、みんな思ってることだと思うんですよ。それを「俺が一番強ぇんだよ」っていうのをホントだと思ってる人たちっていうのは、ある意味で宗教と一緒ですよね。

―「最高ですかぁーっ！」（笑）。

桜庭　ヒャハハハ。「最高ですかぁーっ！」「最高で〜す」って言ってるのと同じだと思うんですよ。ホントに最高かどうかは、洗脳されてない人が決めることだから。これからは、出てきた人がしっかり結果を出さなければいけないと思うんですよね。

―やっぱり個人で責任を取る時代なんですよね。100円で100％の安全を買えないように、団体や会社にいたらなんとかなるっていう時代じゃないですからね。そごうも潰れたし（笑）。束縛されずに自由にやれるようになった分、なにかに依存せずに自己責任のもとにやってく時代なんでしょうね。

桜庭　牛乳も、ちょっとお金貯めて、牛一頭買ったほうがいいですね。自分で絞って飲む（笑）。

―ガハハハ。今後は、『PRIDE』ではボブチャンチン戦以外は負けなしの桜庭さんが、「どうやって負けるんだろう？」という部分でも、ある意味で注目されてますよね。「負けっぷり」まで注目されるという（笑）。

桜庭　ただでは負けないと思ってやってるんで（ニコニコ）。

―試合前は「絶対勝つ」と思ってる？

桜庭　絶対っていうか、「勝ちたいけども、負けるかもしれないなぁ」とか。

―曖昧（笑）。

桜庭　どっちに行きすぎてもダメなんですよ。いままでの経験上。「よし、絶対勝つぞ！」って思ってもいい結果は残らないし、「今日は絶対ダメだ」って思ってもダメだし。中途半端なところが一番いいんですよ。

―プロレスは中途半端なとこはダメだけど……。

桜庭　勝負に行く気持ちの面では中途半端でいい。でも、絶対こういう勝負のほうが緊張感もあって楽しいですよね。やってるほうも面白いですよ。試合の前までは「早く終わんねえかな」って思いますけど、終わったら「早く次やりたい」ってなりますもん。

―だから、桜庭さんが「純プロレスのほうに出てもいいですよ」って言ってても「ホントに出たいのかなぁ？」って思って。

桜庭　機会があればですよ。タイミングとかが最高にバチッと合えば、出たいですけど。

―でもズバリ言って、あんまり出たくないでしょ（笑）。

桜庭　……いまは。ちょっと前までは「出たいな」って思ってたんですけどね。こないだ（ホイスと）90分試合して醒めちゃいましたよ。なんかわかんないけど、いろんなことに醒めちゃいました。そのあと2ヶ月ぐらいキッチリ練習してないんですよ、怪我もあったから。

―ホイス戦はホント大仕事でしたからね。「ホイス戦よりも、次（2回戦）のボブチャンチン戦に出てきた桜庭を見て感動した」って、いろんな格闘家が言ってますよね。そんな状況でも、まだマスク被って出て来ましたからね（笑）。あのエネルギーの出し方をしたら、その後に醒めるのもわかりますよ。

桜庭　あのとき（ボブチャンチン戦）は、マスク被って出た瞬間に冷めてたから、「あ、こりゃ冷めてるな」って思って。

Kazushi Sakuraba

昨年暮れあたりから、アントン・フェイスを得意とするようになったサク。8・27西武ドームは、闘うサクも、見るファンも、きっとその一足が道となるはずだ。行きますかーッ!!

サク、〝女の子投げ〟披露（笑）

7・20西武ドームで行われた「西武vsオリックス」の始球式に我らがサクが登板した。ホイラーが見ていたら、〝まるで女の子のような投げ方だ〟と言われかねないフォームから、マウントならぬマウンテン（要するに山なり）なボールを繰り出した。さすが球技が苦手（本人談）なサクだが、この日は3回まで文化放送のナイター中継の解説もつとめた。超満員のプロ野球ファンのエネルギーを浴び、8・27同所での〝本番〟に出陣する。

——ファンもホイス戦で力を使い果たしたんですよ（笑）。

桜庭　でも、リングで脱いで投げたらワーッて盛り上ったんでよかったです。「違うマスク用意しときゃよかったなぁ」ってあとから思ったんですけどね。

——色違いとか。

桜庭　そうか！　色違いもよかったなぁ。

——だから、これから「色違いの桜庭和志」をどうやって見せてくれるんだろうっていう期待がありますね。

桜庭　わかんないなぁ。いまはまだボーっとしてるというか。でも、やったことのない人とはやってみたいですね。やっぱり、手が合うか合わないかは、やってみないとわからないので。手が合わなくても、いかに面白くさせるかっていうのも勉強になりますし。

——『PRIDE』そのものも、「vsグレイシー」の第一幕が降りたので、大きなテーマを打ち出しにくい部分もあるじゃないですか。桜庭さんがどんどん敵というか上位概念を作っていけると面白いんですけどね。やるほうは大変でしょうけど。

桜庭　あ！　やりたい相手がいました。

——一体、誰ですか！

桜庭　豊永稔と打撃合戦！

——ガハハハ！　どんな上位概念だ！

桜庭　見てるほうもハラハラドキドキしますよ。

——ハラハラドキドキの種類が違いますよ！　客を心配させてどうすんですか。

桜庭　ヒャハハハハ。

——稔クンは、今後どうなりそうなんですか？（豊永稔は、脳に腫瘍が発見されたため、6月に無念のリタイアを表明した）。さっき会ったら「引退撤回しますよ。もう大丈夫っスよ！」と力説してましたよ。

桜庭　もしかしたら、打撃なしの組技だけの試合とか、そういう系は出るかもしれないですね。本人も出たいようなこと言ってたから。スパーリングするときも、寝技だけっていうことにしてやるんですけど、「打撃もありじゃないと絶対やらない！」「今日は打撃ありだけど、やる？」とか言ってやります（笑）。

——ガハハハ！　まだイジメてる（笑）。でも正直なところ、稔クンがいなくなったら、桜庭さんは寂しいでしょ？

桜庭　あ〜、ストレス溜まりますね。

——さっきのチラシの韓国エステ行かないと（笑）。

桜庭　「欲求不満解消」（笑）。

——もちろん条件的なものが合ったらの話ですけど、桜庭さん的には、『PRIDE』以外に上がってもいいわけですか？

桜庭　『コロシアム2001』とかですか？　まぁ、条件が合えば。

——KOKルールは興味ない？

桜庭　ん〜、グラウンドでパンチないんだったら面白くない。顔、殴りたい（笑）。

——桜庭和志、衝撃発言。「顔、殴りたい」（笑）。

桜庭　前は殴りたくないって言ってたけど、それに慣れちゃうと、殴りたい。あ、それに、顔を殴っちゃいけないってことは、「しあわせチョップ」とかやっちゃいけないってことじゃないですか！　ボクの技がいくつか削がれるってことですから。

——なるほど（笑）。でもルールっていうのは、いまさらながらデカイですね。そろそろ統一ルールで「日本選手権」とか、やりたくないですか？

桜庭　いや〜、ルールで揉めるのはもういいです（笑）。それに日本の選手は一緒に練習してるから。同じ学校の選手同士で当たってくのと一緒で、やりづらいですね。勝っても負けても、あんまり気分いいとは思えないですね。

でもホントこれからですよ みんな出てくればいいのに それで勝てばいいんだから

道場の外で、高校2年生で空手部の櫛田クンと談笑するサク先生。兄弟みたいっスね
[高田道場オフィシャル・サイト]リニューアル・オープン!! http://www.takada-dojo.comです

——その期間は一緒に練習しないで（笑）。オープンにして、しがらみとか一切なくしてやったら、絶っっ対面白いですよ！「賞金3億円」とかにすれば各道場や団体も気合い入るだろうし（笑）。馬場・猪木時代にはできなかった「統一日本選手権」！

桜庭　見るほうは夢あるかもしれないけど、自分はトーナメントは、もうやりたくないです（笑）。

——1日1試合にすればいいんですよ。それを2年ぐらいかけてやっていく。

桜庭　2年はかけすぎ（笑）。

——じゃあ半年（笑）。その間は日本中がコーフンの坩堝と化す！

桜庭　1ヶ月か2ヶ月に1回ぐらいで。

——いろんな団体で主催興行を持ち回りでやっていくとか。現実的には難しいんだろうけど、オープンな土壌をつくる起爆剤としてはそういうのは必要ですよね。誰かがブチ上げてくれないかなって思うんですけどね（笑）。

桜庭　Uインターとかブチ上げたじゃないですか（ニコニコ）。

——あ、懐かしの一億円トーナメント。あれはまだ古い慣習やしがらみの真っただ中でしたからねぇ（笑）。でも、例えばそういうことが実現していかないと、桜庭さんたちがせっかく大きくしてきたものがムダになっちゃうような気がしますね。ヘビー級、ミドル級、ウエルター級と3階級ぐらいに分けて。

桜庭　あ、あとスーパーライト級とかメンソール級とか（笑）。

——エキストラライト・ボックス級とか。タバコの銘柄で分けますか（笑）。でも既成概念をブチ破っていかないと大きな渦

格闘CHAOS 2000

Kazushi Sakuraba

は起こりませんからね。これからどういう方向性に向かうかっていうのは、ファンにとっても大きな関心事ですよ。

桜庭 でも、ホントこれからですよね。だから、みんな出てくればいいんですよね。それでちゃんと勝てばいいんだから。それか、新しい変わったスタイルの人が出てきて、その人が勝てば面白いんですけどね。キックとか寝技とかじゃなくて、例えば忍術とか。

——忍術（笑）。

桜庭 いままでは忍術とか出てきてもダメだったけど、忍術のホントに強い人が出てきて、ピョンピョンピョンッて飛んで。あと、「気」でブワァ～ッてふっ飛ばしたり。合気道とか。出ればいいのに。

——いいなぁ、それ（笑）。

桜庭 ちゃんとタックルとか切る技術を覚えて。

——それ合気道じゃないですよ（笑）。

桜庭 ヒャハハハ。ベースは合気道で、「ナントカナントカ合気道」とかにして（笑）。

——でも合気道って、背中での当て身があるらしいですからね。

桜庭 背中でドーン！ってやるんですか？ それ、越中（詩郎）さんのヒップアタックみたいな感じですか？

——ガハハハ。実際見るとそういう感じになっちゃうんですかね？

桜庭 所詮、ツチノコと一緒で幻なんじゃないですか？

——その幻が見たいんじゃないですか。

桜庭 幻は幻ですよ。ツチノコなんているわけないじゃないですか。もし見たっていう人がいたら、その見た人がイッちゃってんですよ。酔っ払ってるか、寝ボケてるか（笑）。

——でも桜庭さんのローリング・ソバットや、しあわせチョップも、幻といえば幻だったでしょ。UFCが出てきたときは「バーリ・トゥードでプロレス技出すなんて、絶対に無理だ」って言われてたわけだから。

桜庭 でもダン・スバーンは出してたじゃないですか。ジャーマン（・スープレックス）とか。まぁ、あれはアマレス技でもありますけどね。そういえば、こないだアメリカ行ったときに、松井（大二郎）の前の試合でセコンドが「サクラバチョップ、サクラバチョップ」って言ってるんですよ。モンゴリアン・チョップは、向こうではサクラバ・チョップって言われてるらしいんですよ。で、どこに当てるのかと思ったら、ボディにやってた。「ボディは効かねえだろ」と思いましたけどね（笑）。

——『PRIDE.9』でも、セコンドのマーク・ケアーが「サクラバ！ サクラバ！」って言ったら、リコ・ロドリゲスが、モンゴリアンチョップやってましたね（笑）。

桜庭 あ！ 新しい技も考えたんですよ。名前は「殿様スライドパンチ」。

——ドキドキしますね（笑）。

桜庭 バックに回って、耳のうしろをグリグリグリグリッて。アゴの付け根の部分を真後ろからグリグリやると痛いんですよ。昔、安生（洋二）さんとかによくやられたんですけど。それで「痛てーッ」てアゴ上げちゃうとスリーパーに入られちゃう。それのスリーパー入らずにグリグリだけ嫌がらせでやるバージョン。気ィ狂ったみたいにグリグリグリッってやる（ニコニコ）。

——しっかし、よく新技を開発しますね。

桜庭 練習やってて思いついたんです。でも、『PRIDE』じゃグローブのアンコが邪魔でできないんですよね。できるんだけど、やりすぎると指が痛いから。

——殿様がスライドするパンチですか（笑）。それも贅沢な技だなぁ。

——今度の西武ドームでの入場はなにか考えてるんですか？

桜庭 いや、普通に。マスクは被るとしても、すぐは被んないですね。間を開けて。あ、面白い話ありますよ。ホイスを酒に誘った話。

——あ、アメリカでですね。

桜庭 いなかったです。飲んでて誘おうと思って電話したら、ホイスの道場は夜の8時で終わってて。もう帰っちゃっていませんでした。

——ガハハハ！ それは実に残念でしたね。しかし桜庭さんって、ホントに試合にならないと燃えないですね（笑）。

桜庭 「カーン！」と始まらないとね。ホンットに、ダメですね。

——ガハハハ！ 今回も大きな目標をブチ上げることはなく終わりました（笑）。

桜庭 はい（笑）。でも、次回もいい試合をしたいと思います。

【7月16日／東京・武蔵小山・高田道場の近くの喫茶店にて収録】

取材は、「サクvsヘンゾ戦」正式発表前のものなので、ヘンゾ戦に対する燃えたぎる想いは、うまく伝わらなかったかもしれないが（いつもか?）、サクの言葉自体は、いつ何時読んでも面白いはずだ。

いつ何時でもタダ者ではない桜庭和志という男が、8・27西武ドームのリングに、一体どんな闘い模様を立ち昇らせてくれるのか。

それを確かめに、行きますかーーーッ！

髙田延彦 VT復帰に向け 絶賛始動中!!

１月のホイス戦以来沈黙を保っていた高田延彦が、年内にＶＴ復帰戦に出陣する。『ホーリー５』での全日参戦なども噂されたが、プロレス復帰はいまのところ進展をみせていないようだ。ここのところ、ほぼ毎日道場でハードな練習をこなす高田は、サクが「極められてます」と語るほど絶好調。本誌にも「年内には面白い展開があるから。ね？」と爽やかに語った。「高田延彦の季節」が到来するのは秋か？　冬か？

サク＆稔コンビも 絶賛稼働中!!

本誌が稔との立ち話中、横切ったサクが稔に至近距離でガンを付ける。稔は「ヤ、ヤクザだ……」とボソッと呟く。立ち去るサク。連日ハードな漫才＆練習を繰り広げる２人だ。グラップリング復帰に向けて、頑張れ、稔。

"見る側"も"やる側"もギリギリの綱渡り!!
8・27"灼熱の祭典"『PRIDE.10』大接近!!

サク、藤田、石沢のプロレスラー3人衆に加え、エンセンらが、灼熱の西武ドームで、灼熱の闘いを繰り広げる『PRIDE・10』の全貌がようやく姿を現した。「vsグレイシー」というだけでは括れない、全世界の格闘技ファンが注目する一戦「桜庭和志vsヘンゾ・グレイシー」を始めに、プロレス・ファンど注目の石沢常光の『PRIDE』参戦の相手は、"最凶のグレイシー"ハイアンに決定した！　猪木イズムを携えて「世界」にタックルをブチかます藤田は、ケンシャムが相手。この驚愕のラインナップに、あと1～2試合が追加される模様だ。クーラーがあるとかないとか、どうだっていいんです！　迷わず行けよ、行けばわかるさ！　『PRIDE』新ステージの開幕だ！

これぞ等身大の"プロレスラーvsグレイシー頂上対決"だ!!

桜庭和志 vs ヘンゾ・グレイシー

5・1ドームでホイスを完封したことにより、残るはヒクソンの首ひとつ！　と、思われたサクVSグレイシー一族。しかし、ヒクソンよりも倒さねばいけない男が立ちはだかった。それがヘンゾである。一族イチの打撃テクニックを持つ男だけにホイラー、ホイスを大いに苦しめたサクの打撃にも「ボクには通用しない」と自信満々。言うなれば幻想によって巨大化したヒクソンに対して、ヘンゾは等身大の巨人なのである。だから、この一戦は、"等身大のプロレスラーvs等身大のグレイシー頂上対決"と言えるのだ。一本勝ち、頼むぞ、サク！

"ほ乳類最強の男"の初防衛戦！

藤田和之 vs ケン・シャムロック

"霊長類ヒト科最強の男"を下し、一躍ヘビー級ＶＴのトップに躍り出たことにより、早くも狙われる立場となってしまった藤田。それだけに今回のシャムロック戦は、もし負ければ「ケアーに勝ったのはフロック」といわれかねない、藤田にとっては過酷な一戦と言える。しかしＵＦＣ、ＷＷＦでの活躍によりアメリカではビッグネームのシャムロックを倒せば、猪木イズムの一端である、「日本発世界」をまたもや実現させることになる。闘魂のかけらを地球規模でバラまくことができるか？　迷わず行けよ、行けばわかるさ！

踏み出せばその一足が道となる！ 石沢常光の歴史的第一歩

Luca Atalla/GRACIE Magazine

石沢常光 vs ハイアン・グレイシー？

?

遂に現役の新日本プロレス所属レスラーの『ＰＲＩＤＥ』参戦が実現する！　その歴史的第一歩を踏み出すのはケンドー・カシンこと石沢常光。注目の対戦相手は、当初噂されたヘンゾから、その弟のハイアンに変更された。日本初ファイトとなるハイアンは、兄である"いい奴"ヘンゾとは正反対のキレたら何をするかわからない、グレイシー一族イチの"ワル""最凶のグレイシー"として有名。このハイアンと石沢。共に実力は未知数ながら、その潜在能力は誰もが認めるところであり、今大会で最も想像力が刺激されるカードである。

早くも正念場を迎えたアイブル 生き残りを賭けてタイマン勝負！

ギルバート・アイブル vs ゲーリー・グッドリッジ

『ＰＲＩＤＥ』初戦でビクトーに完封されたことにより、早くも正念場に立たされたアイブルはグッドリッジと激突。"ひたすら殴る黒人"というキャラが完全に被る両者だけに、生き残りを賭けた壮絶な一戦になることは確実である。

大舞台で炸裂するか、大和魂！

エンセン井上 vs イゴール・ボブチャンチン

昨年の9・12『ＰＲＩＤＥ・7』でボブチャンチンがケアーを失神させて以来、エンセンが熱望したカードが遂に実現！　グランプリではケアーに持ち味である、「殺しに行く」闘いが封じられてしまったエンセンだが、ボブチャンチンは「殺るか殺られるか」の闘いをするには持ってこいの相手。今度こそ大和魂大爆発なるか？

なぜこのカードが組まれたのか それでも地球は回ってるからです！

マーク・ケアー vs ボリショフ・イゴリ

コピィロフ、ハンの活躍で復権の兆しを見せるサンボ。そのサンボの元・世界王者が掣圏道を身につけたらどれだけ強いのか？　そんな今大会イチ、幻想を抱かせてくれるイゴリがケアーと激突。これは裏メインイベントだ（違う？）。

この男っぷりをあなたの自宅までお届けします!!

格闘男

の通販始めました。

各方面で超ド級の大反響!!

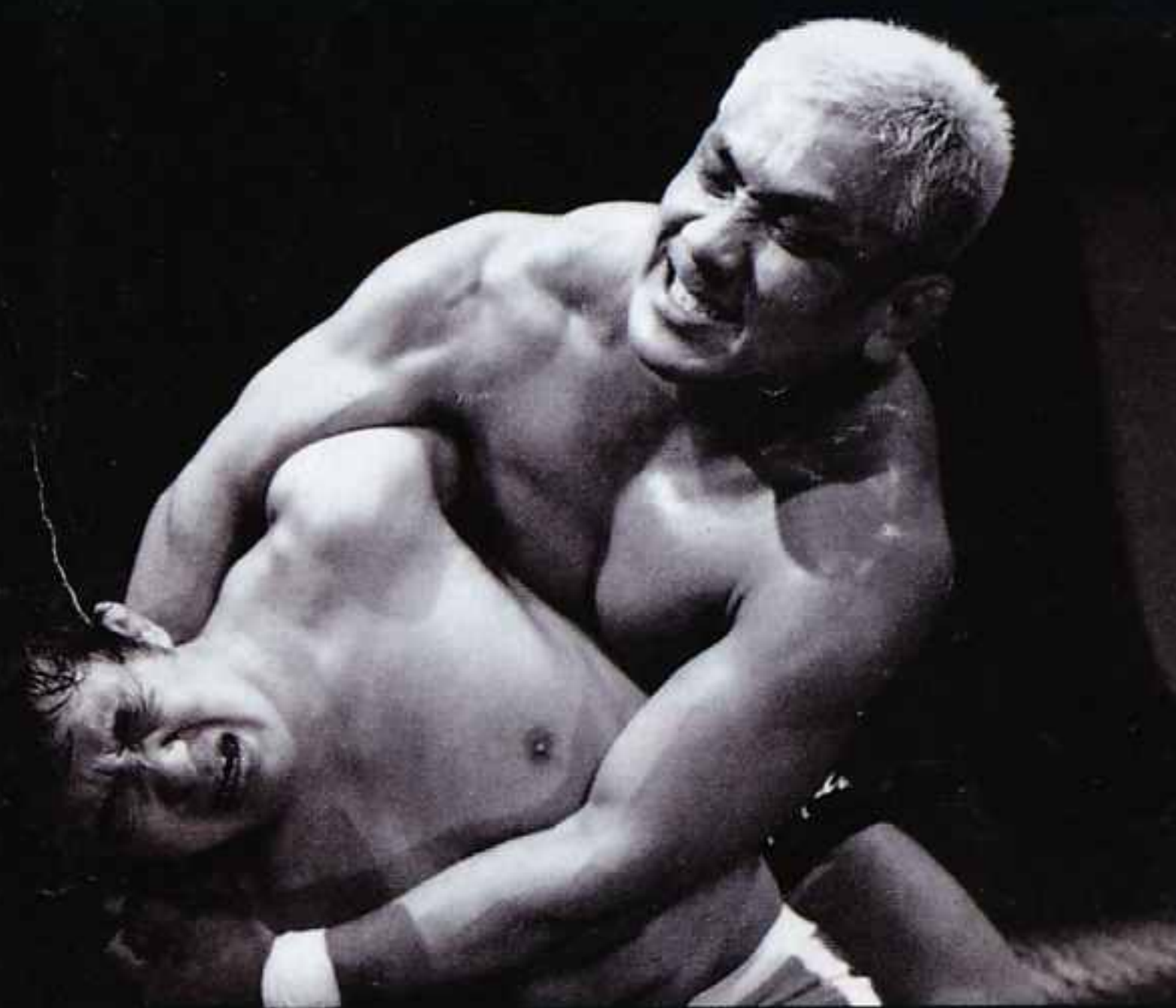
格闘男

荒木経惟
vs
11人のプロレスラー

天才アラーキーがプロレスラーとサシで勝負した!
格闘を職業とする男たちが、身体を張ってさらけ出した、
タイマン写真集!!
南部虎弾プロデュース
知性は肉体の中にある!!

天才・アラーキーが 11人のプロレスラーと ひとりひとりサシで 勝負した驚愕の写真集

「男を張る」――そんな言葉がピッタリとハマる11人のプロレスラーたちが大勢登場しているこの写真集。この写真集でしか見れない、“生身”をさらけ出した超貴重なカットが満載だ。コレを買わずに世紀末マット界を語ることなかれ! 全プロレスファン必見だ! さらに、この発売を記念してTシャツまで登場! さあ、キミも、この写真集に乗り遅れるな!

■奇跡! 桜庭和志vs藤田和之が夢のスパーリング共演!
■独占! サクが私服姿を公開!
■禁断! アレクが全裸を本邦初公開!
■怒涛! 村上一成が男っぷり全開!
■仰天! サスケの芸術は爆発だ!
■官能! H(エイチ)が脱ぐ! 縛る! 濡れる!
■情念! 石川雄規が丸裸を公開!
■妖艶! モハメド・ヨネが色気を大放出!
■驚愕! タイガーマスクがあんな姿に?
■純真! 藤田稔が大変身!
■貴重! 田中稔が普段は見せない素顔に迫る!

特製『格闘男』限定Tシャツとのセット販売もしまっせ!!

写真集+Tシャツ➡¥4500(税込・サービス価格)
Tシャツのみ➡¥2500(税込)
写真集のみ➡¥2500(税込)
送料は一律¥500(何冊でも何枚でも変わりません)

FRONT
BACK

Tシャツには計4種類あります
ネイビーボディー×ロゴ(白or赤)
サックスブルーボディー×ロゴ(白orオレンジ)
●ともにサイズはMorL

男を張るための通販方法

申込みは現金書留でしか扱っていません。希望の商品と、あなたの住所、氏名、年齢、電話番号、希望商品名を書いたメモを必ず同封して下さい。コレがないと、届けられません。くれぐれも、おつりのないようにお願いいたします。値段は左記の通り! お求めやすいセットなんていかがでしょう?

【現金書留送付先】
(有)メインキャスト
〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町36-2
ノア渋谷708号
『格闘男』通販係
お問い合せ☎03-5459-9199
※(株)ダブルクロスでは通販しませんのでご注意下さい!!

潜入現地リポート

髙田道場の特攻隊長 松井大二郎アメリカに突撃!!

『KING OF THE CAGE』という大会をご存じだろうか。その名が示す通りの金網マッチ。今、ロサンゼルス周辺の格闘技マニアの間で、なかなかの人気を博している。この『KING OF THE CAGE』に、高田道場の松井大二郎が出場。先日の『PRIDE.9』では流血アクシデントによる不完全燃焼の敗北を喫してしまった松井だが、雪辱を狙ってアメリカの金網バーリトゥード大会に乗り込んだのだ！　現地からロス在住のライター・山根由里さんがリポートします。

リポート&撮影／山根由里　構成／坂井ノブ

21日から米国入りしていたが、雑誌の取材や調整の練習などで休みはなし。試合前日の夕方わずかな自由時間をゲット。サンタモニカでショッピング（オモチャ屋）だ！

『KING OF THE CAGE』が開催されるのは、ロサンゼルスから車で2時間ほど内陸に入ったSAN JACINTOというインディアン居留地にあるSOBORA CASINO。はっきり言って、周りに何もない砂漠地帯のど真ん中。屋外に設置されたオクタゴンにはカリフォルニアの太陽がサンサンと照りつけている。試合が行われた6月24日は夏至に近く、また夏時間でもあり、開場の6時はまだまだ日が高く明るい。さらに、日があるうちはとにかく暑い。ここで、とても驚かされたのは集客状況！　こんなヘンピな場所にある会場だというのに、どこから集まってくるのか、広い駐車場は満車状態。入場を待つ客の列が、どこまでも長く伸びている。この日は最終的に、4700人の観客（主催者側発表）が屋外会場を埋め尽くした。

午後7時半の予定より少し遅れ、8時近くなって試合開始。試合形式は1R5分の2R制。2Rが終わって勝負がつかなかった場合は、判定になる。この日は全部で15試合がリストされていたのだが、この長丁場の大会を飽きもせずテンションも落とさず声援を送り続けながら観ている客の「濃さ」は、かなりものである。

3試合終了後に30分ほどの休憩。この頃になると周囲もかなり暗い。金網だけがライトに浮かび上がり、雰囲気も出てくる。

第6試合後の2度目の休憩時間には、『PRIDE』のPPV放送についてのアナウンス。『PR

試合前の練習はビバリーヒルズ柔術クラブで。2人だけのスパーリングで調整。一昨年、サクは高田と共に出稽古にきたことがあるのだ。ルッテンも笑顔で迎えていた。

格闘CHAOS 2000

IDE』は、この大会のスポンサーにも名を連ねているのだ。続いて、ゲストとしてマーク・ケアーやケン・シャムロックらと並び、我らが桜庭和志がリングに呼ばれる。

桜庭に対する観客の声援はホントに凄い！　地元であるケアーやシャムロックへの声援より大きかった。いくら『PRIDE』が放送されているとはいえ、『DirecTV』でのPPVである。ケーブルテレビが一般的なアメリカでは、衛星放送を見られる人間はかなり限られているはずだ。海賊版のビデオも出回っているらしいが、それだけ需要もあるのだろう。ここに集まった観客のマニア度、おそるべし。これはすなわち、サクの浸透度が世界レベルになってきているということでもある。

10時40分、11試合まで終了。メインエベントの4試合が始まる前には打ち上げ花火が上がり、場内の盛り上がりも最高潮に達する。

我らが松井大二郎は、メインの中のメイン、第15試合に登場だ。対戦相手はカーウソン・グレイシー柔術のトッド・メディーナ。グレイシー系のお約束で、セコンドをやたら大勢引き連れてやってくる。さすがにグレイシー・トレインは作っていなかったが。ここでも、驚いたのは会場が「マツイ」コール一色なのである！　後日、松井自身も「あの声援は燃えましたね！」と振り返った程の大騒ぎだった。対戦相手がロサンゼルス近郊のロングビーチ、つまり「ほとんど地元」の選手であるにもかかわらず、である。

異国の地で大声援を受けて、松井は入場時からかなり気合いの入ったいい表情をしていた。だが、ゴング直後にメディーナのタックルを受け、そのままマウントポジションを取られてしまう。顔面にパンチを受けた松井は、試合開始早々からかなりの流血。結局、1Rは上を取られたまま、ほとんど何もさせてもらえぬままに終わってしまう。

インターバルの間中、流血で目がよく見えないのか、初めての金網&初めての海外試合で、雰囲気にのまれたか、桜庭たちセコンドのいる位置が一瞬わからず、リングをふらふらとさまよう松井。口を洗う水が真っ赤に染まる。口の中もかなり切っているようだ。

2R、またしても速攻でマウントポジションを取られてしまう。会場から沸き起こる「マツイ」コール。メディーナは上になったまま膠着、判定勝利というパターンを狙っている。敵の戦術にすっかりはまってしまい、状況を変えられなかったのが惜しまれる。

試合終了のゴングと同時に勝利を確信して大喜びするメディナ陣営。かなり悔しい結果だが、松井は金網も海外での試合もこれが最初の一歩だ。今回の貴重な経験は、松井の今後の試合に必ず生かされるに違いない。

■試合後の松井のコメント

「（メインまでが長かったので）自分の試合までの時間がつかめなくて、アップとか調整とか難しかった……。でも、そういうことを言う前に、今日の試合は完敗ですね。（対戦相手に印象は？）力があって、金網の使い方もうまかったですね。（海外での試合は？）どんどんやりたいです。今日は初めてだったのでやりにくい部分がありましたけど、どんどん経験積んで、オクタゴンの中にもどんどん入って行きたいです」

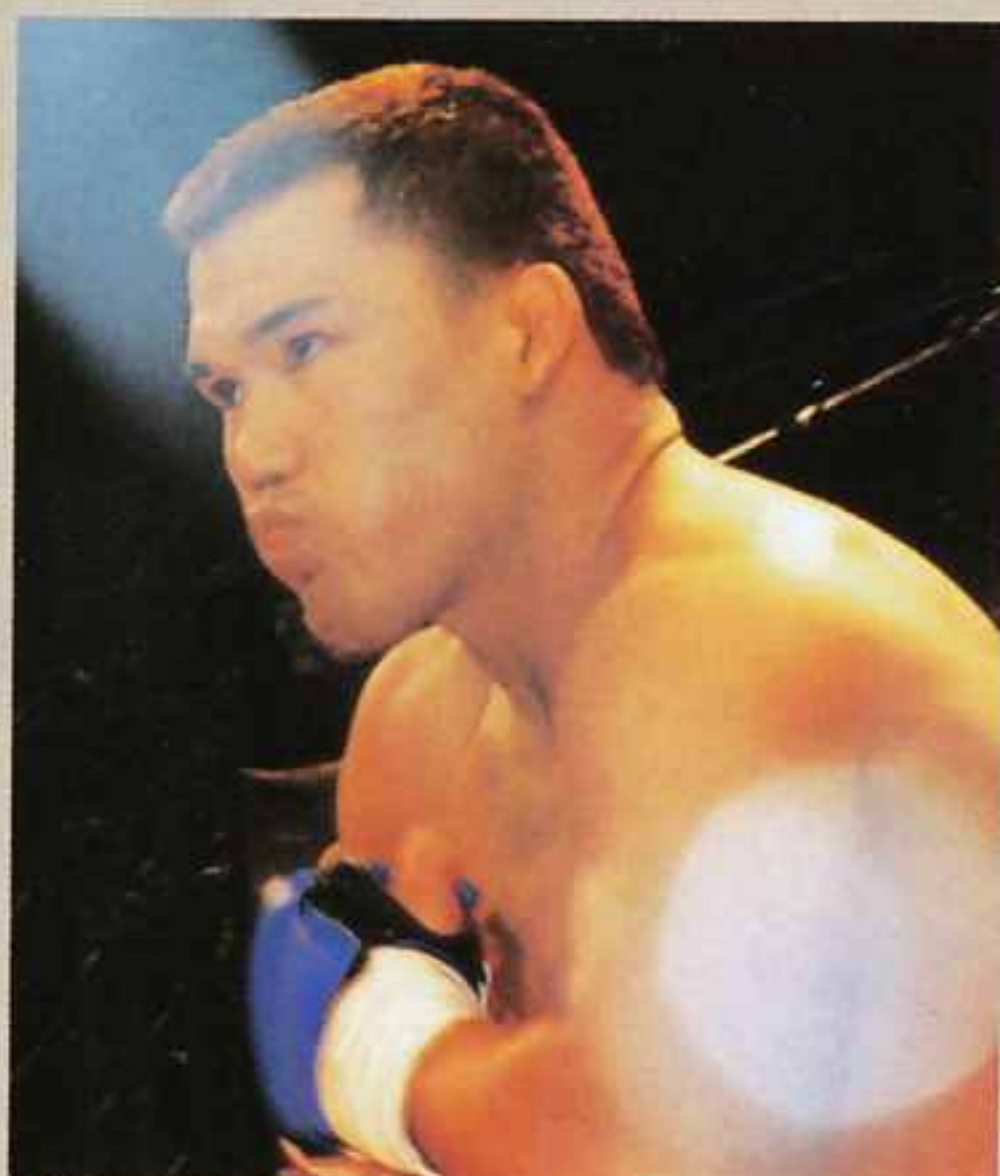
砂漠のド真ん中の屋外興行にもかかわらず、こんなに大勢の格闘技ファンが集まったのは、じつに凄いことだ。

当日は『PRIDE』の大物が勢揃い。中でもサクは一際大きな声援を浴びていた。もはや世界のサクだ。

こう着三昧のグレイシー戦法に松井、完敗!!

後日、松井の独占コメントをGET!!

後日、改めて松井大二郎を話を聞いてみた。すると、この敗戦の悔しさはまだまだ消化されてはいないようだった。「ホンッッット悔しかったですねぇ。上のポジションを取られてコツコツやる……判定になってしまうような試合にはしたくなかったんですけど。もっともっと動き回って、ボコボコに殴り合いたかったんです。今度はしっかり技術を身につけて、もっと動きのある、お客さんも楽しめる試合をしたいと思います！」松井にもしっかりとプロ意識は根付いているのだ。当然、まだまだこんなもんじゃないという思いもある。「もう27歳なんですけど（笑）、まだまだ暴れまくりますんで！」と頼もしい発言。やはり燃えてくれなければ松井じゃない！　気になる次の舞台は一体どこになりそうなのだろうか？「『ＰＲＩＤＥ．10』に出場できる体勢は整えてます！　『KING OF THE CAGE』の次回大会でもいいですし、もう世界中のバーリ・トゥードに出てみたいです！」ファイターとして成長期にある松井は、闘う場に飢えている！　どんどん外に撃って出ていって、いろんな経験を積んで成長して世界に通用するファイターになってほしい!!

セコンドのサクは「気持ちは強いので、これからもっと経験とか練習を積んで、技術を身につけて、いい結果を残して欲しい」とコメント。

海外初試合ということもあり、いつも以上に気合いが入りまくる松井。目には炎が宿っている！

対戦相手のトッド・メディーナはタックルから上になり、膠着状態でコツコツパンチを当てていった。慣れない金網戦に松井は下からの腕十字を狙うのが精一杯で脱出できず！

マット界にショックを与え続ける男

UFC―Jチャンピオン

山本喧一

"熱血"青年の主張!

[POWER OF DREAM]

昨年のUFC―Jでトーナメントを制したヤマケンが「田村さん、俺と真剣勝負をして下さい!」との爆弾発言を投下してから8カ月が経過した。その間、何度か試合の予定もあったヤマケンだが諸事情でそれも流れてしまっている。久しぶりに電話をしてみると「ちょっと『紙プロ』さんに怒ってるみたいで」とマネージャーから伝えられた。あい～や!? さあ、みなさんも一緒に山本喧一24歳、熱血青年の主張に耳を傾けましょうや!

聞き手/チョロちゃん
Interview by Chan Choro
撮影/松本崇
Photographs by Takashi Matsumoto

田村潔司、UWF、そしてマット界に一言物申す！

『21世紀は俺らの世代が引っ張っていかなきゃダメなんや!!』

最近『紙プロ』はリングス寄り、田村寄りっていうイメージが強くなってるから、俺は面白くねえよって

喧 ICHI

―ヤマケンさん、インタビューという形では半年以上振りですが……元気ですか―ッ！

ヤマケン 元気！（急に肩を落として）でも、おかげ様で最近寂しい思いしてますわ。

―は？ どっちなんですか？（笑）。

ヤマケン 『紙プロ』から一切"ヤ"の字も出なくなっちゃって、出るとしたら、田村潔司のインタビューの時に茶化されるように出されるだけで（と言ってジロリと睨む）。

―茶化してるつもりはないですよ。でも、なんか怒ってるらしいって聞きましたよ。

ヤマケン いやいや、まあ怒ってるというか、茶化すんだったら、もっと盛り上げる意味で茶化してくれれば嬉しいんだけど、結局『紙プロ』はリングス寄り、田村寄りっていうイメージが強くなっちゃってるから、俺はそこの部分が面白くねえよって言ってるだけだから。だって俺がリングスいる時は、あんだけ良く書いてくれたのにさ。リングスやめても、ずっと待っててくれたわけでしょ。

―まあ、長かったですけどね（笑）。

ヤマケン それは俺もわかってるから『紙プロ』に対して敬意表してる部分もあったけど、ここ最近の『紙プロ』の流れを見てるとさぁ、ちょっと違うんじゃねえかっていうのがあるから。まあでも、それは『紙プロ』だけじゃないけどさ、どっかの選手に媚を売ったりとか、そういうのは止めてもらいたいよね。

―媚を売ってるつもりはないでござる！

ヤマケン そお？ だったら、やっぱり独自のスタンスを持ってさ、そのスタンスを貫き通してほしいしさ。ただ俺らをプロとして、正当に扱ってほしいっていうだけなんだよ。いいものはいい、悪いものは悪いで、別に団体のイメージがどうのこうのっていうだけで頑張ってる選手のイメージまで決め付けてほしくないよね。言ってることとか、本人をちゃんと見たりさ、道場来てやってること見てから判断してくれっていうのがあるよね。

―でもヤマケンさんは、今年に入ってから試合してないじゃないですか。やっぱり現役の選手なわけですから、試合なり何らかのテーマがないと話もしづらいじゃないですか？

ヤマケン まあそれもわかるよ。でもさぁ、確かに俺よりも田村の方が先輩だけど、それはちょっとないじゃない？ 俺だってこの業界で頑張ってるわけだし、ファンに夢を与えたりしてんだからさ。マスコミは中立にいなきゃいけないわけじゃん。それが、こっち寄りだとかあっち寄りだとか見られるような書き方だけは絶っ対にしてほしくないね！

―それも含めて、ヤマケンがいま何を考えているのかを聞きに来たんですよ。

ヤマケン 俺はいろいろと考えてますよ。

―正直、ヤマケンさんは昨年の『ＵＦＣ―Ｊ』で優勝して田村さんに対して爆弾発言をしたわけですけど、そこから何か生まれるかなと思ったら、田村さんの反応を見ると、次には繋がらないなって感じますよね。

ヤマケン 結局、いまのところ田村潔司っていうのはそこまでの男だってことだよね。やっぱりもう一皮剥けないと業界を引っ張っていく器にはなれないんじゃない？ 田村潔司がホントに上にいるべき人間だったら、やっぱりもっと粋なことをやってくれただろうし、勝負してくれたはずだろうしね。

―でも、田村さんは「Ｕ」のテーマで入場したり、レガース付けたりと粋なことはしてますよ。それにヘンゾ（・グレイシー）やジェレミー（・ホーン）に勝ったりして結果もきっちり出してるじゃないですか。

ヤマケン 結果出してるって言うけど、チャンスを貰ったから出せるんじゃない？ じゃあチャンスを貰えない奴はどうすんのさ？ 何年も業界の中で可愛がってもらって、彼はやりたいスタイルずっと出来てたわけでしょ。それなのに会社がキツくなったら、急に「俺がやりたいスタイルは違う」とか言い始めてさ。じゃあ、いままでそのスタイルで可愛がってきてもらったのは何なんだって。言ってることとやってることが全然違うじゃねえかって。その部分のキャリアがそんなに偉いんだったら、何でＵインターをあん時に守んなかったんだよ。一人だけ抜けやがって！

―一人だけ守ったとも捉えられ……。

ヤマケン （話を思いきり遮って）リングスだってそうでしょ？ リングスでのキャリアがなんだっつーんだよ！ 業界全体の、マット界全体のこと考えた上での発言だったら誰も文句言わないと思うよ。あの人が言ってることは、リングスの中で、いまの自分が良けりゃいいっていうことじゃん！ 結局、俺に

そういうふうに痛いとこ突かれても、「お前はリングスで結果出してないじゃん！」って逃げれるわけよ!! それ以上、俺に言う度胸ねえだろってことなんだよ。それがズルイ！

——（勢いに押され）チャンスをものに……。と言いますけど、そのチャンスを与えられたたっていうのさ？

ヤマケン （話を遮って）彼がさ、（シュートサインを出して）コレでどんだけ試合したっていうのさ？ そんなのすぐ追い抜くっちゅーねん！ 追い抜くっちゅうか、そんなの俺いま並んでると思うよ。はっきり言ってコレそんなにしてないよ、彼。（語気を荒げて）どっかの雑誌か本で暴露してやってもいいよ！……まあでも『紙プロ』的にそれはよろしくないでしょ？（笑）。

——というか、暴露が目的じゃないですからね。ウチは『週刊ポスト』じゃないし（笑）。

ヤマケン だから、そんなことしたってしょうがないから言わないだけで、俺は田村が逃げたことに対して我慢してるわけじゃん。もっと堂々と粋に計らってくれれば、面白いこと出来るはずなんだよ。だけど、彼はそれをやる気がないみたいだからさ。

——田村さんはチーターより早く逃げるって言ってましたからね（笑）。でも逆にヤマケンさんに、もっと実績を積んでトップの位置まで上がって来いとか、田村さんネタばかりじゃなくて、他の爆弾を投下してほしいっていう声も多いんですよ。

ヤマケン うん、それはわかるよ。だから、それは俺は俺なりのやり方でやろうかっていう意識があったよね。いまはまだその時期じゃないけど、彼とやれる時期は絶対に来るからさ。それはなぜかっていうと、俺の方が筋が通ってるからだよ。彼は筋通ってない！ 俺は誰にも後ろめたいことはないからさ。いつか絶対アイツの上いくから！

——まあでも、『コロシアム2000』とか、4月の『UFC―J』もそうですけど、最近は試合が流れてる状態が続いてますよね。

ヤマケン 実際やっぱりさぁ、この業界で俺は何したらいいのかっていう目標が一瞬見えなくなったっていうかさ、ファイター・ヤマケンとしての目標はなくなっちゃったんだよ。業界を良くしていきたいっていう一個人としては、せっかく業界にいる側の人間なんだから何か出来たらいいなって頑張ってるんだけど、ファイターとしての俺っていうのは、もうずっと押し殺してるから。だからもう一回、俺がやりがいが持てるような状況になるまで待つしかないじゃない？ それが来ると思ってる…っていうか来てるから！ もうちょいだけど。じゃあ何を目指したらいいかって言ったら、わかりやすいのがないのよ！ 唯一燃えられるのが『UFC』なんだよ。

——『UFC』はわかりやすくて、燃えられるということですか？

ヤマケン 『UFC』には俺が目標としているミドル級のベルトがあるからね。それに自分のファンに対しても、ヤマケンはシロかクロかっていうのをハッキリさせてくれると思って付いてきてくれる人もいるわけだからさ。そいつらのためにも、嘘ついて試合は出来ないし、裏切りたくないしね。ホントの強さっていうものを持って、みんなにそれをわからさせるためにジム開いてるわけだから。「あいつプロレスラーだから弱いよ」とかっていう観点が、いままで多過ぎたから、そういうのをなくしたいんだよ。まあ最近になってプロレスラーがバーリ・トゥードとかで活躍してるんで、それに対しては凄く嬉しい部分があるけどね。桜庭人気だってそうだし、藤田（和之）が勝ったってこともそうだよね。そういう部分で夢を与えていければいいわけだから。そういった意味では『PRIDE』見てたらさぁ、これから何したらいいのかってことが凄くわかってくるよね。

——でも、今度『PRIDE』は西武ドーム大会ですけど、カードも難航してるっていうし、テーマも難しくなってきてますよね。

ヤマケン それはだって、これまで「グレイシーグレイシー」だったからさ。それで、とにかく旬な奴をボンボン引っ張ってきて、夢のカードをどんどん実現させるようにしてやってきたわけでしょ。だけど、もうホントにグレイシーを潰さないと意味がないんだよ。

——ヤマケンさんは、対グレイシーには、それほど興味がないんですか？

ヤマケン いや、実際自分もヒクソンとやりてえよっていうのもあるけどね。

——まあ一ファイターとしては当然そう思うでしょうね。

ヤマケン だけど、俺はヒクソンとやれる立場じゃねえなっていうのわかってるからさ。やりたいって気持ちはあっても、やるべき人間がいるんだからさ。誰かがヒクソンを倒し

て対グレイシーっていうのを終わらせて、じゃあその次、何が生まれるのかっていうところで、その次のスタートは俺がやらなきゃいけないなって思ってるからね。

―でも、いまはリングスを離れた時と同じぐらい試合から遠ざかってますよね（笑）。

ヤマケン　そうだね。俺のファンに対しては凄い寂しい思いをさせてるよ。だけどやっぱり、俺らこれから21世紀を背負っていかなきゃならない選手っていうのは、ホントに中身のあるファイターになるしかないんや！

―いままでは中身が伴っていなかったとでもいうんですか？

ヤマケン　Uインターの時にやってきたプロレスっていうのは中途半端だったんですわ！　プロレスとVTの中間っていうか、要するにファンを騙してきたのがUWFですよ。そのUWFを俺はリセットさせない限り、プロレスにとっても良くない。〝何でもあり〟の世界にとっても良くないと思うわけよ。UWFは格闘技ブームを作ったからこそ、やっぱり責任持たなきゃあかんねん！　いまさらUWFって言ったってしゃあないよ！　俺はあえて恥を忍んで、自分がやってきたことを公表してるんだからさ。

―ズバリ言って、Uインター時代は恥だったと思ってるわけですか？

ヤマケン　いやいや、恥を忍んでっていうか、ファンを裏切ってきたことになるんだから。どんだけ離れていった奴がいるか考えてみろっていうことだよ。離れていく奴は黙って離れていくんだから。そっちの方が数は多いしね。ホントに文句を言ってくる奴なんてごく一部なんだから。それを察しなかった俺らに責任があるわけだし。だからやっぱり謝罪じゃないけどさぁ、何かしらの形で見せていかなきゃならないからさ。

―でも、そうは言いますけど、ゴールデンカップスであったり、Uインター時代のネームバリューっていうのは、いまとなってもメリットはかなり大きいと思うんですけど。

ヤマケン　それはデカイ!!

―他の格闘家とかと比べると一試合一試合の、注目のされ方が違うと思うんですよ。桜庭さんなんかも、Uインター時代の練習で力が付いたって言ってますし、U系でやってきたメリットもたくさんあるわけですよね。

ヤマケン　もちろんたくさんあるよ。やっぱり、俺はプロレスと格闘技の融合っていうのが根底にあるからね。『UFC-J』のベルト取ったのも、ゴールデンカップスもそういうことだしね。ただ、マット界を、このまましっかりとしたマーケットを作れない状況で終わらしたくないっていうのがあるからね。

田村とやれる時期は絶対に来る。なぜかって、俺の方が筋が通ってるからだよ！

―いまは、それこそプロレス界の方も、全日本が分裂して、新日本もグチャグチャになりそうな気配も漂ってますけど、実際問題、混沌としてるマット界において、自分の言葉で自分の進む道を語れる若手選手というのがあまりいないように思えるんですよ。

ヤマケン　あぁ、それは感じるね。

―ヤマケンさんは、その点語りすぎるくらい語りますけどね（笑）。で、実際のところ「一緒に作っていこうや！」って思える同志は誰かいるんですか？

ヤマケン　だっていま、この業界は自由がないじゃん。もうちょっとしたら自由が出てくるとは思うんだけどね。その時に、いままでの溜まってたエネルギーがバーンと外に出ると思うよ。その時に力負けしないように俺らも準備していかなきゃいけないしね。これからは本当に思想の闘いだと思うんだよ。

―イデオロギー闘争ですか（笑）。

ヤマケン　どんだけ格闘技を自分なりに愛してるか、その愛してる者同士のエネルギーのぶつかり合いが、これからの格闘技ブームを作ると思うしね。プロ格闘技は、結局はリングで闘って夢を売ってる場所なわけじゃないですか？　それをお互いが切磋琢磨して、ベストな形で闘って会場が超満員になって、ギャラもたっぷり入るにはどうすればいいか、もっと考えようよ。余りにも目先目先に目を奪われて、いまどう思われたらいいかとか、そういうのにみんな走り過ぎちゃうんだよ。

―それはあるかもしれないですね。

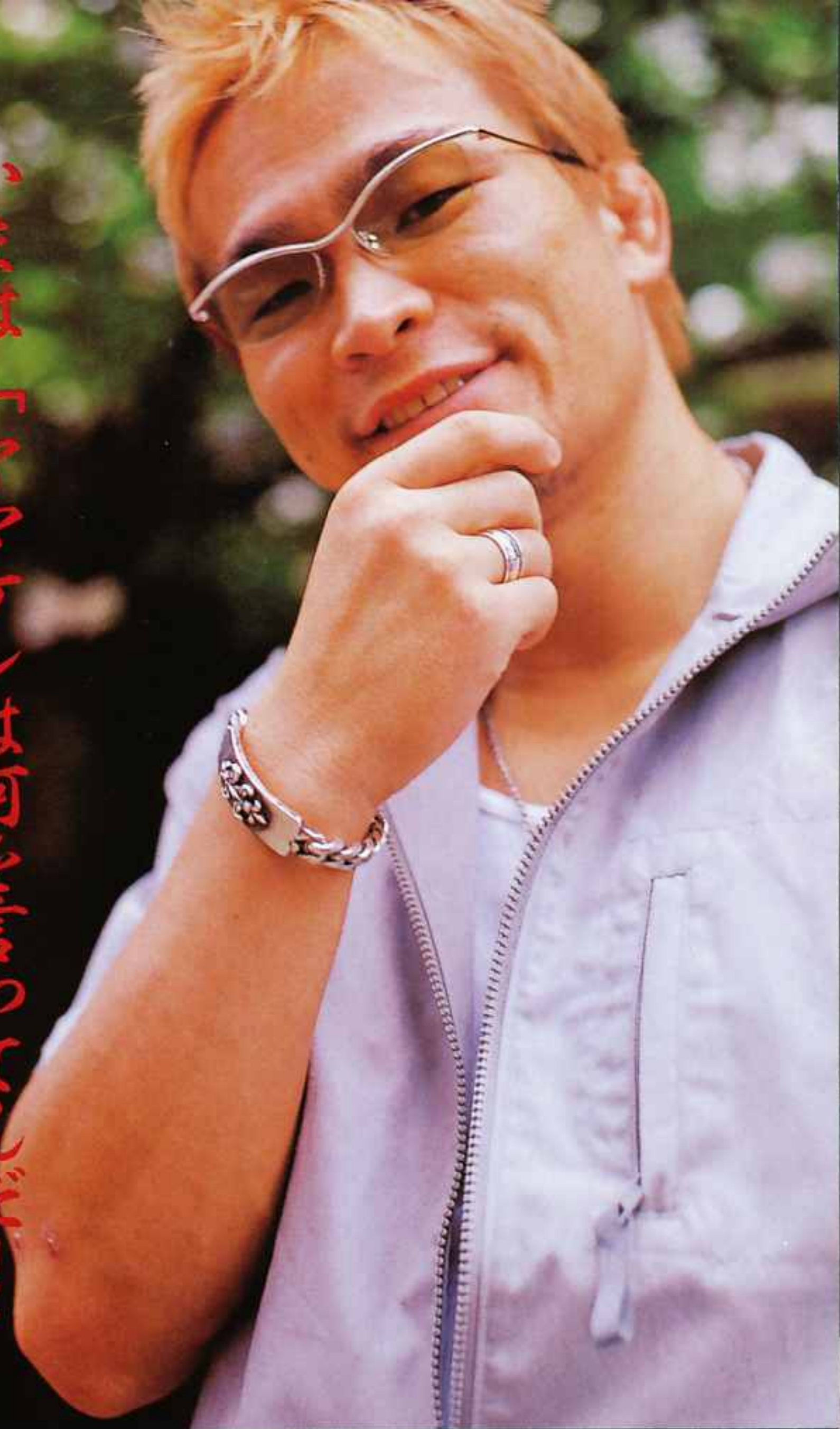
ヤマケン　だから興行がいつまでたっても、そういうエゴの世界で終わってしまってるんだよ。いままでは口で何とでもなったし、逃げれたし、オブラートに包むことが出来たけど、これからは生身の人間で勝負しなきゃ夢を与えられないよ。もうマスターベーションはたくさんだよ。セックスしようや（笑）。

―あい～や（笑）。やっぱり気持ちいいセックスがしたいわけですね。

ヤマケン　そうだよ。でもね、チョロちゃん、いまは上がりたいリングがないんだよ。

―それは困りましたね（笑）。格闘家としては大問題じゃないですか？

ヤマケン　確かに俺らはリングに上がってナンボだよ。でも上がれるリングっていうか、理想のリングがなかったら、どうやって闘うのかってことですよ。消化試合ばっかりやってたら、その選手の背中が見えないじゃない。俺はそういう選手になろうと思って、この業界に入ったわけじゃないから。俺の恩師の田島晴雄さんっているんだけど「お前はスター性がある。お前は人と違うことをやれ！　プロレスの世界に行け！」って、よく励ましてくれたんですよ。その言葉をいまでも噛みしめてるからね。俺はその時の恩があるから、

いまは「ヤマケンは何を言ってんだ！」って思われても全然へーキですわ

この業界にいても、何かやらなきゃいけないんじゃないかっていう使命感があるんだよ。田島さんに出会ってなかったら俺はただのチンピラで終わってたんだから。

——チンピラで終わってましたか（笑）。でも正直な話、焦りとかはないんですか？

ヤマケン みんなが「出ろ出ろ」って言うからさぁ（笑）、焦りはあるよ。桜庭さんも活躍してるしさ、焦りはあるけど、だって活躍しちゃったんだからしょうがないじゃん。そこに俺が入ってたって目立たないじゃん。

——確かにそうですけど。それに対して負けない活躍をしようとは思わないわけですか。

ヤマケン だって、そういう塗りたくられたキャンバスの上に俺が行ってさ、「イエーイ」って言ったって目立たないじゃん。中途半端な部分で、俺がガーッといって討ち死にしちゃったら、俺の思想は全部潰れちゃうんだよ。そしたら格闘技界、こんな考え持ってる奴が出てくるのにまた時間掛かっちゃうよ。

——ヤマケンさんぐらいの年代の選手だと、それこそスキルアップさえできればいいやっていう考えの人が多いでしょうからね。

ヤマケン そうや。いないからやってんだよ。誰かが考えてくれてるんだったら、やんないよ（笑）。『PRIDE』にしたって、メディアが必死に盛り上げてるから華やかに見えるけどさ、外人選手は日本人の何倍ってギャラ貰って帰ってるわけでしょ。何が違うわけ？ お前らそんな客入れてたの？ 俺はそういうのを覆したいっていうのがあるし、ネームバリューも負けない実力も負けない選手になりたいんだよ。そういう意味では俺は桜庭和志にヒクソン・グレイシーとやってほしいと思ってるんだよ。それでね、桜庭和志には一億円プレイヤーになってもらいたい。

——桜庭さんも「ヒクソンとはやりたくない。ヒクソンに法外なお金が入るのは許せない」って言ってますからね。

ヤマケン 落合（博満）さんがそうなってから、球界では一億円プレイヤーがどんどん出てきたわけでしょ。俺はその役目を桜庭和志にやってほしいんだよね。そうしないとこの業界に夢ないから。俺は、20世紀の最後の大仕事っていうのは、桜庭和志がヒクソンを倒すことだと思ってるから。でもね、21世紀は俺らの世代が引っ張っていかなきゃダメだよ。それもただ試合をすりゃあいいってもんじゃないと思うよ。意味のある、テーマのある試合をやっていかないと。

——最近はテーマの見えづらいカードが多いですからね。

ヤマケン そうでしょ。俺はいま生徒を教えながら、本当に強くなるための練習をやってるわけだからさ。じゃあその本当に強くなった自分を、どこで発揮したらいいかって考えた時に、せっかく死に物狂いで練習して結果を出しても、「あそこの団体はグレーだから」って言われたくないじゃん！ はっきりガチンコで闘える場所で、練習してきたことを出したいわけよ。だから俺はね『UFC』のミドル級のベルトを取りたいんだよ。

——いま持ってる『UFC—J』のベルトは満足してないわけですか？

ヤマケン してないよ！ あれは世界に行くためのステップでしかないから。日本人はミドル級のベルトは誰も取ってないじゃない？ じゃあ取った後、誰に文句言われる筋合いがあるの？ その俺がやってるジム、その俺が育てた奴ら、その俺がやってる協会、その俺がマット界のためによくしようってことに対して誰も文句言えないじゃん。

——ホントに取ったとしたら誰も文句は言えないですよね。じゃあ、いまは『UFC』でミドル級のチャンピオンのティト（・オーティズ）と闘うのが目標なわけですね。

ヤマケン そうだね。やっぱり『UFC』はガチンコだってファンもわかるわけでしょ。こんだけ総合格闘技も歴史があるわけだし、業界に入ってやめてった人間もいっぱいいるんだから、俺だけじゃなくて、いろんな人の話も聞けるわけじゃん。インターネットも普及して、外人が母国帰ったらヘーキでシュートだワークだの話をしてるわけだから（笑）。

——どこまで本当かわからないですけど、外人はヘーキでそういう話をしますよね（笑）。

ヤマケン そういう時代なんだから騙せないのよ。バブルの頃をもう一回味わいたいっていうのもわかるけど、そのやり方では食っていけないんだからさ。だから、この業界ももっと社会を勉強しろって感じだよな（笑）。

——社会勉強が足りませんか（笑）。

ヤマケン 俺なんかさぁ、学校行ってなくても、世界がグチャグチャ変わってるのがわかるよ。マット界だけは変わるのが遅すぎるんだよね。ホントは俺らが先に先頭切って変えてって、ブームを起したりとか、みんなに夢を与えていくのが仕事のはずなんだよ。やっぱりプロはファンの想像の上をいかないとダメだから。まあ俺は、いろんなリスク背負ってる代わりに、後でいい思いさせてもらいますわ。いまは「ヤマケンは何言ってるんだ！ あいつバカだな」って思われても全然ヘーキですわ。どんどん思って下さい！

——話は変わりますけど、ヤマケンさんは、この間の前田さんの尾崎社長に対する暴行疑惑には、どういった感想を持ちました？

ヤマケン あれもドンドンやった方がいいんじゃない（笑）。実際、盛り上がってるしね。

——確かに新聞の一面になったり盛り上がってはいますよね（笑）。

ヤマケン パンクラス、リングスもそうですけど、U系はネタないじゃん！ リングスも（ギルバート・）アイブル持ってかれちゃうし、田村潔司はなんも粋なことしないしさ。そうなったら前田さんがやるしかないでしょ。それに選手側の人間も前田さんを助けたりしないじゃん。俺なんか助けてましたよ。『パワーオブドリーム』作ったりしてね（笑）。

——前田さんの著書名ですからね（笑）。

ヤマケン 裏ではいろいろと前田さんに妨害されますけど（苦笑）。でも前田さんも俺の

俺は、この業界で何か やらなきゃいけないっていう 使命感があるんだよ

ことを表向きにパッと言えないじゃない？　何でかっていったら俺は筋通してきたからだよ。まあでも、やっぱり前田さんは昔は苦労しながら、前田さんじゃなきゃできない仕事をしてきてるわけだからね。それで、俺には俺の仕事があるはずだから。いまはその時期を待とうじゃないかって言ってるんだよ。

――いや、待ってばかりじゃダメですよ！

ヤマケン　そりゃあマスコミは待ってばかりいられないと思うけど、ちょっと待ってて下さいよ。自ずと時期が来ればわかるから。

――田村戦もそうですけど、将来的には外人天国を打ち切って日本人対決で盛り上げていきたいって、以前言ってましたけど、現段階で誰か闘いたい相手はいるんですか？

ヤマケン　さっきチョロちゃんも言ってたけどさ、いまの若手選手に対して何かしらの物足りなさを感じてるわけでしょ？　その状況で俺がそいつらと絡んだって、何が生まれるの？　何も生まれないんだよ、いまは。いまはだよ。だから俺がやるとしたらさ、マット界のU系の残党を掃除するっていうかさ。

――ゲ？　U系の残党を掃除？

ヤマケン　なんかさ、新しい時代が来やすいようにするために、俺は悪者になってもいいと思ってるよ。それで、ウチで育った新しい世代の奴らがいろんな大会に出て、ある程度活躍してくれれば、それで満足ですわ。だから運良くいけば、船木（誠勝）さんの年齢より早くやめれたらいいなと思ってるしね。

――ゲゲ！　そうなんですか？

ヤマケン　それには、それだけのソフトが育ってないとダメだし、面白い業界になってなきゃダメだけどね。

――面白い業界を作るまでは、やめられないってことですね？

ヤマケン　そうだね。ある程度、「やったな」って、「俺もいい仕事してきたな」って思えたらね。だってさぁ、いまのところ上の世代に喧嘩を売れるのは俺ぐらいだと思うよ。俺も自分のことだけじゃなくてさ、やっぱりダメな部分を改善させていく方に力を注いだ方がいいんじゃないかって思ってるし、新しい時代が来るんだったら、その掃除役を買って出たいなと思ってるんだよね。ただ、それには、ファンも納得する、業界も選手も諸先輩方も納得する強さが必要なわけよ。だから、いまスキルアップしていってるんだよ。

――ヤマケンさんは、立場的には『パンクラスオブドリーム』を背負ってるわけですけど、ど

こへでも出ていける可能性を持っているという点では、フリーのような形ですよね。

ヤマケン もちろん！

——でも、やっぱり団体に所属して、コンスタントに試合をやってく方が流れも出来ますし、見る側も入りこみやすいっていうのもあるじゃないですか。フリーだとどうしても、結果を出してたとしても点で終わってしまうところがあるじゃないですか。

ヤマケン それはやっぱり感じるよ。でも、俺がマット界のためにって考え出してからは、Gカップスの時みたいに名前だけ売るわけにはいかないから、いまは実力を付けてってだけで、何もおかしなことはないでしょ。ファンには寂しい思いさせてるから、（可愛らしく）ごめんちゃいって感じだけど（笑）。

——ヒャハハハ。ごめんちゃいですか（笑）。次の試合っていうのは、流れ流れて9月に予定されている『UFC―J』みたいですね。

ヤマケン うん。そうみたいですね。

——人ごとじゃないんですから（笑）。でもパンクラスにも出るんじゃないかって声もありますけど、その可能性もありえますか？

ヤマケン 俺が出るとしたら内弟子も出るでしょうね。内弟子が出れないところには俺は出る気はありませんから（キッパリ）。

——それはどうしてですか？

ヤマケン 内弟子を何のために取ってるか、何のために生徒を育ててるかって言ったら、そういう場所を作ってやるためでしょ。いまは俺っていうソフトしかないけども、俺と同時にこのソフトも面白いよってくっつけていくのが真の営業なわけですよ（笑）。

——営業マンも兼ねてるわけですね（笑）。

ヤマケン そうそう（笑）。会社を大きくするにはしょうがないじゃないですか。芸能界なんかでも、タレント事務所なんて、いっぱいあるわけでしょ。それで同じような顔した綺麗な子いっぱいいるんだから、その中でどの子が仕事持ってくるかっていったらさ、誰かの仕事のついでに、この子も一緒に付けてって言って知ってもらうとかさ。そういう地道な作業をしないと無理じゃないですか。だから俺は俺一人行くのは嫌だよって言ってるんだよ。万が一、俺が負けるようなことがあったとしたら、どうなっちゃうの？ 全部パーだよ。俺は負けられないんだから。目標を達成するまでは死ねないんですわ。

——でも、みんな負けられないからワークが出てくるんじゃないですか？ ファンも、いまはガムシャラに突き進むヤマケンの姿勢が見たいんだと思いますよ！

ヤマケン 負けられないんだったら、その気迫を試合で見せてほしいよね。まあでも、俺は生徒を育てて、俺がやりたいことが出来る環境を作るまでは負けられないんだよ。俺はもうこの業界に何年もいてさぁ、こんだけくすぶってるっていうかさ、ムカついてる状況がいっぱいあるわけだから、俺はある意味それを改善するので手いっぱいなんで。その間に、お前らは何も考えないでスキルアップして、俺を越えていけよっていうことなんだよ。その方が早いじゃん。二人三脚するより？ 五脚、十脚、一五脚ってなればさ（笑）。

——それは早いでしょうけどね（笑）。

ヤマケン それでゆくゆくは団体戦とかやりたいね。『パワーオブドリーム』対『○○道場』とかって。そしたらプロレスだろうが、U系だろうが、VTだろうが。旗持って行きますよ。「格闘アーティスト」としてどこでもいきますよ（笑）。

——チーム名は「格闘芸術」ですか（笑）。

ヤマケン そうそう（笑）。別にヤマケンだけじゃなくていいんですよ。俺と同じ思想を持った若い奴らがどんどん中に入っていけば、業界を変えられるわけじゃない。いまは俺一人だからね。まあパンクラスだけじゃなくて、慧舟會もあるし、修斗もあるし、新日の『闘魂クラブ』でも何でもいいですよ。プロレスだってやれないことないですから。

——でも実際、プロレスっていうのは、いまはやるつもりはないんですよね？

ヤマケン まあ俺はプロレスは5級だから（笑）。でもリングス離れる時、俺がなんて言ったか覚えてます？ 強くなったらエンタ1テインメントの世界に戻って来るって言ったじゃないですか？

——そういえば言ってましたね。例えば（馬場）元子さんを助けに全日に上がりたいっていうのはないんですか？（笑）。

ヤマケン いいねぇ。俺は元子さんを助けたいと思ってるよ（笑）。

——いまでも「馬場さんストラップ」を付けてるヤマケンさんですからね（笑）。

ヤマケン ただ前も言ったように、俺はシロかクロしかやらないから。グレーはやらない。いま俺は、試合してないだけで後戻りしてるわけじゃないし、逃げてるわけじゃないからさ。とにかく前に進んでるわけだからさ。まあ21世紀、何があってもいいじゃないですか。ねぇ、チョロちゃん？

——何があってもいいんですけどね（笑）、別にボクはどっち寄りでもないんで、これからもヤマケンに注目していきますよ！

ヤマケン （疑った目で）ホンマかいな（笑）。

——いやぁ、ホンマですわ（笑）。

ヤマケン その言葉を信じて毎日精進しますわ（笑）。

【7・7／自由が丘／パワーオブドリームにて収録】

PROFILE
山本喧一【やまもとけんいち】本名・山本健一。1976年7月11日生まれ、大阪府門真市出身。182cm、87kg。平成6年10月14日、Uインター大阪城ホール大会での桜庭和志戦でデビュー。インター崩壊後、キングダム、リングスを経て、現在は自らの道場『POWER OF DREM』を主宰。昨年11月のUFC―J日本人トーナメントで優勝し、初代UFC―J王者となる。ちなみに過去にWAR世界6人タッグのベルトを巻いていたこともある。

4月のUFC―Jでは安生のセコンドについた山喧。その後、安生とムエタイ修行を積んだ山喧は近々ブラジルへ旅立つという。「カポエラとサッカーを習ってきます（笑）」と言う山喧だが、早くリングで暴れる姿が見たい！

『POWER OF DREAM』でヤマケンと一緒にガチンコで強くなろうや！　内弟子もデビュー間近だっちゅうねん！
【問い合わせ】東京都世田谷区奥沢3-29-4　B1F
TEL 03-5734-5354
【POWER OF DREAMホームページ】
人気連載ヤマケン大紀行を読め〜や！
http://www.powerofdream.com/

BAD NEWS通信

マット界を覆いつくす ショッキングな話題を総まくり

この世紀末マット界、いつもいいニュースばかりなわけではない。ときには、プロレスファンを哀しみのドン底に落とすような悪いお知らせもしなければならないのである。「♪人生ラクありゃ苦もあるさ～」という歌もあるが、こればっかりは神様しかわからない。というわけで、良識あるプロレスファンなら怒りだしそうなバッド・テイストのNEWSから、ホントにバッドな出来事まで幅広くをお届け致します！

構成／坂井ノブ

part.1

アレク、無念の戦線離脱 必読!! アレク&ののも本誌独占コメント!!

ドン底から這いあがれ！ アレクよ、底力を蓄えて戻って来～い！

まさにバッドニュース・アレク！ アレクは全日初参戦の当日（7月9日）、急病により欠場した。翌10日、新宿プロレスの会場に現れたでアレクは病状を報告した。「頭位変換眩暈症」、頭を動かすだけでめまいがするという、かなりヤバい症状である。

まず、アレクが倒れたのは8日（土）の午前9時。ののも（元本誌眠り姫）によれば「私が寝てたらドターン！ ドターン！って凄い音がするから、『ほえ～、またアタシを起こそうと思って演技してるな～』と思った（笑）。ほっといて寝ようかと思ったんだけど、気になって見に行ったらダンナがトイレで倒れてゲェ～ゲェ～吐いてたんだよ！『ほえええええ、死んじゃうぅぅぅぅ』と思って、すぐに病院に行ったんだけど」う～ん、さすがはののも姉さん。「演技」って！

で、アレク本人に直撃だ。「んむはぁ～、ちょっと動いただけでめまいがして気分が悪くなってたんだけど、もう大丈夫。まだ受け身とか頭を打つようなトレーニングは出来ないけど」イゴールに300発以上ものバズーカ・パンチを叩き込まれたアレクの三半規管には、かなりのダメージが蓄積していたのだ。ダメージを考慮して最低1ヶ月は欠場するという。8月のヤンジェネか、『PRIDE』か、あるいはもっと先なのか？ 復帰のメドはまだ立っていないが、アレクは燃えている。「より一層ワイが光るために、『PRIDE』の舞台にまた上がりたい。桜庭選手や藤田選手に話題を持っていかれてる分を取り返したい！」と力強く語ってくれた。最初に『PRIDE』に挑んだときもアレクはどん底からのスタートだった。ボブチャンチン戦、シャムロック戦、そして今回の欠場ですべての貯金を吐きだしてしまった感もあるが、逆にアレクが再びのし上がるためにはいい環境が整ったといえる。逆境を跳ね返して、燃えろアレク！ そして、のし上がるための底力を蓄えて戻ってこ～い！

ボブチャンチンとの一戦では、顔面ボコボコになりながらもプロレスラーのハートの強さを見せつけたアレク。逆境に燃える男だからこそ、ここからの巻き返しは期待大！

入院→すぐ退院したので7月10日の会見には出席したアレク。席上、9月23日～10月1日のロード・ウォリアーズ来日ツアーで、「アレックス・ウォリアー」に変身すると大胆予告！

BAD NEWS

part.2

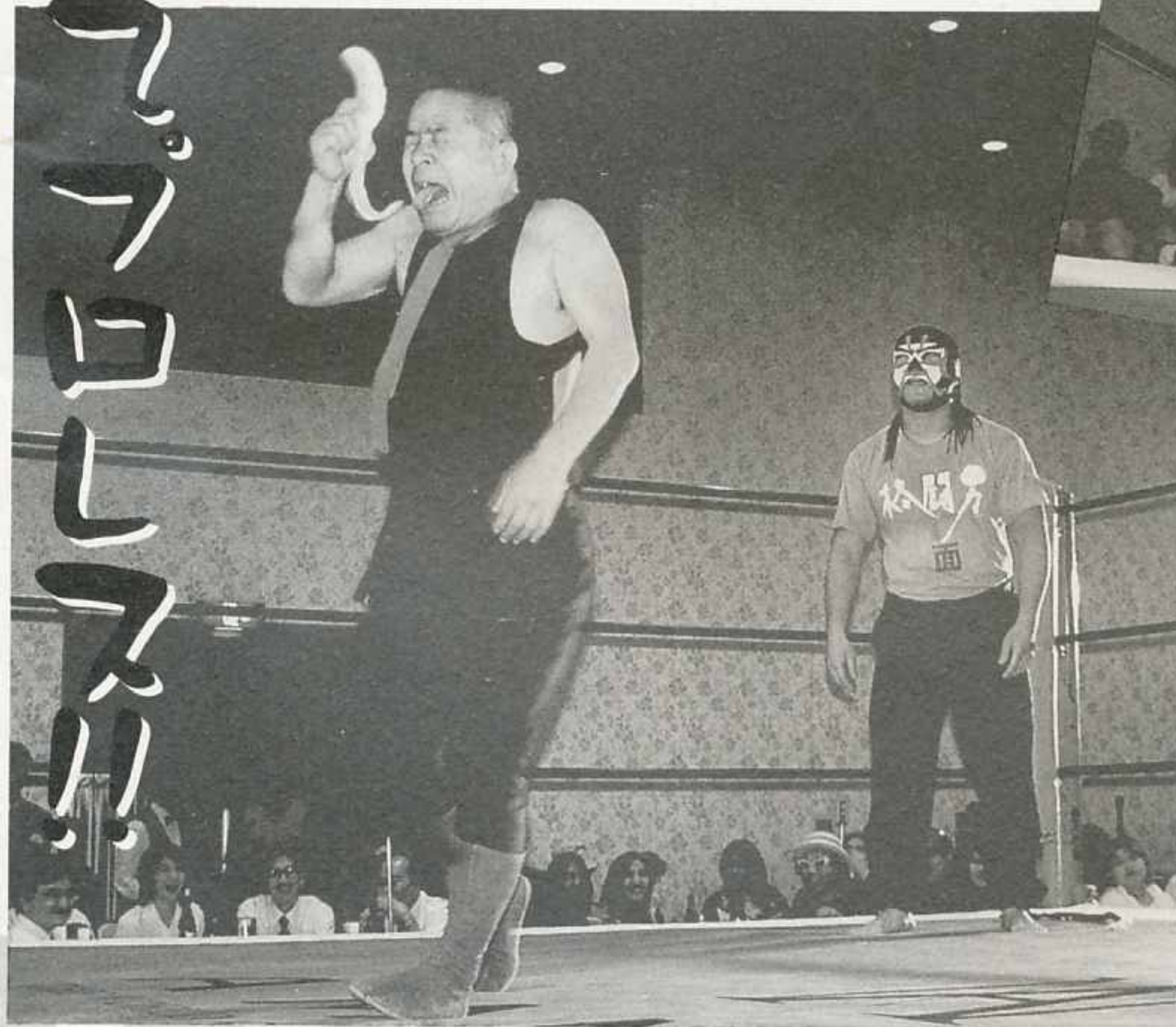
シューティングを越えたものがプロレスならば…
プロレスを越えたものがR指定プロレスだ!!

エロ、酒、歌、メシ、そしてプロレス!!

プロレスとストリップが奇跡の融合!!

つぼ原人が外人巨乳美女のオッパイをしゃぶり尽くす。リング上ではストリップが披露されるなど完全な無法地帯となった！　オヤジ系元気の素が詰まった歌舞伎町フレイバー全開の絶倫イベントに、みんな集まれ！

ブッチー武者が『オレたちひょうきん族』でおなじみの懺悔スタイルで登場！　この日の東京大飯店に集まったお客さんを審判してもらった。結果は……当然、○！

いつも以上にエンターテイメント性の強い試合を見せた角掛留造 vs ブッタマンの小人プロレス（レフェリーはリトル・フランキー）。なんとお客さんも試合に参加してしまった。

サル以上にサルっぽかった芸人・三木ヒロシのサル真似は場内は爆笑！　このほかにもグレープフルーツの皮投げは凄すぎ!!　サスケは当分、試合には参加せずコントに参加していくとのこと。

オープニングとエンディングでソウルフルに唄いまくったスリー・ビックリーズ（元ネタはスリー・ディグリーズ）。顔面は黒塗りで踊りまくった。

良識あるプロレスファンの皆さん！　大事件ですよぉぉ～。7月10日（月）、新宿の歌舞伎町の東京大飯店で行われた史上初のR指定プロレス『新宿プロレス』が、遂にその禁断のベールを脱いだ！プロレスとお笑いとエロがブレンドされた濃密な空間は、プロレスが食われかねないアクの強い出し物の連発となった。まずはストリップ！　チチ丸出しのネエちゃんたちがリング上を占拠するとAV出演経験もあるつぼ原人が乱乳、もとい乱入！　そして、「プロレスラーは芸人なんだよ！」発言通り試合もせずにコントのみに参加するザ・グレート・サスケ社長。ブッチー武者や三木ヒロシといった芸人さんたちも持ち芸を披露してサスケと抜群の絡みをみせてくれた。歌もあり、小人プロレスもお客さん参加形式だったりとお楽しみ企画が満載。

どーですかッ、良識派のみなさん！　「シューティング」を超えたものが「プロレス」であるとするならば、その「プロレス」すらも飲み込んで巨大なエンターテイメントとなってしまったのが「R指定プロレス」なのだ。

そんな空気の中で、メインイベントを務めたのがバトラーツのバチバチプロレスだった。石川&ヨネと田中&臼田が蹴りと関節技で火花を散らしあい、観客のほろ酔い気分をビシッと絞めた。次回（8月7日）はUFO・村上一成の参戦も決定！　ますます過激になることは間違いない！

元気の素が濃縮された超絶空間!!

バチバチファイトが空気をシメる!!

石川社長率いるバト軍団は、お祭りムードとはひと味違う激しいファイトを展開。決して狭くはないホールに、ゴンッ！　という頭突きの音が響き渡る。この闘いには客席もどよめきまくった。

アルシオンからはバイオニックJvs AKINOが対戦。エロい野次も飛ばず、素直に試合を見ていた。AKINOはじつにいい選手だ。

みちのくプロレス組も大暴れ！　観客を煽りまくったうえに、休憩時間にはマネージャー軍団がロビーでお色気を振りまくなどサービス満点！

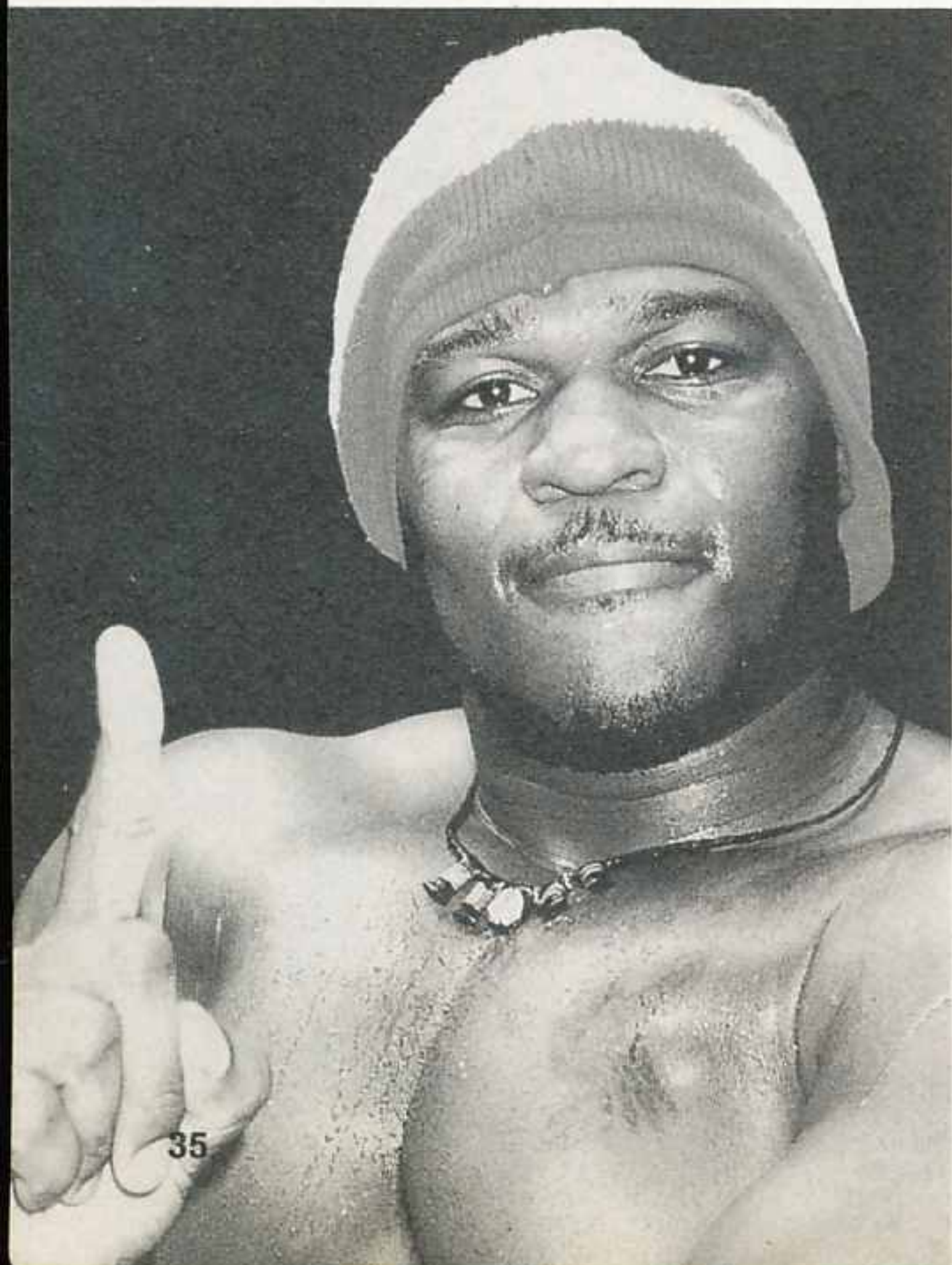
最後には「プロレスをおもしろがる会」の南部虎弾さんもリング上で挨拶。次回大会には村上一成の参戦も発表された。この新宿プロレスは対戦結果も、観客動員数も発表されないため公式記録には残らない。ナマで目撃するしかないでしょ！

BAD NEWS part.3

アイブル、グッドリッジ、スコーピオ、ペレ……そしてラスタマン ラスタパワーが夏のバトラーツを乗っ取る!!

ここ最近、特に『PRIDE』シリーズ以降だろうか、黒人選手の台頭が著しい。リングスと『PRIDE』を股にかけたアイブルをはじめ、ハードパンチャーのグッドリッジや掣圏道に初来日を果たしたペレなど、彼らのしなやかで破壊力のある打撃はどうにも止められないといった印象だ。

一方、純プロレス方面にも超大型台風のような破壊力の黒人選手がやってきた！　その名もズバリ、ラスタマン！　どーですか、このわかりやすすぎる名前とキャラ！　身長2メートル、体重135キロと全盛期のハルク・ホーガンばりの巨大な肉体とボブ・マーリーから脈々と受け継がれる〝闘争〟の心を持つ、危険きわまりないラスタファリアンだったのだ。しかも、この大男は対戦相手はみな秒殺、藤田稜の足も破壊するなど危なっかしい試合を連発！　次々とKOの山を築き上げ、7月にはタッグマッチながらもアレクからフォールを奪ってしまう。

ハッキリ言って、今年のヤンジェネは1人『レゲエ・サン・スプラッシュ』（日本最大のレゲエ祭り）状態になる可能性大！　日本人も大ピンチだろう。昨年の優勝者である池田大輔もいないうえに、アレクも前半戦は欠場となる模様。今年のヤンジェネの大本命はこの男だろう。じつはバトラーツの公式パンフレット誌上で、DSEの森下社長が公開引き抜き宣言（もし優勝したらの話）するほど、すでに関係者の間では水面下での引き抜き合戦が開始されているのだ。果たして、この男を止められる男はいるのか？　石川、ヨネ、長井あたりに期待したいところだが……9月7日の後楽園ホール大会（18：30～）で行われるヤンジェネ決勝戦で笑うのは、この男なのか⁉

試合中に奇声をあげるなど、わけのわからない行動は多いものの黒人特有の身体能力の高さはズバ抜けている。誰がこの勢いを止められるのか？　ジャー・ラスタファーリ！

大反響にお応えして今回から増ページでお届けします

プロレスの明日はどっちだ!?
井上義啓氏激語り!!

週刊ファイト　連載インタビュー

I元編集長
井上用語の基礎知識

爆発的大好評にお応えして、今回から増ページとなったI編集長の連載インタビュー。今回は、今年のマット界最大のキーワードとなった「裏原宿プロレス」について、井上さんの口から直接説明していただきました。えらく「今風」な単語だが、決してファッションだけのことを言ってるわけではない。もっと深い意味があるのだ!

井上義啓プロフィール

1934年、岡山県出身。大阪発の新聞『週刊ファイト』の元編集長。単なる試合レポートではない、いわゆる「活字プロレス」の始祖。現在でも、『ファイト』の連載（絶対必読!）を始め、様々な媒体で執筆活動を展開中。

聞き手・原タコヤキ君改め原一博（メディア・プルボ）

井上用語その3 裏原宿プロレスって何？

—井上さん、今回はボクが忙しくて、電話でお話をお聞きするという形になっちゃったんですけど。すいません。

井上 いやいや。

—それでですね、今回の旬なネタとしては、やはり全日本プロレスの分裂だと思うんですけど。

井上 まあね、馬場さんが生きていた時からこういうことが起こるとは思ってましたよ、オレは。

—お、井上予言ですね！

井上 これは重要なポイントですよ！ なんでか言うたらね、小橋なんかはずっと海外で大暴れしたかったんでしょ？ まあ、ヒロ・マツダみたいにプイッと出ていくようなことはなかっただろうけども。それで今度馬場さんが亡くなったわけだろ？ そりゃ、小橋は出ていきますよ。いい悪いは別にしてね。そういったところから分裂してね、これからは川田あたりもプロ格（「プロ格」については前々号参照）の方へ進むだろうと思ってるんだけどね。

—ということは井上さん、今度の全日本分裂は、元子さんと三沢選手の確執うんぬんじゃなくて、プロ格がポイントになるというわけですか？

井上 そういうことですよ！ もうね、王道のプロレスというのは守りきれないんですよ。プロ格という波の前では王道プロレスは古く見えちゃうんだから！（キッパリ）。三沢がチャンピオンカーニバルを総当たりリーグ戦からトーナメントに変えただろう？ あれこそプロ格への移行ですよ。トーナメントというのは、負けたらそこで終わりなんだから。たとえおいしい組み合わせが飛んでもね。あれは大きな意味ではプロ格なんですよ。

—ほう。三沢選手もそのへんを敏感にキャッチしていたということですね。

井上 三沢だけじゃない。川田あたりはプロ格的な闘いをしとったからね、前から。とにかくだ、プロ格の波は全日本を飲み込んだ。そしてね、そのプロ格を受け入れるということが真の開国なんだから。

—インディーの選手をリングに上げるとかじゃなくて、プロ格に対応するということが本当の開国だと。

井上 だいたいね、みんな開国というのがどういう意味かちゃんとわかってないんだから！（ドンッとテーブルを叩いているはず）。新崎人生とかが全日本に上がって「開国だ」ってワーワー言うとったけども、全日本は旗揚げしてすぐにサンダー杉山とかデビル紫とか、国際プロレスの選手を上げとったんだから。全日本は最初から開国してるんですよ、言うちゃ悪いけど。

—ま、まあそうですね。でも確かに川田選手も試合後、「2.9プロレスを卒業する」というようなことを言ってましたしね。

井上 まあ、2.9プロレスなんて言い出したのもオレだろうけどね（笑）。でも三沢は川田以上にそう考えているよ。もう三沢は2.9プロレスだとか因縁をもって最終戦の武道館になだれ込むとか、そういうのはなくすはずだから。

—それにしても川田選手はどうして残っちゃったんですかね？

井上 あれは、「全日本の名前を消したくない」という川田の浪花節的な部分であってね。でも川田が睨んでいる先は一年後でしょう。

—一年後にどうなるんですか？

井上 もう店を畳むでしょう。

—ええ!? 全日本プロレスの看板を取るということですか？

井上 「もうお暇させていただきます」って言うてね。その後は完全にプロ格の方向へ向かいますよ、間違いなく。だから、元子さんがどんなに頑張っても、もう全日本プロレスはダメ。

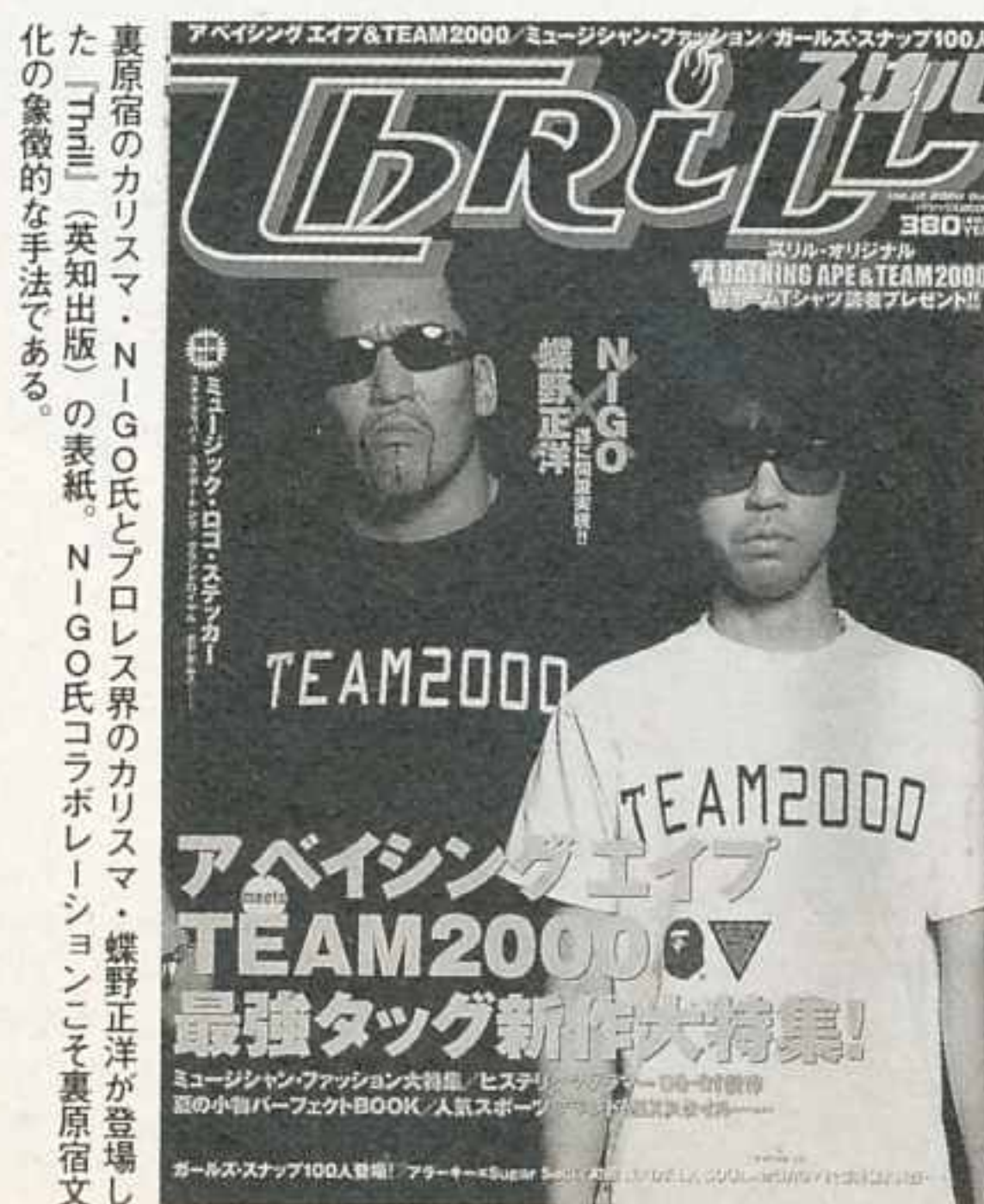
—ダメ!?

井上 ダメですよ（キッパリ）。残念ながら全日本の命運は尽きてる。全日本の外人なんかはプロ格に移行できないだろう？

—まあ無理でしょうね。

井上 じゃあ仮に渕と桜庭がやるっていうたってね、そういうミスマッチ的なものもあるかもしれんけど、ファンに「渕vs桜庭？ フーン」って言われたら終わりなん

裏原宿のカリスマ・NIGO氏とプロレス界のカリスマ・蝶野正洋が登場した『Thrill』（英知出版）の表紙。NIGO氏コラボレーションこそ裏原宿文化の象徴的な手法である。

格闘CHAOS 2000

裏原宿プロレスとは目の前のものを壊すこと。そしたら全然別のものを作るしかない!!

だから。それは近藤vsヒクソンにしたってそう。近藤が桜庭とか藤田に勝ってのし上がれば別だけどね。今のままじゃあ観る方はほとんど観てくれんだろう。それに、近藤が来年勝っても、「もうヒクソンも年だな」って言われたらしょうがないんだから。

——はあ。

井上 それはもう、船木の引退というインパクトが大きすぎたんだよ。あんなに大きなインパクトを残したら、パンクラスの将来のためにもよくないんだから！ あれが震度8だとしたら、これから近藤らが頑張っても震度3くらいにしか感じられなくなるんだから！ 人間の感覚っていうのは恐ろしいもんだからね。すぐに抗体ができてしまうんだから。

——なるほど。どうでもいいですけど、なんかでも最近、やたらと地震多いですね。

井上 オレなんか阪神大震災の時、頭にエレクトーンが落ちてきたからね。

——エレクトーン!?

井上 オレが寝相が悪かったのがよかったんだろうけど、枕にエレクトーンがドーンと刺さってたから！ あれ、オレが枕の上に頭を置いとったら死んでましたよ！

——それは凄い体験ですねぇ。しかし、そのエレクトーンはどうしたんですか？

井上 買ったんだよ、オレが。会社辞めてね、なんか楽器の一つでもできんといかんなあ思ってね。

——へえ。弾けるようになったんですか？

井上 いや、ならんかったな（笑）。そりゃ少しはね、できる曲もあったけど。

——お、なんですか、その曲は。

三沢らの新団体ノアは、個人責任のもとに自由なスタイルが選択できるという点が全日本との大きな違いだろう。「今風」を標榜するだけあって、グッズやTシャツなどにも思いきった斬新さを取り入れるという。

井上 『さくらさくら』ですよ、言うちゃ悪いけど。そんなもの、『月の砂漠』なんてアンタ、難しくて途中で辞めてもうたよ！

——聴きたいなあ、井上さんの『さくらさくら』。

井上 楽器ってのは難しいぜぇ。オレはトランペットも買ったことあるけど、音も鳴らんかった。

——トランペットまで！ 井上さん、音楽好きなんですねえ。フェイバリットミュージシャンは誰ですか？

井上 そんなもん、アンタ、高峰三枝子に決まってますよ！

——高峰三枝子！ ああ、名前を知ってる程度ですね、僕は。

井上 あと鶴田浩二とか石原裕次郎な。ああいう映画スターってのは歌を歌っても素晴らしいんだよ。やっぱりあの人たちは心に華を持ってるんだな。

——心に華ですか。いい言葉ですね。最近の歌はどうですか？ 宇多田ヒカルとか。

井上 ああいうのは全然わからんな。あと、あの、あるだろうが、マラリアなんとか。

——マライヤ・キャリーです、井上さん。

井上 そうそう。オレらのような昭和一ケタ世代にはよくわからんよ。

——いや、でもそうは言っても井上さんは最近「裏原宿プロレス」なんて言葉を発明したじゃないですか。ビックリしましたよ、あの言葉には。実際に裏原宿に行ったことはあるんですか？

井上 そりゃありますよ！ 編集長辞めてから、何回か行ったけど、あれは独特な街でしょう？ オレは溶け込もうとは思わなかったけど、若い者がそれだけ集まるんなら、やはりプロレスの中にも裏原宿的なものがあるに違いないと思ったんだよ。

——原宿にいてもプロレスのこと考えてるなんて、井上さん、マジ尊敬します。

井上 裏原宿なんてベンチャー企業の集まりだろう？ とにかくもう、店が有名になったらダメだというんだから。有名になったら出ていってくださいって言われるんだから。あの街では新しいモノを作ろうなんて悠長なこと考えとったらダメなんだよな。とにかく目の前にあるものを壊してしまえということなんだよ！ それで目の前のものを壊してしまったら、全然別なモノを作るしかないんだよ。そういう意味では裏原宿は〝明日なき街〟ですよ。だからプロレスもそう。何も考えるな。今までのプロレスを潰せ！

——高峰三枝子どころかピストルズじゃないですか、井上さん！ その概念はわかりましたが、じゃあ裏原宿プロレスを具現化してるのって誰ですか？

井上 そりゃ猪木ですよ！

——出ました！

井上 猪木が言ったSFS（※猪木の元に集まった桜庭、藤田、佐竹で結成された団体のワクを超えたユニット。それぞれの頭文字を取って名付けられた）な。あれは団体じゃないんだから。それぞれのベンチャー企業が猪木という街に店を構えたわけだろう。

——ああ、そう言えばホンマそうですよね。

井上 でもオレが裏原宿プロレスに気がついたのが今年の1月5日なんだよ。ところが、猪木がSFSを打ち出したのが1月10日なんだよ。もうオレは呆然としたよ！ なんでオレが呆然としたかというと、今までオレの予言が現実になるには10年から15年かかってたんだよ。「これからのプロレスの主流は異種格闘技戦になりますよ」とか「これからは団体はなくなりますよ」とか言うても、

それぞれのベンチャー企業が猪木という街に店を構えたわけだろう

「また井上のバカがなんか言ってるぞ」と笑われていたんだよ。

——確かに今まではそうだったかもしれませんね。

井上 ところが今は時代のサイクルが早過ぎて、オレが思いついて原稿を書いて、それが活字になる頃にはすでに現実になってるんだよ。もうこれからは思ったことはすぐに喋ったり書いたりしないと間に合わないんだな。

——井上さんはインターネットの方があってるかもしれないですね。

井上 この前もそうですよ。「そのうちに天龍や大仁田が全日本に参戦するだろう」なんて書いた時は、「さすがにそれはないでしょう、井上さん」なんて言われたんだよ。ところがどうだ、現実は。その通りになったんだから。『週刊ファイト』からも電話がかかってきましたよ。「井上さんの言う通りでした」いうて。

——へえ。でもまあ、話は戻りますけど、確かに裏原宿プロレスってのは言い得て妙だと思います。最近つくづく思うんですけど、やっぱり井上さんとか元ターザン山本さんとか、ネーミングのセンスというか、言い切る気持ち良さとか、やっぱり『紙プロ』世代にはないものを持ってるんですよね。なかなか言えませんよ、裏原宿プロレスなんて。椎名林檎並ですね、センスが。

井上 なんだって?

——いや、そういう人がいるんですよ（笑）。いやでも裏原宿プロレスかぁ。

井上 藤田なんかベンチャー企業そのものだろう?

——や、ホンマそうですよ。大きな団体に所属する必要がないというか、それまで大きな団体に所属していることがメリットだったのが、今ではヘタしたらデメリットになることもありますもんね。

井上 ベンチャーっていうのはね、昨日まで一緒に仕事していた仲間だったのが、今日からは別のTシャツを着て、別のスタッフとバリバリ仕事するっていうことなんだから。

——藤田選手なんかモロそうですよ。

井上 これからは川田あたりが裏原宿プロレスの象徴的存在になりますよ。必ずそうなる！ 小橋もそうなるし、カシンあたりもそうでしょ?

——そうですそうです。

井上 でもそう考えるとやっぱり猪木ってのは凄いんだよ。平成プロレスどころじゃない。もっと先へ先へ走っとるんだから。

——ホンマにそう思います！

井上 それにみんながついて行ってるんだもん、実際。これから永田にしても安田にしても猪木の流れについていくんだから。

——そうなるでしょうね。でも井上さんの考え方っていうのは、これはプロレス界に限ったことじゃないでしょうね。

井上 オレが喋ってるのはみんな世の中全体にも通じることなんだから。もうね、百貨店なんかなくなるから、絶対！ あんなもん、みんながわざわざ出掛けてショッピングする必要がどこにあるもんか！ 高校や大学にしてもそう！ パソコンとインターネットがあるんだもん。今だけだよ、自宅から学校に通ったりしてるのは。

——自宅にいながらにして講義を受けると。

井上 そう。高校とか大学とか、教育のシステムは残るよ。それは残るけどもやり方が全く変わる。これからはそうなるんだから。

——昭和一ケタなんて言いながら、井上さんが誰より先進的なんやもんなあ。井上さんは大学ではちゃんと勉強してたんですか?

井上 いや、してない。オレが行っとった神戸商科大学なんていうのは難しかったもん、言うちゃ悪いけど！ あんなに難しい大学に入ったこと自体が間違いだよ。

——ハハハハハ。

井上 あれは公立だからねえ。250人しか取らないのに、オレの受験番号は7000番台なんだもん。オレはあれを見てイヤになったよ。

——へえ。そんな難しいんや。

井上 だからオレのある知り合いが聞いてきたよ。「井上さんはどこの大学ですか」いうて。それで「神戸商科大学です」って答えたらすごすご帰っていったもんな。きっとオレなんかは大した大学を出てるように見えんかったんだろうな（笑）。

——何気に大学にこだわりがありますね、井上さん（笑）。でも井上さんは、勉強もしなかったんなら、普段は何をしてたんですか?

井上 学校の勉強はせんかったけども、やっぱり自分の好きな歴史の勉強なんかはしとったな。

——四年間ずっとですか?

井上 四年間じゃない。オレは大学の時、おたふく風邪にかかって……。

——大学生でおたふく風邪ですか！（笑）

井上 いや、違う、急性腎炎だった。

——全然違うじゃないですか！（笑）。

井上 それで五年生まで行ってしもうたからね。

——へえ。それで来る日も来る日も歴史の勉強ですか。

井上 歴史ばっかりじゃないよ。よくストリップも観に行ったな。

——井上さんがストリップ！（笑）。当時のストリップってどんななんですか?

井上 そりゃもう、アンタ、ほとんど脱がないな、踊り子さんは。

——はあ。

井上 オッパイも見えるかどうかだよ。

——チラリズムですね！

井上 そう。だから今みたいにパンツの中まで見せたりなんか絶対なかったな。

——そんなの、今では考えられないですね。

井上 オレは最近のストリップは知らんけどな、だいたい見せすぎだってことをオレは言いたいんだよ！（ドンッとテーブルを叩いているはず）。

——おお！ 確かにそうかもしれない。

井上 あんなので誰が興奮するかってことだよ！

——なんかプロレスにも通じますね、それ。しかし武将もストリップもいいですけど、たまには女の子とデートなんてのも行ってたんでしょう?

井上 いや、ほとんどないな。出会いの機会がなかったんだから。

——ワハハハ！ なにかわいいこと言ってるんですか！（笑）。そっか、一度井上さんと誌上デートなんてのもいいかもしれませんね。今日は電話ですいませんでした。

【7月9日 2時間弱の電話取材にて収録】

団体所属の選手としてではなく、個人単位で動いていく選手が今後も増えていくことだろう。石沢が起こした『PRIDE』参戦のアクションは、新時代の到来を予感させるものだった。

格闘CHAOS 2000

紙のプロレス RADICAL Back Number Information

No.5
★すべてはここから始まった!
高田延彦ロングインタビュー
猪木、Puffyほか有名人33人が
高田vsヒクソンを大予想
ドン荒川vs藤原喜明超過激対談!
前田日明の『人生は語らず』
世界格闘技連盟を語りたおす!
佐山聡（タイガーキング）
長井満也／柳澤龍志／ディック東郷
愚乱・浪花／ザ・グレート・サスケ
長与千種／ライオネス飛鳥／ビクター・クルーガー
パンクラス旧合宿所誌上大公開!

No.9
★「アントニオ猪木・闘魂連鎖!無礼講大特集!!」
前田日明／ザ・グレート・サスケ
高田文夫／春一番／ターザン山本／石川雄規
衝撃のさらばプロレスマスコミ宣言
業界病を吹き飛ばせ!!座談会
見てみい、この面ッ!!
高阪剛ロングインタビュー
前田日明ラス前インタビュー&炸裂人生相談
日プロOB吉村道明&ユセフトルコ
&遠藤幸吉&駿河海
『格闘家からみたプロレス!』
朝日昇★谷津嘉章／佐野なおき
下田美馬&三田英津子

No.10
★特集「灼熱の地殻変動'98」
大和魂は連鎖する!!
前田日明vsエンセン井上スクープ対談!
とにかく元気!高田延彦ロングインタビュー
またもや大爆発!
谷津嘉章インタビュー第2弾!
社長&会長対談・ザ・グレート・サスケVS松永高司
『紙のプレイボーイ』発進!!
ダイアナ&宮内美穂
ターザン山本のプロレスマスコミ表紙批評!!
『紙プロスーパースター列伝』北沢幹之
冬木弘道ロングインタビュー

No.11
★特集「格闘Viagra'98」
高田延彦vsエンセン井上
エネルギーエクスチェンジ烈談!!
前田日明ラストマッチ後初インタビュー
ターザン山本のプロレスマスコミ表紙批評!!
「格闘か?芸術か?それとも格闘芸術か!?」
佐山聡／スーパー宇宙パワー（木村浩一郎）
福田雅一
★ザ・グレート・カブキ／ダンプ松本
★バト両国進出記念石川雄規
トンパチ・マシンガンズ
★とうとう語られるSWSの真実
「S多重アリバイ」アポロ菅原

今月の約束!!!
～「『紙プロ』に載せてくれたら
1人3冊買わせますよ!」(byタノムサク鳥羽)～

載せましたよ
必ず買わせてね

※タノムサク鳥羽と愉快な仲間たち(今風?)【7·6DDT「club·ATOM」大会にて】

No.12
★特集「格闘TEPODON!!'98」
2度目のヒクソン戦直前!
高田延彦ロングインタビュー
「プロレスファンよ踊れ!
祭り囃子を鳴らせ!!」浅草キッド
人気大炸裂!『S多重アリバイ』
第2弾アポロ菅原
★桜庭和志／アレクサンダー大塚
山本喧一／神取&北尾／八木淳子
ダンプ松本／猪木イズム世界一決定戦
石川雄規&ザ・グレート・サスケ
格闘王から相談王へ前田日明「人生は語らず」
話題騒然!! What is プロ格闘家?
菊田早苗&郷野聡寛

No.13
★特集「四角いジャングルRADICAL」
実写版『1・2の三四郎』降臨!
アレクサンダー大塚インタビュー
『10・11 PRIDE.4』とは何か?
ザマアミロ雑談会!!
高田延彦がヒクソン戦後の心中をリアルに語った!!
前田日明・エンセン井上が語る
『高田VSヒクソン戦!!』
谷津嘉章・島田裕二・浅草キッドが見た
『10・11 PRIDE.4』
大反響!『S多重アリバイ』第3弾
ケンドー・ナガサキ
★ボブ・バックランド／松永光弘
リッキー・フジ／堀辺正史

No.14
★特集「格闘DREAM CAST」
前田日明独占ロングインタビュー
これがカレリンの発した言葉だ!!
山本美憂・聖子vs父・親子ゲンカ!? 対談
連勝街道爆進中!金原弘光
RADICAL版 ゆく年くる年座談会
谷津嘉章のマット界、目ぇつぶって30秒!!
『高田道場1999!』高田延彦／桜庭和志
佐野なおき／松井大二郎／豊永稔
『S多重トンパチ』第4弾 折原昌夫
★『虎の尾を踏む男たち '99』小路晃
4代目タイガーマスク／村上一成／宇野薫

No.15
★特集1「格闘MARS ATTACKS!」
橋本戦の核心を語る
小川直也with.S.Sインタビュー
佐山聡／4代目タイガーマスク
UFO襲来緊急座談会
★特集2「格闘LAST VOYAGE」
前田日明USA特訓を直撃!
アレキサンダー・カレリン
浅草キッド／アニマル浜口親子
★ジャイアント馬場追悼特集
本誌初登場!SASUKE
『語ろうマサ・サイトー!』
『S多重アリバイ』2連発!
佐野なおき&Mr.W

No.16
★特集1「格闘ノストラダムス'99」
エンセン井上ロングインタビュー
田村潔司／坂田亘／高阪剛／山本喧一
村上一成／マーク・コールマン
石川雄規／ザ・グレート・サスケ
★特集2「それぞれの旅立ち '99」
アントニオ猪木ロングインタビュー
前田日明引退後初の独占インタビュー
大好評!「語ろう」シリーズ第2弾!
『語ろうジャンボ鶴田』
『S多重アリバイ』第7弾石川孝志

No.17
★特集1「格闘MAKE JUNGLE」
UFO襲撃三昧小川直也インタビュー
桜庭和志／高田延彦／アントニオ猪木
豊永稔／マグナムTOKYO／池田大輔
宮戸優光
★特集2
「新生リングスBone&Blood」
前田日明／山本宜久／成瀬昌由
R・クートゥアー
★タイガー・戸口／矢口壹琅／『怪物通信』
「ターザン山本さん、目を覚ましてください!!」
イベント炎上鎮火ドキュメント!!

No.18
★特集「格闘STAR WARS」
カーウソン・グレイシー一派を壊滅!!
桜庭和志VIVAVIVAロングインタビュー
小川直也e-mailインタビュー／高田延彦
エンセン井上／イーゲン井上／小路晃&宇野薫
格闘STAR WARS座談会
★『S多重アリバイ』第8弾将軍KYワカマツ
「外人さん、いらっしゃ～い」
F・シャムロック／G・グッドリッジ
R・グレイシー
『怪物通信』G・アイブル
『闘魂猪木塾とは何か?』

No.19
★いま一度高田延彦を注視せよ!
マーク・ケアー戦直前高田延彦インタビュー
リングス、パンクラスにも咆吼三昧!!小川直也
マット界の今後を前田日明CEOが激白!
『紙プロスーパースター列伝』ドン荒川
佐山聡／エンセン井上／成瀬昌由
TARUwith AYAKA／宇野薫
アレクサンダー大塚
『怪物通信』4連発!
M・ケアー&G・グッドリッジ&
E・F・ブラガ&G・メッツアー
上田馬之助／井上貴子／川口健次

No.20
★人間UFO吠えまくる!
小川直也インタビュー
独占!! 公開インタビュー前田日明
アレクサンダー大塚
高田延彦爆炎記者会見／佐山聡とは何か?
『語ろう藤波辰爾』／バス・ルッテン
『S多重アリバイ』第10弾ドン荒川
滑川康仁／カール・マレンコ／高阪剛
山本宜久／成瀬昌由／小路晃&宇野薫
ケビン・ヤマザキ／内藤恒仁
敗者『紙プロ』追放試合!
ジャイ子vsトイレの大西さん（仮）

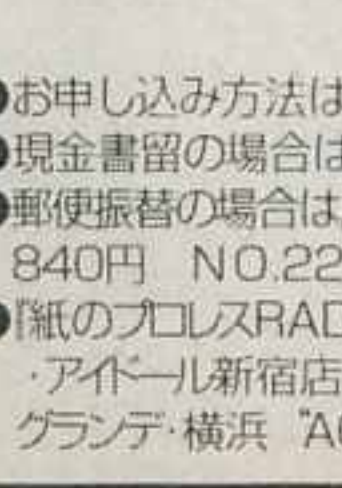
No.21
★恐怖のプロレス大魔王降臨!
小川直也ロングインタビュー
『紙プロRADICAL』初登場じゃあ!
大仁田厚／前田日明総帥激白!
本誌独占! 発見八木淳子
『S多重アリバイ』第11弾鶴見五郎
G・アイブル／R・フィエート
本誌先取りB・コーラー
桜庭和志IN青空プロレス道場
エンセン井上／山本喧一／高瀬大樹
アレクサンダー大塚／モハメド・ヨネ
CIMA／田中健一／平直行
コーラ・パワーズ／本誌独占G・サスケ死す!

No.22
★サク、グレイシーに完勝この上なし!
桜庭和志ロングインタビュー
前田テロ事件サプライズ座談会
ヤマケン?…俺は逃げる!田村潔司
俺は逃がさない!山本喧一
スモーノブ初土俵!大刀光
好評につき第2弾!田中健一／馳浩／小川直也
ゴールドバーグ／坂田亘／木村浩一郎／長井満也
池田大輔／B・コーラー&A・ウォリアー
佐藤耕平／渡辺千景
ヒクソン&ホイラー兄弟の
「ああ言えばこう言う録」

No.23
★道はどんなに厳しくとも笑いながら歩こうぜ!!
ホイス戦直前!高田延彦インタビュー
超異次元対談大仁田厚VSエンセン井上
つっぱれ大刀光
スモーノブがっぷり四つインタビュー佐々木嘉則
ヒクソン・グレイシー／W・ウィリアムス
ジャイアント馬場1周忌追悼座談会
レスラー生活10周年記念ザ・グレート・サスケ
★「リングス『KOK』大特集!」
襲撃事件後『紙プロ』初インタビュー前田日明
ヘンゾ・グレイシー他
刺青女多和田初美／木口宣昭

No.24
★頭、打ちすぎたかアレク!!
アレクサンダー大塚
ロングインタビュー&1・30密着ドキュメント
『新プロレス』とは何か?緊急座談会
5・1ホイス狩りに王手!桜庭和志
グレイシー討伐を公約!田村潔司
VTの見方全て私が教えます!堀辺正史
『柔道多重アリバイ』守山竜介
KOK大予想大会!／中西百重
語ろう船木VSヒクソン座談会
『紙のプロレスAMERICAN』
ブチ抜き17ページWWF大特集
ザ・グレート・サスケ×矢追純一UFO対談

No.25
★「新プロレス」へ突き進めーッ!格闘ロマン、続行ーッ!!
猪木イズムを携えた『思考する野獣』誕生ーッ!!
藤田和之ロングインタビュー
ヘンゾ討伐記念!田村潔司
アブダビ・KOK・田村の勝利を語り倒す!!前田日明
椎名基樹のいい日アブダビ紀行文!
「UWF」が立ち昇った座談会
4・7ゴールデンタイムで破壊王と激突! 小川直也
UFOの特攻隊長、爆進!!村上一成
石川雄規&小路晃対談
ミスター高橋の新日本セキュリティボディーガード
アカデミー秩父合宿リポート

No.26
★「プロレス」を頼むゾーッ!! やっちゃってくれサク!!
桜庭和志炎のロングインタビュー
本誌独占!金無垢のロレックス贈呈式!!
前田日明&田村潔司
人間UFO、4·7ゴールデンタイムで破壊王を壊滅!!小川直也
「プロレススーパースター外伝」ミスター高橋
本誌独占!斎藤彰俊
遂に復活!クラッシュ2000／大仁田厚／エンセン井上
TAKAみちのく／山本宜久／村浜武洋
「4·7ドーム」&「格闘ドリームキャスト」座談会
女子総合格闘技ReMiXの全貌!

No.27
★「新プロレス」は連鎖する!
桜庭和志withサクラバマスク
ホイス完封記念インタビュー
ほ乳類最強の男藤田和之ド迫力に降臨!!
タムタム元気!田村潔司
大仁田厚vs馳浩ハイテンション対談
佐山聡vs田中健一師弟対談
G・アイブル／K・シャムロック
本誌独占第2弾!斉藤彰俊／格闘連鎖座談会
金原弘光／M・スペーヒー&R・アローナ&R・ババル
ホイス&ホリオン&エリオのその後／平直行／堀辺正史

No.28
★「格闘リンク」続行ーーッ!!
小川直也ロングインタビュー
前田日明、尾崎社長を暴行? or説教?
"事件"の胸中をド激白!
無差別対戦表明、咆吼!田村潔司
故・ジャンボ鶴田夫人、衝撃の真実を独白!
ヘンゾ・グレイシー／アラン・ゴエス／TKおかん
『紙プロスーパースター列伝』2連発!山崎一夫&仲野信市／旭道山／池田大輔
豊永稔／ミスター高橋／I元編集長「井上用語の基礎知識」
山口日昇のサブウェイ「格闘リンク」トーク

【バックナンバー申し込み方法】
●お申し込み方法は現金書留と郵便振替の2種類があります(バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません)
●現金書留の場合は希望号数を書いた紙を同封し、〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702(株)ダブルクロス『RADICAL通販』係まで送って下さい。
●郵便振替の場合は用紙裏面の通信欄に希望号数を明記し、00130-3-769154 (株) ダブルクロスまで。代金はNO.5～NO.10=680円 NO.11～NO.19=780円 NO.20=880円 NO.21=840円 NO.22～NO.23=880円 NO.24～NO.28=840円 送料1冊=310円 2冊=340円 3冊～4冊=450円 5冊=520円 6冊以上=700円
●『紙のプロレスRADICAL』バックナンバー常備のえらい店
・アイドール新宿店・新宿ファイター・大山アメリカン・プロレスマニア館・チャンピオン東京・チャンピオン大阪・リングパレス・バディスラム・タコシェ・レッスル渋谷店・レッスル池袋店・書泉ブックマート・書泉ブックタワー・書泉グランデ・横浜"AO"CORNER・下北沢バンバンビガロ・ワールドスポーツプラザKINGS (池袋店・渋谷WEST店・新宿アルタ店・名古屋店・大阪店・札幌店・福岡店)

※NO.1～NO.4、NO.6～NO.8は完売しました!

★★★プロレス&格闘技専門ビデオショップ★★★

チャンピオン

Champion

【広告のページです】

『チャンピオン』では、『紙プロ』本誌50%OFFなど真夏のスペシャルセールを実施中! カモ〜ン!

風雲チャンピオン激場!!
果たして売り込みは成功するのか!?

登場人物

ダンチョー■『チャンピオン東京店』の店長。邪道な売り込みに対しては容赦なく鉄腕制裁を下す鬼のような現場監督。

シロー■かつしかFM局で番組を持つダンチョーの部下。「8月7日『新宿プロレス』@東京大飯店にみんな来い、コノヤロー!」。

ミスターKT■チャンピオンの(涙の)カリスマ店員。ふかしタバコで、なぜか商品の売り込みにやってきた。その目的とは!?

スモーノブ■本誌編集部員。今回、お勘定の林ヘクション一枝嬢の特命を受け、チャンピオンにチン入。胸一杯の売り込みをする邪!

Mr.KT編

「おい、ダンチョーさんよぉ」とKT。「またぐな!」と素行不良の邪道店員にダンチョーもプチ切れ寸前だ! 「またぐなよ、いいか? またぐな! またぐんじゃねえぞ!」

「おい、シロー、またがせるな!」とダンチョー。無言でTシャツを突き出すKT。「おい、シロー、受け取っとけ!」あくまで店の敷居はまたがせないダンチョー。

KTが去った後、シローがマスコミにKTが差し出したTシャツを公開。それはなんと、春一番Tシャツの新作(¥3900)だった! これは欲しい! チャンピオンでは絶賛発売中だ! 春一番Tシャツ揃ってます!

スモーノブ編

KTが去った後、入れ替わりでやってきたのがスモーノブ。手には小さい版型の『紙プロ』本誌を持っているぞ! 「またぐな! またぐなよ!」またもダンチョーが入店を阻止!

ダンチョーがまたも絶叫する。「シロー、受け取っておけ!」写真ではわずかな冊数だが、ホントは5、8、11〜22号など在庫を多数抱えてやってきたのだった。

そのまま店内になだれ込むスモー。すると店長は、すかさずサソリに固める!「『紙プロ』のバックナンバー? 5割引きで叩き売ってやるぞ、コラ!」というわけで、急遽8/31まで『紙プロ』本誌50%OFFセールが開催決定!

その他にもダンチョー自慢の品揃えをご覧アレ! DVDにもいち早く対応して、コーナーまで作ってしまいました! 揃わないものはないぞ! 新作も続々入荷中なので早めにゲットすべし!

力道山メモリアル大会(3月11日)のビデオ(¥4800)が、興行ポスター&パンフ付きで¥5000で大特価販売中! 必買!

段ボールにブチ込まれた無数のTシャツ、何と1枚¥500〜大セールを開催中! 何が入っているかは来てのお楽しみ! 他にも猪木携帯ストラップが各種とも¥300で大特価販売中! 越中フィギュアもあるよ!

店がどんなに遠くても、笑いながら歩こうぜ! いつ何時、誰の注文でも受ける通販方法!

<グッズ通信販売>

チャンピオンには、ビデオを中心に、雑誌の最新号&バックナンバー、単行本、Tシャツ、フィギュア、テレカ、トレーディング・カード、マスク、選手のコスチュームなどなど、古今東西のありとあらゆるプロレスグッズが揃ってます!! もちろん『紙プロ』のバックナンバーもズラリとあります。さらに限定販売中の『紙プロ』Tシャツも、ここなら買える! プロレスファンよ、いますぐ来い!

通販を希望される方は住所・氏名・電話番号を明記の上、1電話・2ハガキ・3FAXいずれかの方法にてご注文ください。代金引換になりますので、代金+送料をお支払いください。入金確認後、商品を発送いたします。在庫がないものもありますので、TELにて確認の上お申し込みください。

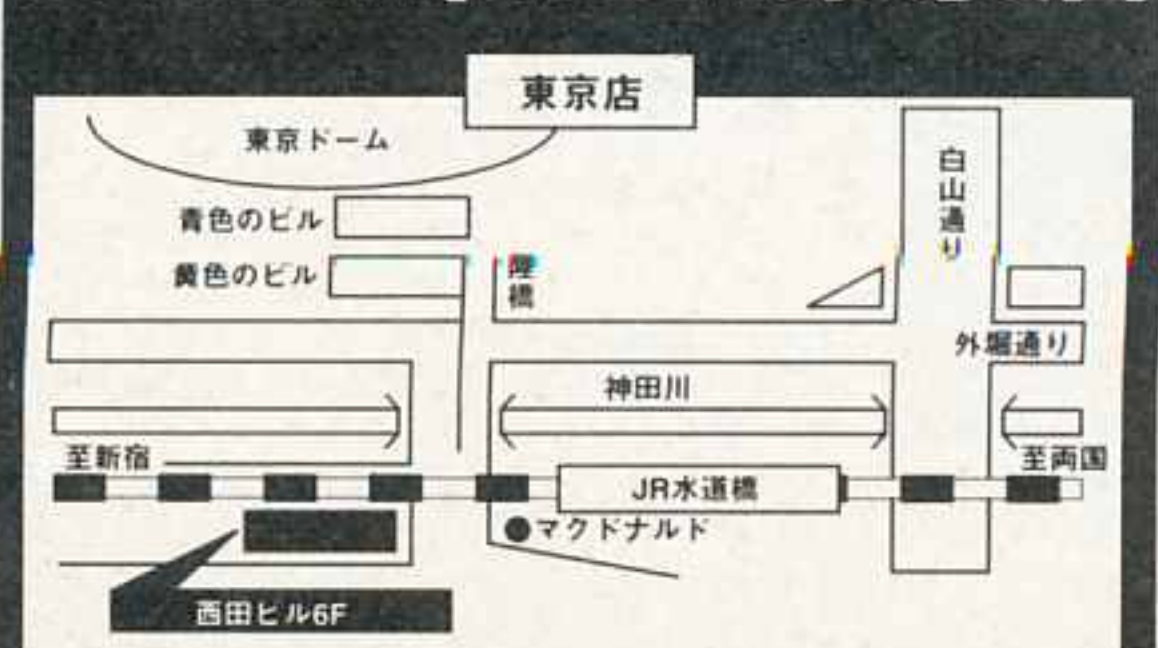
<ビデオのレンタル方法>

地方からも利用可能なチャンピオン独自の便利なビデオ・レンタルシステムの妙技を味わいやがれ!! レンタル方法は以下の3通り! どう借りるかは、あなたの都合に合わせてくれ!

1 店頭にてレンタル、店頭へのご返却
2 店頭にてレンタル、宅配便でのご返送
3 TEL・FAXにてご注文、往復宅配便レンタル

いずれかの方法で注文をお願いします! 東日本地区に住んでいる方は東京店で構いませんが、西日本地区の方は大阪店を利用してください。また、通信レンタル会員を希望される方は、400円切手を同封の上、住所、氏名、電話番号を必ず記入してChampionまで郵送してください。

Champion東京店

東京店 / 東京ドーム / 青色のビル / 黄色のビル / 白山通り / 神田川 / 外堀通り / 至新宿 / JR水道橋 / 至両国 / マクドナルド / 西田ビル6F

〒101-0061
東京都千代田区三崎町3-8-1西田ビル6F
TEL.03-3221-6237 FAX.03-3221-6267
営業時間 11:00〜22:20(年中無休)

Champion大阪店

大阪店 / ホテル南海 / 南海難波駅 / パチンコサンサン / パチンコプラザ / マクドナルド / 大阪府立体育館 / 阪神高速道路 / 大阪球場跡地 / 桧ビル4F

〒556-0011
大阪市浪速区難波中3-3-23桧ビル4F
TEL.06-6645-5186 FAX.06-6645-5187
営業時間 11:00〜22:00(年中無休)

オフィシャルビデオランキング

今回は珍しく正攻法なビデオ・レンタルが本業だということが忘れられそうなので、人気のビデオ・ランキングをつけました。借りるときの参考にしてください!

1位 『PRIDE.GP2000〜決勝戦〜』(メディアファクトリー)
2位 FMW『ECW暴走! 大パニック』(東芝EMI)
3位 『ジャンボ鶴田vol.3 最強の章』(vap)
4位 IWAジャパン『新宿二丁目劇場の全て』(ユニバーサル)
5位 『THE死闘 小川直也vs橋本真也』(東芝EMI)

Championホームページアドレス:http://www.champion-j.com

今回目次はごわす
ないでページお
読みたい
自分で探すばいし
スモーブ

時代はスペクテータースポーツか？

マット界よ
新たな“発明”を
生み出せ！

8.5 ディファ有明
NOAH旗揚げ！

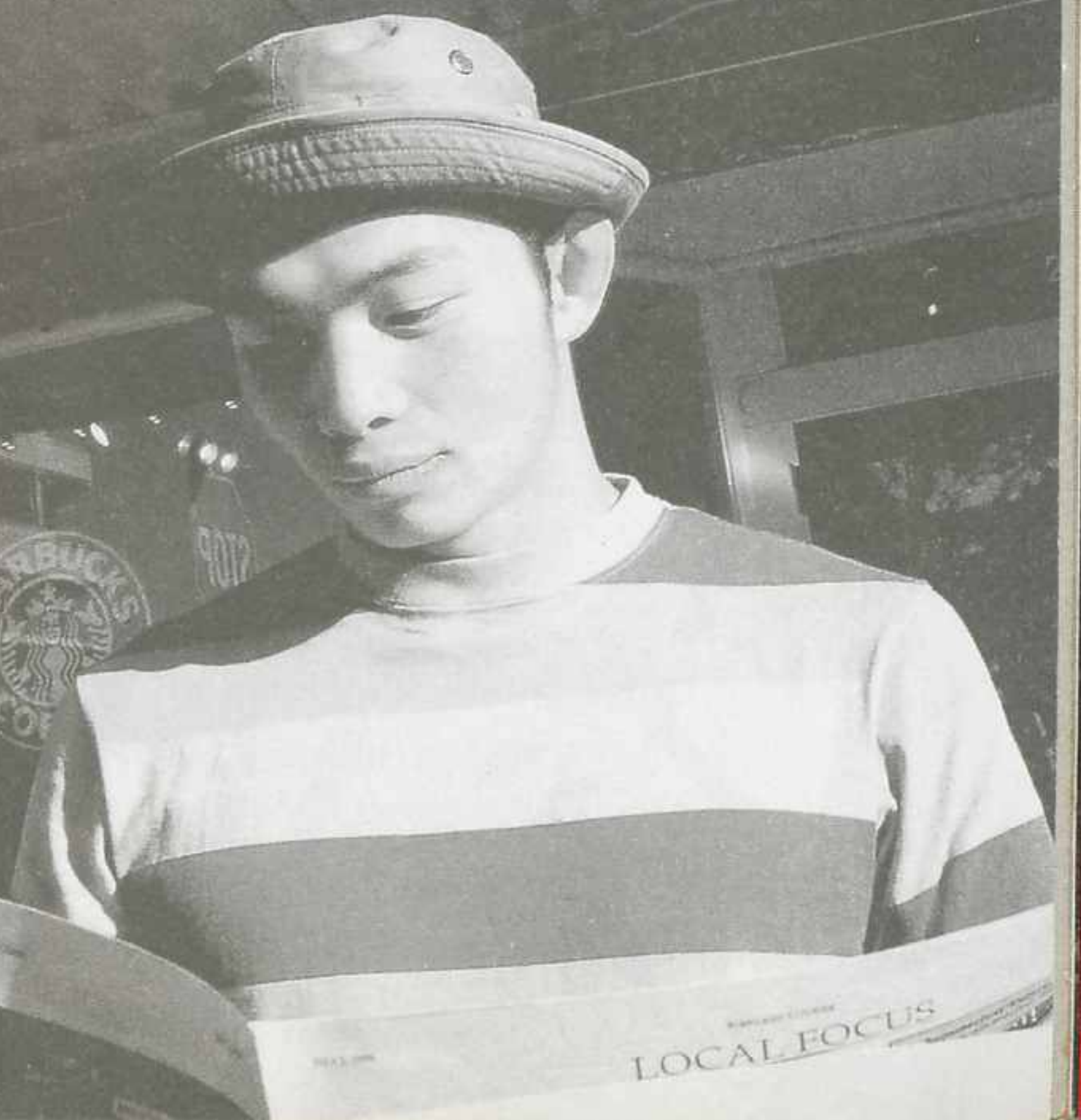
“今風” TALK BATTLE2000 とは何か？

構成／チョロ
text by Choro

それとも“ドゥ・スポーツ”か？

7.2 ZEEP・TOKYO
CONTENDERS大盛況！

格闘CHAOS 2000

コンテンダーズって、絶対ノアよりは今風だと思うんだよ（笑）（山口）

全日本を退団し、新団体ノアを旗揚げした三沢光晴。会見の席上、三沢は「全日本の演出もろもろ、もっと今風に若者向けにやりたかった」と発言。この瞬間から“今風”という言葉が一人歩きをはじめた。一方、格闘技界の今風といえば、宇野薫プロデュース『コンテンダーズ』。マット界においての今風とは何か？

チョロ　今回のテーマは『今風とは何？』なんですけど。これは三沢（光晴）選手の発言から来てるんですよね。

ノブ　確かに三沢は「演出、その他もろもろを今風にしたい」と言ってますよね。

山口　でも「今時、今風って言う奴はいない」とか突っ込まれてるよね（笑）。「その言い方は今風じゃない」とか。

豪　可哀想なのは、元子夫人との確執とかは、あまり表に出せないから、とにかく入場とかが変わるってことばかりが報道されちゃったわけじゃない。それだけがやりたくて辞めたかのような論調になっちゃってるから。

ノブ　秋山（準）なんかに聞いても、「しっかり下の世代を育てて、客が一切沸かないようなグラウンドだけの試合を若い奴らにやらせたい」って言ってましたからね。

豪　ボクが聞いたところによると、三沢としては結局、格闘技とエンターテインメント、どっちにも行ける団体にしたいみたいですね。

山口　それは今風だよね。演出方面だと俺、もはや『PRIDE』もK－1も演出は豪華だけど今風じゃないと思うんだよ。いま格闘技界で今風って言えばコンテンダーズだよな。

チョロ　舞台演出込みで、そうですよね。

豪　会長（山口日昇のアダ名）、見たんですか？

山口　見てません（笑）。でもコンテンダーズは演出面でもソフトの面でも今風じゃない。いわゆる〝ドゥ・スポーツ〟として。

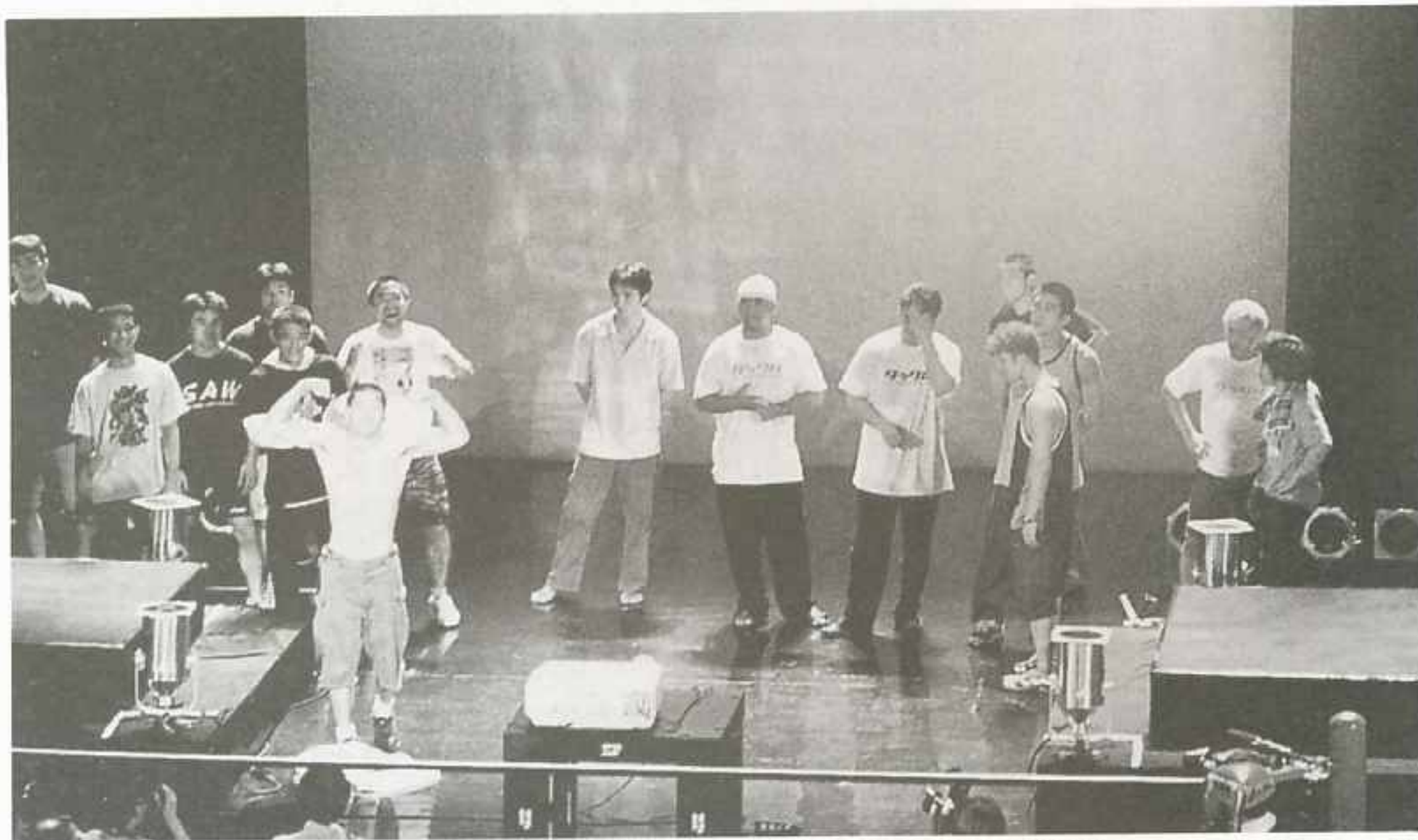
豪　〝ドゥ・スポーツ〟っていうのは、もしかして今回のキーワードですか？

山口　かもね。〝ドゥ・格闘技〟ブームって、『格通』が出てきた頃に、多少あったんだよね。

豪　いわゆる〝やる側〟ってヤツですか。

山口　UWFや修斗の出始めのときって、多少そういう動きってあったよね。だけどさ、ド素人がすぐにプロにアクセスできちゃうって部分では、いまの方が自然に根付いてるよね。コンテンダーズって、絶対ノアよりは今風だと思うんだよ（笑）。

ノブ　（ムキになって）いや、わかんないッスよ！

山口　（無視して）〝今風〟のとこで競っちゃダメだよ、ノアは。むしろ、どこまで原点回帰できるかって部分だと思うからさ。それで、「プロレス」か「格闘技」かって言ったら、〝スペクテーター・スポーツ〟（鑑賞用スポーツ）か〝ドゥ・スポーツ〟かっていう分け方とも取れるわけじゃん。そういった意味でいまの流れとしては〝ドゥ・スポーツ〟の方に傾きかけてるんじゃないのってところで、ノアは今風じゃないよね。ノアとか全日がやってるプロレスっていうのは、どうやったって〝ドゥ・スポーツ〟には成り得ないじゃん。

おそらく最も今風なイベントであると認識され、“ドゥ・スポーツ”の急先鋒でもあると言えるコンテンダーズ。技術以外の部分での評価が、今後も必要不可欠なのかどうかが気になるところ。

ノブ　逆に素人ができないからこそ「見たい」っていうのがあるんですよね。

山口　そうだよね。全日とかノアはどうやっても〝スペクテーター・スポーツ〟を極めるという方向に行くしかないわけでしょ。

豪　素人には絶対真似のできない方向に行くしかないと。

水戸　それじゃあ今度の……。

山口　っつーか、お前、誰だよ（笑）。自己紹介してから喋れよ！

水戸　え～、練習生の水戸です、よろしくお願いします。

豪　で、どうした？

水戸　それだったら、今度の長州vs大仁田はいい指標になるんじゃないでしょうか？

豪　それは観賞用として？

山口　あれは素人にはできないって言ったらできないもんね（笑）。

ガンツ　できるって言ったらできるんですけどね（笑）。

山口　ガハハハ！　ひどいこと言うね、お前は！　プロレスをナメてんのか！　でも、AAAだとか、いわゆるルチャ・リブレも俺は〝ドゥ・スポーツ〟化できると思うんだよ。

チョロ　ルチャ学校もたくさんありますからね。

山口　メキシコでやってることって、そういうことだよね。だから〝ドゥ・スポーツ〟としての「プロレス」もあるし、〝スペクテーター・スポーツ〟としての「プロレス」もあるし、〝ドゥ・スポーツ〟としての「格闘技」もあるし、〝スペクテーター・スポーツ〟としての「格闘技」もある。もうそれぐらい幅広くなってる中で、さっき言った意味での今風とは何かって言ったら、俺は慧舟會とか修斗とかパンクラスとかがやってることだと思うよ。

豪　リングスは？

山口　リングスは古風でしょ。むしろ、リングスを見てる側が〝スペクテーター・スポーツ〟として楽しんで見てるという雰囲気があるじゃない。〝ドゥ・スポーツ〟としてのリングスは見たくないっていう気持ちがそこはかとなくあるでしょ？　KOKで〝ドゥ・スポーツ〟化しそうでも、リングスは怪物揃いだから、その両輪を転がしてるよね。

チョロ　（水道橋）博士も言ってましたもんね。「昭和のプロレス者がいまのリングスを見なくてどうする」って。

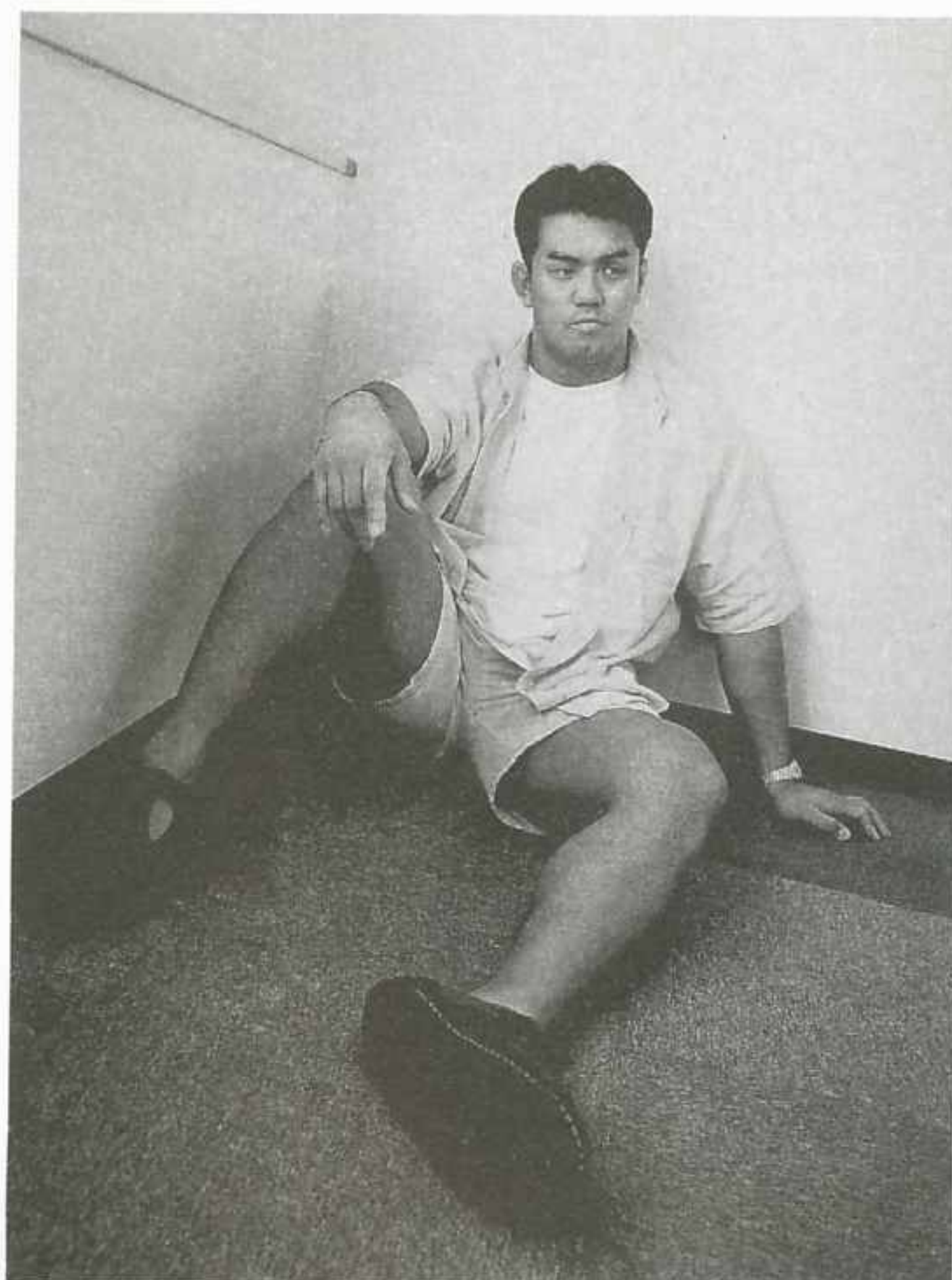
山口　でもね、今風だから続くっていうもんでもないし、古風だから続くっていうもんでもない。村松さんの言葉を借りると、〝今風〟にも一流から五流まであって、〝古風〟にも一流から五流まである。一流ってなあに？ってことだよね。そこを考え続けられるかどうかが問題なんじゃない。

チョロ　大仁田（厚）なんかも「あのスタイルだったら誰でもできる」って言われがちですけど、〝スペクテーター・スポーツ〟として大仁田と同じようなことできる人っていないじゃないですか。

豪　長州と試合以外で絡む姿を見ると痛感されるよね。「（甲高い声で）ま

座談会出席者　山口日昇／吉田 豪／スモーノブ／松澤チョロ／堀江ガンツ／水戸泉（仮）

オーちゃんの「ファンのニーズ」っていうのはコンビニ文化の方向だと思うんだよ（山口）

たぐな！　またぐなよ！」と長州がぎこちなく連呼してたりすると（笑）。やっぱり観賞用寸劇として完成されてるってことでしょ？
チョロ　なにを言っとるん邪！　寸劇じゃないん邪！
山口　〝ドゥ・寸劇〟（笑）。ノアが今風っていうのを打ち出してライバルは全日なのかって言ったら、むしろコンテンダーズとかを視界に入れていかない限り、この業界ではホントの意味での今風の部分には触れられないと思うけどね。
豪　ちなみに、三沢が危機感を感じ始めたのは『ＰＲＩＤＥ』とかが出てきた頃って言ってましたね。
山口　それは興行面での危機感だろうね。〝ドゥ・スポーツ〟で一流を目指すんだったらさ、それこそ草野球とプロ野球ぐらいの差を見せなきゃいけないわけでしょ。町の道場通ってるような奴に「アイツはどうのこうの」って言われるようなレベルじゃダメなわけでしょ。ま、草野球やってる奴が清原のことボロクソに言ったりするけどね。
ガンツ　「軸がずれてる」とか（笑）。
山口　ガハハハ！　そういう声が出るのが当たり前になって初めて底辺拡大って言えるのかもしれないし。じゃあ、例えばさ、オーちゃん（小川直也）がやってることは今風？

全日の一連の騒動による影響が、ある意味では一番気になる男、秋山準。外に打って出るのかどうかは本人のみが知るところではあるのだが、与えられた環境の中でもキッチリ自分を表現できる選手でもあるだろう。

ノブ　今風ですねぇ。
山口　なんで？
ノブ　………（固まるスモー）。
豪　三沢的な今風だと思うな。「今風にしなきゃ」って思いが先にあってやってるっていう。
ノブ　でも直球ド真ん中で今風な修斗が喫茶店オープンしたりするのとかって、凄い好きなんですよね、俺は。
山口　ノブが言ってる今風っていうのは、流行りものってこと？
豪　つまりトレンドですよ。
山口　ほ～う、トレンドね（笑）。便利だね、横文字は（笑）。
ガンツ　今風っていうのは面白くないもんなんですよ！　いま出てきた今風って奴は、見て「これは面白い」ってもんではないじゃないですか。
豪　それはお前がフォーク世代なだけじゃん（笑）。
山口　お前が吉田拓郎好きだからだろ（笑）。明日に向かって走ってろ！
豪　下駄を鳴らして銭湯でも行ってこい！
ノブ　髪が伸びたら結婚しろ！
ガンツ　なんでもリバイバルするわけですから、古いものでも実は今風だったりするんですよ。
山口　あぁ、古いものは新しいものである、byカール・ゴッチね。
ガンツ　いま出てる今風っていうのは、ホントに上っ面の今風じゃないですか！
山口　でも、トレンドが上っ面っていうのも俺はちょっと異議を唱えたいんだよ。いわゆるオーちゃんの今風がちょっとずれてるなって思うのは、要は洋服を売るためには駅前じゃないとダメとか、マーケティングの理論ってあるよね。そのマーケティングの理論に則りすぎてるんじゃねえかなと思うんだよね。オーちゃんが犠牲になってる部分とか、頑張りとか存在感の部分は評価しなきゃいけないけど。
豪　則りながらも微妙にずれてるっていう（笑）。
山口　そうそう（笑）。でもいまは、例えばジーンズとかホントに好きな奴はさ、千駄ヶ谷の裏の方でも地図を片手に住所だけたどって買いに行ったりするわけでしょ。駅前の百貨店では売ってないジーンズを。そっちの方が今風なわけでしょ。もう一つ、コンビニ文化っていうのがあってさ、行けば必ず何かがすぐ探せるっていう。オーちゃんが言ってる「ファンのニーズ」っていうのはコンビニ文化の方向だと思うんだよ、大衆に広げるっていう意味で。修斗がやってるのはジーンズ屋の方でしょ。修斗だと閉じ過ぎてるけど、その百貨店とジーンズ屋の両方のいい部分をうまく取り込んでるのが『ＰＲＩＤＥ』だよね。
豪　デカイ規模でやるには百貨店的なことをやるしかないっていう発想が、どうしてもあるわけですよね。
山口　そうだよね。その百貨店以外のものを探さなきゃダメだと思うんだよ。
豪　それがまさかインターネットですか？
山口　インターネットかどうかはわかんないけど、インターネットの中にもヒントはたくさんあると思うんだよね。大きなことをやるには、駅のそばじゃなきゃいけないとか、そういう発想からいかに逃れられるかというかさ、そこら辺を三沢とかが、どう考えてるのか興味あるね。
豪　ディファは駅から遠いですよ。
山口　なるほど……、ってそういうことじゃないんだよ（笑）。でも修斗がやってることとか、ＤＤＴのクラブＡＴＯＭとかっていうのは、やりたいことはわかるんだけど、でもそれがいつまで続くのって言ったときに、まずソフトの〝芯〟を売り込んでいかなきゃいけないんだけど、どーしてもハードの方に傾きすぎちゃう。その両方を取り入れた団体ってさ、いまプロレス、格闘技の中である？「ここに行けば、ソフトとハードの両方でドキドキワクワク感がある」っていう団体。俺ちょっと前の『ＰＲＩＤＥ』には、それがあったと思うんだけどな。

玄人筋の間では、恐ろしくなる程その期待度が高い金丸＆藤丸のＡＡＡ参戦は、ノアとは何かを占う何かがあるのか？それと共に、２人の持つ高い資質に改めて注目したい。

豪　いまはないんですか？

山口　いまは、『PRIDE』を百貨店にしようとしてる動きなんじゃないの？　批判でもなんでもなくて、百貨店以外の方向性を『PRIDE』が見つけたら凄いことになるんだろうな、とは思うんだけど、いまんとこ〝店構え〟しようとしてるように見えるよね。だからトレンドじゃない今風ってさ、プロレスとか格闘技界にはないでしょ、ソフトの部分とハードの部分で融合っていう意味させた部分っていう意味は。それを見つけたとこが勝ちでしょ。だから俺はコンテンダーズはホントに評価するんだよ。見て面白くないとか、そういうのは抜きにしてもね。可能性として面白いと思う。

豪　リスクを回避することで、カードの幅も広がって。

山口　まだイベントとしてやってる段階だけどさ、ホント、底辺拡大のためにも根付いていけば面白くなると思うけどね。

豪　会長がこんなに誉めるの、見たことないですねぇ（笑）。

山口　なんかね、妙な可能性を感じるんだよ。宇野（薫）ちゃんは大したもんだと思うけどね。あれこそ新世代って感じがするなぁ。全然上の人の意見とか、参考にしてないと思うんだよね（笑）。客がどう思おうが自分のやりたいことだけやるんだっていう部分で言えば、宇野ちゃんほどやりたいことやってる人はいないなって気がするんだけど。いま現在が面白いか面白くないかっていうのは置いての話だけどね。

豪　その宇野君に勝った須藤元気っていうのは今風なんですか？

チョロ　今風と捉えられてる人ではありますよね。

山口　芸術家の人が「須藤元気は芸術を勘違いしてる」とか言うのも、それもわかるんだよ。でも、須藤元気はそういう声もはね返すパワーがあるんじゃないかと最近思い始めてきたけどね。

ノブ　『コロシアム2000』の試合見たときに、桜庭になりたいんだけど、なれないみたいな印象を受けたんですよ。

ガンツ　ああいうことをやるのは早すぎるんですよ。ああいうのをやるタイミングっていうのがあって、パフォーマンスでもなんでも。

豪　パフォーマンスやる以上は、ホントに勝たないと叩かれるからね。

ガンツ　パンクラスとか修斗系の選手は、そこそこ強いんでしょうけど、早いうちから、そういうのをやり過ぎなんですよ。

山口　オーちゃんだって、あそこまでブレイクするのに時間かかったもんな。そこは俺、ターザンに賛成だな。「色気っていうのはタメが必要だ」っていう。いまはリング上も「集団から個の時代へ」っていう動向を反映してるんだけど、そこにはタメが必要だしさ。その部分で新しいものを見せるんだったら、やっぱりソフトを改革しなきゃダメだよね。いままで見たことないようなソフトを見せないと。

パフォーマンスやる以上は、ホントに勝たないと叩かれるからね（吉田）

チョロ　いままで見たことないようなソフトって？　覆面レスラーとかのアイディア出してもしょうがないですよね。

山口　いや、〝アイデア〟は後世に残らないけど、〝発明〟は残るっていう話だよ。プロレスとか格闘技の中で、力道山の「闘魂プロレス」っていうのは、アメリカンスタイルにいわゆるジャパニーズレスリングである相撲の風習を掛け合わせて新しく〝発明〟したもんだよね。猪木さんの「ストロングスタイル」っていうのも発明だよね。あの当時にカール・ゴッチと寝技やってさ、スパーリングやって道場論を持ち出したのは猪木さんなんだから、それは〝発明〟じゃない。UWFスタイルも俺は〝発明〟だと思うんだよ。そのあとに〝発明〟したのがサクだと思うよ。

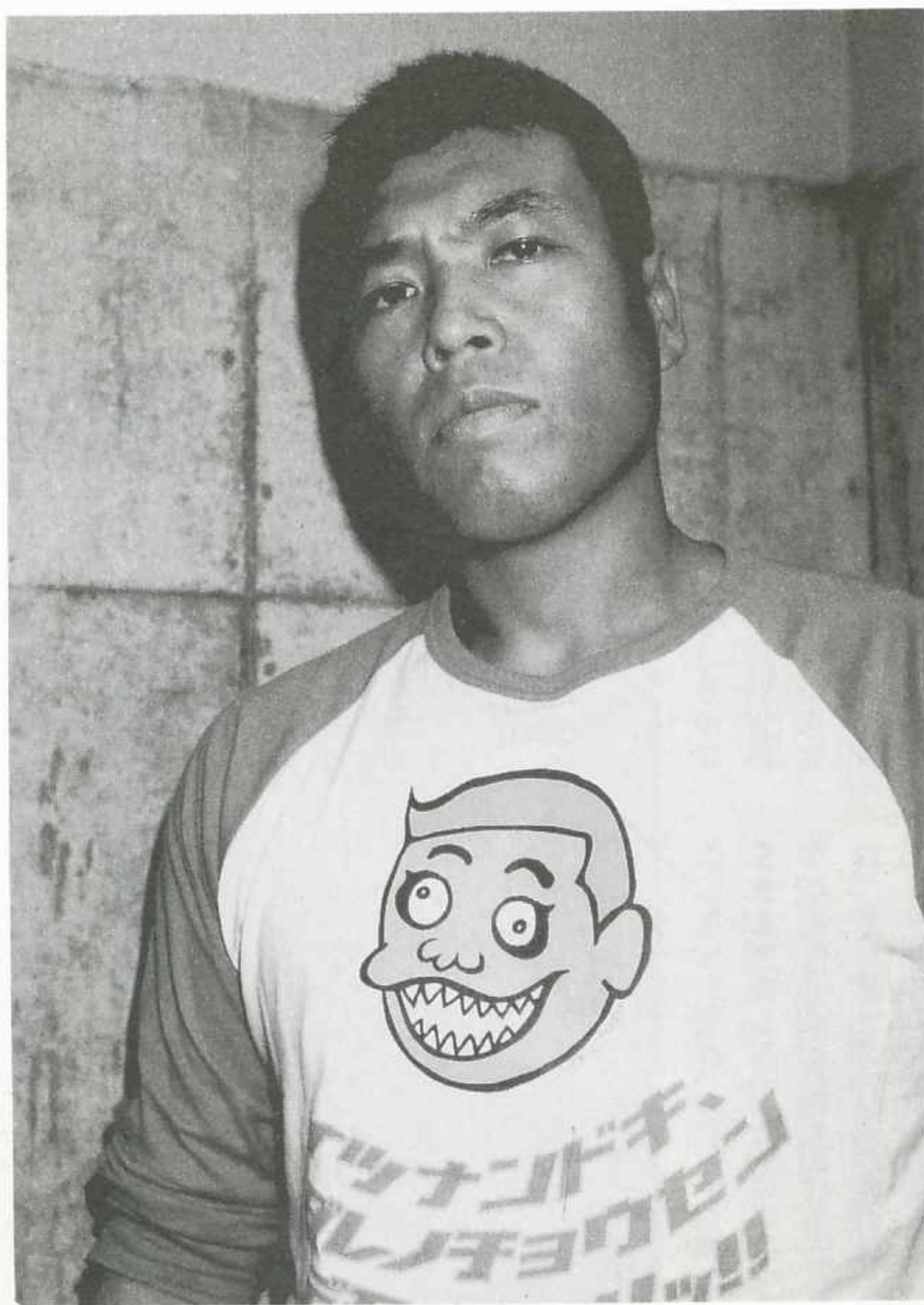
チョロ　その間に出てきた三沢とかの、俗に言う「2・9プロレス」っていうのは発明じゃないんですか？

山口　あれは、それまでのそれまでの延長線上でしょ。〝熟成〟だよね。従来のプロレスを煮詰めて、煮詰めて、漉していって、最終的にレベルを高くしていったもの熟成させたもの。長州と前田の対立っていうのは、「ハイスパートレスリング」と「UWFスタイル」の対立だから、どっちが新しい「発明」かっていう抗争だったわけじゃん、その時代の中で。で、UWFスタイルの方が斬新だし、根源的だったわけでしょ。「ハイスパート」の方は立体的に見せるっていう部分で華やかさを持たせ〝アイデア〟だよね。要はこれまでには力道山の「闘魂プロレス」、猪木の「ストロングスタイル」っていう三つの発明があるんだよ。

チョロ　UWFの対立概念として電流爆破っていうのは、〝発明〟じゃないんですか？

山口　あれは非常に〝発明〟に近いんだけど、俺の中ではアイデアなんだよね。試合の化粧の仕方を変えたっていうか、根源的なものはあまり変わってないというか。

豪　ホントに特許取ろうと思えば取れるような。

山口　そう、特許的アイディアだよね（笑）。アイデアは金にはなるよ。でも歴史に残るかって言ったら、主婦が洗濯バサミとか改良して特許取ったりするじゃん。それは時代と共にすたれていくじゃない。でも、ニュートンが林檎落ちるの見て万有引力

ヒクソン戦に向け動き出した小川。一方では「夜もヒッパレ」で村上一成とTUBEを熱唱したり、茅ヶ崎球場でのサザンオールスターズのライブで念願の共演も果たし、心身ともに絶好調。

を発見したのは何世紀にも残るじゃん。そういう意味ではプロレス界の〝発明〟は俺は三つしかなかったと思ってる。それで四つ目が桜庭。真剣勝負の中にプロレス的風味を落としたという。

チョロ　人で言うと、力道山、アントニオ猪木……。

山口　前田日明、桜庭和志。

チョロ　佐山じゃなくて前田なんですか？

山口　佐山聡もそうだな。これが俺の五大発明者。

豪　馬場さんはダメなんですか？

山口　馬場さんは、老名主みたいなもんだもんね、プロレスの中での。でも馬場も鶴田もアイデアっていう部分では〝スポーツ芸術〟である2・9プロレスの種を撒いたっていうところでアイデアマンだったと思うんだけど。

豪　こないだ三沢とも話したんですけど、プロレスってどんな部分でもいいから凄味を見せる仕事で、アメプロだったら入場とかでショーとしての凄味を見せる、昔のレスラーだったら試合以外の凄味、酒の強さとか、そういう部分で見せるものだったと思うんですよ。だけど三沢はそういうのがイヤでイヤでしょうがなかったから、試合の中で受けの凄味を見せるようになったんじゃないかな。

自称・闘うアーチストを名乗る須藤元気。コンテンダーズでは、修斗ウェルター級王者・宇野薫相手に判定ながら文句なしの勝利を上げた。菊田軍団（仮）に加入した須藤。これからの中量級戦線を引っかき回す存在となるだろう。

力道山、猪木、前田、佐山、桜庭、これがプロレスの五大発明（山口）

山口　だから、プロレスラーとはいつも怪物じゃなく、普段は〝普段着〟のままでいたいっていうのを強く打ち出したのは、最初は馬場さんじゃん。とてもじゃないけど普段着ではいられなかったんだけどね（笑）。

豪　普段着自体ないじゃないですか（笑）。売ってないし。

山口　相当探すか作らないと（笑）。そのあとが鶴田でしょ。だから馬場→鶴田→三沢のラインっていうのは、やっぱあるんだよね。

豪　ただ馬場・鶴田は普段着でも、どう見ても超人だったわけじゃないですか。三沢からは、普通の人間には見えるようになってるんですよね。

山口　だからこそ、その2・9プロレスを突き詰めていって、リングの上でだけ怪物化したのかもね。

豪　見た目の凄味プラス、それがないぶん他の凄味を求めたってことじゃないんですか？

山口　試合で厚味を持たせていくしかないもんね。

豪　それが選ばれし者にしかできなかったし、世間に届かないというジレンマはあったわけですけど。

山口　〝スペクテーター・スポーツ〟としては、大仁田に代表されるような邪道路線と対称的に、突き詰めるとこまで行ったんだけど、じゃあそのあとどうすんだっていうのが見えないじゃん、ノアは。いまの時点でアイディアは感じないの？

ノブ　選手に合った方向に、どんどん派遣してくっていう。

豪　個の集まりみたいな感じになるんじゃないの？

ノブ　だから今回AAAに金丸が出たりとか。

チョロ　小橋がレモン＆ソルト＆マスタードマッチに出て、あれ頭から被って拳握りしめてたら、メチャメチャ夢がありますよね（笑）。

山口　ガハハハ！　それいいなぁ。マスタード被って青春の握り拳！　でも最近のインディーとかってさ、アイデアっていうのを小ネタの応酬と思ってるじゃん。レモン＆マスタード……なんだっけ？

ノブ　あれはアイデアの極地ですよ。

山口　え、極地なの？　それはそれは。でも、ウチらの仕事と同じで企画はいつか行き詰まるじゃん。そこで最後に残るのは何かって言ったらさ、根源的なものを追ってくしかないんだよ。そう考えるとやっぱりプロレスとか格闘技の中でラディカルなものを見せてくれたのは、俺の中では、力道山、猪木、前田、佐山、桜庭。この五名だね。

豪　前田はよく「何も発明してない」とかマニアにツッコまれてますけどね。

山口　前田と佐山は対（つい）なんだよね。前田はプロ部門、佐山はアマ部門。

チョロ　KOKはどうなんですか？

山口　あれはまだアイデアの範疇だと思うね。

豪　シューティングの昔のルールに似てるって、やっぱりよくツッコまれるしね。

山口　ただ、前田はそういうとこ凄く運があるから（笑）。いい意味で意固地になるじゃん。いつのまにか、そのエネルギーをアイデアを発明に変えちゃう力があるんだよね。

豪　後付けの理屈が凄いですからね、ターザンと一緒で。

ガンツ　これから乱入と仕掛けの時代になりますよ。いわゆる90年代の全日本プロレスっていうのは、三沢なんかがやってきたものじゃないですか。あれがゴッソリ抜けたわけですから、90年代の全日本プロレスっていうのはなくなっちゃったんですよ。そしたら前の全日本プロレスになるしかない。その前はアングルと乱入と仕掛けのプロレスじゃないですか！

豪　実際そうなんだよね。場外乱闘とかやれば怒られたわけじゃん。それがノアではのびのびできるような状態になるから。

ガンツ　本当の全日らしさって、そっちだったんじゃないかっていう。新日と絡んでいくのはどんどん面白くなっていくんじゃないですか。それで2年ぐらいやって、飽きたらまたなんか起きればいいし。

山口　新日と絡むのは全然いいんだけどさ、逆に新日のえげつなさを越えなきゃ全日は生き残れないわけだから。それこそUインターになっちゃうわけだから。

豪　新日のえげつなさを越えるには、やっぱり元子さんが出てこないと。

三沢がやりたかったことが〝今風〟だとすれば、川田の理想は「映画を見終わって、映画館から出てきた皆が『あそこが良かったね』と話し合うように、プロレスでも皆に余韻を持って体育館から出ていってもらえば」というもの。

山口　それだよ！　いまこそ元子さんに前面に出てほしいね。
豪　元子・永島会談とかしたら……。
山口　最高です！（笑）。
豪　だからいまは元子さんが前面に出ていって、売店で元子さんが握手するぐらいになるべきなんだよ。貴金属ジャラジャラさせてるのはよくないとかいう声もあるけど、あれをキャラにするしかないんだよ。
山口「納税」とか「8億7千万」Tシャツとか作って（笑）。それぐらいのえげつなさを見せてほしいけどね。馬場イズムがそこまでさせないんだろうけど。
豪　でも、リングで天龍と握手するまでにはなったわけじゃないですか。
山口　元子さんも一度全面に出たら、興行のプロとして他とせめぎ合わなきゃいけないもんね。俄然やる気出すと思うよ。『週プロ』はいまニュートラルなスタンス取ってて、『ゴング』が全日&新日派、『ファイト』も全日派ってみんな色分けして見てる。じゃあウチはどうかって言ったら、ニュートラルとかそういうことじゃなくて、「個」を見ていくしかないんだよね、全日にしても、ノアにしても、他にしても。
水戸　あの、人と違うことをやるのが個性だと思ってる風潮があるじゃないですか。ホントはそうじゃないと思うんですよ。個性と個性が集まって集団になるっていう風潮じゃないじゃないですか、日本は。
山口　日本までいくか（笑）。単位でかいなぁ、今回の新人は（笑）。
水戸　そういう気持ちの持ちどころでズレが出ちゃうんじゃないかなって思うんですよ。
豪　人と同じことやって違いを出すと。
水戸　そういうことなんですよ。同じことをずっとやってて、それで埋もれちゃったらそれまでなんですよ！
山口　隙間探しも確かに個性のうちなんだろうけど、それは"アイデア"か"発明"かって言ったら、ずっとアイデア探ししてなきゃいけないから、本人が辛くなると思うんだよね（笑）。前田日明が言ってたんだっけなぁ？「個性とは人と違うことをやることではなく、自分を掘り下げて行くことだ」って。

ノアは団体として攻めの姿勢を求められてるわけですよね（吉田）

チョロ　前田社長っぽいですねぇ。
山口　いや、サダハルンバ（谷川）かもしれない（笑）。プロレスとか格闘技もネタの出しっこしてったら尽きるに決まってんだからさ、もうそろそろ次の発明をしなきゃいけないんじゃないかって時期だよね。『ＰＲＩＤＥ』が一番うねりを起こしてた時期も、プロレスラーと総合格闘家がぶつかった時の、何かが生まれそうな予感がする時が一番面白かったわけじゃない？　『ＰＲＩＤＥ』も、もうグレイシーってタマがなかなか使えない時に、さあどうするんだっていうのが試されるわけだから、これからかなりしんどいと思うよ。でもそれを乗り越えてほしいけどね。力強く。そういう時期越えたら強いよね。

写真に写っているバイクは手放してしまったが、新たにお気に入りのバイクを購入したサク。サクTもバカ売れし、一般誌からＴＶＣＭまで取材もひっきりなしに入ってきている。今風とはかけ離れた感じのするサクだが、かなりのオシャレ有名人である。

豪　関係ないけど、ノブは全日派なの？
ノブ　ノア派ですよ。どっちに乗れるって言ったら、全日ももちろん震えがくるぐらいの興奮はありましたけど、新日に飲み込まれるかもしれないじゃないですか。ノアは上手いこと外とリンクしながらプロレス界のいいポジションを取ろうというような感じだから。
山口　ノアがやらなきゃならないことを一言でズバリ言えば、「攻め」だよ。いままでの全日って受身だったわけでしょ？　猪木さんが攻めて馬場さんが守る。新日が攻めて全日が守るっていう部分でも、その受身の姿勢をリング上で究極的に体現したのが2・9プロレスで、全日本プロレスだったわけじゃない。で、これから攻めの姿勢を見せられるのかどうかっていうのが試されてるわけだよ、ノアは。
豪　団体として攻めの姿勢を求められてるわけですよね。
山口　そうそう。思いっきりソフトの部分も変えるなりなんなり、攻めていかなきゃ面白くないよ。例えば前田が言うように「プロレスラーがバーリ・トゥードに出てった場合には受けのクセがついてるから、相手の技を受けちゃう」っていうのと同じようにね、いままでの受けの姿勢が残っちゃったらダメなんだよ、絶対。ホントに変えようと思ったら、ソフトもハードもガンガン攻めて変えていかないと。新日も食う、『ＰＲＩＤＥ』も食う、インディーも全部食うってぐらいの、まがまがしさを俺は見てみたいんだよね。それが期待できるのが秋山でしょ。
豪　いま、なぜか全日が攻めになっちゃってますからね。
山口　それはプロレスファンの同情票が入ってさ、いわゆる攻めの姿勢に見えてるだけであって。
豪　でも渕（正信）も攻めのアピールしてるじゃないですか。「ウチの営業力は新日より上」って。営業の人は辞めちゃったはずなんだけど（笑）。三沢は攻めっていうか、いままで出してなかったキラーな部分を出してきてますからね。
山口　豪ちゃんが言ったことは凄いヒントになると思うんだよ。これからのノアには。いままでは要するにリングの外で普段着のまま、普通の人として見られたい三沢がリング上のみで凄味を見せていったスタイルでしょ。でも、結局計らずもいま全日の方に勢いがあると見られてるのを見ればわかるように、人は結局スキャンダルにコーフンするわけじゃん（笑）。それに三沢たちも気がついてるはずなんだよ、絶対。
豪　いままでは発言としてのスキャンダル性とかはわかってると思いますよ。
山口　馬場イズムとか全日イズムってものに縛られて、そのスキャンダルを極端に隠していくスタイルだったけど、じゃあ「人はなんでスキャンダルを求めるか」っていう根本的な問

ノアは人材の宝の山だもんね、さらけだして男を張ってほしいな（山口）

題まで三沢がちゃんと照準に入れれば、俺は全てガラッと変えられるような気がするんだよね。人材の宝の山だもんね、ノアは。さらけ出して、男を張ってほしいなぁ。

豪　永源のキラーな面が出たら、たいへんなことになりますよ（笑）。

山口　ガハハハハ（笑）。そういうまがまがしい部分とか、裏の部分を見せて、なおかつ受け入れられる選手が増えてきて初めて個の時代って言えるんじゃないかって俺は思うけどな。須藤元気とかが「人と違うことをやることだけが個性じゃない」って言われちゃうのも、須藤元気はまだ裏の部分は見せてないからだよね、佐藤ルミナにしても、デカビタのCMには出てるけどね（笑）。

豪　キャバクラ大好きとか、出してますよ（笑）。

山口　まだその程度なんだよ、出し方が（笑）。裏の部分も見せていかないと、表の部分は光らないよね。そうしないと、いまの個の時代には対応していけないんじゃないかっていう。それを猪木さんは言ってるんだと思うんだよ、「時代の要求に気付いてるのか」って。マスコミなんかガンガン利用しちゃえばいいんだもん、バカばっかなんだから（笑）。ウチらも含めて。そこで「俺はホントは利口なんだよ」っていう意固地な部分ばっかを見せちゃうと、こいつみたいになっちゃうんだよ、なっ、ノブ。

ノブ　……俺は……俺は……バカですよ。

一同　ガハハハ！

チョロ　ノアさんには今回出てもらいましたけど、全日さんにもウチを場にして利用してほしいですね。

豪　TKのおかんに続いて、「馬場のおかん・元子夫人インタビュー」とかね（笑）。

馬場元子オーナーが本紙直撃に明言

大仁田クン受け入れます

豪華なアクセサリーを身に付けつつも、いつもシックな装いの元子さん。三男坊・大仁田厚を全日マットに受け入れるとの発言もあったが、川田から反対の声が上がってしまっ

山口　どうよ、ノブ？

ノブ　（真夜中に無言で外に向かって歩き出すスモー）

山口　どこに行くんだよ！

ノブ　取材申請です。

山口　この夜中に行くのか、バカ（笑）。

豪　あれが〝今風〟の申請の仕方なんですよ、きっと（笑）。

【7・13／ダブルクロスにて収録／文中敬称略】

“怪物”ジャンボ鶴田が闘い抜いた半年間……

僕は生きないと次に繋がらないと言って……

東京スポーツ
衝撃激白 鶴田夫人
臓器売買報道
許せない 主人の人生そのものを否定した
死因は肝臓がんでない!!

本誌独占!!

ジャンボ鶴田夫人 保子さんインタビュー

どこまでもジャンボ!! スケールの大きな愛と感動の闘病秘話が今、語られる!!

前号で掲載したジャンボ鶴田夫人・保子さんの衝撃の告白は非常に反響が大きかった。いかに世間の報道と真実がかけ離れていたか、少しでも多くの人に伝われば幸いである。保子夫人の“愛”は、少しずつだが実を結び始めている。亡き夫のため、そして1人でも多くの人を救うために保子夫人はいまも闘い続けている。この愛の闘いは、じつはジャンボの生前から始まっていた。今回は半年間に及んだジャンボと保子夫人の壮絶なる闘いを振り返ってもらった。

撮影／平工幸雄　聞き手／坂井ノブ　取材協力／ラリルレ・ルンバ

──まず、“ジャンボ鶴田基金”を始めようとしたきっかけをお話ししていただきたいんですけど。

保子さん　はい。まず第一には、海外で脳死移植を待っている患者さんの環境を少しでもよくしようということなんですよ。主人も最初はオーストラリアに行って、脳死移植の順番が来るのを待っていたんですよ。でも、いざオーストラリアに行って、現地で手術を待ってる方の現状を見たら、何かしなきゃいけないって誰でも思うような悲惨な状態なんですよね。

──どんな状況なんですか？

保子さん　だってみんな同じアパートに住むんですよ。

──一つのアパートにですか？

保子さん　そうなんです。うちは子供3人を含めて家族全員で行きましたから、そこでは狭いので他の家を借りたんですけどね。もう、そのアパートに住んでいるのは、移植を待つ方ばかりですから、一緒に住んでいる人たちが、みんな日に日に弱っていくんですよ。それが隣の部屋だったり、上の部屋だったりするんですよね。

──そうすると精神的にもつらいですよね。

保子さん　そうですよ、みんな死と向かい合ってるわけですからね。でもね、みなさんそういうこと顔に出さないで頑張ってるんですよ。それなのにポケベルひとつをとっても、あまりにも数が足りないんですよ。

──ポケベルは何に使うものなんですか？

保子さん　脳死移植は脳死判定を受けてすぐに行わなければいけないものですから、「あなたの番ですよ」っていうのはポケベルで知らされるんですよ。でも移植を待つ方の数が多すぎて、ポケベルすらもらえないん人が多いんです。そうなると、家の電話の前から離れられないじゃないですか。そういう精神状態って本当に良くないんですよね。そこで主人が「これではいけない」って言って、ポケベルを何十個か買って寄付したんですよ。

──そうだったんですか。

保子さん　他にも主人は日本人の待機患者の環境を少しでも良くしようとして、いろいろなことをやってたんですよ。例えば移植を待っている日本人の患者さんっていうのは、日本の情報に飢えてるんですよね。みなさん英語がじゃべれるわけじゃないから、テレビなんか見たってわかんないんですよ。主人はそれもまずいっていうんで、日本の新聞が貰えるように航空会社と領事館に掛け合いに行ったんです。

──鶴田さんご自身がですか？

保子さん　ええ。結局は、航空会社の方は税関の問題があるっていうんで、新聞は貰えなかったんですけど、領事館は一月遅れならいいという返事をくれたんですよ。やっぱり日本人がこちらに来てからの生活って何かと不自由なんですよ。例えば私達が入ったオーストラリアのアパートだって使い方の説明が全部英語なんですよね。だから主人はそれも私に「訳しなさい」って言うんです。

──あとから来る人が使いやすいように。

保子さん　それからアパートの写真も撮って、病院の写真も撮って、入院してるベットの写真も撮って、今後ここに来る人のために資料を残そうって言ったんですよ。そういうことを全部やってきた人なんですよ。だから、いま私はその資料をま

闘病生活の全真実

とめる元気がまだないんですけど、主人が治療を受けた病院を指差してる写真とか全部あるんですよね。「ここで受けるんだよ」みたいなね。

――すべてはこれから脳死移植を希望する人たちのためなんですね。

保子さん　そうなんです。だから主人は手術のときにオーストラリアに行く時点でカメラとビデオカメラ持って来いって言ったんですよ。どういう状況で、どうなって僕が生きてきたか、それを生きる証人として、これから移植をする人のために自分の手術を受けた傷跡見せてもいいから、脳死移植をこの国で進めるためにも僕は生きて、その証拠を残すって、だから僕は生きないと次に繋がらないって言ったんですよね。

――もう鶴田さんにとって肝臓移植というものに関して、一生のテーマとしてやっていきたいという気持ちがあったんですね。

保子さん　そうですね。ですから、脳死移植にこれから向かう人のためなら講演とかどんどんそういう場に出ていって、ボランティアで自分の体験談を話して「頑張って希望さえ持ってれば助かるってことを僕は言いたい」と言ってたんですよ。

――自分が生きることによって、他の患者さんをはげまそう、と。

保子さん　はい、そのためにビデオも持ってって、カメラも持ってって、ICUから僕の姿を取っていいからって言って。本当はスポーツ選手は、自分のそんな場面は取られたくないですよね。だけどそういうそんな小さなこと言ってる場合じゃないですから。命に繋がることですからね。だから、こんなに人のためにやってたのに、なんで臓器売買で死んだって言われなきゃいけないのかって、私は本っ当に情けなくって……。

――そうですよね。

保子さん　ただあの…（フィリピンは）あいうお国柄ですからね。こういうことは絶対言われちゃうとは思ってたんですよ。でも主人の生き方見てて、そういう報道で処理されちゃうのは凄く辛いですね。

――そうですね。だからその辺の訂正というか、こうなんだという事実を打ち出していくというか。

保子さん　だから本当は本にして、いま脳死移植を待っている患者さんを始めとしていろんな人に読んで知ってもらうのが一番いいんですけど、この問題は出版するのがすごく難しいんですよ。例えばもっとオーストラリアで手術して、元気になられた方もたくさんいて、みなさんその体験を本に残したりとかしようとはしてるんですけど、大手出版社はみんな受けてくれないんですよ。

――それはなぜなんですか？

保子さん　ある種タブーというか、デリケートな問題ですからね。だから、奥様が脳死手術を受けた方でその体験を本になさったがいることはいるんですけど、出版社は結局10数社お願いして全部断られて最後に本当に小さな出版社引き受けて下さったらしいんですよ。でも、主人もその本を読んでまた頑張ろうって気にもなったんですよ。

――そういう意味では本というのは、人に影響を与えるのに重要なんですよね。

保子さん　だから…辛いですよね。こういうことを私が言わなきゃいけないっていうのも、精神的にしんどいし。だからといって、今ほっておいたら、これから後に繋がる人も辛いし。だから私は亡くなった主人の肝臓そのまま一個ホルマリン漬けにして、自分の手で持って帰ってきたんですよ。

――ご自分でですか!?

保子さん　はい、自分で目の前で見て、私は持って帰りたいって言ったんです。どうして持って帰りたいかっていったら、主人が生前、日本で色々な処置をしましたよね。その処置っていうのは機械を通して目に見えないように処置してるんですよ。だからそれはどういう成果が出てるかっていうは、やっぱり先生も知りたいと思うんですよね。だから私は今後のためにも役立つと思って、自分の手で肝臓をホルマリンに漬けて、持って帰ってきたんですよ。

――うわぁー。そうだったんですか。

保子さん　かなり大きな肝臓でしたけどね。自分の主人を苦しめた肝臓そのものを見たかったし、どういう状態だったかっていうのを見たかったんですよ。肝臓の状態は悪くて当然ですよね、移植をしなきゃいけない肝臓ですから。傷んでたって当然なんですけどね。ただ私はあとに続けたい。主人が亡くなったから、ああそうですか。じゃなくって、とにかく後に続けなきゃ、この主人の死は終わらないと思ってるんで。だから私は自分の手でホルマリンに漬けてもらってって、入れる容器もなかったんですけど、自分で容器も探し回ってホルマリン漬けにして、手に持って、手荷物で帰ってきたんですけどね。

――不躾な話ですけど、税関とかは？

保子さん　申告はしてないです。でも遺体と一緒ですから、申告しても大丈夫だとは思いますけどね。もし止められたとしても、私は黙ってでも持って帰ろうと思ってましたから。遺体を日本に運ぶときも、本当はフィリピンから成田は満席だったんですよ。最初に申し込んだときは4、5日あとでないと取れないって言われたんですよね。でも私は元々JALにいた人間ですから、JALの支店長に直接電話して、理由を話してお願いしたんです。主人をとにかく山梨の母に見せなきゃいけない。私は見せる義務があると思いましたから。そしたら、「他のお客さんを降ろしてでも僕は乗せます」って言ってくださったんですよ。それで飛行機の中でも私達が座った席の斜め前の下にいますって教えて下さってたんです。

私は亡くなった主人の肝臓を持って帰ってきました。とにかく未来に繋げたいから

――鶴田さんの遺体が乗っている場所ですか？

保子さん　はい、貨物の場所です。普通はどこに乗ってるとかまで教えないんですけどね。だけど、頭はここで、足はここで、この位置に乗ってますって、ハッキリ教えてくださったんで、子供は喜んでましたよね。「パパは斜め前の下にいるんだね」って。ただギャレー（食事つくるところ）のちょうど下だったんで、文句言ってるかな？なんて言ってたんですけどね。「こんなところに乗せやがって」って、絶対文句言ってるよって（笑）。

――ファスト・クラスに乗せろ！　みたいな？

保子さん　そうそう（笑）。でも本当は満席だったのに、みなさんよくして下さったんでホントに有り難かったです。主人をとにかくはやく帰したかったから。

――ところで、フィリピンから持ってきた肝臓はどうしたんですか？

保子さん　主人の主治医の先生に密葬に来て頂いたんで、その場で渡したんですよ。宅急便で送るっていうわけにもいかないですからね。

――そうですね。

保子さん　岐阜の先生です。その岐阜の先生は先生で別に、今迄議員さんに脳死移植を進める交友を何回もなさってるんですよ。でもこの国の議員さんっていうのは、票に繋がることしか勉強しませんから、バカらしくなってやめちゃったって言

6月18日、ジャンボ鶴田メモリアル献花式が東京の青山葬儀所で執り行われた。たくさんのファンや関係者、レスラーが詰めかけた中、元子夫人も来場した。馬場夫人、鶴田夫人のこうした写真、プロレスファンには辛い1枚だ。

脳死判定後の臓器移植は人間として出来る最後の人へのプレゼントだ

うんですよね。

――それは残念な話ですね。

保子さん　だからこそ私は繋げなきゃいけないと思ってるんですよ。

――今回〝ジャンボ鶴田基金〟っていうものをつくったことによって、後に繋げることは出来ますよね。

保子さん　それはオーストラリアの倫理委員会でも、お医者さまの前で発表してるんですよね。

――〝ジャンボ鶴田基金〟に関しては、生前、鶴田さんがまだ闘病なさってるときから考えてらしたんですか？

保子さん　もう岐阜にいるときから、考えてましたね。ただそのことについてはうちの税理士にも相談したんですけど、今、そういう財団法人をつくるのを日本は締め出してる状態ですから、凄く難しいんですよね。

――ああ、そうなんですか。

保子さん　でも、主人はオーストラリアで、ポケベルや新聞を寄付するって形を残してますんで、私は〝ジャンボ鶴田基金〟があると言っても問題はないかなと思ってるんです。でも寄付として、お金を頂戴するっていうのは、ちゃんとした法律の手続きを踏まないかぎり、私はまだしちゃいけないと思ってるんですよ。だからお金については追々やっていって、ある形がついてから初めて受けようかなと思うんですよね。

――なるほど。じゃあまだ準備段階という感じなんですね。ちなみに、〝ジャンボ鶴田基金〟というのは、移植希望の方がよりよい環境にいくようにというものなんですよね。

保子さん　そうですね。でも一つの国の法律を変えるっていうのは、とても大変なことでハッキリ言って私たちの力じゃ無理なんですよ。だから一番初めに主人がやろうと思ってたのは、ドナーの登録の仕方なんです。例えばオーストラリアは地方によって違うんですけど、免許証にドナーになるかイエスかノーかの意志を書いてるんですよ。

――交通事故などにあったらすぐにドナーかどうかがわかるようになっている、と。

保子さん　でも日本ではドナー・カードを書いてたけれど、家の中でなくしちゃったとか、そういうことが多いんですよ。

――そうしたら、もうアウトですよね。

保子さん　だからそういうことがないように、オーストラリアでは免許証を取る時点で意志があるか、ないかを聞いて、それを免許証でうたってるんですよね。主人は「それだったら日本でも出来るんじゃないか」って、思ったんですよね。

――ドナーになるかどうかの意志表示をする機会の拡大のためだけだったら、と。

保子さん　はい、それと免許証にうたうってことは、運転をこれから新たに取る若い人が、自分の命がどのようにも成り得る危険性があるってこと自覚することになりますよね。それは私は絶対にいいことだと思うんですよね。なぜならそれだけ危険なものを運転するんだってことを自覚することになりますから、交通事故を無くすってことに対しても、私はプラスになると思うんですよ。だから主人はそっちから攻めていきたいって言ったんですよね。

――直接「移植のため」ではなく、まず「事故防止のため」からスタートさせる、と。

保子さん　だからせめて、運転免許証に載せるくらい脳死移植の運動を進めていきたいなと、今は思ってるんですよね。だから移植ネットワークには今回、献花式にもご協力頂いて、ドナー・カードを配らせてもらうんですよ。

――その場で配るんですか？

保子さん　ええ。ただ厳密に言うとドナー・カードを「配る」ってことは、あの団体は出来ないらしいんですよ。ただそれを「配置する」だけなら取ることは個人の意志なんでOKなんですよ。でも、それを配るということはダメらしいんですよね。

――細かいですねぇ。

保子さん　私も「どうしてなんですか？」ってうかがったんですよ。そうしたら「(ドナー・カードに記入するということは)遺書を書かせるのと一緒だ」と。そういう考え方らしいんですよ。

――ではドナー・カードを渡すというのは「遺書を書いて下さい」っていうのを強制しているのと同じ意味になってしまうということですか？

保子さん　そうらしいんですよ。人の命のことですから、慎重に考えなければいけないことだとは私も思うんですよ。でも、そこまで考えすぎてしまいますと、この問題は絶対に進まないと思うんですよね。

――そうですよね。

保子さん　だからその問題を少しでも進めるために〝ジャンボ鶴田基金〟を設立したんですけど、ただどう進めていくかっていうのが、非常に難しいんですよ。主人がいればもっと簡単に、生きる証拠として進められたんじゃないかなと思うんですけどね。

――体験者ですからね。

保子さん　あとこれはどうしても載せてもらいたいんですけど、〝ジャンボ鶴田基金〟発足していく意味で主人は、「脳死判定後、臓器提供するということは人間として出来る最後の人へのプレゼントである」って言ったんですよね。これは主人がアメリカのお医者さまに言われたことなんですよ。やっぱり、いくらお医者さまが脳死の判定の意味を難しい言葉で語っていただいても、一般の私達が理解するには難しいじゃないですか。でもこの言葉を聞いて主人は、「本当にそうだな」と思ったんです。

――心に届いた言葉だったんですね。

保子さん　確かに脳死判定を受けるっていうのは、家族としては辛いですよね。「生き返るかもしれない」って絶対に考えるし、考えたいじゃないですか。

――やっぱり最後まで望みは捨てたくないと思ってしまいますよね。

保子さん　でも、これは岐阜の先生がおっしゃったんですけど、脳死判定受けて元に戻った人っていうのは、人類始まってからひとりもいないらしいんですよ。

――ゼロですか。

保子さん　ひとりもいないんですけど、「脳死は死である」という判断を下せるお医者様というのもなかなかいないんですよ。それに脳死移植の問題っていうのは、宗教的な倫理が絡んでくるからホントに難しいんですよ。

――確かに「死」に対する捉え方っていうのは宗教によって全然違いますよね。

保子さん　ただ、アメリカの移植の外科医は「他人のなかで、自分の家族の体が生きてるっていうのは辛いけど、ある意味ではその人が生きてきた意味があるじゃないですか」っておっしゃったんです。形としても残りますしね。また次の人に繋がってて、感謝されるってことは、人間として生まれてきて基本的なことだと思うんですね。「それを出来る最後のプレゼントだ」って言われて、ああ、私はどんな偉いお医者さまに医学用語で説明されても納得出来ないけれども、そういう言葉を聞くとすごく納得できたんですよ。

――医学的な意味よりも、倫理的なものですね。

保子さん　でも、その倫理がいまの日本では全然違うんですよね。だってアメリカなんかのお医者さまは最後に亡くなったときに、「献体しますか？」って聞くのが義務らしいんですけど、日本は聞かないんですって。だから…進まないですよね。

――まだまだ意識が低いんですね。

保子さん　それにお葬式の本を読むと、『献体をすると遺体は1ヵ月以上戻ってきませんので、断ることも出来ます』とも書いてあるんですよね。遺体は1ヵ月も戻ってきませんって文章を読んだら、献体なんかしないじゃないですか。そういう書き方してるから、まだまだこの国はダメだなと思ったんですよ。

――そうですね。鶴田さんは今回お亡くなりになられたわけですけど、やはりドナー・カードは書いてらしたんですか？

保子さん　はい、去年の11月の1日の段階で書いてましたね。お財布を見たらなかにドナー・カードがあったんですよ。肝臓以外は○を付けて、サインしてましたね。

――肝臓以外全部ですか。

保子さん　やっぱり、提供出来るものは全部次の人に届けたいっていう気持ちがあったみたいですね。でもね、この間、小渕首相が亡くなられましたよね。小渕さんがああいう状態になったときに私たちは言っていたのは、「小渕さんが、脳死移植の提供をしたならば、日本もガラリと変わるのにね」っていうことなんですよ。

――ああ、確かにそうかもしれませんね。

保子さん　でも結局はなさらなかったですよね。だからこの国で変えるためには、官僚か本当に上の方が同じ立場にならない限りならないと思うんですよ。私は残

鶴田夫人激白
全日潰す権利
三沢にない
東京スポーツ

ショッキングに取られがちな発言だが、決して三沢を批判するための発言ではない。ジャンボが背負い続けてきた全日本プロレスを守るためのものだ。

された遺族の気持ちの辛さもわかりますから、脳死移植を簡単には言えない気持ちもよくわかるんですよ。でも、そこをもっと人間としての倫理感を小さいことから教えてれば、これから日本も変わるんじゃないかなと思っているんです。

――そういうところを変えていくのも、ある種〝ジャンボ鶴田基金〟の目的の一つであるわけですか？

保子さん　そうですね。少しでも状況を変えていければと思っているんですよ。

――ところで鶴田さんが移植手術なさった患者さんとお話するときっていうのは、常に色々なことを質問してたんですか？

保子さん　はい、だから手術が決まったときは、みんなが「良かった良かった」って言ったんですよ。成功率が低い手術じゃないし、成功すれば生まれ変わったみたいに、1ヵ月もしないうちにゴルフをやっちゃった人もいたり、ウソのように元気になるからって。それと共に、みなさんの苦労ってわかるじゃないですか。だから、（脳死移植のシステムが）やっぱりこのままじゃいけないっていう意識は誰でも持つんですよね。

――システムさえ変われば、助かる人もたくさんでてくる、と。

保子さん　だから岐阜の先生にも「僕も手助けになるから、（鶴田さんは）ちょっとでもみんなに名前が知られてるんだったら、そこを利用してこの運動を進めてってもらいたい」って頼まれたんですよ。

――お医者さんのほうからも言われたんですか。

保子さん　そうです。だから、「みんなで頑張っていこうよ」っていうのがあったんですよ。そういう意味もあって凄い私は無念で……すごく無念だったんですよ。

――志し半ばで倒れてしまったわけですからね。

保子さん　それと、例えば亡くなったときの顔がね、凄く幸せそうな、笑ってるようなニンマリした顔だったんでね、苦しまないで逝ったから、私は救われたなと思うんです。わからないまま、痛みもないままだったから。

――麻酔が効いた状態で、そのままだったんですね。

保子さん　だから今頃怒ってるんじゃないかなと思いますけどね。「なんで死んだんだ？」って。だから私に任すんじゃなかったって、私怒られちゃうんじゃないかなと思って。でも、最後まで後は向かなかったから彼らしい生き方だったかなとは思うんですけどね。

――闘病生活の中で、ご家族はずっと移動されてたわけですよね。

保子さん　そうですね。アメリカもオーストラリアも全部行きましたね。フィリピンだけは主人が「治安が悪いから残ってなさい」と言ったんで、行かなかったんですけどね。

――お子さん達には、鶴田さんは何か言われたりしていたんですか？

保子さん　主人は一人一人電話を替わらせるんです。それで長男には、「パパがいない間は、おまえが長男だからしっかりしなさいよ」ってことは言ってましたし。それとレスリングやバスケットを今、長男がやってるんですよ。

――鶴田さんと同じ道を歩んでるんですね。

保子さん　だから長男は今度、高校に上がるんですけど、主人は「ボランティアでレスリングのコーチをしてやる」って言ってたんですよ。主人が日本に帰ってる間に、長男ははアメリカでレスリングをやってました。それでEメールで主人に聞くんです。「今日負けたんだけど、勝つにはどうしたらいいか」って。

「散骨してほしい」というので、宇宙葬もいいかなと思って。お星さまになるし……。

――お子さんにとっては最高のコーチですよね。

保子さん　それで主人も全部それに答えてるんですよ。主人がどうやってオリンピックで負けたかとかね。反則負けだったらしいんですけど、どうしたらどうなったとか。全部答えてたんですよ。

――具体的なアドバイスも送ってたんですか。

保子さん　そうです。「こういう場合どうしよう」って聞いてきたら、「そういう場合は相手をこういうふうに押さえ込んで、こうやったら相手はこう動くからこうやりなさい」とかね。すごく具体的でしたよ。だから息子が送ってくるメールは私には2、3行だったのに、主人には凄い量だったんですよ（笑）。

――聞きたいことがいっぱいあったんですね（笑）。

保子さん　ちょうど、これからいっぱい聞きたいことある年代ですからね。だから子供には申し訳ないことしたなと思ってるんですけどね。

――でも、そういうふうに鶴田さんが「しっかりしなさいよ」っておっしゃってたせいかわからないですけど、武道館で見たときは、凄い立派に見えましたよ、本当に。

保子さん　ありがとうございます。まだ14歳で小さいんですけどね。とにかくジャンボ鶴田の一番のファンですから。あんまり息子は、プロレスに興味なかったんですけど、つい最近ビデオ見たんですよ。オーストラリアでも10番勝負とか見てたんですよ。それで最近「パパって凄かったんだ」って言ってるんですよ（笑）。今頃気が付いてどうするんだって、言いましたけどね（笑）。でもね、腕相撲なんかしてね、子供が精一杯力出して、主人が「それだけ？」って聞いて、バタンって倒すんですよね。

ジャンボの生き様は誰にも後ろ指を指されるようなものではない

――大きなお父さんだったんですね。

保子さん　今度お墓をつくってるんですけどね。また、みなさん良かったら、来て下さいね。

――どちらなんですか？

保子さん　ぶどう園のすぐ近くなんですけどね。

――あそこ一度取材で伺ったんですけど、いいところですよね。

保子さん　そうですね。ぜひ、行ってやって下さいね。主人と全く身長が同じ高さのお墓を造ったんですよ。主人の歴代の試合のタイトル歴と、主人が好きだった言葉と、写真をお墓に掘ってるんですよね。

――写真も掘ったんですか？

保子さん　掘ってるんです。AWAの取ったときのね。だからちょうどお墓の前に立つと、主人の背の高さと同じなんですよ。だからなかなか面白いお墓なんで、良かったら。あとは、散骨してほしいって言うんでね、今迷ってるんですよね。宇宙葬っていうのもあるんですよね。ロケットで飛んで2、3年ずっと衛星ロケットに乗って回るんですよ。最後は地球の軌道から外れて、回ってるんですよ。

――そんなスケールのデカイものもあるんですね。

保子さん　そしたら、お星さまになるし、打ち上げも見せてくれるんですよ。今度はロスであるのかな？　まだ申し込んでないんですけど。子供が悩んだときにね、地面見てお父さんに語りかけるより、私は上見てお星さま見ながらね、主人に話かけるようなね。その方が前向きにもなるし、いいかなと思って。色々考えてもいるんですけどね。

――ちなみに、お墓に掘ってある好きな言葉というのは？

保子さん　『人生はチャレンジだ』って。

――引退式のときにおっしゃってた。

保子さん　もうひとつ載せなかったけど、子供によく言ったんですけど、『世界は教室だ』って言ったんですよね。それはうちの息子にアメリカに住んでますよね。戻れるかどうかビザ次第なんですけどね。一つの国に拘らないでね、日本人の勤勉さとアメリカならアメリカの大らかさと兼ねそえたような国際人にならないとダメだからって。日本だけが教室だと思っちゃいけないって。色々なものを見なさいってね。本物をとにかく見なさいってことでね。それで息子は「そうだよね、英語っていうのは地球語だからね」って言ったんですよね。どこの国行っても、英語さえ喋れれば通じますよね。

――いや、ホントにいろいろお話をいただいてありがとうございました。

ジャンボ鶴田基金設立！

臓器提供意思表示カード

日本で脳死移植が出来るための環境を整えるために、立ちあげたジャンボ鶴田基金が遂に活動開始！　なお、この基金は財団法人・日本移植支援協会と協議した上で使い方を決めるという。詳しい情報はホームページをご覧下さい。

http://www.jumbo-t.com/

振込先は富士銀行　芦屋支店

口座番号:222-6872　ジャンボ鶴田基金

書評は平和ではない
書評は戦いである
武器のかわりが毒舌であるだけで
それは地上における最も激しい厳しい
自らを捨ててかからねばならない
戦いである――（ネール元インド首相の娘への手紙）

吉田文豪人生劇場
書評の星座 PART2

いくら原稿を書いてもなかなか終わらないと思ったら、なんと普段の倍近い文字量になっていたことが発覚！　これもすべては『海人』が面白すぎるためなのであった。しょうがないから、鉄拳主義で「絶対に泣かない子供」にする船木の教育法や、シャムロックのフェイク問題については泣く泣く割愛！　もう書いちゃった『闘人烈伝』（夢枕獏編・解説／双葉社）や『格闘技・超勝負列伝』（メディアワークス）は次号掲載ということで。ついでに、各種タレコミも相変わらず受け付けている書評コーナー。〈e-mail:go-go@pdx.ne.jp〉

アメリカンプロレス
TVパーフェクトガイド
主要レスラーの紹介・ストーリー展開からグッズまで
楽しいCS放送を満喫する徹底特集！
世界で一番面白いエンターテインメント日本上陸！
世界のデスマッチ
英単語が分からないあなたも大丈夫
頻出用語の全てを一挙に解説！
アメプロ用語解説
絡み合う人間模様の流れを理解して
展開の早いストーリーを追い越そう！
リングの事件簿
日本のエンターテインメント伝道師
杉作J太郎氏入魂の書き下ろし
俺とアメプロ

アメリカンプロレス TVパーフェクトガイド
（白夜書房）

いきなりだが、このムックの担当編集者は『紙プロ』に入社すべく面接に挑んだらあっさり落ち、悔しさのあまり会社の下に座り込んで独り言を呟いていたかと思えば「もう一回面接して下さい！」とリベンジに挑み、それでもやっぱり落ちてしまったという恥ずかしい過去を持つ青年であった。

ところが、過去の経緯をすっかり忘れていた『紙プロ』編集部は、なぜか人手不足に陥ると彼に平気でお手伝いを頼んだりしていたのだから本当に失礼な話。そんな彼が白夜書房の契約社員となり、アメプロに対する己の熱い思いをぶつけるべくこの本の企画を立ち上げたのだから、その成り上がりっぷりにはボクも感心するばかりなのである。

ところが、なぜか借りられるはずだったWWFのオフィシャル写真は一切使えなくなるし、原稿を大量に書く予定だった杉作J太郎先生は行方不明（それでも、いつも以上に長くて熱い原稿は掲載済）になるしというアクシデントが次々と勃発してしまったため、切羽詰まった担当編集者もついでに失踪！　やむなく別の編集者が後を引き継ぎ、杉作先生の代打で本誌・坂井ノブが大量に原稿執筆したら「ノブがフリーになるらしい」なる根拠のない噂が蔓延するという、まったくよくわからない事態に陥ってしまったのであった……。

そういうわけで正直言って本の作り自体は非常にアレながらもどうにか完成した、本書。

これまでアメプロを誌面で伝えようとすると、経営的なスケールの大きさを無闇にアピールするだけだったり、初心者向けのキャラクター紹介だけで終わってしまったり、別段面白くもない選手の素顔にスポットを当ててしまったりで、初心者の興味も惹かなければマニアも喜ばない内容になりがちだったのだが、表面的なストーリーを面白おかしくなぞるだけでも十分楽しめることにボクもいまさらながら気付いた次第である。

別にマニア受けを狙ってドラマの裏を暴かなくても、**「今後は日本やアメリカのアニメや映画も参考にして、方針を劇的に変えていきます」**という開き直りの成果というべき、外部の脚本家も登用したストーリーを伝えるだけの筆力（ノブが普段より明らかにのびのびと執筆し、ギャグも連発）さえあれば、どうにかなるとわかる一冊なのであった。

船木誠勝　海人
（安田拡了／ベースボール・マガジン社）

桜庭もハマったゲーム『シーマン』とも、ジョージ秋山先生の漫画『海人ゴンズイ』とも無関係らしい謎のフレーズ、海人。これは、そんな言葉をヤスカクがタイトルに選んだ理由だけでも巨大な奇跡を感じずにはいられない、衝撃の名著なのであった。

つまり、船木によると**「小さい頃、お母さんが俺を霊感の強い人のところへ連れていったんですよ。将来、俺は船乗りになって旅をするといわれたらしいんですね」**とのことなのである。

それ自体は別にどうってこともないだろうが、すっかり勢いにのって**「人の敷いたレールの上に乗るのではなく、自らの道を自分で舵をとりながら航海してきた」**のも**「海にはレールがない」**のだから当然の話だし、そもそも**「魚座」**だし、**「母が旧姓に戻り、船のつく船木姓になった」**しで、やっぱり「海人」なのだと強引に結論付けていくのだから、本当にとんでもなさすぎ。ヒクソン戦を終えたら「海に行きたい」と言い放った船木の完全脱力主義発言にしても、海人なんだからしょうがないわけなのだろう、きっと。

敬愛していた松田優作に関しても**「あまりにも自分と酷似していたのである。船木の本名は優治だ。（松田優作が優しさを作る。俺が優しさを治める。不思議だ……）」**と勝手に運命を感じ取ってしまうのだからセンス抜群。それなら宮戸優光や船木勝一にも何らかの運命を感じていたのに違いないのである。

この強引なこじつけっぷりには「今年は辰年、ドラゴンの年です！」と笑顔で呑気に言い放つ藤波辰爾にも近いセンスを感じていたところ、世界の荒鷲・坂口征二もこう証言していくのであった。

「（船木は）泣き上戸でね。いつも泣いてた。俺はね、藤波二世にしようとしてたんだよ。もう、あんなやつ、出てこないだろうな」

藤波二世！　そう、最近になってようやくファンが楽しみ方を理解できるようになってきた船木の突拍子もなさすぎる発想は、過去に付き人をしていた藤波仕込みだったのである！

当時の船木が**「差別されていると思った」**とボヤイてばかりいたのも、藤波二世なんだからしょうがない。坂口が言うように、藤波や船木のようにピュアハートを持った中卒ファイターは今後まず出てこないこと確実なのだ。

そんな船木が**「女が男に体を許すような感じで、私は拡了さんの取材をいつも受けていました」**（前田流に訳すと、「俺が女だったらやらしてやってもええで！」）と衝撃告白をブチかます本書では、知られざるキラー船木（＝藤波直系の恨み節）ぶりが見事なまでに炸裂！

芸能界きっての暴走戦士だった松田優作との共通点なんて「優」の字ぐらいのものだと思っていたら、知られざる船木の暴走ぶりがこれでようやく明らかになったわけなのであった。

まずは**「本当の自分を書いてほしい。万引きの話も何もかも」**（でも骨法や前田との確執については書いていないから不思議）という船木の要望により、万引き話をカミングアウト。

何かと思えば、**「4年生になったある日、船木は友達と万引きをした。みんなと万引きの計画を立てて、ボールペンやパンを店から盗ってきた」**のだが、すぐに船木が部屋に引きこもり**「友達と物を盗んだ。俺、死なねば駄目だ」**と母親に告白したため事件が発覚。これは一緒に万引きした友達にしてみれば、たまったもんじゃない話だろう。

この騒動も**「なんで俺だけ貧乏なんだ。クソ！」**という苛立ちゆえに起こしたようなのだが、とにかく船木を考える上で最も重要なのは父親に対する憎しみなのである。

プロレスラーを目指せば**「クソ親父！」**と心で叫びながらトレーニングに熱中し、やがてブルース・リーなどの映画にも没頭して現実逃避するが、そのくせ**「電車賃がなくなったからタクシーで帰っていいか」**と言い出したりと家の経済状態も考えない行動を繰り返すから、さすがは船木。

中学に入れば**「教室の3階の窓から飛び下りる」**という自殺願望丸出しのアクションに熱中するから、まさに「田舎のブルース・リー」。そんな船木は、「俺ら東京さ行ぐだ」とばかりに上京して新日入りし、そこで鈴木みのると出会うと、二人で練習を繰り返していくのであった。

「しばらくすると、鈴木がどんどん太ってきた。練習をさぼったことがないのに太ってくるというのはおかしい。船木は『アルコールか』と思った。夕方になると、ドン荒川が鈴木を飲みに誘ってくるのを知っていた。大先輩だから断れるはずがない。まもなくして鈴木が暗い顔をして帰ってきた。話を聞くと、酒を飲まなかったために荒川に殴られたらしいことがわかった」

こんなところでも、やっぱり期待通りに暗躍していたドン荒川。とりあえず酒席で飲まずに場をシラケさせるような新弟子を殴るのは、レスラーとして断じて正しい姿勢だとボクは思う。

その後、**「せっかく相棒になった鈴木を荒川に横取りされているようで嫌だった」**という非常に女性的な感情で鈴木を奪い返した船木は、二代目藤波の座を捨ててUWF入りするわけである。

「船木と前田はブレーメンの街で酒を酌み交わし、前田に誘われるまま道端で連れションをした。連れションというのは不思議なものだ。男同士の友情というのが生まれてくる。その時の船木も例外ではなかった。（この人ならついていける）とその時、思った」

この、どうにも前田らしい行動に最初は船木も心を動かされたようだが、やがて骨折と失恋、そして食生活の悪さゆえというかステロイドのせいなのか必要以上にイラついて練習生を怪我させて前田に怒られたり（『ハイブリッド肉体改造法』情報）、インタビューで何を聞かれても「あなたがそうしろと言うなら、そうしますよ」と答えたり（『ストレイト』情報）するほど荒れていくのだった。

「この時期、何もかもがうまくいかない自分が嫌になっていた。失恋は大きな痛手だった。一時はこの失恋の痛手で、自殺を考えるほど落ち込んでいった」

ケタ外れの借金で自殺を考えそれを商売にしようとした猪木に比べるとあまりにもスケールが小

船木誠勝
海人
安田拡了 著
Funaki Masakatsu Umihito
レスラー人生完結。
荒波にのまれながら
前へと進んだ
航海の跡をたどる。
デビュー戦からの全戦績収録。

さいが、それも含めて船木らしいだろう。

そして、UWF分裂に至る会議で前田が**「一人でも欠けたら解散だ!」**と言った直後、**「安生洋二、宮戸優光が部屋から飛び出した。そのあと居たたまれず鈴木が飛び出した。船木と富宅があとを追いかけると、鈴木は合宿所で泣きながらカツ丼を食べていた」**というのも、本当に鈴木らしいのであった。どうしてまたカツ丼?

なお、この「涙」というのもパンクラス勢に共通した特徴のようで、藤原組時代には高橋義生が暴走開始。酒を飲めば**「いつになったらやれるんですか、俺たちのプロレス……」**とシクシク泣き出し、船木が**「トイレで泣いてこいよ」**と言えば**「はい」**と**「情けない声を上げて」**トイレに直行。しばらく経って**「高橋、まだ泣いてるのか」**と船木が聞いても、やっぱり**「はい」**と**「情けない涙声が返って」**くる始末。やがてパンクラスが始動して全女の道場で練習をするようになれば、**「みんなと練習できるのが嬉しくて嬉しくて……」**と**「シクシクと泣いていた」**りで、想像を絶するピュアハートぶりなのだ。

しかし、それらの興業性重視団体を経て完全実力主義のパンクラスを旗揚げすると、ヤスカクの発言にも妙な選民思想が見え隠れするようになってしまうわけなのである。

「選手たちはみんな安い給料だったが、それでもやってこられたのはパンクラスに理想があったからだし、トップの船木が信じきれる男だったからだ。それだけをとっても、パンクラスは他人に批判されるような団体ではなかった。まるで江戸時代に弾圧を受けたキリシタンと同じだった」

どう考えてもこれは何の反論にもなっていないし、こうして被害者意識ゆえなのか自分たちをキリシタンに重ね合わせたりするから宗教的だのと揶揄されてしまう(=これが弾圧?)のだとボクは思う。

ところが、船木の言い分のズバ抜けた破壊力の前では、そんな細かいことはどうでもよくなってくるから不思議なのである。船木、最高だ!

たとえば不得意な打撃勝負を挑んで惨敗したルッテン戦にしても、**「船木はその頃、藤原組時代に結婚していた妻とうまくいっておらず、精神的にまいっていた。生きるのがシンドイと思うようになっていて、引退まで考えていた」**ためだったことが発覚。明日また生きるぞ!

ブラガ戦のときに打撃でボコられたのも、**「3日後、船木の離婚調停が成立した」**ためだったのだから、しょうがないわけなのである。

そんな船木が引退を決意したのは、ガイ・メッツァー戦で**「直前に風邪をこじらせて、体がいうことをきかなかった」**ためにやむなく膠着してしまうと、**「試合中、これまで浴びたことがないような野次」**を飛ばされながら判定負けしたのが原因だったのだそうである。

「野次で変わりました。あそこにいた人がみんな、俺がどんなになろうとも応援してくれるのなら、ずっと現役のまま続けていける。残念ながらそうじゃない」

応援しないなら辞めてやる!

かくも無茶な論理で**「ファンと握手するのも嫌がった」**りするまでになった船木は、引退を決意してヒクソン戦へと動き始めるのだった。

まずはタックル特訓である。

「船木のレスリングは、高校レスリング出身の山田恵一から簡単に教えてもらった程度だったのだ。もしも船木が15歳から本格的なレスリングをやっていたなら、その基礎を武器にさらにすごいレスラーになっていたことだろう。船木が『猪木のバカやろう!』と思わず叫んだ。それは、15歳からこれを本格的にやっていれば『俺も超人になっていたかもしれない』という悔しさの表れだった」

……これは絶対に猪木のせいじゃないはずだとボクは思うんだが、それでもパンクラスは他人に批判されるような団体じゃないのである!

さらに須藤元気とスパーリング中、**「精も根も尽きたという情けない顔をして」「つい弱音を吐いてしまった」**ほどスタミナ切れした須藤が、船木の打撃に**「恐怖で顔をひきつらせ」「怖さから逃れたいためにやみくもに出した顔面パンチ」**が船木を直撃! 流血するなり事件は起こったのだ!

「無表情でいた船木の顔が、一瞬にしてこわばった。勢いよく起き上がると、猛然と須藤に襲いかかった。『このやろう!』転がるように逃げる須藤を追いかけて、かかとで蹴りを何度も入れた。日頃は静かで、そんな船木を見たこともない須藤は震え上がった。おさまらない船木は、いつも高橋が使っている素振り用のバットを探すために血相を変えてリングを降りた。今度はバットで殴ろうとしたのだ」

この失礼な記述に対して須藤は怒り、ヤスカクは尾崎社長立ち会いの上で和解したそうだが、確かに船木のキレっぷりだけは本当に怖いとボクも思う。試合直後の「ヒクソンを日本刀で斬ろうと思いました」発言も含めて、船木はまさに「キレやすい10代」。ターザン以上のキレっぷりなのだ。

そして、ヤスカクのキレっぷりもまたかなりのものだったというわけなのである。

「船木はヒクソンの裸絞めでタップをせず、死に直面した。果たしてこれほどの覚悟を持って試合をした男が過去にいただろうか。敗れたことで船木に対する批判もあるが、タップをしなかったという恐るべき現実の重みの前では、あまりにヒステリックで身勝手な言い分であることがよくわかるだろう」……は? 骨を折られてもタップしなかったというなら褒めるにも値するだろうが(ワセリンを足の裏に塗ったせいで勝手に骨折するのは褒めるに値しない)、もしチョークでタップしなかったことを本気で褒め称えたいのなら、ヒクソンのデータもろくにない時期にキャリア3年に満たないながらヒクソンに反則暴走させるまでに追い込んだ上、タップしなかった山本宜久の方が褒めるのに値するはず(ヘルニア発症以降の戦績は無視)。

もう覚悟を見せる時期は終わったのだ。

これだけヒクソンのデータが蓄積された以上、結果を出さなければしょうがないし、あの試合内容で無闇に褒め称えるのはあまりにヒステリックで身勝手な言い分でしかないのである。

CIMA

(CIMA/まんだらけ)

カバーデザインとCGを古川益三まんだらけ社長自ら担当したという、謎のフォト&エッセイ集。

エッセイ部分には特筆すべきことも一切ないし(というか、エッセイと呼べるほどの文量もない)、唯一シュートな感情が出ているのが**「メキシコ行く前に日焼けサロンにCIMAと2人で行こうとして、『電車代浮かして自転車パチりましょう』と言ってパチった。けど警察に捕まって事情聴取でめちゃめちゃ怒られたんですよ。それをマグナムに怒られた。とにかく俺らマグナムが嫌いだったから。それで今のCRAZY MAXができました」**というSUWAの証言ぐらいという、書評的には非常に扱いづらい一冊なのだ。

それでも版元がまんだらけだからなのか、CIMAのコスプレ写真や徳光康之先生の描き下ろし漫画『最狂超CIMAファン列伝』(残念ながら1Pのみ)が掲載されてたりもするから、マニアにしてみればたまらないはず。

ただし、CIMAの描くマンガを掲載しているはまんだらけ的にどうなのか? とりあえず古川益三社長は『ガロ』出身の漫画家としてどう思っているか? ちょっとそれが気になってしょうがない今日この頃なのである。

高校生日記

(大仁田厚/TIS)

ゴーストライターが『SPA!』誌上でさんざんボヤいていたとの噂(メールでタレコミ有)も頷ける、ちょっと深みが足りない一冊。

なにしろ**「俺はたったの3日で高校を辞めていた」**なる発言を載せている時点で、「それは悲しい作り話であることを私は知っている。高校へは進学していない」「高校を3日でやめたとは、コンプレックスと自尊心のギリギリのはざまで吐かれた悲しいおとぎ話である」と『愚か者の伝説』(高山文彦/講談社)でハッキリ書かれたいまとなっては、致命的なまでに説得力皆無なのだ。

さらに、なぜか大仁田を**「はちきれそうな筋肉のでかい男」**と表現したり、**「俺は軽く腕を振り払った。すると2人の先生はコロンとその場に尻餅をついてしまった。俺、ぜんぜん力入れた覚えはないんだけどな」**と告白してたりで、いちいち「プロレスラーは本当は強いんです!」とばかりに屈強ぶりをアピールしていく姿勢が、個人的には引っかかりまくった次第なのである。

近頃の大仁田の凄さはそんな部分ではなく、「邪道で何が悪いんじゃあ(涙)!」というレベルからさらに一歩踏み込み、とかく強弱ばかりを語られがちなプロレス界にあって「俺は弱い=お前らと同じなんじゃ〜っ!」という特殊なスタンスに立ったことにあるのだとボクは思う。

どんなに暑くても皮ジャン姿で「Oi! Oi!」と叫ぶのみならず、**「俺は不器用だ。才能もない。ただ真っ直ぐぶつかるだけだ」「規制規制でお前たちを縛ろうとするこの世の中をぶっ壊すつもりで暴れてみろ」**といったパンクバンドにありがちなフレーズばかりをファンに対してアジテーションしていく大仁田。

技術や体力のなさを開き直り、引退(=解散)&復活を繰り返し、酒や煙草を嗜み、ひたすら悪態を吐き、権力に対して勝てるわけもない闘いに挑み、インパクトを残そうとする行為は、まさにパンク! 「じゃあ!」という口癖にしても「JAH」、すなわち神への愛を示すラスタな精神ゆえ飛び出した心の叫びに決まっているのだ(妄想)。

大仁田がLAのマイナー・パンクバンド・Xの楽曲を入場テーマに起用しているのは、決して伊達じゃない。いまさらながらバンド結成を宣言したのも、必然的な行為だったというわけのである。

大仁田・ノット・デッド!

馬場さん、忘れません

(栃内良/木世出版)

精神的支柱を失った馬場派の論客・栃内先生の放心ぶりがたっぷり詰め込まれた、普段よりひときわウェットな馬場追悼本。とにかく馬場崩御直後の理解しかねる行動に関する描写を読むだけで、栃内先生のズバ抜けた馬場派っぷりが嫌でも伝わってくることだろう。

「仕事などできる状態ではなかった。誰か人と話もしたくなかった。テレビも見たくなかった。新聞も読みたくなかった。僕は街に出た。特別な目的はなかった。部屋で電話の音を聞くのも嫌だった。映画館に入り10分ほどで出てきた。初めての焼き鳥屋に入り、3回もビールをこぼした。靖国通りを意味もなく行ったり来たりした。食べたくもないのにカレー屋に入り、ほとんど残して出てきた。サウナは怖かった。僕がサウナにいる時に馬場さんは死んだ。また、何か起きるかもしれない。ただ、怖かった。精神のバランスが崩れていたのだろう」

なんと馬場の死が原因で、精神崩壊!

そんなファンは、おそらく世界でも栃内先生ぐらいしか存在しないはずなのである。

その後も、飲み歩いているうちに**「3軒目のバーで顔見知りの男」**に**「ジャイアント馬場、死んじゃって、忙しいんじゃないの。栃内ちゃんの昔の本とか売れちゃってるんじゃないの? うらやましい」**と言われれば、**「うるせぇーんだよ」**と怒鳴って水割りをぶっかけたりするのだから、もう完璧! テリー伊藤が栃内派を名乗りたくなる気持ちが、ボクにも痛いほどわかるのであった。

アメリカの薬局「メイジファーマシー」の協力により、一部大幅値下げ！

健康食品よりも効果のあるワンクラス上の商品を！

アンドロステジオン 筋肉増強薬
—ホームラン王マグワイアも愛用—

純度99.5%

究極の筋肉増強薬として有名。米国内では補助栄養剤として市販されている。法律的に購入、使用は全く問題ないが、I.O.C(国際オリンピック協会)が禁止薬物として指定する筋肉増強剤なのでドーピング検査のある人は使用できない。

100錠(約3ヵ月分) 1個 16,000円 2個 30,000円 3個 42,000円(税込み)

プロザック 脳内薬
—全世界で二千万人以上が愛用する抗うつ剤—

値下げ

塩酸フルオキシンを原料としたうつ病の薬。欧米では健康な人にも気軽に処方されている。考え方をプラス指向にし集中力が高まり積極性が増す。又、自信を持って行動し、性格が変わり、明るくなるといわれている。

20mg/30錠(1ヵ月分) 1箱 13,000円 2箱 22,000円(税込み)

ロゲインエキストラストレングス 育毛促進薬
—育毛に革命を起こしたベストセラー—

「効き目がなければ返金します」というキャンペーンを行ったが返金を求めた客はいなかったという。1日に2回、頭に直接すりこむ。

NEWタイプ

2%・5% 男性用・女性用

(ホワイトタイプ) 3本(3ヵ月分) 14,000円 6本(6ヵ月分) 27,000円 12本(1年分) 51,000円(税込み)

プロペシア 飲む育毛促進薬
—世界初の経口タイプ—

試験では服用の83%の人が髪を増やす効果があったという。アメリカ国内で購入するには処方箋が必要で、それだけ効果が期待できる。

アメリカ純正品

1mg/30錠(約1ヵ月分) 1個 15,000円 3個 40,000円 6個 75,000円 3個+ロゲイン 3本 50,000円 6個+ロゲイン 6本 95,000円(税込み)

ザンドロックス 育毛促進薬
—ミノキシルズ12.5%配合—

ミノキシルズ12.5%配合の超強力発毛剤。必ずロゲインなどのミノキシルズ配合の商品で3〜6ヵ月頭皮を慣らして、次の段階で使用するようにして下さい。

※生え際に特に効果があると言われていますので、生え際に使用するようにして下さい。頭頂部にはロゲイン等の商品を使用し、生え際にはザンドロックスを使用(併用可)して下さい。ロゲイン等の商品で頭頂部に効果のなかった方のみ、頭頂部に使用して下さい。

約4ヵ月分 38,000円(税込み)

お申し込み・問い合せは フリーダイヤル 0120-680-214 夜12時まで電話受付中・年中無休

ゾロフト 抗うつ薬

NEW

プロザック以上の効果があると言われる知る人ぞ知る抗うつ薬。プロザックより早く効果が現れ、プロザックが効かなかった人にも効果があった例もある。依存性もなく早漏の治療薬としても有名。

50mg/28錠 1個 15,000円 2個 28,000円
100mg/28錠 1個 18,000円 2個 34,000円(税込み)

ゼニカル ダイエット薬

98年に大手医薬品メーカー、ロシェ社が開発したやせ薬。従来のやせ薬が食欲抑制や下剤効果に重点を置いていたのに対し、ゼニカルは体内に脂肪を吸収させないことを主眼を置いています。アメリカでは99年4月に認可されました。

84食分 26,000円(税込み)

ジンク(亜鉛) ミネラル

ケガを早く直す。精力アップ。髪の毛や筋肉の成長を促進すると言われる。低アレルギー性商品なので、アレルギー体質の方にもご使用いただけます。

NEWタイプ

50mg/100錠(3ヵ月分) 6,000円(税込み)

Cal.Mag.Zinc 180錠 栄養剤

カルシウム1000mg マグネシウム400mg 亜鉛15mgを1日で摂る総合栄養剤。(上記の数字は1日の必要摂取量です。)

NEWタイプ

180錠(2ヵ月分) 7,000円(税込み)

DHEA 栄養剤

成人病予防、細胞の衰えを防ぎ、活力・精力を高めると話題のDHEA。人体に必須の代謝物に作りかえられ、老化により崩れていくホルモンバランスを整える働きがあります。

NEWタイプ

25mg/90錠 6,000円(税込み)

ピラセタム 頭が良くなる薬

頭が良くなる薬で記憶力が増し、学習能力もアップすると言われている。この薬はコリン(100錠3,000円)と一緒の服用をおすすめします。

NEW

400mg/150錠(約2ヵ月分) 12,000円 +コリン 14,000円(税込み)

パワープレイニュートリションプログラム

5本セット(筋肉増強+体重増加セット) 1〜2ヵ月分 17,000円(税込み)

4本セット(筋肉増強セット) 1〜2ヵ月分 11,000円(税込み)

① B.C.A.A.(100錠) 筋肉の疲労を回復させアミノ酸の合成を促進します。
② スーパーステロールアナボリックコンプレックス(90錠) 電解質、ビタミン、アミノ酸、植物栄養素、ハーブ(花粉、朝鮮人参、ロイヤルゼリー)肉体成長因子が豊富で脂肪のない筋肉を増やし、エネルギーが長く続くように働きかけます。
③ アミノマックス1500MG(180錠) 100%ナチュラルな20種類のアミノ酸が1錠1500MGも入っています。プロテインパウダーより早く吸収されます。
④ ニュートラクロムミュームピロリネイト(100錠) 日本人に大変不足しがちな微量栄養素です。筋肉を成長させるために細胞に栄養を吸収しやすく余分な体脂肪を燃焼させます。

※①〜④を一緒に飲むことによりアマチュア、プロを問わず、危険な薬に頼ることなく全く安全に誰にでも筋肉増強ができます。

⑤ プロテインパウダー(1.8Kg) 炭水化物が多く含まれており、体内に多くのエネルギーを作ります。体重をもっと増やしたい方、食事の不規則な方は1〜4のセットと一緒に飲んで下さい。1.8Kgと大変お得な質のよいプロテインパウダーです。

※5本セットの方がプロテインパウダーの効果により4本セットよりも体重が増加します。

メラトニン 体内時計調整

老化防止。子供のような自然な睡眠が得られる。習慣性のない安全な睡眠誘発剤。また、コレステロール値を下げたり、女性にはシミ、シワに大変有効であると言われています。

100錠(約3ヵ月分) 4,800円(税込み)

ニコパッチ 禁煙用処方薬

体内にパッチで害のないようにニコチンを取り入れ、ニコチンの禁断症状を緩和する。自分自身の意志の強さもちろん大事だが、この商品があれば、12週間で無理なく禁煙できるといわれている。日本では処方せん薬となっている。

12週間分 完全禁煙プログラム 40,000円(税込み)

テグサトリム ダイエット薬

ダイエットしたい方、体重制限のある方に。脳に命令して食欲を減退させる薬。約3週間で効果が出るという。

40錠(40日分) 10,000円(税込み)

セント・ジョンズ・ワート 脳内薬

プロザックと同程度の効果を持ち、副作用の少ない健康食品。精神的スランプ、うつ状態にどうぞ。研究結果によると症状の50%〜80%が減少し、うつ病患者に使用される処方せん薬と同程度の効果があると報告されている。

NEWタイプ

450mg/100錠 4,800円(税込み)

バイアグラ 勃起不全治療薬
—不能治療薬のベストセラー—

ライフスタイル・ドラッグ(生活改善薬)の大ベストセラー。しかし、強精剤・精力剤ではないので、何もしなければ(性的な興奮・刺激がなければ)効果はありません。

50mg 100mg共 4錠 12,000円 8錠 20,000円 30錠 40,000円(税込み)

ハーバルV 性欲覚醒栄養補助食品

ハーバード大学の研究者により開発された、天然成分による精力増強・性欲覚醒健康補助食品。

男性用・女性用共 30錠 8,000円(税込み)

※表示料金は全て税込み。お支払いは代金引替か現金書留、銀行振込みにて。商品のお届けは2〜10日、ご不在がちの方は希望の日時を指定して下さい。送料は一律1,000円

「個人輸入」について

上記の商品は海外で医薬品として開発・販売されており、日本では個人の責において輸入・使用できるものです。第三者への転売・譲渡はできませんのでご注意下さい。個人輸入のため発注後のキャンセルはできませんので、事前によくご検討のうえお申込み下さい。

1.電話・FAXによるご注文

フリーダイヤル 0120-680-214
TEL(078)643-2349
FAX(078)643-2597
年中無休 AM9:00〜PM24:00

2.ハガキによるご注文

50 〒653-0803 神戸市長田区前原町2-5-22 ケイトレード 紙のプロレス

①商品名
②個数、金額
③住所
④氏名㊞
⑤年齢
⑥TEL 番号
⑦職業
⑧18才未満 保護者名㊞

3.前払いによるご注文

前払いの場合は 送料無料！

必要事項を記入の上、商品代金と一緒に左記住所までお送り下さい。現金書留もしくは、銀行振込にてお願します。

銀行口座：富士銀行 神戸支店 普通2076446 ケイトレード

ケイトレード

〒653-0803 神戸市長田区前原町2-5-22
0120-680-214
TEL(078)643-2349
FAX(078)643-2597

6/16 ➡ 7/16 マット界の1ヶ月丸わかり

昭和プロレスの凄みに触れる
実録！ 豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝
特別編

帰ってきたS多重アリバイ SWS

遂に語られた"S"崩壊の真相!!

仲野信市 後編

前号で掲載した「前編」では、昭和新日、ジャパンプロレス、決起軍のゴキゲンなエピソードを赤裸々に語ってもらい、昭和者に大好評だった仲野インタビュー。「後編」の今回はさらにパワーアップ。まずはお待ちかね、SWS移籍以降の話を大放出！ 谷津と共にクーデターの首謀者と言われた仲野が、SWS崩壊の真相を遂に激白！ さらにSWS退団以後の仲野のコク深い人生、福田雅一の思い出、そしてまたもや新日イズム溢れるエピソードなどが続々登場。どこを読んでも興味深い話のオンパレード。さあ、いますぐページをめくれ！

聞き手／吉田豪
interview by Go Yoshida
構成＆撮影／堀江ガンツ
text & photographs by Gunts Horie

昭和プロレスの凄みに触れる
実録! 豪傑一代記
紙のプロレス

スーパースター列伝

―仲野さんが新日本からジャパンに移籍したときは永源さんの誘いだったらしいですけど、SWSへはどんな経緯で移ったんですか?

仲野　ちょうど天龍さんが全日本を辞めたのは契約更改の時期だったんですよ。そんなことがあったから馬場さんの僕らに対する態度が変わっちゃって、急に「仲野、ちょっとパンツの色を変えろ」とか、「今度はアジアタッグに挑戦させてやるから」とか言ってきたんです。

―引き留め工作が始まったわけですね（笑）。

仲野　もうそんなの見え見えじゃないですか。それまではリング上の合同練習に参加しない僕を「隅にいて馬鹿だ」とか言ってたのにね。それで嫌になっちゃったんです。その後、僕は先にSWSに行っていた（高野）俊二（現・拳磁）と連絡を取って、田中八郎さん（メガネスーパー社長＝現・会長）の話を聞きに小田原まで行ったんです。

―あの豪邸に行ったんですか?

仲野　いや、自宅ではなくてメガネスーパーの本社でしたね。そこではお金の話じゃなくて、田中社長のプロレス観を聞いたんですよ。「力道山の頃みたいな、あまりショーマンシップのないプロレスがやりたい」っていう。

―いわゆる「真剣試合」ですね（笑）。

仲野　僕もちょうどその頃、そういう試合がやりたいなと思ってたんですよ。自分自身すっかり全日本に染まってしまっていたんで、きっと新日本のスタイルが懐しかったんですね。それで「よろしくお願いします」って言ったんです。そうしたら帰りに田中社長が「仲野君」って呼び止めて、僕に封筒を渡すんですよ。

―あっ、お車代ですか（笑）。

仲野　封を開けたら20万入ってたんですよ。「何だ、これは!」と思って（笑）。

―「これはいい!」って（笑）。

仲野　いや、「これもいい」です（笑）。

―SWSといえばそんな感じで、最初は夢のような話ばっかりだったわけですよね。

仲野　そうですね。その頃、俊二に話を聞いたら、「兄貴（ジョージ高野）が8000万もらった」とか言うんですよ。

―8000万ですか!

仲野　「お前、本当かよ!」とか言ってね（笑）。それでその後に天龍さんから連絡があって「実はこういうわけでSWSってものをやるんだ」って話があったわけです。だからSWSに入るのに"天龍ライン"とか"若松ライン"とかがあったんですよ。

―ジャパン・プロレスに"永源ライン"があったように（笑）。

全日、新日、国際の血がハイブリッドされまくった、本誌的にはホントにたまらないメンツが揃っていた『道場　檄』。しかし寄せ集め感はどうしても拭えず、道場長が途中でワカマツから谷津にかわるなど、道場内での覇権争いも露呈していた。

仲野　そういうラインがあったんです（笑）。それでその場では天龍さんに「わかりました、よろしくお願いします」って言ったんですけど、契約の交渉は自分でやったんですよ。僕は俊二に話を聞いて他の選手の契約内容を知ってましたから（笑）。

―それは交渉も有利になりますよね（笑）。

仲野　それで契約の時に契約金を提示されたわけです。契約金×××万の年俸×××万だったかな。それは俊二の契約より随分低かったんですよ。それで僕はその担当の人に「それはちょっと考えさせて下さい」って言って、そこで僕は俊二の話を出したんですよ。

―なぜ俊二さんより低いのかと（笑）。

仲野　「彼とはほとんど同期だし、体格は違いますけど遜色はないと思っています。それなりに練習もしてますし、考え直して下さい」って言ったんです。そしたらすぐに電話が掛かってきて「仲野さん、失礼しました。高野さんと同じ条件を出します。その代わり他の人には言わないで下さい」って（笑）。

―ダハハハ! このことはご内密に、と（笑）。

仲野　だから僕が提示された×××万の×××万っていうのは天龍ラインの数字だったんですよ。

―天龍さんは団体のことを考えて、随分抑えようとしてたっていう話は聞きましたよ。

仲野　だから天龍ラインで入った選手は、僕が最初に提示された額だったと思いますよ（笑）。

―それでSWSの試合としては、田中社長がUWF的なスタイルを望んでたわけですよね。仲野さんは高田さんと若手時代ライバルだったわけですけど、やっぱりUWFを意識したりしたことはあったんですか?

仲野　SWSができるより随分前の話になりますけど、僕がジャパンプロレスとして全日本で闘っていた頃も、六本木で前田さんとか高田さんとかと飲んだりしていたんですよ。

―ちょうどUWFが新日本に上がっていた頃ですね。

仲野　その時によく「新しいプロレスをやりましょうよ」とか話してたんです。それでUWFが新日本から独立して、新生UWFを旗揚げするときに、前田さんから電話があったんですよ。

―え!? もしかして誘いの電話ですか?

仲野　前田さんに「新しいUWFを作るから。契約はどうなってんだ」って聞かれたんです。4月の契約更改後だったんで「契約はしちゃいました」って答えたら、「契約書を送ってくれ。うちは今はこれぐらいしか出せないけど、全て任せてくれたら」ってそんな話になったんです。

―そうだったんですか! 仲野さんがUWFに誘われていたのは初耳ですよ。

仲野　でも、あの頃は長州さん達が全日本からいなくなって、ギャラがボンっと上がったんですよ。ギャラだけが理由で全日本に残ったんじゃないですけどね。

―もし新生UWFに行ってたら、どうなっていたと思いますか?

仲野　もしUWF行ったとしても、その後にゴタゴタがありましたよね。だからどの道SWSと同じだったかなと思いますね（笑）。

―必ず分裂騒ぎが起こると（笑）。

仲野　ただUWFみたいな試合をやってみたかったのは事実ですけどね。

―じゃあ、もともと仲野さんは田中社長の考えに共鳴する部分があったんですね。

仲野　そうですね。「プロレスと格闘技をミックスさせたものがやりたいんだ」っていうのが田中社長の話だったんですよ。

―でも行ったら違ったわけですよね（笑）。

仲野　やっぱりみんなそれぞれ考え方が違うんですよ。SWSが出来て最初に、選手みんなが集まってメガネスーパーの顔見せ会があったんです。そこで田中社長の挨拶があって、社長の考える新しいプロレスを語ってるわけですよ。それで僕は元・全日本プロレスだった石川（敬士）さんに「田中社長が言う新しいプロレスってどんなスタイルをしたらいいんですか?」って聞いたんです。そしたら「信ちゃん、社長はそう言ってるけどもな、やるのは俺達だ」って。その言葉だけなんですよ（笑）。

―ガハハハハ! つまりハナっから"真剣試合"をやる気はなかったと（笑）。

仲野　でも、ジョージさんとか、新日派は新しいプロレスに燃えてるわけですよ。案の定、その晩に石川さんとジョージ高野は喧嘩になりましたけどね（笑）。

―SWSは人が集まれば喧嘩してたって言いますよね（笑）。

仲野　本当に天龍派閥とジョージ派閥とハッキリ分かれました。僕らは新日も全日も知ってるし、中間で居心地は悪かったですよ。でも待遇

は本当に良かったですし、僕はオーナーのやりたいことに共鳴してる部分があったんでやってたんです。

――田中社長の言ってることは絶対に正しかったと思うんですよね。

仲野 絶対に正しいです（キッパリ）。

――いいこと言ってるし、金は持ってるし（笑）。あれで悪く言われたら可哀想ですよね。

仲野 やっぱりビックネームの人は我が強いですから、それが何人も揃うとうまく行かないんですよ。「金をこれだけもらってるんだから、我慢しよう」っていうのもあったと思うんですけど、道場が3つも出来て派閥同士の揉め事が極端になってきたんです。

――道場でもそういう揉め事が多かったらしいですよね。

仲野 それはありましたね。ジョージさんなんかはストレスが溜まっちゃって、泥酔して新弟子を殴ったりしてましたから。

――ジョージさんは「あの頃の俺は俺じゃない」って、SWSの話を本当に話したがらないんですよ。

仲野 でしょうね。

――それで結果的にSWSが崩壊するきっかけになったのは谷津さんと仲野さんのクーデターと言われてますよね。

仲野 でも最初に「SWSを潰そう」と言ったのは田中社長なんですよ。

――谷津さんもそれは言ってましたね。「年収3000万を自分から捨ててないよ」って。

仲野 だから最初から話すと、あの頃はSWS再建のためのいろんな話を『道場・檄』、「パライストラ」のラインで進めてたんですよ。それを全部「レボリューション」が潰しちゃったんです。

――確か2メートルぐらいの外人を連れてくるっていう話もありましたよね。

仲野 ロシアから選手を連れてきて育てる計画があったんです。そのためにいろんな資料持ってきたり、田中社長と谷津嘉章が実際にロシアにも行ってるんですよ！ その他にも八丈島やグアムに合宿所を作ったりするプランもあったんですけど、全部天龍さんが潰しちゃったんですよ。

――天龍さんは天龍さんで独立採算制にしようとかいろいろ考えてたみたいですけどね。

仲野 それで谷津嘉章が田中オーナーに言ったんですよ。「（天龍には）ついていけない」って。そしたら田中社長も天龍さんが言うことを聞かないから同じように思ってたんです。それで田中社長が「谷津君、SWSを潰してくれよ。ふたつに分けましょうよ」って言ったんですよ。

――それがSWS分裂につながるんですね。ふたつどころじゃ済まなかったみたいですけど（笑）。

仲野 それで田中社長との会談が終わったあとに谷津嘉章から電話が掛かってきて、「『SWSを潰してくれ』と田中社長に言われた。こういう風にふたつに分けてやるから動いてくれ」って言われたんです。僕もその話を聞いたときは嬉しかったですよ。ホントに天龍さんたちとは別れたかったし、新しいプロレスがやりたかったですから。それでそのころ僕は、そんな話を進めてくれてる谷津嘉章の信者になってたんですよ（笑）。

――谷津信者ですか！（笑）。

仲野 この時点ではすごい常識人だと思ってましたからね。それで『道場・檄』の連中と動いてたんですよ。でも蓋を開け見たら、肝心なときに谷津嘉章がプロレスをやらないって言い出したんですよ！

――ああ、そういえばSWS分裂後に谷津さんはしばらく休んでましたよね。

仲野 本当にSWSをふたつに分ける形が出来てた頃ですよ。そんなときに「俺はプロレスをやらないよ」と。だけど「俺がひとりで辞めるのは説得力に欠ける」って言うんです。僕は新団体設立に向けて頑張ってたんですけど、寂しいそうな顔して言うから「分かりました。俺も辞めますよ！」って言っちゃったんです。

――あれ？ 仲野さんと谷津さんは田中社長に頼まれてやったクーデターの責任を取らされる形で辞めたんじゃないんですか？

仲野 それがちょっと違うんですよ。それ以前に谷津嘉章はプロレスを辞めたくてしょうがなかったんです。

――辞めて事業がやりたかったんですか？

仲野 あの頃、谷津嘉章は中古車屋とかを始めてたんですよ。

――伝説の『ガレージマニア』ですね（笑）。

クーデターは田中社長の指示。その責任を取って辞める代わりに……

92・5・22後楽園　クーデターの責任を取る形で谷津と仲野は辞表を片手に会場入り。仲野は「正しい行動をした谷津さんをひとりで辞めさせられない」と涙を流しながら退団の理由を述べた。試合はSWS分裂計画を共に進めていた高野兄弟とのタッグマッチ。谷津と仲野の事実上の"引退試合"として行われたが、館内は天龍支持者一色のため、特にクーデターの首謀者と目された谷津に対しては、痛烈な罵声とブーイングが浴びせられた。試合後、谷津と仲野は客席に惜別の意味を込めてジャージーを投げ込んだが、客にリングに投げ返される始末。結局、この大会を最後にSWSは解散。このクーデターと分裂の真相は長い間謎に包まれていた。

仲野　だから辞める前に退職金代わりに金が欲しかったんですよ。田中社長の指示でやったことの責任を取って辞める形になるわけですから、その代わり金をもらおうということなんですよ。そのために、ハッキリ言って谷津嘉章は田中社長に強引に詰め寄ったんです！

——うわっ！　詰め寄りましたか！

仲野　僕も荷担した形になったんですけど、谷津嘉章は田中社長の「ＳＷＳを潰してくれ」っていう会話をテープに録音してたんですよ（笑）。

——意外な物が残ってるわけですね（笑）。

仲野　それで田中社長をホテルに呼びだして、僕も谷津信者だったから、田中社長に「僕らを好きに使って、あなたの将棋の駒じゃないんですよ」って迫ったんです。でも結局、物別れで終わったんですよ。

——それで谷津さんと仲野さんが退団する形になったんですね。

仲野　あの頃は自分のやってることに疑問もあったですけど、谷津嘉章に付いて来ちゃったんだから引けないやって思ってたんです。

——それで、よくＳＰＷＦまで谷津さんに付いて行きましたね（笑）。

仲野　その後が大変だったんですよ。ＳＷＳでは月120万円もらってたんですけど、辞めたら次からはゼロじゃないですか。

——その差はデカいですよね（笑）。

仲野　デカいです！　だから谷津さんとふたりになった時に「この後はどうするんですか？」って聞いたんです。そしたら「大丈夫だ。今、通産省のＯＢとつき合いがあるから」って（笑）。

——それも凄い谷津人脈ですね（笑）。

仲野　こういう財団を作り上げて、その中でボディーガードの会社を作って、そこで引き受けてくれる。契約金が1千万で年俸が1千万だから大丈夫だって。実際にヒルトンホテルとかに会いにも行ってるんですよ。

——プロボディーガードになるはずだったんですか！　で、それなら大丈夫だ、と。

仲野　僕は心配はしてましたけど、「谷津嘉章と一緒なら何かやることがあればいいや」って思って、背広着ていろんなところ回ってたんですけど、気がついたらその話も出なくなってたんですよ（苦笑）。

——気がついたら、なぜか社会人プロレスになってたんですか（笑）。

仲野　いや、社会人プロレスをやる前にいろいろやってるんですよ。

——一体、何をやってたんですか？

仲野　まず谷津嘉章が自分の田舎の群馬で「プロレス居酒屋をやろう」って（笑）。

——ガハハハ！　プロレス居酒屋！（笑）。

仲野「うちの金庫に8百万だかの金があるから、それを資本にして、店にリングを置いてやるから、料理とか色々勉強しろ」って言われて、僕は「分かりました」って言っちゃったんですよ（笑）。

——本当に谷津信者だったんですね（笑）。

仲野　それで料理とか色々覚えたりしてたんですよ。唐揚げはこういうのがいいかなとか、ポテトサラダはとかね（笑）。それで最初のうちは「どうだ、料理覚えてるか」って電話が掛かってきてたんですけど、そんな話もなくなってきたんです。

——またなくなっちゃいましたか（笑）。

仲野　しばらく音信不通になった後に電話が掛かってきたんで「どうなってるんですか？」って聞いたんです。そしたら谷津嘉章が群馬で中古車屋やってて、たまたまお客さんで日系ペルー人が来たらしいんです。そのペルー人と話をしたら、「これは」っていう商売が見つかったって（笑）。

——また新商売が（笑）。

仲野　群馬には日系ペルー人が多いんですよ。それで「ボランティアの会社を作る」って言うんです。でも話を聞いたらボランティアでもなんでもないんですよ。

——どんな仕事なんですか？

仲野　ペルー人が稼いだ金を本国ペルーに送るわけじゃないですか。それを仲介して、手数料を稼ぐということなんです。それで見積もりも見せられて、「これだけ出たらこれだけになるから凄いぞ！」って。でもそうなると今度は僕の役割がなくなるんですよね。居酒屋の頃までは料理を作ったり出来たけど（笑）。

——それがペルーとなると（笑）。

仲野　そしたら今度は「信ちゃん、水道屋をやれ」って言うんです。

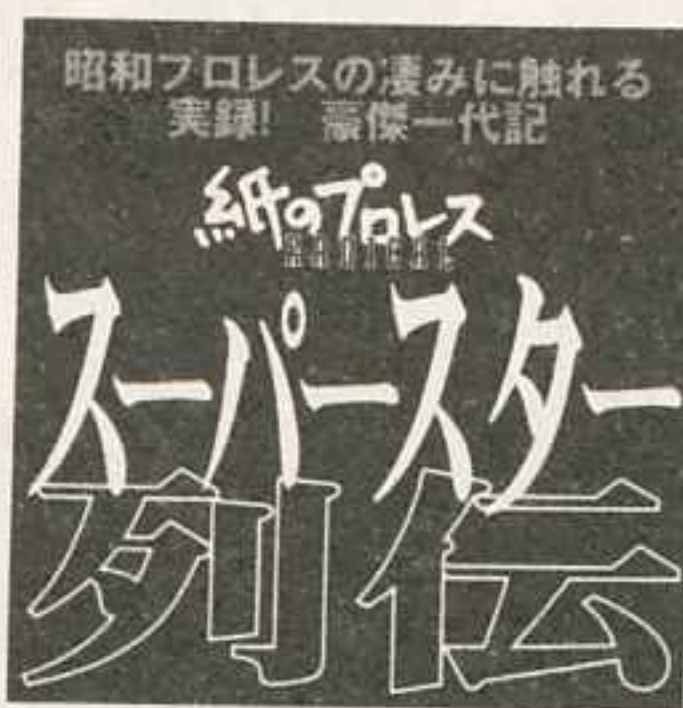
——今度は水道屋ですか！（笑）。

仲野　船橋に谷津嘉章とつき合いの古い水道屋さんの社長がいるんですよ。

——もしかして大刀光さんが水道屋をやってるのはそれなんですか？

仲野　そうです。「そこに行って水道屋の仕事を覚えてくれ」って。その理由が凄いんですよ。「信ちゃんが水道工事を覚えたら、俺らがもし今の仕事をやって潰れても教えてもらえるじゃねえか」って（笑）。その頃から「何だ、こいつ！」と思うようになりましたね。

——「やる前から潰れること考える馬鹿いるかよ！」と。それで、ようやく少しずつ谷津信者時代の洗脳が解けてきたわけですね（笑）。

仲野　でも、話を聞いたその場では「わかりました」って答えたんです。それで、その社長からも3万円もらって長靴とかズボンとか全部揃えてね。家に帰ってから改めて考えたら、「おかしいなぁ」と思って（笑）。

——これは何かが違うと（笑）。

仲野　次の瞬間に「これは絶対おかしい！」って思って、「できません」って社長にも谷津嘉章にも断ってね。それで家に籠ってたんです。でもその頃はＳＷＳ時代に月収120万だったのがゼロですから、借金の取り立てとかがいっぱい来てたんですよ。それで同級生の友達に頼んで土方をやったり、佐川急便のアルバイトもしたりしてました。19の頃に勤めてた時の上司が役職になってたからお願いしてね。

——原点回帰したわけですね。

仲野　そういう生活をしていたら、また谷津嘉章から電話があったんです。「信ちゃん、心配だから群馬に来てくれ。いい仕事も見つかったから。ガスメーターの検針だから。とりあえず俺の側にいてくれ」って。僕はそれ聞いて嬉しかったんですよ。

——まだ谷津信者としての気持ちが残ってたんですね（笑）。

仲野　それで「わかりました」って言って、群馬でその社長さんに会ったんです。その社長っていうのは、後にプロレスラーになる島田宏なんですけどね。

——あっ、そうだったんですか！

仲野　それで僕は「ガスメーターの検診だ」って聞いたんですけど、社長は「仲野さんも谷津さんから聞いてると思うけど、浄化槽の点検なんですよ」って言うんです。要するに、マンホールの蓋を開けて糞の量を点検するんですよ！

——これも谷津さんが言ってた事と話が違う、と。

仲野　それでも紹介されたんだからやらなきゃいけないなと思って、次の日から仕事をしたんです。まず「なんでこんな仕事してるのかな」って泣きましたね。それでも谷津嘉章が側にいてくれって言うんだから、我慢してやってたんですよ。

——つくづく谷津信者だったんですねぇ。

仲野　それで、その頃の谷津嘉章の仕事が中古車屋さんとボランティア。でもバブルが弾けちゃって思ったより全然売れないんですよ。中古車屋も田んぼの中にポツンとあってね。なんでこんなところにあるんだって（笑）。

——土地が安かったんでしょうね（笑）。

仲野　そこにベンツとかＢＭＷとかが飾ってあるんですよ（笑）。

——それじゃ誰も買わないですよね（笑）。

仲野　案の定、ダメだったですけどね。中古車屋も赤字だし、ボランティアも上手くいかない。それで谷津嘉章は「この赤字を返すのはプロレスしかない」となって、「プロレスをやりたいから協力してくれ」って言ってきたんです。

——ようやくプロレスになりましたか（笑）。

仲野　僕もプロレスをやりたい気持ちもあったんで、「どんな形にしても協力します」って言ったんです。じゃあ、どういうプロレスをやろうかってなったときに、谷津嘉章は「プロレスファンはいっぱいいる。やりたい人もいっぱいいる。でも出来ない人はどうするか」って考えたんです。

——それで出てきた結論が「社会人プロレス」なんですね（笑）。

仲野　でもメンバー的にもなんにしても、どうなることかと思ってね（笑）。

——学生プロレスや吉本の芸人もいますからね（笑）。

仲野　でも僕は教えることは厳しく、プロレスラーとして恥ずかしくないように教えようと思ってたんです。最初は僕も必死になってましたよ。佐川急便とかいろんな所に営業に行ってね。谷津嘉章からも「信ちゃんにマッチメークと選手の育成を一切任せるから」って言われたんで一生懸命やってましたけど、ある時から狂っていったんですよ。

——谷津さんが言うには、新日に行った時に仲野さんが「レスラー専業でやりたい」って言い出して、谷津さんが「俺は兼業じゃなきゃダメなんだよ」って言って別れることになったっていうことなんですけど。

仲野　いや、それはなかったです。

——あ、それはない（笑）。

仲野　だって、長州さんと永島（勝司＝取締役広報企画部長）さんに僕が言ったんですよ。「僕らは水道工事もしてる社会人ですから、仕事のスケジュールがあります」って。ハッキリ言って谷津嘉章はプロレスは好きじゃないんですよ。

——アマレスは好きなんでしょうけどね（笑）。

仲野　僕にも言ってたんですよ。「ただ、商売の為にやってるんだよ」と。僕はそれでもいいやと、プロレスができれば。便所の検針をやってた時は日割だったんですけど、それなりの収入になったんですよ。でもSP（WF＝社会人プロレス）を始めてからはプロレスに比重をとられて、収入が半分近くになってたんです。だからその時は家庭も捨ててましたよ！　プロレスをやるのは金じゃなかったんですよ。気持ちだけでやってたんです。

——プロレスはお金にもならないし。

仲野　っていうか、好きだから情熱だけでやってました。でも谷津嘉章が僕に任せたはずの部分に、どんどん口を出すようになったんです。

——マッチメークにですか？

仲野　そうです。「これは違うよ、こうしたらいいんじゃないかな」って言うんだったらいいんですよ。でも今でも覚えてますよ、小山の試合だったんですけど、僕が一生懸命考えて作ったマッチメークを勝手に全部変えたんですよ！

——その辺からギクシャクし始めた、と。

仲野　プロレスに対する考え方が全然違うんですよ。例えばこんなことがあったんです。SPは学生プロレスも交じってましたけど、僕は後楽園で試合があった時に控え室で、「お前ら、お客さんに笑われるようなことは絶対にするなよ！　失敗してもいいけどとにかく一生懸命やってくれ」ってみんなの前ででかい声で言ったんです。「笑われたら、てめえらただじゃおかねえからな！」って。

——それは、長州さんなんかがよく言ってたことですよね。

仲野　そしたら、その後に谷津嘉章が「どんなことでもいいから、お客さんに受ける試合をしろ」って言ってるんですよ。

——ガハハハ！　とにかく笑わせろ、と（笑）。

仲野　人に任せるって言ってたのがこれですから。そこから心で繋がっていたと思ってたのが、離れちゃったんです。それまではお金も生活も度外視で気持ちだけでやってたんですけど、そこまで口出しするんだったら、僕が言えることはもうお金のことしかないわけですよ。それでその後に新日本に出たんですけど、そこで僕は谷津嘉章を試したんですよ。

仲野が「プロレス人生の集大成」として新日イズムを叩き込んだ愛弟子・福田雅一。仲野は福田のデビュー戦のパートナーを務めるなど、文字どおり手塩にかけて福田を育てていた。それだけに彼の不幸には無念の思いが強いのだろう。

——何を試したんですか？

仲野　いままでついてきた僕に谷津嘉章が何をしてくれるか試したんです。新日本はいい金になったんですよ。でも僕は借金もあるし、家にもお金入れなきゃいけないから、「谷津さん、あと数万増やして下さい。そうしないと数万を穴埋めするために僕は他にもアルバイトをしなきゃいけない」って言ったんです。

——そしたら谷津さんは何て答えたんですか？

仲野　「それもしょうがないな」って。それでもうプチンと切れちゃって、「もうこの人とは一緒に出来ないな」と思ってSP（WF）を辞めたんです。でもその後が大変だったですよ。

福田は大事に育てたかったから、新日イズムを徹底的に叩き込んだんです

——何があったんですか？

仲野　「死ぬしかないな」と思ったんです。

——うわ！　そこまで思いましたか！

仲野　思いましたよ、ホントに。家族も何もかも犠牲にして「この人」と思ってついて行ってたわけですから。あの人は裏切ったつもりはないんでしょうけど、僕とのギャップは埋まりませんでしたね。

——じゃあ、夢ファク（レッスル夢ファクトリー）に入るまではかなりの暗黒時代だったんじゃないですか？

仲野　暗黒もいいとこですよ。また佐川急便のアルバイトを始めたんですけど、そこは半年前まではSPの営業で行ってた所だったんですよ。「チケットをお願いします」って行けば、「仲野、よく来たな。がんばれよ」とか言われてね。それが夜勤のアルバイトしてるんだから凄い違いで、惨めでしたよ。ちょうどその頃、『神風』とかSPの新弟子募集でレスラーになった人間たちが、夢ファクトリーを旗揚げしたんですよ。

——いわゆる反谷津派みたいな人たちですね。

仲野　それで僕から話かけたんです。「どうなってんの？」って。そしたら「SPでやり残したことをやりたい」って言うんです。それで『神風』にしろ藤崎（忠優）にしろ怨霊にしろ、僕の教え子じゃないですか。そいつらが知らない団体つくって、変なプロレスをしてもらいたくないっていうのがあったんですよ。

——それで選手兼、新日イズムを叩き込むコーチになったわけですね。

仲野　そうです。どうせやるなら、プライドを持てるものをやりたかったしね。でも僕もブランクがありましたから、自分自身も鍛えて、あいつらも鍛えてね。だからあの時は今までで一番練習してたんじゃないですか。

——新日時代を含めてですか？

仲野　そうですよ。一日6時間、7時間やってましたから。多分、あんなに練習してたのはあの頃だけですよ。

——夢ファクではどんな感じで教えてたんですか？

仲野　夢ファクのレスラーは半分以上が仕事を持ってたんですよ。僕は自分のプロレス人生の集大成という感じで、その子らの「体がちっちゃくてもプロレスラーになりたい」っていう夢をかなえてやりたい。その代わりに「プロレスはこういうもんだよ」っていうのを教えて自信を持たせてやりたかったですよ

——それで、仲野さんが新日道場で教わったことを教えたわけですね。

仲野　そうです。だからきつい練習をしたし。練習する前にみんなを集めて話をしたんです。その頃若手で一番上だった『神風』に「これから練習するけど、何のための練習か言ってみろ」と。そしたら『神風』は「プロレスの練習です」って答えますよね。でも「それは違うよ。プロ

レスというのは闘いだから、闘うための練習をするんだ。プロレスは相手と闘うんだ。その前に自分と闘うんだ。自分に勝てなきゃ相手にも勝てないんだよ」って教えたんです。

——「プロレスは闘いである」っていうのは、猪木イズムの根っこの部分ですからね。

仲野　その時は福田（雅一）もいましたけど、まずプロレスをナメてもらいたくないなと思ってたんです。

——仲野さんにとっても福田さんには、特別な思いがあったと思うんですけど。

仲野　あいつは本当に特別ですよ！　本当に素直だったし、実力はあっても先輩を立ててたしね。まずあんな子は出てこない。どこに出しても恥ずかしくなかったから、営業に行くにも必ず彼を連れていってたんですよ。

——福田さんはもともとリングスの練習生だったんですよね。股割りで怪我して辞めたみたいですけど。

仲野　人間関係で内蔵を壊した部分もあったらしいですけどね。それであいつは夢ファクに真夏の7月に入ってきたんですよ。顔は爺さんみたいで、巨人の松井に似てたから「お前は今日から松吉だ」ってアダ名を付けたんですけどね（笑）。

——あのアダ名は仲野さんが付けたんですか（笑）。

仲野　それであいつは体がでかくて、アマレスの現役を出たばかりじゃないですか。僕はアマレスの経験がないですから、「ナメられちゃいけない」と思ってよけいに練習してたんです（笑）。

——こういうのは最初が肝心ですからね（笑）。

仲野　夢ファクの道場があった熊谷は暑くて34・5度ぐらいあったんですよ。でもとにかく練習して、あいつも練習中に何回かのびて、「怖さを教えてやったな」と思って僕も一安心してね（笑）。それから「こいつは大事に育てよう」って思いで教えてたんです。

——大事に育てるっていうのが、新日イズムを叩き込むことだったんですか（笑）。

仲野　夢ファクトリーっていう弱小団体でね、プロレスはこんなもんだって思われたくなかったんですよ。だから逆にアマレスは一切やらせずに、基礎体力ばっかりでしたよ。それでへばらしてね（笑）。僕もきつかったんですよ。僕は言うだけじゃなくて、こっちもふらふらになりながら「なんだ、だらしねえな」って一緒にやってましたから。

——スパーとかで肌を合わせたりとかはしなかったんですか?

仲野　レスリングは一切しなかったです。あいつとレスリングをやって勝てる気がしなかったし、レスリングが強いからいいってわけじゃないですから。まずはプロレスとはどういうものかを教え込まないとね。

——プロレスの怖さを教え込まないと（笑）。

仲野　あの頃は僕はスクワットを3千回もやってなかったですけど、昔話をして「俺は何度も3千回のスクワットやったことがあるんだ」と。飲み屋に行って「プロレスラーは凄いですね、スクワットを何回ぐらいやるんですか」って聞かれたら「3千回」って言うとみんなびっくりするんです。

昭和新日のストロングスタイルにこだわる仲野にとって、「無我」はもってこいのリング。2度に渡って憧れていた藤波を相手にメインを務めた。

——飲み屋はレスラーの凄みの見せ所ですからね（笑）。

仲野「だからお前らもこれからも飲み屋に行って聞かれたらすぐに『3千回』って答えられるようにお前らもやれ」って言って全員に回数を書いた紙を壁に貼って競争させたんです。「嘘は付けないんだよ。やったから言えるんだよ」って。くだらないことだけど、僕はそれを新日本で教わったから。

——重要なことですよね。

仲野　それは凄く重要ですよ。

——話がちょっと飛びますけど、そんな昭和の新日道場で育った仲野さんから見て、バーリ・トゥードとかそういうものに対してどういう思いがありますか?

仲野　僕自身は、僕のプロレス観とは違う世界だと思います。ただ僕らが新日本にいたころは、「猪木さんは最強、プロレスは最強」だと、教えられてきたんですよ。それで実際にセメントの練習もしてましたし、あの頃は道場破りとか、格闘技やってる素人がプロレスラーに挑戦するっていう変な雑誌の企画とかがあったんですよ。

——そういうものが来たら潰すわけですよね（笑）。

仲野　だからバーリ・トゥードっていうのは、プロレスの強さだけを求めていく人には究極の道になっていくんだろうし、全日本なんかはまるっきり縁がないだろうし、僕らの世代っていうのは中途半端なんですよ。

——そこで高田さんがよくそっちの世界に踏み込んだなあってことですよね。

仲野　行かざるをえなくなっちゃたんでしょう。彼もキングダムっていうああいう路線を作っちゃったから、プロレスラーとして避けて通れなかったんだと思いますよ。でもあれは偉いなと思いますよ。プロレスラーを代表して行ってくれたんですから。

——だから谷津さんも言う以上は避けるなってことですよね?

仲野　言う以上はやってもらいたいんですけど、できませんよ（キッパリ）。

——「やる」とは言ってるんですけど、出るからにはお金が問題だってことみたいですけどね。

仲野　でも、あれってお金の問題じゃないじゃないですか、名誉じゃないですか。だから僕はハッキリ言って自信ないですし、僕の知ってるプロレスをやるだけです。でも、やっぱりエンターテイメントと格闘技の中間がプロレスの良さだと、僕は思うんですよ。

——根っこに強さがあるエンターテイメントですね。いま仲野さんはそういうプロレスをやれてるって感じですけど、この間のつぼプロの試合（5・30）でもかなり強さが見えてたって評判ですよ。

仲野　いま僕はリングに上がる回数も減ってますけど、プロレスから離れれば離れるほど、自分のやりたかったことが出てきますね。ハイスパートとかそういうものじゃなくて、違った意味でのプロレスの強さを見せる試合がしたいんですよ。僕らの知ってる猪木さんはそういう感じでしたからね。

——最近のインディー団体が忘れてるものを見せたい、と。

仲野　インディーをどうのとか意識はしないですけどね。お客さんも昔とは違ってきてますけど、リングに上がる以上はそれをやりたいし、評価は別としてやっていきたいなと思ってます。

——インディーとかメジャーを問わず、「こいつはいいな」って思ってる選手はいますか?

仲野　この前やった（アレクサンダー）大塚選手はいいですね。でもやっぱり福田ですよ。あいつは僕の教えたことを100%こなして、それにプラスあいつはもっともっと求めて行ったんですよ。バトラーツに出稽古に行ったり、新日本に出稽古に行ったりね。

——その出稽古の流れで新日本入りしたんですよね。

仲野　だからあいつはマスクは良くないですけど、プロレスのスタイルとしては、僕がやりたいこととか、あいつにいろんな期待を掛けてましたよ。

——それがこんな形で終わっちゃうとは、ホントに残念ですよね。

仲野　期待する人とは一緒に汗をかかなきゃわからないですよ。そういう意味では僕は福田に思い入れがもの凄く強かったですね。でも『神風』も福田に劣らないものを持ってるんですよ。全日本入りの交渉もあったんですけど、あの頃は馬場さんがまだ生きていて、『神風』に女がいるとかそういうことで却下されちゃったんです（笑）。

仲野が若手時代の新日本開場前のひとコマ。猪木にスパーリングで手合わせしてしてもらう仲野と、後方でそれを見つめる藤波。よく見るとエプロンサイドには高田の顔も見える。当時の新日ではこのような光景が頻繁に見られた。嗚呼、素晴らしき、昭和・新日本プロレス！

「仲彦、いつか蔵前のメインでやろう」って約束したんですよ

昭和プロレスの凄みに触れる
実録！豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

──そういう理由だったんですか！（笑）。

仲野 馬場さんは女にうるさいんですよ（笑）。あいつもプロレスのセンスも凄くあって、いい選手なんですけどね。

──仲野さんは、いまも佐川急便で働いているんですか？

仲野 そうです。環境に恵まれてまして、会社の店長とか部長とかがプロレスが好きで、日程が合えば応援に来てくれるし、まず顔を合わせて何を聞くかというと、「仕事をしてるか」じゃなくて、「練習をしてるか」なんです（笑）。この前、僕の現場に小さいながらも道場が出来て、ダンベルとかを置いてるんです。

──仲野さんのための道場ですか!?

仲野 そこで基礎トレーニングはできるんです。佐川急便はプロレスファンが多いんで、みんなの目が厳しいんですよ。

──猪木さんの関係で新日本ファンも多いですからね。

仲野 だからしばらく練習してないで廊下を歩いてると、「仲野さん、最近やせたんじゃないの。練習してるの」って言われるんですよ（笑）。

──手抜きができない環境なんですね（笑）。

仲野 そういう部分ではそれなりに恵まれてますね。でも僕はスパーリングもしてないし、ひとりで練習してるから、リングの上で自分がどれぐらいできるのかわからないじゃないですか、だからハッキリ言って誰とでも試合したいんですよ。

──やっぱり練習と試合は違うでしょうしね。

仲野 仕事の合間に苦しい思いをして練習はしてるんです。でも不安なんですよ。それで人の試合を見てるだけで息が上がって来ちゃうんですよ（笑）。でもいざリングに上がってやってみたら、動けるし、余裕もあるんで「まだいけるな」って思うんですよ。

──まだまだやってほしいですね。

仲野 でもリングに上がる以上はお客さんにも、対戦相手にも「なんだ、仲野はこんなものになっちゃったのか」ってナメられたくないしね。そういう意地があって練習もやってるんですよ。

──高田さんともう一回やりたいという希望は自分との闘いですよ。ありますか？

仲野 高田とは新日の若手時代に約束したことがあるんですよ。「仲彦、いつか蔵前国技館のメインイベントでやろうよ」って。もう蔵前も無くなっちゃったんですけどね（笑）。

──いや～、いい話ですよね（笑）。

仲野 でも僕はいままでで一番印象に残ってるのは、新日本時代に後楽園の1試合目で高田とやった試合なんです。とにかくがむしゃらにやって、ふたりともブッ倒れて引き分けだったんですけど、ゴングが鳴った後にお客さんのワーッっていうモノ凄い歓声が聞こえてきたんですよ。なんて言うか、あの感覚は言葉では言い表せないですよ。

──レスラー福利に尽きる瞬間ですね。

仲野 その後に高田といつものように酒を飲んでたんです。「どうせ、明日は試合がないから飲んじゃおうぜ」って（笑）。そしたら坂口さんから電話があって、「明日の蔵前は仲野と高田で行くからな」って。「明日の蔵前は仲野と高日みたいな試合をしてくれ」ってことで言ってくれたみたいなんです。

──猪木さんはそういう試合が好きですからね。

仲野 そしたら蔵前では僕ら意識し過ぎちゃって、お互いに顔がボコボコのひどい試合になってね（笑）。僕らがデビューした頃は若手がロープに飛んでお客を湧かすなんてことはありませんでしたから。

──とにかく気迫を出しゃいいという。

仲野 プロレスはそれだと思うんですよ。一生懸命やればお客は湧くんだから。だからいまの選手にも、そういうところを教えたいなっていう気持ちはあるんです。僕自身、「地味だ地味だ」って言われてきましたけど、わかってくれてる人はわかってくれてるんでね。別にゴマをすって、客に合わせてプロレスはしたくないですから。

──いや～、やっぱり昭和の新日本を知っている人は抜群です！

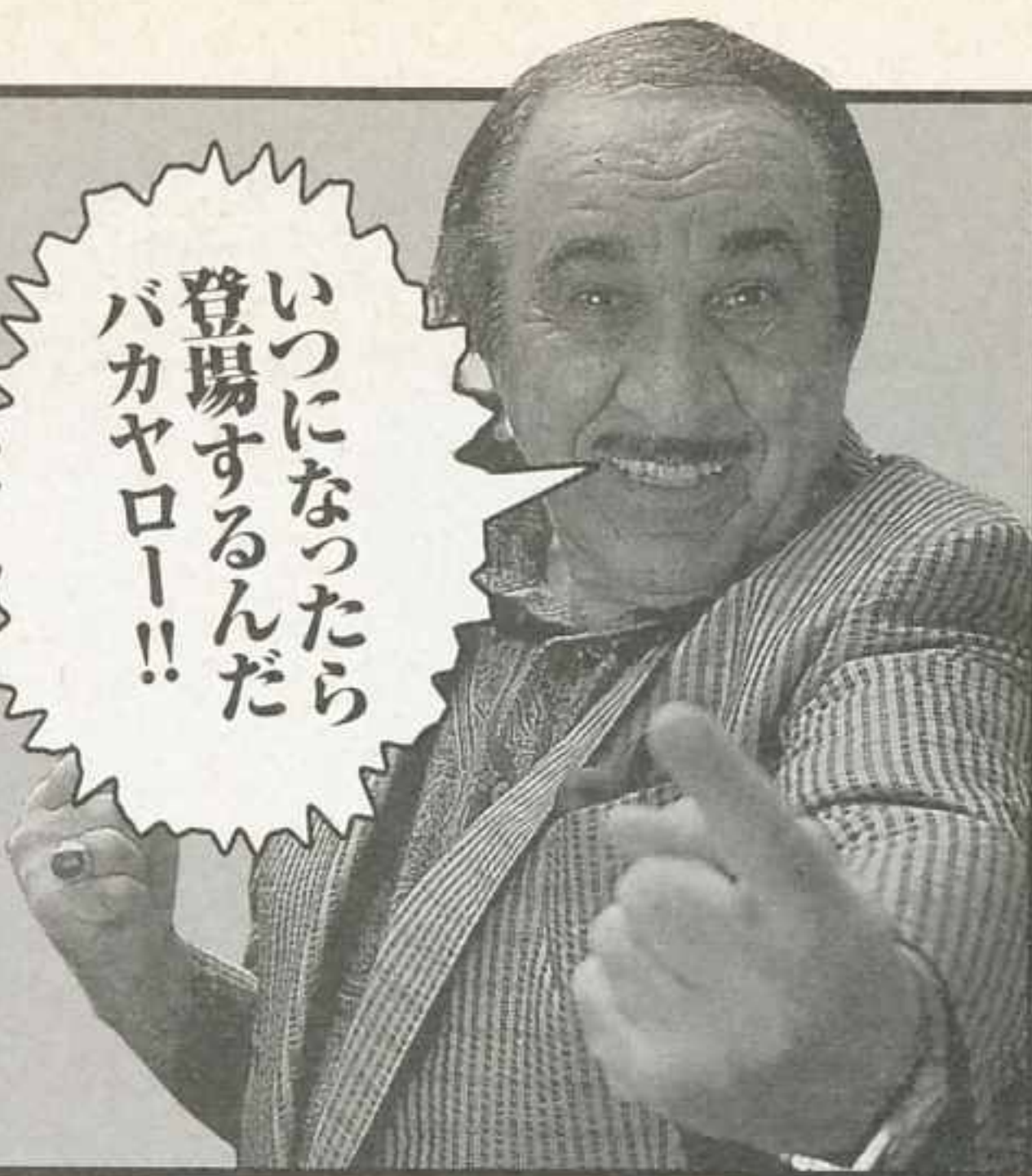
【00年6月2日、品川区某居酒屋で収録】

6/16 ➡ 7/16 マット界の1ヶ月丸わかり

紙の新聞

KAMINO SHINBUN

(毎月22日発行)
発行所：(株)ダブルクロス

いつになったら登場するんだバカヤロー!!

7月号

新番組『コロッセオ』は凄い。初期の『サムライニュース』ばりに、どこでも出かけるその取材力には脱帽。というわけで、本紙・『紙の新聞』はしばらく寒梅のようにひっそりと、モノクロ・ページで頑張っていこうと思います。これからもヨロシク。

編集長／堀江ガンツ

6/16 【プロレスリング・ノア】ディファ有明
三沢派25人、旗揚げ宣言!

どこをどう見ても「全日本でしょ?」と言いたくなるくらい元・全日がそっくりそのまま移ってきた三沢派。その総勢25選手（＋新弟子＆マイティ）が集まり旗揚げに向けて気勢をあげた。これだけの人数が集まると集合写真も壮観だが、よく見ると見事に序列のできた並び方を見るにつれ、やはり全日らしさを感じてしまうのだ。

【FMW】後楽園・天龍の兄（源ちゃん談）がハヤブサとなって乱入

6/18 【格闘探偵団バトラーツ】虎ノ門・TFMホール
平直行36歳、デビュー3戦目でJr王者に!

「柔術で充実！」平直行が、プロレスデビュー3戦目にして臼田を破りインディペンデントワールドJr奪取の快挙。彼の憧れのレスラーであるドラゴンが成し遂げ、「ニューヨーク衝撃の日」と謳われた、MSGでのWWF・Jr奪取をほんの少～～しだけ彷彿させた。

【バト】TMF・成瀬、佐野を破ったプロレスラー・キラー本間聡が引退を発表。非常に残念ですが、お疲れさま。

【JWP】後楽園ホール
ダイナマイト関西、JWP離脱

ミスAことダイナマイト関西が、この日をもってJWPを退団した。今後はお好み焼き屋に専念……するわけではなく、GAEAマットで打倒・クラッシュ2000を目指すという。それにしてもベテラン・ビッグネームばかりがうんざりするほど集まってくる最近のGAEA。順調にWCW化が進んでいるような気がしてならないのである。

【全日本】鶴田、献花式　【大阪】NGKスタジオ・デルフィンが村濱武洋を破り、大阪プロ選手権を奪回。

6/19 【全日本プロレス】全日合宿所
川田、緊急決意表明

全日の“新エース”川田が緊急記者会見を開き、その重い口（「あいつほどおしゃべりはいない」by三沢）を開いた。そこから出た言葉は「新日本プロレスとの交流を前向きに考えていきます」という衝撃的なもの。しかし個人的には、川田の小学生の作文チックな書面の読み上げ方もある意味衝撃的だった。

【新日本プロレス】新日事務所
「橋本が迎えうつ!」byドラゴン

川田衝撃の交流戦アピールを受けて、報道陣が早速ドラゴンをとり囲んだ。しかしドラゴンは困惑した表情で「まったく状況が飲み込めてないんですけど…」と相変わらずの「何も知らない社長」ぶりを披露。そして手探り状態のまま「橋本が出てもいい」と、本人の意向を無視した破壊王出撃宣言をするなど、やっぱりいつものドラゴンであった。

【UFO】成田・オーちゃん帰国、打倒・ヒクソンとNWA返上を表明

6/21 【FMW】後楽園ホール
ハヤブサ、天龍だった!

50の大台を迎え、一線を退くどころか狂い咲きの感を見せている天龍。この日は「ハヤブサ」としての2度目の登場。40にして惑わずどころか、50にしてコスプレである。しかも、冬木にマスクを剥がされると、ハヤブサなので当然のことながらペイント姿。なんともショッキングなビジュアル・ファイターなのであった。

6/21 【全日本プロレス】
「全日本プロレス中継」最終回

72年の全日本プロレス旗揚げから続いてきた、日本テレビの超長寿番組「全日本プロレス中継」が、この日、突然の最終回を迎えた。これはもちろん、三沢らノア勢の大量離脱を受けたもので、打ち切り翌週からはゴキゲンな新番組「サムライ・ニュース」……もとい、「コロッセオ」がスタート。10月からは「ノア中継」も噂される。

【ノア】ディファ・三沢、全日本売り興行4大会出場宣言！

6/22 【新日本プロレス】
ドラゴン断言!「カシン、プライドに出さん!」

カシン、プライド参戦問題の最中、ドラゴンが独自のVT論を激白した。まず「プロレスをVTは当然、別競技」と断言。しかしその直後に「本業のプロレスにもっと誇りを持て、プロレスラーは他競技に出ても最強じゃなきゃいけないんだ」と、なぜかShow氏ばりにプロレス＝格闘技発言。正反対のことを真顔で力説する相変わらずのドラゴンであった。

【ノア】小橋、両膝を手術

【全日本プロレス】
全日本、怪文書出回る

選手大量離脱の大打撃を受けた全日本に、追い打ちをかけるかのような悪質なイタズラが発覚した。全日本がマスコミ各社にFAX送信した（『紙プロ』には来ない）次期シリーズのカードが、何者かに改ざんされた模様。そのニセカードは、渕vsウインガー、ヨネvs茂木、スミスvs弁慶など、マニア的には抜群なものだった。

6/25 【IWAジャパン】HMV新宿高島屋サウス店
浅野社長、HMVの一日店員に!

新宿2丁目劇場の出張公演が、新宿高島屋のHMVで行われた。この日、浅野社長は“一日店員”としてせっせと働き、デビュー曲「すてきな16歳」を店内で流すことに成功。あのHMVに浅野社長の甘～い歌声が大音量で響きわたるとは……、音楽史上には決して残らないプチ事件である。

【新日本プロレス】後楽園ホール
男も勃つ! 女も濡れる! 格闘男・金本

日本を代表する色男コンビ・金本、田中組(通称アイラブユー・OKズ)が大谷、高岩組を破りIWGPジュニアタッグを奪取した。いつもはセクシーな投げキッスで女性ファンを魅了する金本だが、この日は豊田真奈美ばりにタッグパートナーの頬にキッス。これからは女性だけでなく、その節の男性ファンの絶大なる支持も受けそうな金本であった。

【第42回衆院選】馳浩、衆院選当選！　24日・小橋退院

6/26 【新日本プロレス】渋谷・新日本プロレス事務所
ビッグ・サカの還暦マッチ決定!

「マット界再編の大激震が起こる！」と噂され、業界中が注目した「新日本プロレス株主総会」がこの日、行われた。しかし、蓋を開けてみたらアントンの政権奪回も何もなく、坂口会長の“還暦マッチ”が決まっただけという、なんとも呑気なもの。「還暦に合わせて赤いタイツでも作ろうか。あ、俺もともと赤タイツだった」(坂口)とコメントも呑気極まりなかった。

【パンクラス】後楽園・船木引退後初の興行

6/27 【動物王国】ブラジル・サンパウロ
ムツゴロウ、ライオンに食べられる

日本最後のサムライ、ムツゴロウこと作家の畑正憲氏が「ムツゴロウとゆかいな仲間たち」のロケ中、右手中指の第一関節をライオンに食いちぎられていたことが分かった。これまでも数々の猛獣達との格闘(本人は「スキンシップ」と主張)経験が豊富な畑氏。視聴者の誰もが「いつか食べられちゃうんだろうな」と期待……もとい、心配した矢先の事件だった。当の畑氏は「左手で麻雀をやる」と豪語。このやせ我慢、ムツゴロウさんこそがプロレスラーである。

6/27 【全日本プロレス】
全日本、日テレを取材拒否!

28年間続いた「全日本プロレス中継」をあっさりと打ち切られた全日が、日本テレビ「コロッセオ」に対して取材拒否という、ささやかな抵抗に出た。三沢派「ノア」の定期放送も噂される日テレ。このまま全日と“絶縁”となるのか。

6/29
【みち・バト・アルシ】後楽園、P－MIX・GP、浜田父娘が田中、府川組を破って優勝。
【新日本】アントンとドラゴンが「カシン問題」について2時間会談。

6/30
【新日本】海老名・大仁田が「電流爆破嘆願書」を片手に長州に直訴(未遂)。
【全日本】エース、元子を裏切ってWCW入り！
【新日本】六本木・テレビ朝日、蝶野「朝ナマ」出演。
【全日本】ジャンボ納骨式と四十九日。

6/28 【新日本プロレス】宇都宮市体育館
蝶野、コミッショナー就任宣言

“黒い論客”蝶野が爆言！　ビッグ・サカが「宣言！」をする以外は何決まってなさそうな「IWGP実行委員会」に対し、「実体がない実行委員会が何もしないなら、俺がコミッショナーになってやる」と冬木チックに宣言。相変わらず、暴言キャラを武器に、デリケートな部分をズバリついていきた。コミッショナー制度といえば、ご存じの通りドラゴンが提唱しすぎて誰も本気取り組もうとしない制度。それを天敵・蝶野に就任されたとなると……。「こんな会社辞めてやる！」と雪の札幌事件が再び勃発しそうだ。

【世界のプロレス】ウエスト・ジャパンの水前寺狂四郎と相島勇人が世界のプロレスに移籍。

6/27 【全日本】
全日本、日テレを取材拒否!

28年間続いた「全日本プロレス中継」をあっさりと打ち切られた全日が、日本テレビ「コロッセオ」に対して取材拒否という、ささやかな抵抗に出た。三沢派「ノア」の定期放送も噂される日テレ。このまま全日と“絶縁”となるのか。

7/1 【全日本プロレス】ディファ有明
渕、新日批判

“赤鬼”こと、渕正信が新日本との交流戦に向けて、新日本プロレス・永島勝司取締役広報企画部長と会談をもったことが明らかになった。渕はこの件に関して、「今後、感謝しているとかそういう言葉は一切使わない」と檄高。高田の時に続いてまたナマハゲが失言したか……。【パンクラス】鹿児島市内・船木、再婚　【DSE】森下社長、全日を視察

7/2 【全日本】後楽園ホール
天龍、10年ぶりに全日復帰!

詳しくは148ページからの、ビートたかし入魂の原稿を読んでいただきたいが、とにかく天龍が全日本に帰ってきた。天龍ひとりがいるだけで、リング上の景色が天龍革命時代のように見えるから実に不思議。やっぱり天龍は全日本が一番似合っていて、しっくりくるということだろう。天龍が帰ってきたからには、やはり天龍に相応しい対戦相手が必要。鶴田が亡くなり、輪島は引退。となると残るは……決起軍しかいない！　いまこそ俊二、仲野、高木も全日に復帰するときだ！　元子さん、どーですかッ!!

【大日本】後楽園・本間、ザンディグにレモン、ソルト、マスタードデスマッチで破れ、大日本デスマッチ・ヘビー級王座転落。

【LLPW】ディファ有明
そこまでやるか! 天龍、神取

衝撃の全日本復帰を果たしたその日の夜、天龍は神取との一騎打ちのためにLLPWに登場。トップレスラーにしてこの振り幅の異常な広さは天龍ならではである。さて、最近では日米でプロレスのひとつのスタイルとして、すっかり定着した感があるミックスドマッチだが、やはりこのふたりがやるからにはひと味もふた味も違う。過剰な受けと、過剰な攻めを天龍プロレスというなら、まさにこの日の闘いはそれ。観客の想像力の遥か上を行く闘いを見せた2人には脱帽である。

【全女】お台場3連戦に山本美憂参戦報道

7/2 【アントニオ猪木】
アントン、IWW王座新設構想

「ジャングルを守るんじゃなくて、ジャングルを作ればいいじゃねぇか」のアントンが、ライフワークである「世界戦略」と「メディア戦略」を一挙に成し遂げる画期的な構想を披露した。それがIWW（インターネット・ワールド・ワイド）王座の新設である。あまりにも壮大で、あまりにも果てしないこの構想であるが、よく考えたらIWGPとUFOを一緒にしただけのような……。まぁ、アントンのこと、「豆腐パン」のネット販売等も一緒にやってくれそうなので、楽しみに待つとしよう。

7/5 【自由民主党】新日本&全日本事務所
ドラゴン、馳に早速コミッショナー要請

藤波社長が熱い期待
馳
コミッショナー就任ある

マット界初の衆議院議員レスラーとなった馳浩が、この日、全日本と新日本の事務所に表敬訪問に訪れた。馳が新日事務所に現れると、ドラゴンはまずガッチリと握手。そして早速「彼が出来ることはたくさんある」と勝手に熱い期待をよせ、ついでに「コミッショナー就任だってありうる」と先日コミッショナー宣言をした蝶野をけん制。まぁ、またドラゴンの頭の中では馳の力を借りて、「マット界統一」「ライセンス制度導入」等、永遠のライフワークを夢見てることだろう。

【K－1】浅野社長、アーツに『すてきな16歳』のCDをプレゼント
【AAA】後楽園・金丸、丸藤がノアとして初ファイト。
【IWA】花善・浅野社長、定食屋を乗っ取られる。

7/4 【AAA】ディファ有明
AAAがやってきた!

メキシコ版WWFとも言える、AAAの『トリプレ・マニア・ジャパンツアー』の記者会見が行われた。日本陣営はシーマ、堀口の闘龍門勢と金丸、丸藤のノア勢が参加した。単なる会見でも、エストレージャ達はののしり合い、掴み合いの大サービス。中でも最も活躍したのは、通訳しながら罵倒するエステル・モレノなのであった。

7/6 【新日本プロレス】
ドラゴン、破壊王を遂に見放す

藤波社長
見放す
橋本
出て行け
お前なんか いらない

我らが"ミスター家康"藤波"鳴くまで待とう"辰爾が、突如"信長"に豹変した！　これまで周囲が呆れるほど、破壊王復活にこだわり続け、あるときはアメ、あるときはムチといった具合に破壊王をその気にさせる作戦と次々と敢行してきたドラゴン。巷では新日本プロレス社長室で大量の折り鶴が発見されたと、噂されるまでに至ったが、遂に我慢の限界が来たようだ（遅いよ）。「もう自分から連絡をとることはない！」以前も言っていたような禁断のセリフを口にしたドラゴン。気持ちはすっかり、まさかの出場をはたすG1に向かっているようだ。

特報! 破壊王10・8ドームで復帰濃厚

7/7 【K－1】柳沢、武蔵に判定負け 【NOAH】事務所開き

7/8 【プロレスリング・ノア】
秋山準、ヘビ男に

「旗揚げ戦で、コスチュームひとつ変えない奴はやる気がないとみなす！」とニュー・コスチュームに異常なまでのこだわりを見せる秋山の"大変身"が明らかになった。なんと「ブルー」を捨て、「ヘビ柄」にするというのだ。これまでマット界のヘビ柄と言えば、もちろんヘビ革ブーツの破壊王。破壊王はヘビ柄の理由を「俺はヘビ年なんだ！」と明確で男らしく答えてくれたが、はたして秋山の狙いはなんなのか……。ヘビだけに蛇足だが、冒頭の秋山の発言、ラッシャーにもあてはまるのか？

7/8 【士道館】
新格闘技団体『サムライ』旗揚げ

あの士道館が立ち技と総合の2ステージを擁する新格闘技団体『サムライ』を、10・22有明コロシアムで旗揚げすることになった。『紙の新聞』としては、越中の話でも出したいところだが、長州が「シロー出ろ！」と甲高い声で言うことは、まずありえないので辞めておく。

7/8 【新日本プロレス】公式ホームページ
長州vs大仁田、過半数が「電流爆破」

ルール問題で話題を引っ張る……もとい、ルール問題に揺れる、長州vs大仁田。そこで掲示板がなくなったことでお馴染みの「新日本プロレス公式HP」では、「電流爆破は是か非か」のファン投票を行った。結果、「是」が53％で「非」を上回ったことが発覚。はたしてどうなる？　どうでもいいか。

【パンクラス】船木が結婚披露宴

7/9 【新日本プロレス】宮城・古河
長州の極秘特訓を蝶野が暴露!

長州は電気ナマズ特訓中
大仁田戦は過激マッチと蝶野

いよいよ電流爆破戦での対戦が現実味を帯びてきた長州VS大仁田。実現したとなると注目されるのがまず、長州のコスチュームである。過去、新日勢で電流爆破を行った蝶野とムタは共に分厚い防御スーツを着用。しかし長州が着るわけにはいかないだろう。そんなことを見越してか、蝶野は「似合わない」という理由でまず感電防止スーツの貸し出しを拒否。さらに「長州は猪苗代湖で電気ナマズ特訓と行っているらしい」と暴露（？）。そして最後は「こっそり電流を上げてやる」と極悪バタフライぶりをアピールした。

【全日本】渕、激怒！「永島よ、武道館に来い！」　【全日本】元子、大仁田受け入れ宣言！　【バト】アレクが頭位変換眩暈症（とういへんかんげんうんしょう）で緊急入院

7/10 【新日本プロレス】
蝶野「長州も大仁田も爆死しろ!」

決定 長州VS大仁田爆破マッチ
蝶野「2人とも爆死しろ」

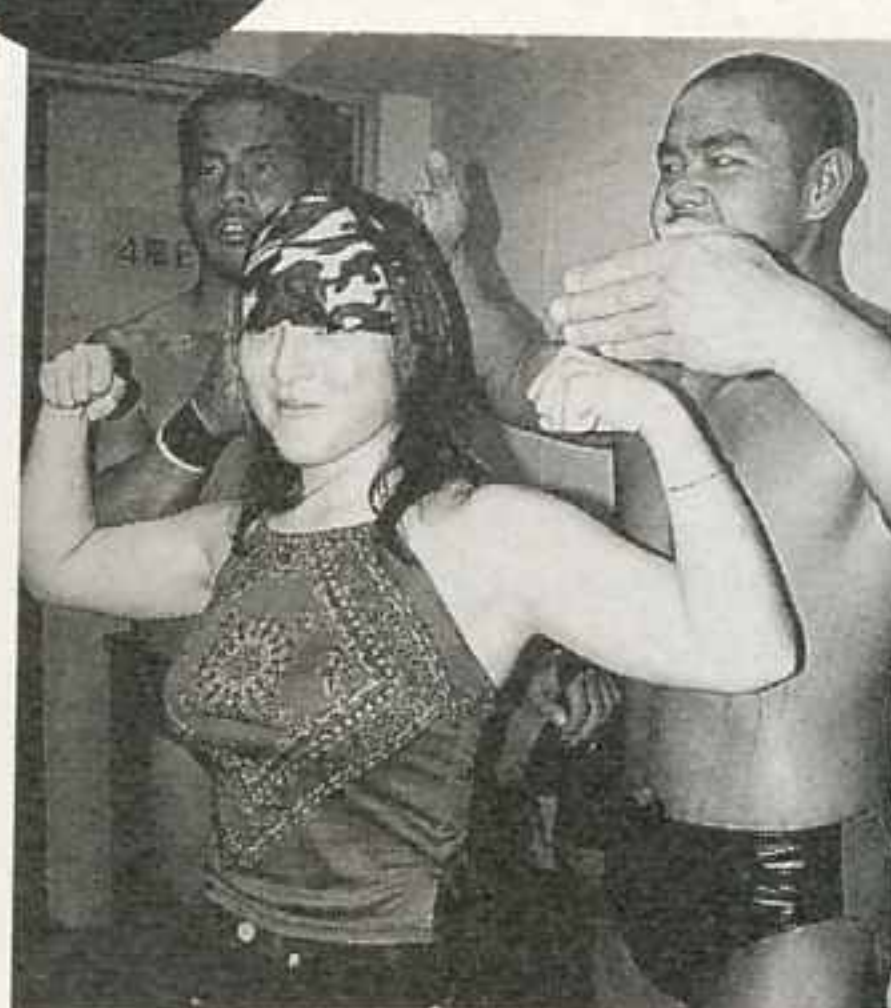
"黒い論客"蝶野が『朝ナマ』での「義務教育18年制」に続き、またもや黒い提言を行った。「（電流爆破決定は）最高の展開だ。大仁田も覚悟を決めて、ちょっと触っただけで指が2・3本吹っ飛ぶような強烈な爆破を用意しろ！」と、自分が電流爆破をやったときは、分厚い防御スーツを着て試合したのを棚に上げて発言。さらに「電流も3倍だ。俺は2人揃って爆死してくれればそれでいい」と相変わらずの"極悪バタフライ"ぶりで今日も東スポを賑わせてくれた。

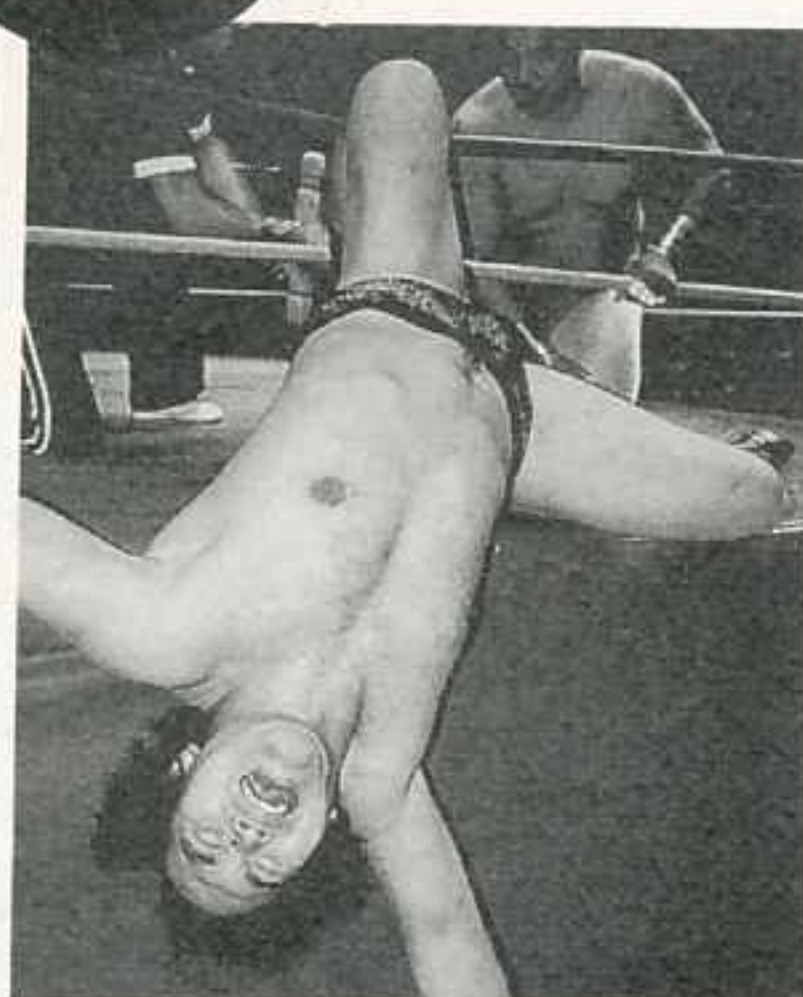
【新日本】渋谷・新日事務所・大仁田、長州戦の電流爆破ゴリ押し決定　【新宿プロレス】東京大飯店・お笑い、ストリップ有り！　新宿プロレス旗揚げ

7/12 【新日本プロレス】
ドラゴン、Jrの体重でG1出場！

その大胆克つ意味不明な人選で話題沸騰中の今年のＧ１。ここになんと引退カウントダウン絶賛凍結中のドラゴンが出場決定！　しかも「俺のベストは100キロ」（藤波）とＪｒの体重での出場を宣言。先月、「破壊王Ｊｒ戦士化」という、ドラゴンらしい突拍子もない計画をブチ挙げた矢先に自らがＪｒ戦士になってしまったのだ。こうなると注目されるのはやはりＪｒ時代に一世を風靡したドラゴン殺法。蘇るドラゴンロケット！（自爆して鼻から大流血）、そしてドラゴン・スープレックス！（例によって未遂）ついでに髪型は七三だ！　ゴーゴードラゴン！

【みちプロ組】後楽園・２億円争奪トーナメントにサスケ組が優勝。しかし予想通りニセ札。

7/14 【FMW】香川・高松市総合体育館
邪道、外道VSノア実現か？

Ｈ、黒田組を破り、ＷＥＷタッグ王座に付いた邪道、外道がかつてのボス冬木に「アンタ、ノアの社長と仲がいいんだろ、だったら俺達の相手を引っ張って来いよ」とかつてのボスのお株を奪うかのような理不尽要求。これに対して冬木はしぶしぶ三沢のケータイに電話。しかし、あっさりと切られてしまい地団駄を踏んだ（その後ラリアートはナシ）。いよいよ、ノアにもエンターテイメントの波か……。

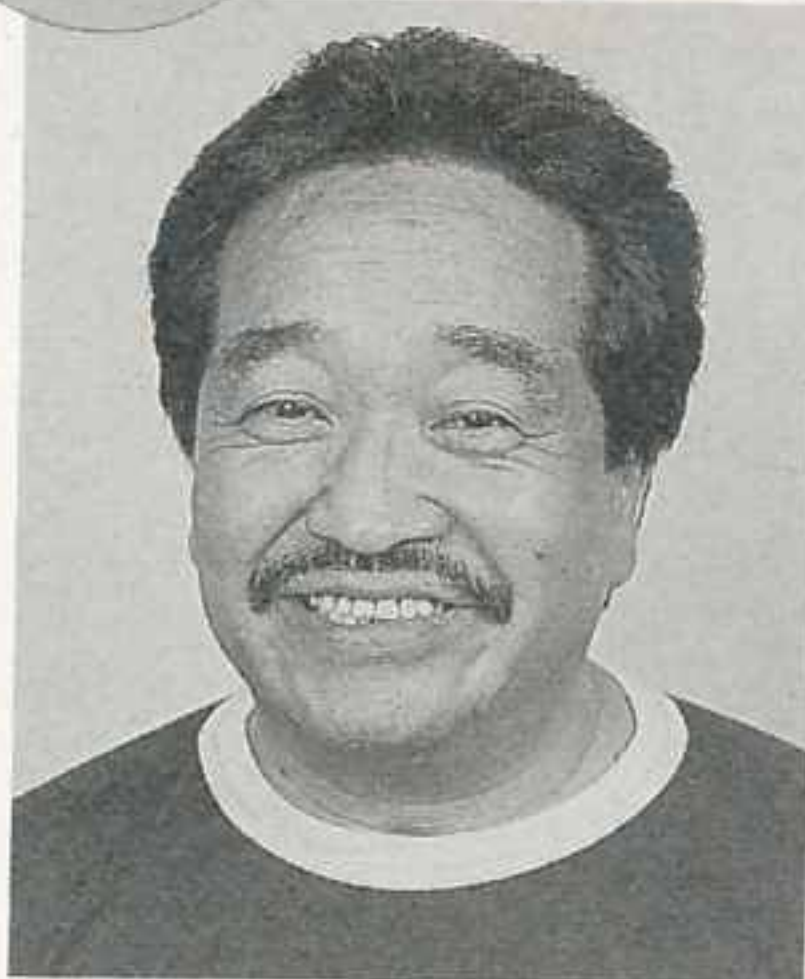
7/15 【みちのくプロレス】岩手県矢巾町体育館
ジニアス、みちのくに現る！

"時代の先っちょを行くレスラー"セッド・ジニアスが、突如みちプロのリングに現れ、ＵＮＷ９・５北沢大会で対戦するグラン浜田を挑発した。グラン風怒りの表情の浜田に対してジニアスは、「どうですかお客さん！」と「猪木の禁句」（ｂｙジニアス）を発し、リング・インの際には、エプロンで足を滑らせ、ご自慢の「リアル・ワールド・ヘビー級」のベルトと共にリング下に転落する大サービス。はたして９・５下北で何が起こるのか？　そしてチョロはまたリングアナをやるのか？

【大仁田興行】名古屋・クラッシャー前泊とＲＩＥが引退。
【全女】お台場・豊田真奈美がイーグルを破り、WWWAシングル王座を防衛。

7/16 【FMW】
FMWにノア参戦

東スポの１面になった回数が自慢であり、東スポに掲載されるために理不尽節やアングルを組む、クレバーな男・冬木弘道。その冬木理不尽劇場に遂に三沢が登場！　これは馬場さん存命中には、まず考えられなかったこと。これぞ"ノア効果"である。ちなみに記事の内容は、冬木のたっての頼みで、ＦＭＷ７・23ディファ大会に雅央と金丸を送りこむ事が決定。「もっと上の選手を貸せ」という理不尽な要求は聞かず、「バイバ～イ」とバスに乗って消えたとのこと。"東スポの三沢"には要注目だ！

【ＩＷＡ】横須賀・浅野社長、海で行方不明

番外編 【プロレスリング・ノア】
百田光雄、全日本キックに登場！

他団体との積極的な交流、『ＰＲＩＤＥ』等、格闘技のリングへの進出が期待される「自由」が売り物のノアが、なんと７・30全日本キック、後楽園のリングに登場！　しかも"副社長"百田光雄がである！　50歳にして長井、柳沢に続くキック挑戦！……な訳はなく、ヘビー級５回戦・大石亨vs鈴木ミツルの特別レフェリーとしての登場。しかし、これをひとつのきっかけに、ＫＯＫ審議委員に永源遥！　『ＰＲＩＤＥ』当別立会人にジョー樋口！　イカ天審査員にラッシャー木村！　といった具合に無差別に打って出てもらいたいものだ。

番外編 【イーフォース】のびの里スポーティングビレッジ
エンセン、ラケットボール大会に出場

エンセン井上が６月17日に行われた「ラケットボール東日本ダブルス大会」に出場した。エンセンはもともとラケットボールの選手として来日し、日本チャンピオンにまでなり、修斗に転向した選手。この日は、来日当時エンセンに部屋を提供してくれた大恩人である小宮さんとコンビを組んで出場。結果は２回戦敗退だったが、エンセンは満足げだった。……と、たまには『紙の新聞』でもリリース通りの普通のニュースを載せてみました。

7・15リングスUSA大会
RISING STARS A-Block

TK、7ヶ月ぶり復活連勝！
ホフマン、ジェレミー、
ヘイズマン決勝トーナメント進出！

7月15日（土）<現地時間>アメリカ・ユタ州オーレムで行われたリングスＵＳＡ大会。これはＫＯＫトーナメント方式で行われるもので、ヘビーとミドルの２階級にわかれて、１・２回戦を勝ち抜いた選手が９月にイリノイ州モリーンで行われる決勝トーナメントに進出する。この日、勝ち抜いたのはヘビー級が高阪剛とＢ・ホフマン、ミドル級がＪ・ホーンとＣ・ヘイズマン。すべて現在日本で活躍する選手となった。ＴＫvsホフマンは実現すれば大注目だ。

番外編 【安田拡了事務所】
安田拡了記者、HPを開設！

あの歴史的名著「海人」の作者である、ライターの安田拡了氏が「記者生活18年間の集大成」として、ＨＰを開設した。その名も「リアルファイト」。内容は「山田学物語」、「試合リポート自作選」、「風まかせヤスカク日記」とメニューを見ただけでお腹いっぱいになってしまうほどの衝撃のラインナップ。これは全人類が一度はアクセスしなくてはならないと言い切れる、超必見のＨＰである。アドレスは面倒臭いので、各自検索。「安田拡了」で検索すればでてきます。さぁ、いますぐブックマークしてちょんまげ！（ライター安田拡了氏調）

世界初のプロレス専門店

レッスル®

営業時間　AM11:00〜PM7:00　年中無休

レッスルフェアー列伝

ラストサマー・in・ドスミル　○開催期間 7/7〜8/31○

またしても、フェアーの→**お客様へお知らせです!**

恒例のフェアーが始まります!(**開催期間7月7日〜8月31日**)今回の目玉は**"Tシャツフェアー・最強の章"**として掘り出しモノが驚異の価格で!!(数や種類に限りがありますのでお早めに!)また店頭では中身が気になる福袋など、お楽しみをいろいろご用意　その他、話題の新作ビデオや各種グッズ満載で楽しいひとときを!ぜひお気軽にご来店お待ちしています! **※通販でも特典アリ**、こちらもどうぞ!!

FMW バックドラフト　120分9,500円

2000年5/5東京・駒沢公園屋内球技場。FMW上半期最大のイベント「バックドラフト」。各選手の2000年上半期の決着がこのビデオで見られます。特にメインは身も心も傷だらけのスーパースター、Hが守護神ハヤブサとなってFMWの魂を守った田中戦は感動です。ECW田中がみせた男の意地と土壇場ですべてを賭けたハヤブサの意地のぶつかり合いは必見。他、「冬木弘道引退撤回!黒田リベンジならず!冬木は天龍の名を…。」の黒田vs冬木、「金村が大日本・山川に名誉あるリベンジ!」の山川vs金村等々。ちなみにノーカットはハヤブサvs田中と草凪vs薫子の2試合。初回封入特典はFMWオフィシャルトレーディングカード「荒井薫子」。

収録試合　FMWvsECW頂上決戦ハヤブサvs田中、WEWシングル選手権黒田vs冬木、日米スーパーエクストリームマッチ雁之助vsサブゥー、WEW6人タッグ選手権中川&邪道&外道vsウィリー&高山&ボウズ&メガネ、WEWハードコア選手権山川vs金村、スペシャルミックスドマッチ京子&向井&中山vs工藤&元川&仲村、フライングキッド市原争奪マッチ草凪vs薫子、WEWハードコアタッグ選手権保坂&佐々木vsファトゥ&スモウ、オープニングマッチリッキーvsクレイジー・ボーイ

チャンピオン太(フトシ)　7/25発売　75分3,990円

1962年度作品。この作品名を聞いてピンときたらよっぽどのプロレス通!この物語はスポーツ万能少年太(フトシ)が将来世界一流のプロレスラーになるべく、力道山の元で修業をしていくストーリー。原作はアノ梶原一騎氏で、このビデオには第一話「死神酋長」、第二十三話「チャンピオンに敗北はない」、最終回「たくましき前進」の三話を収録。注目は第一話の死神酋長を演じているのが若き日の猪木。何とモヒカン刈りになってます。力道山十梶原一騎十猪木の超豪華トリオのビデオなら見るしかない!

コロシアム2000

ヒクソン・グレイシーvs船木誠勝　140分¥10,000

2000年5/26東京ドーム。話題の世紀の一戦を完全ノーカット収録。日本プロレス界の切り札、船木誠勝vs無敗神話ヒクソン・グレイシーこれだけでも永久保存版の価値があるのに、船木の最後の試合、引退試合にもなってしまった。TVでは試合途中でCMになったり、肝心のフィニッシュシーンが十分に見られなかったりと欲求不満の方も多いと思いますがこちらのビデオは十二分に見せてくれます。そして、試合後の船木の「15年間、ありがとうございました」。発言もしっかりカメラが押さえ、試合後の両者のインタビューも押さえています。入場から(テーマ曲込み)船木の最後の試合の一部始終をこのビデオで見て下さい。そして、このビデオの凄い所は何と解説がリングス前田日明社長!近藤、須藤、金原、田村、そして船木の試合を解説。「俺は船木の勝利をこの時、確信していた!」という発言でもわかるように前田の船木への信頼がこのビデオから見えます。他のキックの試合は魔裟斗本人が空手の試合は鈴木国博本人が解説。そして、最後にはヒクソン本人が試合を見ながら解説をしています。全試合ノーカット、非常に試合が見易い画面の至れり尽くせりのこのビデオは凄いです。

収録試合　船木vsヒクソン、田村vsホーン、金原vsスペーヒー、鈴木vsバジレ、緑健児特別演武、魔裟斗vsメノー、須藤vsペデネイラス、近藤vsヒベーロ

DVD 120分5,040円　●解説は内容はビデオと異なり、解説は朝日昇、廣戸聡一。DVDならではのマルチアングル映像。

追悼 ジャンボ鶴田 〜27年の激闘〜　60分5,040円

2000年5/14急逝した不世出の天才レスラー・ジャンボ鶴田の追悼ビデオ。鶴田が昨年の引退時に収録した自らが思い出深い試合を語った生前のインタビューを中心に27年間の名勝負を振り返る。他にも三沢、スタン・ハンセンなどかってのライバルたちが寄せた追悼コメントを収録。主な収録試合　'73年10/9インターナショナル・タッグ選手権 ザ・ファンクスvs馬場&鶴田、'75年12/15オープン選手権 馬場vs鶴田、'84年2/23インタナショナル、AWA認定世界両ヘビー級選手権 鶴田vsニック・ボックウインクル、'85年11/4 鶴田vs長州、'89年4/18PWF認定、UN、インターナショナル三冠ヘビー級王座統一戦 鶴田vsスタン・ハンセン、'89年4/20三冠統一ヘビー級選手権 鶴田vs天龍 他　(収録内容は変更されることもあります。)

ベスト・オブ・ザ・スーパージュニア2000　PART.1&2 各60分¥3,880

ジュニア最強は誰だ?実力差紙一重のジュニア戦士達の殺気みなぎる攻防と波乱を全試合シングルで収録!
注目カード目白押しの豪華2本立て!
PART.1　●金本vsサムライ●サムライvs真壁●金本vs高岩●サムライvs浜田●金本vsワグナーJr
PART.2　●藤田vsロメオ●大谷vs田中●カシンvs田中●大谷vs臼田●カシンvs臼田●大谷vsカシン

闘龍門プロレスビデオシリーズVol.1

CIMANIA「シーマニア」　120分4,720円

メジャーでもないインディペンデントでもない、まったく新しい形のプロレス団体、闘龍門から飛び出した、次世代プロレスの超新星、CIMA。数々のスターを生み出しているSUPER J-CUP 3rd STAGEで準優勝を果たし、その実力をも証明したCIMAをまるごと完全収録。内容は、人々に感動を与えてくれたSUPER J-CUP 3rd STAGEからCIMA出場の全試合を本人コメントとともにダイジェスト収録。そして、2000年度闘龍門興行からC-MAXのメンバーと共に、CIMA出場の前期話題の試合をSUWAの解説入りで厳選ピックアップ。その他試合以外似も、雑誌取材・フォトセッション密着映像、神戸道場のCIMA部屋潜入、少年期を過ごした思い出の地を訪ねて…などCIMAのルーツ&プライベートに迫るファン必見のビデオ。

収録試合　●SUPER J-CUP 3rd STAGE〜一回戦 vsリッキー・マルビン●二回戦 vs怨霊●準決勝 vs佐野なおき、●vs獣神サンダー・ライガー●3/18津市体育館 CIMA&SUWA&フジ2000vsマグナム&望月&堀口●3/20小田原アリーナ CIMA&SUWA&フジ2000vsマグナム&望月&堀口●3/25岩手県営体育館 NWAウエルター級選手権試合 SUWAvs堀口●4/15博多スターレーン CIMA&SUWA&フジ2000vsキッド&タイガー&望月●4/18鹿児島アリーナ CIMA&SUWA&フジ2000&TARU&MAKOTOvsキッド&タイガー&斉藤&堀口&SAITO●4/25神戸チキンジョージ CIMAフジ2000&TARUvsキッド&堀口&ストーカー

桜庭和志vsホイス・グレイシー 〜死闘1時間49分完全収録〜　120分2,940円

2000年5/1東京ドーム。今や世間は桜庭ブーム。この日本格闘技史上屈指の名勝負となったこの一戦。このビデオではこの試合を完全ノーカットでお届け!あの恥ずかし固めから、胴締めがし、サクラバード・チョップ、そして、怒涛のローキック。勿論、細かい技術攻防もしっかり見て欲しい。桜庭の破天荒な攻撃もしっかりとした技術があってこそとわかっていただけるビデオです。グレイシーの呪縛がこのビデオで解き放たれます。ともかく、このビデオは永久保存版として御家庭に一本は必要です。このビデオ用の特別インタビューも収録。プラス、プライド8の桜庭vsホイラーもダイジェスト収録。

プライドグランプリ2000 〜世界最強トーナメント決勝戦〜　120分9,970円

2000年5月1東京ドーム。重量級最強マーク・ケアー、北の秘密兵器イゴール・ボブチャンチン、日本格闘技界の救世主桜庭、野獣藤田、そしてあのホイス・グレイシーら世界の強豪を集めたトーナメント2回戦〜決勝を収録。ケアーを破った藤田の劇的勝利、感動の桜庭vsホイス、ボロボロになっても戦っていった桜庭vsボブチャンチン、まさかの優勝となったコールマンvsボブチャンチン等、名勝負続出!一回戦(120分9,970円)と揃えて買うべし!

プライド.1999　DVD　240分10,290円

ついに登場プライド総集編。それもDVD。「プライド.1998」ではプライド1〜4全30試合を収録。プライド1では宿命の高田vsヒクソン初対決や小路晃vsグレイシー一族の実力者ヘンゾの激闘など全8試合を収録。プライド2ではk-1初代王者ブランコシカチックvsマーク・ケアーや桜庭プライド初登場となったvsバーノン・ホワイト、ヒクソンの弟ホイラーvs佐野、ヘンゾvs菊田など全8試合を収録。高田復帰戦vsカイル・ストュージョン、桜庭vsカーロス・ニュートンなど全6試合。そしてプライド4では高田vsヒクソンの再戦、アレクvsファス、小路vsイズマイウ、桜庭vsゴエスほか全8試合を収録。副音声には浅草キッドの解説を収録!

プライド.1998　DVD　240分10,290円

「プライド.1999」ではプライド5〜8全31試合を収録。プライド5では高田vsマーク・コールマン、桜庭vsビクトー・ベウフォート、エンセン井上初登場vs西田ほか全7試合を収録。プライド6では高田vsケアー、桜庭vsラガ、小川プライド初参戦など全8試合を収録。プライド7では高田vsアレク、マーク・ケアーを失神させたボブチャンチンの一戦ほか全8試合を収録。そして、プライド8では桜庭がグレイシー神話を崩壊指せたvsホイラー・グレイシーほか全8試合を収録。こちらも副音声に浅草キッドの解説を収録。

JPWA旗揚げ 〜日本vsアメリカ スーパーレッスル〜　78分6,930円

2000年4/14後楽園。反則、ギミックなどを廃し、鍛えられた者同志が気力、体力、技術を競い合う。そして、結末はノーサイドの完全決着。そんな古き良き時代のプロレスを目指す。つまり、原点回帰のプロレスリングを目指して旗揚げしたJPWA。今回は日本vsアメリカの対抗戦として行われた。日本チームを率いるのは藤原、アメリカチームを率いるのはニック・ボックウィンクル。注目は岡本衛vsビリー・スコット、木村浩一郎vsショーン・ヘルナンデス。

THE UFC JAPAN　123分6,930円

2000年4/14国立代々木競技場第二体育館。今回三回目になるアルティメット日本大会。今回も、日本人選手が参戦!パンクラスの美濃輪、菊田、フリーの安生、R to Rの本間、RJWの大石ら実力者揃い。注目はジョー・スリックvs美濃輪。ギロチンチョーク、マウントパンチと追い込まれる美濃輪が起死回生の右ハイキックで逆転勝利!必見です。他、ユージン・ジャクソンを僅か1Rで破ったパンクラスの実力者菊田や安生を寄せ付けなかった鉄仮面ムリーロ・ブスタマンチ、UFCの悪ガキティト・オーティーズ等見所沢山!

アルシオン

トーナメントARS2000　120分6,930円

2000年4/20&5/7後楽園ホール。今年もやってまいりました春の本場所トーナメントARS!ミレミアムの2000年の今年、参加選手は、アジャ、吉田、二上、玉田、大向、府川、ソチ、J、下田、三田の史上最多数の10名。正規軍、リドラック、VIPの3軍団の抗争の真っ直中にあって、ARS2000はシングルマッチの面白さを十分に見せてくれた。特に大向vs府川、吉田vs下田、アジャvs二上は必見!大向vs府川では府川のグラウンドテクニックに見ほれてしまう!吉田vs下田では下田の技をことごとく関節技で返していく吉田に驚愕。アジャvs二上では3分という短時間ながらアジャへの雪崩式ブレーンバスター等ド迫力シーン満載!決勝のアジャvs大向も大向のグーパンチ、必殺のB3ボムを凌いでのアジャの勝利は感動もの。他にも、トーナメントに参加しなかったCAZAI&メキシコチャンの6人タッグマッチも藤田の気迫に感動。プラス4/20のクィーンオブアルシオンタイトルマッチ、ソチ浜田初登場、アパッチェ親子対決の3試合を収録。今回の「トーナメントARS2000」は絶対のお薦め!

収録試合　●4/20後楽園〜アジャvs三田、吉田&浜田&AKINOvs大向&府川&ソチ、マリー&ファビーvsアパッチェ&リンダ
●5/7後楽園〜アジャvs大向、奥津&AKINO&藤田vs浜田&マリー&リンダ、アジャvs吉田、大向vs三田、アジャvs二上、大向vs府川、府川vs玉田、二上vsJ、ソチvs三田、吉田vs下田

第2回メモリアル力道山　150分5,040円

2000年3/11横浜アリーナ。全試合対抗戦プラスあのジャニーズJrの滝沢秀明さんvs猪木のミレニアムファイトも収録!新日、UFO、FMW、大日本、パンクラス、みちのく、バトラーツ、闘龍門、高田道場、藤原組、冴夢来、全女、JWP、NEO等これだけの団体が集まって対抗戦を行うのは初めて!特にメインでは話題の橋本と小川がタッグを組んで天龍と対戦。

収録試合　橋本&小川vs天龍&ジョーンズ、安生vs後藤、本間&山川vsH&山崎、木戸&安田vs平田&剛、藤原vs初代タイガーマスク、浜田&マグナムvsシーマ&フジ2000、石川vs佐野、近藤vs韓　他

スカイハイ・ファイナル・カウントダウン　PART.1&2&3 各¥7,140

●**PART.1**〜開幕戦の2/5四日市大会、バトルロイヤルが行われたZepp大阪大会を収録!
●バニー&リギラVSエニグマ&トルトゥガー、スタルマンvsアルカンヘル、ソラール&ファンタスマvsブカネロ&ビオレンシア、マスカラス&ドスカラス　他(2000.2/5.四日市大会)シノビ&ブランコvsエニグマ&リギラ、ソラール&ファンタスマvsゲレーロ&ビオレンシア、マスカラス&ドスカラスvsアポロ&ブカネロ　他(2/6.大阪Zeep OSAKA)
●**PART.2**〜2/8後楽園大会ではマスカラス&ドスカラス&ソラールがトリオを結成。2/10クラブチッタ大会も収録。
●ニセ大仁田&サバイバル飛田vsエスメラルダ&ケンドー、シノビvsアルカンヘル、ブランコ&ファンタスマvsカカオ&ビオレンシア、マルビンvsフガス、マスカラス&ドスカラス&ソラールvsダンテス&ブカネロ&ゲレーロ　他(2/8.後楽園)白鳥vsラ・ディアボリカ、マックス・バニー黄・黒・桃vsリギラ&エニグマ&トルトゥガー、ドスカラス&ソラール&ファンタスマvsブカネロ&ゲレーロ&ビオレンシア、マスカラスvsダンテス　他(2/11.クラブチッタ川崎)
●**PART.3**〜〜2/12名古屋大会ではアレクサンダー大塚との夢のタッグが実現、最終戦の2/13京都KBSホールも収録。
●マックス・バニー黄・黒・桃vsリギラ&エニグマ&トルトゥガー、)白鳥vsラ・ディアボリカ、ソラール&ファンタスマ&スタルマンvsブカネロ&ゲレーロ&アルカンヘル、マスカラス&ドスカラス&アレクvsダンデス&ビオレンシア&日高　他(2/12.名古屋レインボーホール)マックス・バニー黄・黒vsトルトゥガー&ノバティート、白鳥vsラ・ディアボリカ、マスカラス&ドスカラス&ソラールvsダンテス&ビオレンシア&ブカネロ　他(2/13.京都KBSホール)

今、話題のプロレス・格闘技DVD一挙公開!

【　絶　賛　発　売　中　】
●前田日明「天の章、地の章」……………… 各¥31,290
●アントニオ猪木引退試合 ……………………… ¥7,140
●アントニオ猪木物語part.1、2 …………… 各¥5,040
●新日ラディカルファイト100+α part.1、2 ……… 各¥7,140
●新日一触即発part.1、2 …………………… 各¥7,140
●DOME IMPACT 導夢衝撃① ………………… ¥5,040
●UFC-J 2000 ……………………………… ¥6,090
●コロシアム2000 ………………………… ¥5,040
●ザ・グレート・ムタコンプリートBOX …. ¥21,000
【　間　も　な　く　発　売　予　約　受　付　中　】
●7/25発売➡DOME IMPACT 導夢衝撃②　¥5,040
●7/25発売➡橋本vs小川〜決着〜　¥5,040
●7/26発売➡PRIDE GP2000　¥10,290
●8/18発売➡衝撃!三銃士ヒストリー①　武藤敬司　¥3,990
●8/25発売➡初代タイガーマスクファイナルコレクション　¥31,500
●8/25発売➡レスリングどんたくin福岡ドーム①②　各¥3,990

●営業時間変更のお知らせ　日曜日&祝日の営業時間も平日と同じくAM11:00〜PM7:00とさせて頂きます。●

★表示価格はすべて税込です。送料はビデオは1本につき¥500、2本以上サービス、グッズの送料はお手数ですが、お問い合わせ下さい。

1,000円お買い上げごとにスタンプを一つプレゼント。30個でTシャツ、50個でトレーナー、100個でビデオがもらえる!(店頭・通販共)

【通信販売お申し込み方法】
住所・氏名・TEL・希望商品名を明記のうえ現金書留か郵便振込でお申し込み下さい。ビデオ送料は1タイトルにつき500円、2タイトル以上はサービスです。

●郵便振込口座番号　00180−8−65236　レッスル通販
※郵便振替通販に関してのお問い合わせは池袋店にお願いします。

レッスル渋谷店　通販部 03-3464-1780　TEL 03-3464-0078
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-17-2 第2野々ビル

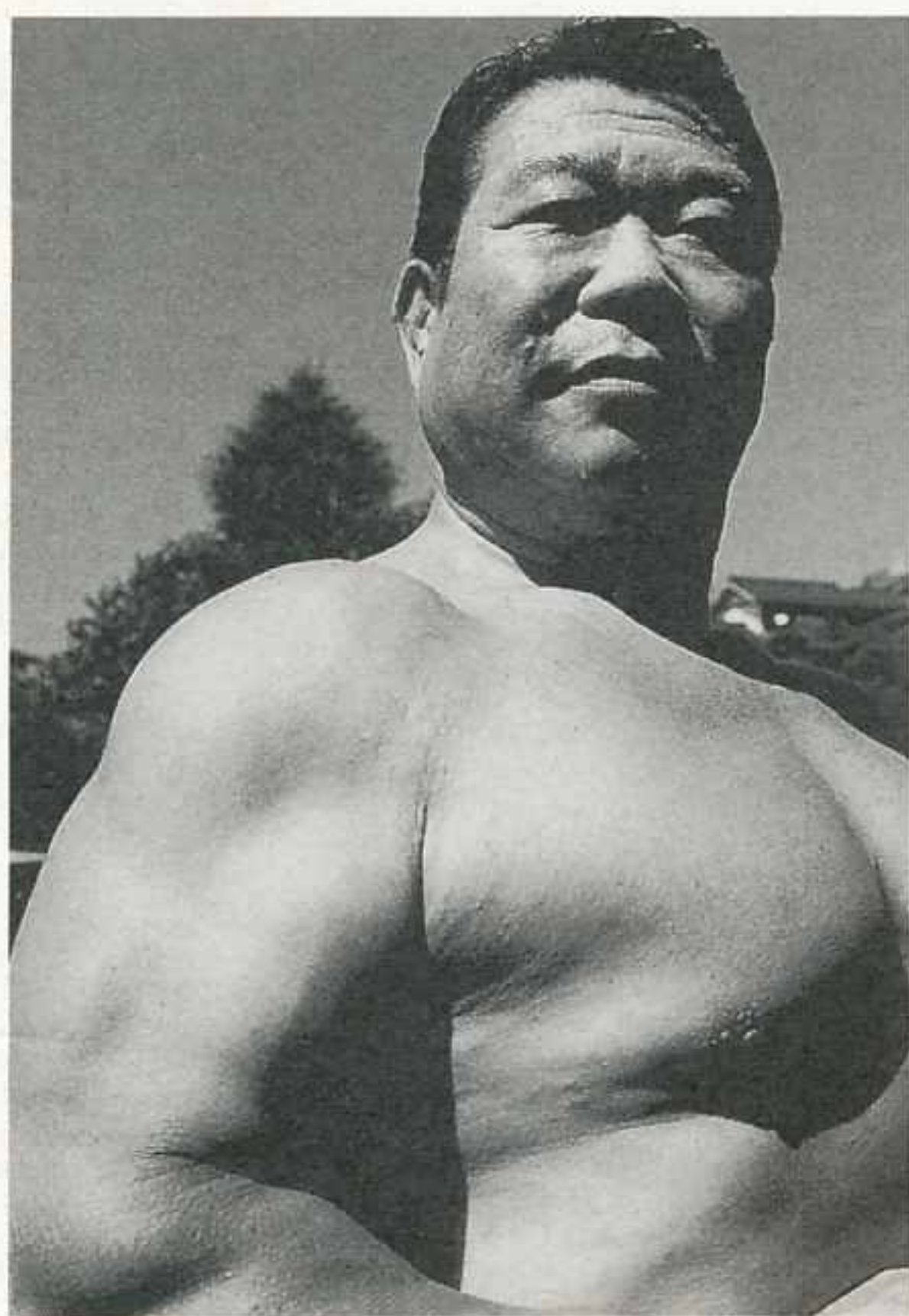
レッスル池袋店　通販部 03-39877817　TEL 03-3989-0056
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-36-3 池袋陽光ハイツ306

南口徒歩4分
第2野々ビル3F
(1F茜屋)
井の頭線ガード
横浜銀行
KENWOOD
渋谷中央街
住友銀行
東急プラザ
南口
渋谷駅
玉川通り
首都高速

東口徒歩5分
豊島区役所真向かい
池袋陽光ハイツ3F
(1Fうどん屋)
サンシャイン通り
豊島区役所
ビッグカメラ
東口
至上野
池袋駅

ミスター高橋のチュービング道場

ワシ掴め サマードリーム!! 夏期限定連載 第2回

100年の歴史を持つチューブトレーニングの真髄の一端を伝えるチュービング道場第2回目は肩のトレーニング編。ピーターの外人選手トレーニング秘話ととともに、これらの種目に挑戦してみてほしい。

聞き手／中村カタブツ君
text by Katabutsukun Nakamura
撮影／黒田史夫
photographs by Fumio Kuroda

みんながトレーニングしてる横でアンドレはビールを飲んでたよ（笑）

——ところで高橋さんが最初にチューブに興味を持ったきっかけはなんだったんですか。

高橋　きっかけは僕がレスラー時代に東南アジアをサーキットしている時ですね。試合場にはバーベルとかを持っていけないわけですから腕立てとかしかできなかったんですよ。その時に外人選手がチューブを引っ張ってるのを見て、ちょっと借りてやってみたらキツイんですよ（笑）。それから取り入れるようになったんですね。新日本に入った時も外人選手がチューブを持って参加してきてね。ホテルの部屋とか試合場の控室でもやっているのを見て、これを一般にも広めてみたいなと思って指導書を書いたりしたんですよ（笑）。

——外人選手はどなたがやってたんですか。

高橋　来る選手はほとんどです、持ってない人の方が珍しいですよ。

——アンドレにしても？

高橋　アンドレはやらなかった（笑）。

——ワハハハハ！　さすがアンドレ、生きてるだけで強いと（笑）。

高橋　そうそうそう（笑）。一番よくやってるなっていうのはマスクド・スーパースターだったね。彼は練習熱心だったですから。筋力トレーニングに関して言えばチューブだけと言ってもいいでしょう。その方が格闘向きの筋肉ができるって言ってましたね（笑）。

——時間はどのくらいやってたんですか。

高橋　2時間ぐらいだったね。ホテルに着くと、誰言うともなく、示し合わせたようにスッと集まってくるんですよ。ホテルの廊下とか、屋上とかに。特に天気のいい時は日光浴をかねて屋上でやったりするんですよ。だからねぇ、いまでもその頃の光景を思い出すんですけどね、（アンドレ・ザ・）ジャイアントやビッグ・ジョン・スタッド、ハルク・ホーガン、ディック・マードック、キングコング・バンディが打ち上げられたクジラみたいにゴロンっと寝て屋上で日光浴をやってるでしょ（笑）。その傍らでもって僕とスーパースターがチューブを引っ張ってるわけですよ（笑）。

——凄い光景ですね（笑）。

高橋　あの様子は写真に残しておきたかったなぁ。ジャイアントがゴロンっと転がってる姿なんか、いやぁ～凄かったね（笑）。

——そりゃそうでしょう、ジャイアントがゴロンっとなってるのは前田さんとの試合ぐらいしか知らないですから（笑）。

高橋　ガハハハハ！　そうでしょう（笑）。ビッグ・ジョン・スタッドなんか2メートル15センチぐらいあったからねぇ。彼とジャイアントが寝転がってる光景は壮観だったねぇ（笑）。

——もちろん日光浴してる人はビールとかを飲んで（笑）。

高橋　いやいやいや、ビールを飲んでるのはジャイアントだけだよ。普通は飲まないよ、昼間っから（笑）。

——ワハハハハ！　そうですね（笑）。

高橋　ワイルド・サモアンが初めて日本に来た時は19歳くらいだったんですよ。アンポンタンだからね、トンチンカンなことばっかりやって随分苦労させられたんだけど、その頃はジャイアントの使いっ走りをしていたんですよ（笑）。日光浴をやってるジャイアントが「ビール買ってこい」っていうとピューと走って行ってね（笑）。

——ワハハハハ！　可愛がってもらってましたね（笑）。何本ぐらい買ってくるんですか？

高橋　ん？　1本1本だよ。何本も買ってきたら温まっちゃうだろ。だから、ジャイアントが飲み終わると「イエス・ボス！」って言ってサァーっと走っていくんだよ（笑）。

——ワハハハハ！　たいへんですね（笑）。

高橋　面白かったよね。ジャイアントは起きてから寝るまで飲みっぱなしだったからね（笑）。まあ、だけど、やっぱりマスクド・スーパースターが一番練習してたかな。あと、僕がよく教えてもらってたのがボリス・マレンコ（マレンコ兄弟の父）だね。マスクド・スーパースターのマネージャーで来日してたんですよ。

——どんな練習だったんですか。

高橋　マレンコはもうセメントの練習専門なんですよ。

——マレンコ道場の創始者ですからね（笑）。

高橋　ホテルの廊下でもってセメントの練習ですよ（笑）。ブレイクもヘチマもないから、廊下の隅に押しつけられちゃうと逃げようが

ないままガチンガチン極められちゃってね。こっちはギャーギャーギャーギャー言いっぱなしだったですよ（笑）。

——いい話ですね（笑）。

高橋　逃げられないんだもん（笑）。

——ところでシンが好きだったトレーニングってあったんですか。

高橋　好きだからって、そればっかりやってたらバランスが悪くなっちゃうから特にこれが好きだったっていうのはないよね。筋肉っていうのは収縮することしかできないんだから、表の筋肉を鍛えたら、裏の筋肉も鍛えないとしょうがないのよ。今回の肩の関節なんかはほかの関節と違って一番可動範囲が大きいんで、それだけに弱いんですね。靭帯もないしね。だから、大きくて強い筋肉で肩関節を守らなければいけないんですよ。運動の選手で肩関節を脱臼したなんてっていうのは恥ずかしいことですね。何年かやってる選手でもって肩関節を外しちゃったなんて選手がいたら即引退した方がいいね（笑）。

——辛口ですね（笑）。

高橋　あとね、随分昔ですけど、坂口さんがサウスアフリカに遠征に行った時には向こうでもってずっとチューブの練習をしてたって言ってましたよね。負荷のかけ方が自由にできるからいいって言ってましたね。

——来年、坂口さんは還暦祝いと新日創立30周年を祝って試合をやるみたいですね。

高橋　それはぜひ見たいね。いまでも坂口さんがその気になって練習したら誰も勝てないかもしれないよ。それぐらい強かったからね（笑）。チューブの方はサウスアフリカから戻ってきてしばらくやっていたんですね。「これは肩に凄くいいんだよな」って言って、今回やったクリーン&プレスをよくやったよ、すぐにやめちゃったみたいだけど（笑）。

——ワハハハハ！　さすですね（笑）。

高橋　だけど、凄い人だよ。あんな強い人、見たことない。外人だって震え上がってましたよ（笑）。

——親指をペロっと舐めると（笑）。

高橋　何それ？

——坂口さんが本気になった時に見せる仕草だと言われてるんですが。

高橋　そうなの？　それは見たことないね。だけど、外人選手なんかは初めて坂口さんを見ただけで、ビビッてましたからね（笑）。

——坂口さんって練習しなかったけど、強かったっていう話がありますけど、本当なんですか。

高橋　たしかに練習は好きな方じゃなかったよね。だけど、あの身体でガンガン練習されたら、たまったもんじゃないよ（笑）。身体で思い出すのはやっぱり全盛期の猪木さんの肩だね。カッコ良かったよ（笑）。先天的に肩幅が広いんですよ。それで猪木さんっていうのは、力の出し方がうまいんですよ。ここ一発やらなきゃならないっていう時には凄いですよ、ベンチプレスを200キロ上げたのを見たことありますからね。

——200キロですか！

高橋　「え！」って日を疑ったからね。猪木さんの場合「これは絶対に失敗するわけにはいかない」って思った時の精神集中は素晴らしいものを持ってるよ。その裏付けとして、しっかりしたバランスのいい肩があったからだと思うんですよ。

——力道山先生もここ一番の時は凄かったみたいですね。

高橋　やっぱり猪木さんとか、力道山先生とかはプロに向いてるよ。よく火事場のバカ力

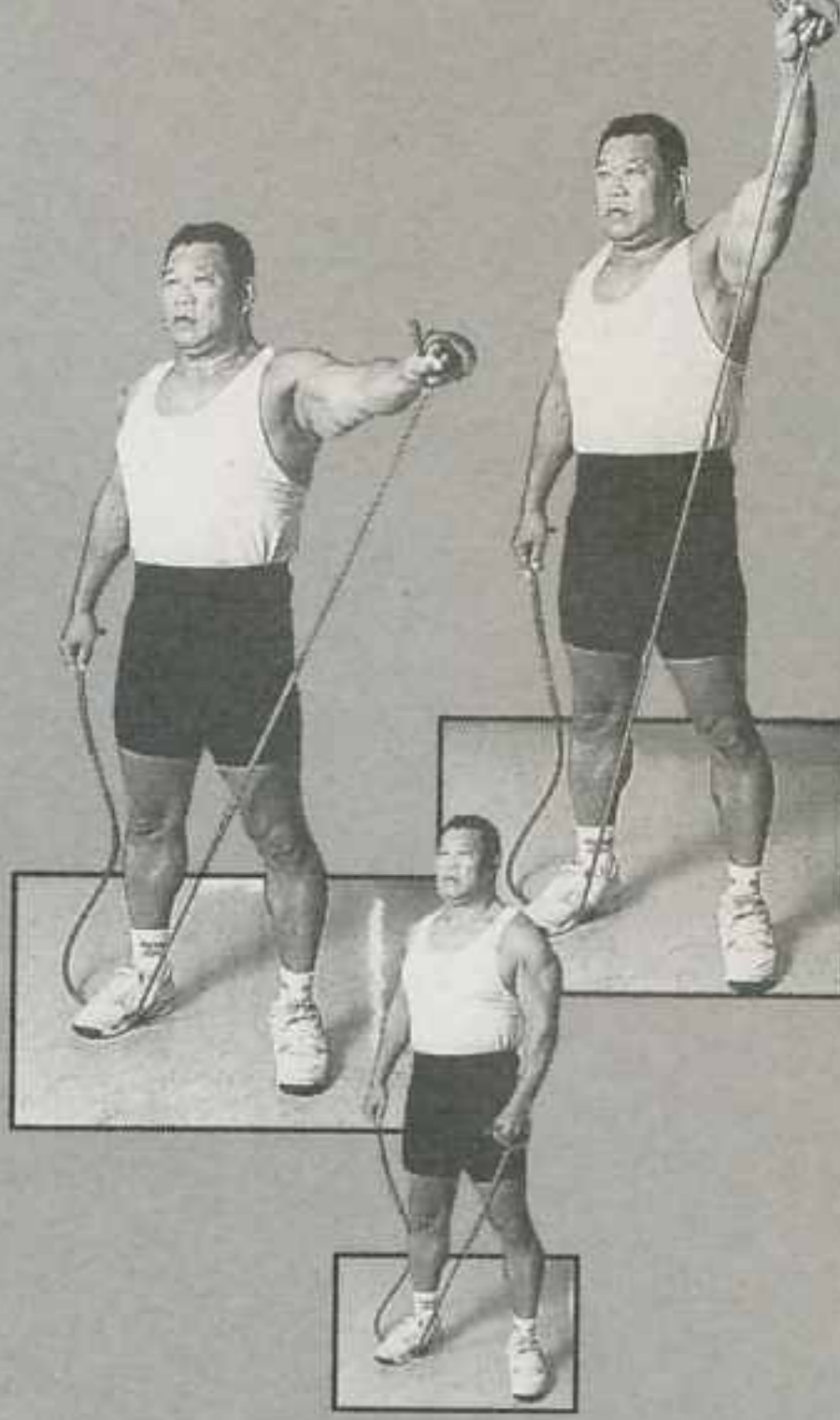
現役選手で肩関節を外した選手がいたら、即引退した方がいいね（笑）

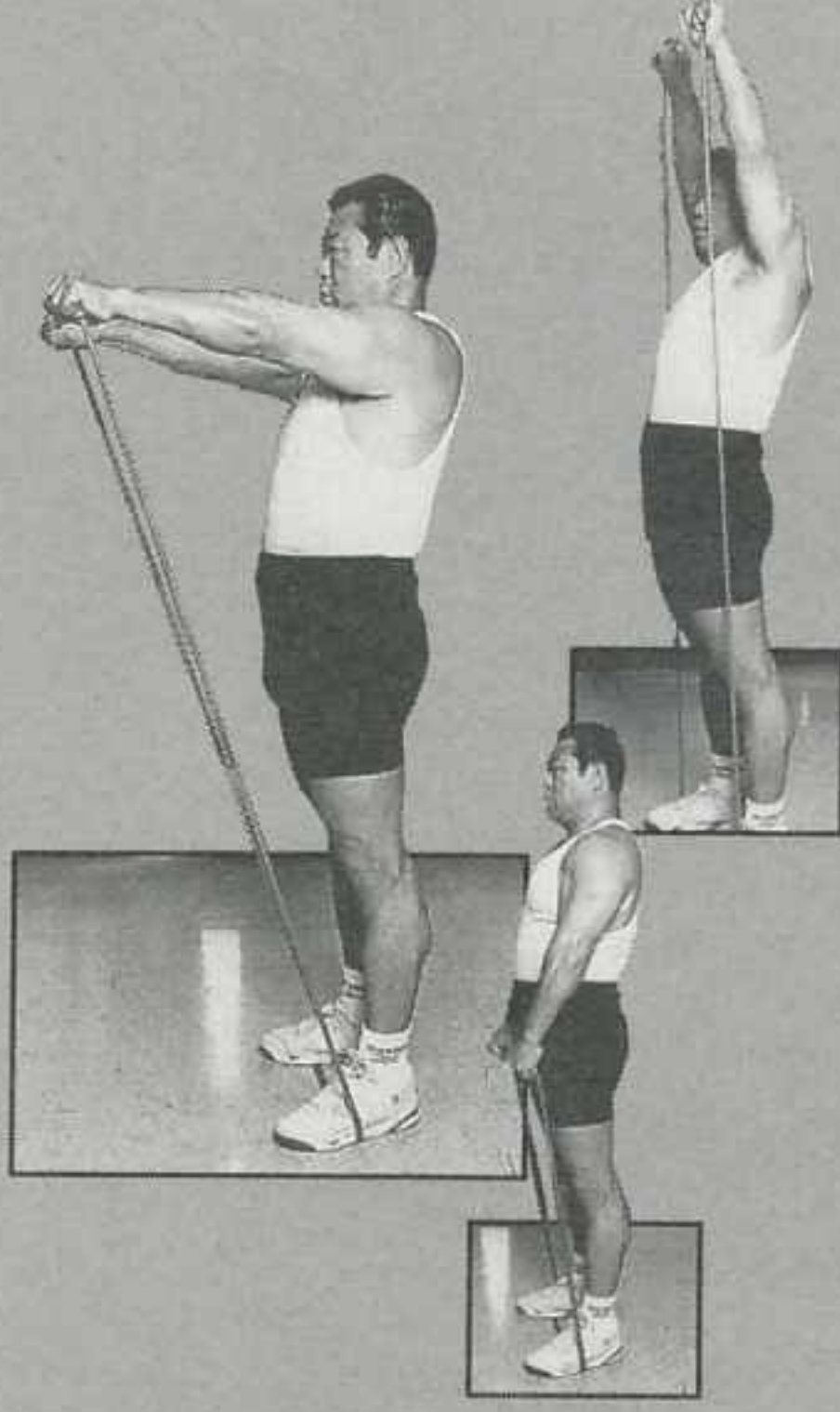
第2回 肩のトレーニング ～三角筋編～

肩関節は人体の関節の中で一番自由に動かすことができる。それは肩甲骨と上腕骨がつき合わさっており、強い靭帯がないがゆえ。よって、筋肉でしっかりとカバーしなければならない箇所なのである。

クリーン&プレス

三角筋の上側を鍛える種目。まずはチューブを人差し指に軽く巻いて握り、背筋を伸ばして直立し、肩の前まで伸ばす。この後、頭上まで引き上げたら、上げる時の倍の時間をかけてゆっくりと肩まで戻す。そして元の位置に戻す時もゆっくりと手を降ろしていく。

ワン・ハンド・サイドレイズ

三角筋の外側を鍛える種目。チューブを片足で踏み、手の甲を外側に向けて腕を伸ばしたまま、チューブを引き上げていく。さらに頭上まで引き上げて、ゆっくりと降ろしていく。注意点は腕を真横に上げた時に手の平は下を向いていること。この種目は腕を上下させる時に反動を使わないに留意、常に直立の姿勢を保つように。

フォワードレイズ

三角筋の前側を鍛える種目。両足でチューブを踏んで手の甲を前方に向け、腕を伸ばしたまま肩まで上げ、そのまま頭上まで引き上げる。戻す時はやはりゆっくりと行う。すべての種目に共通することだが、引き上げる時に息を吸い、降ろす時にゆっくりと息を吐く。

って言うけど、これは最大筋力に近い力が出た状態だよ。だけど、それを常に出せないからみんな努力するんですよ。だから、最大筋力っていうよりも最大努力筋力って僕は言うべきだと思うんですよ。

――最大努力筋力！　確かにそうです。

高橋　だから、猪木さんとか力道山さんって

猪木さんは100kgの荒川さんを東京まで背負っていったんだよ

いうのは最大筋力に近いものを出す力を凄く持ってるんじゃないかなって思うんですよ。人が見てるってだけで火事場に近い力を出すんですよ。でね、いまでも思い出すんですけど、九州の巡業で荒川さんがアキレス腱を切っちゃったんですよ。その翌日は猪木さんがオフで東京に戻る予定になってたんで、猪木さんは荒川さんを背負って東京まで戻ったんですよ。

――え！

高橋　その時、荒川さんって100キロあったんだよ。それを車とか電車の中以外はズッと猪木さんがおぶっていったんですよ。顔色ひとつ変えずにだよ

――いい話ですね（笑）。体力的に凄いのもそうですけど、やさしいですね、随分。

高橋　その頃はね（笑）。おぶっている時は人目につくわけですから、やっぱり最大筋力に近い力が出るんですよね。猪木さんの場合は爆発的力を出すのもうまいし、持久力も凄いんですよね。あれはちょっと真似できないよ。

――いやぁ、猪木さんのちょっといい話ですよ（笑）。そういうプロレスラーの体力維持に欠かせなかったのがチューブと考えていいんですか。

高橋　フランク・ゴッチとかハッケンシュミットとかあの辺の人たちも使ってる写真を故・田鶴浜弘先生に見せてもらったことがありますよ。

――じゃあ、ガス燈時代ですね。

高橋　そうですね。相当、昔の写真ですよ。

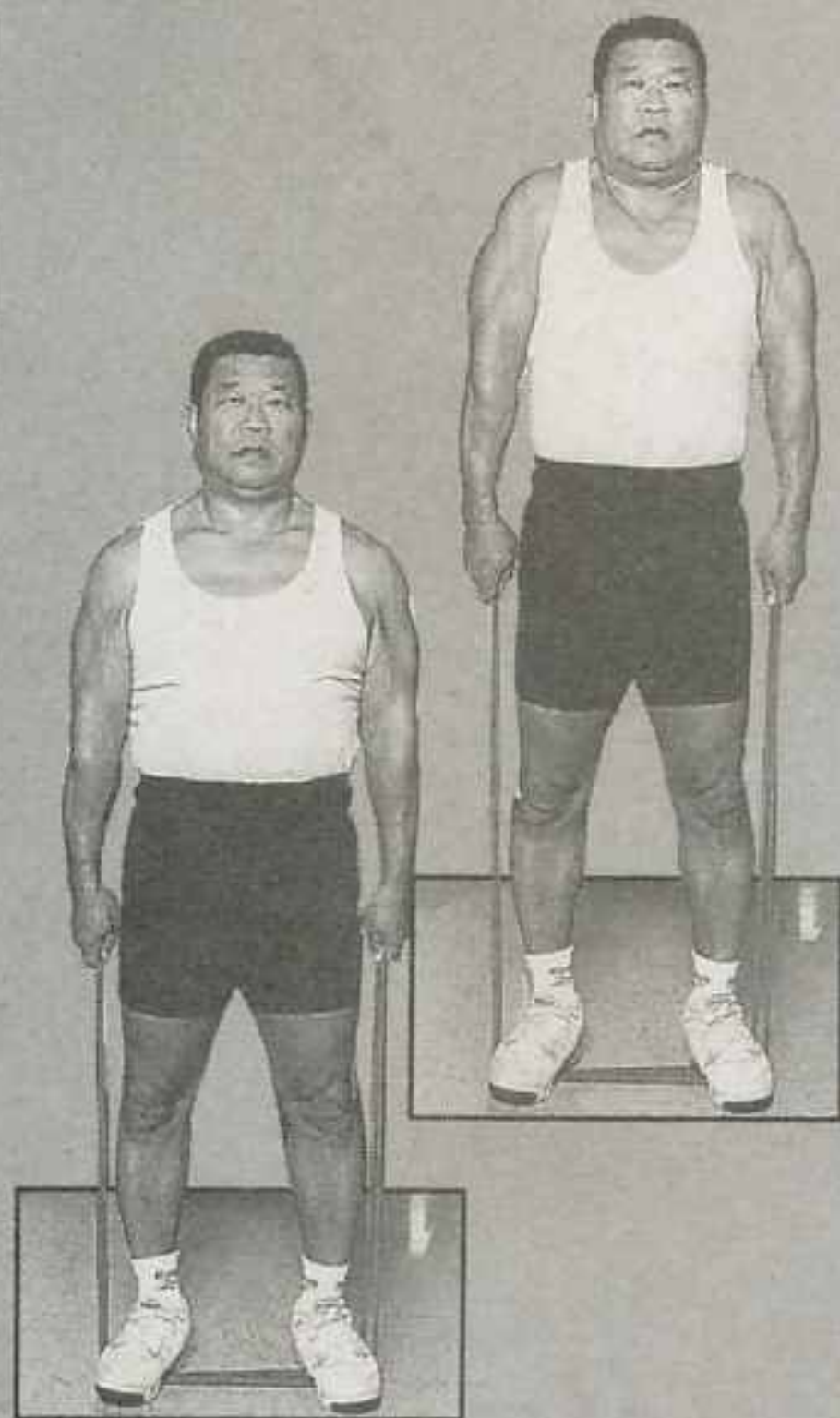
――そういえばバトラーツの田中稔さんが先日ピーターパワーのチューブを購入されたみたいですね。

高橋　そうなんですよ。100年ぐらい昔から使われてるものがいまだに役に立ってるんですから面白いですよ。だから、これを僕は広めていきたいんですよ（笑）。

ケビン山崎氏を始めとする科学的トレーニング法が注目され、効果を挙げている昨今。なぜいまさらチューブトレーニングなのかと疑問をお持ちの方も多いとは思う、実際。だがだ。約100年の長きに渡って全世界のレスラーたちによって受け継がれてきたチューブを通じて改めてプロレスを考えるのも一興だろう。当時のレスラーはこういうナチュラルトレーニングだけでウォリアーズにも負けない迫力ある身体を作りあげていたのだ。ビバ、非科学的練習法!!

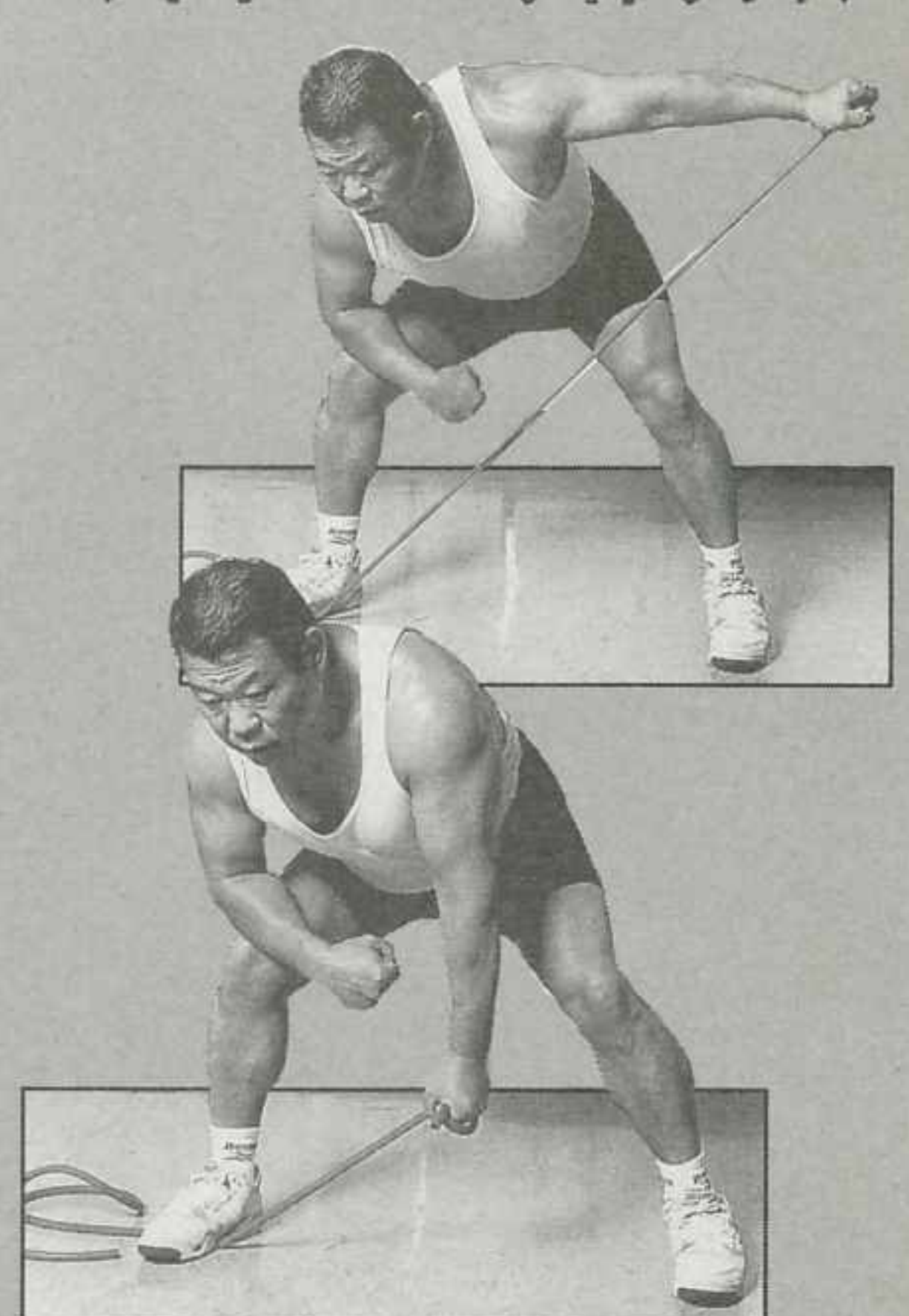
～僧帽筋編～

僧帽筋とは首の付け根の筋肉で、ここが盛り上がってると格闘力があると言われる。例えば、シャープ兄弟が来日した時に、初代・若の花の僧帽筋を見て、「彼がグランドチャンピオンだろう」と断言したという。若の花はその後、綱取りとなったのだから、強さを見分けるには重要な筋肉と言えるのは確かだ。

アップライトローイング

チューブを輪にして握り幅を狭くして首の下まで引き上げる。この時に注意しなければならないのは引き上げる時に前腕部をヒジよりも高く上げないこと。主に僧帽筋に効く運動だが、三角筋と上腕部の引く筋肉にも有効。

シュラッグ

チューブを両足で踏んで両手で握る。背筋を伸ばし、僧帽筋を収縮させる。僧帽筋はモノを引き上げる力で、藤田和之、中西太が特に素晴らしい筋肉を持っている。この二人の場合はステロイドを使わず、ナチュラル・トレーニングだけで作られたというから、素晴らしい。

ベントオーバー・サイドプレス

三角筋の後ろ側を鍛える種目。まず、上体が床と平行になるまで前傾させる。その姿勢を維持したまま、腕を床面から平行になるまで上げる。この時、腕と一緒に上体を起こさないように注意すること。

やれんのかーッ!!

オーちゃん

ヒクソン戦に向けて

始動!!

日本プロレス界史上、“最大の黒船”となった“グレイシー”。そのボスキャラであるヒクソン・グレイシーは、5・26、船木誠勝を完膚無きまでに葬り去った。

そして決戦後に、「小川直也」の名前を出し、現役続行を示唆。これを受けて、「コロシアム2001」のプロジェクト・チームは、すでにヒクソン側と交渉に入っているという話もある。もちろん、ヒクソンの相手としては、興行面から見ても、オーちゃんを第一候補と考えているのは明白だろう。

ヒクソンを巡る綱引きは、激化している。

まず、5・26でヒクソンの一番弟子、サウロ・ヒベイロを打ち破ったパンクラスの近藤有己が、「船木さんの仇を討ちたい。小川さんとヒクソンへの挑戦者決定戦をやってもいい」とブチ上げた。

リングスの田村潔司も「チャンスがあるんであれば、ヒクソンとはやってみたい」と言い放つ。

そして、ヒクソンの実弟であるホイラー、ホイスを連破し、順番からいけば一番手の桜庭和志は、今号のインタビューを見てもわかる通り、意外にもヒクソンを射程距離に置いていない。

では、ファンは一体どう思ってるのか。

前号で行った本誌の「ヒクソンと闘ってほしい選手」という読者アンケートでは、オーちゃんがサクを抑え1位になった。ちなみに2位がサクで、3位は田村だった。

もちろん、これは前号でオーちゃんがヒクソン戦出撃準備OKの進軍ラッパを吹き鳴らしたロング・インタビューを行った影響を受けての結果だろうが、オーちゃんのヒクソン戦出撃は、予想以上に大きな渦を巻き起こしている。

そのオーちゃんは、7月中旬から古巣の明大柔道部で極秘特訓に入ったという情報もある。“鎧”である自らの肉体をオーバーホールし、“剣”である技術を、さらに磨き上げるためだ。

猪木イズムvsグレイシー。

プロレスvsバーリ・トゥード。

柔道vs柔術。

重層的にさまざまな“最終戦争”が絡んでくる新世紀の大一番！

実現に向けて、この夏秒読みに入るのか否か。

今後も、ヒクソンの動向と、オーちゃんの飛びっぷりには要注目である。

UFOの核弾頭
村上一成インタビューは
次ページから
←

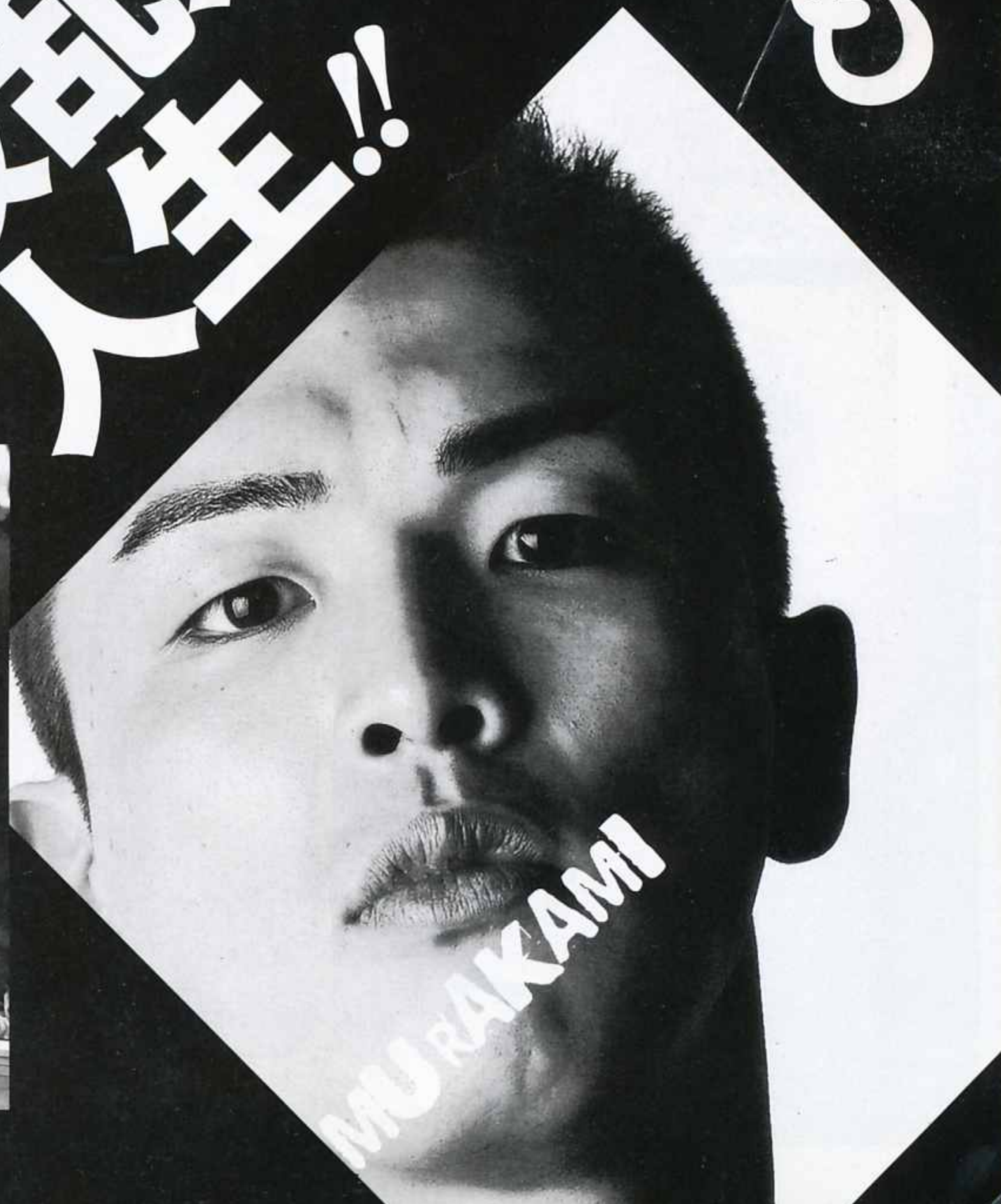
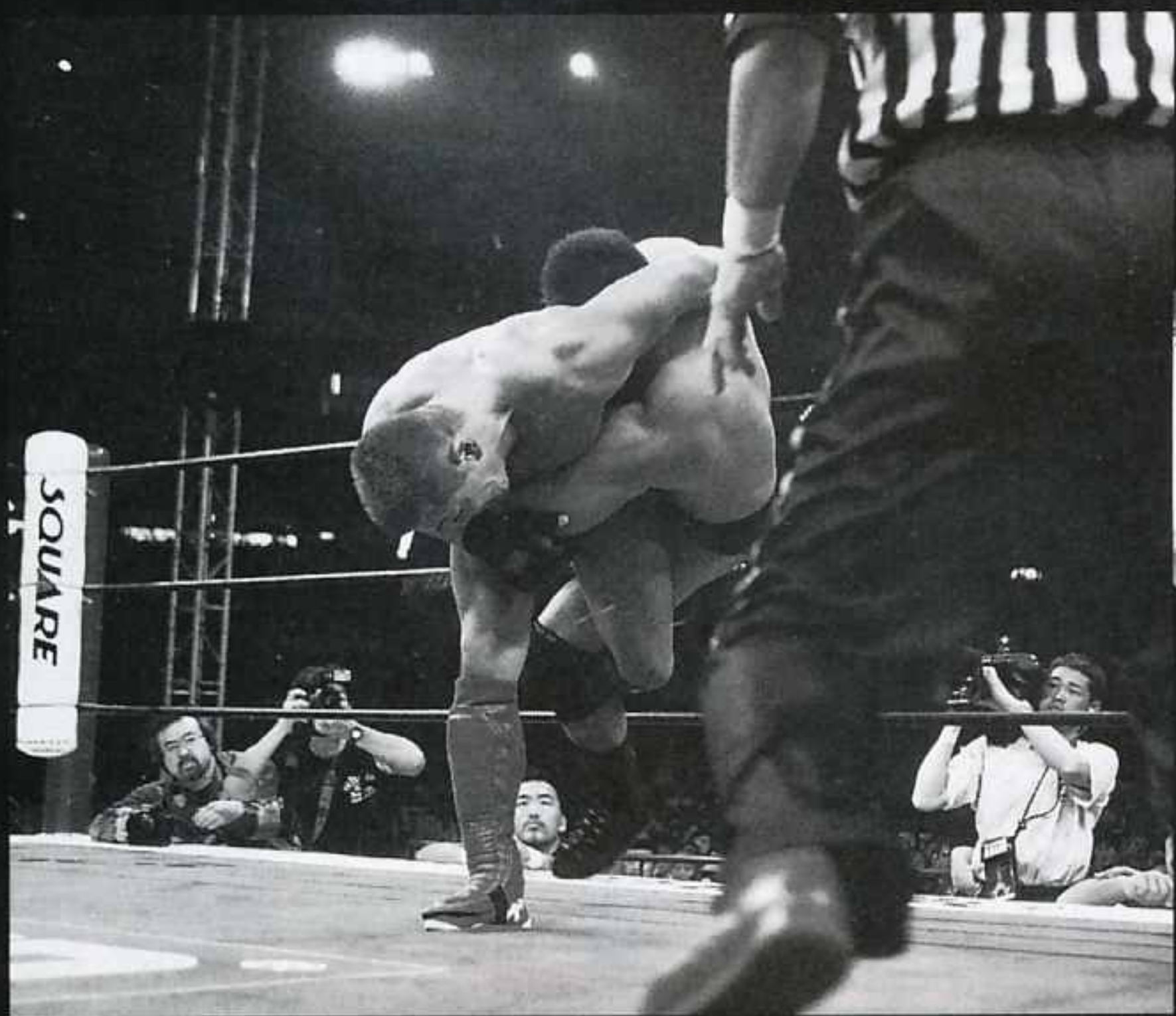
いつ何時でも臨戦体勢!!

聞き手／山口日昇
interview by Noboru Yamaguchi
撮影／斉藤ユーリ
photographs by Yuri Saito

UFOの核弾頭 村上一成の波乱万丈人生!!

軽いタッチで送る

KAZUNARI MURAKAMI

格闘CHAOS 2000

98年——。アントニオ猪木、小川直也、そして〝若者〟の3人が、ロスの高台のとあるレストランで、丸テーブルを囲み、足をブラブラ投げだしながら話していた。

アントン総帥は〝若者〟に向かっていきなりこう言った。「おまえは、リングというキャンバスに絵を描いたことがあるか?」「キャンバスに絵を描くっていうのは、どういうことか言ってみろ」。

〝若者〟はそう聞かれて、「勝つことです!」と答えた。するとアントン総帥は、「ンムフフフ」と笑みを浮かべながら、「じゃあ、おまえはまだプロじゃないな。おまえはまだアマチュアだよ」「〝闘い〟とはなんだい?」と優しく畳みかけた。

永遠に考え続けなければならない命題を突きつけられた〝若者〟は、このときに「思考する格闘技」があることを知った。そしてこのときのことをきっかけに、UFO入りを決意する——。

その〝若者〟の名前は村上一成。

99年の〝1・4事変〟ではリング外の大乱闘の際、新日本のレスラー数人に殴られ蹴られ踏みつぶされた末にイビキをかいて失神昏倒し、今年の〝1・4〟には、因縁の飯塚戦で、今度はリング内で伸ばされてしまった。5・5福岡ではIWGPタッグ奪取にも失敗し、新日本では〝連敗記録〟を樹立する勢いだ。

ん? 勢い? そういえば、新日本で村上が絡んだ試合で観客の細胞に突き刺さったのは、勝者の姿ではなく、村上一成のイキのよさだった。

そんな「昭和のプロレスラーの残り香」と、「新しい時代を予感させる、いい意味でのトンパチぶり」の両輪を転がす村上一成のインタビューをお届けしよう。

※今回は、NO26で表紙に「村上一成」と打ったにも関わらず、飛んでしまったお詫びに、7月15日に収録したものと、No25に掲載しなかった分をミクスチャーした、スペシャル・ロング・バージョンでお届けしま～す。

——元気ですかーーーッ!

村上 ウハハハハァ。元気が一番! 女が二番!

——しかし、新日本では本当にいい成績を残してないですね（笑）。

村上 こうなったら何連敗できるか! 連敗記録いっちゃおーかな～なんてね。ウハハハハァ。IWGPタッグ戦（5・5福岡ドーム。オーちゃんと組んでの中西学&永田裕志戦）は、やっぱり小川さんがあんな形だったんで（オーちゃんは肩の負傷を押しての強行出場）、取りあえずは、やれるところまではやろうと思ってたんですよ! なんせ僕らの後ろにはスーパー兵器である、ミスターXがいましたから! 心強いのは心強かったんですけどねぇ。

——謎の白覆面・ミスターXですね!（笑）。

村上 そのミスターXさんとは、試合前に福岡ドームの近くのホテルで面通ししたんですけど、そこでも驚かされましたよ。あの人は凄い!（笑）。

——一体、何があったんですか!

村上 部屋で話をしてたら、突然いなくなったんですよね。で、戻って来たなと思ったら、いきなり白覆面に変わってたという（笑）。

——ということは、最初は素顔だったんですね、ミスターXは?

村上 そうです。で、いきなり、「どこへ行ったのやら状態」ですね（笑）。それで、「あれ～、どこ行ったんだべな～」と。

——出た! 富山弁（笑）。

村上 と思ってたら、いきなりドアが開いて、「ワッ!」って言ってオドかすんですよ!

——ガハハハハハハ! ミスターXの中身は、人をビックリさせるのが好きってことですね（笑）。

村上 も～う、さしずめビックリマンですね。なんせ白い覆面被った大男が、いきなりヌッと現れて、「ワッ!」ですからねぇ。もう小川さんも僕も腰抜かすくらい驚きましたよ。

——ガハハハハ!! 天下の小川、村上が腰を抜かしましたか。ミスターXって、子供みたいな人ですね（笑）。

村上 子供心、僕らよりありますね。もう、僕らもタジタジでした。僕の父ちゃんよりも年上なはずなのに、「ワオー」って感じ（笑）。あの人こそ伝説の格闘家ですね（キッパリ）。

——新日本での連敗記録のハシリとなったのが（笑）、話題になった飯塚選手との一連の闘いなんだけど、小川vs橋本戦と同日の飯塚高史戦（4・7）はどうでした?

村上 いやー、僕もかなり力入ってたんですけど、向こうもかなり力入ってましたね。イケル! と思ったら負けてましたって感じですね。

——飯塚選手とまたやってみたいという気持ちは?

村上 もうジャンジャンやりたいですね!

——ジャンジャン! ビートたけしじゃないんですから（笑）。

村上 別に飯塚選手だけじゃなくて、誰でもいい! いま試合があったら、チェーンソーとか持っていって、ロープをブッた切ってやりたいくらいです!

——は? なぜチェーンソー?

村上 ウハハハハァ。それくらい暴れ回りたいということです!

——試合の組まれていない最近は、ふだん何やってるんですか?

村上 練習と広報活動!

——ガハハハ。広報活動! 今日はFMラジオの収録もありましたしね。（P79参照）

村上 は～い。RIMさんと対談しました。

——いきなり小川選手に呼び出されて練習相手を務めたりとかもするんですか?

村上 そうですね。小川さんが相手だと、僕はもうボロボロです。

——ボロボロ（笑）。小川選手といえば、ヒクソン戦が浮上してますけど、実現したらどうなると思いますか?

村上 うーん……最短! 何秒だろうな～、取りあえずは、カップラーメンが出来るまでに終わっちゃうんじゃないですかねぇ。

——カップラーメンは出来上がらない?

村上 出来上がらないですね。お湯沸かすことまで考えたら。

——細かいな（笑）。村上選手から見ると、小川さんが「殺る!」ということですね。

村上 そうですね。僕もやってほしいし。ヒクソンは、格闘技のほうから見れば正統派ですけど、やっぱり勝っておもしろいのはヒールでしょ。小川さんにスーパーヒールになってほしいです。久しぶりにみんなの前で「やっぱり、オーちゃんはヒール野郎だった」っていう姿を見せてほしいですね（笑）。

——ガハハハ。スーパーヒールときましたか。

村上 あのTシャツの飛行機ポーズがどう変わって、どういうポーズで帰って行くのか見てみたいですね。それがダチョウのポーズとかに変わったらおもしろいですけどね。

UFOの[illegible]
村上一成の波乱万丈人生!!

ミスターXは凄い! 僕らより子供心ありますよ! あの人こそ伝説の格闘家!

KAZUNARI

——なぜだ!? ダチョウのポーズって、村上さんがよくやるやつですよね（P78の写真参照）。

村上 はい！ もしヒクソン戦が、決まったらそれしか僕には指導できないんで（笑）。他は全部指導されっぱなしなんで、それだけは指導したいと思います（笑）。

——小川選手の強さって、やっぱりケタ違い？

村上 も～う、ケタ違いですね。精神面も強いし、実力も兼ね備えてるんで。

——昔、柔道時代にオリンピックで銀メダルに甘んじた時は、「小川は精神面が弱い」とか叩かれまくりましたけどね。

村上 その当時のことはよくわからないですけど、少なくとも僕が見てる限り、いまはそういうのはないですね。食事とか生活の中で制限したり、何に関しても、「やるからにはやる」という気持ちがヒシヒシ伝わって来るし。そういうところは凄く見習いたいですね。そういうことが自然に出来るところが小川さんは強い。とりあえず、自分が決めたら引かない人なんで、それが逆に強さに繋がってると思いますね。「勝たなきゃ」じゃなくて、「必ず勝つ」という意志があるから、それが凄くプラスに作用してると思いますね。自信とプレッシャーをうまくミックスさせられる人ですね。なかなか、それが出来ないんですよ。僕みたいに、「コノヤロー！」とだけ思って行ったら、空回りして負けちゃったりするから。ヌハハハハァ。ガス欠。ガス欠！

——ガス欠しないような強さがオーちゃんにはあると（笑）。でも、小川対ヒクソン戦が実現して、小川選手が勝ったとしたら、むしろその後にどうやってプロレス界にフィードバックさせるかという問題のほうが大きいですよね。要するに、これからマット界をどういう方向性で盛り上げるのかという。

村上 そうですね。小川さんが勝てば、小川さんも言ってる「プロレスも格闘技もないんだよ」っていうのが、一つの終止符というか、その証明になると思うんですよ。その中で、格闘家と言われる人も、気持ち的にプロレスと境目を作っている人たちも、プロレスに出てきてほしいという気持ちですね。俺らも格闘技に出て行くんだから、そういう風に気持ち的に境目を持ってる人たちも、プロレスに出てきてほしい。ファンの人たちも、そういう垣根を取っぱらって、プロレスと格闘技のいいところを融合って言うんですか？ そうできたらおもしろいと思いますし。（プロレスも格闘技も）どっちも無いものねだりだと思うんで、そういう状況は良くないと思うんですよ。だから、僕は天真爛漫に行きたい！

——ガハハハ。実にゴーインですね。そろそろUFOの自主興行も見たいですしね。

村上 ホントですよ！ 何でやんないんですかねえ。やってくださいよ！

——いや、ボクに言われても（笑）。村上さんは、敢えて言えば、いまのプロレスで一番嫌いなところはどういうとこ？

村上 うーん、厳しさが足りない！ 僕は頭が足りない！ ヌハハハハァ。いや、もっとガンガン行っていいと思うんですけどねぇ。でも最近は誰でも同じに見えちゃうじゃないですか。十人十色で、顔も技量もみんな違えば、やることも違ってくるはずなんですけどね。勝ち負けには、もちろんこだわらなきゃいけないですけど、「勝ち負けなんかどうだっていい。とりあえず行くぜ」という気持ちは必要だと思いますね。うちの会長がよく言ってますけど、踏み出さなければ道はないというのは、まさにその通りだと思うんですよ。

——確かに、いろんなことに躊躇するプロレスラーが多くなってる気はしますね。

村上 だから僕は、そういう風にはなりたくないし、それだけは肝に命じておきたい。その気持ちがなくなれば、僕がリングに上がることはないですね。

——それがなくなったら、村上一成じゃなくなると。

村上 僕はプロレスラーでも格闘家でもどっちでもいいんです。一人の村上一成という人間ですから。確かに「プロレスラー」ということに誇りを持たなければならないんですけど、自分は村上一成というキャラですから。「プロレスラーとしての村上という部分」は付属品みたいなものなんで、軽いタッチで捉えてほしいです。

——ガハハハハ。軽いタッチときましたか！

村上 というのは、プロレスというものが先にありきじゃなくて、たまたま猪木会長と小川さんという凄い人たちに出会って、その人たちの共通点がたまたま「プロレス」だったんです。もし違うものだったら違う世界に入っていたかもしれないですよ。もし猪木会長や小川さんの共通点が「ペンキ屋」だったらペンキ屋になってたかもしれない。

——素敵なペンキ屋です！（笑）。

村上 猪木会長と出会ったのはショックでしたね。いままでの人生何やってたんだろうと思って恥ずかしくなりましたね。そういう人に出会ったからプロレスに入ったんですよ。

——プロレスではなくて、猪木さんという人に感銘を受けたと。それはよくわかるなぁ。

村上 やっぱり猪木会長とかと接してると、ホント、いまのプロレス界には厳しさが足りないかなぁと思いますね。生意気なようですけど、そう感じるんだから、しょうがないで

5・5、中西&永田のIWGPタッグ選手権に挑んだ村上だったが、パートナーのオーちゃんの負傷が響きロンリーバトル。「伝統の王座」奪取は成らず。セコンドに付いた謎の白覆面の再登場はいつだ!?

突然ですがこの娘たちは誰でしょう？
答えはP79へ

MURAKAMI

小川vsヒクソン？ とりあえずカップラーメンが出来上がるまでに終わっちゃうんじゃ…

す。ヌハハハァ。

――いつ何時でも天真爛漫（笑）。でも、いまは幸か不幸か、試合が少ないおかげで、プロレス界を客観的に見れるんじゃないですか？

村上 そうですね、いろんな流れとか、いろんな団体を見て、やっぱりサザ波状態かなと。一人の力では無理だと思うんで、業界の人間がみんなでスクラムを組んで、大きな波を起こしたいですね。人数が多ければデカイ波は立ちますから。その波を、いかに消えさせずに保って行けるかというのが大事だと思うし、その波の一員になれればいいかなと思いますね。

――意外といいこと言いますね（笑）。

村上 ヌハハハァ。

――つまり、とにかく面白い事がやりたいってことですね（笑）。

村上 ああ～、それですよ！ 面白いことがやりてえぇぇ！ 人生楽しく、一回きりしかないんですから。

――その前に早く試合をしろよ！ と読者が言ってます（笑）。

村上 は～い（かわいらしく）。

――でも8・7には、なんと新宿プロレスに出るんですよね？

村上 出ます！ やっと試合が決まりました。ファンの皆さんは円卓で中華のフルコースを食べているという（笑）。

――なんか、ストリップやコントまであるという、何が起こるかわからない闇市みたいな空間らしいですね（笑）。一つ前の試合が福岡ドームという巨大なところだったけど、キャパの大きさにこだわりとかはないんですか？

村上 関係ないです！ いつ何時、どこに上がろうと変わらない！ 変わったらやってられないでしょう。そうなったら、もうやめた方がいいですね。円卓で飯でも食いますよ、客になって。

――キャパの小さな所でバチバチやるっていうのは、初期バトラーツのスタイルだったわけだけど、3・25の札幌でのバトラーツの試合（アレクサンダー大塚&村上一成vs石川雄規&佐野なおき）は、実におもしろかったですね。

村上 本当ですか？

――札幌まで行った甲斐がありました。

村上 そう言われる試合をしていきたいですね。逆に見に来なかった人を残念がらせたい。そこでしか見れなかったという試合を見せたいですね。

――今後も上がるリングは限定しない？

村上 全然しないです。とりあえず上がれて、楽しくやれればいいかなぁ～って（かわいらしく）。ヌハハハハァ。

――村上選手の試合は、技なんか、ミドルキックと払い腰とマウント取ってのパンチ、それしかない（笑）。でもおもしろいのは、"ヒト対ヒト"のせめぎ合いが見えるからなんですよね。いまのプロレスって"機械対機械"みたいな試合が多いじゃないですか？ 技も感情も機械的に出してるようにしか見えない試合も多いでしょ。

村上 後ろで誰かリモコンいじってそうですよね。それもコードレスじゃなくて、紐で繋がってる昔の子供用のやつ。

――猪木さんが、パラオのイノキ・アイランドで永田選手に向かって、星空を指さして、「こういう星を見ながらでも格闘芸術は考えられるんだぜ」って言ったらしいですよ（笑）。

村上 あ～。僕はむしろ、そういう方が探せる気がするんですよ。頭を真っ白にしろってことじゃないですか。黒板を真っ白にしろってことですかね。だから僕は、1試合1試合、新しいキャンパスに絵を描こうかなと。

――全然格闘技に関係ないところにも、「プロレス」を考える土壌はあるんですよね。

オーちゃんvs破壊王が行われた4・7東京ドームで行われた、村上vs飯塚高史のミレニアム遺恨マッチ。内容では圧倒バ倒三昧の村上だったが、1・4のタッグ同様、最後に"絞め"られてしまった

村上 僕は猪木会長にお会いすると、必ず「おい、村上、遊んでるか？」って聞かれるんですよ。で、「いえ、遊んでません！」って緊張しながら答えると、「おまえは伸びねえな。たまには遊ばねえとな」って言われるんですよ。

――ダハハハハ！ 伸びませんか。

村上 で、次にお会いしたときも「おい、村上、遊んでるか？」って聞かれるんですよ。で、「はい！ 遊んでます！」って答えると、「おまえは伸びねえな。遊んでばっかいねえで練習しろ」って言われるんですよ。

――ガハハハハ。いい話だ。

村上 も～う、どっちなんだかよくわからない（笑）。だから、自分の容量が10じゃダメなんだと思いましたね。13くらいに容量を上げないと、会長は奥が深すぎますね。

――猪木さんに憧れてたレスラーというと、バトの石川社長だけど、石川社長との絡みは、いつもおもしろいですね。凄いし。他の選手と石川社長ではどこが違うんですか？

村上 向こうの潰してやろうっていうのが、凄く伝わってくるんで、こっちもムキになって潰してやろうって感じですね。

――さっきの札幌の時も2人で、バチバチやり合って、ムキになった子供の喧嘩みたいでしたからね（笑）。しかもド迫力の。

村上 めちゃくちゃデカくて強い子供同士みたいでしたね。でも、僕はこれからも子供で行きます！

――ミスターXに負けるな（笑）。

村上 面白おかしく、感じるままに、そして

厳しく！

――では、ここでちょっと話を変えて、アマチュア時代の村上さんを振り返ってみたいんですよ。96年でしたよね、バート・ベイルとやったのは？

村上 忘れました（笑）。

――ズコッ！ アルティメット大会が世に出てきたときに、アメリカで行われた円形の金網で闘うエクストリームにいきなり出たわけですよね。

村上 あ〜、そうですね。

――このときは村上さんはまだ慧舟會所属の柔術家？

村上 ま、格闘家じゃないですか？ みんな「格闘家」って言ってましたよね。

――金網に入ろうと思ったのはなぜですか？

村上 軽いノリでしょうねぇ。

――ガハハハ!! 軽いタッチで（笑）。

村上 なんか、慧舟會の守山代表に呼ばれて「オマエ、出てみるか？」「あ、出ます」っていうノリだったんですよね。

――当時はアルティメットとか、バーリ・トゥードっていうものに対しての認識はあった？

村上 あ、ありましたね。自分にそんな話が来るとは思わなかったですけどね。僕が出るって決めたときは、ちょっとは周囲の評価が上がりましたね（笑）。

――グラウンドでの顔面パンチの練習はしてたんですか？

村上 してましたね。ほとんどグローブでやってましたけど、タックルに入って、倒してから殴りに行くっていう。スタンディングに対しては、変に覚えてもしょうがないから、ガードの練習でしたね。

――僕は現場では見てないんですけど、バート・ベイル戦は覚えてますか？

村上 あ〜、覚えてますよ。真正面から行っても相手は力が凄いから、とりあえず組みつこうと思って、フェイントかけて後ろに組みついたんですよ。で〜も、岩みたいで動かないんですよ、力が強くて。

猪木会長に「おい、村上、おまえ遊んでるか？」って聞かれるんですよ

UFOの核弾頭 村上 波瀾万丈人生!!

――ベイルはチカラビト・タイプですからね。

村上 膠着状態から、離れたら、ヒザ蹴り喰らって殴られて、「ヤバイ、殺される！」と思って。その瞬間にはブチ切れてるんだけど、裏拳飛ばして、膝蹴り入れて、左ストレート2発入れて、倒れたところに上から乗っかったんですよ。

――しかしよく覚えてますね（笑）。

村上 で、もうポジションとか関係なく、ここぞとばかりにボコボコ顔面殴ってたら、止められたんですよ。レフェリーストップですね（裁定はTKO）。ストップかけられたんですけど、普通はそこで勝ちじゃないですか。だけど、ドクターチェックが入ったんですよ。おかしいなぁと思ったら、後で聞いたんですけど、僕は向こうをスターにするためのかませ犬だったんですよ。それはないだろう？って。でも、ザマアミロですけどね。

――96年10月18日、オクラホマ州タルサの地で、〝海外の金網バーリ・トゥードで初勝利を挙げた日本人〟が誕生したわけですね。当時は、村上さんは無名だったんだけど、初めて金網に入った感触っていうのは、どうだったんですか？ しかも場所はアメリカだし。

村上 凄いですね、野次が！「ブーッ！」って。それが性に合ったのかなんなのかわかんないですけど、緊張の〝き〟の字もなかったですね（笑）。僕、試合の30分ぐらい前に、デッカいゴミ箱にケツから入って写真撮ってますからね。

――ガハハハ！ 天真爛漫すぎるというかなんというか（笑）。

村上 全然緊張しなくって、怒られましたからね。「もうちょっと緊張したほうがいいよ」って。ウハハハハァ。出て行く瞬間ぐらいは緊張すると思ったんですけど、そうでもなかったですね。

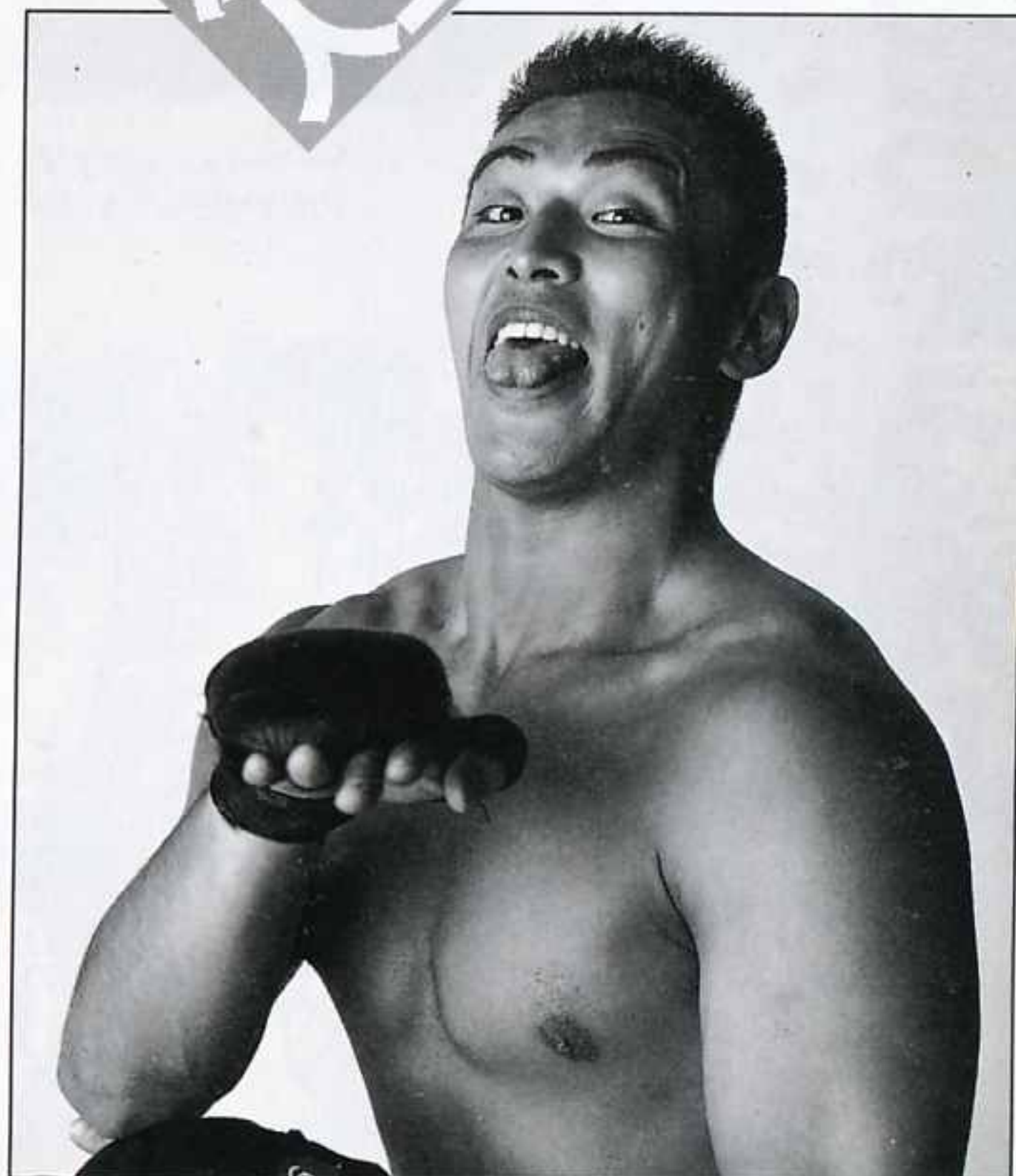
――当時のバーリ・トゥードのイメージは、ホントに陰惨な感じだったから、「命懸け」というのが、より増幅されてましたよね。

村上 入場では気は引き締まりましたけど、金網に入ったからって緊張するわけでもないし。「殺らなきゃ、殺られる」っていう感覚があったから、もう開き直りましたね。自分の本当の肝っ玉っていうか、〝芯〟の気持ちっていうのが逆に見えましたよね。大抵「怖いな」っていうストッパーがかかるんですけど、そのストッパーが消えた状態の〝芯〟の気持ちっていうのは、ああいうとこに行けばわかるっていうか。本当に自分が肝っ玉が据わってるかどうか試すには、切羽詰まったほうがいいんじゃねぇかって感じはしますよね。

――逆に、切羽詰まんないと弱い（笑）。

村上 弱いですねぇ（笑）。困っちゃう。僕はガンガン行くほうですからね。

――そのバート・ベイル戦の翌年には、当時のエクストリーム・ヘビー級王者のモーリス・スミスとやりましたよね（97年3月）。これも当時は、無謀と言われましたね。

村上 賭けですね（笑）。僕がバート・ベイルに勝った日のメインがモーリスのタイトルマッチだったんですよ。そこでセミファイナルで僕が勝っちゃったから、「次はモーリスとやれ」って言われたんですよ。しかも試合

が終わって移動して、飯食ってるときに。モーリスとは、たまにカタコトですけど喋ったりする仲になってたんで「絶対ヤだ！」と思ったんですよ。

——モーリスは誰に対してもフレンドリーですからね。

村上 だから、「モーリスは、そういうことで相手の油断を誘ってるんだ」っていう暗示を自分にかけたんですよね。そうしないと、絶対試合できなかったですね。

——暗示ればやすし、ですね（笑）。

村上 ヌハハハァ。ウマイ！ でも、そうしないと、殴れるわけないなと思ったし、自分も燃えなきゃ絶対勝てないし。

——実際、金網に入ってモーリスというブランドと向かい合ったときは、どうでした？

村上 もう、行くしかないと思いましたね！「とりあえず、ブッ叩いてやる」と思ってましたから。僕、絶対寝技しかやらないゾと思ってたんですよ。遠目から飛び込んで、タックル入るフリをしたら、アゴがガラ空きだったんで、バコーンって殴ったら、そのままズドーンってダウンしたから、「オ〜ッ、イケる!!」と思ったんですよ。でも、僕は「イケる」と思っちゃうと弱いんですよね（笑）。

——ガハハハ！ お調子者ってやつですか。

村上 油断。「イケる」と思ってたら、やっぱりヤツは冷静ですよね。巷で言う猪木vsアリ状態になって、僕、25発ぐらい足蹴られましたよ。でも僕は「イケる！」って思ってるんで、わざとアゴ上げとけば殴って来るだろう、その瞬間に足払いでもかけてブッ倒そうと思ってたんですよ。そしたら、まんまとヤツの間合いに入っちゃって、気がついたら俺、担架に乗ってました！ ヌハハハハァ。

——笑ってる場合じゃない（笑）。

村上 その前に変なことがあったんですよね。ウォーミングアップで外に走りに行ったときに、救急車が止まってたんですよ。「この救急車、派手だな〜、こんなの乗りたくねぇな〜」って言ってたら、まんまと乗るハメになっちゃって（笑）。

——その素敵な救急車に（笑）。

村上 素敵でシュールで（笑）。

——でも、そのエクストリームの一戦で〝村上一成〟っていう名前が格闘技ファンの間に認知されましたからね。

村上 そうですねぇ。

——そのあとは、『PRIDE．1』（97・10・11）が初めてですよね、日本でプロのリングに上がったのは。

村上 そうですね、第一試合で（1R1分34秒、腕ひしぎ逆十字でジョン・ディクソンに勝利）。

——そういう過程を経て、いま、村上さんはプロレスラーになったわけだけど、『PRIDE・1』の闘いを見て、「この選手はプロ向きだな」って思ったんですよ。そのあとの一連の闘いぶりを見ても「やっぱりプロ向きだな」っていうのがあって、「闘いを通してなにかを表現したいんだろうな」っていうのは思いましたよ。

村上 やるからには一番その会場で目立ちたいと思いますから。でも本当にそれを考え始めたのは、UFOに来てからですね。どう考えても小川さんより目立てるわけないし、他にも有名な選手はいっぱいいるわけですよね。その中で自分の試合がズバ抜けるには、どうしなきゃいけないかって。猪木会長の言葉じゃないけど、逆に勝ち負けにこだわってたら、考えられないですね。「負けてもいいから行くぜ！」っていうぐらいの勢いじゃないといけないのかなって思いますね。

——なにかを「突き刺すぜ！」っていう。

村上 ブチ込むゼ！（笑）。

——いま、誰と闘いたいとかはないんですか？

村上 ないです。僕がもう1人いたら面白いとは思うんですけどね。ド突き合えば。

——ああ、同じタイプで。

村上 とりあえず僕が2人いたら、リングの上にあぐらかいて、向き合って喋り始めますね。さわりだけで3日間行けますよ。水分ナシ対決！

——ダハハハ！ なにを言ってるんだか、さっぱりわかりません（笑）。この勢いで、早くUFOの自主興行ができることを期待してます。

村上 一生懸命がんばりま〜す。軽いタッチで（笑）。

というわけで、ミクスチャー・バージョンでお届けした村上一成インタビューはいかがだったろうか。軽い？ ヌハハハハハァ。例えそうだとしても、この勢いは貴重だぜ。次に村上が姿を現すのは8・7の『新宿プロレス』に決定した。

『新宿プロレス』を破壊しろ、村上！ そして新しい時代のプロレスを創造するんだ。破壊と創造のために、飛べ、UFOの核弾頭！

えー、それでは最後に……。村上は勢いを止めたとき、闘いを忘れたときに落ちてゆく。いまこそッ！ 格闘ロマンの道を突っ走れーッ！ 行きますかーーーーッ（どこへ？）

7・10、新宿・東京大飯店で行われた『新宿プロレス』の旗揚げ戦。全試合終了後、挨拶のためリングに上がった村上には、すさまじい勢いの歓声が送られた。8・7には、この「元気が一番」な男のファイトが炸裂する

FMラジオ、NACK5の音楽番組「ROCK'N EXPLOSION」にゲスト出演した村上。パーソナリティの、1650B'wayのRIMちゃんは村上の大ファンだった（いや、これホント）

8・7には村上も参戦する「新宿プロレス」イメージガール オーディションに応募、殺到ーッ!!

南部虎弾が実行委員長を務める『プロレスをおもしろがる会』が毎月主催していく『新宿プロレス』が、7月18日、プロレストークショーの殿堂・渋谷ロックウエストでイメージガール公開オーディションを行った。しかし、さすが「公式記録一切なし」を謳う、アジアの蜃気楼のような「新宿プロレス」だけに、グランプリはなし！ 筆記試験、自己アピール、水着審査などをくぐり抜けた20名の中から、寺沢香帆、中里優奈、穂積ようこ、浅川乃乃、中澤なつき、梨和舞の各ちゃん（意味わかりますね）の6名が勝ち残る形となった。このうちの何名かは、8・7にデビューする。標榜するのが“R指定プロレス”だけに、なぜか審査員として参加した本誌編集長も水着審査ではヨダレを流すことこの上なし！ おい、山口ィ、『紙プロ』を頼むゾーッ！

残った6名の中の梨和舞ちゃん、歌いますかーーッ！

激戦すぎてグランプリは選べなかったというか

南部虎弾、石川雄規審査員が6名とンムフフフ

G.C.M. PRESENTS
C3 2K
THE CONTENDERS 3
2000

7・1 ZEPP TOKYO

CONTENDERS 2000

ディファ有明オープンの7月1日、同じベイエリアにある『Zepp Tokyo』では、組み技系なんでもあり大会『コンテンダーズ』が開催された。ファッション誌等でもお馴染みの宇野薫がプロデューサーを務めるだけあって、演出面は、凝りまくりのCGや有名DJの起用等、まさに"今風"。もちろんリングの上も可能性の玉手箱だ。今風の風に乗れ！

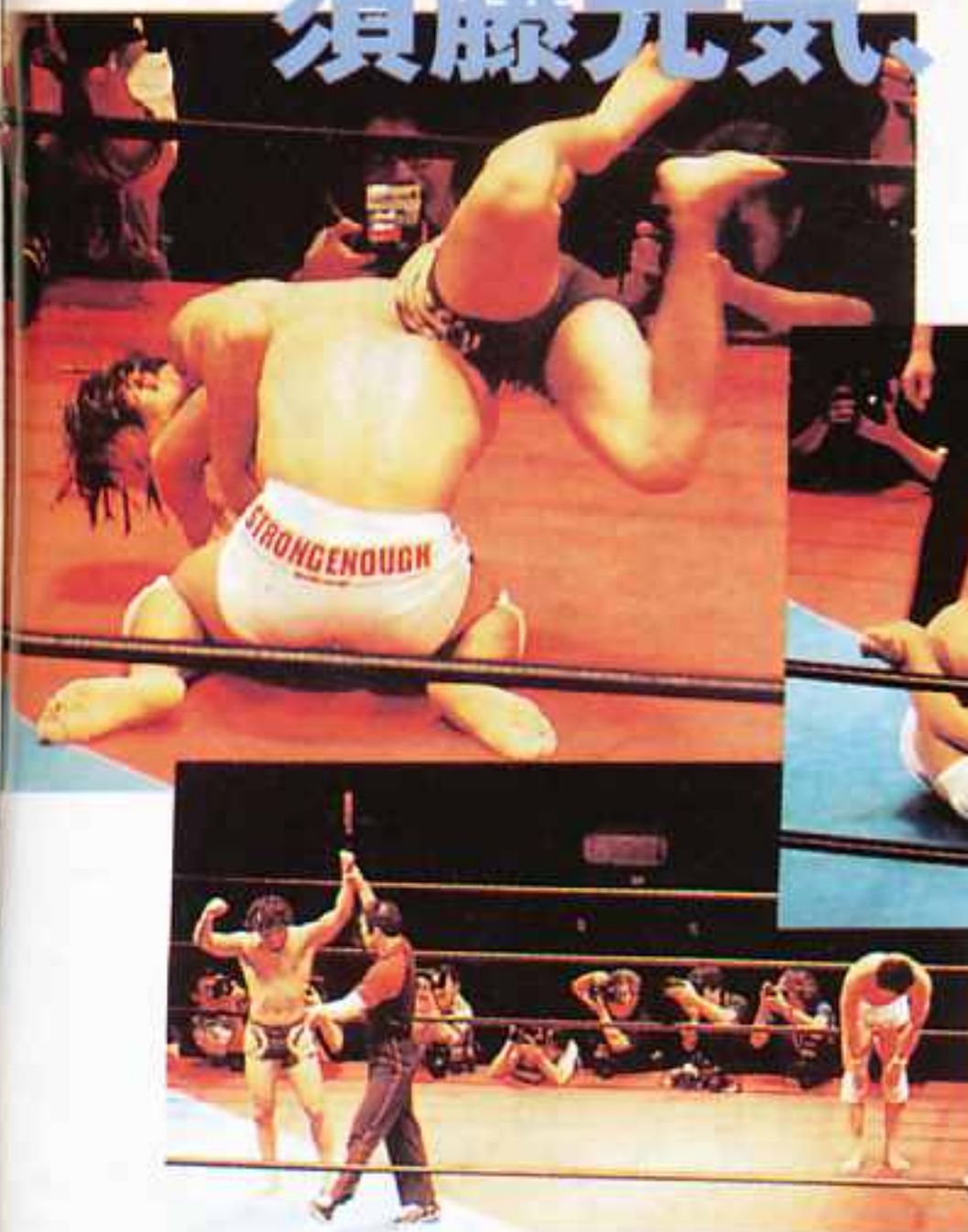
"今風"とはこういうことさ！

時代に乗り遅れたくなかったら今すぐ『コンテンダーズ』にリンクせよ！

常に時代の先っちょをいく闘いを見せる男

矢野卓見（烏合会）

矢野卓見、巧み！

須藤元気、元気！

この日のメインイベントは修斗チャンプ・宇野薫VSパンクラシスト・須藤元気という、まさにディス・イズ・コンテンダーズな一戦。結果からいうと、判定ながら宇野から勝利を収めた須藤。これまで、その入場パフォーマンス（この日はロボット）などからイロモノと思われがちだった須藤だったが、この勝利で一気に評価を高めた。

アマレス出身で現在はキャプチャー所属のニーハオ。インディーにも強い選手がいるということを証明してほしかったが、大山峻護選手に判定負けを喫してしまった。試合後「心の準備はできてたけど、体の準備がちょっとね（苦笑）。作戦ミスです。でもチャンスがあれば、またやりたいっスね」と語っていたニーハオ。ナイス・チャレンジ！

サラリーマンは強いんです！

ライトヘビー級トーナメントを制した矢野は「サラリーマンは強いんです」とサク風のマイクアピール。確かにプロレスラーでも弱い人はいるけど「サラリーマンにも強い人はいるんです！」ぐらいで良かったんでは？ 大きなお世話でした。

この日のMVPは文句なしに矢野卓見！ マスカラスばりのヘッドシザースで相手を絞め落とすという離れ技を見せた矢野。試合後、相手が落ちているのに気がつくと、すぐさま活を入れ蘇生させた。いい人だ。【左上】矢野は今年3月のアブダビでも柔術界の強豪アレクサンドレ・ソカ相手にヘッドシザースを極めていた（結果は負け）。

え～、まずはじめに、今回の『コンテンダーズ』で突出した存在感を示したのが、烏合会の矢野卓見である。その試合にハズレなし。一度見ても損はないはず…ちゅーか、見ないと損です！

というわけで、スケールは違うが、まさに日本版のアブダビ・コンバットと言える大会が、この組み技系なんでもあり大会『コンテンダーズ』である。

宇野薫プロデューサーによる"今風"の演出というハード面ばかりクローズアップされがちな『コンテンダーズ』ではあるが、ソフト面での充実ぶりも見逃せない。今回も、パンクラス、修斗からインディープロレス団体キャプチャー所属のニーハオまで、ひとつのリングに集結したのだ。

組み技限定というのも大きいのだろうが、主催するWKネットワークのフットワークの軽さとニュートラルな姿勢も見逃せない。関係者によると、次回大会には、リングスの選手を必ず出場させたいとのことなので、夢の対決の可能性はますます広がる5秒前！

たとえば、『コンテンダーズ』と同じく"今風"が売りのノア勢参戦も有り得ない話ではない。力道山ジュニア・百田光雄の全日本キックへの参加（レフェリーではあるが）など、格闘技団体にも積極的に選手を派遣していきそうなムードが充満している。本田多聞VS高阪剛戦、永源遥vs小路晃戦などビッグマッチのネタは尽きない。

ハード面では、マット界のぶっちぎりの最先端をいっている『コンテンダーズ』。ソフト面も、この勢いで、これまで以上に団体の垣根を越えた闘いは加速していくことだろう。

ズバリ言って、マット界が乱れ混乱した時こそ『コンテンダーズ』の出番というか！ 注目です！

（チョロ）

夏男宣言!?
G-1 ガイジン CLIMAX

リングスで3連続KO勝ち!

ボビー・ホワイト

本誌特選

ニューカマーなのに、特濃"昭和外人レスラー"風味

リングス発

猛暑をさらに暑くする男ども!

本誌独占

あくまで強く豪快で、それでいてちょっぴりオチャメでウサン臭い。そんな僕らが愛した80年代テイストの外人がなぜかリングスには続々登場する。そんな男たちの誰れもやらないインタビューに夢として挑戦するのも『紙プロ』のロマンというか！「平成の外人レスラーはどうにも薄味で物足りない」とお嘆きの、ミスター高橋の名著「陽気な裸のギャングたち」世代のアナタに贈る『紙プロ』かのお中元！では、いきますか――ッ!!

ゲオルギー・[illegible]

6・15代々木で笑ブレイク!

夏男宣言 ガイジンG1 CLIMAX

ボビー・ホフマン

ブレーキの壊れたダンプカーがリングスに正面衝突!!

殴って、殴って、また殴る！　そんな『K戦法』すらも超越した、豪快かつ頭を使わない闘いぶりでKOの山を築く男がいる、それがボビー・ホフマンだ！　アメフトで夢破れ、バーの用心棒を経てNHBの世界に入るという、まさにスタン・ハンセンチックな経歴をもつこの男。リングに上がれば誰であろうと叩きのめすのみ！　たとえそれがオレのおフクロでもな！

聞き手／堀江ガンツ
interview by Gunts Horie
撮影／森鷹博
photographs by Morry
試合撮影／乾晋也
photographs by Shinnya Inui

──リングス参戦後3連続KO勝ちおめでとうございます！　まずは昨日の試合（6・15代々木第2体育館　VSアリスター・オーフレイム戦）の感想から教えて下さい。

ホフマン　ヘッヘッヘ。まだオレの拳に昨日のパンチの感触が残ってるぜ、会心の一撃ってヤツだ。でもアリスター・オーフレイムって野郎はなかなかいいファイターだったぜ。このオレを恐れずに前へ前へ向かって来た勇気は誉めてやりたいね。まぁ、その勇気が仇となって病院送りになるハメになっちまったんだがな、ガッハハハハハ！

──豪快ですねぇ（笑）。それにしてもアリスター戦のフィニッシュ・ブローはもの凄い迫力でしたね。パンチというよりほとんどラリアートですよ（笑）。

ホフマン　アリスターが膝蹴りで来ることはわかってたから、あの時はセコンドから蹴り足を掴んでフックを打ってみろっていう指示がでたんだ。オレもそのつもりだったんだけど、アリスターが向かってきたらそんな指示はスッカリ忘れて、思いっきりブン殴っちまった（笑）。それがうまく当たったな。

──普通のフックと違ってもの凄い遠い軌道のパンチだったんですけど、ああいうパンチは練習してるんですか？

ホフマン　あんなパンチは練習しねぇよな（笑）。本能のままに出ちまったパンチだよ。オレは生まれたときからパワフルだったんだ。右のパンチが強いのは当然だが実は左のパンチもすげぇんだぜ。だから左を打っておいて、右でフィニッシュっていうのがオレのフェイバリット・テクニックだよ。

──ホフマン選手は、いまのNHB（ノーホルズ・バード＝バーリ・トゥード）の世界で自分よりパンチの強い選手はいると思いますか？

ホフマン　それは非常に難しい質問だ。誰でもタイミング次第でいいパンチが打てることがあるからな。でも今んところオレより強いパンチを打つ奴にはお目にかかったことはねぇよ（キッパリ）。

──『PRIDE』で活躍しているイゴール・ボブチャンチンはご存じですか？

ホフマン　知ってるけど、会ったことはない。なかなかチャンスはないと思うが、いつかはヤツともどっちがホントのハード・パンチャーかわからせてやるよ。

──ところでアリスター戦ではいつものようにパンチオンリーではなく、腕十字やアームロックなど関節技も試みてましたよね。

ホフマン　ヘッヘッヘ。お前さんはオレのサブミッションをヘタクソだって言いてぇんだろ（ニヤリ）。

──い、いや、滅相もありません！（バレた）。

ホフマン　まぁ、いい。オレは以前はサブミ

今んところ、自分以上のハードパンチャーにお目にかかったことはねぇな

ッションなんて何の興味もなかったからな。あんな糞つまらねぇモノってな（笑）。

――あんな寝っ転がってゴロゴロしてるのはつまらない（笑）。

ホフマン　そうだ。「ファイト」ってもんは殴り合うモンだと思ってたんだ。でも、パット・ミレティッチ（現・UFCライト級王者で、ジャレミー・ホーンらの師匠）のところでトレーニングをし始めたり、リングスに出場してみてから、サブミッションの重要性ってもんがわかったんだ。

――やはりパンチだけじゃ勝ち続けるのは難しい、と。

ホフマン　そうだな、サブミッション自体がゲームの一部だし、サブミッションが出来ることでパンチのエネルギーも増すことがわかったんだ。それにジェレミー・ホーンなんかと練習するとあいつらはサブミッションが上手いから、オレの方が身体がデカイのに悲鳴を上げさせられるんだ（苦笑）。

――それは悔しいですよね（笑）。

ホフマン　それでオレもやりたくなっちまって半年前から練習を始めたんだよ。だからオレもサブミッションに関してはまだまだグリーン・ボーイだから、昨日は試しにやってみただけだよ。

――では、いまはストライカーからトータル・ファイターに脱皮を図っているところなんですね。

ホフマン　もちろん、これからも相手をブン殴ってKOするのは変わらないけどな。ただ、いままで2敗してるんだが、より強くなるためにはサブミッションが重要だと感じたんだ。だからオレはもっともっと強くなる！

――では、このへんでホフマン選手がファイターになるまでの話を伺いたいんですけど。以前から随分ケンカ屋としては鳴らしてたらしいですね？

ホフマン　そう、ケンカこそオレの人生だ！

――ケンカこそ我が人生！（笑）。

ホフマン　ケンカがオレの格闘技のスタートだし、それでいろんなトラブルも起こしたよ。でも、オレはハッキリ言ってケンカは強いぞ。

――ホフマン選手を見て、ケンカが弱そうと思う人はいないと思います（笑）。ケンカに目覚めたのはいつ頃なんですか？

ホフマン　ケンカ自体は小さい頃からやっていたけど、オレのノー・ホールズ・バードのデビューと言えるのは大学7年のとき大学内でやった果たし合いだな。

――大学構内で果たし合いをしましたか！（笑）。

ホフマン　そう、凄い数の生徒が見に来たよ。いま思えばこの時から観客の前で人をぶっ飛ばす快感を覚えちまったんだな（笑）。それを皮切りに大学時代は強いやつには片っ端からケンカしてやったよ。一度人前でケンカに勝つ快楽を覚えちまったら自分のコントロールが利かなくなったんだ。まぁ、SEXみたいなもんだな。ガッハッハッハッ！

――ケンカも女もサル並だった、と（笑）。そのあとNHBの世界に入ったんですか？

ホフマン　いや、オレは夢であったNFLのクリーブランド・ブラウンズに入団できたんだ。オレはクォーターバックだったんだが、自分のプレイで観客を興奮させるっていう快感は何事にも代え難いよ。でも公式戦に1試合も出場出来ないままクビになっちまったんだよ。それからは絵に描いたような転落人生だ。バーに行っちゃあ暴れる毎日さ。

――アメリカのバーっていうのは、そういうケンカや揉め事が頻繁にあるモンなんですか？

ホフマン　バーでの揉め事は毎日だよ。だから毎日がNHBの試合みたいなもんさ。バーでケンカをすると周りで飲んでた連中がギャラリーとして集まって来るんだ。あの頃のオレにとっちゃあ、バーで酔っぱらいの歓声を浴びながら相手を叩き潰すってことがこの上ないハッピーだったんだよ。

――とんでもないことに快楽を感じるものですね（笑）。

ホフマン　ハッピーであると同時に自分が自分らしい、と感じられる瞬間は人前でケンカに勝つことだけだったんだ（しみじみ）。

――そうなると、人をブン殴ってお金になるいまの職業は最高なんじゃないですか？

ホフマン　そう、天職だ！　それにブン殴ってもブタ箱に入らなくて済むことが何よりも素晴らしい！（笑）。

――やっぱりケンカで刑務所に入れられたことがあるんですね（笑）。

ホフマン　そう！　ブタ箱に入れられたのはバーで用心棒してたときだけどな。

――え!?　用心棒もしてたんですか？

ホフマン　オレは客で来てたときに連戦連勝だったんで、その暴れっぷりを買われて用心棒にスカウトされたんだよ（笑）。

――アハハハ！　いきなり逆の立場になったんですね。

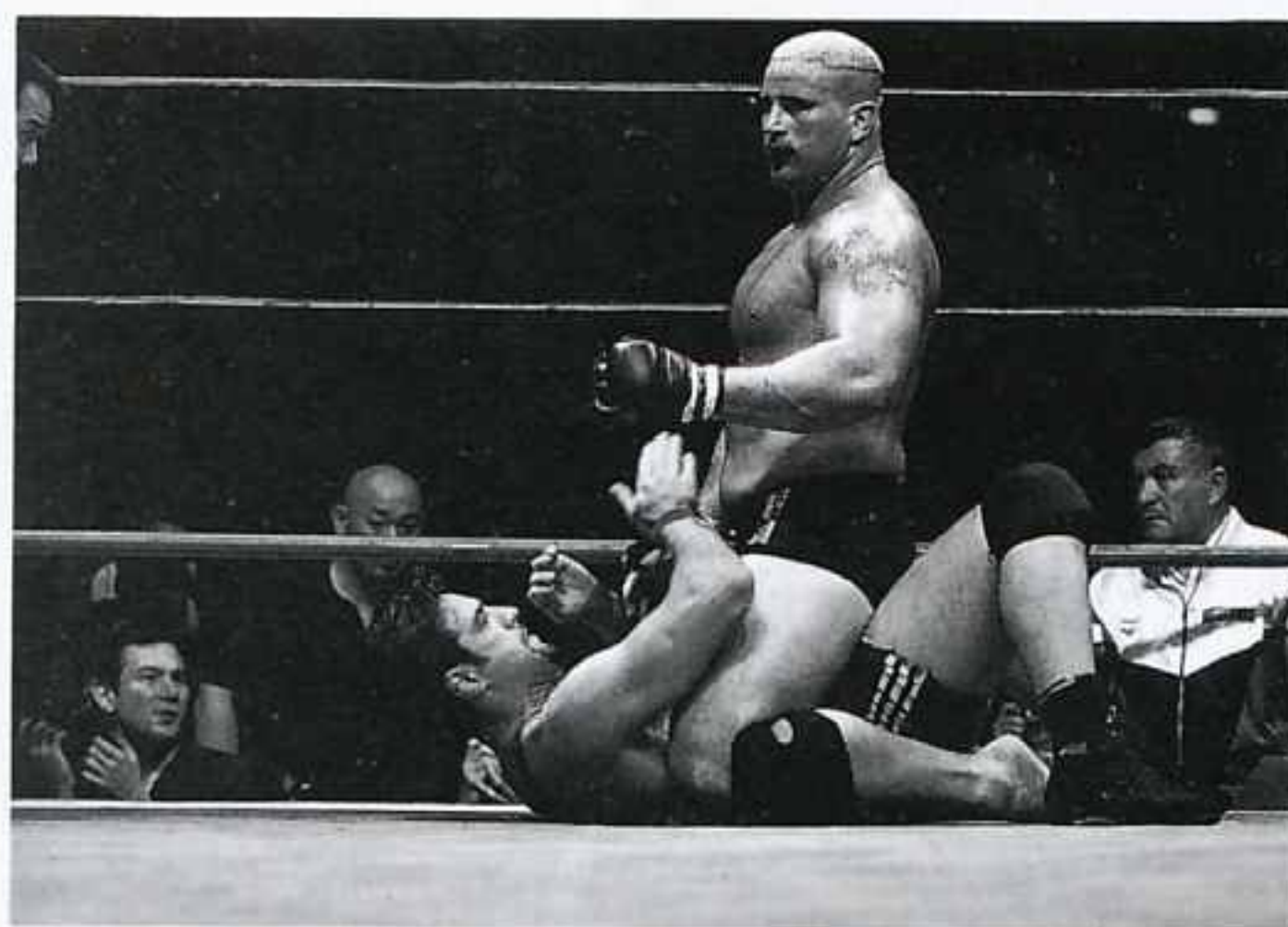
ホフマン　でも、やることは酔っぱらいをKOすることだから、客の頃と変わんねぇんだけどな（笑）。毎日、暴れる酔っぱらいをぶっとばすわけだけど、どうも必要以上にブン殴りすぎちまうんだ（笑）。

――過剰防衛も甚だしい、と（笑）。

ホフマン　おかげで9ヶ月間臭い飯を食うハメになったぜ（笑）。そんな生活してたもんだから、ケンカをしなきゃ気が済まないような体になっちまったんだよ（笑）。

――アハハハ！　ケンカ禁断症状がでてしまう、と（笑）。

ホフマン　NHBに出会ってなかったらと思うとホントにゾッとするぜ。だからオレにと

Play Back 怒涛の3連続KO！

◀6・15代々木第2体育館　急成長中のオーフレイム弟の膝蹴りに苦戦するも、ラリアートのような超豪快なパンチで逆転KO。3連勝！

◀4・20代々木第2体育館　田村、TKを苦しめたブルガリアの実力者ジュリアスコフをパワーで圧倒。またもや剛腕フックでKO。

▲2・22日本武道館　あの“柔術怪獣モラエスを破った男”ザザをわずか34秒でKO。衝撃の日本初登場を果たし、勝利の雄叫び。

シャムロックもアボットも、オレと闘うのが怖いんだろうよ！

ってNHBの試合をするってことは、一般社会で生活するためのセラピーというか、リハビリみたいなもんだな（笑）。

——では試合が組まれないと暴れる可能性が非常に高いわけですね（笑）。

ホフマン　だが、誤解するなよ！　プロになってからはリング外では一切ファイトはしてねぇんだ。こう見えてもいまは人々に尊敬されるファイターになろうとしてるんだぜ。だからあんまり昔のことは掘り返すな！（笑）。

——では、話を変えます！　ホフマン選手がいま一番意識してる選手は誰ですか？

ホフマン　デイビット・タンク・アボットとケン・シャムロックだ！

——タンクとシャムロックですか！　暴力の臭いがプンプンしてきますね（笑）。そういえば、ケン・シャムロックとホフマン選手が先日のUFCでケンカになったという噂を聞いたんですけど。

ホフマン　たいした話じゃねぇよ。先週の金曜日にUFCのイベントでライオンズ・デンの選手とオレが所属しているミレティッチのジムで練習してるアマウリ・ビテッチが試合をしたんだよ。その試合のセコンドにオレが付いて、向こうのセコンドにケンが付いた。そんときひと悶着あったんだ。

——どんなことがあったんですか？

ホフマン　あの時はUFCではシューズを履いた選手は蹴りが禁止されているのに、ケンのジムの野郎は蹴ってきやがったんだよ。しかも3回だ！　だからオレは試合中にオクタゴンに入って抗議したんだ。

——オクタゴンに乱入ですか！（笑）。

ホフマン　そう。そしたらケンの野郎が口汚く文句つけてきやがったんで、オレは頭に来て「ここでやってやろうか」って言ってやったんだよ。まぁ、アイツは口だけでやる気はないだろうがね。奴はトークマンだからな。

——ケン・シャムロックのトークマンぶりは日本でも有名ですよ（笑）。

ホフマン　アイツはアメリカだけじゃなくて、日本でもやってやがったのか（笑）。しょうがねぇ奴だ。UFCとWWFの区別もつかない大馬鹿野郎さ！

——ケン・シャムロックのことはもともと嫌いだったんですか？

ホフマン　いや、先週のUFCが初対面だったんで、それまではなんとも思っちゃいなかったよ。初めて会っていきなり大嫌いな奴になったけどな（笑）。まぁ、ケンもファイターとしてはいいファイターだと思うがね。

——ではケンとは闘ってみたいですか？

ホフマン　ああ、もちろんだ。ケン・シャムロックって奴はこの世界ではビッグ・ネームだからな。オレがビッグになるための踏み台にピッタリだぜ（笑）。正直言ってオレはまだ有名じゃないし、名前もないからな。梯子に例えたらオレはいま梯子を猛スピードで駆け上がってるところだが、ケンは梯子の天辺の方にいる。だからケンはオレみたいな選手とは、試合をしたくないだろう。ケンだけじゃなく、みんなオレと試合するのを恐れてやがるんだ。なぜならみんな口には出さねぇけど、潜在的にはオレが強いことを知ってるから蹴落とされるのが怖いんだよ。

——では、挑発したりするのは強引にビッグネームとの対戦機運を高めるためめっていう部分があるんですか？

ホフマン　へっへっへ。そういうことだ（笑）。

——まるでアメリカ版オーちゃんだ（笑）。

ホフマン　なんとかケンの野郎を追いつめて、あいつの口をオレのパンチで塞いでやるから期待しててくれよ（笑）。

——それはぜひ日本で見たいですね（笑）。では、もうひとりタンク・アボット選手と闘いたいというのはどういうことなんですか？

ホフマン　デイビットはUFCに出てた頃はハードパンチャーとして有名で、まあ言ってみたらいまのオレみたいな感じだったろ？　だから早く言えばオレと同じキャラクターはふたりもいらねぇってことよ（笑）。

——キャラが被ってるからジャマ、と（笑）。

ホフマン　だから前に一度ハワイでデイビットに挑戦状を叩きつけてやったんだ。

——また対戦機運を強引に盛り上げるために（笑）。

ホフマン　そしたらアイツはプロレスの世界に逃げやがったんだ。それでチャンスがなくなっちまったんだよ。

——ホフマン選手自身はそのアボットやシャムロックみたいにプロレスのリングで暴れてやろうとは思いませんか？

ホフマン　プロレスには興味があるよ。でも、デイビットみたいにプロレスに上がると、負け役を納得してやらなきゃならねぇときもあるって聞くぜ。デイビットはそれを納得出来たみたいだけど、オレはわざと相手を勝たせて自分が敗者になるなんてことに耐えられるかどうか自信がねぇんだ。マネーのことだけだったら興味は凄くあるんだがな。

——では最後の質問なんですけど、ホフマン選手はWEFの会場でマーク・ケアー選手に対しても例によって挑発したらしいですね？

ホフマン　マーク・ケアーはビッグネームだからな。でもWEFじゃあオレが先輩だ。挨拶がねぇのはおかしいってもんだぜ。

——また見事な不良の論理ですね（笑）。

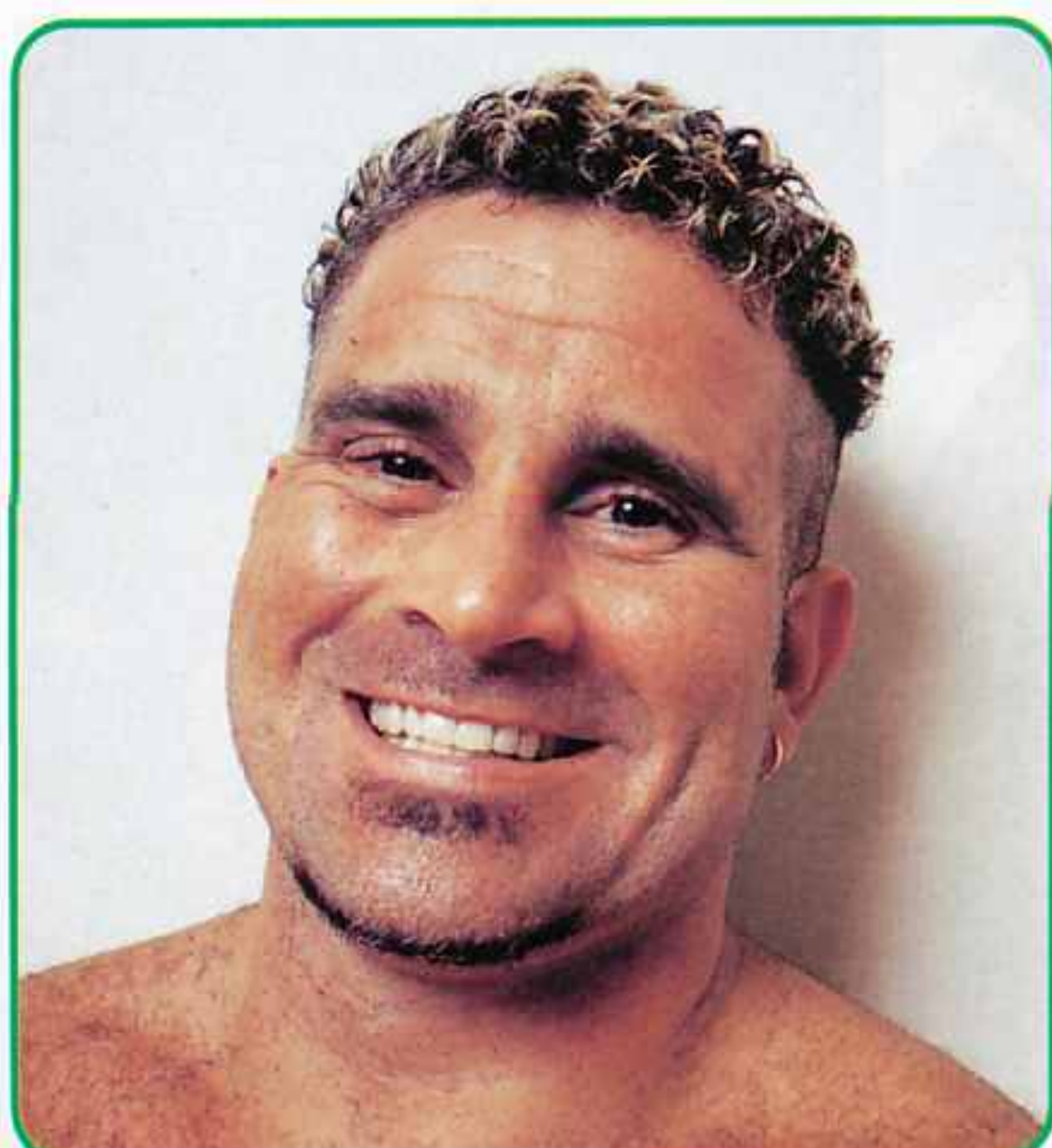
ホフマン　まぁ、マーク・ケアーはグッド・ガイだよ。あいつはプリティー・ボーイ・キャンディー・アスだぜ、ガッハッハッハ！

——は？　〝キャンディー・アス〟ってどういう意味ですか？

ホフマン　アイツの可愛いケツの穴にぶっといモンをブチ込んでやるってことさ（笑）。まぁ、楽しみにしてな。ガッハッハッハ!!

【6月16日・都内某ホテルにて収録】

6・15代々木大会出場後、ホフマンは7・15リングスUSA大会に出場。見事1・2回戦をKO、ギブアップで勝ち上がり9月の決勝トーナメントに駒を進めた。さらに8月にはWEFでマーカス・コナン戦が待ち受けている。ブレーキの壊れたダンプカーはどこまで突っ走るのか？　これからも要注目だ！

PROFILE

Bobby Hoffman　ミレティック・マーシャルアーツ・センター所属。1966年10月28日、アメリカ・アイオワ州出身。184cm、121kg。97年にNHBデビュー。98年にエクストリーム・チャレンジヘビー級王者となり、現在はWEFのヘビー級トップグループで活躍。自ら「ダイブツ（大仏）」と呼ぶ髪型がステキ。

G-1 CLIMAX
夏男宣言!? ガイジン

ブルガリアの静かなるエンターティナー

ゲオルギー・ツベトフ

KOKに迷い込んだ心優しきジューディストリングスで弾ける！

柔道＆サンボでのすさまじい実績以外ベールに包まれたままでのリングス初登場となったゲオルギー・ツベトフ。R・トラヴェンのパンチを顔面で受けつつも、ツベトフはドロップキックやローリングソバットで対抗するというコピィロフ風ファイトで、一夜にして観客のハートを鷲掴みにしたのだった。はたしてこの男、第2のコピィロフになれるのか？

聞き手／松澤チョロ
interview by Choro Matsuzawa
撮影／吉場正和
photographs by Masakazu Yoshiba
試合撮影／乾晋也
photographs by Shinnya Inui

6・15リングス代々木大会で柔術界の強豪ホベルト・トラヴェンと対戦し、惜しくも破れはしたものの、その風貌と観客の目を意識したファイトで会場人気を独り占めしたツベトフ。大会翌日、傷跡も痛々しいツベトフ（＆語りだしたら止まらないリングスブルガリア代表ザハリエフおじさん）を本誌独占直撃！

——いやぁ～、ツベトフさん、それにしてもグッド・ルッキンですねぇ（笑）。

ツベトフ ア、アリガトゴザイマス（照）。

——まずは6・15の試合（対ホベルト・トラヴェン）の感想を聞かせて下さい。

ツベトフ あの～、私はリングスのことは前から好きで何度もビデオでは見ていたんです。いままで、柔道、サンボを長い間やってきたんですけど、ザハリエフ代表から「お前だったらリングスでも十分通用するよ。ワシはお前の力を信じてるからな」と言われたんで、その言葉を信じて試合をしたんですけど……残念ながら負けてしまいました（微笑）。

ザハリエフ ワシは代表として自信を持ってリングスに紹介したんだけど、まあブルガリアの言葉で言えば洗礼を受けたっていう感じだな（苦笑）。ホッホッホ。なあツベトフ？

ツベトフ はい、その通りです（微笑）。

——ツベトフさんはサンボや柔道では凄い実績があるし、寝技には相当自信があると思うんですが、トラヴェン戦では不器用ながら、むしろ打撃の方が目立ってましたね（笑）。

ツベトフ 実はもともと私はカンフーが好きなんです（といってカンフーの構えを何パターンか披露する）。得意な技がいろいろとあるんですよ（微笑）。

——あっ、そうだったんですか（笑）。ということは超低空ソバットや正面飛びドロップキックもカンフー系の技なんですか？

ツベトフ もちろんそうです（笑）。トラヴェンとの試合のための練習は、打撃に重点を置いてやってきましたから。

——やっぱりグラウンドには相当な自信があ

るわけですか？

ツベトフ　もちろんです。グラウンドは自信ありますよ（ニヤリ）。

ザハリエフ　相手は彼がサンボの選手とわかってたんで、とにかくグラウンドに行かせないように一生懸命抵抗してたからな。まあ今回はツベトフの最強の武器を一つも発揮できなかったのが残念なところだな。ホッホッホ。なあツベトフ？

ツベトフ　はい、残念です（微笑）。

——サンビストとしては最初からグローブを付けて闘うつもりはなかったんですか？

ツベトフ　そうですね。私は前のルールは知ってたんですけど、KOKの試合はビデオでも見たことがなかったんですよ。

——えっ、それじゃあ、ぶっつけ本番で試合に挑んだわけですか？

ツベトフ　ルールを、しっかり把握してなかったんで、ちょっと失敗しましたね（微笑）。

ザハリエフ　いまのKOKのビデオを4本送ってもらったんだけど、その中の3本はカラだったんだよ（笑）。なあツベトフ？

ツベトフ　はい、カラでした（微笑）。

——それじゃあ、わかんないですね（笑）。でもツベトフさんは、かなり観客を意識した闘い方をしてたんで観客の反応も非常に良かったんですよ。声援は聞こえてました？

ツベトフ　はい、聞こえました（ニコッ）。私はお客さんのリアクションを見ながら試合をしていたので、結果的には負けてしまいましたが、観客を喜ばせることができたという点では良かったと思ってます。

——それだけ余裕があったということなんですか、それともプロ意識の高さからくるものなんですか？

ツベトフ　両方ですね（微笑）。私は常に闘いを通じて喜びを伝えたい、与えたいと思っているんです。ただ勝ちだけを狙いにいってもお客さんは満足しないだろうし、それはアマチュアがやればいいことだと思ってるんです。確かに勝って満足させるのも大事ですし、素晴らしいとは思うんですけど、それだけじゃプロとしてはダメだと思ってます。やはりプロとして闘うということは、お金を払って見に来てくれたお客さんを満足させるということですから。私はそう思います。

——いやぁ～、実に素晴らしい！　プロフェッショナルですね、ツベトフさん（笑）。

ツベトフ　アリガトゴザイマス（照）。

ザハリエフ　それにツベトフは、会場だけじゃなくブラウン管の向こう側の観客も意識して闘ってたんだよ。なあツベトフ？

ツベトフ　はい、そうです（微笑）。

——あのドロップキックもツベトフさんのプロ意識から飛び出したわけですね（笑）。

ツベトフ　そうです（微笑）。でも、あれは相手を本気でやっつけようと思って出したんですけどね（と言って恥ずかしそうに頭をポリポリ掻くツベトフ）。

——え？　そうだったんですか（笑）。

ツベトフ　アレは私のフィニッシュホールなんです（笑）。3回ほどグラウンドに行こうとしたんですけど、相手が付き合ってくれなかったんで、最後は打撃で行こうと思ったんです。でも相手もいい選手でしたよ。

——再戦をしたら勝てる自信はありますか？

ツベトフ　自信というより、絶対そうなると言えます（キッパリ）。それで、もし再戦の機会があれば、打撃で勝負するんじゃなくてグラウンドで勝負したいですね。私は、あれほど打撃でくる選手と闘ったのは初めてだったんで、打撃も結構もらってしまったんですけど、今度はそうはさせません！

——頼もしい限りですね（笑）。話は変わりますけど、ツベトフさんは母国では何か他にお仕事はされてるんですか？

ツベトフ　私は道場を経営していて、そこで柔道やサンボを教えているんです。ちなみに私はブルガリアの国内大会でサンボでは7回優勝していて、柔道では10回優勝しているんですよ（ニヤリ）。

——そりゃ凄い！　失礼なんですけど、ブルガリアっていうとヨーグルトぐらいしかわからないんですが、サンボとか柔道のレベルっていうのはどんなもんなんですか？

ツベトフ　そこそこですね（微笑）。

——「そこそこ」ですか（笑）。

ツベトフ　でも今度のオリンピックにブルガリアからは柔道代表で2人が行くことになっているし……まあそこそこです（笑）。

——リングスでサンボというと、どうしても（アンドレイ・）コピィロフをはじめとするロシア勢が有名なんですけど、そういった選手と闘った経験はあるんですか？

ザハリエフ　オイオイ、彼はこう見えてもまだ若いんだから（笑）、コピィロフとは時代が全然違うよ。彼が全盛期の時はツベトフはまだ赤ちゃんだったからな。

——ザハリエフさん、それは言い過ぎです（笑）。

（※実際、ツベトフは29歳、コピィロフは35歳と6歳しか違わない）

ツベトフ　でも私は（イリューヒン・）ミーシャと同じ大会に出たことがありますよ。

——その時は対戦したんですか？

ツベトフ　同じ大会に出たんですけど、ミーシャは百キロ級で、私は九十キロ級だったんで、直接対戦はしてないですね。

——今回のパンフレットには「ブルガリアの最終兵器」と書かれてましたけど、ツベトフさんはそういった自覚はあるんですか？

ツベトフ　私はそうは思いませんね。でもリングスブルガリアのエースになりたいとは思っていますので、そのために努力を続けていきます。

ザハリエフ　もちろん彼にはエースを目指してもらいたいが、（得意げに）彼に負けないぐらいの若手が8人もいるんだよ、8人も。ホッホッホ。まあツベトフはエースに成るんじゃないかと思ってるんだけどな。ワシはそうなるように期待してるよ（笑）。

——ボクも期待してます（笑）。さきほどツベトフさんは、リングスの試合をビデオで結構見てると言ってましたよね。

ツベトフ　詳しいですよ（微笑）。私は昔のリングスルールの頃なら大体の選手のことを知ってますから。

——闘ってみたい選手は誰かいますか？

ツベトフ　ミーシャとはゼヒ闘ってみたいで

私は常に闘いを通じて喜びを伝えたい、与えたいと思ってるんです

時にはキック！（かけ声付き）

時にはパンチ！（かけ声付き）

しまいには側転だってしちゃうぞ!!

アブダビコンバットでも優勝経験を持つブラジリアン柔術のトップ、ホベルト・トラヴェンと、昔気質なチカラ人系のツベトフの激突という、これぞリングスワールドとも言える一戦。グラウンドを警戒してパンチ一辺倒のトラヴェンに対し、トリッキーな攻撃で場内を沸かせたツベトフだったが、結果は判定でトラヴェンの勝利。

聞きたいことがあるんですけど、私のヒゲは似合ってますか?

す。あとはコピィロフとかサンボの選手とやってみたいですね。

——それはゼヒ実現してほしいですね。日本人選手では誰かいますか?

ツベトフ　坂田（亘）さんとか田村（潔司）さんと闘ってみたいですね。それとトラヴェン戦は滑川（康仁）さんにセコンドに付いてもらいましたし、仲良くしていただきました。アリガトゴザイマス（笑）。

——それは良かったですね（笑）。ツベトフさん的には、KOKルールより旧リングスルールの方が自分の力を発揮できると思ってるんですか?

ツベトフ　そう思います。KOKルールだと集中力が非常に必要となります。一つでもミスをしたらフィニッシュですから、かなり残酷なルールだと思います。やり直しのチャンスがないですからね。

——ミーシャもそうですけど、サンボ系の選手は同じ様なことを言ってますね。

ツベトフ　例えば、ボクシングもプロスポーツですが、ボクシングは一回ダウンしてもまだチャンスがありますよね。でもKOKルールでは、思い切った技を仕掛けるには、余裕というか勇気がないとできないですから。万が一ミスをしてもロープエスケープもできないし、それで終わりになってしまうんで、どうしても考える時間が長くなるんですよ。

——お客さんを意識した闘いを見せる上では、エスケープがあって、やり直しのあるルールの方が闘いやすいわけですね。

ツベトフ　その通りです。観客は勝ち負けを知りたいだけじゃなくて、試合の流れで面白い技とかテクニックを見たいと思っているだろうから、それを見せられるのは旧リングスルールだと思うんですけどね。だからといって、KOKルールが嫌だというわけじゃないですよ（笑）。今度試合があったら必ず面白い試合をお見せしますから。

——プロとしてキャリアの浅いツベトフさんから、こんなにプロ意識溢れる言葉が出てくるとは思わなかったです（笑）。でも、リング上でのイメージと違って、普段はおとなしそうな感じですね。

ツベトフ　私は普段は穏やかな男です。

——あまりケンカとかするタイプじゃないですよね?

ツベトフ　私は全ての人を愛しているのでケンカなんてする必要はないと思います（微笑）。

——ピュアハートですね（笑）。

ツベトフ　私は対戦相手に負けることを望んでるわけじゃないんですけど、相手が持っている全ての力を出せるように祈っているんです。相手に対して常にグッドラックの気持ちを持って闘っていますから。

——相手の力を十分引き出した上で、最終的に勝てたら万々歳というわけですね。

ツベトフ　そういうことです。アマチュアの世界では単純に強い者が勝ちます。しかしプロは勝つだけじゃダメなんです。そう思いませんか?

——いや、全くその通りだと思います。

ツベトフ　ただ唯一エチケットというのがあって、ルールを破らないことは非常に大事なことだと思います。

ザハリエフ　う〜ん、それは大事なことだ。（頼もしそうな目でツベトフを見て）いいこと言うなぁツベトフ?

ツベトフ　は、はい（微笑）。私はリングスのことが好きなんで何回でも呼んでほしいんですよ。今年の暮れにまたKOKのトーナメントがあると聞いたんで、ゼヒ参加させて欲しいんです。前田（日明）さんに会う機会があったら伝えてくれませんか?

——わ、わかりました（笑）。まあ心配しなくても昨日のツベトフさんへの大歓声を聞いたら呼んでくれるとは思いますけどね。

ツベトフ　その言葉を信じてます（笑）。今回、私に声援を送ってくれた人達にもっともっといい試合を見せたいですし、満足させる試合をすることを誓います!

ザハリエフ　ワシも誓うよ（笑）。ホッホッホ。なあツベトフ?

ツベトフ　は? はい（微笑）。ちょっと聞きたいことがあるんですけど、私のヒゲは似合ってますか?

——ヒャハハハ。どうしたんですか、突然（笑）。凄く似合ってますよ。

ツベトフ　アリガトゴザイマス（ニコッ）。ビデオを見る限りでは、リングスにはヒゲモジャの選手がいなかったんで、こういう風にしてみたんですよ。もし似合わないって言うんだったら剃ろうかと思ってたんですけどね。

——とことんプロフェッショナルですね。胸毛と、そのヒゲ面はツベトフさんのチャームポイントなんで迷わず伸ばして下さい（笑）。

【6月16日・都内某ホテルにて収録】

Gueorguiev Tzvetkov

【げおるぎー・つべとふ】リングス・ブルガリア所属。1971年7月10日、ブルガリア・ソフィア出身。181㎝、100kg。柔道とサンボのブルガリア・ナショナルチームに所属。1994〜1999年のブルガリア国内選手権で6連覇し、1993年〜1996年ブルガリア国内サンボ選手権4連覇という輝かしい実績を持つ。その実績からいってKOKルールを把握したらとんでもないことが起こるのは間違いない。ちなみに、ツベトフは二人の息子を持つ優しいパパでもある。

取材後、ザハリエフ代表から「とってもおいしいチーズを食べさせてあげよう！　ホッホッホ」と大量のチーズをごちそうになりました。とてもおいしかったです。さすがブルガリア！　読者プレゼントにしようかとも思ったのですが、時節柄、乳製品はあぶないのでやめました。

夏休みはリングスに行かねば！

8・23大阪 大爆発の予感！

田村、UFC王者と激突

田村潔司 vs パット・ミレティッチ

ヘビー級史上最高の技術戦か!?

髙阪剛 vs アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

夏休みの思い出に

ダン・スバーン vs アンドレイ・コピィロフ

灼熱の大阪で KOK 格闘新次元に突入!!

リングス真夏のビッグイベント、8・23大阪大会の主要5カードが決定！　まさに「密航して下さい」と言わんばかりの好カードがズラリと出揃った。

まず、実に8ヶ月ぶりの日本マット登場となるTKは、柔術無差別級王者ノゲイラと激突！　ノゲイラはKOK準決勝では優勝したヘンダーソンに不可解な(？)判定負けを喫したが、事実上の優勝者の声も多い実力者。それだけに、この8ヶ月間でKOKルールで勝つための闘いを研究してきたTKとの一戦は、これまでのKOKスタイルから、さらに時代を一歩踏み出すような闘いとなるだろう。

そしてエース田村は、UFCライト級王者ミレティッチと対戦。ミレティッチは日本でこそ比較的無名ながら、アメリカNHB界では誰もが認める実力派の大物。田村にとってはまたもや負けられないハイリスクな闘いであるが、この相手に勝てば、ヘンゾ戦に続いて再び「TAMURA」の名を世界に轟せるチャンスでもある。

バーリ・トゥードの闘い方が平均化されてきた昨今。大会の度に新たな闘い模様が見られるリングスこそが、現在最も“運動体”としての機能をはたしている“場”である。その最前線で、現時点では“見返り”の少ないハイリスクな闘いに打って出る田村、TKらリングス勢。いま最も見なくてはならない“旬”な闘いがそこにある！（ガンツ）

金ちゃんも出場決定!
金原弘光VSジョー・スリック
他1試合

Millennium Combine Ⅲ
8月23日(水)大阪府立体育会館
18:00 GONG!
RRS/20,000円～スタンドB/3,000円
チケットぴあ、ローソン・チケット他で絶賛発売中
お問い合せ/リングス大阪インフォメーション
06−6364−9115

注目

KOK最強の男(？)R・アローナ

アブダビ王者・ヒカルド・アローナがリングス2度目の襲来！　4・20代々木ではコピィロフに大差の(ジャッジ、ドールマン20対10！)判定勝ちを治めたアローナが、ジェレミー・ホーンと激突することが決定した。アローナはヘンゾをして「KOKルールなら誰も勝てない」と最強の太鼓判を押した超実力派。田村も苦戦したジェレミーの鉄壁の守りをはたして崩すことができるか？　KOKの真髄を見せるような闘いになることは間違いない！

1968年3月9日生まれ。178センチ、78キロ。ミレティッチ・マーシャルアーツ・センター主宰。98年に初代UFCライト級王者になり、今年6月9日に3度目の防衛に成功した、アメリカNHB界のライト級最強の男。柔術、レスリング、ムエタイ、ボクシングをマスターした、隙のないコンプリート・ファイターである。J・ホーン、B・ホフマンらを育てた名伯楽としても有名。今回が待望の日本初ファイト。いきなり田村との日米頂上対決となる。

パット・ミレティッチProfile

前号で大反響を呼んだ衝撃のインタビュー!! 後半も凄いぞ!!

世紀末のマット界に君臨する“凄顔”ことTK（髙阪剛）の“凄親”の爆裂秘話第二弾

“おかん”

超ロングインタビュー Part.2

TKのツッコミ付!?

“世界のTK”のおかん

髙阪フミさん

「お母さん、おふくろ、ママ……さまざまな呼称のある中で、現代における“おかん”というフレーズはまったく高阪フミさんのためにあるようなものだ」（愛知県・真下純子さん・30歳、他同様のハガキ多数）というわけで爆発的大反響の“TKのおかん”こと高阪フミさんの超ロングインタビュー！　今回はその後編である さまざまな「おかんプロジェクト」が動き出す中、今号も張り切って行ってみよう!

撮影／善本喜一郎

聞き手／原タコヤキ君改め原一博（メディアプルポ）
interview by Ippaku Hara

写真提供／おかん
photographs by Okan

取材協力／マガジンハウス relax 編集部

リングス観てるとスナック行かなくていいんですわ。一時間ぐらい大声で叫んでいられるから（笑）

前号までのあらすじ■大人しく、いつも泣いていたTK少年は柔道を始めたことによって、身体も大きくなり自信をつけていく。それを温かく見守るおかん。やがて、東レに就職して社会人柔道で活躍するTKだったが、自らの将来を「リングスに懸けたい」とおかんに告げる。

――しかし、高阪さんから突然そんなこと言われて、お母さんもそりゃあ驚いたでしょうね。

おかん　もう私ね、この子は私の体の中から初めていなくなった思うてね。でもその時は許されへんかったんですよ。それで私もね、「ご飯どうするんや！　どうやってご飯炊くんや！」とか、そんなどうでもええことばっかり言うてたんですよ（笑）。

――まあご飯はええとしても（笑）。

おかん　そしたら「おかん、ちょっと黙ってくれるか。俺、おとんと話してくる」って言うて二階に上がっていったから「ちょっと待て！」言うてついて行ったんですよ。そしたらお父さんの部屋のドアの前で「ここからは入らんでくれるか」って言われてドア閉められてしまったんですよ。もう私悲しくて悲しくて、台所でワンワン泣いていたんですよ。そしたらお父さんが下りてきて「もうな、剛はな、誰が何言うたかって行くんやから、気持ちよう行かせてやれ」って言って。それでもういよいよ家を出るっていう日にね……。これはホンマですよ、私の作り話やないですよ。

――はいはい。

おかん　朝、剛がね、「おとん、頭にバリカン入れてくれ」言うて。「おとん、俺はな、もう俗社会とは違う生き方すんねん。向こう行く時はな、その思いをキチッと見せなアカンねん。だから丸坊主にしてくれ」って言うて。もう五分刈りとかそんなんちゃいますわ。ピッカピカの丸坊主にしましたんですわ！　もうその時は私ひとりだけ泣いていたんですけどね（笑）。

――ドラマチックやなあ。

おかん　それから一年たたない内にデビューしたんですよ、あの子。そやから新弟子も一年やってないくらいでしょうけど、それでもねえ、向こうの状況はよくわからへんけど、先輩にモノを食べさすことが重要やって言うてたんですよ。私が電話した時なんかに「野菜料理でなにかオレが作れそうなものあったら教えてくれ」って聞かれたりとかね。

TK秘蔵写真館 その5
あまだ小学校の頃のTK少年。
この頃はかわいらしさしか感じられないのだが……。

――最初はちゃんこ番ですからね。

おかん　それでそのね、鍋だけの料理やなくして、違ったものも作りたいからいうて、料理の本も買うてきたりして勉強したらしいですわ。とにかく先輩にどうやって喜んでもらえるかということでね。結局あの子はね、どうやって人を喜ばすかっていうことにすっごく努力する子なんですよね。だから私もね、なんかかんか作り方教えたりしてね。

――デビューする前の新弟子期間っていうのは、凄い過酷なわけですよ。特にリングスの前田道場といえば、そのへんは特に厳しいですしね。その間に高阪さんは電話とかで泣き言とか言いませんでした？

おかん　それは一切言いませんでしたわ！　でもね、デビューしてプロになって一年ぐらいしてから、泣き言やないけども、食べ物を作ったりすることが凄く大変や言うてましたわ。結局ね、食べ物を作るのはイヤやないけども、ただそこにあるもので作ればいいっていうだけやないんですわ。あの子の場合は、買い出しから冷蔵庫の中に何が入ってるかとか、材料を腐らしたらアカンとか、そういうことまで考える子なんですよ。そういうのがね、何回も何回も続いてくると、自分の本分である練習に、気持ちが向きにくくなったのが、やっぱり辛かったんやろうね。

――生真面目やから、自分を追い込むんでしょうね。

おかん　そうなんですわ。それで私がね、「前田さんにパートに雇ってもらってご飯作りに行ったろか」って言うたら「おかんが来たら助かるなあ」言うてましたよ。もちろん私はそんな気は毛頭ないですけどね（笑）。

――あったら怖いですよ！（笑）。

おかん　その一回ですね。だからあの滑川（康仁）さんが入った時はほんとに喜んでましたわ。

――高阪さんがいちばん下っていう時期が長かったんですよ。

おかん　それで私も「お前がまた大変になるんやから、絶対辞めささんようにね！」って言うたったんですよ（笑）。

――ワハハハ！　すべては我が子のため（笑）。

おかん　それでもね、剛は滑川さんを思う気持ちも強かったんですよ。自分がかかってたプレッシャーを、彼には感じさせたくないっていうことを考えてたみたいですよ。だから、自分が不本意でやらされてたことは、絶対滑川さんにさせへんって言うてましたよ。

――なるほどねえ。後輩思いでもありますね。それでまあ、高阪さんがデビューするまでの間に、お母さんのことやからリングスだとか総合格闘技というものを勉強されたと思うんですけど。

おかん　勉強しましたよ！　一体

前田日明さんって何なんやろって思ってね。もう剛にとっては私よりも大事な人なんですよ。言うてみたら、私を騙して一時帰国してたわけやから、滋賀に（笑）。大学ん時から前田さんへの思いがあったんですよ。だからね、私はひょっとしたら前田さんという人が剛を騙してるんとちゃうかと思って（笑）、あの子、スッテンテンにされるんちゃうんかなって思うてね、前田さんの本を読みました。それを読んだらあの人も同じ近畿の人やったんですよ。もう、それ読んで、この人も大阪の人やから、そんなに悪い人やないやろて思ってね（笑）。

――やっぱり大阪人は最高ですから（笑）。

おかん　まあ、そこから入って、最初のとこだけ読んだらやめるつもりで掃除機かけながら読んでたんですわ。ところが読んでいったら、私と考えてることがピッタンコなんですよ！　私が剛に柔道させた時には、あの子には本物を知ってほしいっていう気持ちがあって始めさせたんですけど、その考え方と同じなんですわ。この人は本物のことをやりたがってる人やなあ思って。だから、私から剛が抜けたわけじゃなくて、私と同じ人を見つけたんやなあって思うたんですわ。

――またどえらい解釈ですね（笑）。前田さんとお母さんは同じですか！

おかん　まあ同じ人やないんですけど（笑）。でもそれからは、あーもうこの人に剛のこと、お願いしようと思うてね。それからは、なにがなんでもあの人が喜ぶことをするのが、アンタが決めた道でいちばん大事なことや言うたんですよ。だから、デビューするまでは前田さんの側にいてあっちこっち行かせてもらってる中で、やっぱりいつもカバンの中に針箱持って歩いたりとか、前田さんが疲れたって思うたら、いちばん最初にタオル持って汗ふきにいくとか、そういうことを心がけてたみたいですねえ。だから、いっつもけったいな袋を肩からぶら下げててね、何が入ってるんやろ思ってたんですけどね、そういう前田さんに必要なものが入ってたんですねえ。

――はあー。見上げた男ですねえ。『紙プロ』の若い衆に聞かせてやりたいですよ（笑）。

おかん　ですから、剛がデビューして、何度か負けるじゃないですか。それは、自分やなくて前田さんに良くないことやちゅうふうな、そういうことが剛を強くしていったんでしょうなあ。

――自分のためでなく、すべては前田さんのためにですね。

おかん　だからね、とにかく剛がデビューして、試合で勝つことが前田さんへの恩返しやって、それを私はね、剛にいちばん植え付けたことですわ。だからデビュー戦は勝ちはしたけど、前田さんに謝ってましたわ。みっともない勝ち方してしまったって言うて。もう私は、それがほんとの心やと思いましたよ。やっぱり、自分が教わった部分を全部出せればもっとちゃんとした勝ち方ができたやろなっていう気持ちがあったでしょうからね。

――なんかいちいち高阪さんらしいですね。ボクの中の高阪さんと一致しますよ、お母さんの話を聞いてると。でもお子さんの試合を通して、格闘技の見方も変わったんじゃないですか？

おかん　私はそれからねえ、プロレスが好きになってねえ。プロレスっていうかリングスが好きになったんですよ。他のは観ないんですけど、剛が出てなくてもリングスは観るんですよ。それで、こないだ賞金がかかったあの試合なんかはね、剛は一回目は出なかったでしょう。

――KOKトーナメントの一回戦ですね。あの代々木大会は出ませんでした。

おかん　そのね、一回目の試合見た時に、もう私はこれは面白いと思いましたよ。

――それまでのリングスの試合とルールが変わったんですよね。

おかん　それでさっそくシアトルに電話入れてね、「今度のルールは面白いっ！　もうアンタみたいなグズのやり方ではアカン」って言うたんですよ（笑）。

――ハハハ。まあ、膠着したらすぐ立たされますからね（笑）。

おかん　だからね、リングス観てるともうスナック行かなくていいんですわ。

――なんですかそれ（笑）。

おかん　ずうっと二時間ぐらい大声で叫んでられるから（笑）。

――ああ、カラオケ歌わなくていいってことですね（笑）。

おかん　アッハッハッハッ、そうそう。だってスナック行っても二時間歌いっぱなしにさせてくれへんでしょう？

――リングスがスナック代わりってのはいいですね（笑）。ところで、お母さんは高阪選手の他に好きな選手とかいるんですか？

おかん　私？　田村さん好きなんですわ（笑）。

――じゃあ田村さんvs高阪さんなんていったら大変ですねえ、応援する時。

おかん　やりましたよねえ。一回目は負けて、二回目で引き分けになって、武道館の時は剛が一本勝

TK秘蔵写真館 その6

中学校の頃のＴＫ少年。いきなり現在への助走のような顔に！

田村さん好きですわ。あの顔の雰囲気がいい！ 剛みたいに崩れてないもん。剛は最近、ガッツ石松に似てきたでしょう？

ちしたでしょう。でもね、とにかくあの引き分けの時はね、二階の柵があるところまで来て観てたんですよ。でも、そこまで行ったらアカンのですよ。もう落ちるから（笑）。

——ハハハハハ。

おかん それでまた、剛（つよし）と潔司（きよし）で同じトーンですやん？

——ああ、語呂的にね（笑）。

おかん だからどっち応援してるかわからへんみたいですよ、周りは（笑）。でも田村さんは好きですわ。あの顔の雰囲気がいい！ 剛みたいに崩れてないもん。

——ワハハハ！ 我が子なのに（笑）。

おかん それで最近特にやけど、ガッツ石松に似てきたでしょう（笑）。ガッツ石松に怒られるかもしれんけど。

——ウワッハッハ！ いやあ男らしい無骨な顔ですけどねえ（笑）。

おかん そうですよお。そういえば『紙のプロレス』で剛を表紙に載せてくれたことあったでしょう？

——"見てみいこの面!" ですね。

おかん その本を探してたわけやないけど、本屋に行ったらそれを読んでる人がいて、なんか見たことある顔やなあ思うて一瞬わからなかったんですよ。ほんで、立ち読みしてる人に「すいません、その本なんですか？」って聞いたら「『紙のプロレス』です」って教えてくれたんで、「ちょっと、この表紙の人、私の息子です！」って言うて。

——その人もいきなりそんなこと言われて驚いたでしょうね（笑）。

おかん それで、たまたま剛のこと知ってて。また、レジにいる女の子も知ってたんですよ。だから、いまでは剛が出てる雑誌があったら、その本屋に電話してとっといてもらうんですよ。

——お母さんは高阪さんが出てる記事とかは残してるんですか？

おかん もうほとんど読んで残してますよ。

——でも辛辣なこと書かれてて気分が悪くなることもあるんじゃないですか？

おかん どんなこと書かれても、私は全然怒りません。あのー、なんていう人かなあこういう字ぃ書く人。

——ああ、安田拡了さんですね。

おかん あの人、私の思いと同じこといっつも書かはるんですわ。

——へえ。実際、高阪さんに試合のことで色々お母さんからアドバイスすることとかあるんですか？

おかん 私はしますよお。あのタリエルだかなんだかとやる時は、鉄棒のいちばん低い所をくぐる練習せえ言うんですよ。あの人の股くぐって後ろからやれって（笑）。

——ハハハハハ。そういう時は、高阪さんはなんて言うんですか？

おかん 「ああもうわかってるわかってる」って（笑）。

——でまあ、デビューされて順調に実績をあげていったんですよね、高阪さんは。それで、シアトル行きの話が出たじゃないですか。あの時はどういう気持ちだったんですか？

おかん シアトル行きの話の時もね、その年の五月にポコッと実家に帰ってきたんですよ。普段は正月だろうがなんだろうが帰ってこないんですけど。

——大阪の試合の時なんかは実家に帰ってると思ってたんですけど。

おかん あーもう寄りつきもしない。それで帰ってきたと思ったら、「アメリカに行く」って言うやないですか。だから「アンタ、アメリカ行くって言うけど、もしかしたらアメリカに住むのと違うんやろね？」って聞いたら、「住むんや」って言うから「なんでそういうことするねん！」って言うたんですよ。そしたら、「そんなんな、日本からアメリカが離れてるって思うからアカンのや。違うんやぞ。住所が日本からアメリカいう名前に変わるだけや。俺も滋賀から東京に変わったら東京の住所を言うやろ。そんなもんや」って言われて、私もなんとなく、ああそうかあて思うてしまったんですよ。

——うまく騙されましたねえ（笑）。

おかん ねえ（笑）。それでまあ「向こう着いたらちゃんと電話かけて住所言うからな」って言って、ちゃんと着いたらすぐ電話よこしたんですよ。それで私も、ああ住所変わるだけってこういうことなんやなって思うてね。それで落ちついた頃に手紙出したんですよ。私も一生懸命滋賀県のスペル作って、そんでついたかなあ思うて電話かけたら、いっくらかけても出えへんのですわ。

——あら。

おかん そしたらそれが時差いうことやったんですわ。夜中やった

TK秘蔵写真館 その6

永久保存版！ 高阪家三兄弟そろい踏みSHOTだ！
左が長男、右が次男で、真ん中が末っ子のＴＫ。ホントに一番上のお兄さんとはそっくりだ。

から電話の音、小さくしてるみたいやからねえ。でも私はそんなこと知らへんかったから、それ見てみいって思ったんですよ。とにかく電話が届くところっていうのが絶対条件やったんですから。やっぱりあいつ、なんかしでかそうとしてると思って（笑）。

——心配してはったんですねえ。

おかん 心配してましたわあ。それでね、八月に行って、翌年の七月に長男夫婦に行ってもらったんですわ。

——また偵察ですか（笑）。

おかん そう。どんなところに住んでどういうもん食べてるかって（笑）。それでビデオ撮ってもらってね、だいたいのことがわかったんですわ。まあ、お米もあるみたいやしちゅうことでね。それで私が今年の三月に、人の話だけやとあてにならんからいうて、行ったんですわ、シアトル。いいとこでしたねえ。原さんは行きました？

——行ってないですねえ。ウチの編集長は行きまたてけど。

おかん いいとこですよお。日本に近い感じなんですよ。

——お母さんひとりで行ったんですか？

おかん いや、お父さんと。もう、すんごく楽しい思いしましたよ！　でね、私アメリカいうたらみんな鉄砲持ち歩いてるって思うてたんで、それだけが心配やったんですよ。そしたら、日本と違うて、家の中に入るまでにいくつもカギ開けなアカンようになってて、私それ見て安心したんですわ。それで、お父さんと外に出てふたりでいろんなとこ行ったんですよ。片言の英語でねえ。銀行で両替までしましたよ。それで二時間ぐらい遊んで帰ってきたら、剛が心配して「いつ電話かかってくるか気になってたんやぞ」って言うて。私は「お父さんが『いいちこ』を呑みたいいうから探してきたんや」って言ったんですよ（笑）。

——あっちに『いいちこ』ってあるんですか？（笑）。

おかん それが剛の家のすぐ近所の酒屋にありましたんですよ！　でもその酒屋のことは、あの子ちっとも知りませんでしたよ。だから、いかに練習しかやってないかがわかりましたわ。もうモーリスのジムと自分の家しかないんですわ。だから、女の子見てる暇もないんですわ。

——でも、ちょっとぐらい見ろと（笑）。

おかん ホンマですわ！　でもあのモーリスいう人もほんとにいい人ですね。

——コーチとしても非常に優秀やって話ですし。でも当初、高阪さんは「アメリカで道場を作りたい。永住する覚悟です」って言ってましたけど、もしそうなったらどうです？

おかん ああ、今はもう賛成ですわ。だって私らが行ってもホテル代いらないからねえ。

——ワハハハ。そういう意味ですか（笑）。最終的には高阪さんにどういう選手になってほしいですか？

おかん 勝ち負けは大事ですけど、まあとにかくね、なにがなんでもちゅう勝ちかたよりも、自分の闘ってる姿が明らかに他人にわかるような選手になってほしいですね。

——ということは、真剣勝負しながらも、お客さんが喜ぶ闘いをする選手になってほしいっていうことですね。

おかん そうそう、そうですわ。ですから、アイブルに負けてばっかりいますけど（取材はアイブル移籍以前）、やっぱり剛の努力が足りないんやって私は言ってるんですよ。私は別にアイブルのことは知りませんけど、やっぱり頭の先から足の先までハングリー精神がもの凄い出てますわ。それはやっぱり大事なことなんですわ。どんな仕事でもそれがないと成功しないと思うんですわ。ですから私は、あの人を倒すひとつの技を思いついたんですよ。ジャンプ力つけて、ピョーンと飛んで頭のてっぺんからデーンて落ちて、頭に抱きついて、そこらのもん見えんようにしい言うたんですよ（笑）。

——とんでもない作戦を授けましたね（笑）。

おかん こないだ、あの子がWOWOWでリングスの解説しましたでしょ？　私が言うのもなんですけど、わかりやすかったんですよ。

——口が達者ですもん、あの人。

おかん 相手の選手の中身をきちんと話してましたしね。ですからね、内容がわからない人でも、選手の持ち味とかそういうもんを、わかりながら見られるなあって思って。そしたら剛の持ってるなんとかメールに「あんまり上手に解説されると、試合に出ないでそっちの道に進むのかと心配になるので、あんまり上手に解説しないでください」て入ってたらしいですよ（笑）。

——こないだ東京で格闘技のトークイベント（KOKトーナメント決勝戦前夜の『紙プロ』トークショー）で、僕が司会やらせてもらったんですけど、高阪さんにゲストに来てもらったんですわ。も〜うファンに大好評でしたよ。高阪さんの喋りは面白いって言うて。

おかん そうですかあ（笑）。もう家でもね、家族全員あの子の話聞きたくってしゃーないんですわ。それがなんの話でも。聞いたらみんな爆笑もんですわ。だからあの子が帰ってくるのをみんな楽しみにしてますよ。

——これだけ長い間お話をうかがったんですけど、最後にお母さん

おかんプロフィール■本名・高阪フミさん。TKが出場している大会に行けば、ほとんど毎回聞くことが出来る「ツヨシィィィィ〜！」のかけ声でプロレスファンにもお馴染み。なぜか、オシャレ雑誌『ｒｅｌａｘ』（マガジンハウス刊）でも、爆発的におもしろい人生相談を連載中。ちなみに、前号のTKのツッコミを読んだおかんは、「やっぱあの子はかわいそうに頭打ってるから、昔のことなーんも覚えてないんだわ」と一刀両断した模様（情報提供：『relax』ナカシマさん）。さらに、おかんを世に送り出すべくビッグなプロジェクトが動き出した模様！　詳しくは次号を待て！

の子育ての信念とは何ですか!?
おかん　私の信念はひとつだけですわ。とにかくどんなことがあっても、絶対に人を泣かすことをしたらアカンていうね。どんな状況に置かれても、人を泣かしてその上に立つとか、自分の仕事のために人を泣かすとか、そういうことは絶対したらアカン。自分が引いて、たとえそれが損得の形で損が少し入ってても、それがやっぱり人間として信用されるいちばん大事な部分やからっていうことを、いつも子どもたちに言うてたんですよ。まあだから、剛からひどい目に遭わされた人はいないと思いますけどね。

——そうですね。

おかん　今んところは間違えんと進んでるみたいですけどねえ。そんなふうなところを私が前面に出してますからね、長男の子どもがふたりいて、次男の子どもも男の子がひとりいるんですけど、子育ての面で全然迷ってませんわ。お母さんが男の子を三人育ててるんやから、男の子は育っていくもんやって、なんか自信持ってますわ（笑）。

——教育哲学が浸透してますね。

人を泣かしてその上に立つとか、自分の仕事のために人を泣かすとか、そういうことは絶対したらアカン！っていつも言うてたんです。

おかん　おかげさんで私自身も子どもたちに楽しい思いさせてもらってます。

——いやあいいお話でしたわ。ホンマ、お母さんのお話は最高でしたよ。凄く楽しかったです。

おかん　またまたあ（笑）。原さんがうまいこと話しはるから私も調子に乗ってしもて。

——あとはお嫁さん問題だけですね、高阪さんも。

おかん　ホンマですわ！　正味な話、どっかええ人いません？

——いや、そんな真剣に言われても（笑）。とりあえず読者に呼びかけてみましょうか？

おかん　お願いしますわ！

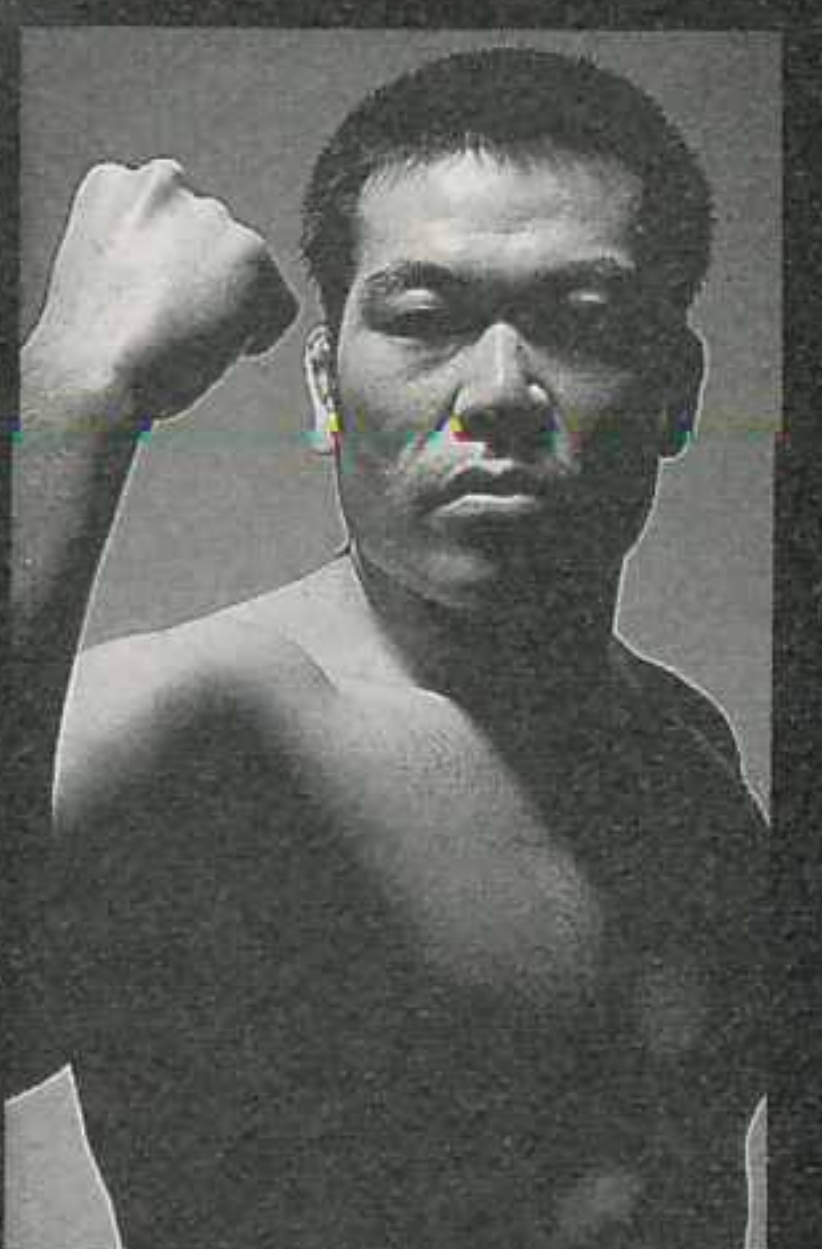
■インタビュー後記

　この親にして、この子あり。己の信じた道をバク進する高阪TK剛には、この「おかん」のDNAが確実に擦り込まれている。あまりに真っ直ぐで、あまりに純粋なおかんの愛は、TKをここまで立派な顔に……いやいや立派な男に育んだのだ。親の愛は海よりも深いということを実感できるヒューマン・ドキュメンタリー作品のような素晴らしいインタビューだった（自画自賛）。いや、マジで！

　こんな素敵なおかんを世に送り出そう！　ということで、いま水面下では様々な「おかん」プロジェクトが始動していることをあなたはご存知か？

　なんと、「おかん」がゲームになるのだ！

　……ごめんなさい。説明をはしょり過ぎました。なんと、おかんの声が、ゲームに入るのだ！　現在、開発が進められているUFCのゲームの中に、選手としてTKが登場しているのだが、そこになんとこれは「おかん」の声援が入るというのだ！　これは『relax』のナカシマさんの発案で、開発チームもノリノリで即OKが出たとか。

　すでにレコーディングは終了しているそうだが、関係者の極秘情報によれば「ツヨシィィィ！」「TK、オッケエエエ！」とおかんはゴキゲンで絶叫しまくったらしい。この詳報は次号以降で必ずお伝えするので乞う、ご期待！　というわけで、これからもますますおかんの絶叫はやみそうにない。8月の大阪大会でも、元気に絶叫してくれることだろう。（編集部）

TKのツッコミ!?

速報！　7月15日に行われたリングスUSA大会に出場したTKはヘビー級トーナメントにエントリー。1回戦は強豪トラヴィス・フルトンを3R判定で勝利、2回戦は無名のグレッグ・ウィカンを1R足首固めで下して9月の決勝大会へ駒を進めた。

このインタビューを読んだTKが、またメールを送ってくれたので紹介しよう！

「やっぱり思った通りですわ。おかんは、最近のことやったらちゃんと覚えてる。まー、多少ニュアンスが違うところもあるけど、それは〝おかん節〟ってことでOKでしょう。ということで今回は特につっこむところなしです」

「今回もつっこみは結構入るんだろうなぁ」などと、ノンキに構えていた本誌編集部の予想を裏切り、意外にもつっこみなし！　最近のことは覚えてるってところも、おかんらしくてナイス！

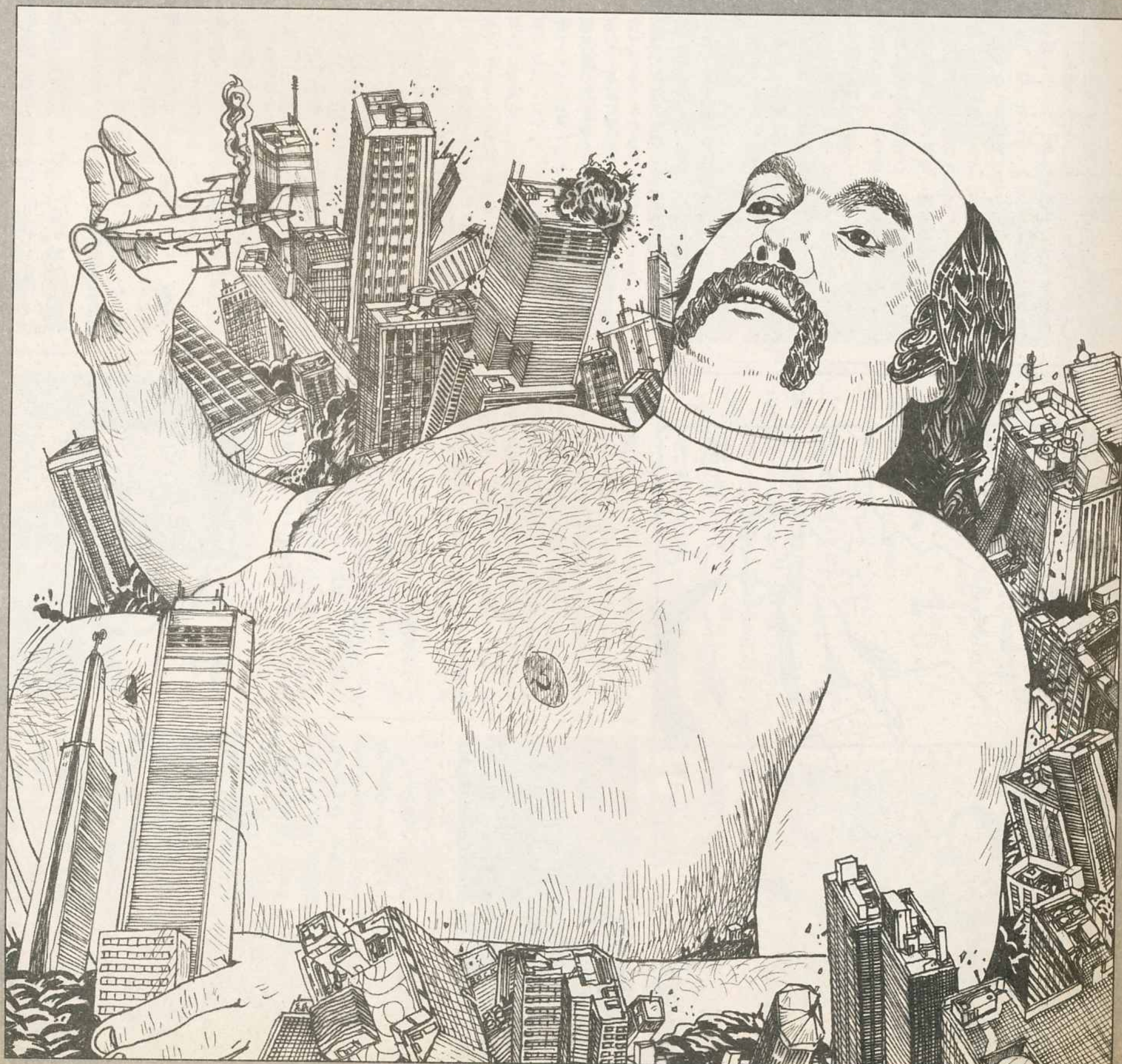
「FK（フミ・コーサカ）、オッケエエエ！」

夏バテ防止に!!

BEST OF THE スタピコラム™

JULY.2000

★今号のラインナップ★

夏本番、みなさんいかがお過ごしでしょうか? 暑いからといって、ソーメンばかりすすっていませんか? ソーメンの食べすぎは夏バテのもとだそうです。さあ、このコラムを読んで、少しは脳味噌に栄養を送ってあげましょう。ほら、地獄の墓堀人まで甦ってきちゃいましたよ!

Title&Illustration/Jerry Ukai for ADS

BEST OF THE スタジコラム

実際、困るよね。修斗と『PRIDE』のバッティング

花くまゆうさく リングの汁 RADICAL

スパーーン

新宿コマ劇場での北島三郎公演を7千円払って見てきた。新宿コマに行くのはこれが3回目で、10年以上前のエレファントカシマシ（コマの丸いステージで歌う宮本が最高）、次は2年前の江頭2：50（オズの魔法使いのセットの上でトークする江頭最高）、そして今回のサブちゃんといい流れだ。

私は北島三郎の歌について、まったくのド素人でなんにも知らなかったにもかかわらず、この公演をとても面白く楽しめた。いや楽しんだ以上に強く感銘をうけたほどだ。プロレスや格闘技の大会でこれほど感銘を受けたことあったかなと考えるぐらい凄かった。

公演は4時間のロング興業だった。まず前半は芝居「股旅人情　辛ろうござんすひとり旅」。15分で十分な内容（ヤンヤン歌うスタジオのドラマレベル）の話を90分に延ばしてダラダラやるからさすがに「長いよ～」と心の中でつぶやきダレていたが、生の白木みのるや、ドン荒川テイストの北島三郎や藤原テイストの龍虎がスパイスを効かせこの前座をもたせた。それは昭和新日の前座を思い出させた。

芝居が終り30分休憩後にいよいよ歌謡ショー。昭和に戻ったような会場が心地よくウトウトし「こーゆーもんかあ」と満足していたら甘かった。セミとメインはこれからだったのだ。こんなもんじゃなかったのだ。

セミファイナルはステージに巨大な漁船が現れた。その巨大漁船がステージをうねって回る。船の先頭に立ち、うねりながら歌うサブちゃん。カッコいい！　凄え！　キモちよさそう！　うらやましい！　オレもあーなりて！！　と、子供の頃プロレスラーを見て憧れたあの感情が沸きだしてきた。こんな気持ちスチーブ・オースチン以来だ。

そしてメイン。漁船の次は御輿だ。それもバカでけえ！　子供の頃に感じたアンドレやジャンボマックスだ。それにバカでかいだけじゃなく電装バリバリのピカピカ。デコトラならぬデコ御輿！　トラック野郎の一番星号だよ！

その巨大デコ御輿の頂上に仁王立ちのサブちゃんが現われ歌った。もう瞳孔も口も毛穴もおそらく肛門も開きっぱなしで私は見るしかなかった。例えると映画「ブルースブラザース」で、ジョン・ベルーシが教会でジェームス・ブラウン神父のステージに感銘をうけ、天から光を浴びるシーンがあるけどまさにそれ！　私も巨大御輿の頂上のサブちゃんから光を浴びたようだった。

こんなのプロレスや格闘技の会場でなったことあるか？　すぐには思い出せない。新日ドーム大会で鶴田が出た時と、あとなんだろう。

演歌ド素人の私でもこんなに楽しめたんだから、格闘技だってマニア以外にも楽しめる可能性あるのかもしれないよと思いつつ、今月はコンテンターズ見に行ったんだけど現実はキビしいナリでした。

膠着でも、その先に一本勝ちを狙っているのが見える膠着と、判定狙いしか見えない膠着がありますが、前者ならいいが後者の判定狙い膠着ほど見ていて苦痛なもんはない。コンバットレスリングやアブダビコンバットなど入場料タダのアマチュア大会ならいいが、プロのグラップル大会でこれをやるのはどうか。今大会もＲＪＷの矢野選手と高田選手の試合は、「テイクダウンのポイントのみ命であとはしらん」ファイトでつらいもんがあった。マニアでもつらいのに、宇野人気で来た新規の客はさぞかしつらかっただろう。「サラリーマンは強いんだ」とマイクアピールしたＲＪＷの矢野選手でしたが、あのメンバーで優勝したのは凄いけど、まさしくつまらないサラリーマン的試合でしたよ。

ヤノタク

同じ矢野選手でも鳥合の矢野卓見は素晴らしかった。今大会一番のプロだ。あんな強いのに表に出なくてもったいないと昔からみんな思っていたが、いよいよ本格的に表舞台に進出でしょうか。ルミナや植松とやったらどちらも一本狙うタイプなので面白そう。ルミナvsクワタクよりルミナvsヤノタクだよ絶対。

須藤元気も、村浜兄の持ちネタであるジャイアント・スイングからのアキレス腱固めや、鳥合得意の三角絞めなどを出して宇野選手に完勝。村浜兄も負けなかったし、今大会は矢野・村浜兄・須藤（昔から鳥合で練習してる）の鳥合トリオが活躍。第二次鳥合黄金時代が始まるか？　カギは矢野卓見、軽い階級作るパンクラスや修斗はオファーすべきじゃないのか。アブダビ王子も来年また矢野卓見を招待すべきだ。

桜庭、ルミナ、植松、矢野、バレットなど動きや技術で客を楽しませることができ、しかも強くて一本勝ちを狙う選手が30人ぐらいいればコンテンターズのようなグラップル大会もプロの大会として成立するのではないだろうか。

プロのグラップル大会で、感銘の光を浴びてみたいナリ。

はなくま・ゆうさく■ドラマ「ＩＷＧＰ」は、とても面白かった。「ＩＷＧＰ」見ちゃうと「伝説の教師」が全然普通で古臭く見えちゃうんだけど、松本ならとんでもないドラマを作るはずと期待がでかすぎたんだろうか。ＳＡＷチャレンジカップ2000は初戦敗退で、しょんぼりーん。

少し力をぬこうドラゴン

カシン！
橋本！
猪木さん！
みんな社長をなんだと思ってんだもう！
カリ カリ
世の中のニュースはすべて東スポで知る社長 →
西村、お前だけだよ俺の味方は…
ポツリ
……
インドでも行きますか
無我になれますよ
インドにかぶれるドラゴン…見たい！

メキシコ代表
バージン・コーク&ザ・ロイヤルコーク・マシーン

BEST OF THE スタコラム

掟ポルシェ(ロマンポルシェ)の 栄☆勝ちます

潜入！ オレたちの鮨屋の巻

男の憧れNO.1職業といえば鮨屋！ 誰がそんなに喰いに行くんだよってなぐらい人口密度や近隣の人通りを全く考えてない林立ぶり、中野や八王子、下手すりゃ大宮辺りでさえ平気な顔で江戸前の暖簾を出すズ太い商売もしょっ中見受けられ、男っぷりの宝庫という他ない。ビバ鮨屋！

そして東京は江戸前真っただなかの人形町、その交差点カドに鮨屋という名の男稼業のボルテージが全開レッドゾーンに振り切られた素晴らしいネーミングの店を発見！ その名も『オレたちの鮨屋』!! ただでさえ男臭い握り鮨というジャンルに加えて長天鶴藤、昭和のプロレス新世代であるところの「オレたちの時代」を店名に冠するこのセンス、男の夢を過積載するにも程があるじゃねえか!! きっと店内には四六時中フルボリュームでパワーホールが流れ、客席は全席空気イス、ロングヘアにシューズだけ白の板長がひねりを加えて垂直落下式に握る中トロなんかを、あがりという名のプロテインと一緒に流し込むようなとんでもない事態になっているに違いない!! 「梵婆家」の猪木イズムや「ごっち」のキャッチ・アズ・キャッチ・キャンな居酒屋理念に勝るとも劣らぬ第三のプロレス食文化誕生の予感が俺を揺さぶる。迷わず行けよ、行けばわかるさ！ いざ「俺たちの鮨屋」へ！

「らっしぇーい!!」威勢のいい大将の声が耳に響きこそすれ、アレ？ 内装はいたってフツーの鮨屋のただずまい。パワーホールどころか居酒屋のホールが如きサラリーマン客の群れがいるばかりでNOTVならぬNO BGM状態。なんか予想と違うようなイヤな予感が……いや、今はジャンボの急逝で喪に服しているからBGM自粛中なのだろう、きっと。気をとり直し店内を見回してみるとなんとカウンター横に巨大な2匹の龍がからみ合う図のタペストリーが!! もちろんこのダブルドラゴンが辰っつぁんと天龍を表したものであることは説明不用であろう。これに加えて鶴とカブト虫のメスが同時に織り込まてりゃパーフェクトなんだが…。おっ、しかも良く見るとタペストリーの下部にはアラビア数字が規則正しくびっしり。なんともアブストラクトな作品だ。(この際「それ、今年のカレンダーだろ」というやヤボなツッコミは厳禁) そしてついに、この店の大将とファーストコンタクトだ。

「ハイ！ じゃあ何から握りましょ」

「思えば85年の夏、ジャパンプロの大阪城だったかな、大将……。長州が『俺たちの時代』を宣言し、時代が馬場猪木から移り行くのを実感した一瞬。いや、あの夏はホントにアツかったよな、大将」

「ハ？ ハァ、さいですねェ」

「今日は静かだね、店。パワーホールは自粛中？」

「いえ…いつもこんなですけど。注文もしねぇでヘンな事ばかり聞くお客さんだなぁ」

じゃあおまかせで、というと以外なことにフレンチな盛りつけでタレをチョコソースのようにあしらったアナゴがでてきた。気が利いてるぜ、大将！

「コイツにはワインが合うんだよね」

ワイン…やはり亡きジャンボに捧げられたメニューだ。山梨でジャンボの実兄が営む鶴田ぶどう園で採れた一本に違いない。俺は不覚にも涙がこぼれそうになった…。こんな時はもちろん天にむかってツ・ル・タ・オー!! 俺たちの鮨屋の店内にこだまする俺のオー……さあ、皆さんご一緒に！ オー！

「お客さんプロレス好きなんですね。いやあ、最近ヘンな問い合わせの電話がかかってきてね。なんでもウチの店の名前が、『俺たちの時代』っていうんですか？ そういうプロレスのもんから由来してんじゃないのかっていうね。どうなんですかって言われても、ウチは全っ然関係ないんだけどなぁ」

ハッキリ言って俺のカン違いだった……。しかもその電話をかけたのは俺だ……。リサーチの時にはおかみさんが電話に出て怪訝そうな声色で「よくわかりません」しか言わなかったためこうして現地調査に来たのだが……失敗だ。この『オレたちの鮨屋』は、なんでも大将によれば「気取りのない店名」にしたかった、ということだけらしい。3カウント取られたあとの藤波のように呆然自失とした表情の俺に、大将はやさしくこう言った。

「あ、そういえば芝大門に『俺たちの焼鳥屋』っていう店もあるらしいですよ」

男はいつでもローリング・ドリーマーと口ずさみながら、俺は芝大門へ向かって行った。

昭和のフレイバー全開!? 「オレたちの鮨屋」にプロレスの食文化はあったのか？

俺たちの時代シンパもそうでない人も大歓迎のオレたちの鮨屋。コハダと江戸前のシャコが絶品！

今月の オトコラム プレッシャーズ

恐いもの見たさ、臭いもの嗅ぎたさ、マズイもの喰いたさetc、文化が成熟すればする程、人間の欲望は反動のように逆行する。シュートファイト全盛の昨今、いい加減みんなショッパイもんたらふく喰いたいでしょ!!

塩分入れすぎイッパイの試合ぶりに後楽園ホールのイスから激しくズリ落ちて見たい！ そんな時やっぱり頼りになるのはIWAJAPAN。先日もニッカンの小さな囲み記事だけで十分お腹イッパイにさせてくれたのだった。"7月15日多古町大会に参戦予定だったゴリアス・エル・ヒガンテは都合により来日中止、変わりにタイガー・ジェット・シンジュク参戦"ウソつけ！最初からジェット・シンジュク(=浅野社長)しか出ねえだろ！ と誰もがツッコんだことだろう。この方法を使えば、バレなきゃヒクソンだろうがラジャライオンだろうがバービックだろうが好き放題招へい可能！ 但しあくまでネタ振りだけでオチはいつでも浅野社長代理参戦なんだが。試合の方もどんなエライ事になってるかは定かではないが、従来通りのチンタラプロレスであろうことは容易に想像がつくところだ。"日本一ヤジり甲斐のある団体"の健在ぶりをお前等もその目でたしかめろ!!

さりげなく品薄状態のロマン・ポルシェCD『暴力大将』。近所の店に置いてない時は泣き寝入りせずに注文すること。又はTEL03・5468・8869で販売可能。

おきて・ぽるしぇ■ 『BUBKA』『ASAYAN』『OLLIE』『FAMOUS』でも執筆中。順調に増え続ける雑誌連載に自分の本業がプロ音楽家であることを忘れる日々。おかげで新CDの発売が順調に遅れて10月に……。

本誌「紙のプロレスDIGITAL」がケータイ電話で見られるゾ〜!!

大好評

有名人学歴KGB・堀越日出夫の
凄頭
偏差値を通してプロレスを見ろ!

好評なのか不評なのか、よく分からないものの、編集部には2通の応援メールが届いているとのこと（7月6日現在）。今月のターゲットは全日本プロレスだ。といってもよもやも分裂騒ぎが勃発したため、全日とノアに分けてお届けしようかとも思ったが、メンドくさいのでやめた。というわけで、全日編。

先月は「新日=実は高学歴集団」という結論が導き出された。さて、一方の業界の雄=全日はどうなんだろうか?

そしたら、なんと驚くべき事実が明らかになったのだ。表に示した32人中14人ものレスラーが大学に通った経験を持っているのであった!

そのパーセンテージは43・75%。新日の大学経験率が41・5%であるからして、引けを取らないどころか、上回っているのである!

先日、新日・永島のオヤジさんと交渉に臨んだフッチーが「もっと体力をつけてから来い!」と言われたが、フッチー的には「もっと学力つけてから来い!」と言い返したかったのではないだろうか? たぶん。

さて、解説を加えていこう。先月と同様、書いてない選手は不明ということで。昔、在籍してた選手は「OB編」「インディー編」として、いつの日かで特集するつもりではいるので、ご心配なく。

単純に「学力」という観点からいえば、最高なのはジャンボだ。もはや説明は要らないだろうが、何がスゴイかって、鶴田の場合、スポーツ推薦ではなく、学力で中央大・法学部を突破したということだ。大学受験経験者でなくとも、中央・法がいかに難関か、ご存知だろう。

いや、それだけではない。筑波の大学院にまで進学し、挙げ句の果てには教授までつとめようというのだから、おびただしい頭脳を有していることは想像に難くない。

それでいて、あんなに気の抜けたようなダジャレを連発していたのは腑に落ちないが、ズバ抜けた基礎体力、のらりくらりしたインサイドワーク、ぴくぴくする痙攣、ダジャレ、そして学力をも含めてジャンボなのだ。

国際プロレス・吉原社長が早稲田・法を出ているが、ジャンボは彼とならぶ秀才といってよい。まったくもって、その死が惜しまれるのである。合掌。

大卒編の表を見ると、パッと見ではインテリの馳よりも、パッと見では相撲顔の泉田のほうの数値が上ってのが、どうも納得いかない。が、これが現実なのだ。というか、ただ、馳があえて専修に進んだということだけだろうが。

というか、数年前の『大相撲観戦ガイド』をチェックするまで、まさか泉田が大学経験者だとは思いもよらなかった。泉田に限らず、「記録」という観点からも、プロレスマスコミはレスラーの学歴をじゃんじゃん公開してほしい。

高山の東海大・文は55だが、東海大付属相模高は63。意外と言っては失礼だが、マット上でなくともノーフィアーぶりを発揮しているのだ。ただ、なんかのインタで「自分がいかに劣等生だったか」というエピソードをとうとうと語っていたのを読んだ記憶がある。

たまたま付属高だったので、そのままエスカレーターで大学進学したまではよかったが、「学校」を捨て、ライフセービング→プロレスに走ったと。それはそれでOKだろう。

調査を進めていくうちに、個人的にもっとも衝撃的だったのはジョー樋口。法政二高（武蔵小杉）なんて67あるからなかなか合格できないだろうし、ジョーの時代に私学（しかも法政）に進むなんて、そうとうなエコノミカル・バックボーンがあったはず。

さぞかしご両親も期待しただろうが、大学合格の数十年後、場外で失神するわが子を見て、涙がほほを伝ったはずである。

最後に、同窓生情報。

百田光雄の森村学園には、堀越に転校するまでは松本伊代が在籍していた。最寄駅は東急田園都市線の「つくし野」だ。

小橋の福知山高校にはモー娘・中澤裕子をも輩出した。ただ、福知山出身のキャバクラ嬢に聞いたところ、全然知らなかった。小橋はこの事実を知ってるのだろうか?

小林健太の修徳高校は、かのキム・ドクが大先輩にいる。自分の高校が著名人を輩出したとなれば、たいていは伝説になってたりするので、小林健太もキム・ドク伝説を耳にしてるはずである。「とにかくデッカイ人がいた」とか。

馳が学び、そして教鞭をとった星陵高校はスポーツ校として名高いのは周知の通り。ゴジラ松井ほか、大量のOBがプロとして活躍している。

そういう意味では本田多聞の土浦日大も同じ。レスリングも強豪校で、桜井速人もOBだ。

レスリングといえば、足利工大付属高も忘れてはならない。プロレス界にも三沢・川田のほかに、谷津、『神風』、故・福田雅一などがいる、ある意味で〝プロレス予備校〟だ。清水アキラは違うけど。

丸藤の埼玉栄は、アイドル・胡桃沢ひろこもOG。表の「48」という数字は保健体育科のものであって、他に特進コース（58）、総合進学コース（54）があることを同校の名誉のために付記しておきたい。

ほりこし・ひでお■好きなレスラー=なぜか藤波辰爾。プロレスとの出会いは小3の時。某大学プロレスサークル（現在は消滅）の第15代幹事長を務めていたことは、あまり知られていないが事実である。最近は会場に行かず、専門誌を読みながら、学歴データを淡々と収集する毎日だ。

凄頭な男（女?）たち

ジャイアント馬場
三条実業高校2年中退という事実は広く知られているが、なんと工業科に在籍していたのである! 不良学生に混じる馬場、半田ごてを巧みにあやつる馬場、火花が飛んでも大丈夫なお面をつける馬場。あぁ、馬場……。

馬場元子
石油販売会社社長令嬢として生まれた元子さん。『ネェネェ馬場さん』（講談社）によると、「エスカレーター式に高校、短大へと」進み、「家庭教師はついていたが、まったく勉強した覚えはない」とのこと。

三沢光晴
抜群の運動神経を誇っていた三沢は、幼少時からガキ大将タイプ。おそらく勉強そっちのけで、野原を走り回っていたことだろう。当然のように足利工大付属高のレスリング部に。川田の1コ上。念のため。

小橋健太
小橋に聞いてみたいことは「あなたは中澤裕子が同郷だと知っていますか?」「もし実家が近いなら、彼女の家を教えてください!」「ついでに、卒アルも手配してください!」ということである。

馳浩
「古文は苦手」という予備校生は後を絶たないが、その古典の教員免許を持っている馳もまた、鶴田と並ぶ秀才であろう。先輩のノートをとりながらオリンピックに出場するなんて尋常じゃない!

メキシコ代表
バージン・コーク&ザ・ロイヤルコーク・マシーン

全日本プロレス&ノア偏差値ランキング

高卒編

BOMBみたいに通知表を見せてほしいレスラーズ

★偏差値ランキング★
～都内近郊～

- 59 百田光雄➡森村学園高
- 54 森島猛➡東京学館浦安高
- 51 小林健太➡修徳高
- 50 マイティ井上➡大阪学院大附属高
- 48 丸藤正道➡埼玉栄高
- 47 三沢光晴➡足利工業大付属高
  川田利明➡足利工業大付属高
  金丸義信➡山梨学院大付属高

★出身校一覧★

- 垣原賢人➡新居浜西高（1年中退）
- 志賀賢太郎➡仙台一高
- 小橋健太➡福知山高
- ジャイアント馬場➡三条実業高（現三条商業高、2年中退）
- 田上明➡秩父農工高
- 橋誠➡如水館高（広島）

寸評　百田がトップという結果になったが、ということは松本伊代も59?
数値は不明だが、垣原の新居浜西は東大に4人、京大に2人（99年）も送りこむほどの進学校。愛媛県内公立の筆頭高校だ。よって、"裏1位"はカッキーに決まり。小橋の福知山も京大1名、同志社14名だから、決して侮ることはできまい。橋の如水館はやや落ちるが、立命館に6人。推定55くらいか？　志賀は宮城県きっての進学校。東大2名、慶応8名。よって、裏2位は志賀。

大卒編

やはりジャンボ鶴田強し！泉田の健闘もキラリと光る

★偏差値ランキング★

- 66 ジャンボ鶴田➡中央大・法・政治
  百田義浩➡慶応大（学部不明）
- 60 ジョー樋口➡法政大・政経（現在は消滅）
- 57 輪島大士➡日本大（学部不明）
- 56 泉田純➡東京農業大
- 55 馳浩➡専修大・文・国文
  秋山準➡専修大・経営・経営
  高山善廣➡東海大・文・文明
- 53 菊地毅➡大東文化大（学部不明）
- 49 高杉正彦➡日本大・文理・体育
- 47 本田多聞➡日本体育大・体育
- 46 馬場元子➡神戸山手女子短大
- 45 渕正信➡八幡大（現九州国際大、中退）
  大森隆男➡城西大（学部不明）

寸評　鶴田、強し！　ボーゴと同じ数値だけど強し！本誌読者ならすでにご存知だろうが、鶴田は受験で真っ向勝負して中央・法を突破したのだから、家庭教師を十分に務められる学力がジャンボには備わっている！　どう考えても、ボーゴに家庭教師は務まらないだろう。そんなニーズ自体ないか。
でも、新日は50台が12名いたのに対し、全日&ノアはたったの6人。中盤を厚くしたいところだ。うーむ、我ながらどうでもいい分析に終始してるな。

中卒編

中卒➡相撲➡プロレスだって立派なエリートコースであることを証明した3人!!

★出身校一覧★

- 永源遥➡鹿西町立鹿西中（石川）
- ラッシャー木村➡中川町立中川中（北海道）
- 力皇猛➡桜井市立桜井東中（奈良）

寸評　新日に中卒が6人いたことを考えると、3人という全日本は立派としかいいようがない。
いや、逆にこの3人は控え室で肩身の狭い思いをしていなかっただろうか？　すこーしだけ気になる。そういえば、カブキも中卒だったしなあ。
この3人、やはり大相撲経験者。「アマチュアで活躍してから角界入り」というパターンもあるが、大相撲に学歴なんぞ必要ないことを3人は知っている。
どうでもいいけど、さっき、某スポーツ施設付近のコンビニでラッシャーと遭遇した（2回目）。デカかったから、すぐ分かった。
日刊スポーツを購入したラッシャーを尾行すると、やはりそのスポーツ施設に入っていくではないか。老いてなおトレーニングに励むラッシャーに心から敬意を表したいものだ。でも、自転車をこぐラッシャーの背中は、なんだか淋しそうだった。あれは何なのだろうか？
それにしても、ラッシャー、自転車こぐの遅すぎるって！　尾行しずらいんだよ。

BEST OF THE スタ♥コラム

短期集中連載!!

プロレスよ、夢と希望を取り戻せ!!

プロレス長者

プロレスデータ墓堀人・堀越日出夫のタブーに挑戦!! プロレスラーの年収はいくらだ!?

なにかとタブーの多いプロレス界だが、中でもお金の話はなかなか一般ファンには伝わってこないのが実情だ。そこで今回、分かる範囲で合法的に調査してみたところ、さまざまな現実が浮き彫りになったのである！

そもそも、なんで表に示したような数字が判明したのかということから説明しよう。

毎年5月16日（以前は5月1日だった）、各地の税務署が高額納税者を発表することくらい、親愛なる読者諸氏もご存知だろう。発表されるためには、その前の年に1千万円以上の納税をしていることが条件になる。

毎年、「○○の年収は××！」とか盛んに報道されるし、今年なんかは「宇多田ヒカル、17才にして年収7億！」などとしきりにやってたし。

これは、芸能人だろうが医者だろうがプロレスラーだろうが、職・年齢を問わず、1千万以上おさめていれば、税務署が勝手に（というか所得税法にもとづいて）発表してしまうので、納税額がズバリ判明してしまうのである。

納税額と税率が分かれば、年収が判明してしまうと。そういうことである。

ちなみに、その年の納税額は各税務署でだれでも閲覧できるので（5／16〜5／31）、決してヤバイ数字ではない。

というわけで、表の解説をしていこう。とっかかりが良さげなので、今月はこの5年間のデータを披露したい。

95〜99年の5年間、マット界関係者でいわゆる〝長者〟となったのはわずか6人！寂しすぎるよ！

長者になるためには、約2700万の収入を必要とするのだが、ということは多くのレスラーの年収は2700万以下ということに計算上なるのだが、そんなもんなのか？

プロ野球、大相撲、Jリーグに数字で劣るのはしょうがないとしても、もうちょっともらってると思ってたのに……。これが現実なのか。

いわゆるタニマチからの〝ごっちゃん〟があるとしても、あるいは、新人なんかは寮生活をしてて生活費が余りかからないとしても、これでは少年ファンが夢など抱きようがないのである。

今年、念願の初登場を果たした石井館長が4500万。んで、ドラゴン、

が見当たらず、ドラゴンばかりが登場しているが、これはミステリアス

したため。

BEST OF THE スポコラム

今年、念願の初登場を果たした石井館長が4500万。んで、ドラゴン、元子夫人、前田社長と続く。

ある報道では、「蝶野クラスで5千万」と言われているが、果たしてどこに根拠を置いているのか、プロレス村の外に住むボクらに教えてほしいものである。

だって、5千万も貰っていれば、ゼッタイに税務署に公示されてしまうからだ。しからずんば、三銃士クラスはみんな脱税でもしているというのだろうか？ 多少の節税対策くらいするだろうが（ボクもしてます）、いくら極悪バタフライといっても、脱税はしないだろう。

今回の全日本分裂騒動のドサクサにまぎれて、「エースの三沢でも2千万円を超える程度だった」（6/25付・夕刊フジ）と、業界関係者が明かしている。

この記事は「新日のほうが全日よりもギャラが高い」ということを伝えているが、ドラゴンと元子夫人だけを比べれば、どこにも遜色などない。

どこの企業でも、社長が最高給をもらうのが当たり前の話。肉体を酷使している選手としては「なんでオレのギャラはこんなに安いんだよ！」という不満の声もあろうが、これには業界を底上げしていくしかないのだ。

というか、ずーっと社長だった坂口の名前が見当たらず、ドラゴンばかりが登場しているが、これはミステリアスである。

リングの中には金が埋まっているというが、果たしていくら埋まっているのか!?

ドラゴンは高値安定しており、収入的にも律儀な藤波らしさがうかがえるのは、ファンとしては、そこはかとなく嬉しい。

馬場は97年までは安定した記録をマークしていたものの、98年はなぜか大幅ダウン。これは、地方興行での観客動員数の落ち込みが原因なのだろうか？

猪木が98年以降姿を消してしまったのは、〝小室哲哉現象〟。つまり、あっちのほうが税金が安いのだ。ま、節税対策で移住したわけではないだろうが。

ところで、「国民的スターの猪木がこんなもんか？」とお思いの発狂的猪木信者もおられようが、70年代から84年ごろの猪木は圧倒的な数字を記録していた。詳しくはきわめて近い将来の本誌を読んでほしい。

ひと昔前と比較すると、業界は冷え込んでいる。それはこの表の数字を見るまでもなく明らかなのだが、SPEEDがそれぞれ7500万、広末が6千万稼いでる事実を考えると、「神様、もう少しだけ」と願ってしまうのであった。能面のような無表情で歌う持田香織が8100万も儲け、前田と財前直美がほぼ同額なのは、どーも納得がいかないのだ。

来月は激動の90年から94年までの数字を一気に紹介する。「金権プロレス」といわれたSWSのレスラーは登場するのか？ 天龍の年収やいかに？ ひと月待てェ！

一目でわかる! マット界の長者表 95'～99'

	1995	1996	1997	1998	1999
アントニオ猪木	1.383万円 (3.600万円)	●●●●	1.178万円 (2.900万円)	●●●●	●●●●
藤波辰爾	●●●●	1.062万円 (2.800万円)	1.025万円 (2.700万円)	●●●●	1.126万円 (3.700万円)
ジャイアント馬場	1.611万円 (4.000万円)	1.346万円 (3.600万円)	1.460万円 (3.700万円)	●●●●	●●●●
馬場元子	1.326万円 (3.500万円)	1.118万円 (2.800万円)	●●●●	●●●●	1.189万円 (3.700万円)
前田日明	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	1.091万円 (3.600万円)
石井館長	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	1.421万円 (4.500万円)

※（　）内は推定年収。99年の年収が増えてるのは税率がダウンしたため。

プロレスが好きな人、この指止まれ!!

実録 最狂プロレスファン列伝

構成／イナズマ★K

PROFILE

No.6 リングサイドのクラッシュ・ギャル
しまおまほ

1978東京生まれ。漫画家。両親は共に写真家の島尾伸三と潮田登久子。高校生の時の授業中の落書きまんががそのまま本になってしまっているという『女子高生ゴリコ』で一躍人気者に。現在多摩美術大学芸術学部に在籍中の学生でもあります。そんな彼女は数多くの雑誌連載もこなしてるぞ。『H』では「小学校の頃を思い出してほとんどその当時とかわらない誌面づくり」が売り物の壁新聞。『リトルモア 』では、「日々のちょこっとLOVE（Ⓒブッチモニ）やちょこっとポエムをイラストと共に連載中」。『広告』 では「『質問地獄』というコーナーで毎回いろんな人の質問地獄にあっています」また、NHK教育テレビの『ロシア語会話』にも出演し「 毎回ロシア語のアルファベットや、こんにちは！などの表現を イラストにして壁に飾ってます」。そんなしまおさんが3年ぶりに新作を発表する。『タビリオン』は彼女の初の旅まんが＋エッセイ本。読まなアカンやろ、本屋さんへダッシュだ！

いろんな選手に握手してもらったり、抱きついたり、手当たり次第叩いたり（笑）

BEST OF THE スパコラム

独特なタッチの『女子高生ゴリコ』で知られる21才の漫画家しまおまほ。そんな彼女もプロレスラーや格闘家達に魅せられた一人だ。

「元々スポーツが好きでよく観るんですよ。特に野球や相撲が好きです。スポーツ選手を好きになる基準はわたしの場合、キャラクターですね。だから格闘家やプロレスラーもキャラが好きな選手を応援しています。好みはゴツイ系。いろいろいますが、特に三沢選手と高阪選手！わたしの考える「いい男」像はこのふたり」

いきなりのお友達になりたい宣言。しかもゴツイの限定ときました。高阪選手はさておき（失礼！）三沢選手はかっこいいとされてるタイプ（のはず!?）だが。

「わたしは三沢選手のハンサムな部分よりも噂で聞く『オネーチャン好き』な所が好き。高阪選手は一応顔で選んでいます。おふたりとも格闘家を地でいっている感じがたまりません。女性として惹かれますね。こういう人に付いていきたい。田村選手やアレク選手はカッコ良すぎるんです。Tシャツを柄パンやジーンズの中に全部いれちゃうタイプがイイ。川田選手の歯がないところ、エンセン選手の物凄い危険な雰囲気、藤田選手の首から肩にかけての筋肉。あの、首のないつまった感じが。やはり肉体で視覚的に訴えられると女性としては弱いですね」

なるほど。今のカッコイイとされる流れよりも、いわゆるオーソドックスなレスラータイプや、見るからに強そうなゴツゴツしてるのがお好みのようです。では、しまおさんの三沢選手初体験はいつだったのか。

「友達にすごい全日ファンがいて、その子に98年9月の全日のドーム大会に連れてってもらった。まず新崎人生にショックを受けました。あと泉田選手とヘッドハンターズ！　そして三沢選手と川田選手。馬場さんとジャンボ鶴田さんの試合も今思うと生で観られてよかった。その時三沢と川田の間には様々な歴史があって、ファンにとってはスゴイ試合だったんだっていうことを教えてもらって、なるほどって。それから気になってプロレス雑誌を購入するようになったんです。やはり歴史を知るとひと試合、ひと試合がグッと面白くなりますね。ただいま勉強中です」

で、昨年から今年にかけて彼女をトリコにしたもう一人の選手がいた。

「コピィロフの試合が（笑）。大阪にいったらちょうどリングスをやっていて観にいきました。それがわたしとコピィロフとの出会い。あの時の彼の強さには感動しました。いまも素晴らしい選手だと思うけど、もっと持久力のある選手かと……（笑）。その後の彼の試合はほとんど生で見ています」

昨年12月、衝撃のコピィロフ秒殺体験をしてしまったのだから惚れるのも仕方あるまい。そして彼女はリングス・ロシアの因果か現在、NHK教育テレビのロシア語講座に出演している。

「コピィロフやヴォルク、ボブチャンチンにインタビューしてみたかったんだけど実現しませんでした。そのかわり今度番組卒業記念でロシアへ行くのでサンボの道場に行かせてもらえるように頼んでいます（笑）」

プーチン大統領がサンボ出身なんてことを考えればそこからの交流もあって良しだろう。スポーツ外交でアントンに続くのじゃ！

さてレスラーとの交流でいえば、彼女の中で流行ってることがあるそうだが。

「最近は試合後リングに駆け寄るのがわたしの中で流行ってて。これは生で試合を観に行く時の醍醐味でしょう。いろんな選手に握手してもらったり抱き着いたり。いままでに、前田、エンセン、アイブル、ババル、宇野薫。宇野選手は観戦に来ていたんだけど。あとは選手を手当たりしだいバチバチ叩いたり（笑）」

でも何でまたそんなにハマってしまったのか。自己分析してもらった。

「格闘技を知らない頃は真剣に見るものだと思っていた。そうしたら、いざ行ってみるとお客同士で勝手に盛り上がったり、面白いかけ声かけたり。いつだったリングス大会で判定のときに「20対10！」ってアナウンスで爆笑してましたよね。格闘技のファンの人ってかけ声にセンスがありますね。桜庭選手みたいなタイプの選手がいるなんて夢にも思いませんでした。あと、お相撲さんやプロ野球選手って生で見るだけで有り難い感じがするじゃないですか。レスラーや格闘家の人もそうですね。大きくて強い男は触ったり抱きついてみたいですよ」

そんなしまおさんの個人格闘計画の発表だ。

「わたしは一人っ子なので兄弟ケンカの経験がない。ましてや取っ組み合いのケンカなんて生まれて一度も。そういう意味でも格闘技に憧れる気持ちは人一倍です。あーやってマウントとってみたい！とか」

おっきい人はぶら下がったり、触ったりするのが楽しいという彼女。じゃあ最後に、もし三沢に会えたとしたらどうする？

「ウーン、膝の上に乗ってみたい！」

もちろんノアも観に行きたいというしまおさん。三沢もエロ話と下ネタは凄いらしいゾ!!

しまおさんが書いた最新刊『タビリオン』の宣伝用のポストカード。こんな素敵なタッチのマンガとコラムが満載だ!!

全日でもノアでもJPWAでもない！ゴディーが選んだリングは「世界のプロレス」だった!!

（しかも親子でタッグ）

メキシコ代表

バージン・コーク&ザ・ロイヤルコーク・マシーン

メキシコからはザ・ロイヤルコーク・マシーンとバージン・コークのブラック・コークスが参戦。不気味な存在だ。

アメリカ代表

ビル・アーウィン&スーパー・デストロイヤー21号

セカプロマット常連のビル・アーウィンが初来日のスパー・デストロイヤー21号とともに日本上陸。ダークホークス的チーム。

アメリカ代表

テリー・ゴディ&テリー・ゴディJr.

アメリカからやってくるのは久しぶりの日本マット登場となるテリー・ゴディ。しかもパートナーは初来日で息子のテリー・ゴディ・ジュニア。かつてのパートナー、スティーブ・ウイリアムスが現在、全日マットで大暴れしているだけに、ゴディー親子にも大きな期待がかかる。優勝候補筆頭だ！

韓国代表

大木金次郎&X

韓国代表は、セカプロマットの人気者・大木金次郎と謎の超大物X。ひょっとすると大木金三郎の可能性も？

日米混合チーム

相島勇人&ホーラス・ザ・サイコパス

ヨーロッパ代表

トニー・セントクレアー&デビット・モーガン

ヨーロッパからは、新日の常連外人だったトニー・セントクレアー（50歳）がデビット・モーガンを引き連れやってくる！

今回の参加チームで唯一の混合チームとなるのが相島勇人とホーラス・ザ・サイコパスのタッグ。相島は全日本プロレス参戦で一気に時の人となったレスラーである。全日マットでは、はじめは戸惑っていた相島だが、試合を重ねる度にその評価もうなぎ登りに。しかしながら、相島の持ち味を発揮するリングは、間違いなくセカプロマットといえる。その命がけのバンプはズバリ言って必見である。タッグパートナーとなるサイコパスは日本のプロレスが非常に好きなレスラーで、しかも一番好きなレスラーは川田利明。川田がエースの全日マットを経験した相島と、川田好きのサイコパス。サイコパスのムラッ気がでなければ、充分に優勝が狙えるチームである。

NWA・ジャパンワールド・タッグリーグ戦開催！

無駄に豪華、無駄に贅沢！無闇に面白い『世界のプロレス』完全始動！

「何が起きてもおかしくないプロレス」をモットーに、マニアから絶大なる支持を受けている『世界のプロレス』。しばらくの間、潜伏していた『世界のプロレス』だったが、この夏、遂に完全復活！　そして待望の関東初見参!!　大会名は「NWA・ジャパン・ワールドタッグリーグ戦」。メジャー団体も驚きの世界6ヶ国から選手が集結する。

遂に『世界のプロレス』が本腰を入れて日本マット界に殴り込みをかけてきた。

8月23日、駒沢大会にて、待望の関東初見参を果たす『世界のプロレス』。

今回のタイトル名は「NWA・ジャパン・ワールドタッグリーグ戦」である。タイトル名に偽りなし！　なんと世界6ヶ国12選手が『世界のプロレス』へ集結するのだ。いまや、メジャー団体でも、それほどの数の外人レスラーは見ることができない。しかも外人といっても、そんじょそこらの外人とはワケが違う。

参加メンバーから注目選手をピックアップして紹介しよう。

まずはじめに、今回、『世界のプロレス』マットに待望の初登場を果たすのがテリー・ゴディ。分裂後の全日本でもなく、新団体ノアでもなく、一度発表されたJPWAでもなく、ゴディが選んだマットは『世界のプロレス』だった。TV東京の時代から、『世界のプロレス』といえばゴディなのである。しかも息子のゴディ・ジュニアまで見られるというのだから、マニアでなくとも必見だ！

次は、新日本の常連外人だった、いぶし銀トニー・セントクレアー。クレアーも『世界のプロレス』初登場となる。オールドファンにはたまらない。スーパー・デストロイヤーも気がつけば21号となって初見参。一体お前は誰なんだ？

もちろん『世界のプロレス』で人気大爆発の大木金次郎や、カウボーイ、ビル・アーウィンも参戦が決定している。

対戦カードもいくつか発表されているが、そんなもの頭に入れちゃいけない。『世界のプロレス』は当日、ゴングが鳴るその瞬間まで何が起きてもおかしくないからだ。ディス・イズ・セカプロルール！　観客を裏切ってこそ『世界のプロレス』なのである。一寸先は真っ暗闇のプロレスがそこにはあるのだ。

「ラリアットプロレス」「2・9プロレス」とはひと味もふた味も違う、昭和テイストたっぷりのコクのあるプロレスをみなさんも楽しみましょう。

とにかく、一度見ないと一生後悔することこの上なし！　今年の夏は一足早い「世界最強タッグ」を満喫しよう！

NWA・ジャパンワールド・タッグリーグ戦Aブロック公式戦

8・23駒沢大会主要カード

［特別試合］
コーラ・キッドVSバージン・コーク
ペプシ・ボーイVSザ・ロイヤル・コーク・マシーン

［タッグリーグAブロック公式戦］
テリー・ゴディ&テリー・ゴディ・ジュニアVSトニー・セントクレアー&デビット・モーガン
相島勇人&ホーラス・ザ・サイコパスVSビル・アーウィン&スーパーデストロイヤー21号

8月23日（水）駒沢屋内球技場（19:00）
8月24日（木）宇都宮清原体育館（18:30）
8月25日（金）アクトシティ浜松（18:00）
8月26日（土）小田原アリーナ（18:30）
8月27日（日）ツインメッセ静岡（17:00）
8月29日（火）八幡浜市民スポーツセンター（18:30）
8月30日（水）徳島市立体育館（18:30）

【お問い合せ】世界のプロレス　093-203-5170

たとえ「純プロレス」がこの世から絶滅しようとも

愛すべきプロレスバカたちの「不純プロレス」は不滅です!!

狂い咲き インディーロード

～本誌注目のミニマル団体観戦記～

読者に圧倒的な不人気を誇るこのコーナー。そもそもインディーに興味ある人なんざ、プロレスファンの中でもごく少数であることは百も承知。だが、プロレス週刊誌やスポーツ新聞が間違っても扱わないような、でもいい味出しまくったキラリと光る選手を取り上げていくのが本誌の役目！　読みたくなけりゃ飛ばして結構！　だが、『週プロ』が扱う1ヶ月前に本誌はCZWに取材を敢行しているのだ！　トンガってるインディーファンなら見逃すことなどできないはずだ。今回も現場で拾ったいい話&いい選手を出し惜しみ0%でブッぱなします！

大日本プロレス
大日本vsＣＺＷが激突（文・三浦店長）

じつはこのシリーズで組まれた全23戦の大日本vsＣＺＷの全面対決には、負け越した団体が、勝ち越した団体に5万ドルを支払わなければならないという、金のないインディー団体にとっては死活問題となる苛酷なルールで行われた。

大日本9勝、ＣＺＷ11勝で大日本は一敗も出来ない状況で背水の陣で臨んだ運命の日、7・2行楽園ホール大会。昼の天龍全日登場で水道橋周辺は異様な空気が漂っている。しかも、桜庭和志のサイン会も行われるなどプロレス熱のボルテージが異常に高まったその日の18時30分から大日本プロレス恒例の後楽園大会が始まった。そして会場はいつもとは明らかに違う観客密度。どうなっているんだ、混んでいるではないか！　大日本のホール大会にこんなに人が入っているのを見るのは随分久しぶりだぞ。

期待にこたえるように、この日は第一試合から大爆発。茂木のチャブ台パフォーマンスも受けまくりで観客はもうノリノリ状態。中野知陽呂のパクリアフロへア＋ザッツザウェイも意外なはまりよう。そして女子王座決定戦を裁くために登場した山本小鉄に大喝采が沸き起こる。残念ながらベルトは元気の手へと渡りＮＥＯへの流出となったが、女子王座はまだ生まれたばかり。デスマッチと言わずに実力で元気越えを果たしてほしい。しかし大日本のリングに山本小鉄が上がるとは、世の中何があるかわからない。

夢ファク怨霊のファイトはあまり精彩がなかったが、加藤茂郎のヒールぶりは素晴らしい。あんなに殺気のある帰れコールをあびるなんてオイシすぎるぜ。

そして本日の対抗線第一弾、ウインガーvsアシッドのＣＺＷジュニアヘビー級タイトルマッチ。アメリカの田舎のガソリンスタンドの兄ちゃん風イイヤツキャラのアシッド。アシッド（＝ＬＳＤ）をキメてリングに上がっているのかどうかは知らないが、試合前からリングに上がると足どりはフラフラ。おいおい、大丈夫か？と思っていたら、線は細いが技はキレるぜ。ジュニアでもＣＺＷソウル全開のクレイジーファイトを展開し、暴れるは飛ぶはの大いそがし。ファイト全開だと思っていたら、なんとチャックも全開だったのには一本取られたよ。だがその上をいったのが我らがウインガーだ。会場北側の場外に机をセットしアシッドを寝かせると、バルコニーへ全力疾走。まさかと思った時にはもう宙に舞っていた。バルコニーから落ちるのではなく一度上へ飛び上がっての捨て身のセントーン。人間があんなに長く空中にいるシーンはめったに見ることが出来ずびっくりする瞬間とともに、もっと驚くのはアシッドを飛び越えてしまい世界一危険で派出な自爆を披露したことだ。だが気合でダメージを乗り越え勝利。ＷＩＮＧ魂復活とともにベルトまで手に入れたぜ。

セミの大日本タッグタイトル戦は、いつのまにかＣＺＷ側のチャンピオンがワイフビーターとジャスティス・ペインに変わっていたが「この際ＣＺＷなら誰でもいいぜ、勝てばいいんだろー」とばかりに山川＆ＷＸが摩周連発で快勝。これでこの日2勝目。メインで本間がベルトと黄色を守れば5万ドルは取られなくてすむぞ本間!!

でも負けちゃったんですねー。レモンもソルトも手作り持ち込み有刺鉄線ボードもフルに利用しての全力ファイトも、最後に笑ったのはザンディグ親分でした。通算勝ち越しとなりベルトと5万ドルを手にしたＣＺＷ勢はリングをジャックして狂気乱舞。社長がペットボトルの水をザンディグにかけて小さな抵抗をしていたのが悲しげだった。大日本の金庫は空となりマットの上がカオスとなり収拾がつかなくなった時、そうあの男が現れ他のだ。ブロンドの短髪、赤のポロシャツにジーンズ、そしてベルトのバックルは超特大で、手には有刺鉄線のバット、松永光弘が大登場。ＣＺＷを蹴散らし秋葉原でのファイアーデスマッチを宣言とはカッコ良すぎる。松永がＣＺＷからむことで、いよいよ大日本は混沌と異常な熱気の漂う真夏の戦いへと向かうことになった。

アシッドは名前もキャラもかなりヤバめ。でも、この日、一番ヤバかったのはウインガーが見せた決死のバルコニー・セントーンで決まり！

敗者の本間には惜しげもなくマスタードが注がれ、リングサイドは寄るだけで涙が出てくる異常な空間となった。

5万ドルをゲットして大ハシャギのＣＺＷ。彼らがその大金を何に使うのか、気になるところだ。酒？　クスリ？　それとも新凶器か？

ユニオンプロレス
ポイズン澤田マムシへの道（文・三浦店長）

6・30東京・板橋産文ホールでユニオンが復活した。当時は、最もインディーらしいインディーだった、あのIWAである。IWA格闘志塾（鶴見五郎）、湘南プロレス（高杉正彦）にポイズン澤田や松崎駿馬といったインディーの中でも味わい深い選手が大勢集まったうえに、怪奇派という隠し味をトッピングした現在の国際プロモーションの下敷きとなる団体であった。次から次へと現れる怪奇派、相次ぐ不透明決着、マニアの想像を上回るチープさが売りの壮絶な内容でごく一部の物好きなファンの熱狂的な支持に支えられていたマニアックな団体である。

当時のユニオンの熱狂的なファンに言わせると、団体最大のビッグマッチだと思われがちな、ポイズン澤田vsマミーのマムシデスマッチもさほどビッグマッチとは言えなかったようだ。このマムシデスマッチは、聖地・流山（千葉県）でクリスマス・イヴの夜に行われ、彼女のいない寂しいプロレスマニアが大挙（でもないか）集合した伝説の一戦。

この日は現在DDT等のリングで活躍中のポイズン澤田（初代アイアンマンヘビーメタル級チャンピオン）が中心となって、ひっそりとそして熱く再開。当日は大作、勇作、吉田和則等の若手とともに、内藤恒仁、高橋正彦、宮本猛といった渋すぎるメンバーが集結。また、ミスター・ユニオンと呼ばれ、グッズ売り場で大活躍した営業の佐藤隆善さんの遺影が見守る中で試合が行われた。

メインではポイズン澤田が往年のユニオンの怪奇派レスラーを彷彿とさせるスフィンクスNO．1と激突した。NO．1というだけあって、当然の如くNO．2も乱入！　いきなり目の前でハンディキャップマッチが展開されることとなった。「もういいだろ」というくらいに痛めつけられるポイズンを見かねて、遂に塚田敬がスフィンクスNO．2を鉄拳制裁！　苦戦の末に幻の秘技・キャトルミューティレーションでポイズンが勝利を挙げた！　そして選手全員をリングに上げ、マイクアピール。

「次の大会では必ず松崎駿馬をこのリングに上げて……」

オ〜、いよいよ遅すぎたユニオン最強決着戦か。

「タッグを組んでやりますよ！」

ズレてるぞ、ポイズン。ただ、全試合終了後にリング上で行われた全選手十佐藤さんの遺影参加で行われた無我ちっくな記念撮影は、さわやか……とは少し違う熱い感動を与えてくれたのだった。

でも次回にはぜひ、三宅やマミー・ブラザーズを探し出して来てくれ。年末に流れで行われるらしい。

マムシがらみのビッグマッチにちょっと期待。

何とも形容しがたい体型の選手が、イーグル・プロの選手。その他にも懐かしの選手が大集合。新旧インディー選手が集結だ。

佐藤さんはユニオンを支えた最大の功労者だった。故人への餞のキャトル・ミューティレーションを捧げポイズン快勝！

まさにインディー中のインディー！　洋服屋バンバンビガロが初興行!!

下北沢の闘魂SHOP（NOT新日オフィシャル）な洋服屋さん『バンバンビガロ』がなぜか興行を打つことになった。8月6日（日）はディファ有明ではノアの旗揚げ2連戦（2日目）が行われるなど、超興行ラッシュ。そんな中で何が行われるかというと……キャット・ファイトGPだ！　セコンド陣はバンバンビガロとキャット・ファイトになじみの深い本誌のスタッフも登場。他にもJJAの佐藤耕平＆橋本友彦、なぜか脱線3のMC　BOOも登場。ちなみに、Jd'のキラー・ウノキこと卯木代表は脱線3のマネージャーだった（『Ollie』情報）。そして、大人気のC−MAXからはC−MAとTARUも襲撃するぞ！　他にもアッと驚くゲストが登場！　あとは詳しくはバンバンビガロのホームページ（http://www.bambam88.com）で情報をゲットしよう！

タノムサク鳥羽にキックボクシングを習おう！

タノムサクが教えるキックボクシングのお知らせです。

楽しくキックボクシングを習いましょう！

見る、やる　これからより格闘技を面白くさせます。

タノムサクが責任指導！
タノムサクがあなたを強くします！
タノムサクが頼むサク！

SSSアカデミー　水道橋徒歩4分
千代田区三崎町2-6-6　光建ビル
03-5212-7920（電話）
このちらしでキックコースの入会金が何と
10000円 → 5000円　のタノムサク価格

プロレス＆格闘技の聖地・水道橋。そこにSSSアカデミーというジムがあるのをご存知か？　というか、知らない人に朗報です！　日頃は新宿でかっ飛び出前持ちとして活躍中のタノムサクが、水道橋のSSSアカデミーでキックボクシングを直接指導してくれるのだ。駅から徒歩4分とメチャ近いのも嬉しいが、DDTなどのタノムサクが出場する会場で自ら配っているチラシをゲットすると入会金￥10000のところが￥5000になるのだ！　是非、一度行ってみよう！　場所は東京都千代田区三崎町2—6—6光建ビル　TEL.03—5212—7920　SSSアカデミー。

キャプチャーに超新星が入団！

北原光騎が率いるキャプチャーに、超新星が入団した。いままで女子選手はいなかったキャプチャーだが、この久保田有希の経歴を見れば誰もが入団を納得だろう。全国高校柔道チャンピオンで、現在はキャプチャーで総合格闘技の特訓中だという。コーチ役のニーハオによれば、「いままでのL—1レベルなら余裕！」というだけあって、その実力は計り知れない。。現在は、年末に開催される『ReMix』出場を目指しているという。尚、ピンナップ裏のスケジュール入稿後に1大会が決定した。8月27日（日）地下室マッチ神奈川大会　カラオケボックス　パルパル　西生田大会（時間未定）。

サル・ザ・マンこと葛西純が大日本の夏を燃やす！

7月30日、大阪・鶴見緑地大会で山川竜司と対戦するサル・ザ・マンこと葛西純。ゴールデンウィークに、松永と闘いデスマッチ2連敗を喫し、巻き返しのチャンスを狙っていた葛西が動いたぞ！　大阪でのvs山川戦に勝てば、8月6日の東京・秋葉原大会で松永とタッグを組んでCZW勢と激突出来るチャンスを掴んだのだ。5月の連敗以来、低迷が続いていた葛西だったが、一気に巻き返すチャンスがやってきた。同じく、大日本の前座戦線を盛り上げる関本や伊東といった若手勢も非常に成長著しい。松永のようなベテランから若手まで、大日本も層が厚くなってきた！

DDT 三四郎、世間に風穴あけまくり！

（文・チョロ）

んなこたぁどーでもいいんだよ！

DDT怒涛のメディア戦略はまだまだ続く！『TOKYOウォーカー』、TBS『女神の誘惑』、NHK・BS-2『真夜中の王国』での三四郎特集、キャバクラ雑誌『クラブアフター』ではDDT連載開始、日テレの『コロッセオ』でも、既にDDTは何度か取り上げられている。

この勢いは7・13club「ATOM」での大仁田厚対高木三四郎戦で最高潮に達した。TV、雑誌等で目にした人も多いと思うが、超満員札止め（とはいっても184人）の観衆を集めたこの一戦。驚かされたのは集まった報道陣の数。なんと軽く50社を越えたというから尋常じゃない。

大仁田戦から6日後には、三四郎は『モーバンブンビ（モード・バンタン・文化・美容の略）』というイベントのファッションショーに、春一番、そして大仁田厚とともに出演。いまや高木三四郎はインディー界のオーちゃん状態で、世間に風穴をあけまくっている最中なのである。

「環境が人を育てる」とよく言うが、あと乗せでもいい、サクサクといってくれ！

遂に浩一郎が折原の持つベルトに名乗りを上げた。発売時には結果は出ているが、暴露話をされたのはどっちだ？

【上】三四郎が結成したDDTファイトクラブ。強さを求め浩一郎の下につくのか？　それとも三四郎につくのか？　目が離せないぞ！【左】TVの収録で吉井怜ちゃんが来場。

なんと、あの悲しき天才と小さな巨人がシングルマッチで激突！

プロレスとは、スポーツと格闘技とエンターテイメントと芸術の集大成である。
UNW プロレスリング
時代の先っちょをいく闘い
REAL WORLDS HEAVYWEIGHT CHAMPIONSHIP
"悲しき天才" セッド・ジニアス（チャンピオン）VS "小さな巨人" グラン浜田（挑戦者）
DATE 2000. 9.5（火）　PLACE 北沢タウンホール
6:30PM ゴング 5:30PM 開場 全席自由／5,000円（当日5,500円）
チケットのお求め／お問合わせ
渡辺事務所 TEL.03-3362-3014　チケットぴあ TEL.03-5237-9999

一時は意識不明の重体に陥っていた悲しき天才セッド・ジニアスが帰ってきた。ジニアスが復帰戦の相手として指名したのは、グラン浜田。新日で育った浜田と、テーズの元で育ったジニアス。落差の激しいロックアップは見れんのかーッ？　【問い合わせ】渡辺事務所TEL..03-3362-3014

本誌特選!! 注目選手

平成プロレスに鉄拳制裁！「昭和」

ショウワ〜ッ！

今や各方面から注目を集めるDDT。その最新鋭インディマットでひときわ異彩を放つ選手がいる。その名は『昭和』。平成プロレスマット界に苦言を呈するかのごとく突如現れたナゾの覆面レスラーに今回は直撃インタヴューだ！

——『昭和』選手が平成のマット界に現れたその理由を教えてください。

昭和　平成の技、ラリアットプロレスに対する反発とでも言いますか。今は派手な技が多すぎる！　その中で、地味な技でも決められるぞっていうのをリバイバルという形で広めたい。

——古き良き技の大切さを説いていくと。

昭和　そう。大技を前半に出すなんてのは言語同断！　それで極まんなかったらその技をフィニッシュにしてる人はどうするんだ。どうやって詫びるんだ！

——ごもっとも！

昭和　フィニッシュ技は最後の最後、伝家の宝刀ってくらいで極めないと。なにも大技じゃなくても良いんだ。カラテチョップもフィニッシュ技になりえるだから。大切なのはそこまでどうやってスタミナを奪っていくか。だから大技出さなくても試合は成立させられるんだ。今はいきなりボカーンだろ!?

——それじゃいかんと。それにしてもマスクはシンプルですよね。

昭和　デストロイヤーチックなマスクで素顔が分かっちゃってるんじゃないかって不安もある。昭和的にはクルッと返される危険性もあるし。それでも覆面の中に王冠を入れて使った。凶器のコンセプトも栓抜きとか、昭和テイストでね。でもなかなか昔の栓抜きがなくて非常に困ってるんだ。探すのに一苦労だよ（苦笑）。

——昭和も楽じゃないと。ところで正体はナゾの大物だそうですが、マスクを被るワケは？

昭和　大先輩に対して恥のないように！　卍固めしてもいいかな？って時も、マスクをかぶることで、オッケーですから。もう昭和モード全開ですね！　グハハハ。

——そんな『昭和』選手のバックボーンは？　もしや『虎の穴』『蛇の穴』とかだったり……。

昭和　いえ、『ケツの穴』の出身で。

——『ケツの穴』！　じゃあこれから『ケツの穴』出身者がDDTマットに来襲ってこともありえるんですか。

昭和　賛同してくれる選手がいるなら、もう『ケツの穴』解放で、ワハハハ。

——何か臭そうですねえ（笑）。

昭和　何てこと言うんだ！（怒）平成はまだまだ12年。昭和の方が歴史が長くて奥が深い！　昭和ロマンをもう一度。カンバック、昭和ロマン!!

（構成・イナズマ★K）

【7月6日・リキパレス近くclub「ATOM」にて収録】

ライダーと『昭和』のコブラと卍の共演。どちらも中身は昭和プロレス者だけに実に絵になる。最後は、1、2、3、ショウワ〜ッ！

『紙プロ』独占スクープ!

キングダム・エルガイツのエース

入江秀忠がメンズクラブで激白!

そしてUWFヘビー級トーナメント開催&
UWFチャンピオンベルト設立、
さらには道場建設計画まで、高らかに宣言!

ボクは、ボクは、ホモじゃありませ〜ん!(絶叫)

聞き手&撮影/チョロ
interview&photographs by Choro

何度でも言うが、いまキングダムが熱い！　エースの入江秀忠はもっと熱い！　そのマイクアピールは熱すぎる！（絶叫）。そして入江にはホモという噂が絶えない！　思い切って聞いてみた！　場所は、場所は「メンズクラブ」だ！

——まず、なぜここ「メンズクラブ」で収録してるか読者へ簡単に説明していただけませんか？

入江　ハッハッハッ（笑）。ここはですね、ボクが25の時に、大学をを卒業してシューティングを始める前、教員採用試験の勉強をしてた頃にお世話になってたんですよ。

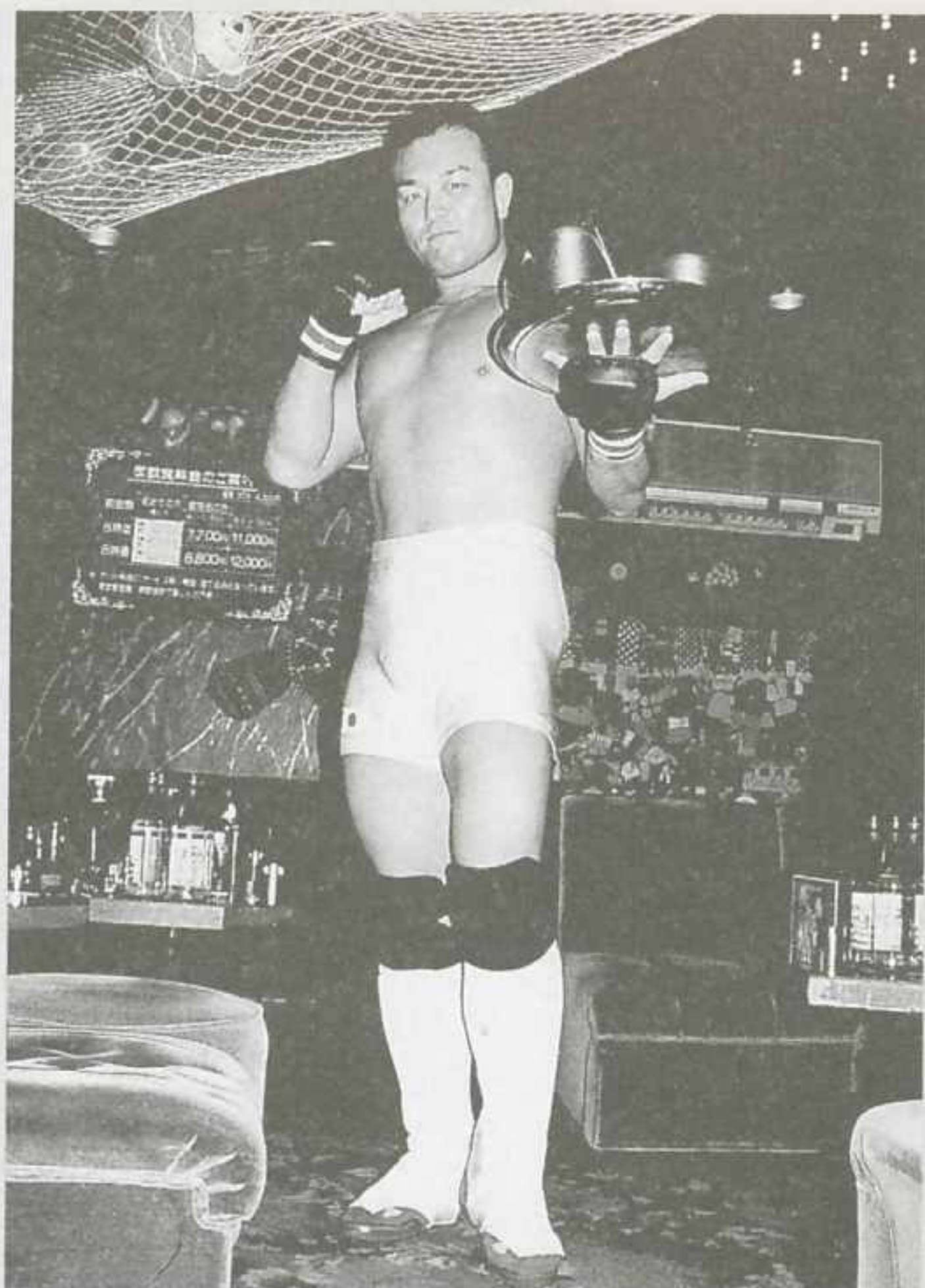
——昼は勉強、夜は「メンズクラブ」だったわけですね（笑）。

入江　そうなんですよ。いまだに大会チケットを買ってくれたりしますからね。ありがたいです。

——それで、これは非常に聞きづらいんですが、キングダムのパンフレットに「メンズクラブ」の広告が出てたんで、ぶっちゃけた話、入江さんはそっちの気があるんじゃないかって思ってたんですよ（笑）。普通、「メンズクラブ」って言ったら男による男のための店だと思いますよね。

入江　よく言われるんですよね（笑）。だからボクもね、去年取材受けた時に、松澤さんが「今度、メンズクラブで取材しましょうよ」って言ってたんで、この人なにを言ってんだって思ってたんですよ。しかも、言いづらそうにしてましたからね（笑）。

——ヒャハハハ。さすがにボクも「入江さんってホモですか？」とは聞けませんでした（笑）。でも、ファンや関係者の間でも、「入江ホモ説」は根強かったんですよ。

入江　根強いですよね（笑）。この間、（藤原）組長さんと、飲んでた時も、酔っ払いながら「お前、ホモだって噂聞いたけどホントか？」って言われましたから（笑）。

ジャイアント落合とは、よく一緒に練習をしていたという入江。「メンズクラブ」で働いていた当時、体育の教師を目指していた事から「ティーチャー」と呼ばれていた入江。ティーチャー入江対ジャイアント落合の一戦も見たい。

この間、組長と飲んでた時も、「お前、ホモだって噂聞いたけどホントか？」って言われて（笑）

——その噂は組長の耳にまで入ってたんですね（笑）。

入江　「なに言ってんですか！」って言っちゃいましたけど（笑）。ここでハッキリさせたいんですけど、ボクは決してホモではありません！（キッパリ）

——どっちかというと女好きなわけですか？

入江　どっちかっていうか、完璧な女好きです（再度キッパリ）。

——そんなにアピールしなくてもいいですよ（笑）。まあ、今日でホモ疑惑はとけると思いますけどね。お姉ちゃんに囲まれて、ホントに嬉しそうな顔してましたから（笑）。

入江　そうでしょ（笑）。でも10月にデビューしてしばらくは女の子のファンが何人かいたんですよ。「入江さんのファンに凄い綺麗な人がいる」とか噂があったんですよ。いまは男だけですからね（笑）。

——類は友を呼ぶってことなんですかね（笑）。

入江　違いますって！（笑）。これからは『紙プロ』さんの中でも入江はホモじゃないぞって、否定してもらわないと。

——ホモ疑惑解消とともに（笑）、キングダムエルガイツに一つ朗報があるらしいですね。

入江　（嬉しそうに）なんと道場ができてしまうんですよ（笑）。ボクもビックリしてます。

——U系の団体には道場は絶対必要だと前から言ってましたよね。

入江　そうですね。興行より道場ですからね。でもその費用がなかったもんで、いままでは公共施設で練習生を育てながらやってたんですけど、協力してくれる人が出てきてくれたんで、ホントにありがたいです。それに、この間の全日本アマチュアキングダム選手権

発覚！キングダム道場設立計画!!

キングダム・エルガイツ道場設立に強力なバックアップをしてくれたのが、リサイクルショップ夢倉庫の段木社長である。自らの所有地から建物までドカンと入江の可能性に投資してくれたのだ。マット界の夢倉庫となれ！

段木社長の経営するリサイクルショップ「夢倉庫」（042・376・6819）の前で社長とガッチリ握手する入江。段木社長は、現在、68歳になるが、3ヵ月前から極真空手をはじめ、格闘技に興味を持ったという。道場は9月末にも完成し、10月オープンを予定している。今時やらない（by入江）足関節技を中心とした「足関コース」をはじめ、コース別に様々な技術が学べる。

ここで21世紀のスターを作ります！

これが衝撃の道場完成予想図だ！

キングダムエルガイツ道場タウンマップ

見てみ、この道場完成予想図！ 道場予定地の横の川には鯉がいっぱい。しかも周りには民家も少なく大声を張り上げての練習も可能。上野毛の新日道場や、リングス前田道場チックな風景で練習するにはもってこいの環境である。それでいて道場の最寄りの駅は京王線の聖跡桜ヶ丘。急行も止まるので非常に便利。

で、ウチの選手が二階級制覇したり、凄くいい流れできてるんです。ボクも近々引退させられるんじゃないかと、今はもうビクビクしてますから（笑）。

――エースとしても、うかうかしてられないわけですね。

入江　そうですね。ウチの選手にも言ってるんですけど、ボクから一本取れと。一本取れるようになったら、リングで闘ってやると。それまではお前達は俺の下だと。

――今のところ自分の団体の選手からは一本取られてないんですね。

入江　そうですね。これは自分が強いとか言うワケじゃないんですけど、いろんなところに出稽古に行かせてもらってる中で、今まで二年間取られてないですから。

――この間、聞いた時には1年6ヶ月間、取られてないと言ってましたけど、遂に2年ですか（笑）。

入江　そうですね。いつ取られるかヒヤヒヤしてますけど（笑）。

――そんな入江さんですけど、凄いことを企んでるみたいですね。

入江　9月2日、遂にキングダム・エルガイツが川崎市体育館に進出します。いままでで最高のキャパになるんですよ。10万円のチケットも用意してますから（笑）。

――えっ、10万円!!『PRIDE』、『コロシアム』並ですね。もちろん、それに見合うようなカードを用意してるわけですよね。

入江　もちろんそうです。藤原組長、中野（巽耀）さん、内藤（恒仁）さんとか、UWFに関係のある選手、またはUに思い入れがある選手に集まっていただいて、8人のヘビー級トーナメントをやります。さらにはUWFのベルトを作ってしまおうということで。

――えぇ～、UWFのベルトを作っちゃうんですか？

入江　無謀といえば無謀なんですけど、もう発注しちゃったんですよ（笑）。

――組長、中野さん、内藤さんが、UWFっていうのはわかるんですが、なんで入江さんがUWFを名乗るんだっていう声も当然出てくると思うんですけど。

入江　でも言わせて頂ければ、ウチの団体は、例えば昔のUWFから分家していったっていう感じがありますけど、あくまでウチは本隊の生き残りだと思ってるんで。

――本隊の生き残り？

入江　ボクはUWFインターナショナルっていうのは、UWFを背負った本隊だと思ってますから。他のところは、一度Uを捨てて、リングスもパンクラスも格闘技の方に行ったんですよ。その中でUインターはあくまで原点回帰ということでプロレスの方に、UWFの方に戻っていったと。その後にできたキングダムという団体は、格闘技の方に行こうという方向性はあったにしろ、なんでなくなってしまったかというと、それは高田（延彦）さんの影がなかったっていうのもあるし、やっぱり高田さん＝UWFなんですよ。キングダムは格闘技だけじゃ生きていけなかったんです。格闘技プラスアルファの何かがないと生き残れなかったんです。それはプロレス的な要素かもしれないですけど、UWFという冠を外した時点で失敗だったんじゃないかなって見てるんですけどね。

――ここにきて、ヘンゾ（・グレイシー）戦での「U」のテーマとか、田村（潔司）さんが「UWF」というものにこだわりを見せて、再びUWFが注目を集めてますよね。

いろんなところに出稽古に行かせてもらってる中で、今まで二年間取られてないですから

入江　ボクはですね、去年の6月の大会名を「UWFジェネレーション」と付けたんですよ。そういう意味でUWFの復活を目指して始めたわけですよ。ボクはその中で、UWFの強豪を集めて8人でトーナメントをやって、その中で優勝できれば十分UWFを名乗る資格はあると思ってますから。あくまでUWFの強さという部分と、UWFの懐かしさという部分を二つリバイバルさせた興行にしていこうと。で、これは一つの案なんですけど、一回戦を第一次UWFルール、二回戦を第二次UWFルール、決勝戦はキングダムルールと、UWFの流れを汲んだトーナメントにしていくのも一つの手かなと思ってるんです。それにUWFにゆかりのある、いろんな大物選手とかと交渉してるところなんで、もうちょっとしたらビックリするような話が出せると思います。

――「Uイズ・デッド」と言ってるヤマケンさんが出場したら面白いですけどね（笑）。

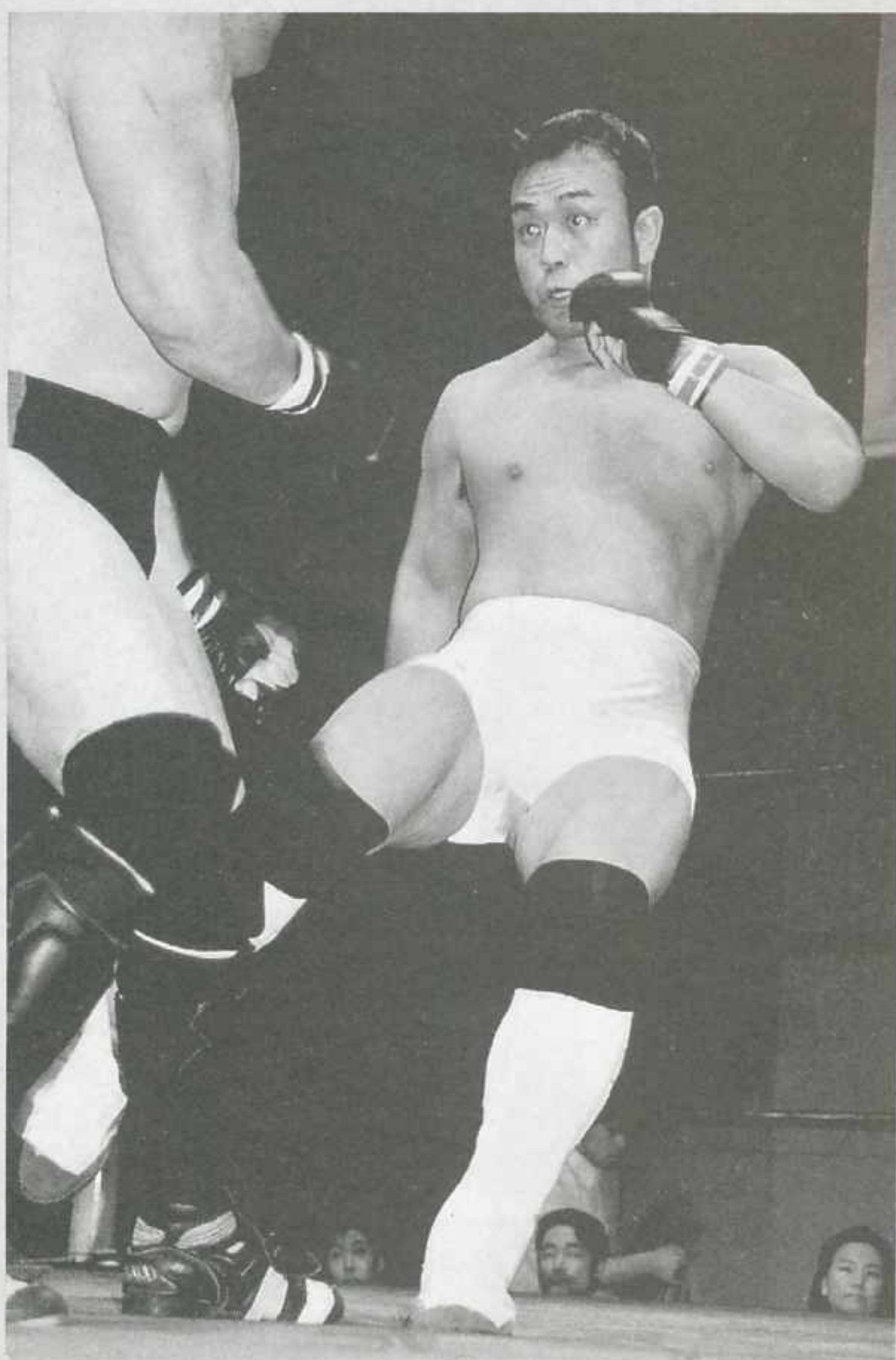
入江　ヤマケンさんにも出てもらいたいですね。トーナメントで優勝してもらって、「このベルトは要らない」とか言って返上してくれてもいいんですよ。でも俺だって簡単には取らせないですよ。

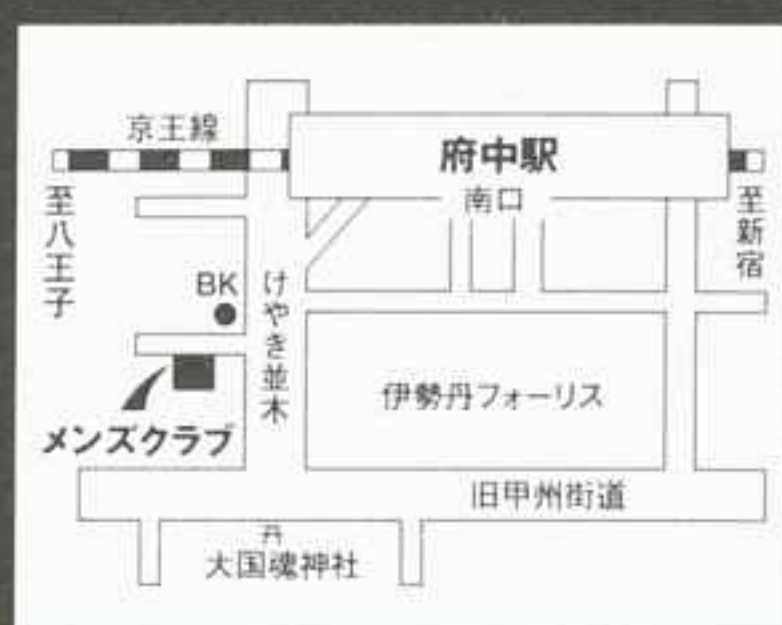
――だけど、当時のUWFスタイルをそのままやったら、懐かしさはあるでしょうけど、それ以上のものにはならないと思うんですよ。

入江　それはそうですよね。だからボクのマイクアピールもそうですけど、闘う中にもお客様を楽しませていかないダメだと思ってますから。これからの時代やっぱりガチガチのバーリ・トゥードもありますけど、それだけじゃ生き残っていけなくなる時代が必ず来ます！　でもボクは、ある意味キングダムは『紙プロ』的な団体だと思ってるんですよ。

――それはどういうことですか？

入江　『紙プロ』は格闘技寄りのプロレス雑誌って感じですよね。

――そう言われることが多いです

目下12連勝中の入江。なんと、入江は8月3日（木）のTBS『うたばん』で、石橋貴明、モーニング娘。らと共演するという（ボディービルダー役）。必ずチェックしろ！

けどね。
入江　ウチの団体もそういう風に見られてるんで、ボクが将来もしメジャーになったら『ミスター紙プロ』を名乗りたいんですよ（笑）。
——なんですか、それは（笑）。
入江　よろしくお願いします（笑）。でも、ボクはまだ、組長とか村浜（武洋）君のようにネームバリューがないんで、その分もっともっといい試合をしていかないと認知されていかないと思ってますんで。
——そのためには、今度のトーナメントは凄い重要ですよね。
入江　そうです。ボクは、トーナメントで優勝できたなら、今までシューティング時代から、我慢というか、やりたかったことがあるんですよ！　もの凄い大きなことなんですけど、ボクはその人と闘いたくて格闘技界に入ってきたんですよ。その人を追っかけてシューティングに入り、その人を追っかけてキングダムに入り、その人を追っかけるためにボクは闘ってるんです！
——シューティング、キングダム繋がり?……あ～、なんとなくわかりました。ボクの頭の中にある人だったら、やっぱり、ネームバリューが必要ですよね。
入江　強さもそうでしょうけど、それ以上にネームバリューが必要ですから。その人と闘えたら勝っても負けても引退するかもしれません。
——船木（誠勝）さんじゃないんですから（笑）。
入江　でもボクは、それで格闘技の方は一段落付けてもいいと思ってるぐらいですから。身体もボロボロだし、ホントに精神的にもきてるんですよ。練習もしたくないんですけど、鞭打って練習しないと格闘家としては死んでしまうんで。だから、今度できる道場はボクにとっては格闘家としての最後の死に場所であり、ガン患者でいうホスピスですね。
——う～ん、ホスピス（笑）。
入江　その中で余生を送りながら、格闘家として人生がいい形で終われればと思ってますんで、最後のチャンスを賭けるために闘っていきます。でもいまはまだ、その人の名前を口に出せませんし、その人の背中が全く見えないんです！　遠くにも見えないんです!!

ボクが将来もしメジャーになったら『ミスター紙プロ』を名乗りたいんですよ（笑）

——現時点では全く手の届かないところにいるわけですね。
入江　現時点では全く見えません！　ただボクはネームバリューを付けて、その中で自分を精進させていけばチャンスは来ると信じてますから。いまボクがその人と闘える可能性は0、0001%もないに等しいですけど、例えばそれがホントにゼロでない限りは諦めません！　ボクは自分の人生を賭けてどうしても闘いたいんです。その人にはUWFの借りもあるし、なぜキングダムがなくなったかっていうのもあるし、それにボクの夢であり、全てが重なってるんですよ。
——バレバレのXとの対戦にこぎつけるまで頑張って下さい（笑）。
入江　頑張ります。ボクの中のドラマはこれからですよ。まだ始まったばっかりです。ホントに面白くないなら見に来なくていいけど、見に来てくれるお客さんも増えてるんですよ。それはなぜかっていったら、やっぱり惹かれるものがあるからだと思ってるんです！　とにかく一度見に来て下さい!!

【7月3日、東京都府中市／メンズクラブにて収録】

なんと、新日本の永島取締役と飲み仲間だという入江。先日、愛用する格闘家のためのタバコ「ネオシーダー」（ニコチン・タールなし）を永島氏にすすめると「明日からこれにしようかな」と一言。もしかして新日登場はありえる？

伝説の大会を目撃せよ！ そしてキングダムを着ろ!!
ビデオ&Tシャツプレゼント

入江さんのご好意により、九州にビッグネームが集結！　4・22『UWFサザンクロス』（村浜VSタノムサクは必見！）のビデオとキングダムTシャツ（M）をセットで1名にプレゼント！　応募方法はP159参照！

『紙プロUFO』？ 相手なんねぇよ！(強すぎる邪ねえか！)

WORLD MEGA-BATTLE
OPEN TOUKOUPAGE

H

HAGAKING of KINGS

『紙プロ』本隊は目を覚ましたのか？ 『紙プロ』本隊からの返答邪―――ッ!!

三バカトリオ★１号
スモーノブ

三バカトリオ★１号
松澤チョロ

三バカトリオ★１号
堀江ガンツ

スモーノブ

みんなで仲良く隠居して UFOごっこでもやってろ！

オッサンの戯言は、もうええねん！　批判は全部厳粛に受け止めた上で言わせてもらう。オレはミスター・ウォーリー・ヤマグチのおかげで、この会社で食っていけるっちゅうのは紛れもない真実だから。でもね、ああいう企画に読者アンケートでも票を入れてた人がいたけど、あれだったら俺が書いた『バカ日誌』の方が面白いだろ。あの原稿には、読者を楽しませようっていう意識はあるけど、怒りが足りないよ。ホントに怒ってんなら叩きツブせ！　半チクなことすんなって！　だいたい、「身体がキツい」っつって、勝手に所用欠場を繰り返す藤波みたいな社長なんだから。それで、猪木を気取ってＵＦＯとか言って、延々と愚痴ってさ。実際、現場を支えてるのは誰だっつーの！　巡業についてこれない奴とは違うんだから、これはミスター・ウォリーとサミー・ゴー以外の人のことだけどね。オマケに浮気のアリバイ何回作ってやったと思ってんだよ！　あとね、ライターと編集を一緒にすんなって。編集の方が何倍もやる仕事が多いんだから。これはプロレスと格闘技と同じなんじゃないの？　ライターを超えたものが編集者なんだよ。俺はそうミスター・ウォーリーから教わったつもりだけどね。チヤホヤしてくれる編集崩れのボケライターと仲良く隠居してＵＦＯごっこでもやってろ！　以上！

堀江ガンツ

日本のことなんて関係ない！

はぁ～れたそら～、そぉ～よぐかぜ～。
え!?　『紙プロ』ＵＦＯ？　ああ、あれね。あれはスモーが悪く言われてるだけで、俺のことはむしろ誉めてるでしょ？　だから全然問題ねぇよ。それにしても日本は狭い中で徒党組んだりして、スケールが小さすぎて俺には合わねぇな。俺って、三銃士っていったら武藤だからさぁ、世界を相手にするから。というわけで俺はリングス・ハワイ大会の取材に行ってくるよ。ジメジメした日本におさらばしてハワイだから。
バイバイ・ニュー・ジャパン。アロハ～。

松澤チョロ

グレート・チョロ 復活邪！

オイ、オイ、オイ、お前らもマットを叩くんじゃい！『紙プロUFO』に物申す！『紙プロUFO』に物申す！　『紙プロUFO』ってなんだよ！　相手なんねぇよ！　お前らはストロング過ぎるん邪！　お前らに勇気があるんなら、電流爆破で勝負せんかい！　だがな、俺の頭の中は怜美のことでいっぱいなん邪！　俺はゴミじゃ。人間がもっとも利用するゴミなん邪！★イラスト(青森県／青木雄大)５点

ReMi くすっ くすっ

んなこたぁどーでもいいんだよ！ ハガキングオブキングス続行邪!!

U.F.O キャッチャー

(東京都／キャプテン名倉)３点★オイ、オイ、オイ、オイ、イラストまでＵＦＯじゃねえか！

小川、アングリ 完敗!?

(大阪府／英加直純) ３点★オイ、オイ、オイ、オイ、小川？　これまたＵＦＯじゃねえか！

ISHIKAWA YUKI

(埼玉県／中川雅博／22歳・無職) ３点★オイ、オイ、オイ、石川社長？　なん邪、白覆面邪ねえか！

OK!? カシンコーション
マスクも連鎖します！ズバリ言って!!(アントン談)

(熊本県／塩本祐介) ３点★オイ、オイ、オイ、オイ、オイ、またもや、アントン邪ねえか！

やっぱりアントンは、強かった…

(岡山県／松原怜美／17歳) ５点★オイ、オイ、オイ、オ？　怜美邪ねえか♡　それでもアントンなん邪！

オイ、オイ、オイ、イラストもＵＦＯばっかりなん邪！

前号では『紙プロUFO』とやらが、飛来してきたようじゃが、読者アンケートの結果を見てみ！　時代は、俺ら『紙プロ本隊』に傾いているん邪！「面白かった記事」は、１位から順に、前田、小川、ＴＫおかん、仲野……全部『紙プロUFO』&タコヤキ君の仕事なん邪！　確かに、俺らはまだ実力が足らんかもしれん！　もうちょっとだけ待ってくれんかのぉ？

なんですけど、ボクはその人と闘いたくて格闘技界に入ってきたん
せん。
――船木（誠勝）さんじゃないん
も闘いたいんです。その人にはＵＷＦの借りもあるし、なぜキング
にかく一度見に来て下さい!!
【7月3日、東京都府中市／メンズクラブにて収録】

オイ、オイ、オイ、グレート・チョロ、『紙プロUFO』飛来の、どさくさにまぎれて大復活邪！

■あなたの声を聞かせて！

●暑いですネー！ どーも。お久しぶりですネ♡ まこちゃんです。こないだの『紙プロ』をみてビックリ&ガッカリ？しました。読者のハガキが1枚ものってない!?しかもインチキ猪木軍団？に乗っ取られていた。『PRIDE.0』はどーなるの？ ちなみに『八木宏』（本名）のリングネームは何？ 答え♡『剛竜馬（いわゆるプロレスバカ！）』うーん、そんなことはどーでもいいけど……『紙プロ』ちょっと心配♡♡全日みたいに分裂しないで下さいネ♡ ところで、こないだ郵送した『チーム・まこちゃんず』の新メンバーの写真どーですか？ エッ!! 捨てた？（そ、そんな～）もしよかったら載せて下さい♡♡ あと一つ提案があるんですけど…♡♡『チーム・まこちゃんず』モーニング娘化計画♡♡というのはどうでしょうか？♡ ふつうプロレス雑誌は男しか買わない！ でもこーゆう企画をやることで、女の子が買ってくれれば『紙プロ』売上げUP♡♡マチガイナシ!!（ホントかよ、オイ！）『チーム・まこちゃんず』のメンバーを募集してモーニング娘。ぐらい集まれば（キッスの世界に続け♡）、読者コーナーも一安心♡？ ケッコー話題になるかも♡イガイな発展（CDデビュー♡♡写真集出版 ♡サイン会♡）につながるかも♡（まこちゃん）5点
★オイ、オイ、オイ、♡まみれの、まこちゃんには誰もかなわねえん邪！

●『紙プロUFO』は面白くない。ジャイ子が嫌いだから。以前「青空プロレス」で生で見たら一層キライになった。大きければ何着ても似合うと思うなよ（東京都／神子綾可／2歳・幼児）4点
★俺はお前を否定せん！ だがなっ、よ～く聞け！ この間、ジャイ子はこう言った！「ヘタに勝負パンツ履いちゃうとやっちゃうかもしれないしィ」。オイ、オイ、みんな、ジャイ子に気を付けるん邪！

●つまらなかったのは田村潔司インタビュー。さわやかすぎる。本音の部分がみえてないように感じた（埼玉県／武村浩史／32歳・大工）2点
★武村さんに一言物申す！ 田村インタビューは毎回毎回、本音だらけの水泳大会（海パンは赤）邪！ オイ、オイ、俺にはかなわんがのぉ、タムタムのあそこはデカイん邪！

今月のあんたが大将！
ひと足お先に金ちゃんブレイク!!

（青森県／青木雄大）10点★オイ、オイ、オイ、文句なしで今号のナンバーワン投稿なんじゃあ！ 前号はイラスト載せられなくて悪かったのぉ。

（愛知県／たっつあん）4点★オイ、オイ、オイ、オイ、なんで金ちゃんのイラストがこんなに多いん邪！

（東京都／キャプテン名倉）4点★オイ、オイ、またもや、金ちゃんイラスト邪！ どうなってるんじゃあ！

●祝ジャイ子復活!! ジャイ子さん結婚して!! 本気（マジ）で!!（東京都／何笠SAKEVI／28歳・ひま人）3点
★オイ、オイ、そんなお前に物申す！ ここで問題邪！ ジャイ子はゴムフェ●をしたことがあると思うかーーッ？ したことがあるかないかと、それは何味だったかを書いて、読プレと同じ要領で送るんじゃあ！ 正解者にはもれなく、特製のジャイ子グッズをプレゼント邪！

●まさか旭道山がプロレス紙に出ると思わなかった。内容も面白かったしこういうことができる身の軽さも『紙プロ』ならではは！（神奈川県／安西直紀／19歳・学生）3点
★オイ、オイ、オイ、インタビューしてるスモーの身は、相当重いん邪！

●前田総帥インタビューは、さすが山口&吉田の"世界最強タッグ"。前田のキャラをうまく引き出してます。（東京都／柳川真一／43歳・小売業）2点
★何だかんだ言っても、前号の一番人気は前田インタビューだったん邪！

●面白かった記事は『書評の星座』&『ザ・検証』のせきしろさんの"I"コラ。毎号、妄想に大爆笑。このおもしろさを彼氏（健介とか、かっこいいって言う人）に伝えようと、妄想を口頭で説明するのを試みるが、まったく、彼の心に響かず、いつも口惜しいのです。読んでみてって言うけど、読んでくれないし。このおもしろさを一人、心にしまっておくのはもったいないんだけどなぁ。女友達で、維震軍知ってる人いないし。ジャイ子さんは妄想好きですか？（新潟県／小林祥子／25歳・会社員）4点
★オイ、オイ、オイ、俺はじゃいじゃい言うとるけど、ジャイ子ではないん邪！

●面白かった記事・高阪フミさんインタビュー。お母さん、おふくろ、ママ、母上……さまざまな呼称のある中で現代における「おかん」というフレーズはまったく高阪フミさんのためにあるようなものだ（村松友視先生風）（愛知県／真下純子／30歳・パート探し中［工場系希望］）4点
★オイ、オイ、オイ、その通り邪！

●今月の独り言。この間『コンテンダーズ2000』を見に行った時、横にエンセン井上さんがいて「陽差しが……」とか独り言をいっていたので、そんなおちゃめなエンセンさんにもヒクソンと闘ってほしいです。（東京都／安原智子／18歳・短大生［中退直前］）5点
★スモーにエンセンから電話がかかってきた。どうやら怒っているらしい。「私に内緒で番号変えちゃダメよ！」。オイ、オイ、ズコッ！

●面白かったのは仲野信市インタビュー。谷津に向かって怒っていたから。よくぞ言った（谷津は好きだが高田にキビシすぎるので）（岡山県／川上秀明／21歳・学生）3点
★オイ、オイ、オイ、仲野インタビューは大好評じゃったな。

●タマリン、やめちゃった（やめさせられた？）んですね。ワル子ちゃんみたいですね。ウフフ。ところで紙プロは編集部員の募集とかっていつ頃するのですか？ 秘かに私は夢見ています。私は元ピュアハート練習生として、紙プロで女子プロのページをたくさん作ることを夢見てます。その前に東京に出ることが第一の目標。貯金がんばってまーす［マジ話］。大ちゃんインタビューも私ならもっと、ましなこと聞ける。それより、タマのリンは誰とデートしたんでごわすか？（山口県／ゆずっ子／21歳・ローソンGirl）3点
★オイ、オイ、オイ、今はまだ言えんオッケー！

●面白かったのは前田インタビュー。説教を暴行と言い張るような日本語が乱れた連中に、この面白さはわからないんだろうなあ。『週プロ』『紙プロUFO』。今まで『紙プロ』とか外にだけ牙をむいてきたが、ついに内部にも噛みついた！ 内紛最高。本隊の3人もクワガタタックルでもいいからやり返せ！ 仲野信市インタビュー。全く期待してなかったのだが、吉田豪さんの腕が見事に素材の良さを引き出した。素材の味を殺してる誰かさん達も見習って欲しい。TKおかんインタビュー。Jリーガーにも野球選手にもいない凄面持ち主のサラリーマン、高阪一博さん登場を切望。（青森県／青木雄大／24歳・素人ポンチ絵師）5点
★ところで、お前らに物申す！ 高阪一博さんといえば、小柳ゆきの作詞だか作曲やってる人もそういう名前じゃった。もしかしてTKのアニキなのか？ そのことを考え、俺は悩んで悩んで悩んで悩み続けたッ！ オイ、オイ、オイ、誰か教えてくれんかのぉ？

●田村さんのインタビューは毎回チョロさんとのやりとりが面白い（神奈川県／藤原ユミ／21歳・主婦）5点
★オイ、オイ、オイ、藤原さんよぉ、お前の気持ちよ～く受け取ったーーッ！ 俺が21世紀のインディーだということを、『紙プロUFO』に、俺は、俺は、真っ正面から叩き付けてやるーーッ！ ファイヤー!!

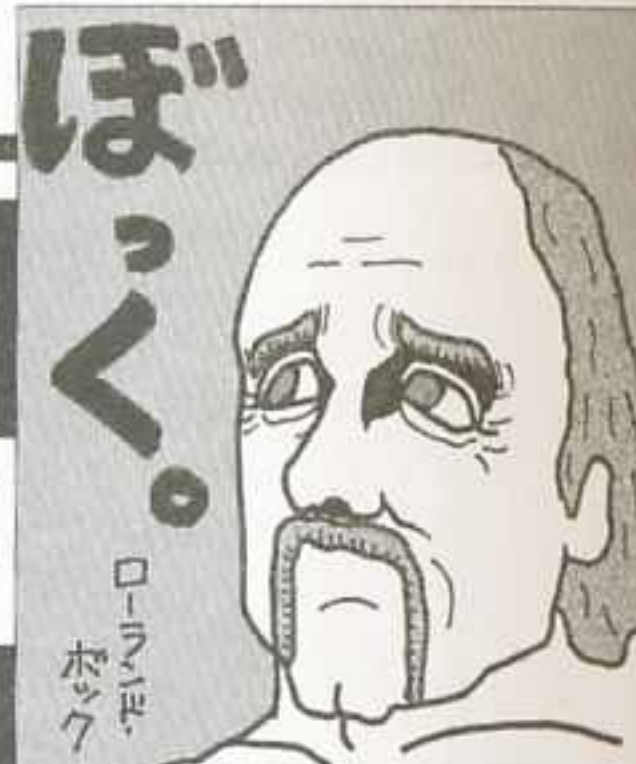
パンチラシーズン到来!

真夏の格闘芸術特集!!

真夏のももぢ劇場

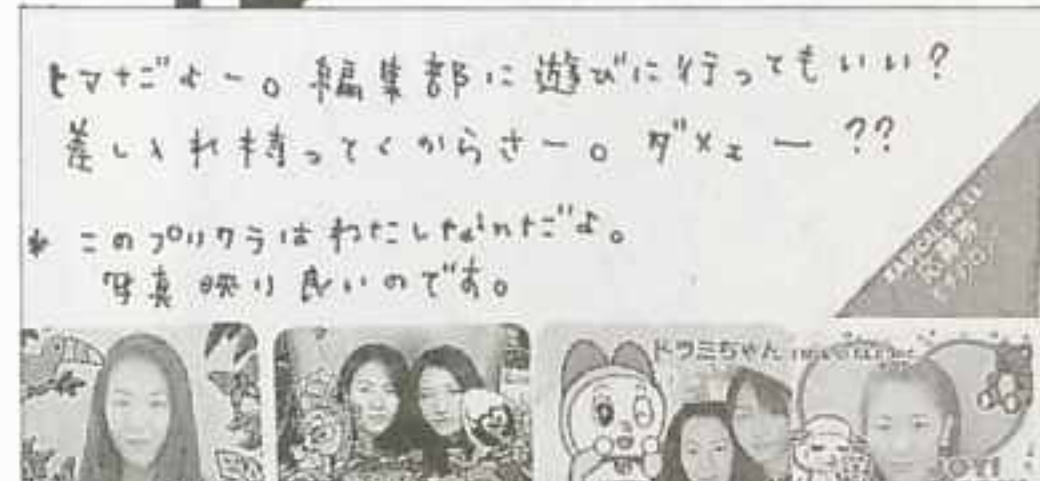
(東京都／ももぢ) 5点★オイ、オイ、オイ、オイ、ももぢちゃんよぉ、俺は、俺は、食べ過ぎで胸いっぱいなんじゃあ!

真夏も行方不明

(青森県／青木雄大／24歳・素人ボンチ絵師) 5点★オイ、オイ、オイ、こんな本が出たら嬉しくて、ぼっく、ぼっく泣いちゃうん邪!

真夏もファイヤー

(広島県／山田彰／31歳) 4点★いいねぇ、いいねぇ。でもお兄さんだったら、修斗見とく? 周富徳なんじゃあぁ!

真夏も受け身第一!

(青森県／青木雄大／24歳・素人ボンチ絵師) 5点★オイ、オイ、オイ、受け身は俺もようやった。バンプは重要邪!

真夏のデリヘル(希望)

(東京都／瓜田香織／24歳・ゲームショップ券スナック) 5点★オイ、オイ、オイ、いつでも、どこでも待ってるぜよ!

真夏の交渉決裂!

(東京都／キャプテン名倉) 各3点・計6点★オイ、オイ、オイ、いい加減、オイオイ言うのもつらくなってきたん邪!

真夏もカオルコ

(兵庫県／ナナジ) 4点★オイ、オイ、オイ、ナナジさんよぉ、編集部へ、おみやげありがとよ。カオカオ邪!

真夏のTKO! (タナケン大暴れ)

【左】(熊本県／塩本祐介) 5点【右】(東京都／キャプテン名倉) 5点★オイ、オイ、オイ、やたらと、最近増えているのがタナケンのイラストなん邪!

真夏のシューターWで井上さん

【上】(熊本県／塩本祐介) 4点【下】(青森県／青木雄大／24歳・素人ボンチ絵師) 4点★塩本さんも、青木さんも、井上ワールドにハマっとるん邪! 言うちゃ悪いけど。

真夏も赤いパンツの頑固者!

(柏市／田中由香里／19歳・コンパニオン?) 5点★オイ、オイ、オイ、思わず、応募券はがしちゃったじゃねえか!

(青森県／青木雄大) 5点★おかんインタビューと共に大好評だったTK秘蔵写真邪! G-EGGS新加入はあるんかのぉ?

真夏のTKO (お子様時代)

真夏の書道WX!

右の写真を見ろ! 突然のジイチャン&バアチャンファイターの登場に驚いたかもしれんがなッ、オイ、オイ、オイ、『ハガキングオブキングス』に投稿してきれくれたん邪!

私の職場(老人ホーム)での作品です。この作品の数々は平均年齢89の5名が、眉間にシワを寄せて書いてくれました。この愛らしい達筆を紙プラーにも見て頂きたく送ることにしました(三重県／剃りこみボブチャンチン命) 10点★オイ、オイ、お前らも、お年寄りは大切にしろよ! それと吉岡さんに一言物申す! 太刀光の「た」は「大」なん邪!

神子綾可／2歳・幼児) 4点★俺はお前を否定せん! だがなっ、よ〜く聞け! この間、ジャイ子はこう言

●まさか旭道山がプロレス紙に出ると思わなかった。内容も面白かったしこういうことができる身の軽さも『紙プロ』ならで

言うとるけど、ジャイ子ではないん邪!

●面白かった記事・高阪フミさんインタビ

●タマリン、やめちゃった(やめさせられた?)んですね。ワル子ちゃんみたいです

『紙プロUFO』に、俺は、俺は、真っ正面から叩き付けてやるーーッ! ファイヤー!!

『ワンフー・マクダニエル』編酋長、はじめての海開き！

性病は連鎖する!!

ミリオンダラードリーム'00

『紙プロ』読者300人ぐらいに聞きました。

ヒクソンと闘ってほしい選手は？

毎度！

（埼玉県／中川雅博／22歳・無職）5点★いつまでも外人天国じゃいかんのですわ！　オッサンの試合なんかちょっとでええねん!?

前号の座談会で、ヒクソンの次の対戦相手をあれこれ考えてみたが、誰に聞いても「サクも見たいし、オーちゃんともやってほしい」との意見がほとんど。

そこで、困った時は読者の出番というか。毎回、読者プレゼントのアンケートで質問に答えてもらっているのだが、今回は、その集計結果を発表します！

結果は、一目瞭然なんだけど、対ヒクソンは小川直也に決定！って俺は何様だ……んなこたぁどーでもいいんだよ！　気を取り直して、ランキング続行ッ！　2位から順に、サク、田村、藤田、前田と比較的順当な結果となった。なかにはUFOの川村社長などマニアックな意見もあったが、いったいヒクソンは誰の対戦を受けるんでしょうか。教えて監督？

順位	選手	票数
1位	小川直也	108票
2位	桜庭和志	92票
3位	田村潔司	48票
4位	藤田和之	36票
5位	前田 日明	32票
6位	長州 力	24票
6位	ヴォルク・ハン	24票
8位	近藤有己	17票
9位	マリオ・スペーヒー	16票
10位	アントニオ猪木	14票
次点	高阪 剛	12票
次点	マイク・タイソン	12票

今月のキッスの世界

オレの♡オーちゃん
UFO万歳!!
わたしも睨んで!!!

（広島県／オージロウ）4点★キッスの世界の影響からか、読者ハガキにキスマークをつけてくる女の子が増えている。もしかして流行中？　決して迷惑ではない、むしろ喜ぶべきことだろう。だがしかし、どーせいっちゅーねん！

月刊 イズミちゃん百人組手 RADICAL

前号でC-MAの連載が終わり、新たに『スモー・ダンディー・フジ二千の首投げごっつあんです!!』が始まった……が、今号はなぜかお休み。それを聞きつけ編集部に飛び込んできたのが、前号でダンディーに相談を持ちかけたイズミちゃん（仮名・キャバクラ勤務・23歳）である。イズミちゃんは男運が悪い悪いと言いながらも月イチペースで様々な男と遊んでいる大したタマなのである。今回も、前日のデート話を「聞いて下さいよぉ！」と積極的に披露してくれた。

本誌鬼畜編集長とツーショットに収まるイズミちゃん（年齢詐称疑惑有り）。先日、編集部に来た際には、両腕にどす黒いアザが！　話を聞くと「これ噛まれちゃってぇ、そういう趣味の人がいるんですよ」と、あっけらかんと答えてくれた。

イズミちゃん百人組手 第1戦

「昨日、会った人なんですけど、もう、ホントこの人やだなぁと思ったんですよ。やることはやったんですけどぉ（笑）、悪いなあって思って」

なんかご馳走でもしてもらったの？

「六本木にある炉端焼きのお店でご馳走になったんですけど、お店を出る時、『いくらだったと思う？』とか聞かれて、『一万円ぐらいですか？』って言ったら、三万六千円もしたんですよ！」

炉端焼きで三万六千円！　そりゃ凄い！

「その人も予定外だったみたいでぇ（笑）。でも、その後、できたばっかりの東京ドームホテル取ってくれてたんですよ」

それは、その男の人もやらせてもらわなきゃ納得できないよね（笑）。

「ホントはイヤだったけど、なにか返さなきゃいけないなって思って。頭の中では、とっとと帰りてぇ～って思いながらやっちゃったんですけど(笑)。でもその人は、何年か前まで憧れてた人だったんですよぉ」

憧れてたのに、なんでイヤだったの？

「なんでかなぁ。だけど、まあ最近、私も寂しいしなぁとか思ってて（笑）」

寂しかったんだ（笑）。1ヶ月ぐらいご無沙汰してたんでしょ？

「そうなんですよぉ。ちょっと、そろそろキメないとなぁ、みたいな（笑）」

ヒャハハハ。さすがイヅミちゃん！

「その人は結婚してたんですけど、しかも、私と会った2日前に子供が産まれてたみたいなんですよぉ。まあどうも思わないですけどね（キッパリ）。でもね、この人のHは、自分では淡泊だって言ってたけど（不機嫌そうに）淡泊とか、そういう問題じゃないって感じ！」

どんな感じなの？

「なんかこう、最中にいろいろ聞く人っているじゃないですかぁ？」

言葉攻めするわけね（笑）。

「そうそう。それが、もうイヤでイヤで、聞こえないフリしたいぐらい。私、イヤだったから、マグロになってたしい」

まさにバグジー・マグローだな（弱火）。最後に、今回の相手は百点満点で何点？

「う～ん、マイナス5点ぐらいかなぁ」

マイナス5点！　三万六千円にホテル代まで出させて、しかもマグロでしょ（笑）。イズミちゃん、来月も期待してるよ！

いなかっぺ大将さん（仮名・会社員・28歳）

今回のデート相手をイズミちゃんに書いてもらった。かなり似てるそうです。こんなんでいいのか？

★ハガキングオブキングス★
オフィシャルランキング2000

順位	名前	点数
1位	青木雄大	175点
2位	中川雅博	70点
2位	塩本祐介	69点
4位	キャプテン名倉	61点
4位	ももぢ	55点
6位	英加直純	52点
7位	たっつあん	50点
7位	アントニオ文朱	50点
9位	松原怜美	40点
9位	宮崎文子	40点

投稿＆ハガキ 大募集！

『ハガキングオブキングス』では、皆様からの、ご意見、ご感想、イラスト、投稿写真、恋文などなど、読者からの熱烈投稿を待ってます。すべての宛先は…

〒151－0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3・11・3・702（株）ダブルクロス『ハガキングオブキングス』係まで。

合い言葉は「勝負パンツは頑固色」です。

Q ハガキ出して何かいいことあるの？

モチのロン！
金ならいくらでもあるでござる
（↑まかせ）

（埼玉県／中川雅博／無職）5点★先日、編集部にヤマヨシから「中川君の連絡先教えて」と電話がありました。びっくらこきました。

トーク・イベント名言集

格闘笑点

今月のイベントは、本誌が採算度外視で豪華メンバーを投入して開催する『暗闇プロレス道場』。平日なのにオールナイトということで、客入りが心配されたが、蓋を開けてみてば超満員！（アリガトーッ！）飛び入りゲストも「これでもか」と登場し、大盛り上がり、大成功に終わった。今回は、その興奮の一部始終を2ページに渡ってお届けします！（復活「青空プロレス道場」もヨロシク）

「俺が言うんじゃない、酒が言わせるんだ」とばかりに、大物レスラーの秘話を次々に公開してくれた仲野選手、最高です！

6・27 ▶▶ 『暗闇プロレス道場』

前号のインタビューで人気爆発の仲野信市が登場！

100%掲載不可能なオフレコトーク大爆発！

誰もやらないこと、誰もやろうとしないことに夢として挑戦する！　それが本誌のロマンでもあるのだが、今回の『暗闇プロレス道場』は平日のオールナイト・トークイベントという、まさにその「誰もやろうとしないこと」の典型的なイベントである。

今回のテーマはズバリ『ジャンボ鶴田追悼』。全日本プロレスなんてほとんど触ったことがねぇんです。といった感じの本紙がなぜ鶴田の追悼？　と疑問を感じる読者の方もいると思うが、今回プロデュースを担当したチヨロが、例によって「タイムリーかな？」といった程度の理由で決めたことなのでなにとぞ御容赦願いたい。

司会はもちろん、“カリスマ司会者”原タコヤキ君。『紙プロ』三銃士がオールナイトのイベントなんぞ仕切れるわけがないので、困ったときのタコ頼みである。というわけでタコヤキ君の軽妙で、わざとらしいテンションの高さでイベントはスタート。

まず、最初のコーナーは「『紙プロ』特選、マット界ここだけの話」。

要はターザン風に言えば「わざわざ来てくれた人のために、オフレコ話をするんですよぉぉぉぉ！」というコーナー。『紙プロ』オールスターがまずは勢揃いして、雑談という芸を見せる場なのである。山口日昇は登場するなり開口一番「今日はタマリン追悼イベントにようこそ！」。故・ディック・マードックをも凌駕するムラっ気の持ち主である山口日昇だが、今日は気分が乗っているようで一安心。その山口、吉田豪を中心になかなかも盛り上がりを見せ、あっという間に予定の1時間は終了。今日はテンポがいい。

次は今回のイベントの中核であり、目玉であり、メインイベントになる予定だった「ジャンボ追悼」のコーナー。追悼といってもしんみりと故人を偲ぶ気などは毛頭なく、吉田豪秘蔵のジャンボ出演番組ビデオを見て、その巨大なる呑気キャラを再確認しようというコーナーである。

まず、最初の映像は「鶴田vsマスカラスの田コロ決戦」。なぜ出演番組ではなく、試合ビデオなのか。その答えは客席にあった。アリーナ後方のマスカラス応援団の中で「GO！　GO！　M－LL」という英語とスペイン語が混ざった意味不明なプラカードを持った少年。どこかで見た馬ヅラ……、そう、少年時代の山口日昇その人なのである。あの鬼畜も毛ぇ生えたての頃はこんなにもピュアだったのだ。

この後はまさに歴史的衝撃映像のオンパレード。伝説の『日本テレビ番組対抗隠し芸』や催眠術（！）にかけられるジャンボ、そして可愛らしい保子夫人（デレデレするジャンボ）と完全永久保存版ばかりを惜しげもなく大放出。これらの映像を見るにつけ、かえすがえす惜しい人を亡くしたと思う次第なのであった。

ビデオ上映タイムが終わると、突如流れてきたのは『猪木ボンバイエ』のテーマ。そこへ登場するは闘魂伝笑「春一番」！　本物だ！　もちろん深紅のロン

「オールナイトニッポン」のジングルに「1・2・4・2ダァーッ！」が使われてる春一番が登場！

大ブレイク中の春さんは、8月5日には富士急であのジェームス・ブラウンの前座をなぜか務めることも決定！　凄え！

グガウンに黒のリングシューズというフルコスチューム。

「元気ですか――――ッ!!」

この一声だけで、場内この日一番の盛り上がり。そして「え～、私もこの度CDなんてものを出すことになりまして、ウムフフフ」とアントンチックに衝撃作「レッスル・ディスコ・フィーバーDX」（絶賛発売中）の宣伝を販売元の東芝EMI、木目さんも交えて開始。もちろん、木目さんが「これが売れなかったら……」とうっかり口にすれば「出す前から売れないこと考える馬鹿いるかよ！」とお約束の張り手一発！ そして最後はもちろん「1・2・3・ダーッ！」でシメ。こうして時間にすると10分にも満たないながらも最高の盛り上がりをみせ、まさに新日両国大会休憩前のアントンの挨拶的な役割を十分にはたしていただいたのである。

このあと「リング調整のため」10分間のインターバル。ここで会場入りしたのが、この日のスペシャルゲスト、仲野信市選手。本誌前号で掲載したインタビューが怖いくらいに大好評だったため、今回はそのライブ版として、「誌面には載せられないような話もして下さい」とお願いすると快くOKしてくださったのだ。

「テンション上げなきゃ」とバーボン・ソーダをジョッキでガンガン飲んだ仲野選手は、壇上では、こちらの期待を遥かに上回る、誌面に載せられるはずがない全編オフレコトークを披露。こんな話が広まったら命が危ないので、ほんのさわりだけ紹介すると、U系の2大巨頭が2人とも○○○をしていた話。先頃海へ帰っていった某大物選手の○○疑惑を立証してしまう話。この度復帰する某現場監督の夜も一生懸命な話、等々。伏せ字にしても恐ろしい話を連発。もちろん場内は異常な盛り上がりの中、予定の1時間が終了。

控え室に戻った仲野選手は「まだ、3分の1も喋ってないですね」とまだまだ話したりない様子（バーボンソーダをまたおかわり）。「なんで山田の話を振ってくれなかったんですか?」とライガーの恥ずかしい話を暴露できなかったことを悔やんだり、ついには聞いてもいないのに「俺、○○（女子レスラー）とつきあってたんですよ。でも○○（女子レズラー）に取られちゃったんです（笑）」と、自らのスキャンダルも勝手にカミングアウトするなど、もはや誰も止められない状態に。改めて昭和新日恐るべしである。

さて、この時点で時計は11時30分を回

日付が変わるとそこは無法地帯！ 飛び入りゲスト続々登場！ そしてビートたかしが切腹宣言！

っており、終電で帰る人のために、お土産としてジャンケンプレゼント大会を開催したが、結局帰る人はほとんどおらず、約120人が結局朝までこのイベントに参加。いったいウチの読者は普段どんな生活をしてるんだよ！ と、思うことこの上ないのであった。

そして時計の針が12時を過ぎ、お客さんも少し疲れてきたころから、予定外のスペシャルゲストが次々と乱入。まず、「今日は行きませんよ！」と言っていたビートたかしが例によって遅刻して登場。続いてそんな男の公開ブリーチのために、北野チャンネル等でお馴染み、マキタ・スポーツとハチミツ二郎のお二人が飛び入りして下さり、さらに壇上を見ると、いつの間にか本誌で「業・勝ちます」を絶賛連載中の掟ポルシェ、そしてナンバー1プロレスファン芸人の名を欲しいままにするSさん（事情により名前が出せません）も急遽トークに参加。

Sさんと山口日昇は、ビートたかしに対して、「もう、プロレスのことは書くな！」「いま、ここで切腹しろ！」など、酒の勢いでわけのわからない追い込みをかけ、実は打たれ弱いビートたかしも「せ、切腹しますよぉ！」と、こちらもわけのわからないバンプを取るなど、壇上は完全に無法地帯（ちなみに後日ビートたかしは「山口とSさんはダメだ。やっぱりボクは豪ちゃんに炎上させてもらうのが一番なんだよぉ。客もそれを望んでるんですよぉぉぉ！」と得意の責任転嫁）。

そこへ〝無法地帯〟といえばこの人、村上一成選手が正真正銘の飛び入り。なんとチョロが会場の外へ立ちションをしに行ったときにたまたま遭遇して、その場で急遽出演が決定したのだ。

訳のわからないまま時計の針は3時に。最後は再び『紙プロ』スタッフ総出でトークのはずだったが、山口日昇は完全に泥酔。全く使いものにならない山口を、見るに見かねたSさんが再び登場。1時間近くに渡るアジテーションで、観客に『紙プロ』魂を注入してくださった。その情熱とバイタリティは僕らも心から学ばせていただきたい次第なのである。

結局、この狂乱の宴は始発もまだ走ってない午前4時というハンパな時間に終了。のべ8時間30分にわたる長丁場。100人以上の観客にとっては女子プロオールスターを超える伝説のイベントとなったであろう。

こんな正気の沙汰でないイベントをこれからも命ある限り続けていくつもりなので、是非一度はお越し下さい。

自分で染めることが出来ないため、ずうずうしくもステージ上で2度目のブリーチを要求してきたターザン。その後、髪を洗い流すために、またもや54歳の裸体を公衆の面前にさらしていた。

ホントに突然、村上一成が乱入。ターザンの「あんた、誰？」ともでも言いたげな表情に注目。

司会はもちろん、我らがカリスマ司会者、原タコヤキ君。最近は公私ともに絶好調のようす。あやかりたい。

8・26・土 池袋コミュニティ・カレッジ

『青空プロレス道場』（午後六時三十分スタート）

間で希望期間

期間中［B-CL
り

期間
れると、
校生以下　入
女性の方のみ
の機会に入会

95

吉川晃司
ル迫る！

恵比寿ガーデ
ガーデンルーム
コーセーアンニ
ァ　前田日明VS
前売　¥1900
0（ドリンクつき）発
ットぴあ　03―5
マーク・アイ　0
761

紙のプロレス RADICAL 主催イベント情報！

8・26・(土) ▼▼▼ 池袋コミュニティ・カレッジ

『青空プロレス道場』(午後六時三十分スタート)

「勝手に『PRIDE.10』前夜祭！」

ゲストは『PRIDE』とゆかりの深い

超大物Xだ!!

『紙プロ』主催のプロレスファンのプロレス頭を徹底的に鍛え上げる「虎の穴」もしくは「蛇の穴」と言われる『青空プロレス道場』が帰ってきたでござる！

第2回目のゲストは……すんまそん。7月21日現在、正式決定してません！

テーマは「勝手に『PRIDE・10』前夜祭！」と言うことで、翌日に控えた『PRIDE・10』に向け、みんなで盛り上がりましょう。もちろん『PRIDE』に関連のあるビッグゲストも登場！　ファンの来場を心より待ってます！

■日程／全3回　第2回8・26（土）、第3回9・23（土）

8月、9月の第4土曜日は『青空プロレス道場』の日！

■講義時間

18：30〜20：30

■受講料／【3回通し券】会員9000円　一般9900円【1回券】会員＆一般とも3500円

■お申し込み＆問い合せ先

03・5992・0496

〒171-8569東京都豊島区南池袋1-28-1西武百貨店池袋店イムルス8階

サク、まんぐり返し出血大サービス！

もはや歴史的一戦として、すっかりお馴染みとなった桜庭和志vsホイス・グレイシー戦の完全収録ビデオの発売を記念して、7月2日（日）川崎駅前「アゼリア」1階中央広場にて桜庭和志のトーク＆サイン会が開催された。

300人を越えるファンの中から選ばれた2人の女性の「はずかし固めをかけて下さい」というリクエストに、テレながらも、本当に技をかけてしまったサクのニコニコぶりには、またしても脱帽（水戸泉・仮）。

島田裕二プロデューストークイベント

『新格闘男とは何か!?』

7・2「渋谷ロックウエスト」　ゲスト　藤田穣

とにかく女性客が多かった！　いつものこのイベントらしからぬ雰囲気の中、藤田は最後までさわやか好青年ホルモン全開！　飲みかけのミネラルウォーターまでオークションで競り落とされ、尋常ではない穣人気を痛感させられるイベントでした（水戸泉・仮）。

その他の情報

7月30日（日）桜庭和志サイン会

大阪　午後1時〜2時。大阪阪急イングスフィットネスショップ（大阪市北区茶屋町1−27、阪急イングス3F。JR大阪駅より徒歩7分、梅田駅より徒歩3分。TEL06−6359−7027）。

神戸　午後4時30分〜5時30分。ゴールドジム神戸元町店（神戸市中央区明石町　47ニッケビル5F。大丸神戸店横。JR＆阪神元町駅より徒歩3分。TEL078−334−3434）。

どちらも新デザインTシャツ購入者（各200枚限定）が対象です。

8月6日（日）北沢タウンホール
18:00試合開始（17:00開場）
キャットファイトグランプリ2000
（CAT FIGHT GP2000）

【主催】バンバンビガロ

1★4チーム代表のキャットファイターによるトーナメント（格闘技っぽいルールを採用）

2★ロイヤルランブル（時間差バトルロイヤル）出場者未定（10人程度）

【出演者】キャットファイター4名　バンバンビガロ　MC B00（脱線3）佐藤耕平（JJA）橋本友彦（JJA）花くまゆうさく　五木田智夫　春一番　『紙のプロレス』その他

【バトラーツ情報】

8月3日（木）池袋スポーツ＆リゾート専門学校
石川雄規・アレクサンダー大塚
出張セミナー第2弾!!

【料金】一般5000円　女子4000円

お申し込み方法】バトラーツに電話連絡の上、現金書留にてお送り下さい。

【連絡先】バトラーツ池袋セミナー係

〒343-0807　埼玉県越谷市赤山町6-1-43

【電話】0489-63-0005（野口まで）

サマーメモリー
『ヒューチャーリングB』ツアー
夏休み体験、宿泊コース

【期間】8月24（木）〜26日（土）

【費用】19800円（交流会参加費込み）

※FC会員は18800円にて ※定員に限りあり

サマーアクションコース

【期間】9月15（金・祝）までの間で希望期間

【費用】6泊7日　￥35000

13泊14日￥60000

B-FLAT宿泊、食事（朝・夜）、期間中[B-CLUB]使いたい放題※選考会あり

8月31日（木）までの期間
[B−CLUB]に入会されると、

一般　入会金50%OFF　高校生以下　入会金無料　男女同時入会　女性の方のみ入会金無料になりますので、この機会に入会してみませんか?

【すべてのお問い合せ】

バトラーツ　TEL0489-63-0005

オーちゃん&村上UFOイベントで大暴れ!

第1回オーちゃんふぁんクラブ　結成イベント
「オーちゃんだよ!全員集合!!」〜とにかく来い!!〜

【日時】2000年8月13日（日）17:00〜19:00

【場所】渋谷ロックウェスト【参加資格】ふぁんクラブ会員及び、会員の紹介者（友人、夫婦など）

【参加費】ふぁんクラブ会員　￥2000　非会員　￥4000（1ドリンク付）

内容】小川、村上によるトークショー&秘蔵ビデオ公開など

【問い合わせ】03−5450−5971（オーちゃんふぁんクラブ 橋本まで）

新宿プロレスイメージガールオーディション

7月18日【渋谷ロックウェスト】本誌編集長、山口日昇も審査員として参加するが、審査するどころか女子プロレスラーの原石を物色していた模様。フェロモン溢れる彼女達の未来には期待大。

（水戸泉・泉）

前田日明vs吉川晃司 トークバトル迫る!

7月29日（土）　恵比寿ガーデンホール内ザ・ガーデンルーム　17時00開場　コーセーアンニュアージュトーク　前田日明VS吉川晃司　前売　￥1900　当日　￥2200（ドリンクつき）発売場所　チケットぴあ　03−5237−9999　マーク・アイ　03−3464−0761

自分で染めることが出来ないため、ずうずうしくもステージ上で2度目のブリーチを要求してきたターザン。その後、髪を洗い流すために、またもや54歳の裸体を公衆の面前にさらしていた。

そこへ〝無法地帯〟といえばこの人、村上一成選手が正真正銘の飛び入り。なんとチョロが会場の外へ立ちションを

司会はもちろ
ともに絶好調の

CAT FIGHT WORLD

第4回目 「マッスルファイトの魅力」
バトルオンライン担当　小室さん

マッスルファイトとは?

今回は、キャットファイトの一つ“マッスルファイト”についてお聞きしたいと思います。今回インタビューに答えてくださるのは、バトルオンライン担当の小室さんです。

あのニコル・バスも出演している筋肉美女の闘いを見よう!!

——このコーナーも四回目となるわけなんですが。今回は、マッスルファイトの魅力について、バトルの方にお話を聞いてみたいと思います。

小室　ホームページ運営してます。小室です〜。

——今回はマッスルファイト、直訳すると筋肉の闘い……ですか?

小室　そうですね〜。元々は、（前回紹介した）マゾファイトの延長でマッスルファイトはミックスファイトの傾向が強かったんです。強いお姉様にやられた〜い、と言った願望が作り出した理想の体系が、マッスルだったというような。

——ふむふむ。

小室　でも、最近では、筋肉美女同士のファイトなんかも人気がありますよ。

——体型的には、女子レスラーなんかよりもガッチリしていますよね?

小室　そうですね。神取忍みたいな女性ばかりが出演しています（笑）

——う〜ん、卑猥な感じには観られないなァ〜。

小室　身体を鍛えた女性のファイトは、迫力ありますよ（笑）キャットファイトと言うよりは、PRIDEに近いのかも。

——では、マッスルファイトに魅力を感じる方々は、より本気度の高いキャットファイトが見たいと?

小室　それもあると思いますが、やっぱりカギは筋肉なんですよ。

——筋肉＝マッチョという印象が強いんですが。

小室　女性の肌をイメージすると、柔らかくて、スベスベしていて。

——ええ、ふっくらしている感じ、優しいイメージですよ（笑）

小室　そいういう部分を敢えて鍛えている、強くしている女性、ってのに少しの魅力を感じちゃうんでしょうね。実際うちのお店に置いてあるビデオで、純粋なボディービルコンテストの映像だけというのもあるくらいですから。

——マゾファイトの魅力は、女性が普段隠している部分で踏まれたりする所だったりする、って聞いたんですが、そんな感じですか?

小室　何て言いましょうかねェ。口では説明出来ないというか（笑）

——それじゃあ、このコーナーの意味がないじゃないですか!!

小室　コホン。話を変えましょう（笑）。マッスルファイトには、代表的な女性が複数存在するんですよぉ。

——と、言いますと?

小室　彼女達は、自分達が代表となって各々の（ビデオ）レーベルを立ち上げているんです。

——ほほぅ。

小室　具体的に言えば、ニコル＝バスという女性だったり、ティグラという女性だったり。そんな彼女達が、自分のレーベルを背負って対決したりするんです。展開的には、燃えますよね。

——（故）馬場と、猪木が対決するようなものですか?

小室　そそ、そんな感じ。それで、お互いのプライドを賭けた、というキャットファイトお決まりの展開なんです（笑）

——う〜ん、熱き女の闘い……って、何だかキャットファイト＝エロというわけではないのかもしれませんね。

小室　格闘技を見る人が、どう受け取るのか、ですよね。男性のプロレス会場に女性が来るのだって……。

——キャットファイトという言い方をするから、女性に差別されたりしちゃうんですね（笑）

小室　今回のマッスルファイトは、限りなくリアルファイトに近いキャットファイト、と言った感じでしょうかねえ。

——迫力だけなら、女子プロレスにも負けてないカモ……。

今月のオススメビデオです!!

Photographer's Punishment
UP—PP

UTOPIA ENTERTAINMENT presents MIXED WRESTLING

"Photographer's Punishment"

160センチ、56キロ（体脂肪たった5%!!）の驚異的筋肉美のセクシー美女キャレンが登場。98年の全北米フィットネス・チャンピオンという輝かしい実績を引っ提げてスケベカメラマンと対戦。スリムな足で締め上げるシーンは必見！（約60分）
¥12000

Amazon Iron Belles Special
IMP—AIB

IMPULSE PRODUCTIONS is proud to present Nicole Bass VS. Karla Nelsen in AMAZON IRON BELLES
Also starring Lora Ottenad VS. Gabrielle Hames

プロレスファンにもお馴染みの大怪女ニコル・バスが登場！　WWFを最後に姿を消してからというもの、行方不明だったあのニコル姉さん、カーラ・ネルソンを相手に筋肉が波打つ壮大なバトルを展開。強いお姉さんは好きですか？（約50分）
¥11000

比人

巨匠入魂第23回
真樹日佐夫

illustration▶ 中川雅博

前回までのあらすじ

天性の格闘技センスを持つ男、万無比人。その素質をいち早く見抜きプロレスラーに仕立て上げたのがプロレス専門誌発行人の千堂であった。プロレスでは連勝街道を突き進み、異種格闘技戦でも、ある程度の成果を収めた無比人は標的をヒクソン・グレイシーに定めた。対戦交渉は難航したが道場での非公開試合という形で運命の対峙を果たし、ヒクソン相手に互角の闘いを繰り広げた無比人。しばらくして、ヒクソン対船木戦が正式に発表されると、無比人は半ば道場破りのような形でパンクラス道場に出向き、強引に船木と相対峙した。始めはそれを見守っていた氷見子だったが、耐えられずそれを遮ったのだった——。次に無比人が姿を現したのはマジソンスクエアガーデンのリング。WBC・IBF統一ヘビー級王座を防衛したレノックス・ルイスが勝ち名乗りをあげているところに乱入し王者を挑発すると、「私のボディーに好きなだけパンチを打ち込んでみろ」とルイスは提案。ならばと無比人は左右の強烈な正拳突きを叩き込むと、たまらずルイスは膝から崩折れた。無比人の突飛な行動は、最前列で観戦しているマイク・タイソンに対してのアピールだったのだ。それから数ヵ月後、マイク・タイソン対万無比人戦が正式に決定した！

（49）

五月二六日、金曜の〝コロシアム2000〟。

パンクラシスト船木誠勝は、東京ドーム特設リング上にヒクソン・グレイシーと相見え、十一分余に及ぶ死闘の末に敗れ去った。

船木陣営はリング内へ投入するための命綱ともいうべきタオルをどういうつもりか用意しておらず、また彼自身もタップよりは死をとの気概ゆえか、ヒクソンのチョークスリーパーにより目を見開いたまま落とされて、時間が経過。レフェリーのストップさせるのがあと少し遅ければ絶命していたかもしれぬ、という際どさであった。

この〝コロシアム2000〟から十日ほど過ぎた六月初旬の雨催いの午後、マイク・タイソン対万無比人戦についての初の記者会見がニュー東都プロレスリングの道場で行われる運びとなり、百人からの報道陣が詰めかけた。

新聞、雑誌、テレビ、ラジオと都合五十社にものぼり、タイソン人気の未だ衰えていないことを物語っていた。

席をしつられる代わりに無比人と千堂がリングへ上がり、ほかは全員これを取り巻くかたちで立ったまま、はじめられた。

氷見子もリング下にいて、千堂に言われて作成した要点をコピーした物を配布するのに余念がなかった。

「まずはタイソン側、即ちプロモーターのドン・キング氏とどのようにしてコンタクトを取り、オーケーとの回答を得るに至ったか、そこのところからご説明します」

千堂がニュー東都プロレス営業本部長なる立場を明示した上で、ロープ沿いに歩を進めながら言い継いだ。

「実はキング氏のスタッフの一人に、万がアメリカへ留学中に親しく付き合った黒人の友人がおりまして、この友人の仲立ちで万と私とで氏に会見するところまでは比較的スムーズに運んだのです。冬の終わりに二人して一日だけで成田、ニューヨーク間をとんぼ返りと遽しいことは遽しかったのですが……」

ヒクソンはいまや眼中にない、興味があるのはマイク・タイソンだ、タイソンならヒクソンなどよりずっとビッグネームだし、奴さんをぶっ倒しゃプロレス最強なりと全選手が胸を張れるんじゃないの。三億の金を叩いてもいいから、ばーんと一発行きたいところだね、二十世紀最後の年でもあるわけだしさと無比人が千堂に言い出したのは、二月に入って間がない道場での練習後のことで、そこには氷見子も居合わせた。

千堂に預けてある金のことはいいとしても、とてもじゃないが実現し得るカードではあるまい、と正直なところ露ほども期待しなかった。なにせ相手はボクシング界きっての話題の人物なのだし、無冠とはいえヘビー級のランカークラスともなると、ファイトマネーにしても桁が違う。

思いは千堂も同じとみえて、生返事をしただけでその場は終わった。ところが無比人によると、ニューヨーク時代に賭博絡みで貸しのあるのがタイソンの興行権を握るドン・キングの側近にいるとのことで、さっそくにニュー東都プロレスを窓口に交渉を開始。社長が部長の尻を叩く格好で国際電話でのやりとりを重ね、大した苦労もなしに渡米に漕ぎつけたのである。

これと並行し、なにを考えてか巻道場への入門も果たしたわけで、そこでの短期集中特訓は最初のニューヨーク行きを挟んで二度目、四月下旬のニュー東都プロレスの主力を帯同しての遠征の直前まで続いた。

先の出張は無比人と二人だけのように千堂は記者らには語ったが、実はそのときにも氷見子が通訳として随行し、彼の地のキ

ングのオフィスでの会見にも同席してい
る。英語は無比人も話せるが、氷見子の方

にならないはずはなかろうし、会場へ足を
運ぶのは間違いない。私の視るところ、チ

ソンには複数の護衛が付いているようだ
し、近づくのさえ難しいんじゃないかな。

虚構と現実が交錯する
壮大な格闘ロマン

本格格闘プロレス小説

無比

M・タイソン対万無比人戦についての初の記者会見には、百人からの報道陣が詰めかけた

ングのオフィスでの会見にも同席している。英語は無比人も話せるが、氷見子の方がさらに堪能なのは彼も認めるところであった。

——日本まで飛んでファイトさせるのに三百万ドルとは普通であれば話にもならないが、それは措くとしてもだねぇ、マイク自身がその気にならんことにははじまらんのよ。折角きてくれたのに申し訳ないけれども、話を通してもこの程度のキャリアではまずノーだ。オファーはそれこそ世界中から引きも切らんことだし。

ボクシング業界にあって、辣腕との評判とともに非情さでも鳴るこの超大物プロモーターにしては大層友好的で、そう言われたことが引き金になり、

——ミスター・タイソンがその気になるというか、興味を示して頚を縦に振ってくれたならこちらとしては異存はないと、そう受け取ってよろしいのですね。

と氷見子を通じて千堂。その時点ですでにして、マジソンスクエアガーデンにて開催予定のルイスとグラントのタイトル戦のことが彼の頭にはあったそうな。

レノックス・ルイスとタイソンが犬猿の仲なのは、ちょっとしたボクシング通なら皆知るとのことで、

——ルイスの試合内容はタイソンにも気にならないはずはなかろうし、会場へ足を運ぶのは間違いない。私の視るところ、チャンプの勝ちは動くまい。そこで万くんがすかさずリングへ上がり、彼を挑発する。少しの攻防でももしあればベストだ。タイソンの脳裡には万無比人の名前がインプットされ、面白い奴だ、心意気に免じ挑戦を受けようじゃないか、ということにならんとも限らんぞー。

キングのところからの帰りの車中、千堂は氷見子も驚いたほど自信ありげだった。無比人に引きずられて重い腰を上げたのが、ここへきて俄かに意欲が増したように見受けられた。奴隷契約書まで交わした取るに足らぬ相手のはずなのに、ここでこういうアイディアが出てくる頭の構造に怖さをおぼえたことは否定できない。

——そんな回りくどいことをしなくたって、タイソンがロードワークでもしてるところを掴まえて一発噛ましゃ、似たような効果は見込めるんじゃないの。

無比人は四月末まで待たされるのが気に入らぬ様子で、頬を膨らませ加減に異をたてたが、

——さて、それはどうかな。ルイスを目先の標的としてワンクッション置くところが味噌なのであって、直接行動に出たとしても顰蹙を買うだけでは。第一、常時タイソンには複数の護衛が付いているようだし、近づくのさえ難しいんじゃないかな。

と言下にやんわり切り返され、試合が近づくのを待って改めて出直すことに渋々同意させられた。再度、唯ニューヨークを訪れるのも芸がない、どうせならグレート嵐や竜村らも伴いニュー東都プロレス初見参ということにして興行を打っては、というのも千堂のアドバイスにほかならない。

総勢十五人を超す者たちの渡航費用などは、真澄からの申し出で一切を彼女が負担した。金銭面に関し序でに言えば、三月に一度帰国したところで、

——感触からすると、会場費、宣伝費なども引っ括めれば最低でも五億は必要のようだよねぇ。え？　部長。

無比人が意味ありげに言い出し、さっそくにまた真澄と、絹子にも召集がかけられた。そうして氷見子も交えての5Pプレイの最中、真澄のオパール観光から一億、絹子の経営する食品会社からも一億をニュー東都プロレスへそれぞれ資金提供することが、さしたる波乱もなく可決されたのであった。

群がる報道陣の間を縫って氷見子がコピーを配り終える頃には、リング上の千堂の話も無比人とルイスの一件の後、二度目のキングとの会見を終えたところまで進んで

おり、
「そのことは無論氏の耳にも入っていたんでしょう、当初こちらでぶつけた三百万ドルに百万上乗せしただけで、タイソンを呼んで意向を打診するから一日待てと言ってくれ、そして翌日には朗報がもたらされたという次第」
そう締め括ると、引き続き質疑応答に入った。何人かの手が挙がった。
「カード決定との第一報から一ヵ月余り経ちますが、この会見が遅れたのには何か理由が？」
「先にひと試合組まれていまして、日時の調整に手間取ったせいです」
次の質問者はコピーに目を落としながら、
「手許の印刷物によると、八月六日、ニュー東都プロレス結成三周年を記念し日本武道館で行う興行のスペシャルマッチとして、ということですが、タイソン戦のルールはどのように――」
「異種格闘技戦ということで、かつてのアリ・猪木戦を下敷きにして色々制約は付いているけど、なーに、はじまっちまえばストリートマッチの流儀で行くまでさ。なんでもありのバーリトゥードをさらに突き抜けたところでの喧嘩だね、喧嘩！」
千堂に代わって無比人がロープに背を凭せたまま、皓い歯を見せて答えた。

(50)

その瞬間、満場が息を呑み言葉も忘れたかのようだった。
試合開始のゴングが鳴ってものの十秒も経たぬうち、いきなりタイソンが左フックをフルスイング。これが百九十五センチ、百九キロという巨漢サバリースの側頭部を見事に捉え、さながらアクション映画のワンシーンの如く、もんどり打ってキャンバスに沈めてのけたのである。
サバリースはなんとか立ち上がり、ファイティングポーズを取りはしたものの、勢（はず）みのついたタイソンがすかさずボディブローの連打で追い撃ちをかけ、忽ちロープを背負わせた。
そこでさらに右アッパーを二発、左もアッパーで一発。ぐらつかせたところで、再度左フックをクリーンヒットさせるとサバ

リースの巨躯はまたも大きくのけぞった。
満場は今度は息を呑む代わりに歓呼し総

で」
遠い目色（めいろ）ながら、眦（まなじり）の辺に人間離れのし

汗みずくのその顔はいつにも増して少年のように初々しく、輝いて見えた。

「猪木とアリ戦の、あのスタイルだもんで」
「では」

なんでもありのバーリトゥードをさらに突き抜けたところでの喧嘩だね、喧嘩！

リースの巨躯はまたも大きくのけぞった。
満場は今度は息を呑む代わりに歓呼し総立ちとなったが、逸早くレフェリーが割って入りストップをかけた。

六月二十四日（日本時間二十五日）、イギリス・グラスゴーのハンプデンパークで行われた元統一世界ヘビー級王者マイク・タイソン（三十三歳・米国）対ルー・サバリース（三十四歳・米国）の一戦は、タイソンが貫録の違いを見せつけ1R僅か38秒でTKO勝ちを収めた。

試合後のインタビューで、
「今日の対戦相手のサバリース選手は、いずれ対決することになるであろう王者レノックス・ルイスと似たタイプで、仮想ルイスとして選ばれたと専らの噂だが」
と水を向けられて、タイソンは、
「ルイスだって俺と戦えばあんなもんさ」
不敵な笑いを浮かべ胸を張った。
「彼は七月十五日、ロンドンで南アフリカのフランソワ・ボタ選手との防衛戦を控えているが、これに勝ち次の相手に指名されたとしたらスケジュール的には可能かどうか」
との質問に対しては、
「八月以降であればノープロブレムだ。というのは、その月には命知らずの日本人レスラーを狩りに東京へ発たなきゃならんので」
遠い目色ながら、眦の辺に人間離れのした凄みを漂わせタイソンは言った。

ほぼ一ヵ月後、梅雨も明けた東京。
六本木にある〈ボディプラント六本木〉三階の道場では、怪獣王国の佐竹雅昭が佐山聡の指導の下、早い時間からマンツーマンのトレーニングに取り組んでいた。
〈ボディプラント六本木〉は交差点から少し乃木坂寄りのビルの三階と四階を占め、極真空手、掣圏道、ジークンドーを日替わりで学べる上に鍼灸マッサージも受けられるとのことで、この一月にオープンしたばかりだ。
佐竹は、K-1から一時暇をもらったかたちで、まずは〝プライド〟に参戦。続いて佐山の掣圏道が主催する〝アルティメット・ボクシング〟のリングにも上がり、さらには分裂後の全日本プロレスまで視野に入れてかどうか、トレーニングの内容も打つ・蹴るの立ち技にはじまって、グランド、投げ、絞め、関節、派手な跳び技と多岐に亘った。
自ら志願して佐山をコーチと仰いだというだけに、初代タイガーマスクとしての華麗なプロレス技、修斗時代の絞めに関節技、掣圏道ならではのロシアンフックと細部にまで及んであれこれチェックを受けつつ、汗みずくのその顔はいつにも増して少年のように初々しく、輝いて見えた。
一段落するのを待っていたように、無比人が現れた。同じ階にある更衣室で着替えたのか上半身裸のタイツ姿で、一人だった。
「万くーん、こっち」
佐山が笑顔のうちに手招き、佐竹に引き合わせた。
「来月に北の丸でタイソンとがちんこをやる万無比人くん。反則ながらK-1初代王者のシカティックにも勝ってんの、知ってる？」
「話には聞いています。初めまして」
佐竹は屈託のない表情で応じ、手を伸べて無比人と握手を交わした。
「実はタイソン戦に備えて、巨きな相手に打ち込んでもらえたらと『四角いジャングル』のオーナー経由で頼まれたんで、佐竹ちゃんならいいんじゃないかなーって。ボクシングジムもいくつも知ってるけど、ヘビー級ともなると日本にはこれというのはなかなかねえ。ひとつ手を藉してくれるぅ」
「練習台になればいいわけか」
喜んで、と言うと佐竹は隅の方へ行き、外して置いてあった十六オンスのグローブを運んできた。佐山が受け取り、バンデージを巻いたままの手に嵌めてやった。
「そちらは素手ね」
と無比人を正面に見て佐竹。
「猪木とアリ戦の、あのスタイルだもんで」
「では」
「お願いします」
常になく殊勝げなのは、かつて引き分けたタイガーキングの前だからでもあろうか。
「よし。行ってみよ」
佐山の声を合図に佐竹はフットワークを見せ、無比人の方は擦り足で見る間に距離が詰まった。
グローブ・パンチが繰り出された。左ジャブから右ストレート、そして返しの左は習いたてのロシアンフック。いずれも軽く打っているようだが、そのつど無比人の左右の手も合わせる感じで小さく閃き、するうち佐竹の動きが急に止まって、
「そのブロッキングは——小手受け！」
高声を張った。グローブの手首を無比人が一々小手で打ち据えてカットした、そのせいか顔を顰めつつ、
「どこかで空手の稽古も？」
「巻道場巻久生先生直伝で」
無比人も手を止めており、にこりともせずに応じた。
「巻道場ね、なるほどー。察するに西麻布の先生、これ以外にもまだなにか意表を衝く奥の手を伝授なされたのではぁ」
傍らでは佐山が得心した様子で目を細め、頻りに頷いていた。
その名も〝ハルマゲドン〟なるニュー東都プロレス結成三周年記念興行のフィナーレを飾るスペシャルマッチ。
無比人のセコンドには巻が付いた。

〈以下次号〉

ザ・検証

プロレス点と線

健介がおもしろいと感じるまでには相当の年月が必要でした。船木も同様。長い前振りでした。そして高田もオリジナルギャグ、完敗した後の「もういっちょ!」で私たちのハートをがっちり掴みました。3人とも頑張れ！　そういうわけで始まったザ・検証。『紙プロUFO』にのっとられたのなら休めたのにと、楽することばかり考えながら今回も頑張ったふりをします！　そしてとっとと終らせてゲーム『WE2000』の練習します。

ザ・検証

【今月の検証】

越中フィギュア発売記念企画

越中フィギュアはいったいいくつ買えばよいのか？

by せき詩郎

北原白秋作詞の童謡に「待ちぼうけ」という曲がある。偶然切り株に衝突し気を失ったウサギをみつけ、なんの苦労も無く食料を入手した男が、次の日から働かず、ずっとその切り株の前で衝突するウサギを待ちつづける、そんな内容の童謡である。

なぜいきなり白秋かというと、この童謡に登場する男のように我々はある商品の発売をただ待ち続けていた。その商品とはもちろん霊長類ヒト科最強の軍団、平成維震軍大将・越中詩郎の、週プロやゴング風にいえば維震軍の長男坊・越中詩郎のフィギュアである！

我々維震ファンはひたすら待ちつづけた。忠犬ハチ公のように銅像になってもおかしくないくらい待ち続けた（「それじゃあ渋谷の維震ファンの前で」と待ち合わせのメッカになっていたかも!?）。時には岸壁の母のように、時には平安京エイリアンで四方穴を掘り罠を仕掛けるだけ仕掛けて待つように、これでもかというくらいに待ちつづけたのだ。

白秋の童謡の男は〝偶然〟を待ちつづけたわけであるが、越中フィギュア発売は決して〝偶然〟ではない。〝必然〟とまでは言えないが、どちらかというと〝順番待ち〟であった。猪木、長州、蝶野、武藤……と、この辺りの人気レスラーのフィギアが全部出揃ってから発売であろうと予想はついていた。勝負はそれからだと。

と、ある程度腹はくくっていたのだが、これまたなかなか発売されない。ヒロが出た時には流れが維震方面に変わった気がして、いよいよかと色めき立ったが、なぜかその流れは永田とかに向かって行った。そんなことをしている間に、リングスシリーズなども発売され、「タリエルか！　タリエルがでるのか!?」と越中を待つジレンマを一瞬忘れさせてはくれたが、タリエルも今だ出ず！

しかし、遂に時は来た！　2000年7月、越中フィギュアが発売されたのだ。しかも白い袴バージョンと黒い袴バージョンの2種類が同時に。これはもう買うしかない。維震ファンはお金（親に「参考書買う」と嘘を言って作ったお金）を握り締め、おもちゃ屋へ全力疾走（神の領域に足を踏み入れるほど！）したことであろう……。

ところが大きな問題が浮上した。いったいいくつ買えばよいのか、という問題である。待ちに待った越中フィギュア、その待ち焦がれた気持と維震ファンであることのアピールを同時に表現するには1セット（白袴と黒袴ひとつずつ）では話にならない。

かといって大量に買い占めて部屋を越中フィギュアだらけにしてしまったら、万が一なにか犯罪を犯してしまった時、絶対にワイドショーで「越中フィギュアが原因」とか言われてしまうだろう（考えすぎ）。

そこで今回の検証は越中フィギュアはズバリいくつ買えばよいのか検証してみたい。

①ディスプレイ用（未開封）

未開封のまま部屋に飾るための分は必要不可欠である。ブリスターパックであることを最大限に生かし、そのまま壁にピンで貼るのがベストであろう。ラッセンのポスターの横に貼ってさりげなく個性を主張してみたり、ゲンスブールの映画ポスターの横に貼りオシャレな空間を演出してみたりと、活用法は多種多様。最低ワンセット（白袴と黒袴各一体ずつ）は必要であろう。

②ディスプレイ用（開封）

開封して飾る用ももちろん必要である。テレビの上（でかい将棋の駒の横）や神棚の上、はたまた仏壇（維震ファンだったご先祖様のために）など飾る場所は無限に存在する。玄関に飾り（たけしの招き猫と一緒に）、来客を困惑させてみるのもいいかもしれない。とりあえずここでも最低ワンセット必要となる。

③保存用

保存用として、これは常識であろう。未開封のまま飾ってあったとしても、品質の劣化までは防ぐことはできない。湿気、日光、傷などを博物館の学芸員並に注意しながらしっかりと保存してもらいたい。また同時に懐中電灯やラジオ、非常食なども一緒に保存しておくと、まさかの天災時に越中フィギュア以外が役に立つことは間違いなしだ！　これまたワンセット必要。

④遊び用

開封して飾る分とは別に、開封して遊ぶ分も用意しておきたい。砂場で擬音を口にしながら遊んだり、トントン相撲でヒクソン（フィギュア）を倒して最強を示してみたりと童心に帰り、そして帰りすぎて近所で評判になってみるのもいいだろう。またフィギュアで遊ぶといえばお風呂場！　湯船につかって100数える辛さも、水中モーターをつけた越中フィギュアの動きを見ているだけで忘れるはず！　ここでもワンセット必要。

⑤携帯用

交通違反で警察に捕まってしまう。「免許書みせて」と言われ、あなたは自慢のセカンドバックかウエストポーチから免許書を取り出す……つもりが間違って越中フィギュアを取り出してしまう！　するとどうでしょう、さっきまでの緊張感が嘘のように、「キミも越中好きなんだぁ。本官も好きなんですよ!」と警官が突然フレンドリーになるかもしれなくもない。とりあえず携帯用は買っておきましょう。以上、ワンセット。

⑥袴塗装用

黒い袴と白い袴が発売されたわけだが、越中の袴は2色だけではない。維震時代は赤いのや紫なんかもあったはずだ。ジャングルがないのなら誰かに作ってもらえばよいが、赤や紫の袴がないのなら自分で作るしかない！　技術のある人なら迷彩やファイヤーパターン、布袋のギターの模様などのオリジナル袴に塗装するのもいいだろう。そういうわけで白袴バージョンが最低2つ必要となる。

⑦棺桶用

数世紀後、ひとつのミイラが発見される。そのミイラの傍らには見事な装飾品！　ではなく越中フィギア！　わけがわからず困惑する学者達……。そんな数世紀後に威力を発揮するかもしれないギャグ&イタズラをしたい人は棺桶用も用意するべし。などというような冗談ではなく、本気で死んだら一緒に棺桶に入れてもらう分は今からしっかりと用意しておくべきだ。そういうわけでワンセット。

⑧加工用

イヤリングにしたりネックレスにしたり、無理矢理指輪にしたりとアクセサリーに加工する分も考えなければいけないだろう。鞄に赤いテープを巻いて「喧嘩買います」、白いテープを巻いて「喧嘩売ります」、加工した越中キーホルダーを付けていたら「恋人募集中」、そんなメッセージが高校生の間で流行するかも!?　ワンセット！

⑨タイムカプセル用

タイムカプセルを開けると中には越中フィギュアワンセットと10年後の自分へ宛てたメッセージ。「本隊ぶっ潰すよ!」だとか「今シリーズは突っ走って行くから!」などと、あの頃の勢いが十分伝わってくる……。果たして10年後も越中ファンなのか？　自分を試す意味でもワンセット用意しておきましょう。ちなみに私は越中ファンになってすでに10年以上経ってます。

⑩護身用

銃を使った犯罪が増加している昨今。いつ自分が巻きこまれるのかわかりません。突然の発砲！　銃弾は胸部をえぐるように貫通し……アレレ!?　撃たれたのに全然平気！　そう、胸ポケットに忍ばせておいた越中フィギュアが銃弾を受けとめ、防弾チョッキ代わりとなったのです！　そんな確率の低い事はさておき、特に女性は護身用として越中フィギュアは必携でしょう。暗い夜道で痴漢に襲われても越中フィギアを見せるだけで、ほら、その突拍子のない行動に痴漢が恐怖を感じて逃げ出してしまいますよ！　よってワンセット。

検証結果

★白袴バージョン➡11個

★黒袴バージョン➡ 9個

そういうわけで以上のような結果になったわけですが、多少個人差は生じることでしょう。とりあえず買えるだけは買っておけ、それが私からのアドバイスです。私はこの原稿を書いてる時点で計6個（白と黒それぞれ3個ずつ）買いました。

袴がちょっとピチピチしてる感は否めませんが、結構いいできです。スキンヘッドバージョンも欲しいところ。いや、いっそのこと維震セット（維震リング&バス&旗付き）を発売してください！　一生のお願いです。

合わせのメッカになっていたかも!?)。時には岸壁の母のように、時には平安京エ
グスシリーズなども発売され、「タリエルか！ タリエルがでるのか!?」と越中

袴がちょっとピチピチしてる感は否めませんが、結構いいできです。スキンヘッドバージョンも欲しいところ。いや、いっそのこと維震セット（維震リング&パス&旗付き）を発売してください！ 一生のお願いです。

ザ・検証

【今月の検証】

今月の徒然草

by 椎名基樹

書くことがない。毎月、検証することなどない。と、いうか最初から検証などしてないけど……。

グレイシーvsUWFも一段落して、テンションが下がっているところに、チャンピオンズリーグ、ユーロ2000と、ヨーロッパサッカーシーンがあまりにおもしろいので、VT観戦熱も沈静化。しかし、今となっては、安生が道場破りに失敗した頃、日本でほとんどVTの大会がなくて、VTに飢えた俺は人影まばらな有明コロシアムあたりで、せきしろとズーッと膠着状態のリングを見つめていたのが懐かしいよ。そして、毎度毎度のプロレスラーの惨敗に、ガックリと本当にガックリと肩を落として、取り敢えず無言で茶を飲んで帰宅し、お互いの彼女に当たっていたものでした。その頃といえば、辰っつあんが「格闘技はプロレスラーを利用している」と、相変わらず的外れかつ格闘家としてあまりに情けない発言をしていたものでした。アントンも「アルティメットには闘いとしての品がない」と否定的で、それで、ブチあげたのが格闘芸術というコンセプト（言い訳）。芸術なんてみたくねえと、俺たちが見たいのは闘いだと思ったものでした。その中で蝶野だけが、「ケンカで一番強いのは、後で家に火を着けることだ」と卓越したVT理論を披露していた。そして、MTVがアルティメット大会を表して、「フューチャースポーツ」と言ったのを聞いて、漫画のコブラのラグボールや映画のローラーゲームのようなイメージを沸かせカッコ良いと思ったものでした。

高田道場もまだなく、というかUインターがまだあったのかな？ とにかく、行く当てのない、流浪の集団となってしまった、Uインター勢が観客がいない他人のリングで高田を筆頭にセコンドに着く姿、そして負けて引き上げる姿は胸に迫るものがありました。その後すぐに、キングダムが旗揚げされ、それもすぐに崩壊となり皆バラバラとなるのですが、その時はとにかく一致団結して負けるために、VTを学ぶために闘っていたようにみえました。Uはインチキだ。本当は弱いと散々言われて、柔術だけがベストとされていた時に、俺はそんなことは無いと信じて見てました。その中で安生vsジアン・アルバレスや桜庭vsキモを見て、ガードポジションからの攻防さえ慣れれば、絶対勝てると確信したものでした。今じゃあ桜庭は世界一強いってんだからわからないものです。

さて、冒頭にも書いたように、vsグレイシー仇討ちストーリーも一段落し、残すはボスキャラ・ヒクソンだけになりました。桜庭がヒクソンをのしてくれたら、それはそれで大円団でいいのですが、俺はどうしてもやっつけてくれって気持ちはありません。そもそも、俺が悔しい思いをしていたのは、Uなんてただの嘘だという、格闘専門誌等の見る目の無さであって、それが間違いであったとわかった今となっては、かなりどうでもいいと感じる。そういえば、その頃会場で「アキレスなんてダメだ」とか雑誌を鵜呑みにしたセコンド気取りのヤツがよくいて、イヤだったなあ。それに、仮に40歳を越えたヒクソンを桜庭がボコボコにしたところで、後味の悪さもきっと残るだろう。まあ、どっちが勝つかわからないけど。でも、ヒクソン戦がまだあるとするならば、やっぱ桜庭にやって欲しい。それは、大抵の人もそう思っているだろう。

格闘技に全然興味がない友人に聞いてみたら、桜庭vsヒクソンはどっちが勝つのだろうと試合前に色々考えて興奮できるけど、小川vsヒクソンでは、小川は強いのかもしれないけど、もう何がなんだかわからなくて、盛り上がれないと言っていた。田村は名前も知らないそうだ。確かに普通の人はそんなところだろう。要するに小川は実績が足りないってことだ。世間に届くのはすでに、柔道元世界王者ではなく、ミドル級世界最強の男なのだ。俺としては、会社を潰され、やってきたことを否定された桜庭にリベンジして欲しいし、小川が顔じゃないなら引っ込んでいて欲しい。ヒクソン戦はよりビッグイベントになったほうがいいでしょ。小川引っ込めってことは、猪木引っ込めってことですよね。本当、お願いだから、しばらくの間だけ引っ込んでくれよ、アントン。そう言うのも、アントンには、過去に冷水をブッかけられたことが、何度あるからだ。

俺は「猪木だから仕様がねえ」と思ってしまう〝闘魂マゾ〟ではあるけれど、UWFが新日にUターンしたときに、前田vs藤原を見て、猪木vs藤原を見て、本当冷水ブッかけられた気分になり、プロレスをしばらく見なくなってしまった。

その頃、中学生で一辺倒な見方しかできなかったし、Uを完全なシュートだと思っていたから、いたいけな少年は傷つきましたよ。静岡から東京までわざわざ駒沢のUWFのファン感謝デーみたいなヤツに行って、木戸のサインボールをゲットしたけど、木戸だってんで間違って捨ててしまったほど、いたいけだったんですから。頼むよ死神酋長、年寄りらしく引っ込んでいてくれよ。でも、小川はもう独り立ちしたほうがいいんじゃねえか？ 猪木も藤田や石沢がかわいいんだろ、多分。小川は俺としては、初期K-1の佐竹のようになれると思うんだけどなあ。というか、なって欲しい。佐竹といえば、最近の佐竹、メチャクチャカッコ良い。パンツはカッコ悪いけど。ちょっと前のホーリー5とかいうのも笑えたし。今日本で最強の男は、サスケ、桜庭、佐竹のトリプルSだと俺は思います。

ところで、船木vsヒクソンで、船木色々言われてるし、俺も船木には乗れないけど、あの試合の後、船木のことが気になって、気になって。どう見ても船木、辞めたくて辞めたくて仕方なかったよう見える。なぜ、急に船木は素になっちゃったんだろう？ 「浄瑠璃が聞こえる」って言ってた人が、ヒクソン戦の後のコメントが「死ぬかと思った」だもん。で、船木のことばっかり考えていたら、すごい疑問が浮かんだ。それは、「なぜ、船木は15才で新日に入門できたのだろう？」ってこと。藤波の時代ならともかく、その時期でその若さで入門でいたヤツなんていない。（ヒロが15才で入門できたのは、マサの隠し子だから）。才能がスゴかったっていうけど、背もあまり高くないし、中学生を見て、才能なんてわかるか？ とにかく、船木は世間も知らないうちに新日に入門し、ここまで地獄を見てきたように思える。そういう辞め方ですよ、あれは。

とにかく、最近の船木は妙に訴えるものがある。

だから、猪木のやってることより、船木の方が俺は全然支持できる。藤田vsケアーは素晴らしかったけど、コールマン戦であぁなるなら、なぜ、リザーバーのシウバが出てこなかったの？ そのシウバは、UFC-Jに出ちゃってるし、変じゃん。あのコールマン戦は、何言われても仕方がないっしょ。

こないだ、AAAを見にいったら、ライガーそして田中稔と新日絡みのヤツらは、本当に最低だった。お前らがプロレスラーでもなんでもないよ。お前らが出てくると、試合が止まっちゃて、みんなブーブー言ってたよ。特にライガーなんて、みんなに立っててもらって、どうしようもないプランチャー披露して、最後に花を持たせてもらって、マイクアピールが「いつでもやってやるぞ、新日のリングでやってやるぞ」だって、バカじゃねえのか？ 会社の名前出してんじゃねえよ。エステル・モレノの爪の垢でも食え。ルチャだからって問題じゃねえよ。だって、丸藤とか金丸とか、旧全日勢はまだ噛み合ってないものの、素晴らしかったよ。（闘龍門の堀口は素晴らしすぎ）。馬場のプロレスってものが、初めて理解できたよ。猪木のプロレスは、Uもしくは修斗となって、完全に分化されて、今の新日は、猪木のやることも含めて、VTでもプロレスでもない、薄気味悪い世間に対して閉じた我慢大会にしか、俺には感じられない。でも、まあリングスもあるし修斗もあるし、9月からサッカーも始まるし、俺にはどうでもいいんだけどね。

アレブリヘ & クイヘ 最高!!

VIVA! ALEBRIJE Y CUIJE

担当編集・坂井ノブの
線路歩いて絵を描いて……vol.1

「カウント2・9」プロレスは是か？否か？

井ノブ=聞き手
by Nobu Sakai
森 鷹博=撮影
by Takahiro Mori

RADICAL世代よ、『紙プロ』本誌を読めぇぇぇ!!

—痛みの伝わる雑誌—

紙のプロレス

本誌バックナンバーのお知らせ

第5号
★特集「たたかいグランプリ」
特別寄稿鈴木邦男、杉作J太郎、竹本幹男／ロングインタビュー馳浩／デビル雅美vs氏神一番／脅威の連載陣！　高田文夫、ナンシー関、浅草キッド

第8号
★特集「さらば新日本プロレス」
ワイド座談会／初登場ザ・グレート・サスケにロングインタビュー／セメントインタビュー関根勤／恐山でジンギスカンを食い、八戸で仮面貴族を見た

第11号
★特集「狂気とは何か？」
怒涛の6人インタビュー堀辺正史、T・J・シン、西村知美、佐野量子、ガッツ石松、糸井重里／プチ特集「『週刊プロレス』とは何か？」初代編集長独占手記

第12号
★特集「色気とは何か？」
村松友視が前田日明を語る！／「前田日明が某格闘技雑誌編集長を女子便所説教」事件勃発記念座談会／蝶野正洋も登場！／色気王A・猪木も登場

第13号
★特集「道場破りとは何か？」
安生グレイシー道場破り失敗事件記念企画山本小鉄&上田馬之助に緊急インタビュー／サブ特集「ファミコンプロレスとは何か？」デルフィン登場

第14号
★特集「神秘とは何か？」
佐山聡、大槻ケンヂ、プロボディーガード・清水伯鳳、鈴木みのるが神秘を語る！／遠藤幸吉、高田文夫にロングインタビューを敢行！

第15号
★特集「インディペンデントの逆襲」
インディーレスラー10人斬り+大物インディー3人　高野拳磁、ポイズン澤田、中牧昭二／巻末特集「K-1とは何か？」石井館長インタビュー

第16号
★特集「新日本凸凹大学校」
『紙プロ』的昭和新日総力検証　マサ斉藤、キラー・カン、田中ケロ、破壊王、後藤達俊インタビュー／ユセフ・トルコvs由利徹対談

第17号
★特集「実況パワフル北朝鮮」
猪木×永島のナマハゲ対談（©大仁田）、村松友視がミーハーヒロイズム宣言!?　ブル中野、破壊王も登場／巻末特集「藤原組の逆襲」

第18号
★特集「高田延彦さんへ愛をこめて」
引退宣言の読み方座談会／サブ特集「すてきな奥さん」大山倍達、サスケ、ライガー、石川雄規の嫁が登場！／新間寿恒ヒザ蹴り事件勃発！

第19号
★特集「さようなら紙のプロレス」
『紙プロ』の廃刊騒動の顛末。新編集長誕生！／サスケ×高野拳磁『紙プロ』を偲ぶ座談会ミスター・ポーゴ、山崎一夫インタビュー

第20号
★特集「劇的格闘技」
真樹日佐夫、角田信朗、大槻ケンヂ、村松友視の四大インタビュー／山口昇と東京シュガーベイブ結成記念　ユセフ・トルコ、上田馬之助、遠藤幸吉が登場

第21号
★特集「幻的格闘技」
古武道を通じてプロレスを考えよう！　前田日明も登場！　スクープ・寛水流空手二代目会長の世古典代氏登場！／高田文夫、ユセフ・トルコが登場

第22号
★特集「この人が喝っ!!」
巻頭インタビュー・ジョージ高野／プロレス雑誌を斬る!!／高阪剛、セッド・ジニアス、小佐野景浩、熊久保英幸インタビュー／M・マスカラス宣言号

★猪木とは何か？
スキャ[illegible]まみれていた時期の猪木を直[illegible]ってことか[illegible]よ！／村松友視、立川談志、告発仕[illegible]記者が登場！　新聞のPKO発言[illegible]録
完売

★パンクラス公式読本
〜矛〜
97年夏当時、横浜道場にいたパンクラシストたちを中心に構成！／なぜか突然、佐山聡が登場！／故・長谷川悟史選手のロングインタビューも掲載

★パンクラス公式読本
〜盾〜
97年夏当時、東京道場にいたパンクラシストたちを中心に構成！偶然か、必然か？／故・ジャイアント馬場がパンクラスを語った衝撃のインタビューも掲載!!

★極真とは何か？
不撓不屈の極真魂が溢れる16人を直撃！／松井章圭館長、磯部清次南米支部長、F・フィリョ、黒澤、ニコラス・ペタス、某格闘技雑誌編集長らインタビュー

★紙の前田日明
〜インタビューという名のエネルギー史〜
『紙プロ』、『リンタマ』、『紙プロRADICAL』誌上で掲載した前田インタビューを再構成してディレクターズ・カットで再録！／引退直前の覚悟のインタビューも新規収録！／完全保存版

伝説に触れたい人のための申込み方法

●現在は1号〜4号、6号、7号、9号、10号、『大山倍達とは何か？』『猪木とは何か？　キラー編』は完売しました。ノーダウト!!●定価は『紙のプロレス』5、8号は700円、11号〜22号は780円となります。●『猪木とは何か？』は1320円、『極真とは何か？』は1530円、パンクラス公式読本『矛』『盾』は1260円、『紙の前田日明』は送料込みで、サービス価格の2000円となります。●送料は1冊=310円、2冊=340円、3冊〜4冊=450円、5冊=520円、6冊以上=700円となります。●10号、『大山倍達とは何か？』は書店やプロレスショップで探せば若干残っているはずです。頑張りましょう。

【現金書留送り先】
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス「本誌バックナンバー係」まで

【郵便振替振込先】
00130-3-769154　（株）ダブルクロス
※どちらの方法にしても、必ず希望の号数を明記してください。絶対おつりのないようにお願いします！

プロレスリング・ノア、
全日本大陸からマット界の大海原へ出航！

三沢社長、方舟はどこへ向かうんですか？

「カウント2・9」プロレスは是か？否か？
ノアの行方が今後の「純プロレス」を決める！

坂井ノブ＝聞き手
interview by Nobu Sakai
森 鷹博＝撮影
photographs by Takahiro Mori

MISAWA MITSUHARU

祝・ノア船出記念スペシャルインタビュー

三沢光晴

『紙プロ』はねぇ、（版型が）大きくなってからはほとんど読んでないですね

いつの頃からか、本誌は全日本、新日本の所属選手にインタビュー取材をすることが不可能になっていた。何度も取材の申請はしてきたのだが、なかなか了承を得ることが出来なかったのだ。U系や『PRIDE』などのイメージが強すぎたせいもあるのだろう。
今回、ボクは分裂直後のノアに早速コンタクトを取り、三沢光晴社長と仲田龍取締役に直接お会いして、いままでの取材申請の経緯や雑誌の方針を説明した。今までも何度か三沢社長にインタビューの申請をしてきたのだが、結局、三沢社長までこちらの思いは伝わっていなかったようだ。しかし、それはもう過去のこと。これからは違う。ノアの返事は「取材、OK!」。
というわけで、『紙プロ』に〝純プロレス最後の砦〟となったノア勢のインタビューを晴れて掲載することが出来るようになった。本誌NO．6の蝶野正洋以来、『紙プロ』が久々に「純プロレス」の領域に足を踏み入れる記念碑的インタビューである。

三沢光晴は押しも押されぬプロレス界のエースであることは、『PRIDE』やリングスなど、いわゆる「新プロレス」の流ればかりを追ってきた本誌の読者でもご存知のことと思う。そして、このたび「理想のプロレスを追求するため」に新団体『プロレスリング・ノア』を旗揚げした経緯も、本誌の読者ならとっくにご存知だろう。
時代の波に取り残された感もあった全日本の中から、マット界の大海原に飛び出した三沢に現在のプロレス界はどのように映っているのだろうか? その中で、ノアはどのような方角に進路を取るのか?
くしくも再スタートを切った全日本プロレスの川田利明は「カウント2・9で返す試合＝いい試合」というイメージを払拭していきたいと語り、三沢らが繰り広げてきた90年代最高峰のハイレベルな大技とハードな受け身が連続する『2・9プロレス』をキッパリと否定して見せた。果たして、三沢光晴からの返答は、いかなるものだろうか、「変わらない」ことを美徳とする全日本プロレスで、プロレスラー人格を形成していった選手やスタッフ、そして三沢社長が一体どのように変わっていくのか? その展望をさっくばらんに語っていただいた。

――いままで読者から何度も「全日の選手は出ないんですか?」と聞かれてきたんですけれど、今回ノアを旗揚げなさるということで、ようやく出ていただけることになってホントに嬉しいです。お願いはしてたんですけど、なかなか思いが通じなくて。

三沢 ハハハ、今まではね。

――「格闘技寄りのプロレス雑誌」と言われがちなんですけれども、『紙のプロレス』はご覧になったことはあります?

三沢 ありますよ。

――中身についてはどんな印象をお持ちですか? まあ、厳しい意見もあると思いますけれども（笑）。

三沢 どうでしょうねぇ（笑）。

――三沢さんは普段、プロレス雑誌に目を通したりはしないんですか?

三沢 細かく読んだりはしないですね。『紙プロ』はねぇ、大きくなってからはほとんど読んでないですね。

――小さい版形のときのほうが読まれてたんですか! 意外ですね。

三沢 いや、俺が出てるかなと思ってたんですけどね（笑）。

――ひょっとして『プロレスの達人』と間違えてませんか（笑）。まあ、うちの会社のトップの方が猪木キ○ガ○というかですね……。

三沢 そうなんだ（笑）。

――でも最近は、三沢さんや秋山さんに凄い関心を持ってるんですよ。

三沢 そうですか。

――今回は、三沢さんが全日本を抜けられて、他の選手もついていったわけですけれども、これによって非常に注目が集まっています。なおかつ、三沢さんが掲げた「理想のプロレス」というのはどんなものなんだ?っていう期待も大きいんですけれども、現時点でプレッシャーを感じたりしますか?

三沢 まあ、急に結果を出せというのは無理なことですからね。その「理想のプロレス」っていうのも抽象的なものだから、それをひと言で言うのは難しいけどね（笑）。

――会見のときにおっしゃっていたのは、「演出その他もろもろを今風にしていきたい」ということでしたよね。それを聞いてすぐに思い浮かぶのは入場時をもっとショーアップするのかなということだったんですが。

三沢 そうですね。それは最低限必要なものだと思います。

――全日時代から観客動員やいろんなことを考えて、そうしたほうがいいということで……。

三沢 それはずっと考えてましたね。

――にも関わらず全日を辞めなければならなかったというのも悲しいことですよね。

6月9日、日本武道館大会で行われたワンナイト・タッグトーナメントに出場した三沢（パートナーは小川）は、ノーフィアーの怒涛のラッシュの前に黒星を喫した。この大会後、全日を離脱。この日はシリーズを総括するコメントを出さずに会場から姿を消したため、報道陣はちょっと騒然となった。

三沢　会社のトップが「ダメだ」って言ったら従うしかないですからね。
――今回の分裂騒動の中で、ビックリしたのは『週刊宝石』のインタビューで、川田さんについて三沢さんが痛烈に批判されてたことなんです。
三沢　まあ、20何年間一緒にいたわけですからね。言ってることとやってることが矛盾してるのがねえ、ちょっとアレかなって（笑）。
――全日を守るために新日と絡むのもやむなしという選択をしたわけでしょうけど。
三沢　川田の「守る」っていうのはそういうことなんでしょうね。
――しかも、驚くことに馬場さんがずっと参戦を拒否していた天龍（源一郎）さんが全日のリングに上がりましたよね。馬場さんの作ったものを守るということと、天龍さんを上げるということは確かに矛盾してますよね。ただ、正直言ってあれは興奮したんですよ。元子さんが呼び込んで、天龍さんが上がってくるっていう誰も予想しない展開でしたから、ドラマチックでしたよ。
三沢　（渋い表情で）それはコメントしずれえなあ（笑）。そこは奥さん（＝元子夫人）が呼び込むんじゃなくて、川田がやるとこなんじゃねえのかなあ。
――ああ～、なるほど。でも、これで全日はダイナミックに変わったなっていう印象を一発で与えてしまったんで、逆に三沢さんたちが新団体を旗揚げするにあたって、プレッシャーになるのかなと思ったんですが。プロレスファンは判官びいきのところがありますから（笑）。
三沢　まあ、でも、ウチは全日本さんとは方向性が違うと思いますからね。やっぱり一番にはファンの望むことをやっていきたいと思うし。
――全日本にいた頃は、夢のカードがあっても「過去に問題があった人は出れませんよ」という方針を三沢さんは社長として打ち出してきましたよね。
三沢　全日本である限り、馬場さんがそれを望んでいなければできないし。過去にいろいろ問題がある誰かを上げるっていうことになると、やっぱり、馬場さんにそむく形になっちゃいますからね。
――今後は、過去の人間関係から切り離して考えるということですか？
三沢　うん、因縁も別にないですからねえ。俺個人としては。
――これからの可能性は無限にあるわけですよね。その新団体の話なんですけど、ほとんどのレスラーが移籍してきたということで、リング上の闘いはそんなに変化がないんじゃないか？という見方もありますが。
三沢　最初から目に見える変化を出すっていうのは難しいでしょうね。ただ、全日本というしがらみがなくなったわけだから、選手はもっといろんなことできますよね。それこそ入場から、試合が終わって勝った後なんか好きにできますよ。
――全日本のときはそういうところにも規制があったんですか？
三沢　やっぱり目立つこと、たとえばノーフィアー的なものなんかは、馬場さんが嫌ってた部分はあったからね。
――いままでいた全日本プロレスでは「ひたむきに一生懸命にやる」ことを美学としてやってきた部分はありましたよね。三沢さん自身もそんなにアピールはしませんでしたし。
三沢　そうですねえ。俺がアピールすると、ちょっとオチャラケが入っちゃうからね（笑）。それは緊張してる自分をなごませたいっていう意味があるんですけどね。でも、お客さんにそれがわかるかって問題もありますから。ただふざけてるようにしか見えないかもしれないし（笑）。もちろん、根本にちゃんとした技術を持ってるから、お客さんに納得してもらえると思うけどね。
――今までは良くも悪くも淡々としていたものが、今度はもっとメリハリの効いたものになっていく、と。
三沢　そうですね。これからは、みんな自由にできると思うんですよね。でも、その分責任を自分で取らなきゃいけないっていう部分があるから、キツくなるかもしれないですけどね。
――自分のケツは自分で拭けということですね。選手の側からは、すでに「ああしたいこうしたい」という要望は出てきてるんですか？
三沢　まあ、これからは俺に言う必要もないと思いますよ。自分では「シンプルな派手さ」が出せたらいいなとは思いますね。でも、それって難しいでしょ（笑）。
――そうですね。ゴテゴテつけて派手にする方が簡単かもしれないですね。たとえば、三沢さんはWWFなんかは御覧になってますか？
三沢　たまに見ますよ。
――あそこは派手を通り越して、TVの脚本家とかを起用してもうムチャクチャなドラマになってるじゃないですか。
三沢　だからね、あそこまで演出して、なおかつちゃんと「試合」が組み込まれればいいんですけどね。ちょっと演出に片寄ってる部分があるじゃないですか。だから、両方うまい具合に回せていければいいと思うんですけ

東スポ　糾弾状で猛反撃　馬場夫人　三沢は背任行為　訴訟に発展へ!!

東スポ　ウィリアムス烈火　全日最強外国人が激批判　三沢卑劣　奴は悪徳商人!!俺が制裁

離脱した三沢に対して、元子夫人はさっそく報復を開始する。マスコミ各社に「何の責任もとらず任務を放棄した三沢社長とその同調者に対しましては憤りの念を禁じ得ません」と厳しく非難。なぜか、スティーブ・ウィリアムスまで「三沢はバッド・ビジネスマンだ！　俺が制裁する！」と息巻くなど異常事態となっている。一方、「全日本の名前は捨てられない」と残留した川田と渕は、「新日本との交流を考えたい」とコメントし、渕は実際に新日の永島営業企画部長と会談を持った（が、決裂）。そして、7月2日、後楽園のリングには天龍源一郎が10年ぶりに姿を現し、元子夫人と衝撃の握手！　全日は、ノア勢が離脱した穴を埋めるべく、なりふり構わず攻めの姿勢を打ち出している。

どね。WWFなんかだと、試合がはじまると「あれ?」ってなるところがあるじゃない? 「試合までの方が面白いじゃねえか」って(笑)。

——アハハハ、そうですよね。三沢さん、ああいうのも面白いと思います?

三沢 見てるぶんには面白いと思いますけどね。俺はあそこまではできねえな(笑)。

——同じ社長でも、ビンス(・マクマホン)にはなれねえなと(笑)。

三沢 演出も無理してやる必要もないんじゃねえかな。「お前、無理してるだろう?」ってツッコまれるものはね。もっと個人個人でファンにどう届くかを考えていってほしい。

——そういう意味では、若い選手も「これからはどんどんいろんなメディアに出ていけ!」って感じですか?

三沢 それはもちろん自由ですよ。逆にそういうところからでも若い選手が出てくるといいと思いますしね。俺としても「もう代わってくれよ」みたいな感じだから(笑)。

——アハハハハ!

三沢 自分も現役だから、本業はプロレスですからね。そういう仕事がイヤだってわけじゃないですけど。でもなかなかね、テレビなんかでもやる前がめんどくさいんですよ。やっちゃったらいいんですけど、行くまでに「ダリ~なぁ」って思いながら行くから(笑)。

——明日は『いいとも』に出演なさるんですよね。あそこに出るのは、ある種ステイタスじゃないですか。

三沢 でも、俺は別に芸能人じゃないからね(笑)。そういう感覚はないですから。まあ半分芸能人で半分スポーツ選手みたいな世界ではありますけどね。

——では、その本業のプロレスの話に移ります。じつは、川田さんが7・1のディファ有明大会のときに「カウント2・9で返すのがいい試合だ、というイメージを払拭していきたい。もっと痛みの伝わるプロレスがしたい」とコメントしていたんですよ。いわゆる全日本で行われてきた「2・9プロレス」を否定するような発言をしてましたけど。

三沢 いや、逆に「2・9プロレス」のほうが全然痛みは伝わってますよ(キッパリ)。そこらへんにもあいつの矛盾があるんだよね。

——矛盾ですか!? なんか分裂してから川田さんの大胆な発言が大きくクローズアップされてますよね。川田さんって、もともと寡黙なイメージがありましたけど。

三沢 あいつよくしゃべるんですよ。ファンの中で寡黙なイメージを作ってるだけですもん。

——作ってるだけなんですか(笑)。

三沢 うん(笑)。「うるせえよ!」ってぐらいにペラペラしゃべりますよ、バス移動のときとか。超世代軍の頃の話ですけど。

——川田さんってボケなんですか、ツッコミなんですか?

三沢 あいつはお笑い好きだし、ボケをやりたいんでしょうけど、でもボケになってなかったり、ね。

——それを三沢さんがツッコむと。

三沢 いや、ツッコミたくもなかったね(笑)。

——アハハハハ! 三沢さんの川田さんに対する発言って、活字で読んでるときには「けっこうキツいこと言ってるな」って思ったんですけど、いまお話をうかがってる限りはそんなにシリアスにおっしゃってる印象を受けませんね。

三沢 まあ、普通に話してるだけですから。それは書く方のサジ加減だよ。

——なるほど。川田選手の話題はそのへんにして、今年に入って秋山選手が変わってきたなという印象を受けるんですけど、三沢さんの目にはどう映ってましたか?

三沢 いいんじゃないですか。自分の言いたいこと言って、責任感もあるし、言えるだけの技術も持ってるから。発言を聞いてても「周りを良くしようと考えてるな」っていうのは感じますしね。ただ、みんながみんなそうじゃなきゃ良くならないですからね。

——秋山さんが、志賀さんを徹底的に叩きのめした試合('00・3・11後楽園大会)は、いままでの全日本の文脈にはなかった部分で、僕らもすごいショックを受けたし、ファンにもショックを与えたし、全体の活性化に繋がると思うんですよ。三沢さんはどうご覧になりましたか?

三沢 俺もいいんじゃない?って思いますよ。秋山はファン的にはイジワル番長で通ってるらしいけど(笑)。

——イジワル番長(笑)。

三沢 だから俺、秋山と若いヤツの絡みって好きですよ。「秋山クンなにやってくれんのかなあ?」って(笑)。若い連中の頑張りも面白いしね。

——秋山さんが一瞬見せた怖いプロレスは「2・9プロレス」とはまた違う文脈が、選手の側から提示されたという点でも面白いですよね。

三沢 うーん、でも逆に、そういう試合と、「2・9プロレス」とどっちがキツいかっていったら、やってる方にとっては「2・9プロレス」の方がキツいですからね。だから、ある意味ではラクな方を選んだみたいなところも感じるんですよね。まあ、それは違うかもわからないけどね。

——なるほど。いわゆる「2・9プロレス」というのは……。

三沢 (遮って)「2・9プロレス」って言いますけど、そりゃカウント1で返せればいいと思いますよ。でもギリギリまで休んでたいという気持ちもありますしね。それは駆け引きのひとつでもあるわけだし。

——いや、ボクも「2・9プロレス」という言い方が一概にはいいとは思わないですけどね。

三沢 うん、それはそうだね。

三沢社長を筆頭に、選手25名、練習生1名、レフェリー1名がノアの旗揚げメンバーとなった。6月16日の記者会見は、みな解放感からか満面の笑みを浮かべていた。だが、フロントまで含めると40人以上の大所帯となり、「やる気のない者は切る」という方針も打ち出している。

プロレスはプロレスですよ。ただ、格闘技の技術にそれを超えたものが上乗せされたものであってほしい

──いま言われたように、選手の方もそれだけキツいわけですよね。

三沢　キツいですよ。そこまで相手にダメージを負わせなきゃいけないわけだし。

──頭から落とすってことだけではなく、試合時間も長いですしね。

三沢　だから「2・9プロレス」の方が「痛みが伝わるプロレス」じゃねえかって思いますよ（笑）。実際、痛いし。

──いや、ホントにそうですよね。

三沢　来てもらったからには楽しませて満足させなきゃいけないわけですからね、こちら側は。決して手を抜けないですね。

──団体としては、いろいろなニーズに応えていかなきゃいけないわけですが、三沢さん個人としてはいまいちばん求められているものってどんなものだと思いますか？

三沢　どうでしょうね。いま、ファンの方と接する機会が少ないですからねえ。

──三沢さんのイメージって、ラーメン屋に例えると、頑固一徹というかひとつの味にこだわってラーメンを作り続けているような印象を受けるんですけど。

三沢　ハハハハ、でもまあ基本的にはうまけりゃいいと思いますよ。それが基本なわけだから。それさえあればいろんなトッピングをしてもいいと思いますし（笑）。「あ、この組み合わせ、意外と合うじゃん！」っていう時もあるから（笑）。

──アハハハ！　これからは三沢さんご自身もドンドン味を変えていこうという気持ちはありますか？

三沢　俺自身も感じるものがあれば変わっていくと思いますよ。

──いま、なんのニーズがいちばん強いかって考えると、やっぱり『PRIDE』みたいな場にプロレスラーが出ていくことなのかなと感じるんですよ。例えば、新日本プロレスでは藤田（和之）選手が出るとか、（ケンドー・）カシンが出るか出ないかっていう話があると、ファンもものすごい興奮するんですよ。

三沢　俺からしたら、「逆なんじゃないか？」って思うんですよ。プロレスのリングにそういう選手が上がってこないと。結局、そっちの方がプロレスよりルールが多いんじゃないのって思いますよね。

──ヒジがダメとか。

三沢　そうそう。頭突きとかね。「なんで？」って思いますよ。ホントに勝ったって言いたいんだったら、「そういうのはおかしいんじゃないか？」っていうのは、俺の中にはありますね。

──いわゆる格闘技側にしたら、「ヒジを使ったらヴァイオレンスになる」っていうんですよね。三沢さんなんかどうなるんだって話ですけど（笑）。

三沢　パンチだって一緒ですよ。プロレスの場合、その辺はレフェリーの判断ですからね。

──よく三沢さんや秋山さんは、「バーリ・トゥードにプロレスラーが出るには最低でも3ヶ月とか半年ぐらいはそういう練習が必要になる」っていうことを発言していますよね。

三沢　それは必要だと思いますよ。また違った技術ですから。でも基本的にああいうスタイルってのは、受け身をやるまでの流しの練習の一環ですよ。

──流しの練習！

三沢　新弟子が入ってきたときに「プロレスってのは痛いんだぞ、辛いんだぞ」っていうのを教えこむときにやる練習ですから。だから、そういう選手がプロレスに出ると「何て難しいんだ!?」って思うみたいだし。たとえば受け身ひとつ覚えるにも、半年かかるわけだからねえ。まあ技術的なことでいえば、覚えなきゃいけないことはプロレスの方が多いですよ。

──なるほど、たしかにそうですね。

三沢　俺はアマレス上がりですけど、高校のアマレス部に入って1週間か2週間で試合に出されましたよ。まあ勝ちましたけど（キッパリ）。

──さすがですね！

三沢　本能で出来るじゃないですか、ああいう試合はね。もちろん技術は必要ですけどね。まあ、1回見たら覚えられるなっていう部分はありますよ。

──1回見たら覚えられる！

三沢　プロレスの場合は見ても覚えられないですよ。やってみたら余計にわからないんだけど（笑）。

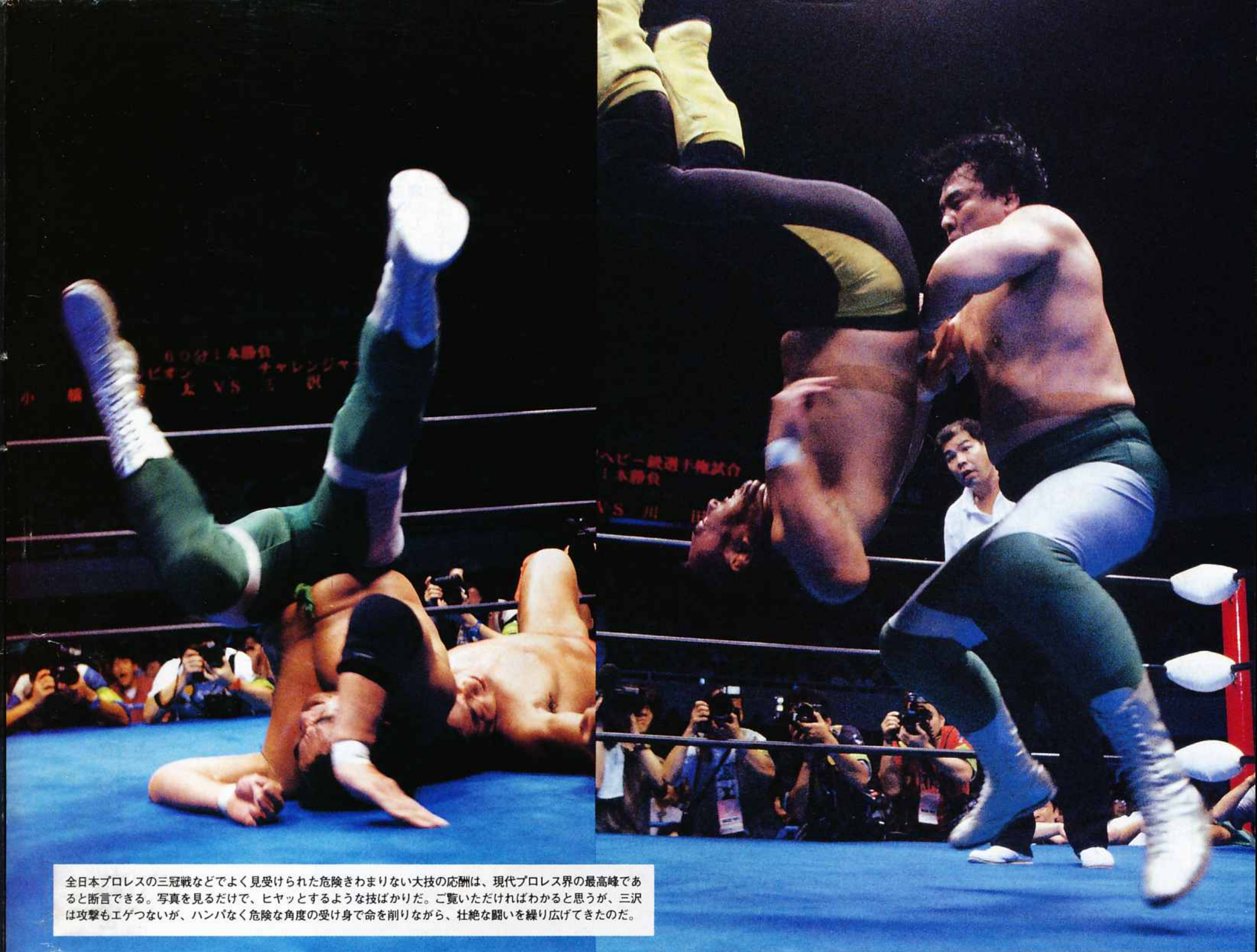
──そういうご自身の体験から言うと、やはりプロレスと格闘技は別物ですか？

三沢　プロレスはプロレスですよ。ただ、プロレスっていうのは、いわゆる格闘技の技術に、それを超えたものが上乗せされたものであってほしいとは思ってますけどね。

──秋山さんは、格闘技のエッセンスをプロレスに取り込もうとしているように感じますけれども。

三沢　それはそうですね。でも、どっちが難しいかっていったらやっぱりプロレスですけどね。だから、どこに見せても恥ずかしくない技術があるのなら、プロレスラーを名乗ってもいいと思いますけど。それもまあ「どこまでなら認められるんだ」という設定も難しいけど（笑）。

──例えば、小川直也vs橋本真也戦とかを見て、三沢さんはどう思われました？「プロレスラーが弱く見える試合だった」というコメントがありましたけど。

三沢　だから、橋本選手が無理に合わせなくてもいいんじゃないかなっていうのは思いましたけどね。まあレスラーの悪いクセという

全日本プロレスの三冠戦などでよく見受けられた危険きわまりない大技の応酬は、現代プロレス界の最高峰であると断言できる。写真を見るだけで、ヒヤッとするような技ばかりだ。ご覧いただければわかると思うが、三沢は攻撃もエゲつないが、ハンパなく危険な角度の受け身で命を削りながら、壮絶な闘いを繰り広げてきたのだ。

か、受け身が染み付いてるわけだから、他のスポーツと違うから。小川選手も良い部分は持ってるとは思うんだけど、プロレスラーかどうかというと「そうか？」って感じですね。

——小川選手はよく自分で「プロレスラーだ」と言いますけど。

三沢　だから「そうか？」になっちゃいますよね（笑）。

——「覚えなきゃいけないこと」が多いわけですね。桜庭（和志）選手はいかがですか？バーリ・トゥードでプロレスの技を使ったりしてますけど。

三沢　桜庭選手もいいもの持ってますよ。ロープを使いこなせるようになれば、面白いと思うし。

——ロープワークを教え込んでみたい、と!!（笑）。

三沢　いやいや（笑）。でもキャラクター的にはいいもの持ってますよね。

——意外に三沢さんとはキャラがかぶってる部分もあるかもしれませんね。

三沢　でも、俺はリングの上だとあそこまで出せないなぁ。今後は出せるようになっちゃうけど（笑）。いままで作ってたっていうわけじゃないけど、「全日本だから」ということを考えると「これはちょっとマズいな」って考えることは自分の中にあったからね。

——小川さんや桜庭さんなんかの、プロレスと格闘技の境界線上にいる人たちを取り込んでいけたらおもしろいんじゃないかっていうニーズは、あると思うんですよ。

三沢　そうですね。

——小川さんなんかは、全日本に対して好意的なコメントを出してますしね。もちろん、いろいろ難しい問題はあると思いますけど。でもしばらくは他団体の選手が上がるっていうことはないですか？

三沢　いまのところは考えてないですね。今年いっぱいぐらいは。そういうところまで考える余裕もないですからね。10、11、12月には巡業も考えてますし。

——ところで今日の新聞（日刊スポーツ7月4日付）に、『PRIDE』の森下社長が「ノアの旗揚げ戦はぜひ見にいきたい。三沢さんにもプライドをぜひ見にきてほしい」というコメントを発表してたんですよ。

三沢　俺は聞いてないですよ（キッパリ）。っていうかね、常識的に考えて、紙面が先じゃなくて、本人に知らせてから誌面に出るんじゃないのっていうのは思いますけどね（笑）。

——マスコミは伝言板かって（笑）。

三沢　そこでねえ、会いづらい人たちが来るんだったら、俺が行くわけねえじゃんねえ（笑）。

——アハハハ！

三沢　俺が行ったら川田が来ないだろうし（笑）。そこらへんわかってくれって。

——プロレス界のルールをわかってないなという感じですか？

三沢　でもルールなんていうのはあってないようなものだったから、プロレスが社会的に低く見られちゃうんでしょう。まあでも、なかなかおもしろいな、と思いますよ（笑）。

——三沢さんとしては、信頼関係を第一に考えたいと？

三沢　もちろんそうですよ。やっぱり、失礼な言い方かもしれないけど、人間を使うわけですからねえ。商品を扱うんじゃないですから。環境とか気持ちが大事ですよ。簡単にこの選手を貸してというわけにはいかないでしょ。ちゃんと信頼できる人間じゃなきゃね。

——まあ、逆に「プロなんだからマスコミを利用してナンボ」という考え方もありますよね。

三沢　それはそうだと思いますよ。でも、最低限のスジは通さないといけませんよ。ある意味、マスコミを利用しなきゃいけない部分はあると思うけどね。マスコミの人を前にして失礼な言い方かもしれないけど。

——いえいえ、こんなんで良かったらドンドン利用してください。

三沢　どうだろうねえ（笑）。

——今いろいろなマスコミで、プロレスとい

痛みの伝わるプロレス？「2・9」プロレスの方が痛みは伝わってますよ（キッパリ）

はじめの一歩、

ディファ有明の中にノアの道場がある、撮影時はまだまだ建設中だったがすでにリングは組み立てられていた。ここから、21世紀のプロレスを創り出す新たな人材が生まれてくるのだ。新世紀へ向けて、三沢社長の「はじめの一歩」を力強く踏み出した。一部報道にあるようなスポンサーがいるわけでもなく、合宿所も『東スポ』を通じて募集をかけているほど。ひとつひとつがゼロからのスタートとなった。

俺の中では慌てる部分はないんですよ。いいものをやってれば「面白いらしいよ」って伝わっていくと思う

うジャンルが地盤沈下を起こしているんじゃないかっていう論調はあると思うんですよ。三沢さんの実感としてはいかがでしょうか?

三沢 俺の中では、そういう慌てる部分はないんですよ。いいものをやってれば「あそこは面白いらしいよ」って伝わっていくと思いますしね。選手に関しては、しっかりした部分は持ってると思うし。これから一からやっていくのに、そんな慌てた気持ちを持ってちゃしょうがねえって思うしね。もちろん、中途半端なもんは出せねえなっていう気持ちはありますよ。

——これからは、いままでのファンを大事にするよりも、むしろ新しいファンを開拓していきたいという気持ちの方が強いんでしょうか?

三沢 それは強いですよ。もちろん、古いお客さんを大事にした上での話ですけど。もっと一般の方に浸透していかないとね。いまだにプロレスには古いイメージが根強く残ってますからね。「怖い」とか「血が出るからイヤだ」とか、いつの時代だよっていうものがね(笑)。

——たしかにそうですね。

三沢 そういう人に限って「見たことないけどそうなんでしょ?」って(笑)。「おいおい!」って感じですよ。

——でも、逆に言ったらそういうイメージが強烈に残ってるのは、凄いことですよね。

三沢 まあゴールデン・タイムに放映していた強みというか。その時代にはそれが合ってたんでしょう。でも、やっぱり今の時代のものを作っていかないとって思いますよ。

——たとえば、TVへの露出の仕方にしても、三沢さんはいろいろ試行錯誤してましたよね。カブの被りモノで出演したりとか。

三沢 ああ、あれ俺やりたくなかったんだけどねえ……(遠い目)。

——アハハハ!

三沢 プロレスファン的には小橋がやった方がもっと面白かったと思うんだけどねぇ(笑)。小橋はケガしてて無理だったんですよ。それで川田にやれって言ったら「俺は腕が痛いから」って。やっぱり会社のことを考えてないんだよ、自分のことばっかりで。

——さっきの話に通じるものがありますね(笑)。

三沢 「もっとテレビに出たほうがいいですよ」なんて言いながら自分は仕事選んじゃうんだから。アホか、お前!って(笑)。ほんと言ってることとやってることが昔から違うからね。やっぱり信用できねえな(笑)。

——あちゃ〜。TVの方面でも新しい展開はありそうですね。

三沢 カブはもうないでしょう(笑)。でも、話があればやりますけどね、そりゃあ。でも被りモノはつらいな(笑)。

——これからはリング内外ともに、変わっていけるわけですからね。ウチの雑誌もドンドン利用して頂ければと思いますんで、よろしくお願いします。会社名は『ダブルクロス』(=裏切りの意)というんですけど(笑)。

三沢 ハハハハ! どうかなぁ(笑)。まあ、よろしくお願いしますよ。

【'00年7月4日、東京・ディファ有明内『MAHORA』にて収録】

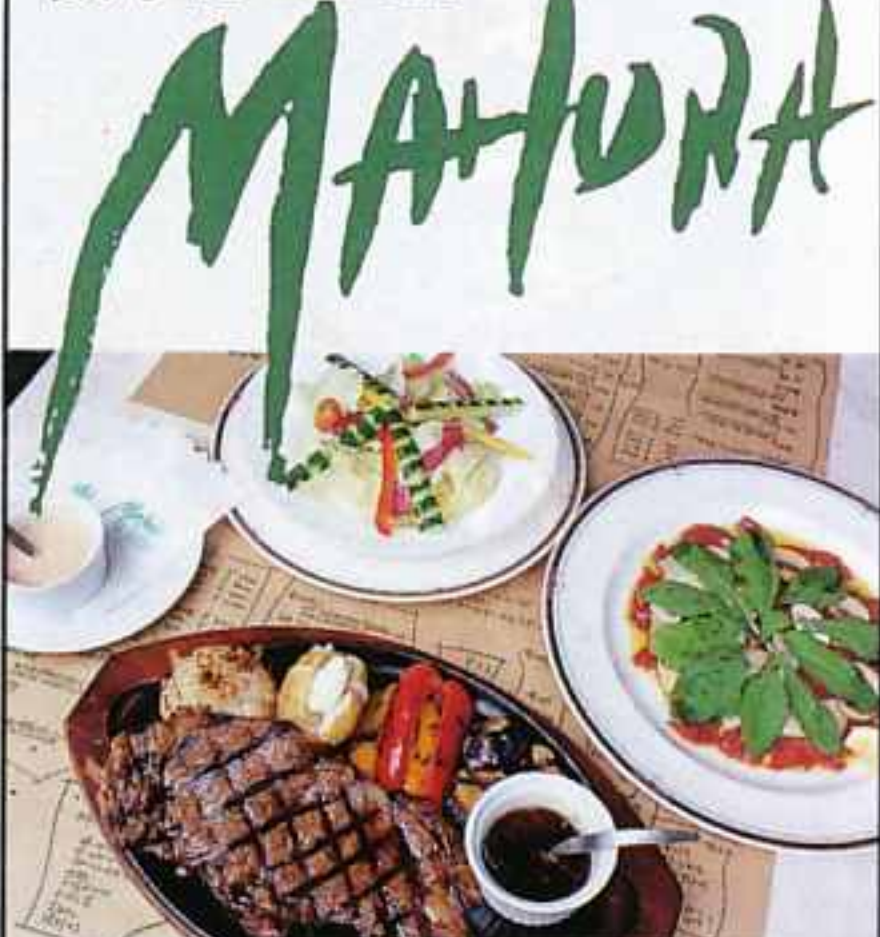
インタビュー後記■いままでインタビュー取材が不可能だった本誌が、今回こうして三沢社長の大英断により旗揚げ直前のノアを取材することが出来た。全日分裂に象徴されるように、いわゆる「純プロレス」の世界も次々と変革が始まっている。ノア旗揚げは、新しい時代の幕開けとなる出来事だ。時代の波から取り残された全日本大陸を出て、ノアという名の方舟はマット界全体を視野に入れながら、格闘カオスの海に船出した。方舟の船長となった三沢の目が、21世紀のマット界を見据えていることは間違いない。『PRIDE』などの「新プロレス」の水先案内人ともいえるノア勢が守りに入るとは考えにくい。攻めの姿勢でマット界に新たな波を起こしまくってくれるはずだ。本誌は、今後もノアの航海の模様を継続して伝えていく所存である。

Profile

みさわ・みつはる■昭和37年6月18日、埼玉県越谷市出身。高校時代は国体のアマレス・フリースタイルで優勝。ちなみに同じ高校の一年後輩が川田利明である。全日本プロレスに入門後、昭和56年8月21日埼玉・浦和競馬場正門前駐車場特設リング大会のvs越中詩郎戦でデビュー。昭和59年には二代目タイガーマスクとして蔵前国技館に登場して、華麗なファイトを見せるが、平成2年の選手大量離脱を機にマスクを脱ぎ、素顔の三沢光晴として超世代軍を率いる。小橋健太や川田らと30分以上に及ぶ死闘を何度となく繰り広げてきた孤高のエースであったが、ジャイアント馬場の逝去後は代表取締役社長に就任。だが、今年6月に理想のプロレスを目指して「プロレスリング・ノア」を旗揚げ。代表取締役社長として忙しい日々を送る。

世紀の船出に乗り遅れるな! プロレスリング・ノアいよいよ旗揚げ!

プロレスリング・ノアが8月5日(土)ディファ有明大会でいよいよ旗揚げする。8月は6日と19日にも大会が行われるが、いずれも前売りチケットは完売。当日券もかなり入手困難であることは間違いない。9月には関西方面での大会も検討中。10、11、12月には巡業にも出る予定。すでにAAAやFMWに選手が派遣されているが、こうした選手交流は今後も行われていく模様だ。今年後半はノアの動きから目が離せそうにない。

ディファに行ったら食事はココ!! MAHORA

ディファ有明の建物には、オシャレなレストランが併設されている。それがこのフュージョンBBQのお店『マホラ』だ。普段はミドル・エイジをターゲットにしたこだわりの本格レストランで、肉、ソース、ドレッシングなどすべてチョイス出来る細かい心配りが嬉しい。プロレス開催日はセットメニューを中心としたカジュアルなレストランに様変わりするので、観戦の際には立ち寄ってみよう!
詳しくはホームページ(http://www.bbq-mahora.com/)を是非ご覧ください。

羽ばたけ!! 方舟から世界へ!!

ノア勢、AAAに参戦!!

丸藤正道×金丸義信

KANEMARU YOSHINOBU

MARUFUJI NAOMICHI

「ヘタなことはできねぇなって思いました」

「基本的な受け身とかは絶対負けてない!」

坂井ノブ=聞き手
interview by Nobu Sakai
森“モーリー”鷹博=撮影
photographs by Takahiro Mori

新団体『ノア』の選手の中で、いち早く他団体出場が決定したのが、金丸義信&丸藤正道のジュニア・コンビだ。二人は7月5日(水)、日本初上陸を果たしたAAAの後楽園ホール大会に出場。強烈なインパクトをプロレスファンに残すことに成功した。この二人、今後は他団体に出場する機会も増えていくことだろう。本誌読者にもバッチリ覚えておいて頂きたい、『ノア』の特攻部隊の素顔に急接近だ!

KANEMARU YOSHINOBU × MARUFUJI NAOMICHI

丸藤には大声援が送られ、それに応えるかのように好ファイトを見せた。

他の選手より早く試合ができるのはいい機会だと思います（丸藤）

全日本プロレス在籍時から、第一試合で華麗な試合運びを見せ、観客の喝采を浴びていた両者。他団体のジュニア選手に比べてもヒケを取らない素晴らしい選手なのだが、いままでは脚光を浴びるチャンスが少なかった感は否めない。だが、『ノア』に参加することによって、一気にその潜在能力が開花しそうな雰囲気をたたえている。今回はAAAの試合前に語ってくれた意気込みとその試合レポート、そして『ノア』旗揚げに向けての展望を語ってもらった。

まず、二人が参戦したAAAについて、軽く説明しなければなるまい。AAAとは、EMLLと人気を二分するメキシコ最大のメジャー団体で、WWFをお手本に極端なキャラ作りとストーリー展開でショーアップされた空間を創り出すことに成功した新興団体だ。

今回、年間最大のイベント『トリプレマニア』を日本で行うということで、日本の各団体にも協力を要請して開催された。新日本プロレスからは、獣神サンダー・ライガー、闘龍門からはCIMA、堀口元気、みちのくプロレスからはザ・グレート・サスケ、グラン浜田、タイガーマスク、バトラーツからは田中稔といったJr.ヘビー級のトップどころが大集結したプチ・オールスター戦状態となったのだった。

『ノア』が旗揚げするまでの準備期間であったわけだが、金丸と丸藤はこのチャンスを逃すなとばかりに参戦を志願して、晴れて参戦となったのだった。

外部のリングとはいえ、そうそうこんな大舞台もない。参戦直前に意気込みを聞いてみたところ、元気な答えが返ってきた。

金丸「とにかく早く試合したいですね」

丸藤「他のノアの選手より早く試合ができるっていうのは、自分がアピールできる場所でもあるし、いい機会だなと思います」

そう、まだノアの旗揚げには時間がある。他の選手よりも一足先に他団体に乗り込むわけだ。緊張しないはずがない。ただ、この2人は以前にもみちのくプロレス大会に出場したことがあったのだ。

99年の4月27日、大田区体育館大会において他団体のリングは経験済みだ。その時の経験は生きているのだろうか？

金丸「あのときはヘタなことできねえっていうのはありましたよ」

丸藤「プレッシャーもあったけど……控室とか作らなくていいから楽だった（笑）。あっ、別に雑用がイヤだってわけじゃないですよ！」

頻繁に他団体に出場しているわけではないので、そのプレッシャーたるや想像を絶するものがあるのだろう。丸藤は、他団体参戦のプレッシャーは必要以上に感じていないようだ。じつに肝っ玉デカい！

金丸「スタイルは、やっぱり違いますけど、楽しみですよ」

丸藤は3人×4チームが入り乱れて闘う変則的なイリミネーションマッチに出場するだけあって、初顔合わせの選手ばかり。チームを結成する田中稔（バトラーツ）、堀口元気（闘龍門）とも初顔合わせなら、対戦相手も超個性的なメキシカンばかり。チャーリー・マンソン（マリリン・マンソンをモロにパクッた変態キャラ）。

丸藤「あの気持ち悪いヤツですか！ 顔白くて髪長くて。あれ、気が狂ってるんじゃないかと思うんですけど（笑）。いくら作れって言われても、あそこまでは作れないですよ」

丸藤にとっては不安よりも、未知の対戦相手に対する好奇心の方が強いのかもしれない。

たとえ不慣れな場であろうとも大きな注目が集まる舞台に立つと、否が応でも他団体のジュニアの選手と比べられることになるわけだが、彼らにとって「ここは誰にも負けてねえぞ」という部分はどこだろうか？

丸藤「基本的な受け身とかは絶対負けてないと思いますよ。ただこのままいっちゃう

ルードとしての試合を満喫した感じを受けた。金丸の伸びやかな姿はじつに気持ちよさそうだった。

いままでと同じと思われることが一番よくない（金丸）

と、経験っちゅうものが、他の人より劣るかもしれない」

やはり全日本仕込みの激しい「受け」の部分には絶対の自信を持っている。全日時代にはヘビー級を相手にも闘ってきた二人だ。丸藤の言葉は非常に力強かった。

その「経験っちゅうもの」は、努力だけでは手に入れられない難しいものだ。『ノア』に参加したことにより、金丸と丸藤はそのチャンスを得たわけだ。

試合の前日には、AAA勢、闘龍門のCIMA、堀口元気らとともに来日記念記者会見に出席。記念撮影の際には、ここぞとばかりに個性的なファイティング・ポーズでカメラに収まるメキシカンの横では、金丸と丸藤はどうしてもおとなしく写ってしまう。

そして迎えた試合当日。前夜の感じたおとなしさは、試合が始まってしまえば一気に吹き飛んでしまった。

入場するなり丸藤には大声援が飛んだ。観客の期待も全日本時代と比べて大きくなっている。様々な選手が入れ替わり立ち替わりリングに入ってきて、次々と闘っていくスピーディーな展開だ。ルチャ独特の間の取り方に苦心しながらも丸藤は、メキシカンの攻撃をしっかり受けきってみせた。パートナーの堀口は闘龍門出身だけあって、そのへんの呼吸はばっちりだったが、Uスタイルを崩さなかった田中稔よりも、闘いの中に溶け込んでいた。さらにチャンスを見逃さず、アレブリへ相手にラ・ケブラーダを見事に決めた。そして三沢とそっくりのフォームのダイビング・ボディープレスでイステリアをピン・フォール！その存在感は、観客に確実に届いていた。

その次の試合に金丸は登場。キックボクサーとタッグを組んで、タイガーマスク&ヘビー・メタルと対戦した。入場時から憎々しいポーズで観客を煽る金丸のタチ振る舞いは完全にルード。表情もイキイキしていた。

キックボクサーとタイガーマスクのキック＋ルチャな異次元ミックスドマッチに目を奪われたが、ムーンサルトやブランチャなどルチャの動きを華麗に披露しながら、金的蹴りなどヒール殺法も随所に見せた。表情にも小憎らしさがにじみ出ていい感じ。

金丸も丸藤も、やはり「受け」という基本がキッチリ出来ているからこそ、メキシカンとの闘いも噛み合ったし、なおかつ自分を出すことも出来たのだろう。全日本という空間で育ってきた彼らは、どこに行っても通用するだけのものを身につけていたのだった。

こうして、彼らの看板を背負った闘いは幕を閉じた。若手に対しては厳しい発言を繰り返してきた秋山も観戦に来ていたが、彼らのファイトには満足げだった。金丸&丸藤のこの日の活躍に、他の選手にも火がついたはず。

秋山は、ノアの若手勢に旗揚げまでの準備期間でコスチュームからファイト内容まで、従来のイメージを変えるよう奨励している。「コスチュームぐらい変えないようじゃ、やる気がないのと一緒だ」とも語っている。

丸藤「まあ、気持ちさえ入ってれば。僕ですか？　でも僕は変えようかなって思ってます。変わってないかもしれないけど（笑）」

金丸「いままでと同じままなんだな、と思われることがいちばん良くないと思いますから。コスチュームとかスタイルとかはやっぱり大事ですよね」

と語り、コスチューム以前に意識改革はしっかり完了済みのようだ。まあ、どういう形にせよ、新たなスタートを切るにあたって「変わってないじゃん」と観客に思われないために、選手は頭をひねっているのだろう。旗揚げ戦に期待だ。

特に秋山が強く勧めているのがアマレス特訓だ。「若手は自衛隊で習ってみるのもいいんじゃないか」と語り、来るべき対抗

戦に備えるべくアマレス特訓を提案した。練習生の杉浦は、自衛隊でアマレスをやってきた男で、グレコローマンの全日本チャンピオンである。道場がない時期、杉浦は自衛隊の体育学校でトレーニングを積んでいたので、そこに若手も参加したらどうだ、と提案したわけだ。アマレスで国体に出場した経験もある丸藤は自衛隊の厳しさを身に染みて知っている。

丸藤「自衛隊は厳しいですからねえ。今入ってきてる新弟子（杉浦）は、高校生のときから知ってるんですよ。国体の合宿っていうのは高校生と大学生と自衛隊が一緒に集まるんですけど、自分が高校生のときに、あの人は自衛隊でバリバリやってたんですよ。こ〜わかったですよお。だからスパーリングはやんなかったですけどね。やりたくなかったから逃げちゃいましたよ（笑）。だって顔、恐いですもん」

金丸「ホント、怖いよな！」

いつのまにか顔の話になっていたが、そんな新戦力もノアの選手層をグッと厚いものにしている。

金丸と丸藤は、自分たちをどのように成長させようとしているのだろうか？

丸藤「チャンスがあれば海外に行ってみたいですね。いい経験になると思うんですよ。先輩から昔の話を聞くと、海外遠征というか、海外に放り出された話とか聞きますよ。『つらかったんだぞ』みたいな」。

金丸「トリプレA以外でも、いい話があればドンドン外に出てみたいと思いますね」

AAAの試合後には二人の口から「メキシコに行ってみたいですね」という発言が飛び出した。やはり、いままでは「外に出てみたくても出られない」状況だったのかも知れない。ジャイアント馬場さんも、「海外のプロレスに学ぶものはない」と語り海外修行制度を廃止してしまったが、選手にしてみたら息が詰まってしまうのかもしれない。実際、4月に行われた『Jカップ』にも、選手個人としては出たかったのではないだろうか？

金丸「いろんな団体の選手が一同に集まるわけですからね、興味ありましたよね」

丸藤「正直、他のジュニアは盛り上がってるのにウチらは……みたいなものはちょっとありましたからね。やっぱりジュニアはドンドンそういうことやってもいいんじゃないかとは思います」

金丸、丸藤のアンテナはしっかりとマット界全体に向けられている。

丸藤「インディーの選手でも、こっちが知らないことやってたら、見てもいいと思うんですよ。小さい団体でも頑張ってる人は頑張ってると思うし」。

金丸「変にプライド持たないで、吸収できるものは吸収します」。

この謙虚な姿勢こそがAAAで強烈なインパクトを残した最大の要因ではないだろうか？　まずは見ること、そして吸収すること。その上で、自分たちが何をすべきかしっかり考えているのだ。どーですか、この貪欲な姿勢！

特に丸藤はいろいろと考えているようだ。

丸藤「ええ、秘密特訓してますよ」

おおっ！　それはスクープだ！

丸藤「いま、車の免許を取りに行ってます。ハハハ」

ズコッ！

丸藤「それも、どうかな？って思うんですけどね（笑）」

一方、金丸は何かの特訓はしていないのだろうか？

金丸「まあ見てのお楽しみですよ」

これまた、じつに頼もしい！　しかもルードっぽい発言が身についてるぞ！

金丸「いやッ、見てってくださいって感じです（笑）」

最後はギャグでかわされてしまったが、これは「とにかく試合を見てくれ」というアピールだろう。AAA参戦で光りまくった二人が、外での他団体での貴重な体験をどのように『ノア』に還元してくれるのだろうか？　旗揚げ前の助走期間に、これだけ伸び伸びとしたファイトを見せつけられては、期待するなというのも無理な話である。

この活躍が認められたのか、金丸は井上雅央とともに、FMWのディファ有明&後楽園ホールの両大会にも出場が決定した（締切の都合上、結果は次号で掲載）。『ノア』の看板を背負っての闘いが、彼らを成長させていくことだろう。

他のジュニアは盛り上がっているのにウチらは……っていう思いはありましたから！（丸藤）

Profile

かねまる・よしのぶ（左）■昭和51年9月23日、山梨県甲府市出身。元高校球児で甲子園出場経験もある。平成8年7月6日、愛知・江南市民体育会館vs浅子覚&志賀賢太郎（パートナーは井上雅央）でデビュー。全日在籍時にも、みちのくにも出場経験あり。今後は秋山準のパートナーとして活躍か？

まるふじ・なおみち（右）■昭和54年9月26日、埼玉県北葛飾郡出身。高校時代はアマレスで活躍、国体にも出場している。平成10年8月28日、愛知・岡崎市体育館vs金丸義信戦でデビュー。全日在籍時はアンタッチャブルの一員として、三沢光晴の付き人として忙しい毎日を送る。色紙の言葉は徳永英明ネタ。

PRO-WRESTLING NOAH

It's time once again for everybody to come aboard NOAH's ARK!!

旗揚げ直前、所属全選手に意気込みを色紙にブチまけてもらいました!!

『ノア』の羅針盤

遂に、ホントに、いよいよ、『ノア』勢が『紙プロ』解禁だーッ！　『ノア』には全日直系の面白い人材がバッチリ揃ってしまっているのだ。ついに全日時代のような神秘のベールを脱ぎ捨て、一般に浸透していこうという『ノア』の姿勢は素晴らしいものだ。というわけで、純プロレスになじみの薄い本誌読者のために旗揚げ直前お楽しみ企画「『ノア』の乗り方」と題して、全選手の紹介と意気込みをお伝えします！

坂井ノブ=構成
text by Nobu Sakai
森“モーリー”鷹博=撮影
photographs by Takahiro Mori

田上明

”忍“の一文字に”残業“のフレーズ。田上らしさは旗揚げ前から全開!!

取締役となった田上選手は、新団体への意気込みを「ニンのひと文字だなぁ～」と語ってくれた。

たしかに、『ノア』はキツい状況でスタートしたことには間違いない。一部報道にあったような「大型中古車販売会社『ガリバー』がスポンサーについた」という事実はまったくない。合宿所もないので、『東スポ』で募集していた。いち早く道場はオープンしたものの、問題は山積だ。そんな心境をズバリ表現してもらったのがこの色紙。ここに手形でもついてれば完璧だ。

プロモーターとの兼ね合いで出場した全日本の４大会は、旗揚げまでの助走というよりは「全日本での残業をやりにきた」(by田上) という感じらしい。残業というフレーズが、田上選手らしさ全開で最高だ！　「変わるのは旗揚げまで取っておきますよ」という言葉に期待！

田上　明■【生年月日】昭和36年5月8日　【出身地】埼玉県秩父市　【デビュー戦】昭和63年1月2日、東京・後楽園ホール、vsバディランデル＆ポール・ハリス (パートナー、ジャイアント馬場)　【身長】192センチ　【体重】120キロ

小橋健太

旗揚げ戦にヒザの回復は間に合うのか!?

ヒザの手術も成功し、7月10日の記者会見でもしっかり歩いて順調な回復を見せている小橋選手。会見後にご挨拶し、この企画のサインと写真撮影をお願いしたときのことだった。

「やだ！」真顔な小橋選手の口から、そんな言葉が返ってきた。「うわ～、小橋さんは『紙プロ』に怒ってるのかな」マジでビビッた。勝手にショックを受けた僕がすごすごと引き返そうとしたとき、小橋選手から声がかかった。「冗談だよ！　なんで帰っちゃうんだよ (笑)。スネちゃったの？」満面の笑顔である。やられた……小橋選手が、見知らぬ記者のやる気を試してみたイタズラだったのか。『紙プロ』が嫌われてるのかと思いました。どういうマスコミにはダメなんだろうか？「自分は、『裏切られたな』と思ったら、もうダメですね。僕も精一杯のことはしますんで、書く人も精一杯ガンバって欲しい」小橋選手が見せる一瞬の怖さ、は新団体で爆発するか!?

小橋　健太■【生年月日】昭和42年3月27日　【出身地】京都府福知山市　【デビュー戦】昭和63年2月26日、滋賀・栗東町民体育館、vs大熊元司　【身長】186センチ　【体重】120キロ

忍
田上明

一生懸命
NOAH

※三沢選手、秋山選手、金丸選手、丸藤選手は本文中に掲載してあります。

高山善廣

大森隆男

ノーフィアー!!

こちらの顔を見るなり、「『紙プロ』は取材OKになったんですか？」と話かけてきてくれたのが高山選手だ。いまや、ノーフィアー結成以来勢いに乗り、遂に5月26日にはシングルでも三冠王座に初挑戦した高山選手。今号のインタビューでは秋山選手の評価も高い、『ノア』の台風の目となりそうな選手だ。ゴツゴツした闘いで、四天王が繰り広げてきた「2.9プロレス」とは対極の無骨な闘い方で新たな風穴を開けたのは記憶に新しいところ。『ノア』では、タッグ戦線のみならず、シングル戦線でも新たな展開が生まれてきそうだ。こちらとしても聞きたいことはたくさんある。

「何でも聞いてくださいよ、『ノア』のことも、ボクが以前いたところのことも（笑）。昔のことをノーフィアー調でしゃべったら大変なことになりますよ」。それは是非読みたい！　色紙にも「『紙プロ』はオレにまかせろ！」と早くも乗っ取り作戦開始だ。

高山　義廣■【生年月日】昭和41年9月19日　【出身地】東京都墨田区　【デビュー戦】平成4年6月28日、福岡・博多スターレーン、vs金原弘光　【身長】196センチ　【体重】125キロ

ノーフィアー!!　というわけで、いまをときめく大森隆男選手である。嬉しいことに『紙プロ』の存在は知っているそうだ。是非とも出ていただきたい選手の１人である。やはり退団会見のときに語っていたように目標はあくまで「打倒！　四天王！　打倒！　五強！」だという。

パートナーの高山善廣選手とは、今後も暴れ回ることになりそうだ。今回、三沢社長が推し進める「どんどんメディアにも打って出る」という部分に関しては、これから『ノア』の急先鋒となっていきそうだ。

ちなみに気になるコスチュームは？「そんなのお楽しみだよ！　オレが何も考えてないとでも思ってるのか？　言ったら楽しみが減るだろ！　言ったら大したことないってなるだろ！　ノーフィアー！」

大森　隆男■【生年月日】昭和44年10月16日　【出身地】東京都世田谷区　【デビュー戦】平成4年10月16日、福島・会津体育館、vs浅子覚　【身長】190センチ　【体重】117キロ

本田多聞

本田多聞選手に色紙をお願いしたら、こんなメッセージが……。

これってひょっとしたら、これって骨法・堀辺正史創始師範の座右の銘じゃなかったっけ？　いったい多聞選手と堀辺師範はどういった関係なんだ!

「いや、これは山本五十六の言葉です」

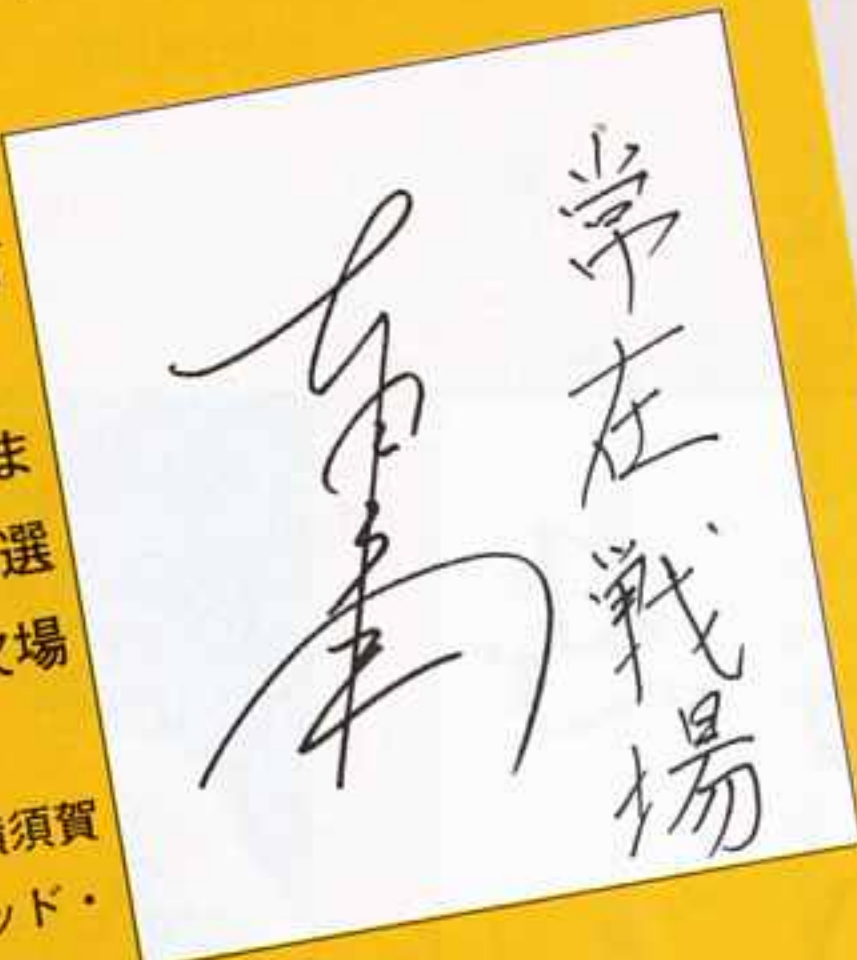
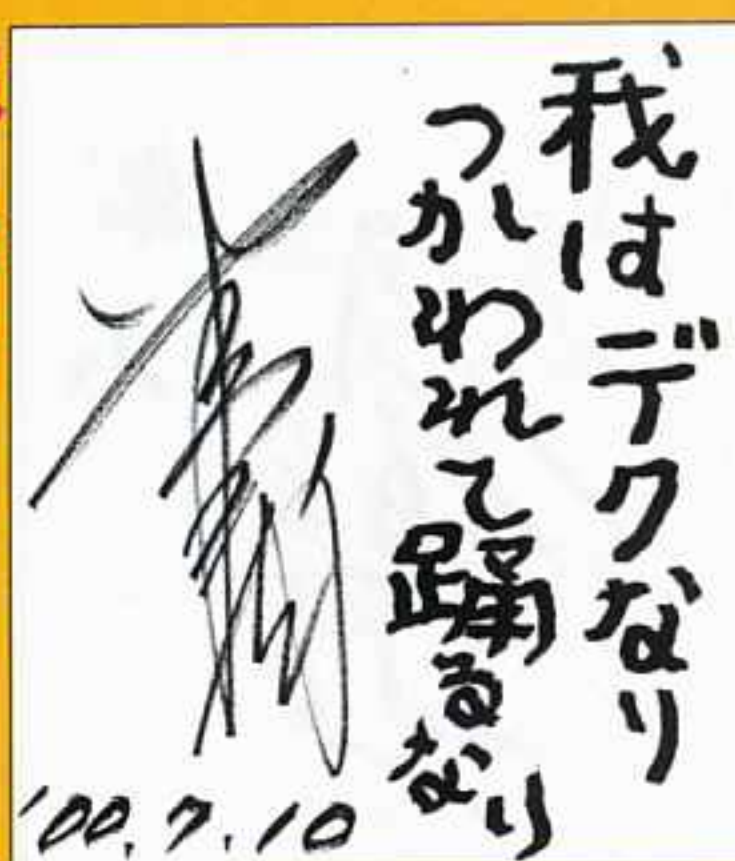
……山本五十六!!　う〜ん、さすがは自衛隊出身！　方舟『ノア』を戦艦大和にしてはならないが、本田選手が『ノア』にかける悲壮な覚悟は伝わってくる。そういえば、退団会見の時も本田選手は「らしい」コメントを残していた。

「私たちの選んだこの道が、良かった悪かったということは抜きにして、素晴らしいものを作ったね、よかったねと言われるように精一杯努力していきます！」

ヒザのコンディションは決して良くなかった。ケガをだましながら、アジアタッグ王者として防衛を重ねてきた本田選手だが、この期間を機に手術に踏み切った。しばらくは欠場となるが、気持ちはいつも常在戦場！である。

本田　多聞■【生年月日】昭和38年8月15日　【出身地】神奈川県横須賀市　【デビュー戦】平成5年10月8日、大分県立荷揚町体育館、vsテッド・デビアス　【身長】188センチ　【体重】127キロ

常在戦場

It's time once again for everybody to come aboard NOAH's ARK!!

It's time once again for everybody to come aboard NOAH's ARK!!

池田大輔

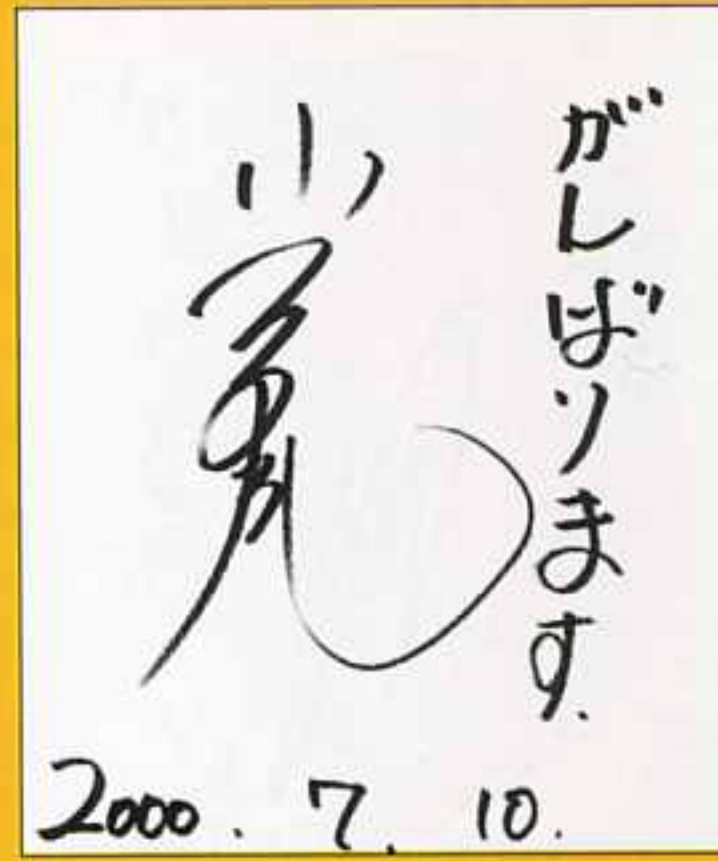
前号でインタビューを掲載した大ちゃん、すっかり『ノア』の中にに溶け込んでいたのが印象的だった。もう何度も巡業に帯同しているので当然か。

ちなみに、この意気込み（なのか？）はどういう意味だろうか？

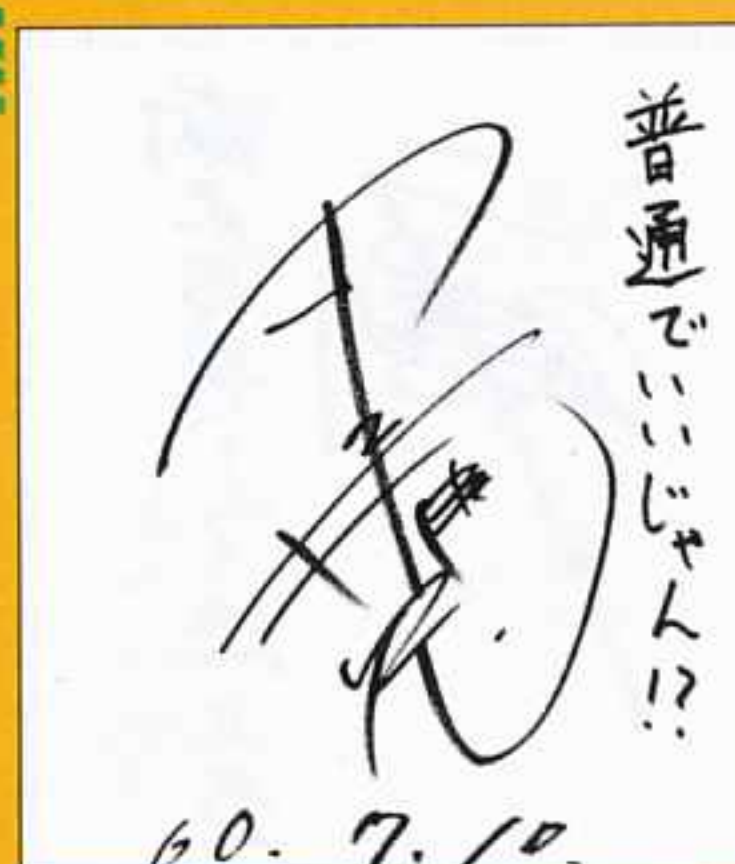
「これは長渕剛さんのドラマに出てきたんだけど、これが額に入って部屋に飾ってあったんだよ。字体もそっくりだから」とのこと。大ちゃんらしい細かいネタで勝負してきた。撮影のときには、しきりに顔を気にしていた。どうしたんだろう？

「昨日、酒を飲み過ぎちゃって、顔むくんでない？」さすがフーテン戦士！

池田　大輔■【生年月日】昭和43年2月13日　【出身地】熊本県牛深市　【デビュー戦】平成5年12月5日、東京・後楽園ホール、vsドン荒川　【身長】185センチ　【体重】98キロ

小川良成

アンタッチャブルでは三沢の参謀役として、タッグマッチなどで大活躍してきた小川選手だが、新団体ではどうなるのだろうか？　個人的には、『J-CUP』的な試合に出たときに、いちばん光りそうなのは小川選手だと思う。怖さも、巧さも兼ね備えたベテランとして、いい味を出してくれそうな感じだ。

本誌が監修した単行本『トンパチ』では折原昌夫選手（メビウス）が小川選手の壮絶な「かわいがり」秘話を告白しているが……。

小川　良成■【生年月日】昭和41年11月2日　【出身地】茨城県取手市　【デビュー戦】昭和60年9月3日、岩手・宮古駅前サンプラザ駐車場特設リング、vs百田光雄　【身長】180センチ　【体重】90キロ

井上雅央

今回の分裂によって保持していたアジタッグ王座を手放してしまったのは残念な限りだが、井上雅央選手にはいきなりチャンスが到来した。

ＦＭＷの冬木弘道が、三沢社長に選手貸し出しを直訴したことによって、雅央選手＆金丸選手のＦＭＷのディファ有明大会（7・23）と後楽園ホール大会（7・28）への派遣が決定。7・23は、日本武道館で古巣・全日本プロレスに天龍源一郎が復帰する日でもある。かち合ってしまった以上は、闘いを通じて何かを訴えることもあるはず。締切の都合上、詳報は次号で掲載！

井上　雅央■【生年月日】昭和45年3月6日　【出身地】山梨県中巨摩郡　【デビュー戦】平成3年4月4日、岡山・岡山武道館、vsR・スリンガー　【身長】180センチ　【体重】108キロ

垣原賢人

キングダム時代に本誌に登場していただいたこともある垣原選手。最近、山の近くに引っ越したという垣原選手は、朝からクワガタを取りに行ったりしてリフレッシュしたそうだ。

現在は首の負傷をして、全日本の最後の頃は欠場していたが、現在は回復を待ち、体調を整えている真っ最中だ。

同じＵインターから移ってきた高山選手は三冠挑戦するなど、大きなチャンスをものにしていった現在、カッキーも負けてはいられない。秋山選手の提唱する「バチバチと火花の散るようなプロレス」には、打撃を得意とするカッキーの存在は欠かせない。

垣原　賢人■【生年月日】昭和47年4月29日　【出身地】愛媛県新居浜市　【デビュー戦】平成2年8月13日、神奈川・横浜アリーナ、vs冨宅祐輔　【身長】180センチ　【体重】93キロ

永源 遥

『ノア』の取締役営業部長となった永源選手。意気込みを聞いてみたところ、「チケットをたくさん売ります！」と見事なコメントを残してくれた。

ちょっと感動したのは、名刺をお渡ししたとき。「『紙のプロレス』？　ああっ、何か（ドン）荒川が出て昔のこといろいろ話してるんだって？　聞いてるよ！」と嬉しいコメント。

いまだに永源～荒川のホットラインは健在だということも判明！　メチャクチャ営業がうまそうな感じの元気いっぱいな両者の対談なども実現してみたいところだ。

ちなみに、この色紙のひとことコメントを求めたら「う～ん、がんばるぞ！って書いといてくれ！」とのこと。というわけで、右の下手な字は私のものなのであしからず。

永源　遥■【生年月日】昭和21年1月11日　【出身地】石川県鹿島郡　【デビュー戦】昭和41年10月12日、東京・蔵前国技館、vs木村政彦　【身長】178センチ　【体重】110キロ

百田光雄

この色紙をお願いしたとき、「何て書こうかね……船出。うん、いいね」と筆を滑らせた百田選手。

じつは百田選手のサインを初めて拝見したのだが、『力道山Jr.』の文字が入っているのだ。知ってた？　これはありがたみが違う。『ノア』こそがプロレスの宗家になったと再確認させていただいた次第である。

さて、格闘技と『ノア』勢がリンクする噂が取り沙汰されている。最もよく聞くウワサは秋山選手の『ＰＲＩＤＥ』に関するものだが、いきなり大穴が入った。なんと百田選手が全日本キックボクシング連盟の大石亨vs鈴木ミツルの特別レフェリーとして登場するのだ！　ＡＡＡ、ＦＭＷに続いて、全日本キックにリンクとは……。

怖ろしく振り幅の広い活動を見せるノアだが、こんな素敵な絡みはこれからも大歓迎だ！

百田　光雄■【生年月日】昭和23年9月21日　【出身地】東京都港区　【デビュー戦】昭和45年11月17日、長野・上田市民体育館、対新海弘勝　【身長】173センチ　【体重】100キロ

泉田 純

シャッターを切る度に素敵な笑顔を振りまいてくれる泉田選手。

僕は、本誌は『相撲多重アリバイ』ではスモー出身者に何人もインタビュー取材をしてきたが、泉田選手にも是非一度お願いしたいと思っていた。

「相撲の話ですか？　面白い話はいっぱいありますよ！」

是非、聞いてみたい、と思っていたら次から次へと、常識では考えられないような話がポンポン飛び出してくる。やはり相撲の世界は怖ろしいと思った次第だが、そんな中を生き抜いてきた泉田選手のタフさにも感心。

泉田　純■【生年月日】昭和40年10月28日　【出身地】宮城県栗原郡　【デビュー戦】平成4年5月25日、仙台・宮城県スポーツセンター、対渕正信＆大熊元司＆永源遥（パートナー、G馬場＆R木村）　【身長】185センチ　【体重】132キロ

ラッシャー木村

吼える闘将・ラッシャー木村選手には直接お会いすることは出来なかったのだが、しっかりとメッセージを頂いてきた。「耐えろ、そして燃えろ！」と、往年のイカ天審査員時代を彷彿とさせるナイスなメッセージを寄せていただいた。

『コロッセオ』では永源選手とともにほのぼのとした誕生日パーティーが放送されていたが、まだまだ現役を続けていただきたい。

一部では、インターネット上では「ラッシャー、リングアナ転向説」なども流れていたが、「重要文化財」（by秋山選手）のような試合をこれからも見せてくれることを期待しよう。

ラッシャー木村■【生年月日】昭和16年6月13日　【出身地】北海道中川郡　【デビュー戦】昭和40年4月2日、東京・リキスポーツパレス、vs高崎山猿吉　【身長】185センチ　【体重】125キロ

It's time once again for everybody to come aboard NOAH's ARK!!

菊地 毅

凄い意気込みを書いていただいた菊地選手。今回は直接ではなく、意気込みをＦＡＸで送って頂いた形となったが、この誌面からでもアブノーマル路線をばく進してくれそうな意気込みをビンビンに感じる。コスチュームの変わりっぷりがいちばん気になる選手だ！

菊池　毅■【生年月日】昭和39年11月21日　【出身地】宮城県仙台市　【デビュー戦】昭和63年2月26日、滋賀・栗東町民体育館、vs百田光雄【身長】177センチ　【体重】97キロ

浅子 覚

浅子選手は現在、欠場中。新団体でもノーフィーアーの一員としての参加となるのか!?　すべては復帰戦のタイミングにかかってくると思うが、遅れを取り戻すキーワードは闘志！！病気もケガも気力次第だ！！

浅子　覚■【生年月日】昭和46年3月2日　【出身地】埼玉県大宮市　【デビュー戦】平成3年4月4日　岡山武道館、vs百田光雄＆井上雅夫（パートナーはＲ・スリンガー）【身長】173センチ　【体重】92キロ

志賀賢太郎

全日本在籍時、事実上最後の試合となった6・9武道館大会で秋山選手の猛攻の前に敗れ、バーニングを自ら出ていった志賀選手。秋山の鬼のような攻めも、今号の巻頭インタビューを読んでいただければわかると思うが、すべては愛情の裏返し。『ノア』のキーパーソンとなるのは間違いない！！

志賀　賢太郎■【生年月日】昭和49年12月6日　【出身地】茨城県勝田市　【デビュー戦】平成6年2月21日、千葉・館山市民センター、vs浅子覚　【身長】187センチ　【体重】85キロ

橋 誠

背中に「突撃」の文字を背負った橋選手。秋山選手には、ムチャクチャに可愛がられている。この撮影のときもカメラの裏に立った秋山選手や永源選手から「笑えよ！」「厳しい顔しろよ！」と様々なツッコミが入っていた。みんなのマスコット的存在？

橋　誠■【生年月日】昭和52年5月10日　【出身地】広島県福山市　【デビュー戦】平成10年3月25日、神奈川・小田原アリーナ、vs金丸義信　【身長】180センチ　【体重】95キロ

森嶋 猛

恵まれた身体の森嶋選手は、黒タイツといい、右肘のパットといいジャンボ二世のような雰囲気。これからの将来有望な23歳だ。同期の丸藤選手とのシングルマッチでは感情丸出しでぶつかっていくなど、秘めた闘争心がムキになるととてつもない破壊力を発揮する。

森嶋　猛■【生年月日】昭和53年10月15日　【出身地】東京都江戸川区　【デビュー戦】平成10年3月22日、東京・後楽園ホール、vs志賀賢太郎　【身長】190センチ　【体重】113キロ

力皇 猛

「『紙プロ』読みましたよ！　前号で僕の年齢が31歳になってましたね！」と、ツッコミを入れてくれた力皇選手（27歳）。うわ～、スンマセン。ちなみに、「夢に進む」と「無心」を掛け合わせた「夢進（ムシン）」という自らの座右の銘を披露してくれた。カッコいい！

力皇　猛■【生年月日】昭和47年12月2日　【出身地】奈良県桜井市　【デビュー戦】平成12年5月28日、東京・後楽園ホール、vs秋山準＆森嶋猛（パートナーは井上雅央）【身長】191センチ　【体重】130キロ

小林健太

デビューしたばかりで団体は分裂してしまったが、最年少の小林健太選手は三沢社長に付いていくこととなった。身体のバネと柔軟性はかなりのものを持っているだけに、ジュニア戦線を風林火山で突っ走る！

小林　健太■【生年月日】昭和56年3月12日　【出身地】埼玉県草加市　【デビュー戦】平成12年5月24日、青森県総合運動公園体育館、vs丸藤正道　【身長】173センチ　【体重】75キロ

全員分のサイン色紙をプレゼント!!

今回ご紹介した全選手のサイン色紙をまとめて1名様にドドーンとプレゼントします！旗揚げ前の超レア企画！　応募方法はP.160参照。あと、かならず「『ノア』に期待すること」を簡単に書き添えて下さい。応募待ってますよ！

ディファ有明

ほぼ完全攻略ガイド

7・1全日本プロレス大会からオープンした"21世紀のプロレス&格闘技の殿堂"ディファ有明。今風なその中身を、JPWA代表そしてディファ有明の高橋英樹さんにナビゲートしてもらいました。ディファ有明を攻略せよ！

ナビゲーター
高橋英樹
（ディファ有明＆JPWA代表）

ヒャッホ————ッ！ 日本初！　プロレス＆格闘技専用会場誕生ーッ！

できたてホヤホヤということもあるが、場内は今風で、実に綺麗。席種で統一されたカラフルなイス、使い放題の花道、写真には写っていないが大きなスクリーンもある。ここから、数多くの名勝負が生まれることだろう。

会場内にはスモークを吐き出す幻想獣が2匹（？）いる　気をつけろ！

オーロラビジョンも常時、営業中！

©松本 崇

21世紀のプロレス&格闘技の殿堂へカモン！

日テレの『コロッセオ』などで、すでにお馴染みのディファ有明【アクセス】★臨海副都心線『国際展示場』駅下車、徒歩7分。★ゆりかもめ『有明』駅下車、徒歩10分。★車での来場も可。　TEL 03-5500-3731

©松本 崇

もっとディファ有明を知るために… その7

——高橋さん、ディファ有明は、日本初のプロレス＆格闘技の専用会場になるんですよね？

高橋　そうですね。他にも、パーティーとかフリーマーケット等のイベントも入ってきてます。あとは、平日の昼間は公開番組や、「学校へ行こう」とか、テレビの収録もやってますね（笑）。でも、まずはプロレス・格闘技ありきで、空いてる日をそういったものに回すんです。ディファ有明に来れば日本で初のプロレス・格闘技専用会場があると、それにプラスして日本で２番目のプロレス団体の事務所があると。それからプロレス界で名の通ったプロモーターの事務所もこれから入ってくる予定ですので、今後、プロレスビジネスの一大交差点になるかも知れないですね。スペースはまだまだいっぱいありますから。あとは昔、W★INGさんがやったような年越しプロレスとか、オールナイトプロレスというのも時間的に全然問題ないんです。いまのところ交通が不便だとも言われてますけど（苦笑）、「ゆりかもめ」が豊洲まで伸びるらしいんですよ。そうするとディファの脇に駅が出来て、駅から徒歩１分になるみたいなんですよ。まあ、貸し会場だけじゃなくて、サイン会とか、プロモーション、お宝自慢とか、プロレスのあらゆる面白さが満載のスポットにしたいですね。後楽園ホールさんの優先順位はボクシングですけど、ウチはまずはプロレスです（キッパリ）。

——プロレスに一番優しい会場なんですね（笑）。

高橋　そうです（笑）。まあ日本武道館でやるアーティストでも、最初はエッグマンから始まって、日本青年館になって、5000人規模の会場でやって、それから日本武道館じゃないですか。そういったステップの会場になればいいなと思いますね。後楽園ホールさんに追いつけ追い越せでやっていきたいです。

見てみ、このロビー！ ロビーに首ったけ!!

会場入り口付近には一台の車が！ なんと、この車は来場者アンケートに答えてくれた人へのプレゼントだという みんな、アンケートに答えまくれ！

右手に見えますのが、会場ロビーにあるフードショップです トレイン仕様の今風の造りになっております お気軽にご利用下さい

女性読者のみなさま、左手に見えますのが女子トイレでございます 21個も設置されてますので休憩中の混雑も一気に解消で～す

どこかと比べているわけではないが、ディファの会場ロビーは実に広々としている。そして綺麗だ。喫煙コーナーも数カ所あり、休憩時間中のタバコの煙もだいぶ緩和される。

©松本 崇

もっとディファ有明を知るために… その2

──ＪＰＷＡの高橋代表が、どういった経緯で、ディファ有明に入ることになったんですか？

高橋 やっぱりですね、自分が長年やってきたプロレスというビジネスを、どう展開していこうかと考えた場合に、ここのコンセプトが自分に一番合ってたんですよ。それで「自分を活かせるんじゃないか」ということで入ったんです。ＪＰＷＡは、なくなったわけではないんですけど、お金がないんですよ（苦笑）。後楽園以下の会場で大会を開くという手はあったんですけど、そうすると、マスコミの人もファンの人も、ドインディーの末端に落ちていくって思う部分があるじゃないですか。それを選手に味合わせたくなかったんで。でもこれからスポンサーがつく、いいカードがあるって言うんだったら、大いに援助していくつもりです。ただ、高橋秀樹の興行としては今は厳しいですね。縮小してやるという部分では、木村（浩一郎）君を中心に考えてると思うんで、今まで通り、他団体で提供試合をしたり、格闘系の大会に出たりとかしていくと思います。まあでも、やっぱりＪＰＷＡっていう団体名が悪かったですね（苦笑）。ＪＰＷＡは浸透しづらいし、わかりやすく「セメントス」とか、そういう名前にした方が良かったですね（苦笑）。あとは、招待券を出して、客席を埋めてあげれば良かったかなと。そうすれば違った展開になってたのかなと思うんですけど、一回出しちゃうと、次からは買わないですからね。そういった嘘もしたくなかったし、全てガチンコにしたかったんですよ。と言っても、僕は総合格闘技のガチンコ指向ではなくて、今のプロレス界はダメだろ、違うだろっていう部分を表現したかったんですよ。そういう意味では、タイガー・ジェット・シンとかも、「俺もガチンコでやらせろ！」って言ってくれてたんで、呼ぼうと思ってたんですけどね。

──体制を立て直したら、それこそディファ有明で興行をやることも可能なわけですよね。

高橋 それは大いにありますよ。ディファ有明の社員割引か何か利用させてもらって（笑）。

松澤チョロ=取材
text by Choro Matsuzawa

ディファから生まれるノア伝説を体感せよ！

©松本 崇

かなり広いスペースのプロレスリング・ノア事務所 ちなみに右奥が社長室である 取材日には、永源、垣原、池田、丸藤選手の姿も

ここは、ノア事務所の横にあるスペース 今後、この場所で記者会見や、サイン会、プロレスグッズ祭りなどが行われることだろう

これが、ディファ有明の2階席からすぐ近く、ノアの道場である。この床には地獄の特訓により数センチもの汗だまりができるだろう。

©松本 崇

ファンは進入禁止！ シークレットルーム!?

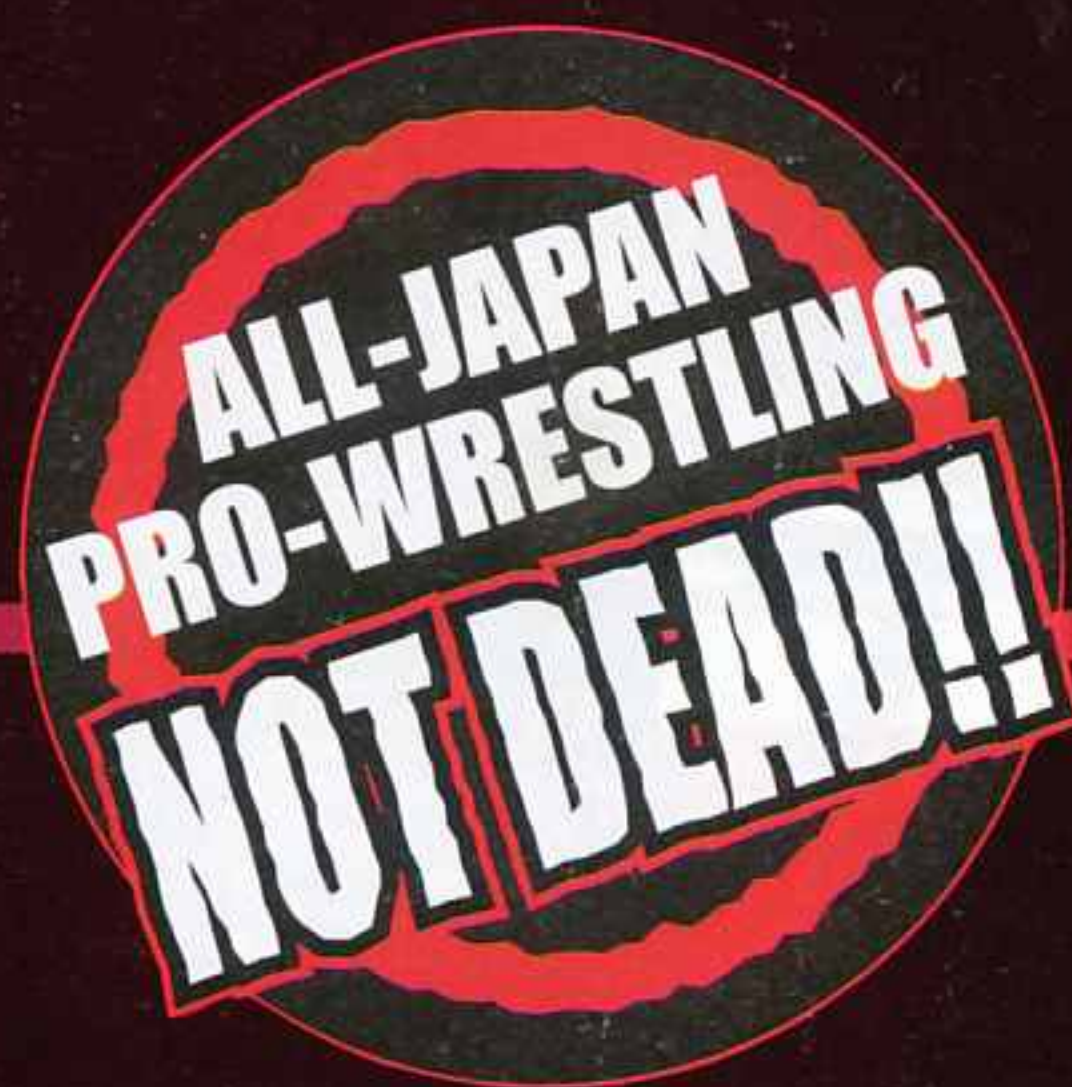
ここから先は、ファンは進入禁止！ しかし、入っちゃダメよと言われると、覗いてみたくなるのが人間なのさ。ごらんあそばせ！

秘密の穴

ディファ有明には、このような空きスペースがたくさんあるぞ！ ちなみにこのスペースはノア道場の近くだ！ 秘密特訓でもする？

本邦初公開！ これが選手控室＆シャワールームです 今後、ここで乱闘が繰り広げられたりするのだろう ヨカタは入っちゃダメ！

DIFFER有明 プレスセンター

さすがプロレス＆格闘技専用会場なだけあって、あらかじめマスコミの席は決まってました 紙プロ の席はありませんでした（泣）

三沢選手大誤算。
大量離脱によってあの全日本を
ドラスティックに生まれ変わらせてしまうとは。
なんという皮肉、なんというパラドックス！

ALL-JAPAN PRO-WRESTLING NOT DEAD!!

”ターザン山本“がSWS事件以来の超大炎上!!

かくしてミセス・ババ誕生!!

文／ターザン山本 改めビートたかし

全日本プロレスは誰が何をしようとしても、まったくびくともしない団体だった。それぐらい頑固というか、融通の利かない存在。内部改革なんて始めからできないし、それを考えること自体が、間違っているのだ。いうなれば改革を拒否することが、全日本のアイデンティティでもあった。

これは馬場さんが作り上げてきた方針であり、スタイルであり、掟であり、ルールでもある。ルールを守らなかったら、全日本が全日本でなくなってしまう。

そのため全日本に入ることは、レスラー、フロントを問わず、この馬場イズムに絶対服従することが条件。そういう契約、または暗黙の了解が成立してしまうのだ。

今回、三沢選手は、やりたいことをやろうとしても、それをオーナーである元子さん（馬場夫人）に認められなかった。だから離脱して新団体を作るしかなかったと、そういう説明をしてきた。

まったく三沢選手の言い分は、当たっている。全日本に所属する限り、お金（ギャラ）や待遇に対する不平や不満が例えあったとしても、それを我慢して耐えるのが、契約条件の中にきっちりと含まれているのだ。

それが全日本という団体である。選手はこのきわめて不安定な精神的バランスの中で、どうやって自分を納得させるのか、それが最大のテーマとなってくるのだ。

まさに呪縛と服従の論理。この一見するとネガティブな世界を、美しく輝かせてきたところが、全日本という団体の不思議な魅力にもなっていた。

これを称して、私は全日本にしかない”負の求心力“と呼びたい。自らの中に負の状況を背負い込み、それをバネ（求心力）にして、あの四天王のプロレス……かの有名なカウント2・9の全日本スタイルが誕生していったのだ。

三沢選手たちが確立した四天王プロレス。あれは”負の求心力“の結晶でもある。馬場さんはマスコミやファンなど、表向きには全日本プロレスを『明るく、楽しく、激しいプロレス』と謳い上げてきた。

しかし実際、選手は辛抱と忍耐によって自己を抑圧する必要があったので、その心は暗くて辛く、それを解放する唯一の手段が、実をいうとリングで激しい試合をすることしかなかったというのが真相である。

美徳と残酷の二重奏というべきか……。紙一重でそれが美徳にもなり、残酷にもなるという世界を創造した馬場さんは、巨大なアーチストである。

アーチストが地中に”負の求心力“という根をいっぱいに広げているのは、すでに周知の事実である。

こうして全日本の中で”負の求心力“をひと通り味わい尽くすと、今度は一度でいいから外に飛び出して、違う空気を吸ってみたくなるものである。その強い欲求と願望にかられていったのが、天龍選手だった。

それがちょうど10年前のSWS騒動である。この天龍選手の全日本からの逃走、自由への逃走は馬場さんの生き方を否定する形となったが、それもまた2人にとって紙一重の人間関係でもあった。

最も近くにいて裏切った者（天龍選手）が、裏を返せば最もその人（G・馬場）をリスペクトし愛していたという見方は、決してはずれてはいないからだ。

その証拠に新日本のリングに上がった時の天龍選手は、存在のすべてが全日本そのもの。そのたたずまいは、全日本的な”負の求心力“そのままという雰囲気だった。

天龍選手もまたアーチストだったのだ。全日本を出て行った時は、たしかに形としては全日本を裏切ったことになったが、SWS崩壊以後の天龍選手は、心は100パーセント全日本の選手だった。

今回、天龍選手と元子さんが劇的な和解をはたしたのは、いま、周りを見渡してみたとき、忍耐と辛抱という全日本の”負の求心力“の素晴らしさを体現しているのは、天龍選手しかいなかったからだ。

誤解してもらうと困るのは、忍耐とか辛抱とかを、みんなプラスに転化さすことを”負の求心力“と言い、それができる人のことを、私はアーチストと言っているのだ。

それにしても天龍選手が全日本に帰ってくる必然性と理由が、状況的にちゃんと今できていたというのは、興味深い話である。

天龍選手にとって、同じ全日本からの離脱でも、ここで三沢一派との質的な違いを見せ

天龍と元子夫人のまさかの和解。かつてのいきさつを知っている人ほど、衝撃的であり、感慨深い出来事だった。

るには、全日本に戻るしかなかった。

今回の分裂は元子さんと三沢選手、三沢選手と川田選手、全日本とノアの対立といった具合にいろいろな対立概念があるが、私はそこにもうひとつだけ、天龍選手対三沢一派というものを、ぜひ加えておきたい。

つまりこれは、G・馬場対三沢一派の対立と言うことができる。馬場さんの側についているのが、元子さん、川田選手、そして天龍選手という構造である。

天龍選手のこの10年間を振り返ってみると「愛は裏切りの始まり、裏切りは愛の始まり」といえるだろう。要するに愛だけでもなく、裏切りだけでもない。そこが天龍選手と三沢一派の違いではないだろうか？

三沢一派の中には誰ひとりとして今後、全日本に戻ってくる人はいないはずだ。これだけはハッキリと言い切ることができる。

それは彼らには天龍選手のように、戻ってくることが色気になるというような説得力に欠けているからだ。

ノアは全日本という看板と三冠という看板を使えないのだから、本当にまったく新しいことをやるしかない。

ただ変革というのは、敗戦後の焼け野原のように、何もかも破壊されて何もなくなったときの方が、手っ取り早いのだ。その意味で三沢一派がごっそり抜けた全日本は、原野そのものと化した。

この原野を切り開いていくボスは、もはや馬場さんではなく、ミセス・ババである。元子さんはこれより先、私は"ミセス・ババ"と呼びたい。

元子さんとミセス・ババでは言葉の響きからして意味が違う。日本プロレス界初の女性オーナーが、ここに誕生したのだ。

三沢一派は全日本を出ていくことで、自分たちが新しいことをやろうとしたのに、逆に全日本にどんどん新しい展開と可能性を与えてしまった。なんという皮肉か？

それより気になるのは、抑圧するものがなくなった時、自らのアイデンティティに逆にイレギュラーが起きることを知るべきだろう。

今後、三沢一派は自由という名の妙な罠と呪縛に陥らないことを、私は願うしかない。人間はある部分で、抑圧されていた方が本当は楽だからだ。

ドキュメント"7.2" "ミセス・ババ"の挨拶 完全再録

「王者の魂」のテーマに乗って川田、渕、モスマン、そして元子夫人が入場（大・元子コール）。そして元子夫人がマイクをとる（どよめき）「今回は私の努力が足りなかったことで、こんな事態を招いてしまい、本当に申し訳ありませんでした。改めて全日本プロレスを応援していただいているファンの皆さんに、心からごめんなさいを言わせていただきます。本当にごめんなさい。今回のことで全日本プロレスに幕を下ろすことも真剣に考えましたけど（「やめるなー！」）、残ってくれた川田選手、渕選手、モスマン選手、そして外人選手の人達に励まされ、もう一度、全日本プロレスを再スタートさせる勇気を与えられました。この状態の中では、私たちはそう大きな目標を掲げることは出来ません。でも、馬場さんが残してくれた全日本プロレスが、何とか30周年を迎えられるよう、精いっぱい頑張ってまいりますので、これからも全日本プロレスを皆さんの力で支えて下さい。よろしくお願い致します。今回の再スタートにあたり、私自身どうしても、皆さんの前で川田選手と握手していただきたい方に来ていただいております。紹介させていただきます。天龍源一郎選手です」（巨大などよめき。そして大「天龍」コール）

ナベちゃん(鍋野ゆき江)以来の衝撃!?
GAEAのボンバーガール
“メイメイ”が紙プロ初見参!!

里村明衣子

小学3年生の時、
ある本を読んで私は
変わったんです。
その本は…野口英世!

この女、天然につき

時代はトンパチを求めている! 男女問わず、最近のプロレス界は普通の人ばかりになってる気がしないか? やっぱりプロレスラーたるもの、凡人では伺いしれない感性の持ち主であって欲しいものである。
そこで登場するのが、女子プロ界の最終兵器、“メイメイ”こと里村明衣子である。そのハトが豆鉄砲を喰らったような表情(by吉田豪)から繰り出される、ナチュラル・ボーン・トンパチな発想は、間違いなく僕らの愛する“プロレスラー”そのものなのだ。

聞き手/堀江ガンツ
interview by Gunts Horie
撮影/黒田史夫
photographs by Fumio Kuroda

【さとむら・めいこ】S54年11月17日、新潟県西浦原郡出身。156cm、72kg。中学3年生にしてGAEA・JAPANに入門。翌H7年4月15日、GAEA旗揚げ戦の後楽園ホールで加藤園子戦で秒殺勝利でデビュー。それ以後、“驚異の新人”と呼ばれたGAEA生え抜き組のトップを走り続ける、今では、あのアジャ・コングがライバル視するほどの存在。その反面、独特のすっとんきょうな発想の持ち主で、長与千種をして「トンパチ」と呼ばせる、まさに女・破壊王。その天然のキャラクターは女子プロ界の宝である。

小学3年生の時、ある本を読んで私は変わったんです。その本は…野口英世！

—なんか里村選手って周りの人から「変わってる」とか「一家に一台」とか、そういう表現をされがちですよね（笑）。

里村　そうなんですよぉ～。でも、私は全然変じゃないですよ！

—じゃあ、周りが言ってるだけで、「どこが変なの？」って感じですか？

里村　う～ん、（傍らにいる中島広報に）どこか変ですか？

中島広報　目を離すと踊ってたりとか。

里村　ああ、そっかそっか。

—「そっか」って、踊ってるんですか（笑）。

中島広報　道場のはじっこでひとりで歌ったり踊ったりしてるんですよ（笑）。

里村　なんかテレビで見たりすると影響されて、自分でもやりたくなっちゃうんですよ。だからこの間は突然ドラムがやりたくなって、凄く高いのに通販でドラムセットを買って、道場におっきいドラムセットが届いちゃったんです。

—道場にドラムセット！（笑）。

里村　でも、いざ届いたら、自分がドラムの叩き方を知らないことに気づいて、一度も使うことなく売ってしまったんです（笑）。

—無駄遣いこの上ないですね（笑）。通販で衝動買いとかはよくするんですか？

里村　よくしちゃいますね。

中島広報　この間は「歌が上手くなる教材」とか買ってましたよ（笑）。

—アハハハハ！　なぜだ（笑）。

里村　それはホントに「しー」です（笑）。あとキックボードが欲しくなったんですよ。

—流行ってますよね。

里村　どこで買うかわからなかったんですけど、偶然近くの自転車屋さんで見つけたんで、すぐ買ったんです。でもちょっと大きくて、足で蹴るレバーが付いたやつだったんですよ。

—それってローラースルーゴーゴーじゃあ……（笑）。

里村　らしいですね。なんかみんなに昔のだって言われました（笑）。でも自分、全然変わってないですよぉ。

—いや、十分変わってます（笑）。

里村　（突然）あっ、そうだ！　昨日パソコン買ったんですよ！　何カ月もお金貯めてようやく買えたんです。

—パソコンは何に使うんですか？

里村　インターネットって、マニアックな人たちが集まってるじゃないですか。そういうのが見たいんです。

—どんなマニアックなジャンルが見たいんですか？

里村　人間の異常な部分ですね。

—人間の異常な部分！（笑）。

里村　ホモの世界とか、近親相姦ってどうなってるんだろうと思いませんか？（笑）。

—アハハハ！　ホモと近親相姦に興味津々ですか！（笑）。

里村　これは「しー」ですよ（笑）。あと興味があるのは超能力とUFO！　これは絶対存在するから（キッパリ）。

—絶対存在する！（笑）。そういう不思議系はたまらないほうなんですか？

里村　たまたないたまらない（笑）。すごくオカルト系が好きなんですよ～。

—この道場周辺は辺り一面畑で、いかにもUFOが飛んで来そうですよね（笑）。

里村　そうなんですよ！　絶対に飛んでるハズなんです！　でも見たことないんです……（残念そうに）。（ポツリと）いつか宇宙に行ってみたいなぁ。

—幽霊方面はどうですか？

里村　もう、道場はお化け屋敷ですよ！

—GAEA道場はお化け屋敷！（笑）。

里村　自分は霊感ないから見たことないんですけど、黒いスーツのお兄さんがいるんです。

—それはきっとリングアナの衣装を着た中島広報ですよ（笑）。

里村　でも女の人もいるんです。植松（寿絵）が長い髪の女の人を見たんですよ。（シュガー）佐藤かと思ったけど違うんです。霊は普通に出てきますよ。

—でも、里村選手は見たことないんですよね。一度は見てみたいですか？

里村　（肩をすぼめて）でも、いざとなったら怖いからやだぁ～。

—とんだオカルト好きだ（笑）。

里村　だから本とかインターネットを見て探求したいんです。でも、自分はマニアックな人間に見られたくないんで、普通を装ってるんですよ。

—完全には装えてない気がします（笑）。

里村　それにインターネットを見るのに、そもそも家に電話線を引いてないんですよ。だからこれから電話の加入権のためにまたお金貯めます（笑）。

—気の長い話ですね（笑）。でも、なんで部屋に電話引かないんですか？

里村　GAEAは電話禁止なんですよ。携帯も、自分の部屋に無断で電話を引くのも禁止なんです。

—それは厳しいですねぇ。他にも結構規則はあるんですか？

Meiko Satomura

この、天然につき

里村　デビューして5年経ったいまでも、門限8時なんですよ。そして休日以外は外出禁止です。だから練習がおわったら真っ直ぐ寮に帰って、寝て、また次の日道場に来て練習。この繰り返しなんです。

—そんなにストイックな生活なんですか。

里村　しかも3年目まで、帰ったら必ず先輩のお宅に「只今戻りました」っていう電話をしなくちゃいけなかったんですよ。

—そこまで徹底してるんですか！

里村　長与選手は凄く時間に厳しい人なんですよ。でも、こういう規則のお陰で「プロなんだからきちんとしなくちゃいけない」っていう意識が自分にも芽生えたんですよ。

—でも、他の団体とは規則から何から違うわけじゃないですか。そういうのは羨ましいとは思いませんか？

里村　いやぁ、厳しさの質が違うだけで、どこでも厳しいと思いますよ。プロレス界だけじゃなくて、世間一般の人もそうですよ。それは銭湯に行っていつも感じるんです。

—は？　なんで銭湯で他人のつらさを感じてるんですか（笑）。

里村　うふふ。銭湯に行くと、女の年輪がみんな体に出てるんですよぉ（笑）。

—女の年輪が出てますか！（笑）。

里村　出てますよぉ。「この人は赤ちゃん産んだから、体が崩れちゃってるし、大変なんだろうな」とか（笑）。

—他人の人生に思いを巡らせて（笑）。

里村　そうそう（笑）。だから銭湯に行って、「大変なのは自分だけじゃないんだ」とか思うんですよ（笑）。

—でも、そうは言っても、プロレスの道場っていうのはやっぱり、〝娑婆〟じゃない世界ですよね。

里村　シャバ？

—一般世間のことです。

里村　ああ、そうですそうです。よく「ここは学校じゃないの！」って（杉山）社長に怒られました（笑）。「あなたのこれまでの考えは、ここでは通用しません」って言われて、言葉使いから何から全部直されたんですよ。だから道場は外とは全然違うんですよね。

—そんな世界に15歳で飛び込んだ訳ですけど、最初は戸惑いませんでしたか？

里村　自分なんかはどうしても「中学生」

見てみ、この景色！　練習以外の俗世間の誘惑が皆無のこの環境で、GAEAの選手たちは育まれているのだ。

道場の近所のチビッコとも仲がいいメイメイ。GAEA道場周辺ののどかさは、古き良き日本というか、もはや「となりのトトロ」の世界である。

っていう目で見られて、すごく子供扱いされていた部分があったんですよ。それが悔しくて、立場を逆転させるために「一番しっかりしてやろう」と思いましたね。

——まったく気後れはなかった、と。

里村　そうですね。やっぱり中学時代から「飛び抜けた存在でいたい」っていう思いが凄く強かったんですよ。それで先生とかにもすごく反発してたし、いっつも「この中学を変えてやろう」と思ってましたね（笑）。

——まさに「毎日が革命アニバーサリー」ですね（笑）。ちなみにどんな革命を起こしたんですか？

里村　まずはスカートの丈ですね。

——アハハハ！　定番だ（笑）。

（この後、メイメイのプチ革命史が延々と語られるが省略）

里村　やっぱり周りはなんでも諦めたり妥協したりする人が多かったんです。自分はそれが嫌なんですよ。小学校の時に、ある本を読んでからそう思うようになったんです。

——「私を変えたこの一冊」ですか（笑）。一体何を読んだんですか？

里村　……野口英世！

——野口英世!?　まさか伝記ですか！（笑）。

里村　そうなんですよ（笑）。小学3年生の時に野口英世の伝記を読んだら、野口英世はまさにすごいわけですよ！

——まさにすごいわけですか！（笑）。

里村　それを読んだらすごく感動して、その時からですね、自分が「もうできない」っていう困難にあっても、「いや、野口英世はこんなもんじゃない！」って（笑）。

——アハハハ！　野口英世の困難に比べたら自分なんて（笑）。

里村　それを支えに生活してましたね。

——でも、小学生時代にそんな耐え難い困難なんてあったんですか？（笑）。

里村　3歳から柔道のクラブに通ってたんですよ。その道場がまたメチャクチャ厳しかったんです。先生が竹刀持ってましたから（笑）。

——まるで鬼軍曹・山本小鉄ですね（笑）。

里村　そうなんですよ。でも、中学に入ったら幽霊部員だらけの男子柔道部があるだけで、女子柔道部がなかったんですよ。それで先生に「男子の柔道部で練習させてください」って頼んで、ひとりで男子柔道部に行ったんです。そうしたらとりあえず全員倒しちゃったんですよ（笑）。

——アハハハ！　とりあえず道場破り成功ですか（笑）。

里村　それから自分で女子部員を3人集めて、先生に「女子柔道部をつくっていいですか？」って認めさせたんです。

——かっこいいなぁ（笑）。

里村　それで男子柔道部を倒したあと、すぐに「群・市大会」っていうのに出たら、優勝しちゃったんですよ（笑）。

——今度はとりあえず優勝（笑）。

里村　あと自分は中学の柔道部だけじゃなくて、中2からそれにプラス、プロレスラーになるために新日本プロレスの練習のメニューを1年間に渡ってやりつづけたんですよ。

——女子中学生が新日道場の練習メニューをこなしてましたか（笑）。でも、どうやって調べたんですか？

里村　ミスター高橋の「プロレスラーになる方法」っていう本を買ったんです。

——アハハハ！　ピーターの本！（笑）。里村選手最高です！

里村　そのころからですね、自分の支えが野口英世から長州力に変わってしまったのは（笑）。

——アハハハ！　なぜだ（笑）。

里村　別に長州さんのファンじゃなかったんですけど、柔道の練習で「もうダメだ」って思ったときに「いや、長州力はこんなもんで倒れてられないんだ！」って思うんですよ。

——それにしても心の支えが長州力で、愛読書がピーターの本なんて、そんな女子中学生いませんよ！（笑）。

里村　でも、ミスター高橋さんの本を読んでたおかげで、GAEAのオーディションは難なくクリアしたんですよ（笑）。

——そりゃそうですよね（笑）。

里村　でも、受けてはみたものの、新日しか見てなかったんで、女子プロレスがどんなものか全く知らなかったんです（笑）。

——全く知らないで入門しちゃったんですか（笑）。

里村　中学の時は女子プロがあることも知らなかったんですよ。だから女子柔道部を作った時みたいに、「世界初の女子プロレスラー」になって、自分で女子プロレス団体を作るつもりだったんですよ（笑）。

——アハハハ！　女・力道山になるつもりだった、と（笑）。

里村　だから初めて女子プロレスの存在を知ったときは、ショックでしたね（笑）。

——「自分以外の女がプロレスやってる！」って（笑）。

里村　しかも見てみたら試合も素晴らしくて「男よりスゴイ！」とか思って、それで女子プロレスラーになる決心が固まったんです。

——でも、プロレス界のことをまったく知らないで入ったら、最初はすごく苦労したんじゃないですか？

里村　プロレス界というより、社会を全然知らなかったんですよ。だから社長とか長与選手にも敬語が使えなくて、よくKAORU選手に教えてもらってました（笑）。

——社長にまでタメ口ですか（笑）。

里村　しかも挨拶すらできなかったんですよ。それで長与選手に「とりあえず声を出す練習をしろ」って言われて、道場の窓からいっつも「ワーッ!!」って叫んでましたね（笑）。

——挨拶の練習までしてたんですね（笑）。では、新人時代に一番辛かったのこと何ですか？

里村　やっぱりトレーニングですね。基礎トレーニングもオーディションの何倍もやらされたし、練習で初めてドロップキック受けたときは、「これを毎回毎回受けるなんて絶対できない」って思いましたから。

——新人時代というのは、やっぱり練習一辺倒の生活だったんですか？

里村　練習が終わったら、食事作って洗濯とかして、当時はそのまま道場が合宿所なんで寝て終わりです。ホント死ぬかと思い

Meiko Satomura

96年11月　GAEA初の海外遠征であるシンガポール。里村は加藤とのコンビでシュガー、永島組を破り新設AAAWタッグ初代王者に。"赤"の里村と"青"の加藤。新時代の"クラッシュ"といわれるふたりは現在タッグを組んでいない。いつの日か、本家・クラッシュとの対戦はあるのか。

99年4月4日横浜文化体育館　この2ヶ月前に『プレミアム・リーグ戦』に優勝し、長与から"後継者"というお墨付きをもらった里村。その勢いのまま、同期の加藤園子と組んでアジャ、尾崎組に挑戦。里村がアジャをデスバレー・ボムでフォールする大金星。

里村明衣子はホントに強いんです！
MAY²'S BOUT puti REVIEW

中2の時に、ミスター高橋の「プロレスラーになる方法」っていう本を買ったんですよ（笑）

ましたけど、その先にデビューっていう目標があったのと、あるときから「プロだ」っていう意識が芽生えてきて、それからはその生活について抵抗はなくなりましたね。

——ああ、こういう生活はプロとして当然だって感じですか？

里村　そうですね。多分そうとう洗脳されてたんだと思います。

——洗脳（笑）。

里村　あ、洗脳じゃ言葉悪いか（笑）。

——休日とかはあったんですか？

里村　日曜日は休日なんですよ。それで新人の頃は疲れてるのに、原宿、渋谷、それから道場から近い横浜とかに、休みのたびに必ず行ってたんですよ。でもあるときから、なんかもう生活に疲れてきちゃって。

——アハハハ！　10代で日々の生活に疲れましたか（笑）。

里村　は〜い。もう、人混みの中に出たくなくなって、落ちつくところを選ぶようになったんですよ。だから最近は穴場の温泉見つけて、ひとりで温泉入ってきたりしてますね（笑）。

——すっかり若さがなくなった、と（笑）。

里村　そうなんですよぉ。だから自分は音楽とかも演歌を聴くんですよ。

——演歌！　どんなの聴くんですか？

里村　私は川中美幸さんがすごく好きなんですよ〜。それでずっと前からコンサートに行きたかったんですけど、この前、川中さんが9年ぶりに舞台の座長をつとめるときがあって、ホントにたまたま行けたんですよ！

——新宿のコマ劇場とかですか？

里村　そう、コマ劇場です！　もう、コマの中で嬉しくてボロボロ涙流したんですよ〜（笑）。チョー感動しましたぁ〜。川中さんはすごいですよ、マジで！

——そういうところには、だれか他の選手たちと行ったりするんですか？

里村　いや、いっつもひとりですよ。練習でもスパーリング以外は、ひとりで竹数とかにはいって練習したりするんです（笑）。

——アハハハ。簡易山篭り（笑）。

里村　いまは中学時代の友達とも全然連絡取ってないし、ホントひとりですね。

Meiko Satomura ///

この[face]、天然につき

——他の選手は休みになったら外の友達とかと連絡取って遊んだりするんじゃないですか？

里村　はい、みんなしてますけど、自分はホントだめですね。なんか友達とかと会うと流されるような感じがするんですよ。

——ストイックですねぇ。でも、そういう娑婆っ気を捨ててるところが、里村選手の強さの秘密なんでしょうね。

里村　シャバってなんでしたっけ？（笑）。

——ズコッ！　一般社会というかそういうものです！

里村　ああ〜、そうでした（笑）。

——では、最後の質問なんですけど、里村選手のこれからの抱負、目標にする選手とかはいますか？

里村　目標は……ビル・ロビンソン！

——ビル・ロビンソン!?　あの、高円寺の人間風車ですか！（笑）。

里村　ビデオでビル・ロビンソンと猪木さんの試合を見たら、すっごい面白くて衝撃的だったんですよ。

——あの試合は確かに面白いですけど、なかなかあの良さがわかる若い女の子っていないと思いますよ（笑）。

里村　でも、あれを見たときに、ホントこのふたりはレスラーとして、私の尊敬すべき存在だと思ったんですよ。というのも、大技なんて、いまみたいに何発も何発も出さないのに、見ているうちにテンション上がってくるんですよ。

——闘いに引き込まれて行くんですね。

里村　そうそうそう。もう、単なるレスラーとレスラーの闘いじゃないですよ、あれは！

——単なるプロレスじゃない！（笑）。

里村　ちょっと度肝を抜かれましたね。

——ロビンソンとは会ったことあるんですか？

里村　ハイ、スネークピットで何度か教えていただいたんですけど、すっっっごい厳しかったですよ。初めて会ったときに「ちょっと練習を見せてみろ」って言われたんで、やったんですけど、そんときの目つきが、もう現役のときの同じなんですよ！　やっぱりこの人は凄いなと思いましたね。

——猪木さんと闘った頃の目つきだった、と。

里村　ロビンソンさんが35歳のときですよ。昭和52年の12月13日ですから。

——日にちまで覚えてるんですか！（笑）

里村　何度も見たら覚えちゃいました（笑）。だから時代の違いもありますけど、試合の組み立て方とか、60分飽きさせないテンションの持っていき方っていうのは、絶対学んでいきたいですね。

——いや〜、やっぱり里村選手はいい意味で変わってますよ（笑）。これからもこのまま突っ走って下さい！

里村　全然、変じゃないのになぁ（笑）。

【5月29日　GAEA道場横キャベツ畑で収録】

99年9月15日　4・4横浜でタッグながらアジャからフォールを奪った里村は、遂にアジャの持つAAAWシングル王座に挑戦。30キロの体重差もものともせず、真っ向勝負を挑み、デスバレーなどで「あわや」というシーンはつくりだしたが、最後は裏拳で力つきる。今年の5・14有明のリマッチにも敗れたが、「次こそは」の期待が持てる試合だった。

厚 ラスト 邪道 ラン！

新日本プロレスに、真っ正面から叩きつけてやる！

嘆願書「私は七月三十日決戦に於て電流爆破での試合を断固要望する。これは私の生きかたで貴殿が邪道をこの世界から抹消させる唯一の手段だと思います。私の主義主張が貴殿に伝わることを信じております」

長「心配しなくていいぞ、30日にやってやるから」
大「そんなことは心配しとらんですよ！」
長「もう後には引けないぞ、もう」
大「そんなこと心配しとらんですよ！　そんなこと心配しとらんですよ！」
長「入るなこら、入るな、入るな、入るなよ、またぐなよコラッ！　またぐな、またぐなよ、**またぐな、またぐなよ、絶対に！**」
大「オイ、長州さんよぉ」
長「オマエ、まだ『さん』付けで俺を呼んでくれるんか！」
大「おう」
長「あぁ？」
大「**礼儀ってあるからのぉ。**俺は礼儀を守りたいんじゃ！　アンタ、これ読んで返事してくれや！」
長「またぐなよコラ！　またぐな、またぐなよ、**ケロ**もらっとけ！　またぐなよ、またぐな、**シロー**またがせるな！」

再会は必然に！
前哨戦は大仁田厚のひとり勝ち！

オイ、コラッ！　でてけ、コラッ！　ねえんだ、コラッ！　練習の邪魔だコラッ!!　オメエの来るところじゃ邪魔だ、練習の!!

運命の決戦7・30横浜アリーナ大会を1カ月後に控えた6月30日、新日本の海老名大会に姿を見せた大仁田は、練習中の長州に対し電流爆破実現の嘆願書を叩きつけた。先日の『ワールドプロレスリング』でも、この模様は放送されたが、あまりにも面白かったので、誌上で完全再録（かなり無理あり）。お前は長州力対大仁田厚が見たいかーッ！

越「帰れオラ！　帰れオラ！　何しに来たんだコラ！」
大「何しに？」
越「**帰れオラ！**」
大「何しに？　**渡しに来たん邪！**」

7.30
横浜アリーナ

VS 長州力戦 5秒前! 大仁田

オイ、オイ、俺は、真のインディー魂を、

メジャー? 屁ぇ食らえ! 俺らは、体制に刃向かうしかないん邪!!

「ダテに全日本から29年もやっとらんぞ!」。レスラー大仁田の意地、キラリ!

試合直前、両者の生アピールが映像で流れると場内はお祭り騒ぎ。試合前から観客はすっかりできあがっていた。

試合が始まるとすぐ大仁田はTシャツを脱ぎ捨て、11年振りに上半身裸でのファイトとなった。しかも有刺鉄線を無視したグラウンド中心のレスリングを披露し、デスマッチの大仁田しか知らないクラブキッズからはどよめきが起こった。

「同じ技は2度は通じんぞ!」。ここからトーキング・バトルが始まった!

15分過ぎ、グラウンド中心の裏大仁田スタイルから、机を持ち出し表大仁田スタイルに切り替えた大仁田。最後は執念のサンダーファイヤーパワーボムで3カウント奪取。

試合後、大仁田は、もはや体の一部となっている邪道皮ジャンを三四郎に渡し、男樹継承かと思われたが、三四郎は「自分の力で奪い取るまで受け取れません! 次は必ず、邪道ジャンパーを奪い取ります!」と大仁田に突き返した。はたして次はあるのか?

男樹、大炎上!(ビックファイヤー)

結果的には破れたものの、三四郎は、会場を大仁田色に染まらせることなく、逆に、三四郎ワールドを構築させた。ここから、21世紀の新しいインディーを確立させろ!

邪道王・大仁田厚は、7・30横浜アリーナ、運命の長州力戦前、最後の一騎打ちの相手として、DDTの高木三四郎を指名した。
唐突に思える両者の対戦だが、インディーズに誇りを持つレスラー同士、互いに感じるものがあったからだ。インディーとは何ぞや?
この二人の闘いから立ち昇った21世紀のインディーの姿を受け止めろ! ファイヤー!!

【試合後リング上での大仁田劇場】

大仁田 オイ、オイ、オイ、この会場に、この会場に、真鍋が来てるぞ! (観客から大真鍋コールが起こる)

大仁田 オイ、真鍋ッ! オイッ、真鍋! オイッ、真鍋! 俺はお前に、会いたかったぞーーーーッ!

真鍋 ここでシングルマッチを闘った意味を教えて下さい。(観客からオーーーーッ! と大歓声)

大仁田 オイッ、俺らはな、高木も俺も、虫けらと言われようと何と言われようと、体制に刃向かうしかないんじゃ! そういう生き方を選んだんじゃ! それがインディーじゃい! こんな狭いキャパだろうと、俺達は闘うしかないんじゃあ! 大会場、屁ぇ食らえーーッ! よう聞け、俺らはインディー! インディーの意地を貫くんじゃあ! (観客から「長州は甘くねえぞッ!」と野次が飛ぶ) オイッ、甘くねえから上がるんじゃろが、バカタレがぁ! (観客からウォーーッ! と大歓声) お前らまだわからんのか! 媚びるのは簡単じゃ! 新日本に尻尾を巻くのは簡単じゃい! だけどよぉ、最後まで闘うのが目的じゃろが! お前らインディーのこんなとこまで来て、それもわからんのかい! オイ、いま言った奴よ、よぉ考えてみろ!

オイ、オイ、オイ、お前ら、長州戦前、最後(?)の"大仁田劇場(with真鍋)"を聞くん邪!

ある時は怒鳴られ、またある時は殴られ、1年半以上、リング外での話題を独占してきた大仁田と真鍋アナの絡み。人はそれを"大仁田劇場"と呼ぶ。いよいよ目前に迫った大仁田厚対長州力の世紀の一戦! 大仁田劇場もクライマックスに突入した!

【バックステージでの大仁田劇場】

大仁田 真鍋ッ! お前は自分の意志を信じ、自分で悩み苦しみ、俺から殴られて、ここ1年半何を考え、何を学んだ! オイ、俺だって悩み抜いた1年半! 長州が俺と闘うのか闘わんのか悩んだ! 何でこごまでされなあかんのやって、悩み続けてやめようと思った! 俺もお前と同じように悩み続けた!! それでも何でお前と俺はここにいる? ここで物申す!! インディーズとはなんぞや?

真鍋 はい。

大仁田 インディーズとは徒党を組まず1人の人間の意志を何処までも貫き、叩かれようと殴られようとぉ、自分の意志で動き、たとえ蔑まれようと、たとえ何をされようよ、それでもしがみついていく!(中略)オイッ、真鍋ーッ! 約束通り、買って来たぞーッ! 長州戦が決まったら、お前に買ってやるって言ってた背広じゃ! 安かけどなーッ! オイッ! これを着てーッ、俺と長州戦! 実況ッ、実況してくれーーーーッ!!

真鍋 わかりました。これを着て力一杯実況します! 僕にとっても闘いなんです。辻アナウンサーがしゃべる。僕もしゃべる。二つの放送席がある。TVを見ている人達は比べるんです。だから僕も負けられません! 精一杯実況します!!

大仁田 どんなことがあろうと、俺は7月30日、電流爆破の道具を持って、俺は堂々とーッ、参上する! オイッ!

真鍋 はい。

大仁田 長州に媚びるなよ、長州のためじゃねぇ! 新日本プロレスのためじゃねぇ! 藤波さんのためじゃねぇ! オイッ! 俺の大事なファンと、それから新日本のファンと、プロレスを愛する奴らのために……お前に頼みたい。真鍋!

真鍋 はい。

大仁田 結果がどうなろうと俺は逃げん! だからお前も逃げるな。真鍋ッ!

真鍋 力一杯実況します。大仁田さんの生き様を僕が実況します! 横浜アリーナを大仁田厚の色で染めて下さい! 長州力のインパクトを上回って下さい!

大仁田 ようしゃべれるようになったのぉ。1年半、よ〜く付いてきたッ!!

どーでもいいんだよ!
んなこたぁ

大真鍋コールの中、リングに上がった真鍋アナは「今日のファイト、ハッキリ言って驚きました。長州戦を意識したファイトだったんですか?」と大仁田に問いかけ、大仁田が何事か言おうとした瞬間、「んなこたぁどーだっていいんだよ!!」と三四郎節が炸裂! 一瞬にして場内は大三四郎コールに包まれた。頑張れ、真鍋アナ!

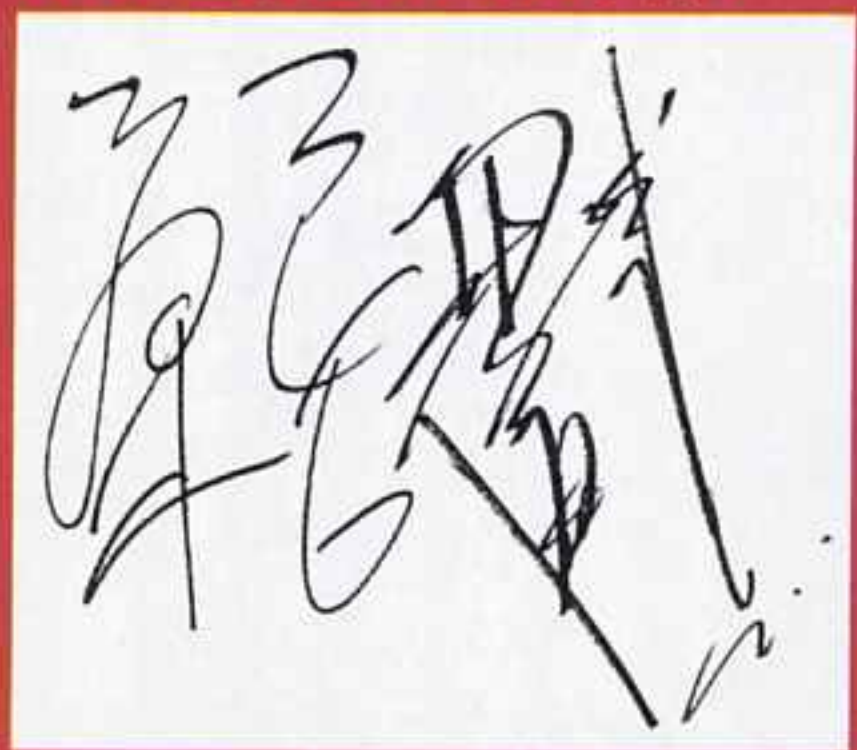
オイ、オイ、オイ、インディーは水なん邪!

「真鍋ッ、吹いたれ!」と、真鍋の口に水を含ませた大仁田だったが、真鍋はうまく水を吹くことができず。これも一代芸?

真鍋アナ、大仁田に嘆願! 僕も辻アナに負けられないんです!

「オイッ、真鍋ッ! 約束通り、買って来たぞーーーッ!」と、大仁田からプレゼントされた背広を受け取る真鍋アナ。大仁田対長州戦は、この背広を着た真鍋アナと辻アナのW実況となることが決定している。これに対して、辻アナはどんな邪の道具を用意してくるのか? 試合だけではなく、こちらも楽しみだ。ヒャッホーーー!

大仁田厚&高木三四郎

ダブルファイヤーネーム入りサイン色紙をプレゼント邪!

オイ、オイ、大仁田厚と高木三四郎のダブルネームサイン色紙を1名様にプレゼントするん邪! ファイヤー! 宛先はP160参照!

"大仁田劇場"(おまけ)

今回の大仁田劇場で、背広や水を運んだりと大忙しだったのが佐野直。ちなみに大仁田は、佐野のことを矢野と呼んでいた。オイ、オイ、早く名前を覚えてもらうよう頑張るん邪!

時節柄、なんの関係もありませんが……

キム・ドクプレ

こちらはキム・ドク似の松林"TVチョップ"貴氏（ドッグフード試食中）。

ガーン！ 原稿書いてたら、『Yahoo!オークション』で可愛かずみの写真集落としそびれました。ショック。13日の大仁田vs高木三四郎の会場では有刺鉄線が刺さりました。足が傷だらけになりました。あと、「ちょっと太ったかも」と思って体重計ったら6キロも増えてました。みなさんはこういうことがないように気をつけてください。ジャイ子はもう死にたいです。励ますと思ってハガキいっぱいください。ジャイジャイ。

なんでもかんでも闘魂グッズ記念

全部で30名様

闘魂セット

非売品藤田ポスターは、なんと直筆サイン入り！ こちらに闘魂or道扇子、闘魂コイン、ビデオ「藤田和之特集」、春一番Tシャツ、水道橋博士画・「春」、のうち、いくつかをセットでさしあげます。う〜ん、太っ腹。春一番Tシャツは IVYブックスで絶賛発売中3900円で〜す。お問い合わせは0568-31-0727、IVYブックスまで。

【猪木事務所、ヴァリス、IVYブックス提供】

サク、メディアに引っぱりだこ記念

各1名様

桜庭和志ニューTシャツ

みなさんお待ちかねの39Tシャツが登場で〜す。白はモバイル会員限定グッズ！ 時代の最先端だね。まさに今風？ iモードじゃない人は、携帯買い換えるか、ションボリしてくださ〜い。各3800円。商品のお問合せは高田道場03-5749-5030まで。白はL、水色はMです。

【高田道場提供】

5名様

スーパーレモン桜庭セット&非売品ポスター

大ニュース！ 桜庭選手が缶チューハイ"スーパーレモン"のイメージキャラクターになりました。今回は発売を記念して、"スーパーレモン6缶セット・桜庭スペシャルBOX"と、宣伝用のポスターをセットでプレゼント。協和発酵では、モニターも大募集！ こちらは10000名様に"スーパーレモン6缶セット・桜庭スペシャルBOX"をプレゼント！ 応募方法はハガキ、インターネット、iモードのいずれか。住所、氏名、年齢、職業、性別、あなたが普段もっともよく飲むチューハイの銘柄をひとつ書いて応募してね。モニターの応募はハガキ：〒121-8799東京都足立郵便局私書箱82号 「スーパーレモン10000人強力モニター」係
インターネット http://www.kyowa.co.jp/syurui/
iモード http://www.kyowa.co.jp/i/syurui/
締め切りは8月10日です

【協和発酵提供】

ニーハオ、コンテンダーズ出場記念

セットで1名様

コンテンダーズパンフ、非売品ステッカー、非売品パネル

超デカいパネルは、7・1コンテンダーズの会場に飾ってあったものを無理矢理頂いてきました。当然他では手に入りません！ ちなみに130cmX110cmぐらいです。パンフは選手の顔写真シール（ニーハオだけ名前シール）と決まり手シールつきのDIY仕様。貼りまくれ！

【チョロメ〜ン提供】

8.6タウンホールに集え!

全部で17名様

バンバンビガロ・キン肉マンシリーズ第二弾Tシャツ&8・6ビガロ興行チケット

ジャジャーン!　みなさんお待ちかねのキン肉マンTシャツシリーズ第二弾!　今回はカメハメ、デビルアウトローズ、ヘルミッションズ、ビューティー・ローデスの4種類。カメハメはS、あとはLで〜す。そしてそして、今回はTシャツだけじゃないのよ。8月6日に北沢タウンホールで開催されるビガロ興行「キャットファイトGP・2000」のチケットを5組10名様にプレゼント。この興行、ちょっと見逃せないよ。尋常じゃないメンツが集まるってウ・ワ・サ。ちょっと教えちゃうと、大日本プロレス、闘龍門、JJA、脱線3のMC　BOO、花くまゆうさく、ア〜ンド、チーム紙プロ。凄いでしょ?　でもキャットファイトな割には女子の名前が上がらないわ……ウッソォ!　もしかしてジャイ子出るのぉ?　ジャイ子のデビュー戦が見たい人は来たほうがいいよ。出るかわかんないけどな。Tシャツ、チケットのお申し込みは03-3460-1145か、HP・http://www.bambam88.com/まで。ビガロのHPで「キャットファイトGP」の詳しい情報が見れるよ。

【バンバンビガロ提供】

夏のおでかけはこれでキ・マ・リ!

1名様

サスケTシャツ

いや〜ん、誰のTシャツかと思えばサスケ社長じゃないッスか!　オシャレなんでわかりませんでした。

【みちのくプロレス提供】

3名様

キムラロックT

香川のインディーズブランド、エミタイからのプレゼント。こちらは3800円で通販もやってます。お問合せは0877-23-1079、HPはhttp://www.niji.or.jp/home/emitai/です。モチのロン、ネット通販もやってま〜す。

【エミタイ提供】

1名様

キングダムスタッフTシャツ

前号のUインターボロシャツに続き、謎の関係者提供の鬼レアグッズ。こちらはキングダムのスタッフTシャツということは、当然市販されてません。高田延彦のネーム入りでサイズが2XLということは、本人用?　ドキドキしちゃうね(スガシカオ調)。

【謎の関係者提供】

1名様

ユニオンプロレスTシャツ

7・29ユニオンプロレス興行のビンゴでガンツが当てました。サイズはデカイです。

【ガンツ提供】

2名様

Bomba Atomica　Tシャツ

デジタルマスクマンがイカしてるね。新作を大量に準備中とのことなので、首を長くして待て!　お問い合わせは03-3754-5951　Bomba Atomicaまで。

【Bomba Atomica提供】

ラメラメでGO!(意味不明)

セットで2名様

アレクグッズ

ダイエットブッチャーT(ピンクはS、ブルーはL)、アレクきんちゃく、アレクマウスパットの豪華三点セット。Tシャツのプリントは流行りのラメ!　コギャルになりたい女子、ギャル男になりたい男子もこれでバッチリ!　夏はキミのものダーッ!

【バトラーツ提供】

キッドもお気に入り♥

各1名様

ハードコア・チョコレートTシャツ

「『紙プロ』に掲載されることを一つの目標としています」という熱いお便りとを代表のMUNEさんからいただきました。目標達成ですね、おめでとうございます。度法度Tシャツも今度ください。ハードコア・チョコレートは、キッドやロリータ18号のマサヨちゃんもお気に入りだそうです。ホームページhttp://hardcore.hoops.ne.jp/で通販もやってるよ

【ハードコア・チョコレート提供】

ライバル誌登場?

3名様

TVチョップ

オーチャンの爽やかなスマイルが表紙を飾るこの本は、8月下旬創刊のテレビ雑誌です。これは創刊準備号の非売品で超貴重!　ちっちゃい頃の「紙プロ」スタッフでもある松林パパも参加、吉田豪、山口日昇も執筆とのウワサ。乞うご期待!(山口日昇は期待薄)

【TVチョップ編集部提供】

紙のプロレス RADICAL

No.29

2000年7月25日発行

STAFF

編集兼発行人
山口日昇

編集スタッフ
坂井“スモー”ノブ
松澤チョロ
堀江ガンツ
水戸泉（仮）
八木賢太郎(ミッキー竹本のお見舞いのため非番)

スーパーバイザー
吉田豪

広告営業
佐藤恵美

助っ人
中村愚乱
金田謙太郎

アートディレクター
出田さん（TwoThree）

デザイン
ヒサくん
マツ（腰痛のため非番）
村松さん
セッキー（今号で引退）
グッチー（以上TwoThree）

トメさん
はなえちゃん（以上さおとめの事務所）

古賀ゆきえ

出前
出前持ち入江（TwoThree）

カメラマン
斉藤ユーリ
遠藤政文
森廣博
黒田史夫
戸成ぶつぞう
松本崇
吉場正和

試合写真
平工幸雄
乾晋也
片岡正行

お勘定
林ヘックション一枝

「俺、60」
中村カタブツ君（37歳）

初代ゴムフェラー
ジャイ子

フィニッシュ
ツー・スリー／さおとめの事務所

印刷
図書印刷株式会社

印刷人
大杉すぎすぎ昌也

発売元
株式会社ワニマガジン社
〒160-8580　東京都新宿区内藤町一番地
TEL.03-3357-2911（販売・営業）

発行元
株式会社ダブルクロス
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
TEL.03-3403-5188（編集・制作）

引きこもりなアナタへ♥（その1）

2名様

『バックドラフト』
FMWの2000年5月5日、駒沢大会を全試合収録。メインのハヤブサvs田中将斗、あとなぜか草凪純vs荒井薫子もノーカット！　初回特典の荒井薫子トレーディングカードも当然ついてます。
【東芝EMI提供】

2名様

『コロシアム2000』
あのコロシアム2000がビデオになっただけじゃありません。当然、全試合ノーカット収録。しかも前田日明、ヒクソン・グレイシーの解説つき！　オマケにヒクソンの練習風景、試合後のパーティーまで入ってます。会場で見た人も、そうじゃない人も、見るっきゃないね。
【ポリスター提供】

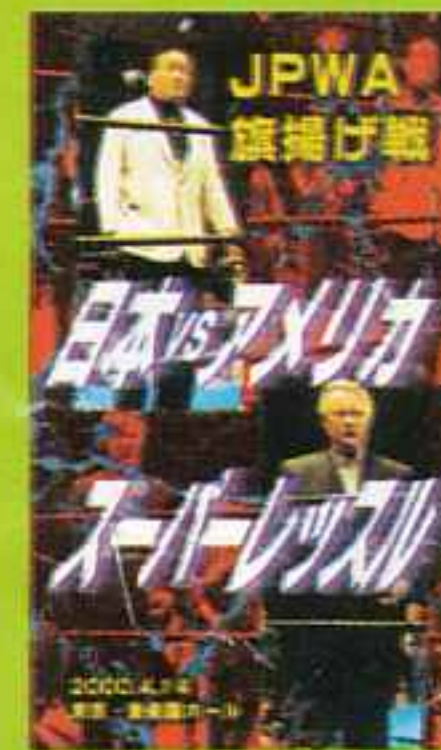
2名様

『小路晃』
「ミスター・プライド」の異名を取るマイク王・小路晃のビデオで〜す。「PRIDE.1」から「PRIDE・GP」までの8試合、トレーニング風景など盛りだくさんの内容、王子も出てるよ。
【ヴァリス提供】

1名様

『レスリング・ウィズ・シャドウズ』
一部ファンの間で話題騒然となっていた作品が遂に日本上陸！　ブレッド・ハートの移籍にまつわるWWFの内側を赤裸々に綴ったドキュメントです。こちらは次号でスモー・ノブが徹底検証予定。乞うご期待。
【エンドレス提供】

2名様

『新日魂2』
藤波社長vs武藤敬司のスペシャル対談収録ってだけでも気になりまくりの一本。蝶野、永田のインタビューの他、試合もいっぱい入った120分。お腹いっぱいになれま〜す。
【ヴァリス提供】

1名様

『JPWA旗揚げ戦 日本vsアメリカ スーパーレッスル』
見た者を感動の渦に巻き込んだと一部で評判のJPWA旗揚げ戦を全試合収録！　木村浩一郎と一緒に泣け！
【クエスト提供】

引きこもりなアナタへ♥（その3）

3名様

カラテクノCD『ザ・ゴッドハンド・エクスペリエンス』
「制作費3億1千万円、世界35カ国、出場選手207名、負傷者18名、うち重傷者2名」という触れ込みのニューアルバム。詳しく知りたい人はHP・
http://www.geocities.com/area51/keep/2446を見よ！
【カラテクノ提供】

2名様

『Hybrid　Battle』
ワンダー3というバンドの1stアルバムには、JWP無差別級チャンピオン・輝優優と音楽好きでも有名なコマンド・ボリショイのテーマ曲が収録されてます。何故かエクスプロージョンレーベルから出てますが、メタルではありませんのであしからず。JWPの会場で絶賛発売中です。お問合せMKレコードジャパン　03-5469-0291まで。
【JWP提供】

1名様

『バクバクバクKissの世界』
キッスの世界のファーストアルバム！　と言っていいんでしょうか？　全女所属10選手の新テーマ曲にキッスの世界の名曲『バクバクkiss』と新曲1曲を加えた豪華版。初回限定の写真集つきで〜す。　【zetima提供】

引きこもりなアナタへ♥（その2）

2名様

『ジャイアントグラム2000』
全日分裂をまだ信じたくない諸君に朗報！　このゲームさえやってれば馬場さんもジャンボも三沢も川田もみ〜んな一緒、観戦モードで夢のカードも自由自在です。
【セガ・エンタープライゼス提供】

各3名様

『マクロスプラス〜ゲームエディション〜』
OVA（オリジナル・ビデオ・アニメの略ね、知ってた？）の「マクロスプラス」を完全ゲーム化！　DSS（ダイナミック・シチュエーション・システムの略ね、勉強になった？）によるリアルな映像美が炸裂しまくりのAG（アクション・ゲームの略ね、無理矢理略しちゃった）で〜す。
【翔泳社提供】

2名様

『Theボクシング』
え、1500円でプレステソフトが買えちゃうのぉ？　しかも1500円なのに、スカウトモードとかランキングモードとかもついてるし。これ一本で一夏越せるね。
【ディースリー・パブリッシャー提供】

クレイジィィィーファッキーン!!他

1名様

ヤマケンタオル
ジャンボなバスタオルはヤマケンのサイン入り。日付は、サインを書いた日付でもなんでもなく、ヤマケン選手の誕生日だそうです。
【ヤマケン選手提供】

20名様

H非売品プロレスカード
セクシーかどうかはアナタが判断してください。この縄は自分で縛ったそうです。こちらは写真集『格闘男』を通販で買った人だけがもらえるカードです。売ってないよ。　【双葉工芸提供】

セットで3名様

グランドコブラステッカー
前号掲載のTシャツが大好評のグランドコブラから、ショップのステッカーです。貼りまくってモテちゃおう！　お問い合せは092-711-1021　グランドコブラまで。
【グランドコブラ提供】

1名様

CIMAフォトエッセイ集『CIMA THE PRAYER OF THE PLAYER』非売品ポートレートセット
7・12のみちのく組興行ではナオミ・スーザンにチューをされ、多くの乙女を泣かせた色男のフォト&エッセイ集が登場、本人が撮った写真になりました。しかし、なんでまた、まんだらけから……？　超貴重なポートレートも4枚つけてあげちゃいま〜す。【まんだらけ提供】

2名様

チャパリータASARI写真集
すっかりオトナになったASARI選手の初写真集。お色気ショット満載じゃないのが残念な限りですが、そういうのもアリってことで。適当でスマン。【みちのくプロレス提供】

応募要項

前号はいつもよりハガキが少なかったので、ジャイ子のせいにされました。毎日怒られてます。可哀想と思ったアナタ（好き）も、ザマアミロと思ったアナタ（死ね）も、とにかくハガキを書いてください。きっとなにか当たります。

応募券
❶郵便番号・住所・電話番号
❷氏名
❸年齢・職業
❹希望商品
❺面白かった記事&その理由
❻つまらなかった記事&その理由
❼あなたは紙プロUFO派？　本隊派？　それともどっちでもいい派？

【宛　先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「みんな手術してんでしょ？」係まで

※締切は8月20日です

怪獣王国の一番星

ジャイアント落合とパンチDEデート

デート相手大募集!!

6・11横浜アリーナでの掣圏道vs『PRIDE』で満点デビューをはたしたジャイアント落合。怪獣王国の方から「落合は『紙プロ』向きだと思うので、お願いします」と言われ、こちらとしても「ノープロブレムです！（落合調）」と返事をしていたのだが、デビュー戦と同様、突然のシアトル行きが決定！ そりゃないぜアフロ番長！ というわけで、出発前の空港で、次号でのデート券を強引に奪取！ OH～YEAH!!

打倒スタン・ハンセン！

7月2日、怪獣王国国王・佐竹雅昭が愛弟子・ジャイアント落合（以下・ジャイアン）とともにトレーニングのためアメリカのシアトルに旅立った。シアトルといえば、ケビン山崎さんのところが有名だが、ケビンさんは日本滞在中ということで、清原に続いて落合の肉体改造はまたの機会に持ち越しに。残念！

もっともジャイアンは肉体改造はするつもりはサラサラなく、逆に二百貫デブになって帰国すると力強く断言！ さらに、「小さな頃から叔父さん（落合博満）に喉元をバットで叩かれ鍛えられてきた俺にはラリアットは効かない！ 打倒スタン・ハンセン！」と咆吼し、飛行機に乗り込んだ。帰国後の動向に注目！

今回は、飛行機に乗り込む寸前のジャイアンにお願いして、デート券を強引に奪取しました。

ジャイアンとデート（もしくは見学）がしたい人は、熱い想いをハガキにしたためて応募して下さい。宛先はP159参照！（必ず電話番号を記入すること）。

ジャイアンの希望は、赤木春恵似の年増の女性ということだったが、「年上でも、ホモでも、何でもいいから落合と遊んでやって！」と、佐竹国王から温かいお言葉を頂きましたので、応募者全員にデート券をプレゼント！ 場所は本人の強い希望により新宿御苑に決定！（なぜだ？）。

日時は、ジャイアンの都合のいい日となります。楽しみに待ってて下さい！

※締切は8月5日です。

HEY！ ハンセン!! 首を洗って待ってるぜ!?

渡米前、佐竹は「G落合、全日レンタル計画」を明かした。ジャイアンが王道マットに登場となれば、再び全日に激震が走るのは間違いない。川田とのシバキ合い、モハメドヨネとのリアルアフロブラザーズ結成、キマラとのジャイアント対決など、想像しただけで夢が広がる。しかし、ジャイアンの口から飛び出したのは「打倒スタン・ハンセン！」なのであった。

まさにジャイアント級！ 真夏の応募者全員プレゼント!!

理想は赤木春恵！ 年増大歓迎!!

二百貫デブになって帰ってきます！

モノを与えてやって下さい！

佐竹＆落合が指名したデート先は **新宿御苑！**（なぜだ？）

【じゃいあんと・おちあい】本名／岡田貴幸。大正15年５月８日（牡牛座）身長・体重／185cm、130kg 格闘技歴／柔道10年（山ごもり２年半） 主な獲得タイトル／全日本高専柔道重量級４連覇 座右の銘／『名もなく、貧しく、美しく』 好きな女子のタイプ／赤木春恵（おばあちゃんの知恵袋） 入場テーマ曲／『サムライ街道』（無許可）（参考文献『ＳＲＳ ＤＸ』ワンフー・マクダニエル）。どうですか、お客さん？ ジャイアンとデートしてみたいという女の子、いますぐ、ピ・ポ・パッ♥

いよいよ夏本番!!　今年もTシャツのボルテージは最高潮!!

Tシャツ1クライマックス開幕!!

『紙のプロレス』Tシャツ通販カタログ

SS Tシャツ半ソデ〈赤〉

¥3,500　SorMorL

すっかりおなじみになったプロレスTシャツのNEWスタンダード！　花くまゆうさく先生・画。

SS Tシャツ半ソデ〈紺〉

¥3,500　SOLD OUT rMorL

最近、某団体も似た色のTシャツを出しましたね。こっちもカッコいいゾ！同じく花くまゆうさく先生・画。

SS Tシャツ長ソデ〈赤〉

¥4,500　SorMo SOLD OUT

この春はこれを着てプロレス観戦に出掛けよう！　花くまゆうさく先生・画。お買いあげの方には、もれなく特製ネックピースもプレゼント！

SS Tシャツ長ソデ〈紺〉

¥4,500　So SOLD OUT SOLD OUT

本誌のモットーであるスーダラ・スタイルを背負ってみよう！　花くまゆうさく先生・画。お買いあげの方には、もれなく特製ネックピースもプレゼント！

リングおじさんトレーナー

¥5,500　MorL

バックのロゴに見覚えが……!?　これからの季節、熱く燃えたい人はトレーナーを着てみよう！

バトTシャツ

¥3,500　SorMorL

バトラーツの全選手が登場している旗揚げ4周年記念Tシャツ!!　かわいいので女の子も着よう!!

ジャイ子Tシャツ

¥3,000　MorL　ホワイトのMは売り切れ!!

ホワイトorアッシュグレー

スタイリストの伊賀大介さんもお気に入りの新作Tシャツ！　ハガキ劇場でおなじみの中川雅博画伯、入魂の作品です！

紙プロネックピース

¥1,200

首からブラ下げれば、みんなが振り向くこと間違いなし！　こんなにカッコいいネックピースはどこを探しても見当たらないぞ！　長そでTシャツをお買いあげの方にはもれなくプレゼントします！

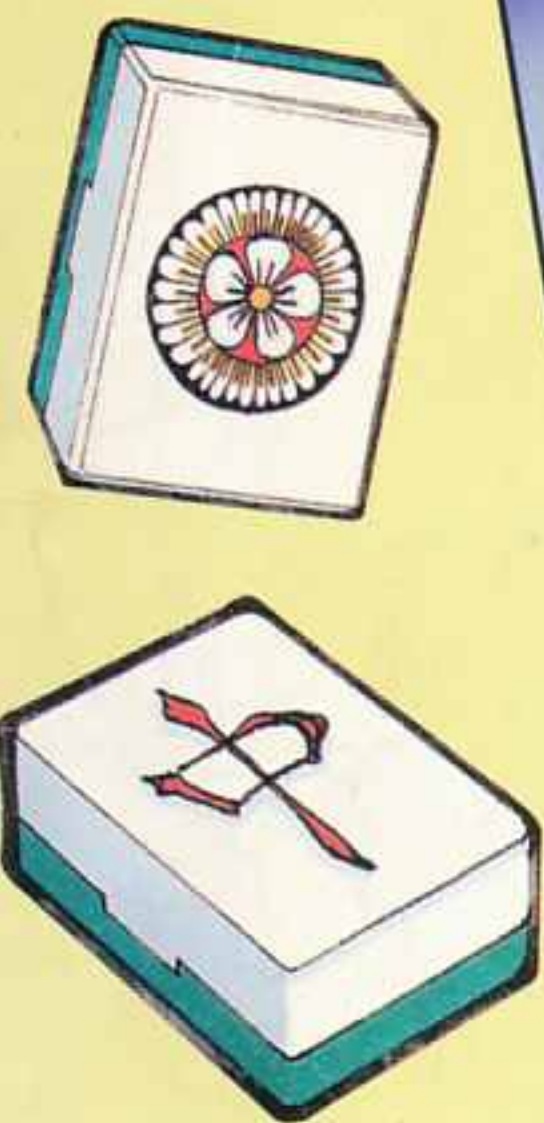
通販方法

望商品の代金＋送料¥500（何枚でも：ネックピースだけなら¥300）を現金書留で、下記住所まで送ってください。あなたの住所、氏名、年齢、電話番号、希望商品（サイズとカラーをちゃんと書いてね♥）を明記したメモを必ず同封すること！　これがないと商品の発送が出来ないのであしからず。隣のページのバトTシャツと一緒に申し込みもOKですよ。通販以外では『チャンピオン東京店＆大阪店』、札幌『リングパレス』、新たに仙台『スクワット』と岐阜県大垣市『バンザイ商会』で販売中なので、こちらもヨロシク！　こちらで買っても長ソデTシャツにネックピースがついてきますので、ご安心あれ。

〒151-0051
東京都渋谷区
千駄ヶ谷3-11-3-702
株式会社ダブルクロス
「買っていいとも!!」係まで

お問い合わせ先
(株)ダブルクロス
TEL03-3403-5188

紙のプロレス RADICAL
WANIMAGAZIN MOOK 145
2000 NO.29
「格闘環境」は激化する!
ノア旗揚げ!『PRIDE.10』間近!

平成12年8月25日発行　編集発行人／山口日昇
発売元：(株)ワニマガジン社　〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話／03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス　〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話／03-3403-5188
ワニマガジン社 定価：本体800円＋税

9784898296264
雑誌 69862-45
©DOUBLECROSS 2000 Printed in Japan
印刷：図書印刷株式会社
ISBN4-89829-626-2
C9476 ¥800E
1929476008008

TEL INDEX

団体	TEL	住所
全日本プロレス	03-3403-7344	〒106-0032 東京都港区六本木7-3-12
プロレスリング・ノア	03-3527-5311	〒135-0063 東京都江東区有明1-3-25
新日本プロレス	03-5468-3111	〒150-0011 東京都渋谷区東2-1-11
FMW	03-5496-0671	〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-23-15　ダヴィンチ下目黒6F
リングス	03-3461-0257	〒150-0036 東京都渋谷区南平台13-1　サトウビル202
WAR	03-5477-0461	〒154-0015 東京都世田谷区桜新町1-14-23　萬豊ビル2F
みちのくプロレス	019-626-1333	〒020-0063 岩手県盛岡市材木町9-8
SPWF	03-3814-6371	〒113-0001 東京都文京区白山1-17-4　クロサキビル
パンクラス	03-5792-0815	〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25
IWAジャパン	03-3352-3366	〒160-0004 東京都新宿区四谷4-6-1　四谷サンハイツ401
大日本プロレス	045-937-0811	〒224-0053 神奈川県横浜市都築区池辺町4347
バトラーツ	0489-63-0005	〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
DDT	03-3356-8493	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-17-18 オリエンタル千駄ヶ谷102プリントオフィス内
髙田道場	03-5749-5030	〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6　ワイルドパレス武蔵小山1F-B1
UFO	03-5447-2121	〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5　OK白金台ビル7F
大阪プロレス	06-6243-5131	〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場3-1-7　日宝東心斎橋ビル301
闘龍門JAPAN	078-362-0707	〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通り5-3-18
ダイプロデュース(大仁田興行)	03-5496-4900	〒141-0031 東京都品川区西五反田1-28-3　ハイラーク五反田505
世界のプロレス	093-203-5170	〒807-0054 福岡県遠賀郡水巻町二東2-8-6
掣圏道	03-5456-7333	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14　恵比寿スカイハイツ607
レッスル夢ファクトリー	03-5828-8494	〒165-0032 東京都中野区鷺宮5-15-11
キングダム・エルガイツ	0423-31-2797	〒206-0822東京都稲城市坂浜2305
キャプチャー	044-959-3333	〒215-0011神奈川県川崎市麻生区百合丘2-2-1　横山ビルB1
国際プロレス	0467-86-0197	〒253-0052神奈川県茅ヶ崎市幸町20-14
メビウス	03-5382-6991	〒167-0034東京都杉並区桃井4-1-15
つぼプロモーション	03-3498-4710	〒107-0062 東京都港区南青山6-15-1　アパルトマン青山2F−E
華☆激	092-522-1901	〒810-0022 福岡市中央区薬院4-8-29　エステートピア薬院302
喧嘩プロレス二瓶組	044-588-2410	〒212-0055 神奈川県川崎市幸区南加瀬5-32-2　二瓶ビル
ZIPANG	0427-54-8851	〒229-0002 神奈川県相模原市渕野辺本町2-37-19 コスモハイグランド106
T.A.M.A	042-572-6795	〒185-0031 東京都国分寺市富士本1-23-5
CMLL・JAPAN	075-601-7816	〒612-8221 京都府京都市伏見区禅正町151
UNW	03-3362-3014	〒164-0003 東京都中野区東中野4-4-5-311
栗栖ジム	06-6790-8896	〒547-0014 大阪府大阪市平野区長吉川辺3-1-7
ドリームステージエンターテインメント	03-3552-6300	〒104-0033 東京都中央区新川2-3-9　新川第二ビル
K−1事務局	03-3796-2977	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-31-14
修斗コミッション	03-3961-2704	〒173-0001 東京都板橋区本町34-4　石田コーポラス501
WK/Network(和術慧舟會、A^{3}GYM、RJW)	03-5200-3546	〒103-0021 東京都中央区日本橋石町3-3-11　山田ビル5F
シュートボクシング協会	03-3843-1212	〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8　ワコー花川戸ハイツ1～3F
UFC−J事務局	03-3343-2444	〒163-0430 東京都新宿区西新宿2-1-1　新宿三井ビル30F
怪獣王国	03-5952-1177	〒171-0033 東京都豊島区高田3-6-7-3F
コロシアム事務局	03-3432-1682	〒105-8012 東京都港区虎ノ門4-3-12　テレビ東京事業部内
全日本女子プロレス	03-3493-6541	〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-17-17
JWP	03-3839-4161	〒110-0005 東京都台東区上野1-15-10　大秀ビル502
LLPW	03-3945-7926	〒112-0005 東京都文京区水道2-13-4　ビクセル文京105
GAEA JAPAN	03-3795-2555	〒154-0004 東京都世田谷区太子堂5-15-3　COVAMOC BUILDING 2F
Jd'	03-5561-0522	〒107-0052 東京都港区赤坂2-12-10　国際溜池ビル7F
アルシオン	03-5720-5217	〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-7-1　代官山島田ビル3F
NEO	03-5452-0344	〒153-0042 東京都目黒区青葉台4-2-22-101

junji．com(ジュンジ・ドット・コム) 改名W記念ピンナップ

Bブロックでちゅ

浩岐くん

Aブロックでちゅ

沙綾ちゃん

ヤングジェネレーションバトル2000取組表

	田中稔	モハメドヨネ	ラスタマン	小野武志	junji.com	長井
田中		8.6 多古町	8.27 TFM	8.13 益田市	7.29 大磯	7.22 名古屋
モハ			7.20 大阪	8.27 TFM	7.23 TFM	8.20 札幌
ラスタ				7.22 名古屋	8.19 岩見沢	7.23 TFM
小野					8.6 多古町	8.5 本川越
junji						7.20 大阪
長井						

	石川雄規	アレクサンダー大塚	カールマレンコ	ミックティアニー	臼田勝美	日高郁人
石川		未定	8.27 TFM	8.20 札幌	7.20 大阪	8.29 群馬
アレク			未定	未定	未定	未定
カール				8.19 岩見沢	8.20 札幌	8.5 本川越
ミック					7.23 TFM	7.29 大磯
臼田						8.6 多古町
日高						

いきなりですがクイズですポートレート

詳しくは裏面を参照!!

イラストレーション／小新堂太一

ヤングジェネレーションバトル2000開催&
junji . com(ジュンジ・ドット・コム) 改名W記念ピンナップ

...The
baddest
Battle-Art
Hit-Squad
that ever
hit-town!

AL CALENDAR

st

:00)
ブ(18:30)

8:30)
18:30)

18:30)

8:30)
:00)

30)♥
00)

0)

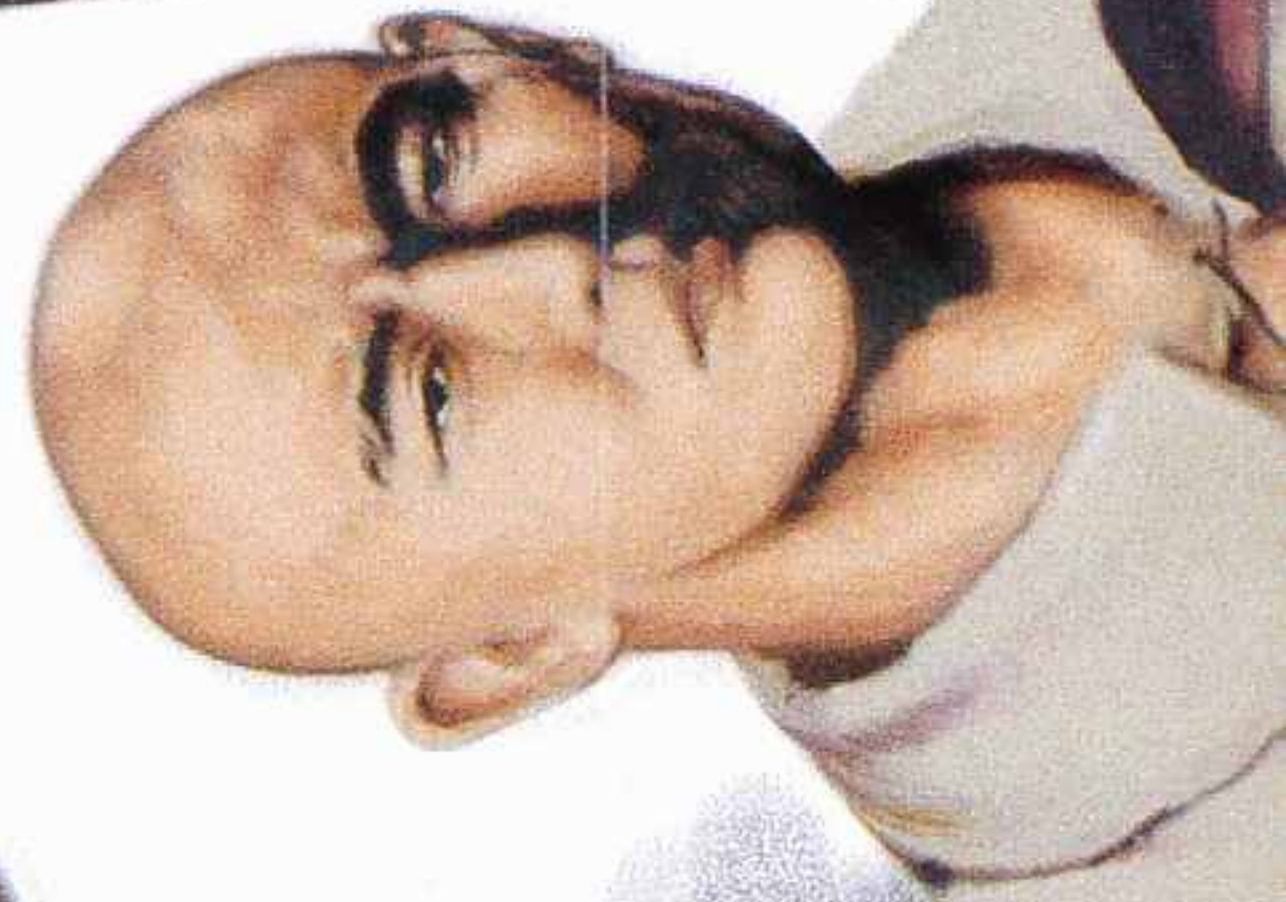
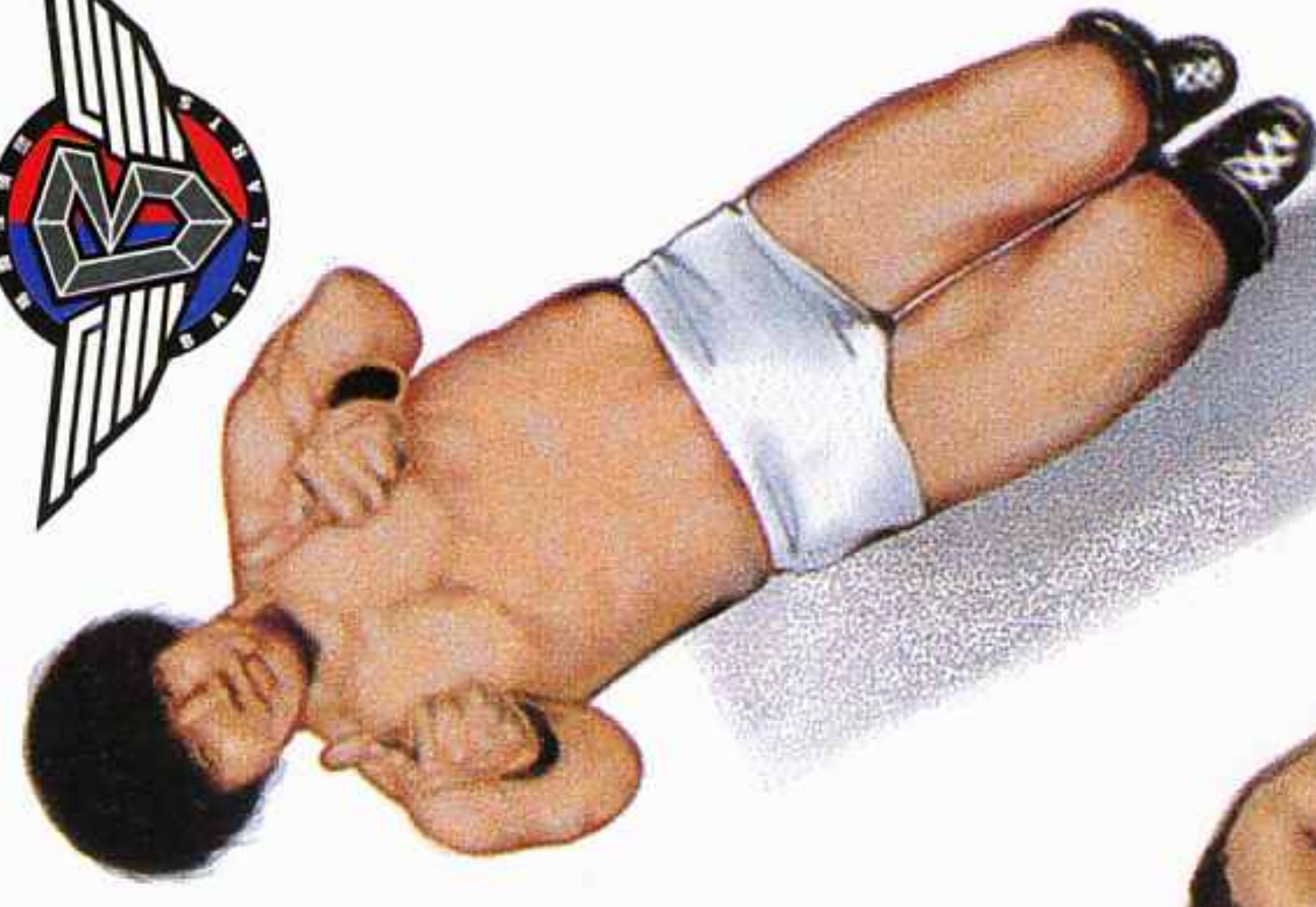
アトラス」(17:00)

戦>◎
頭(19:00)

特設リング(15:00)□

)

頭(13:00&19:00)
北沢タウンホール(18:00)♥

ル(19:00)

Jd'■大阪・NGKスタジオ(14:00&18:30)
アルシオン■秋田・本荘市民体育館(18:30)

9 WED.

新日本■広島・広島サンプラザ(18:30)
みちのく■岩手・江刺市民体育文化会館(19:00)

10 THU.

みちのく■秋田・大曲市仙北圏民体育館(18:30)
大阪■石川・石川県産業展示館2号館(19:00)
DDT■東京・club　ATOM(19:00)
アルシオン■鹿児島・下甑村竜宮の郷前広場(18:30)

11 FRI.

新日本■東京・両国国技館(18:00)
みちのく■福島・只見町雨堤体育館(18:30)
華☆激■山口・下関海峡メッセ(時間未定)
全女■鹿児島・名瀬市総合体育館(19:00)

12 SAT.

新日本■東京・両国国技館(18:00)
みちのく■福島・福島市国体記念体育館サブアリーナ(18:30)
大阪■大阪・光明アムホール(19:00)
華☆激■長崎・大島村屋外特設会場(時間未定)
アルシオン■愛知・名古屋レインボーホール第3競技場(18:00)

13 SUN.

新日本■東京・両国国技館(15:00)★
みちのく■青森・青森県民体育館メインアリーナ(15:00)
夢ファク■東京・板橋産文ホール(17:30)
バトラーツ■島根・益田市民体育館(17:00)
大阪■大阪・光明アムホール(15:00)
華☆激■長崎・NCC&スタジオ(時間未定)
GAEA■愛知・千種スポーツセンター(13:30)
アルシオン■岐阜・古川町農業者トレーニングセンター(17:00)

14 MON.

バトラーツ■京都・アートコンプレックス1928(18:00&19:30)
華☆激■福岡・博多全日空ホテル特設会場(時間未定)

15 TUE.

バトラーツ■京都・アートコンプレックス1928(18:00&19:30)
みちのく■青森・むつ市民体育館(18:30)
華☆激■福岡・博多全日空ホテル特設会場(時間未定)

16 WED.

みちのく■青森・はちのへハイツ(18:30)
バトラーツ■京都・アートコンプレックス1928(18:30)

17 THU.

みちのく■宮城・古川市民総合体育館(18:30)
DDT■東京・club　ATOM(19:00)

18 FRI.

みちのく■新潟・新潟フェイズ(19:00)
Jd'■東京・北沢タウンホール(19:00)
FMW■大阪・大阪府立体育会館第二競技場(18:30)
アルシオン■東京・後楽園ホール(19:00)

19 SAT.

みちのく■山形・山形市厚生年金休暇センター屋内スケートリンク(18:30)
バトラーツ■北海道・岩見沢スポーツセンター(17:00)
ノア■東京・ディファ有明(18:00)
アルシオン■福井・鯖江市総合体育館(18:30)
NEO■東京・板橋産文ホール(18:00)

20 SUN.

全日本■東京・後楽園ホール(12:30)
みちのく■宮城・ニューワールド仙台テニスクラブ(15:00)
バトラーツ■北海道・札幌テイセンホール(18:00)★
大阪■東京・有明ビッグサイト(時間未定)
K―1■神奈川・横浜アリーナ(時間未定)
全女■東京・後楽園ホール(18:30)
アルシオン■大阪・なみはやドーム(12:30)

23 WED.

リングス■大阪・大阪府立体育会館(18:30)◆★
世界の■東京・駒沢屋内球技場(19:00)♠

24 THU.

DDT■東京・club　ATOM(19:00)
世界の■栃木・宇都宮清原体育館(18:30)◆
●島田裕二プロデュース「『PRIDE』とは何か?」■東京・ROCK　WEST(19:00)
ゲスト:森下DSE社長

25 FRI.

GAEA■東京・後楽園ホール(19:00)
世界の■静岡・アクトシティ浜松(18:30)

26 SAT.

全日本■東京・後楽園ホール(18:30)
FMW■宮城・宮城県スポーツセンター(18:00)
世界の■神奈川・小田原アリーナ(18:30)
アルシオン■埼玉・本川越ペペホール「アトラス」(17:00)

27 SUN.

パンクラス■大阪・梅田ステラホール(16:00)
バトラーツ■東京・TOKYO　FMホール(13:00)
DSE『PRIDE.10』■埼玉・西武ドーム(16:00)★
大阪■大阪・岸和田CanCanスポーツドーム(19:00)
世界の■静岡・ツインメッセ静岡(17:00)
修斗■神奈川・横浜文化体育館(16:00)□
Jd'■東京・ディファ有明(18:30)
アルシオン■神奈川・横須賀米軍基地THEWGYM(一般公開)

28 MON.

FMW■東京・後楽園ホール(18:30)

29 TUE.

バトラーツ■群馬・かまだ屋本店特設リング(18:00)
世界の■愛媛・八幡浜市民スポーツセンター(18:30)

30 WED.

世界の■徳島・徳島市立体育館
アルシオン■岐阜・サンライフ中津川(18:30)
NEO■東京・北沢タウンホール(19:00)

30 THU.

DDT■東京・club　ATOM(19:00)

【バチバチクイズ】
ヤンジェネの優勝者及び、準優勝者とこの双子ちゃんのお父さんを当てた方の中から抽選で1名様に素敵なバトグッズをプレゼントします!! 宛先はP159参照。

『紙プロ』編集部おススメ興行

★ 山口日昇
◎ スモーノブ
♠ 松澤チョロ記者
◆ ガンツ堀江
♥ ジャイ子
□ 水戸納豆(仮)

RADICAL CA

●はイベント情報です。

7 July

27 THU.

みちのく■北海道・札幌テイセンホール（18:30）
大日本■東京・JR立川駅曙陸橋横広場特設リング（18:30）
DDT■東京・club　ATOM（19:00）
全女■静岡・三島市パチンコうめな駐車場（19:00）
アルシオン■鳥取・米子産業体育館（18:30）

28 FRI.

FMW■東京・後楽園ホール（18:30）
みちのく■北海道・テイセンホール（18:30）
アルシオン■島根・松江くにびきメッセ（18:30）
●プロレスをおもしろがる会主催「村上一成トークライブ」■東京・ROCK　WEST（18:30）　司会:山口日昇（本誌編集長）

29 SAT.

みちのく■北海道・室蘭市体育館（18:00）
大日本■岡山・卸センターオレンジホール（18:30）
夢ファク■東京・板橋産文ホール（17:30）
バトラーツ■神奈川・大磯プリンスホテル別館滄浪閣（18:00）
大阪■大阪・NGKスタジオ（19:00）
CMLL■愛知・露橋スポーツセンター（17:30）
JWP&全女■神奈川・川崎市体育館（17:30）
LLPW■香川・琴平町営西駐車場（19:30）
アルシオン■鳥取・鳥取産業体育館（18:30）

30 SUN.

新日本■神奈川・横浜アリーナ（17:00）
FMW■千葉・四街道市中央公園グラウンド（15:00）
みちのく■北海道・江差町生涯学習センター体育館（15:00）
SPWF■埼玉・新三郷駅北口中華幸来軒裏特設リング（14:00）（※雨天の場合は8月13日に延期）
大日本■大阪・鶴見緑地花博公園広場特設リング（15:00）
大阪■大阪・NGKスタジオ（15:00）
CMLL■京都・KBSホール（14:00）
K―1■愛知・名古屋レインボーホール（時間未定）
LLPW■愛媛・土居町農村環境改善センター（14:00）
Jd'■東京・北沢タウンホール（18:00）
アルシオン■京都・KBSホール（18:00）
NEO■東京・後楽園ホール（12:30）
●アマチュア・リングス■東京・新宿区スポーツ会館4F（11:00）♠

31 MON.

CMLL■大阪・IMPホール（18:30）
全女■埼玉・アスカル幸手（18:30）
LLPW■大阪・大阪府立体育会館第二競技場（18:30）

8 August

1 TUE.

みちのく■岩手・二戸市ニコア特設リング（18:00）
大日本■愛知・名古屋駅南口広場特設リング（18:30）

2 WED.

みちのく■山形・船形町B&G海洋センター（18:30）
大日本■埼玉・新三郷駅前広場特設リング（18:30）
CMLL■静岡・アクトシティ浜松（18:30）

3 THU.

みちのく■秋田・本荘市民体育館（18:30）
大日本■埼玉・大宮ソニックシティー横広場（18:30）
DDT■東京・club　ATOM（19:00）
Jd'■東京・後楽園ホール（19:00）

4 FRI.

みちのく■宮城・大郷町B&G海洋センター（18:30）
大日本■愛知・豊橋市体育館第2競技場（18:00）
DDT■東京・北沢タウンホール（18:30）
CMLL■東京・後楽園ホール（18:30）
キャプチャー■愛媛・中和島市営闘牛場（19:30）♥
修斗■大阪・大阪府体育館第二競技場（18:00）

5 SAT.

みちのく■秋田・秋田市立茨島体育館（18:30）
大日本■神奈川・伊勢原食品市場（18:30）
バトラーツ■埼玉・西武本川越ペペホール「アトラス」（17:00）
大阪■大阪・NGKスタジオ（19:00）
ノア■東京・ディファ有明（18:00）＜旗揚げ戦＞◎
キャプチャー■福岡・ベイサイドプレス博多埠頭（19:00）
アルシオン■山形・鶴岡市体育館（18:30）

6 SUN.

みちのく■山形・鶴岡市民体育館（15:00）
SPWF■栃木・おおひら町民ホール（14:00）
大日本■東京・JR秋葉原駅昭和通り口広場特設リング（15:00）□
バトラーツ■千葉・多古町民体育館（16:00）
大阪■大阪・NGKスタジオ（15:00）
CMLL■神奈川・ランドマークホール（17:00）
ノア■東京・ディファ有明（17:00）◎
Jd'■愛知・千種スポーツセンター（13:00）
卑弥呼■東京・アールンホール（15:00）
キャプチャー■福岡・ベイサイドプレス博多埠頭（13:00&19:00）
●バンバンビガロ『キャットファイトGP2000』■東京・北沢タウンホール（18:00）♥

7 MON.

新日本■大阪・大阪府立体育会館（18:00）
新宿プロレス■東京・東京大飯店8F大ホール（19:00）

8 TUE.

新日本■大阪・大阪府立体育会館（18:00）
みちのく■岩手・釜石市民体育館（18:30）
Jd'■大阪・NGK
アルシオン■秋田

9 WED.

新日本■広島・広
みちのく■岩手・

10 THU.

みちのく■秋田・
大阪■石川・石川
DDT■東京・clu
アルシオン■鹿児

11 FRI.

新日本■東京・両
みちのく■福島・
華☆激■山口・下
全女■鹿児島・名

12 SAT.

新日本■東京・両
みちのく■福島・
大阪■大阪・光明
華☆激■長崎・大
アルシオン■愛知

13 SUN.

新日本■東京・両
みちのく■青森・青
夢ファク■東京・板
バトラーツ■島根・
大阪■大阪・光明
華☆激■長崎・NC
GAEA■愛知・千
アルシオン■岐阜・

14 MON.

バトラーツ■京都・
華☆激■福岡・博

15 TUE.

バトラーツ■京都・
みちのく■青森・む
華☆激■福岡・博

16 WED.

みちのく■青森・は
バトラーツ■京都・

17 THU.

みちのく■宮城・古
DDT■東京・club

18 FRI.

みちのく■新潟・新
Jd'■東京・北沢タ
FMW■大阪・大阪
アルシオン■東京・

19 SAT.

みちのく■山形・
（18:30）
バトラーツ■北海道